

平成 23 年度

# 県民世論調査

南海地震対策について

産業振興計画について

日本一の健康長寿県構想について

新エネルギーの導入について

森林環境税について

高知県の教育について

高 知 県

# はじめに

高知県では、人口減少により縮み行く経済の活性化を図るため、地産外商戦略などを柱とした「産業振興計画」の実行や、誰もが住み慣れた地域に必要なサービスを受け安心して暮らせるための「高知型福祉」をはじめとした「日本一の健康長寿県構想」、さらに、先の東日本大震災を教訓に加速化と抜本強化に取り組む南海地震対策などの「県民の安全・安心の確保」、「教育の充実と子育て支援」、「インフラの充実と有効活用」の5つの基本政策に基づく取り組みを進めています。

全国に先がけて進行する人口減少、少子高齢化に伴って本県が抱える様々な課題に正面から取り組み、「課題解決の先進県」となっていくためには、県民の皆様のニーズを的確に把握、分析し、それを生かした政策づくりが大変重要であると考えています。

この調査は、県民の皆様の県政に対する関心やご意見などを把握し、その結果を県政運営の基礎資料とするために実施したものです。

本年度は、「南海地震対策」、「産業振興計画」、「日本一の健康長寿県構想」、「新エネルギーの導入」、「森林環境税」、「高知県の教育」の6つのテーマについて調査しました。

これらの調査に集約された県民の皆様の声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

おわりに、この調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成23年12月

高知県総務部長 恩 田 馨

# 目 次

	ページ		
I 調査の設計	1		
II 調査結果の見方	3		
III 調査対象者の特性	5		
1. 広域市町村圏別の配布・回収状況	5		
2. 対象者の特性	5		
IV 調査結果のあらまし	8		
V 調査結果〔解説・グラフ〕			
[1] 南海地震対策について		解説・グラフ ページ	数 表 ページ
1. 南海地震への関心	17	····	185
2. 南海地震が起きた場合の居住地域の危険性	19	····	186
(1) どのような危険を感じるか	21	····	187
3. 南海地震への備え	24	····	188
4. 地震の際の避難場所を確認しているか	27	····	189
(1) 避難場所や避難経路に対する不安の有無	29	····	190
(2) 不安の具体的な内容	31	····	191
5. いざというときの「地域の支え合い」への意識	34	····	192
(1) 居住地域での「支え合い」の現状をどう感じるか	36	····	193
6. 居住地域の「自主防災組織」の有無	38	····	194
(1) 「自主防災組織」の活動への参加状況	40	····	195
7. 過去1年間の地震防災訓練への参加状況	42	····	196
[2] 産業振興計画について			
【計画本体について】			
8. 産業振興計画に関して進んできたと思う県の取り組み	44	····	197
9. 産業振興計画の推進のために充実させるべき取り組み	47	····	198
10. 今後成長が期待でき、強化すべき分野	51	····	200
11. 産業振興の推進のため、より手厚く支援すべきもの	54	····	201
12. 研修などに参加しやすくするために必要なもの	58	····	203
【観光について】			
13. 高知県に注目が集まったことによる身の回りへの効果	61	····	204
14. 観光客への「おもてなし」として行っていること	64	····	205
[3] 日本一の健康長寿県構想について			
【かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局について】			
15. かかりつけ医の有無	67	····	206
(1) かかりつけ医がない理由	69	····	207

16. かかりつけ歯科医の有無	71	208
(1) かかりつけ歯科医がない理由	73	209
17. かかりつけ薬局の有無	75	210
(1) かかりつけ薬局がない理由	77	211
18. 「お薬手帳」の認知度、所持について	79	212
<b>【在宅医療について】</b>		
19. 長期療養が必要になった場合に選択する医療形態	81	213
20. 長期療養が必要になった場合に在宅医療を選択する条件	84	215
21. 在宅医療を選択する場合の相談先	88	217
<b>【高知型福祉について】</b>		
22. 現在の居住地域で、今後暮らしていくことに対し感じている不安	91	218
23. 現在の居住地域で安心して暮らしていくために、親族以外で頼りに思う人	95	220
24. 「あったかふれあいセンター」で充実すべき機能（支援）	99	222
25. 一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために 充実すべき取り組み	103	224
26. 障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために 充実すべき取り組み	107	226
27. 未婚化や晩婚化の要因と考えるもの	111	228
28. 就学前の子どもを育てやすい環境にするために充実すべき取り組み	116	230
29. 「放課後学び場」について充実すべき取り組み	121	232
<b>[4] 新エネルギーの導入について</b>		
30. 「高知県新エネルギービジョン」の取り組みに対する意識	125	233
31. 高知県で積極的に導入すべき新エネルギー	127	234
32. 新エネルギー導入上の問題点	130	235
33. 新エネルギー導入のため行政が行うべき取り組み	133	236
34. 自宅における太陽光発電設備の有無と設置の意向	136	237
(1) 太陽光発電設備を設置するための条件	138	238
(2) 太陽光発電設備を設置する際の負担額の上限	140	239
<b>[5] 森林環境税について</b>		
35. 森林の「公益的機能」低下についての認知度	144	241
36. 森林環境税を活用した取り組みの認知度	146	242
37. 森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識		
〔1〕 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援	149	243
〔2〕 シカによる森林被害対策への支援	151	244
〔3〕 公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進	153	245
〔4〕 森林や山を守るための県民主体の活動への支援	155	246

〔5〕 子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援	157	247
〔6〕 地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援	159	248
〔7〕 森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信	161	249
38. 森林環境税課税期間の延長に対する賛否	164	250
〔6〕 高知県の教育について		
39. 小・中学生の学力や体力・運動能力の改善傾向に関する認知度	166	251
(1) 改善傾向を知った媒体や機会	169	252
40. 小・中学生の学力や体力・運動能力向上に向けた取り組みに対する評価	172	253
41. 高知県の教育振興のために重要な取り組み、支援	175	254
42. 教育振興や教育課題の解決のために参加、協力できること	180	257
VI 調査結果〔数表〕	185	
VII 自由回答〔問7副問〕	259	
VIII 自由回答〔その他〕	263	
IX 調査票〔単純集計結果〕	279	

# I 調査の設計

## 1. 調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の事項

### (1) 南海地震対策について

南海地震への関心／南海地震が起きた場合の居住地域の危険性／どのような危険を感じるか／南海地震への備え／地震の際の避難場所を確認しているか／避難場所や避難経路に対する不安の有無／不安の具体的な内容／いざというときの「地域の支え合い」への意識／居住地域での「支え合い」の現状をどう感じるか／居住地域の「自主防災組織」の有無／「自主防災組織」の活動への参加状況／過去1年間の地震防災訓練への参加状況／地震防災訓練への参加者を増やすための意見

### (2) 産業振興計画について

産業振興計画に関して進んできたと思う県の取り組み／産業振興計画の推進のために充実させるべき取り組み／今後成長が期待でき、強化すべき分野／産業振興の推進のため、より手厚く支援すべきもの／研修などに参加しやすくするために必要なもの／高知県に注目が集まったことによる身の回りへの効果／観光客への「おもてなし」として行っていること

### (3) 日本一の健康長寿県構想について

かかりつけ医の有無／かかりつけ医がない理由／かかりつけ歯科医の有無／かかりつけ歯科医がない理由／かかりつけ薬局の有無／かかりつけ薬局がない理由／「お薬手帳」の認知度、所持について／長期療養が必要になった場合に選択する医療形態／長期療養が必要になった場合に在宅医療を選択する条件／在宅医療を選択する場合の相談先／現在の居住地域で、今後暮らしていくことに対し感じている不安／現在の居住地域で安心して暮らしていくために、親族以外で頼りに思う人／「あったかふれあいセンター」で充実すべき機能（支援）／一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために充実すべき取り組み／障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために充実すべき取り組み／未婚化や晩婚化の要因と考えるもの／就学前の子どもを育てやすい環境にするために充実すべき取り組み／「放課後学び場」について充実すべき取り組み

### (4) 新エネルギーの導入について

「高知県新エネルギービジョン」の取り組みに対する意識／高知県で積極的に導入すべき新エネルギー／新エネルギー導入上の問題点／新エネルギー導入のため行政が行うべき取り組み／自宅における太陽光発電設備の有無と設置の意向／太陽光発電設備を設置するための条件／太陽光発電設備を設置する際の負担額の上限

### (5) 森林環境税について

森林の「公益的機能」低下についての認知度／森林環境税を活用した取り組みの認知度／森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識／森林環境税課税期間の延長に対する賛否

### (6) 高知県の教育について

小・中学生の学力や体力・運動能力の改善傾向に関する認知度／改善傾向を知った媒体や機会／小・中学生の学力や体力・運動能力向上に向けた取り組みに対する評価／高知県の教育振興のために重要な取り組み、支援／教育振興や教育課題の解決のために参加、協力できること

### 3. 調査の対象

県内全域から20歳以上の県民3,000人を抽出（各市町村の「選挙人名簿」より）

### 4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

### 5. 調査の方法

郵送法

### 6. 調査の期間

平成23年8月10日（水）～8月30日（火）までの21日間

### 7. 実査および集計

株式会社高知新聞企業出版調査部

### 8. 調査票配布数と回収状況

配布数	3,000票
有効回収数	1,679票（有効回収率 56.0%）

## Ⅱ 調査結果の見方

1. 「Ⅴ 調査結果〔解説・グラフ〕」は「Ⅵ 調査結果〔数表〕」に基づき、要点のみを記述してあるので、「Ⅵ 調査結果〔数表〕」をあわせて参照すること。
2. 「Ⅵ 調査結果〔数表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（％）算出の基礎となっている。
3. 「Ⅵ 調査結果〔数表〕」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率（％）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

- 4 質問への回答方法は「1つだけ○印（どちらかに○印）」、「2つまで○印」、「3つまで○印」、「当てはまるものすべてに○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
- 5 副問については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
- 6 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）及び回答者別（質問間クロス）で分析した。

- F 1 性 別 … 男女の別
- F 2 年 代 別 … 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の6階層に分類
- F 3 職 業 別 … 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦、学生、無職、その他の12種類に分類
- F 4 婚 姻 状 況 … 未婚、既婚、その他（離別、死別を含む）の3種類に分類
- F 5 子 ども の 状 況 … 就学前の子どもがいる、小学生の子どもがいる、中学生の子どもがいる、高校生の子もいる、大学生、専門学校生等の子どもがいる、その他（上のいずれにも該当しない）、子どもはいないの7種類に分類
- F 6 世帯の年間収入 … 0～100万円未満、100～200万円未満、200～300万円未満、300～400万円未満、400～600万円未満、600～800万円未満、800～1,000万円未満、1,000万円以上の8種類に分類
- F 7 広 域 市 町 村 圏 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類
- F 8 沿 岸 部 別 … 沿岸部、非沿岸部の別

※F3、F7、F8の分類の詳細については次ページ参照のこと



※前ページの、対象者の職業別、広域市町村圏別及び沿岸部別判定は次のとおりである。

◆職業別

農	林	業	} (主婦の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を取る)
漁		業	
商工サービス業	自	営	(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事	務	職	(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く)
技	術	職	(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、課長以上を除く)
労	務	職	(現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管	理	職	(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自	由	業	(医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など)
主		婦	(家庭内の仕事が1日で最も多い場合)
学		生	(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無		職	(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
そ	の	他	(上のいずれにも属さないもの)

◆広域市町村圏別

高	知	市							
安	芸	広	域	圏	…	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村			
南	国	・	香	美	広	域	圏	…	南国市、香南市、香美市
嶺	北	広	域	圏	…	本山町、大豊町、土佐町、大川村			
仁	淀	川	広	域	圏	…	土佐市、いの町、日高村		
高	吾	北	広	域	圏	…	佐川町、越知町、仁淀川町		
高	幡	広	域	圏	…	須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町			
幡	多	広	域	圏	…	宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町			

◆沿岸部別

居住地が沿岸部であると判断する目安は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5km（または車で約10分）とする。

### Ⅲ 調査対象者の特性

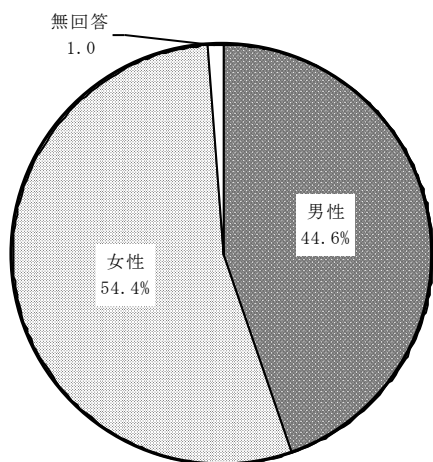
※構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

#### 1. 広域市町村圏別の配布・回収状況

広域市町村圏	配布数(人)	有効回収状況		
		回答数(人)	回収率(%)	構成比(%)
高知市	1,307	729	55.8	43.4
安芸広域圏	225	118	52.4	7.0
南国・香美広域圏	432	229	53.0	13.6
嶺北広域圏	57	31	54.4	1.8
仁淀川広域圏	242	130	53.7	7.7
高吾北広域圏	111	67	60.4	4.0
高幡広域圏	249	138	55.4	8.2
幡多広域圏	377	210	55.7	12.5
無回答		27		1.6
合計	3,000	1,679	56.0	100.0

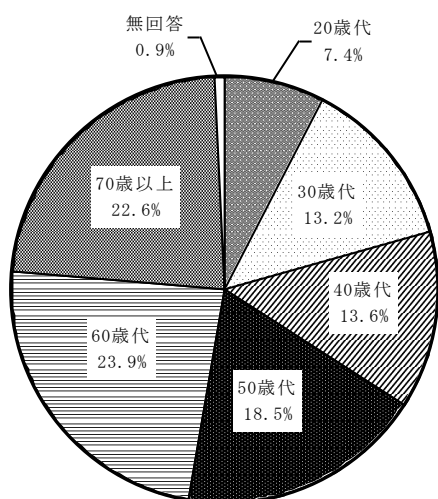
#### 2. 対象者の特性

##### F1 性別



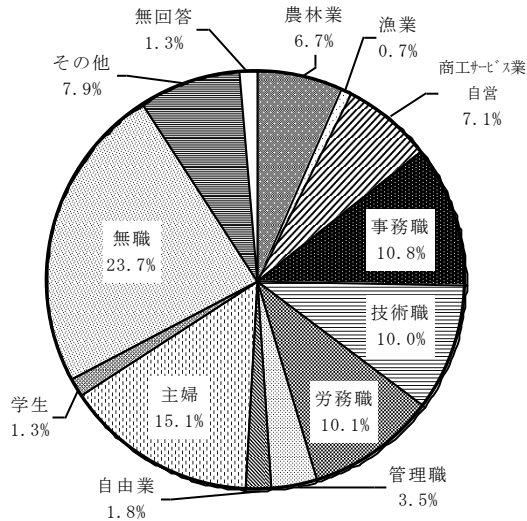
区分	回答数(人)	構成比(%)
男性	749	44.6
女性	914	54.4
無回答	16	1.0
合計	1,679	100.0

##### F2 年代別



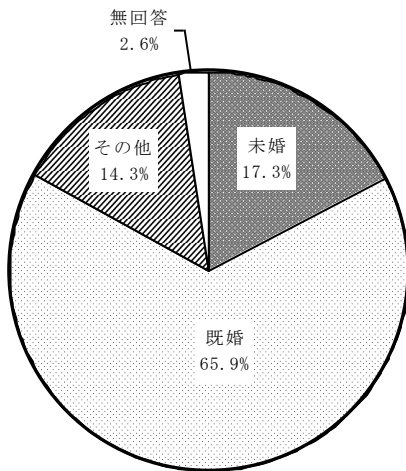
区分	回答数(人)	構成比(%)
20歳代	125	7.4
30歳代	221	13.2
40歳代	228	13.6
50歳代	310	18.5
60歳代	401	23.9
70歳以上	379	22.6
無回答	15	0.9
合計	1,679	100.0

### F3 職業別



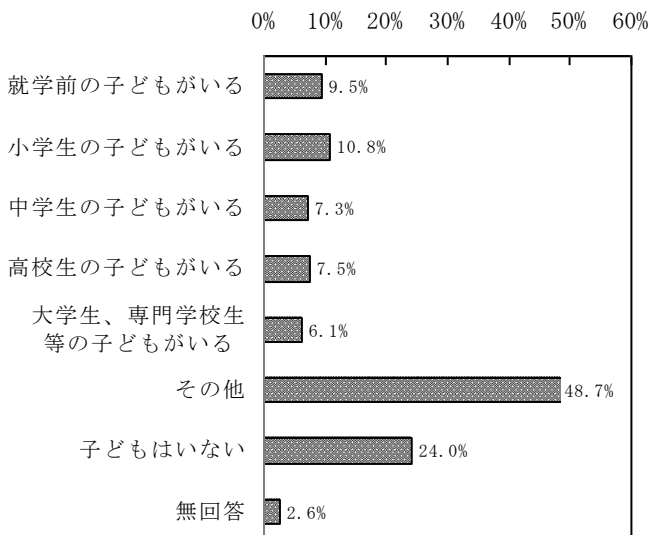
区分	回答数(人)	構成比(%)
農林業	113	6.7
漁業	11	0.7
商工サービス業 自営	120	7.1
事務職	181	10.8
技術職	168	10.0
労務職	169	10.1
管理職	59	3.5
自由業	30	1.8
主婦	254	15.1
学生	22	1.3
無職	398	23.7
その他	132	7.9
無回答	22	1.3
<b>合計</b>	<b>1,679</b>	<b>100.0</b>

### F4 婚姻状況別



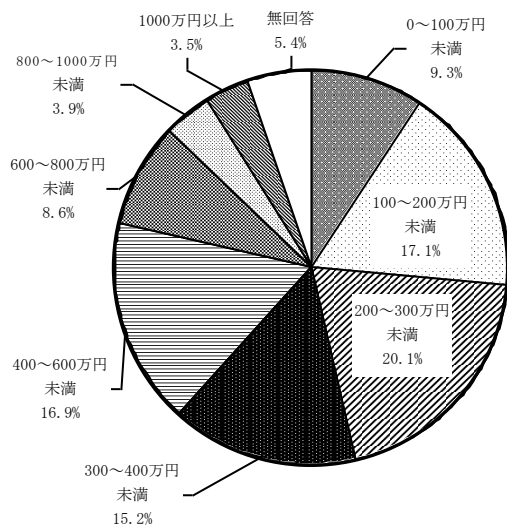
区分	回答数(人)	構成比(%)
未婚	290	17.3
既婚	1,106	65.9
その他	240	14.3
無回答	43	2.6
<b>合計</b>	<b>1,679</b>	<b>100.0</b>

### F5 子どもの状況別(複数回答)



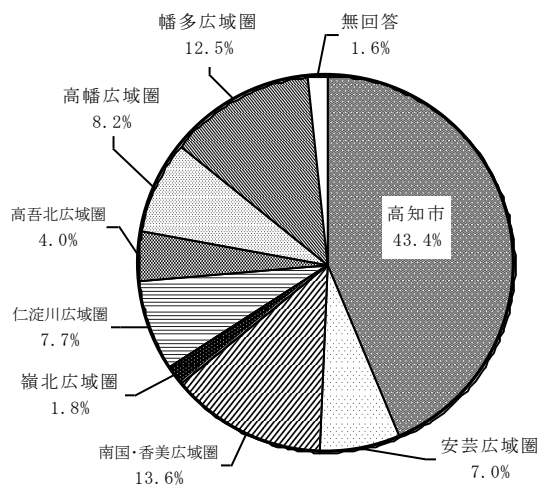
区分	回答数(人)	構成比(%)
就学前の子どもがいる	159	9.5
小学生の子どもがいる	182	10.8
中学生の子どもがいる	122	7.3
高校生の子どがいる	126	7.5
大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	6.1
その他	817	48.7
子どもはいない	403	24.0
無回答	44	2.6
<b>合計</b>	<b>1,679</b>	

## F6 世帯の年間収入



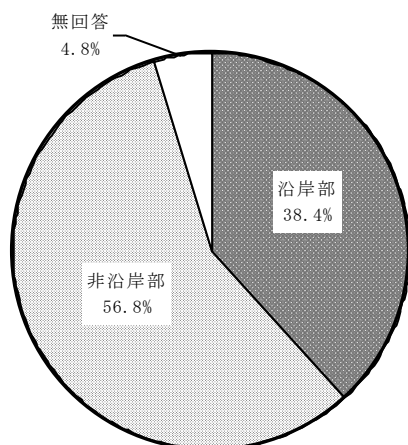
区分	回答数(人)	構成比(%)
0~100万円未満	156	9.3
100~200万円未満	287	17.1
200~300万円未満	338	20.1
300~400万円未満	255	15.2
400~600万円未満	284	16.9
600~800万円未満	145	8.6
800~1000万円未満	66	3.9
1000万円以上	58	3.5
無回答	90	5.4
<b>合計</b>	<b>1,679</b>	<b>100.0</b>

## F7 広域市町村圏別



区分	回答数(人)	構成比(%)
高知市	729	43.4
安芸広域圏	118	7.0
南国・香美広域圏	229	13.6
嶺北広域圏	31	1.8
仁淀川広域圏	130	7.7
高吾北広域圏	67	4.0
高幡広域圏	138	8.2
幡多広域圏	210	12.5
無回答	27	1.6
<b>合計</b>	<b>1,679</b>	<b>100.0</b>

## F8 沿岸部別



区分	回答数(人)	構成比(%)
沿岸部	645	38.4
非沿岸部	953	56.8
無回答	81	4.8
<b>合計</b>	<b>1,679</b>	<b>100.0</b>

## IV 調査結果のあらまし

### 〔1〕南海地震対策について

#### 〔南海地震への関心〕

南海地震に対しては、①「非常に関心がある」が45.9%と最も高く、次いで、②「関心がある」が40.7%、③「多少関心がある」が8.5%となっており、「関心がない」の0.5%に対し、『関心がある』（＝「非常に関心がある」＋「関心がある」＋「多少関心がある」）の割合が95.1%と大部分を占めている。いずれの層においても関心の高さがうかがえる。

#### 〔南海地震が起きた場合の居住地域の危険性〕

南海地震が起きた場合、居住地域に危険があると感じているかどうかについては、「危険を感じている」が91.2%と9割を超えており、「危険を感じていない」の8.3%を大きく上回っている。

#### 〔どのような危険を感じるか〕（複数回答）

南海地震が起きた場合に具体的に感じている危険な点は、①「揺れで、建物に被害がでる」の74.1%が最も高く、②「揺れで、家具が転倒する」の54.6%、③「津波」の49.3%の順に高くなっている。

#### 〔南海地震への備え〕（複数回答）

南海地震に対する備えは、①「懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している」が50.6%で他の項目に比べて高い比率を示して1位となっている。これに②「3日以上以上の食料品や水を備蓄している」が19.7%、③「家具などの転倒防止のため、金具などで固定をしている」が18.1%と続いている。

#### 〔地震の際の避難場所を確認しているか〕

南海地震が発生した場合の避難場所を確認しているかどうかについては、「確認している」人の割合が68.9%となっており、3分の2以上の割合となっている。

#### 〔避難場所や避難経路に対する不安の有無〕

南海地震が起きた場合の避難場所を「確認している」人が、避難場所や避難経路に対して不安があるかどうかについては、「不安がある」という人の割合が66.9%と約3分の2を占めている。

#### 〔不安の具体的な内容〕（複数回答）

避難場所や避難経路に「不安がある」人が不安な点としたもので最も比率が高いのは、①「避難場所への移動が不安」の57.4%で、続いて②「避難場所の安全性が不安」が38.8%、③「避難経路の安全性が不安」が37.5%となっている。

#### 〔いざというときの「地域の支え合い」への意識〕

いざというときの「地域の支え合い」が大事だと思うかどうかについては、「大事だと思う」の割合が97.9%と、大多数の人が地域の支え合いを重視していることが分かる。

#### 〔居住地域での「支え合い」の現状をどう感じるか〕

地域の支え合いが「大事だと思う」人が、居住地域での支え合いの現状をどう感じているかについては、①「日ごろから隣同士の交流や助け合いを行っており、いざというときに頼りになる」が39.4%と最も高く、②「以前に比べ近所同士の交流や助け合いが少なくなったので、いざというときに少し不安」の33.0%、③「日ごろは近隣の交流がないので、いざというときに不安」の23.5%の順となっている。

### 〔居住地域の「自主防災組織」の有無〕

居住地域に自主防災組織があるかどうかについては、「ある」と答えた人の割合が35.7%、「ない」と答えた人の割合が16.1%と、自主防災組織の有無について回答できた人は51.8%である一方で、「わからない」と答えた人の割合が47.6%と半数近くを占めている。

### 〔「自主防災組織」の活動への参加状況〕

自主防災組織があると答えた人がその活動に参加しているかどうかについては、『参加している』（＝「積極的に参加している」＋「時々参加している」）は53.5%、『参加していない』（＝「あまり参加していない」＋「参加していないが、今後は参加したい」＋「参加していないし、今後も参加するつもりはない」）は46.0%となっている。

### 〔過去1年間の地震防災訓練への参加状況〕

地域や職場の地震防災訓練に参加したことがあるかどうかについては、「参加していない」の割合が76.7%と全体の4分の3以上を占めている。

## 〔2〕産業振興計画について

### <計画本体について>

#### 〔産業振興計画に関して進んできたと思う県の取り組み〕（複数回答）

県の産業振興計画での取り組みで、進んできたと思うものについては、①「地産外商の加速化」が52.2%、②「観光の推進」が51.0%と、この2項目の比率が特に高く、③「地産地消の徹底」が30.4%、④「県内での『ものづくり』の推進」が19.7%と続いている。

一方、「わからない」とする回答が20.2%の比率となっている。

#### 〔産業振興計画の推進のために充実させるべき取り組み〕（複数回答）

「高知県産業振興計画」をさらに進めるために充実させた方がよいと思う取り組みについては、①「新エネルギーを産業に生かす取り組み」が30.0%と最も高く、続いて②「6次産業化の取り組み」が29.8%、③「ものづくりの地産地消の取り組み」が29.6%、④「県外での高知フェアの開催や商談会への出展による外商の取り組み」が28.6%、⑤「観光客誘致の取り組み」が27.0%と、上位5項目があまり差のない比率で並んでいる。

#### 〔今後成長が期待でき、強化すべき分野〕（複数回答）

産業振興計画に関連して、成長が期待でき強化すべきだと思う分野については、①「バイオビジネスの分野」が42.3%で最も高く、続いて②「田舎暮らし体験ビジネスの分野」が36.5%、③「防災関連の分野」が35.9%となっている。

#### 〔産業振興の推進のため、より手厚く支援すべきもの〕（複数回答）

県の産業振興を推進するためにより手厚く支援すべきだと思うものについては、①「動き出した事業を軌道に乗せるための支援」が41.2%で最も高く、②「新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援」が36.6%、③「既存の事業を維持・再生するための支援」が28.7%の順で続いている。

#### 〔研修などに参加しやすくするために必要なもの〕（複数回答）

産業振興のための研修などに参加しやすくなるために必要だと思うものについては、①「身近な場所での開催」が40.0%と最も高く、続いて②「会社など所属先の理解と後押し」が30.2%、③「夜間や休日など就労時間外の開催」が21.1%の順となっている。

### <観光について>

#### 〔高知県に注目が集まったことによる身の回りへの効果〕（複数回答）

高知県に注目が集まったことによって身の回りに起きた効果については、「あまり効果は感じられなかった」の比率が42.5%を占めている。感じた効果としては、①「にぎわいが増して地域が元気

になった」が 23.8%、②「自身が県内の観光を楽しむ機会が増えた」が 18.2%、③「県外の親族や知人などが高知を訪れる機会が増えた」が 16.6%という順になっている。

#### 〔観光客への「おもてなし」として行っていること〕（複数回答）

観光客への「おもてなし」については、半数の人が「特に行動はしていない」と答えている。行っていることでは、①「あいさつ、声かけ」が 36.7%、②「環境美化・保全活動（清掃、花植えなど）」が 20.8%と続いている。

### 〔3〕日本一の健康長寿県構想について

#### <かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局について>

##### 〔かかりつけ医の有無〕

かかりつけとしている医師がいるかどうかについては、「いる」の割合が 55.3%、「いない」が 44.3%となっている。

##### 〔かかりつけ医がない理由〕

かかりつけ医がない理由については、①「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ医はいない」が 55.7%と過半数に達しており、次いで②「受診するごとに自分の判断で病院・診療所を選んでるので、かかりつけ医はいない」が 32.2%となっており、この2項目でかかりつけ医のない理由の大半を占めている。

##### 〔かかりつけ歯科医の有無〕

かかりつけとしている歯科医がいるかどうかについては、「いる」と答えた人の割合が 62.4%、「いない」は 36.7%となっている。かかりつけ医師が「いる」割合 55.3%と比べて 7.1 ポイント高い割合となっている。

##### 〔かかりつけ歯科医がない理由〕

かかりつけ歯科医がない理由については、①「歯科にかかることがほとんどないので、かかりつけ歯科医はいない」の割合が 55.3%で最も高く、②「相談できる歯科医が見つからないので、かかりつけ歯科医はいない」が 18.0%、③「必要性を感じないので、かかりつけ歯科医はいない」が 17.2%の順に高くなっている。

##### 〔かかりつけ薬局の有無〕

かかりつけとしている薬局があるかどうかについては、「ない」が 51.9%、「ある」は 47.1%となっている。

##### 〔かかりつけ薬局がない理由〕

かかりつけ薬局がない理由については、①「病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない」が 42.5%、②「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない」が 41.9%と、この2項目でかかりつけ薬局がない理由の大半を占めている。

#### 〔「お薬手帳」の認知度、所持について〕

「お薬手帳」を知っていたかどうかについては、『知っている』（＝「知っており、すでに持っている」＋「知っていたが、持っていない」）の割合は 71.4%と3分の2以上を占めているが、「知っており、すでに持っている」のは 37.2%と『知っている』のうちの約半数である。

#### <在宅医療について>

##### 〔長期療養が必要になった場合に選択する医療形態〕

長期療養が必要になった場合にどのような医療を選ぶかについては、①「病院に入院して診療を受ける」が 29.6%で最も高く、次いで②「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅

医療を受ける」が24.4%、③「家族などの介助を受けて病院に通院する」が17.1%と続いている。

『自宅で療養』(=「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」+「家族などの介助を受けて病院に通院する」)は41.5%、『施設で療養』(=「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける」+「病院に入院して診療を受ける」)は41.0%と、療養の場所として自宅を選ぶか施設を選ぶかの割合の差はほとんどない。

#### 〔長期療養が必要になった場合に在宅医療を選択する条件〕(複数回答)

長期療養が必要になった場合、どのような条件や環境が整えば在宅医療を選択するかについては、①「家族の身体的・時間的な負担が大きくなるならない」が36.6%と最も高く、次に、②「経済的な負担が少ない」が34.2%とあまり差がなく2位となっており、以下、③「急に病状が悪化した場合に入院できる」が27.3%、④「急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる」が22.3%と続いている。

#### 〔在宅医療を選択する場合の相談先〕(複数回答)

在宅医療を選択する場合にどこに相談するかについては、①「かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー」の比率が55.2%で、次いで②「市町村(地域包括支援センター)、福祉事務所、保健所など公共の窓口」が49.3%と、上位2項目の比率が約50%となっている。

#### <高知型福祉について>

##### 〔現在の居住地域で、今後暮らしていくことに対し感じている不安〕(複数回答)

現在居住する地域で暮らしていくことに、どのような不安を感じているかについては、①『経済的基盤』が弱い」が44.2%で最も高く、次いで②「仕事がなく『若者が流出』する」が37.5%、③「気軽に安心して『相談』できる場所がない」が21.3%、④「地域での『見守り』活動の弱まり」が20.6%、⑤『交通手段』がない、又は『交通機関』が利用しづらい」が18.9%と続いている。

##### 〔現在の居住地域で安心して暮らしていくために、親族以外で頼りに思う人〕(複数回答)

居住地域で安心して暮らしていくために、家族や親類以外で頼りに思う人については、①「近隣住民(友人、親友を含む)」が62.5%と突出して高くなっている。それに続く項目は②「医師(かかりつけ医)」が25.3%となっている。以下、③「地域包括支援センター職員(保健師・看護師・介護支援専門員を含む)」と④「介護事業所などの社会福祉施設の職員(社会福祉士、ヘルパー、介護支援専門員を含む)」がともに12.0%となっているなど、10%前後の項目が続く。

なお、「いない」は21.5%となっている。

##### 〔「あったかふれあいセンター」で充実すべき機能(支援)〕(複数回答)

「あったかふれあいセンター」に関して、さらに充実してほしいと思う機能(支援)については、①「緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを『一時的に預かるサービス』」が30.3%、②「相談事を気軽に『相談できる場所』」が29.2%、③「より身近な地域で自由に『集える場所』」が27.3%、④「趣味や娯楽、教養講座など『生きがいつくりの場所』」が27.0%、⑤「夜間や台風の時など、家での生活が『不安な時の居場所』」が25.5%と、5位までがあまり差がなく並んでいる。

##### 〔一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために充実すべき取り組み〕

(複数回答)

一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために充実していくべき取り組みについては、①「定期的な巡回訪問などによる、地域での『見守り』活動」が58.0%と高い比率を示しており、次いで②「高齢者が必要な時に相談できる体制づくり」が33.2%、③「買い物やゴミ出し、草刈りなどの手助けといった地域での『支え合い』活動」が30.1%、④「在宅介護サービスや医療体制」が28.2%、⑤「高齢者がいつでも『集える』交流の場づくり」が27.6%と、2位から5位までがあまり差がなく並んでいる。



#### 〔障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために充実すべき取り組み〕

(複数回答)

障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために充実すべき取り組みについては、①「定期的な訪問などによる、地域での『見守り』活動」が32.9%で最も高く、次いで②「手当、年金などの所得保障」が29.0%、③「障害や障害のある人への理解」が28.1%、④「買い物や掃除、外出支援といった地域で安心して暮らすための生活支援」が27.4%、⑤「グループホームなどの生活場所や通所施設、重度の障害のある人が利用できる入所施設の整備」が26.6%と、2位から5位までがあまり差がなく並んでいる。

#### 〔未婚化や晩婚化の要因と考えるもの〕(複数回答)

未婚化や晩婚化の要因だと思うものについては、①「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」が61.5%で他の項目と比べて特に高い比率を示している。次いで、②「出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり合わないから」が35.7%、③「結婚に魅力や必要性を感じないから」が35.3%、④「結婚に対する一般的な意識が変わったから」が32.5%と続いている。

#### 〔就学前の子どもを育てやすい環境にするために充実すべき取り組み〕(複数回答)

居住地域で、就学前の子どもをより育てやすくするために充実すべき取り組みについては、①「保護者の勤務時間の都合により、保育所などで決められた時間以外の時間帯(朝・夕など)に子どもを預かるサービス」の比率が40.3%で最も高い。次いで、②「保護者の仕事の都合により、家庭で保育できない日曜や祝日に子どもを預かるサービス」が35.0%、③「保育料の軽減や医療費の助成など、子育てに係る経済的負担の軽減」が31.7%、④「子どもが病気で集団保育ができない期間に、保育所や病院などで保育及び看護ケアを行うサービス」が28.5%と続いている。

#### 〔「放課後学び場」について充実すべき取り組み〕(複数回答)

居住地域における「放課後学び場」について、さらに充実していくべき取り組みについては、①「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」が46.8%で最も高く、次いで②「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」が43.5%、③「地域の大人や異年齢の子どもとの『交流の場』としての充実」が36.3%となっている。

### 〔4〕新エネルギーの導入について

#### 〔「高知県新エネルギービジョン」の取り組みに対する意識〕

「高知県新エネルギービジョン」での取り組み目標に対してどう思うかについては、①「より短い期間で取り組みを加速化すべき」が34.7%、②「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」が30.4%となっており、この2項目にあまり差がない。③「適当だと思う」が18.8%、④「わからない」が15.1%となっている。

#### 〔高知県で積極的に導入すべき新エネルギー〕(複数回答)

高知県において積極的に導入すべき新エネルギーについては、①「太陽光発電」の比率が71.2%と他の項目に比べて非常に高い。以下、②「太陽熱利用」が29.1%、③「風力発電」が26.7%、④「木質バイオマス発電」が22.4%と続いている。

#### 〔新エネルギー導入上の問題点〕(複数回答)

新エネルギーの導入を進めるうえで特に問題だと思うことについては、①「発電設備などを導入する際の費用(コスト)が高い」が81.7%と非常に高い比率で1位となっており、次いで②「天候などの影響を受けやすく、発電電力が不安定である」が45.3%、③「周辺環境への影響(騒音、景観など)がある」が21.9%、④「発電設備などを導入するための法手続きが複雑である」が13.8%となっている。

### 〔新エネルギー導入のため行政が行うべき取り組み〕（複数回答）

新エネルギーの導入を進めるために行政が行うべき取り組みについては、①「新エネルギーを導入する個人や事業者への助成」が36.6%で最も高く、次いで②「学校などの公共施設での率先的な新エネルギーの導入」が34.3%、③「新エネルギーに関する情報を提供すること」が30.3%と3項目で30%を超えている。

### 〔自宅における太陽光発電設備の有無と設置の意向〕

自宅に太陽光発電設備を設置しているかについては、「設置している」の割合は4.0%と少なく、「設置するつもりはない」が56.5%と過半数を占めている。「設置を検討してみたい」が33.9%で、「具体的な設置の予定がある」は0.8%に留まっている。

### 〔太陽光発電設備を設置するための条件〕

太陽光発電設備の「設置を検討してみたい」と考えている人が、どのような条件が整えば設置してもよいかについては、①「発電設備の全体の価格が安くなれば（助成制度が充実すれば）」が69.6%と3分の2以上を占め、次いで②「現在の住宅に簡単に設置できれば」が10.5%、③「全体の価格が安くならなくても、リースや分割払いなどにより一度に負担する費用が軽くなれば」が9.7%、④「発電設備に関する信頼できる情報が入手しやすくなれば」が3.9%の順になっている。

### 〔太陽光発電設備を設置する際の負担額の上限〕

太陽光発電設備の「設置を検討してみたい」と考えている人が、いくらまでなら負担できるかについては、①「100万円を超える負担が必要なら検討は難しい」が47.5%と半数近くを占め、次いで②「100万円（140万円の助成があれば良い）」が22.1%、③「150万円（90万円の助成があれば良い）」が14.4%、④「200万円（40万円の助成があれば良い）」が1.8%、⑤「240万円（助成は必要ない）」が0.4%と、負担額が上がるほど割合は低くなっている。

## 〔5〕森林環境税について

### 〔森林の「公益的機能」低下についての認知度〕

森林の「公益的機能」が低下していることを知っているかどうかについては、①「だいたい知っていた」が47.4%と半数近くを占め、次いで②「よく知っていた」が25.6%、③「あまり知らなかった」が17.5%、④「全く知らなかった」が7.6%の順に高くなっている。

『知っていた』（＝「だいたい知っていた」＋「よく知っていた」）は、73.0%と約4分の3を占めている。

### 〔森林環境税を活用した取り組みの認知度〕（複数回答）

今回の調査以前に知っていた、森林環境税を活用した取り組みについては、①「森林環境の保全を進めるための森林整備への支援」が43.1%、②「シカによる森林被害対策への支援」が42.5%となっている。次いで③「子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援」が29.7%、④「公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進」が29.4%、⑤「森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信」が21.5%と続いている。

一方で、「知っていた事業はない」が22.3%となっている。

### 〔森林環境税を活用した各種事業の今後の取り組みに対する意識〕

#### 〔森林環境の保全を進めるための森林整備への支援〕

①「充実した方がよい」が68.6%で最も高く、次いで②「わからない」が16.0%、③「現状のままでよい」が13.5%、④「縮小した方がよい」が1.3%、⑤「やめた方がよい」が0.6%となっている。

#### 〔シカによる森林被害対策への支援〕

①「充実した方がよい」が42.5%で最も高く、次いで②「現状のままでよい」が28.6%、③「わ

からない」が24.8%、④「縮小した方がよい」が2.6%、⑤「やめた方がよい」が1.5%となっている。

「わからない」の割合が4分の1近くを占めている。

#### 【公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進】

①「充実した方がよい」が51.6%で過半数を占め、次いで②「現状のままでよい」が24.7%、③「わからない」が19.4%、④「縮小した方がよい」が2.7%、⑤「やめた方がよい」が1.7%となっている。

#### 【森林や山を守るための県民主体の活動への支援】

①「充実した方がよい」が41.4%で最も高く、次いで②「現状のままでよい」が30.9%、③「わからない」が22.0%、④「縮小した方がよい」が3.6%、⑤「やめた方がよい」が2.0%となっている。

#### 【子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援】

①「充実した方がよい」が45.0%で最も高く、次いで②「現状のままでよい」が30.6%、③「わからない」が19.5%、④「縮小した方がよい」が3.0%、⑤「やめた方がよい」が1.8%となっている。

#### 【地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援】

①「充実した方がよい」が39.5%で最も高く、次いで②「現状のままでよい」が32.3%、③「わからない」が22.4%、④「縮小した方がよい」が3.6%、⑤「やめた方がよい」が2.1%となっている。

#### 【森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信】

①「充実した方がよい」が44.1%で最も高く、次いで②「現状のままでよい」が30.7%、③「わからない」が19.6%、④「縮小した方がよい」が4.1%、⑤「やめた方がよい」が1.5%となっている。

#### 【森林環境税課税期間の延長に対する賛否】

森林環境税の課税期間を平成25年4月以降も5年程度延長することについては、「賛成」が48.1%と半数近くを占め、「どちらかといえば賛成」が28.4%で、『賛成意見』（＝「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）の割合が76.5%と約4分の3を占めている。これに対し、『反対意見』（＝「どちらかといえば反対」＋「反対」）は5.9%にとどまっている。

## 〔6〕高知県の教育について

#### 【小・中学生の学力や体力・運動能力の改善傾向に関する認知度】

小・中学生の学力や体力・運動能力に改善の兆しが見え始めていることについて、「あまり知らなかった」が41.3%と最も高く、『知っていた』（＝「よく知っていた」＋「だいたい知っていた」）の40.7%に対し、『知らなかった』（＝「あまり知らなかった」＋「全く知らなかった」）の割合が57.4%となっている。

#### 【改善傾向を知った媒体や機会】（複数回答）

小・中学生の学力や体力・運動能力の改善傾向を『知っていた』人が、何を通じて知ったかについては、①「新聞記事」が69.0%、②「TV番組」が58.7%と、他の項目と比べて特に高い比率となっている。以下、③「広報誌、パンフレット、チラシ」が17.3%、④「学校からの通信」が11.1%、⑤「ラジオ番組」が8.1%と低い比率で続いている。

**〔小・中学生の学力や体力・運動能力向上に向けた取り組みに対する評価〕**

小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた教育委員会や学校のこれまでの取り組みについて、「ある程度評価する」と答えた人の割合が53.4%と最も高く、『評価する』（＝「大いに評価する」＋「ある程度評価する」）が67.4%と3分の2を占めている。『評価しない』（＝「あまり評価しない」＋「全く評価しない」）は、22.2%となっている。

**〔高知県の教育振興のために重要な取り組み、支援〕（複数回答）**

高知県の教育振興のために今後重要だと思う取り組みや支援については、①「児童生徒の基礎学力の定着、学力向上」が70.4%と最も高くなって2位以下に比率で大きく差をつけている。次いで②「いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策」が44.1%、③「児童生徒の体力、運動能力の向上」が31.5%、④「高校生の進学、就職対策」が19.1%、⑤「郷土の良さを実感し、郷土を愛する心を育てる教育の充実」が16.4%と続いている。

**〔教育振興や教育課題の解決のために参加、協力できること〕（複数回答）**

教育振興や教育課題の解決のため、参加や協力できることについては、①「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」が57.5%と最も高く、次いで②「学校行事（運動会、参観日など）への参加」が32.2%、③「家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着」が26.7%、④「防犯や交通安全のボランティア」が24.0%と続いている。「特になし」と答えた人は16.7%となっている。

# V 調査結果

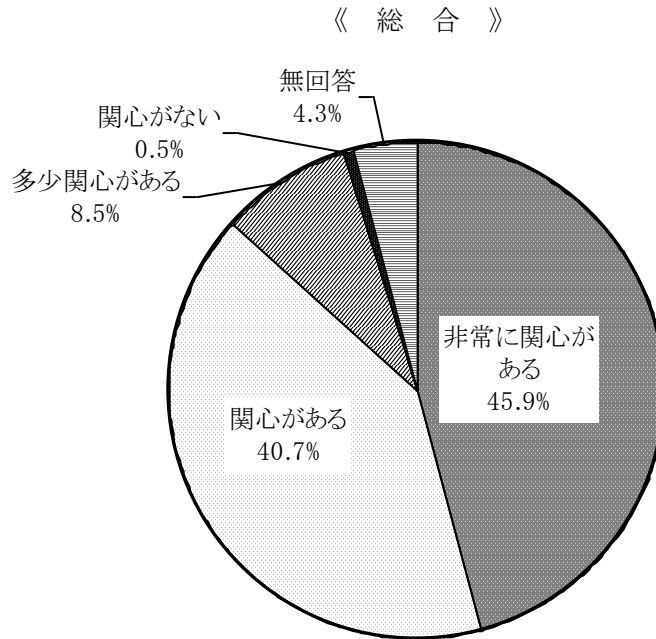
[解説・グラフ]

## 〔 1 〕 南海地震対策について

問 1 発生確率の高まっている南海地震について、どの程度関心を持っていますか。

(1つだけ○印)

南海地震に対しては、「非常に関心がある」が 45.9%と最も高く、次いで、「関心がある」が 40.7%、「多少関心がある」が 8.5%となっており、「関心がない」の 0.5%に対し、『関心がある』（＝「非常に関心がある」＋「関心がある」＋「多少関心がある」）の割合が 95.1%と大部分を占めている。いずれの層においても関心の高さがうかがえる。



### 【性別】

男女に割合の差はあまりなく、『関心がある』人の割合は、男性が 94.4%、女性が 95.6%と、男女とも非常に高い。

### 【年代別】

「非常に関心がある」は 30 歳代で 55.2%、40 歳代で 50.0%と他の年代に比べて高くなっている。一方で 20 歳代では「多少関心がある」が 16.0%と、比較的関心の低い回答の割合が他の年代に比べて高くなっている。

### 【職業別】

「非常に関心がある」は漁業、学生がそれぞれ 54.5%、管理職が 54.2%と過半数に達している。特に漁業は「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせて 100%と、すべての対象者が関心を持っている。

### 【広域市町村圏別】

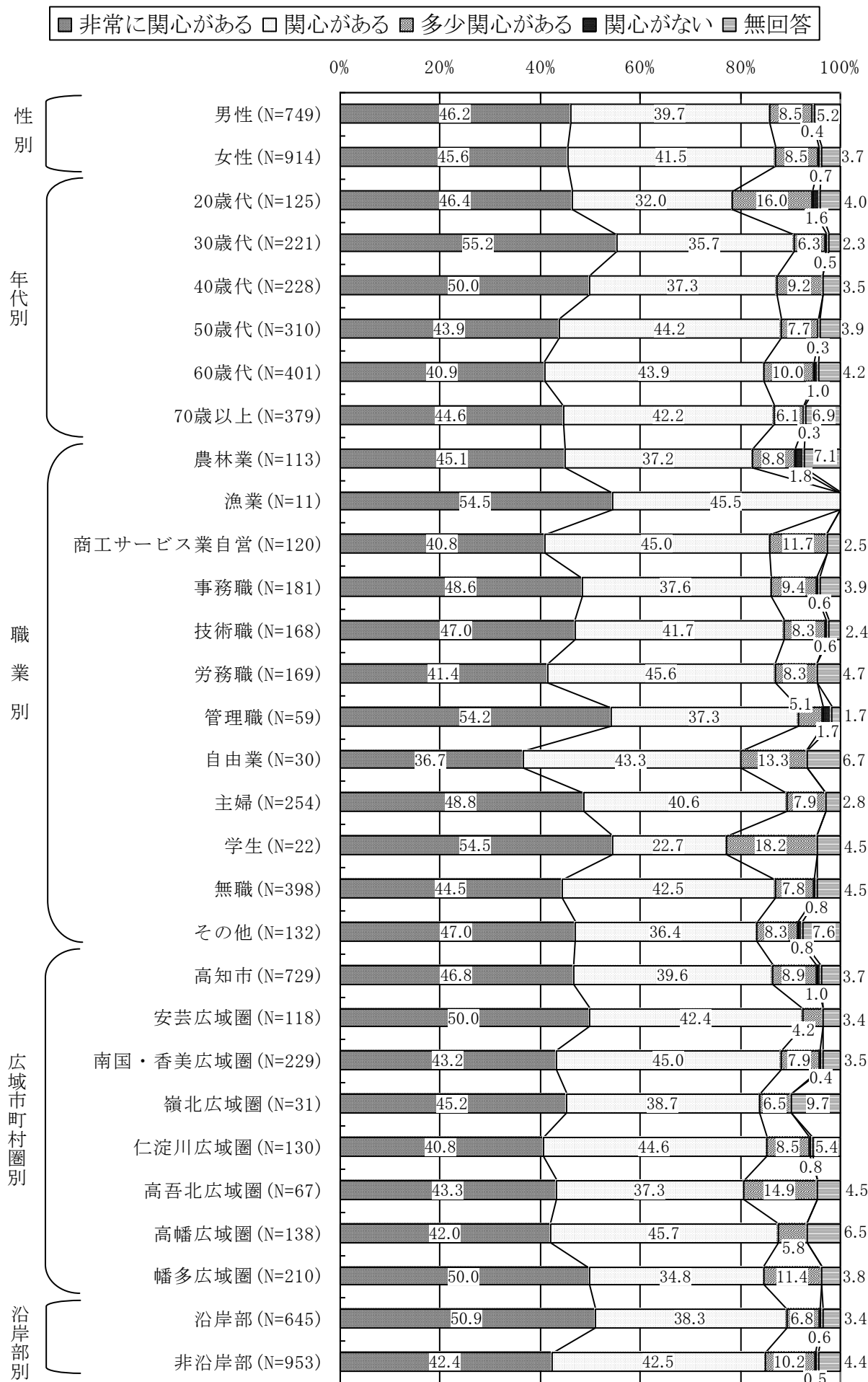
「非常に関心がある」は安芸広域圏、幡多広域圏がそれぞれ 50.0%と半数を占めている一方、仁淀川広域圏が 40.8%とやや低い割合となっている。

『関心がある』人で見ると、安芸広域圏の 96.6%、幡多広域圏の 96.2%、南国・香美広域圏の 96.1%などが高い割合を示しているほか、すべての地域で 9 割を超えている。

### 【沿岸部別】

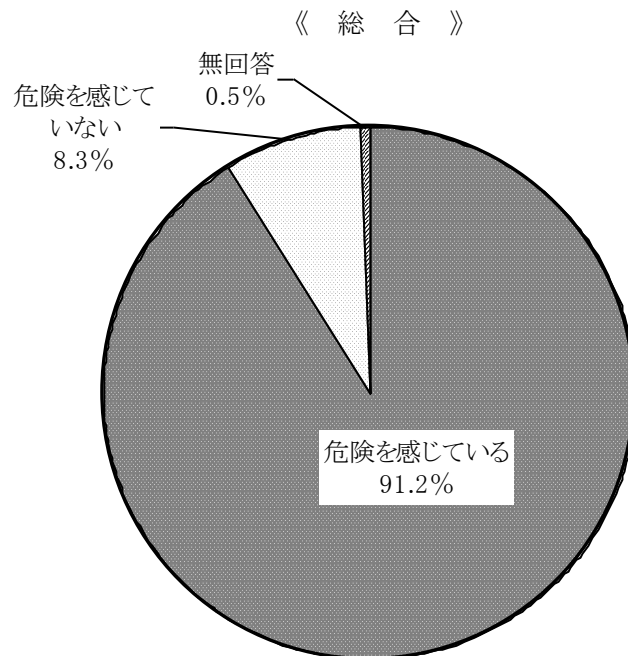
「非常に関心がある」は沿岸部の 50.9%に対し非沿岸部では 42.4%とやや低くなっているが、『関心がある』人は沿岸部で 96.0%、非沿岸部で 95.1%といずれも高い。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



**問2 南海地震が起きた場合、あなたのお住まいの地域(住宅)では危険があると感じていますか。**  
**(どちらかに○印)**

南海地震が起きた場合、居住地域に危険があると感じているかどうかについては、「危険を感じている」が91.2%と9割を超えており、「危険を感じていない」の8.3%を大きく上回っている。



**【性別】**

割合に男女差はほとんどなく、ほぼ《総合》と同じである。

**【年代別】**

「危険を感じている」は50歳代の92.9%、40歳代の92.5%、70歳以上の92.1%の順に高い。逆に「危険を感じていない」は20歳代が15.2%と他の年代に比べてやや高い割合となっている。

**【職業別】**

「危険を感じている」は漁業の100%、自由業の96.7%、学生の95.5%の順に高い。「危険を感じていない」は事務職が12.2%、農林業が11.5%と他の職業区分に比べてやや高くなっている。

**【広域市町村圏別】**

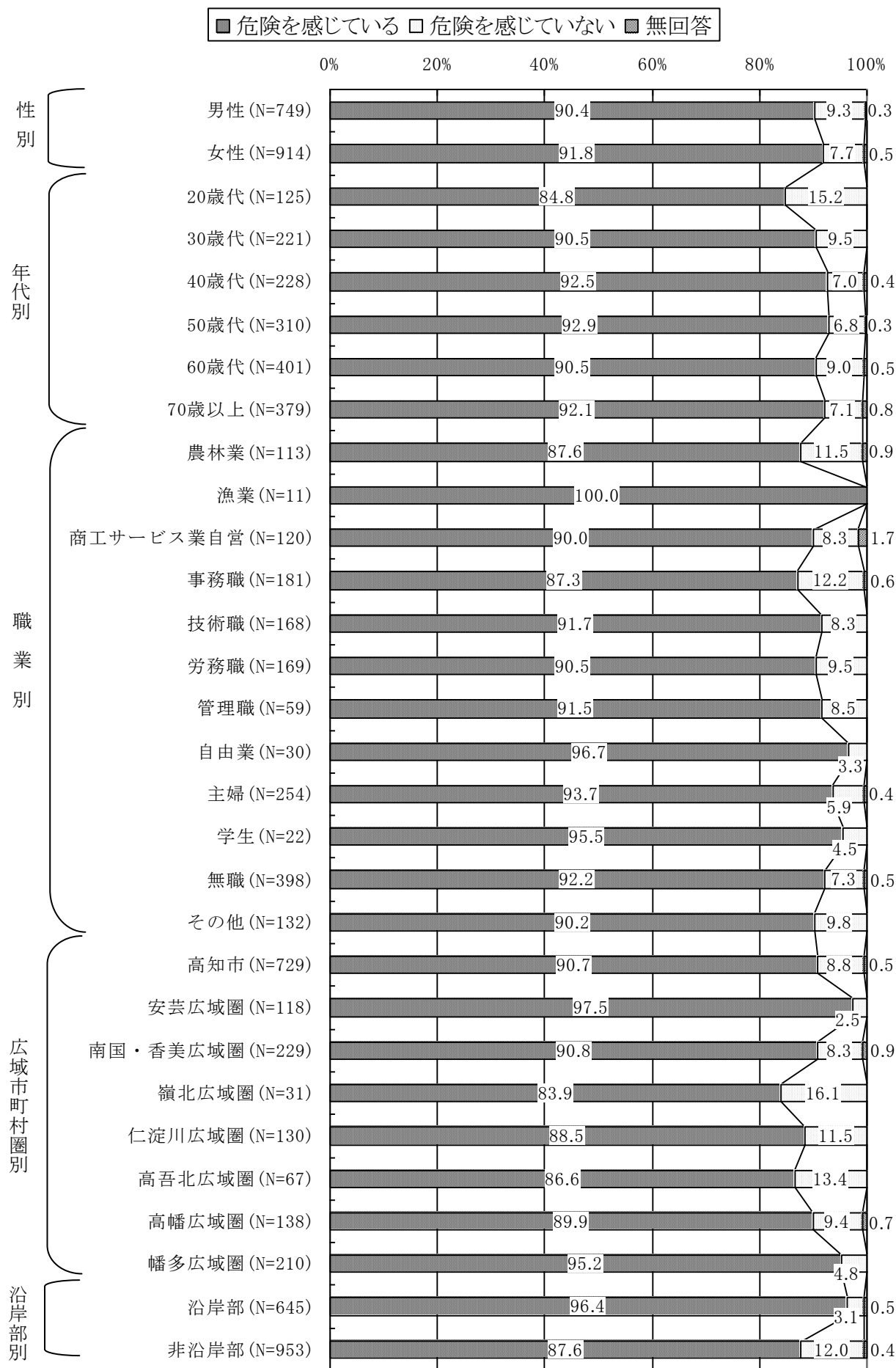
「危険を感じている」は安芸広域圏が97.5%、幡多広域圏が95.2%と他の地域に比べて高くなっており、南国・香美広域圏、高知市も9割を超えている。逆に「危険を感じていない」は嶺北広域圏が16.1%、高吾北広域圏が13.4%、仁淀川広域圏が11.5%となっており、危険に対する意識について、海岸に面した市町村が多く含まれる地域と中山間部が大部分を占める地域で差が見てとれる。

**【沿岸部別】**

「危険を感じている」は、沿岸部の96.4%が非沿岸部の87.6%を8.8ポイント上回っている。



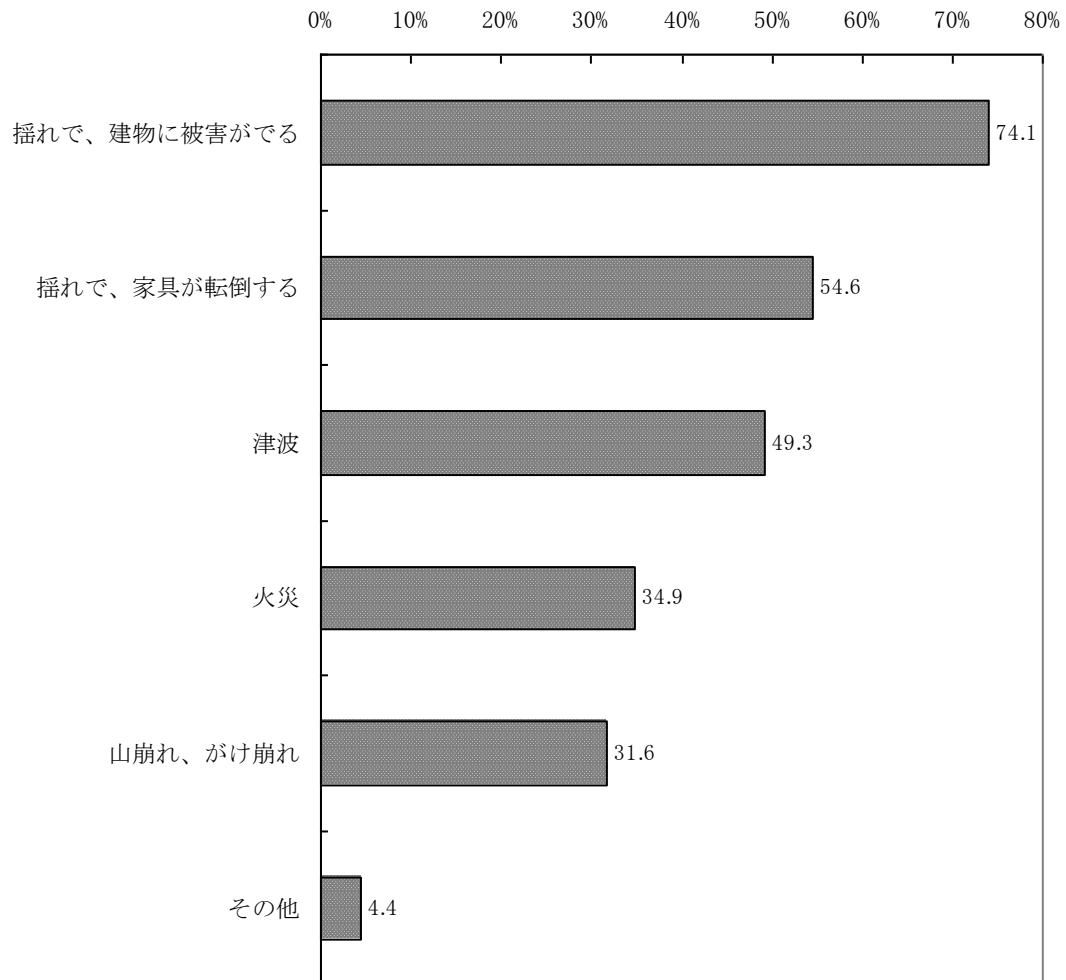
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



問2副問（問2で「1」を選んだ方のみお答えください。）どのような危険があると思いますか。  
（当てはまるものすべてに○印）

問2で「危険を感じている」と答えた人が具体的に感じている危険な点は、「揺れで、建物に被害がでる」の74.1%が最も高く、「揺れで、家具が転倒する」の54.6%、「津波」の49.3%の順に高くなっている。

《 総 合 》 (N=1531)



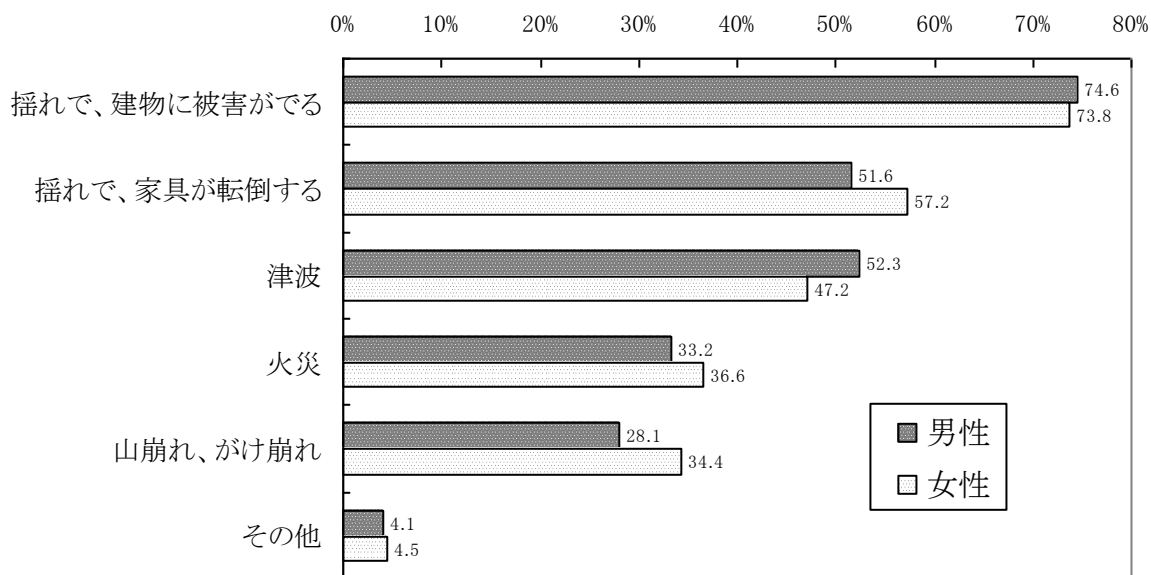
#### 【性別】

「揺れで、建物に被害がでる」は男性が74.6%、女性が73.8%と男女とも最も高いが、男性は「津波」が52.3%、「揺れで家具が転倒する」が51.6%、女性は「揺れで、家具が転倒する」が57.2%、「津波」が47.2%と、男女で2位と3位の順位が逆転している。

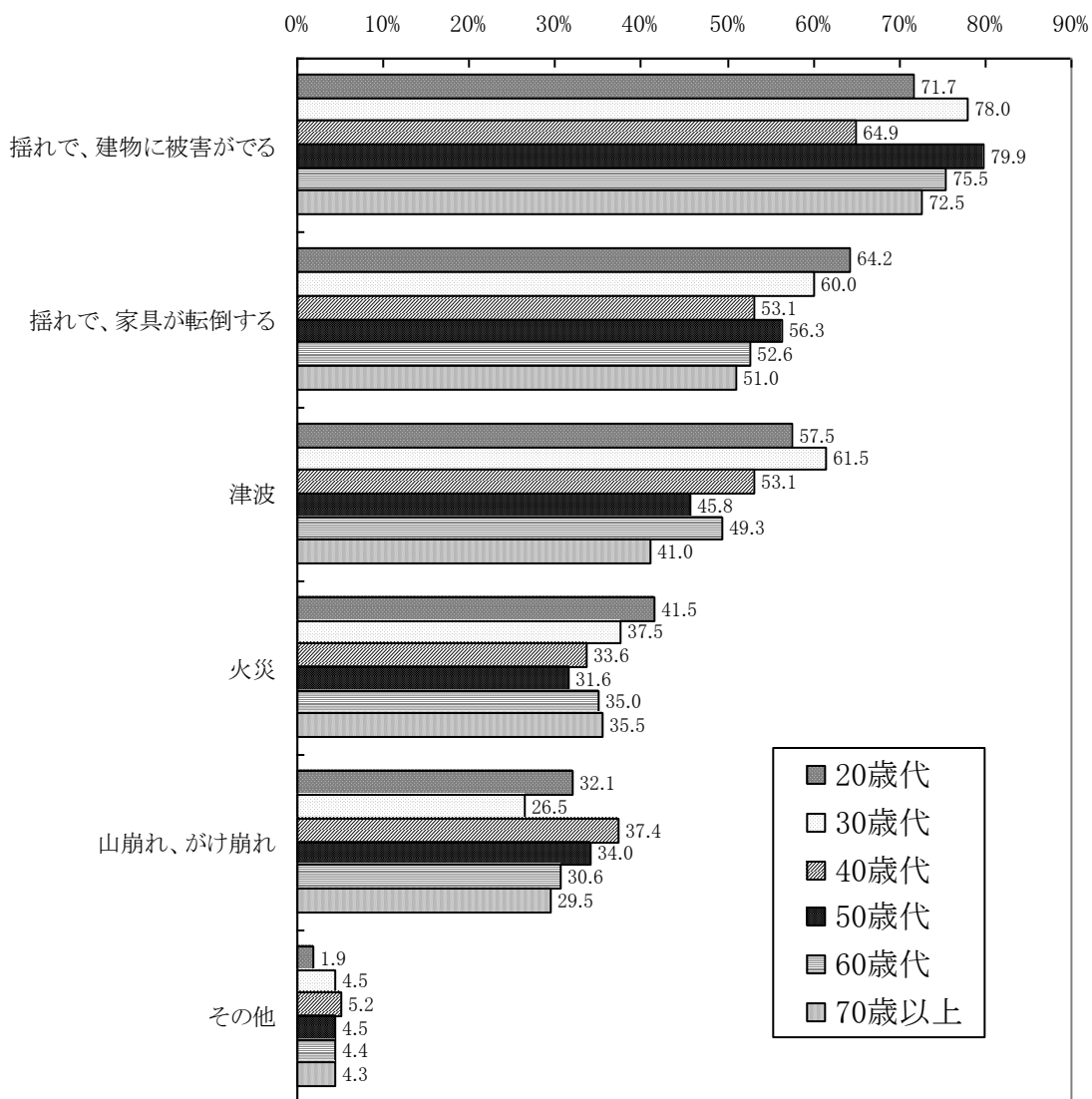
#### 【年代別】

すべての年代で「揺れで、建物に被害がでる」が最も高いが、40歳代は64.9%と他の年代に比べると低い比率となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

学生を除くすべての職業で「揺れで、建物に被害がでる」が最も高い（同率含む）。また、漁業では「津波」も72.7%で同率の1位となり、他の職業区分に比べて高い比率となっている。

一方、学生では、「揺れで、家具が転倒する」が71.4%と最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

嶺北広域圏を除くすべての地域で「揺れで、建物に被害がでる」が最も高いが、安芸広域圏では「津波」も72.2%と同率の1位となっており、他の地域に比べて比率が高くなっている。

一方、嶺北広域圏では「山崩れ、がけ崩れ」が80.8%で最も高い。

【沿岸部別】

「津波」については、沿岸部では82.5%で1位に対し、非沿岸部では25.5%で5位、「山崩れ、がけ崩れ」については、非沿岸部で38.6%で3位に対し沿岸部では22.0%で5位と、沿岸部と非沿岸部で危険を感じるものの比率に大きな違いが見られる。

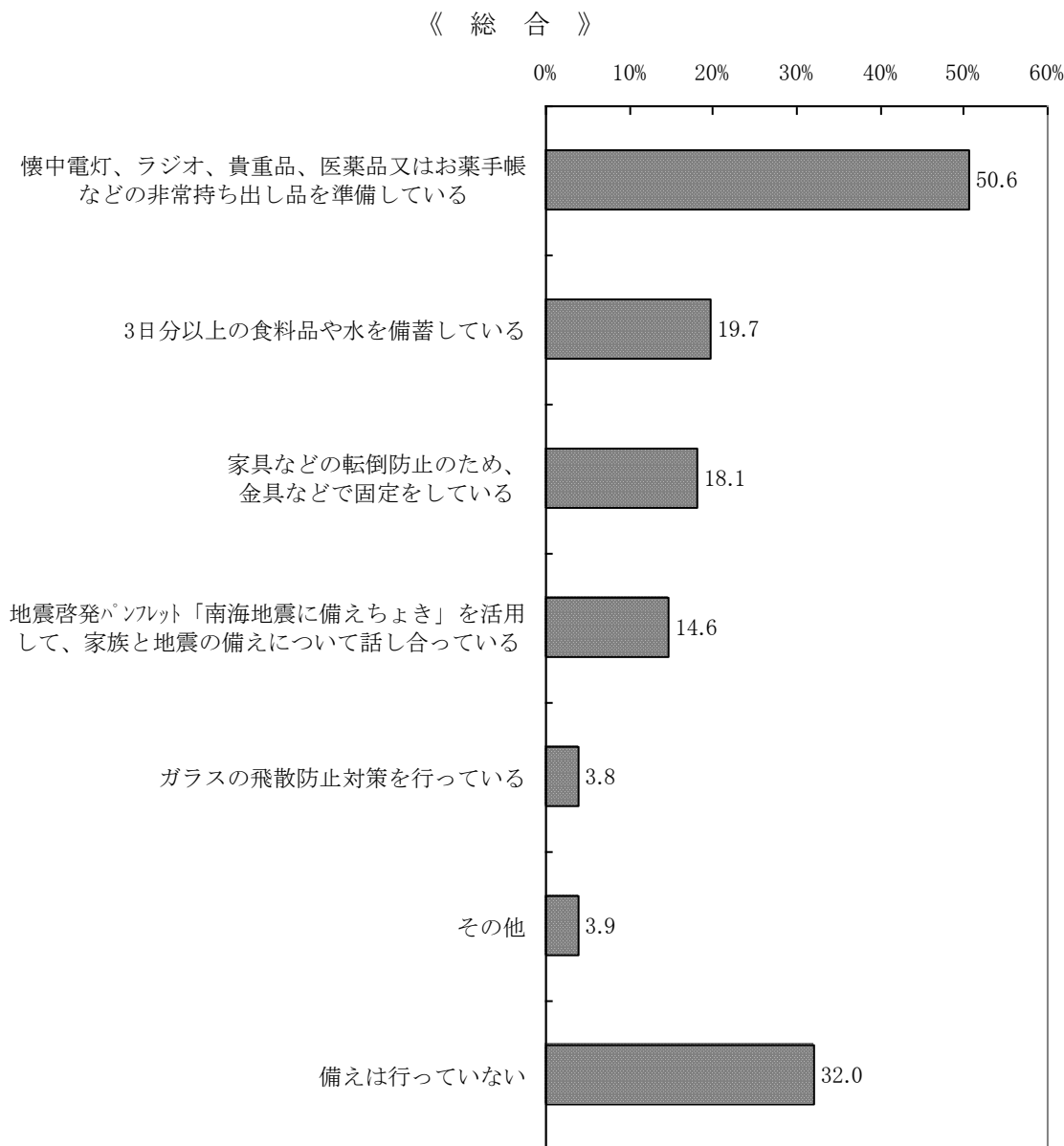
《 職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》

(単位：%)

属性		項目	揺れで、	揺れで、	津波	火災	山崩れ、	その他
			建物に被害がでる	家具が転倒する			がけ崩れ	
職業別	農林業		67.7	46.5	37.4	22.2	39.4	2.0
	漁業		72.7	63.6	72.7	18.2	27.3	0.0
	商工サービス業自営		75.9	53.7	40.7	35.2	29.6	4.6
	事務職		75.3	63.3	53.8	34.2	31.6	6.3
	技術職		81.2	49.4	51.9	44.2	34.4	4.5
	労務職		74.5	49.0	54.9	33.3	30.7	3.9
	管理職		70.4	57.4	48.1	29.6	31.5	3.7
	自由業		58.6	58.6	58.6	27.6	20.7	3.4
	主婦		72.3	55.0	49.6	36.6	28.6	4.6
	学生		57.1	71.4	66.7	28.6	38.1	4.8
	無職		75.7	54.2	46.3	37.9	30.0	3.8
その他		76.5	63.0	54.6	31.9	35.3	5.0	
広域市町村圏別	高知市		72.0	54.8	55.8	35.9	23.8	5.4
	安芸広域圏		72.2	43.5	72.2	20.0	27.8	2.6
	南国・香美広域圏		79.8	60.6	38.9	40.9	22.6	6.3
	嶺北広域圏		65.4	50.0	3.8	30.8	80.8	11.5
	仁淀川広域圏		78.3	60.9	24.3	45.2	44.3	0.9
	高吾北広域圏		79.3	55.2	0.0	37.9	60.3	1.7
	高幡広域圏		72.6	50.8	49.2	29.8	43.5	4.0
	幡多広域圏		75.0	51.0	61.0	31.5	40.0	2.5
沿岸部別	沿岸部		72.2	54.2	82.5	31.7	22.0	4.0
	非沿岸部		76.0	55.6	25.5	37.7	38.6	4.9

**問3 あなたの、南海地震への備えを教えてください。(当てはまるものすべてに○印)**

南海地震に対する備えは、「懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している」が 50.6%で他の項目に比べて高い比率を示して1位となっている。これに「3日分以上の食料品や水を備蓄している」が 19.7%、「家具などの転倒防止のため、金具などで固定をしている」が 18.1%と続いている。



**【性別】**

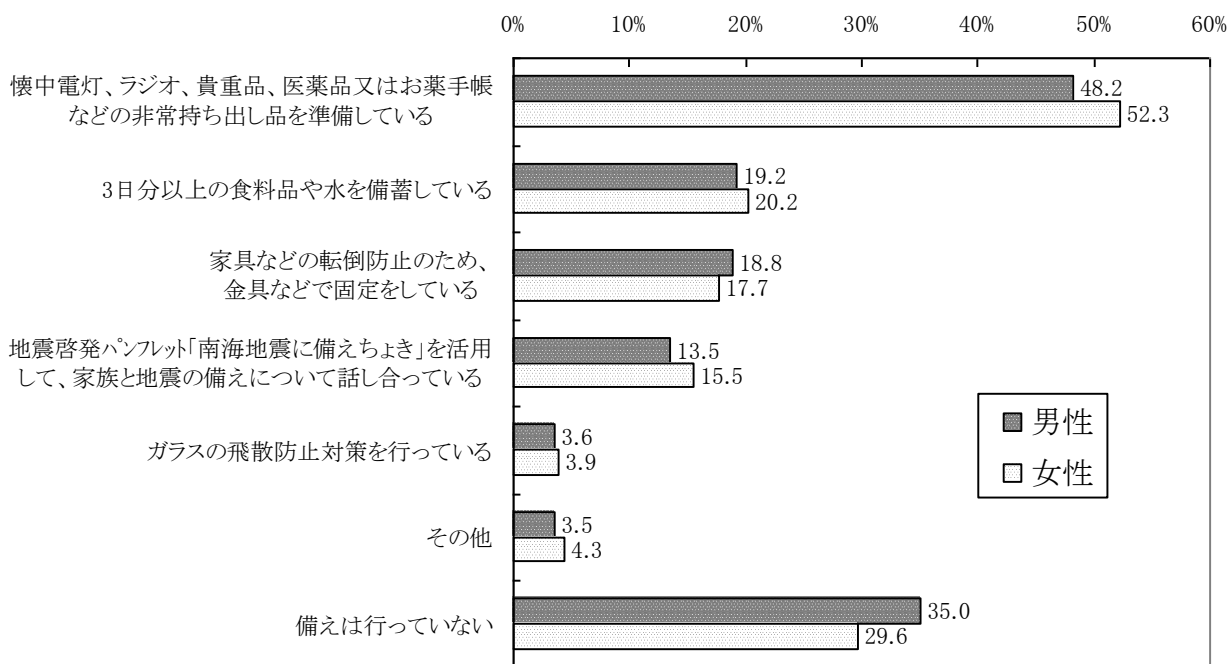
男女で比率の差はあまり見られないが、「備えを行っていない」は、男性が 35.0%で女性の 29.6% に比べ 5.4 ポイント高くなっている。

**【年代別】**

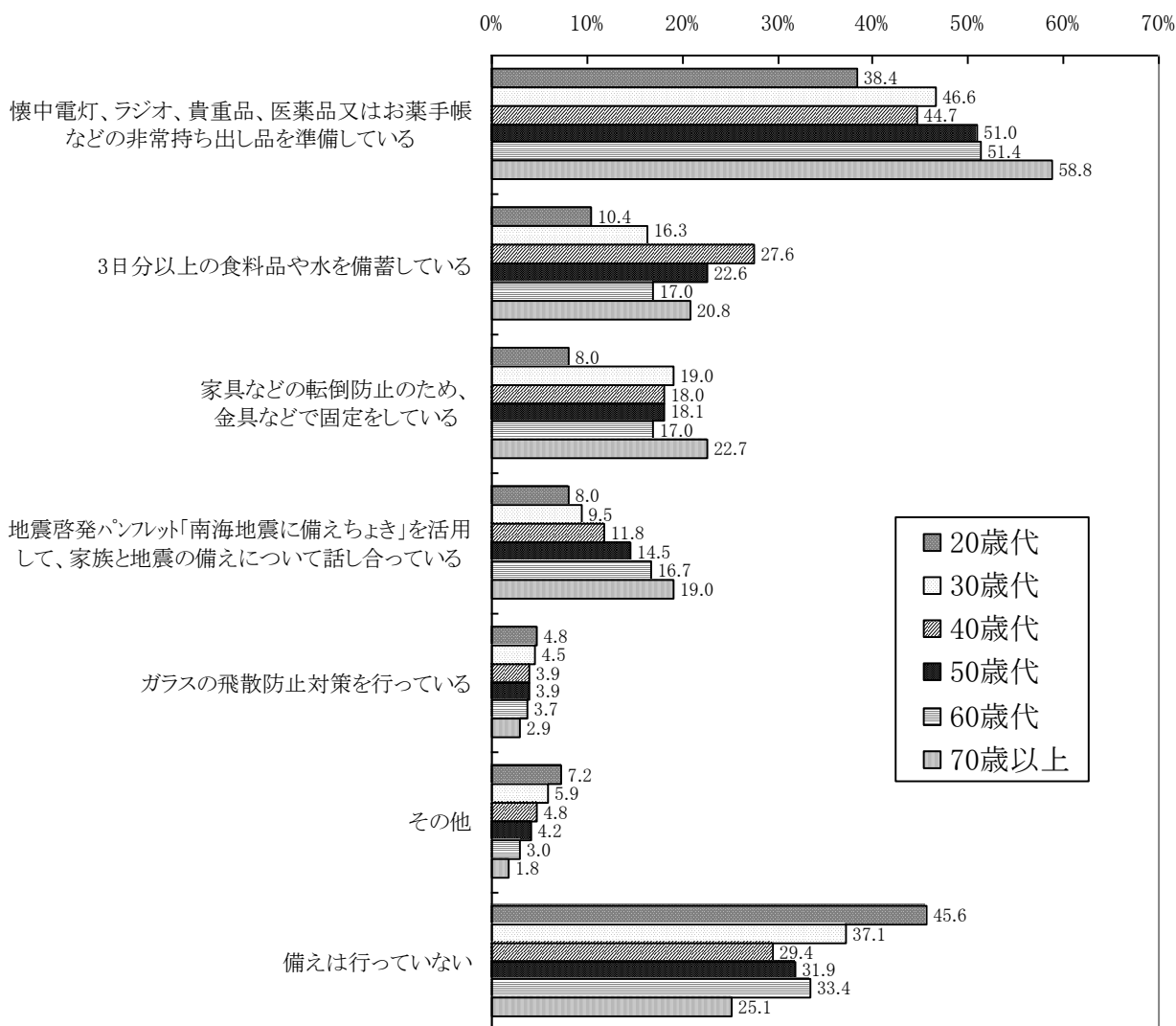
20 歳代を除くすべての年代で「懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している」が最も高く、年齢が高くなるほど比率も高い傾向が見られる。

逆に、20 歳代は「備えは行っていない」が 45.6%と高く、他の備えの項目の比率も低いのが特徴である。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

漁業、労務職、学生を除くすべての職業区分で「懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している」が最も高くなっている。

一方、漁業、労務職、学生では、「備えは行っていない」が最も高くなっており、その比率も45%以上で他の職業区分に比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

高吾北広域圏を除くすべての地域では「懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している」が最も高い。

高吾北広域圏では、「備えは行っていない」が52.2%と最も高く、過半数に達している。

【沿岸部別】

沿岸部、非沿岸部とも《総合》の順位と同じ（同率含む）で、比率も大きな差はない。

《 職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》

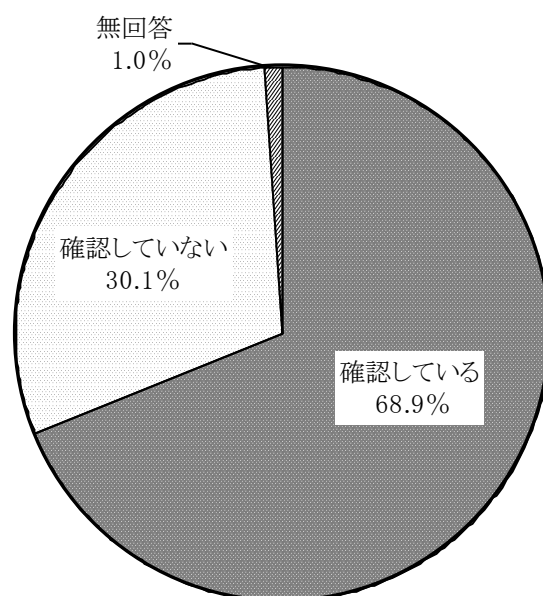
(単位：%)

項目 属性		懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している	3日以上の食料品や水を備蓄している	家具などの転倒防止のため、金具などで固定をしている	地震啓発パンフレット「南海地震に備えちよき」を活用して、家族と地震の備えについて話し合っている	ガラスの飛散防止対策を行っている	その他	備えは行っていない
		職業別	農林業	39.8	20.4	18.6	12.4	1.8
	漁業	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	45.5
	商工サービス業自営	52.5	20.0	12.5	12.5	3.3	3.3	30.8
	事務職	49.2	18.2	17.7	9.9	3.9	7.7	29.8
	技術職	50.6	26.8	19.6	11.3	3.0	7.1	32.7
	労務職	39.1	17.8	13.6	11.2	4.1	2.4	45.0
	管理職	42.4	25.4	22.0	11.9	3.4	0.0	39.0
	自由業	43.3	20.0	26.7	16.7	3.3	3.3	30.0
	主婦	57.5	18.1	26.0	18.9	5.1	3.1	24.4
	学生	27.3	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	50.0
	無職	57.0	21.9	17.8	19.3	4.3	3.0	28.4
	その他	50.0	13.6	12.9	14.4	3.0	3.0	31.8
広域市町村圏別	高知市	50.2	19.6	21.1	14.7	5.6	5.1	30.7
	安芸広域圏	50.0	18.6	12.7	16.1	0.8	5.1	33.9
	南国・香美広域圏	52.8	21.4	16.6	17.0	3.9	2.6	29.3
	嶺北広域圏	54.8	22.6	16.1	6.5	3.2	0.0	32.3
	仁淀川広域圏	54.6	19.2	16.9	14.6	3.1	2.3	29.2
	高吾北広域圏	35.8	16.4	11.9	11.9	1.5	1.5	52.2
	高幡広域圏	49.3	26.1	18.8	14.5	1.4	4.3	33.3
	幡多広域圏	51.9	15.7	16.2	13.3	1.9	2.9	31.9
部別	沿岸部	51.2	17.8	16.9	16.9	3.6	4.8	31.5
	非沿岸部	50.3	21.2	19.1	13.2	4.2	3.6	32.1

問4 南海地震は、昼夜を問わず、いつ発生するかわかりません。さまざまな場面での対処について考えておく必要がありますが、ご自宅で強い揺れに見舞われたときの「避難場所」を確認していますか。(どちらかに○印)

南海地震が発生した場合の避難場所を確認しているかどうかについては、「確認している」人の割合が68.9%となっており、3分の2以上の割合となっている。

《 総 合 》



【性別】

割合に男女差はほとんどなく、ほぼ《総合》と同じである。

【年代別】

20歳代を除くすべての年代で「確認している」が65%を超えており、特に60歳代で75.6%と高い割合となった。20歳代では、「確認している」が57.6%と他の年代に比べて割合が8ポイント以上低い。

【職業別】

「確認している」は漁業で90.9%と高い割合になっている。

一方、自由業は46.7%、管理職は55.9%と「確認している」の割合が他の職業区分に比べ低くなっている。

【広域市町村圏別】

「確認している」は安芸広域圏で83.1%、幡多広域圏で78.6%と高くなっているほか、高知市、嶺北広域圏、高吾北広域圏を除くすべての地域で7割以上となっている。

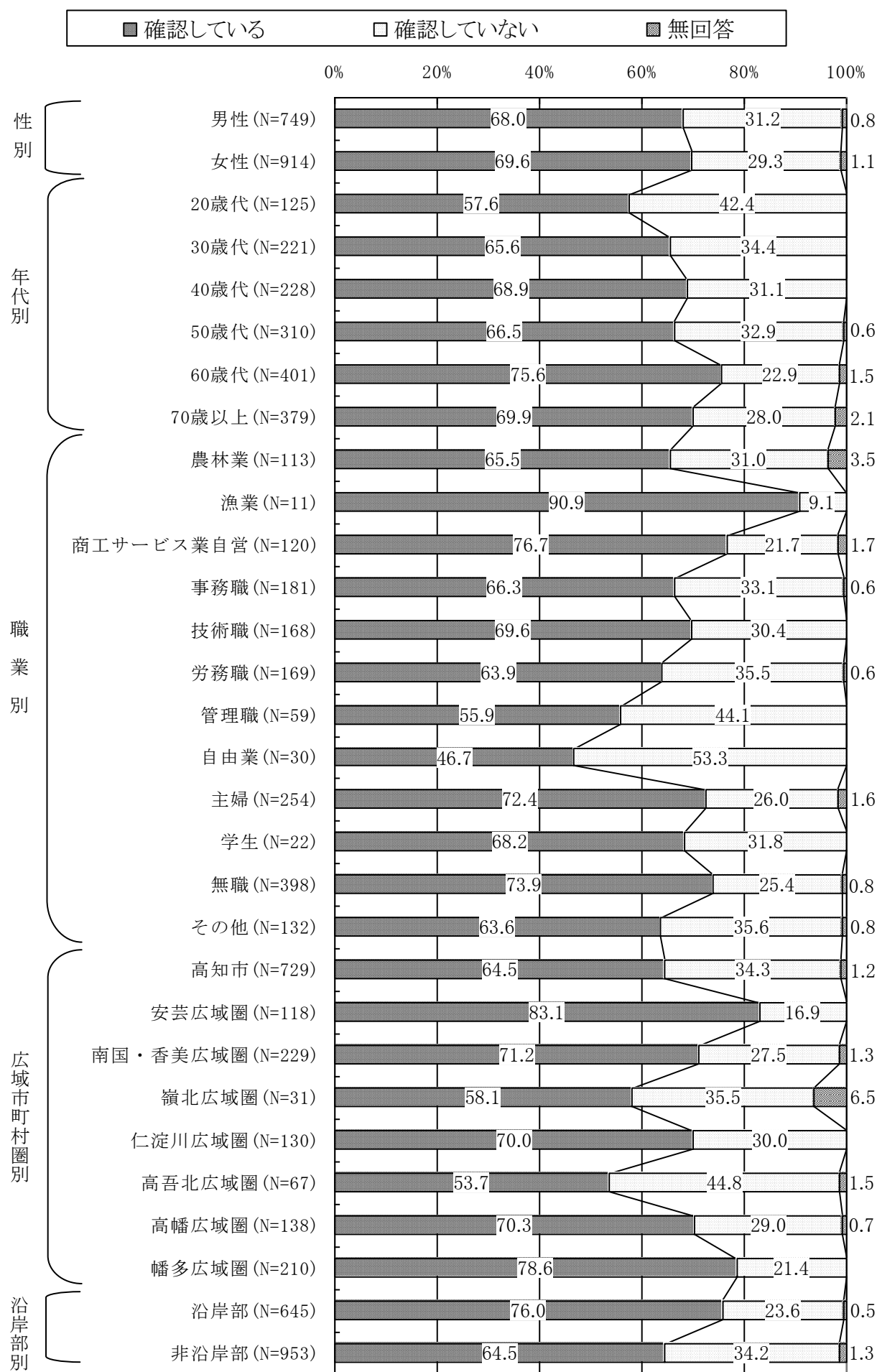
一方で、高吾北広域圏では53.7%、嶺北広域圏では58.1%と、中山間部で「確認している」の割合が他の地域に比べて低くなっている。

【沿岸部別】

「確認している」は、沿岸部の76.0%に対し非沿岸部では64.5%と、沿岸部が11.5ポイント上回っている。

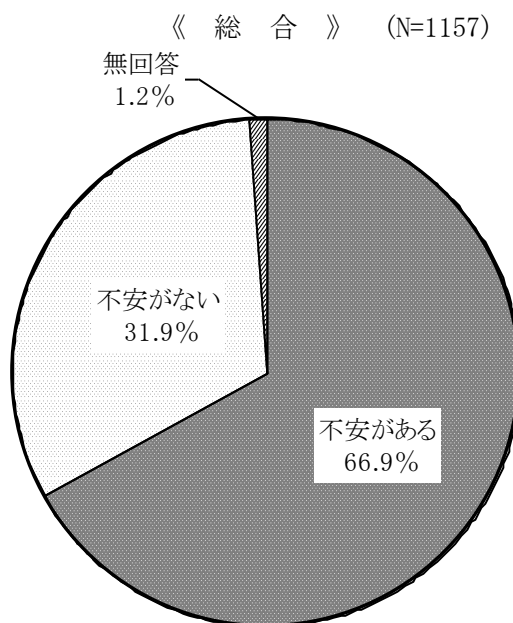


《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



問4副問1（問4で「1」を選んだ方のみお答えください。）避難場所や避難経路に対して、不安はありますか。（どちらかに○印）

南海地震が起きた場合の避難場所を「確認している」と答えた人が、避難場所や避難経路に対して不安があるかどうかについては、「不安がある」という人の割合が66.9%と約3分の2を占めている。



#### 【性別】

「不安がある」人の割合は女性の70.6%に対し男性が62.1%と、女性が8.5ポイント上回っている。

#### 【年代別】

年代による割合の差は、あまり見られない。

#### 【職業別】

「不安がある」人の割合は漁業で90.0%と最も高く、技術職、自由業、その他で7割を超えている。

一方、「不安がない」人の割合は、商工サービス業自営で40.2%、学生で40.0%と、他の職業区分に比べて高い。

#### 【広域市町村圏別】

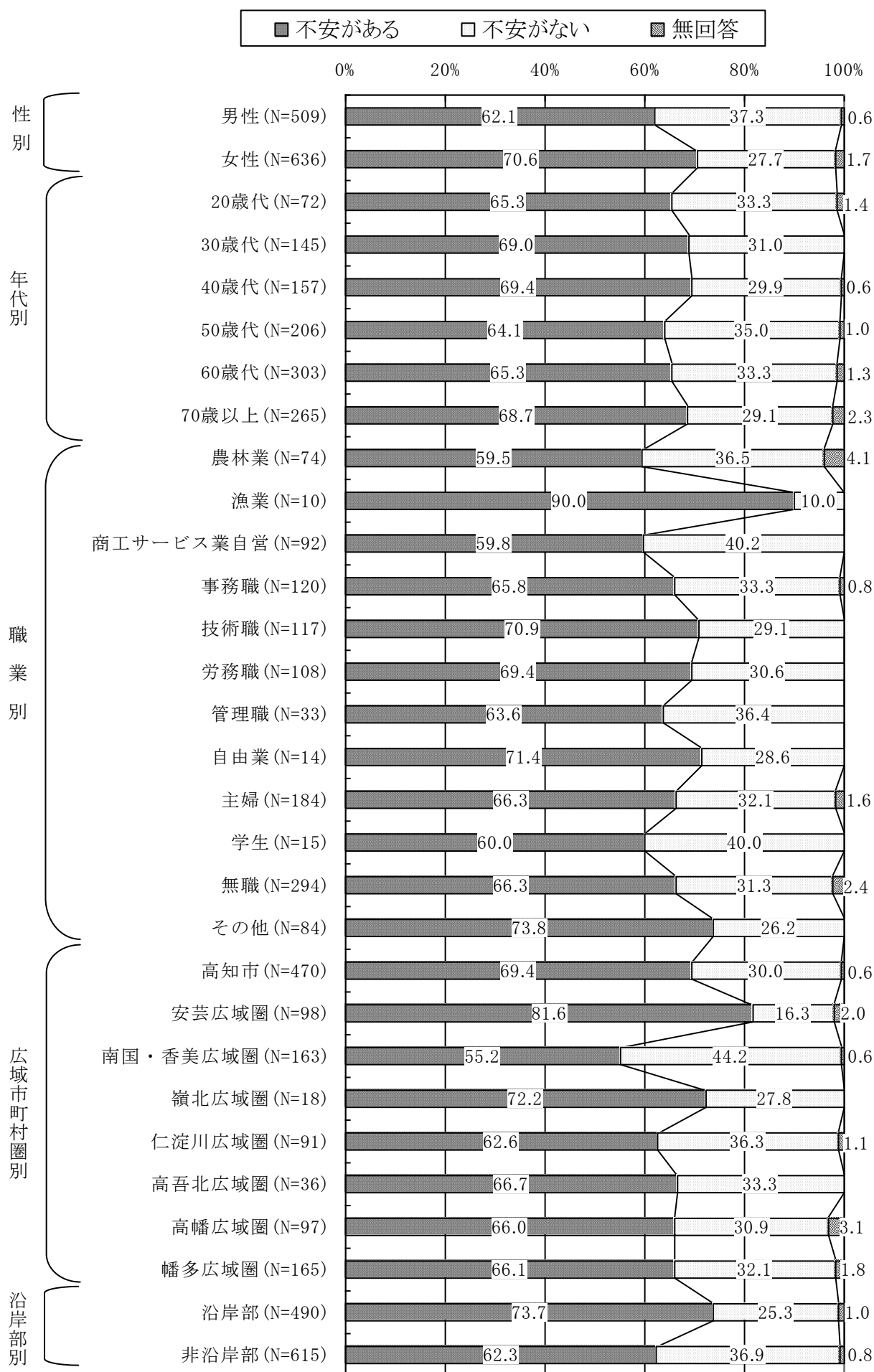
「不安がある」人の割合は安芸広域圏が81.6%と高く、続いて嶺北広域圏が72.2%、高知市が69.4%と高くなっている。

一方、「不安がない」人の割合は南国・香美広域圏が44.2%と他の地域に比べて高くなっている。

#### 【沿岸部別】

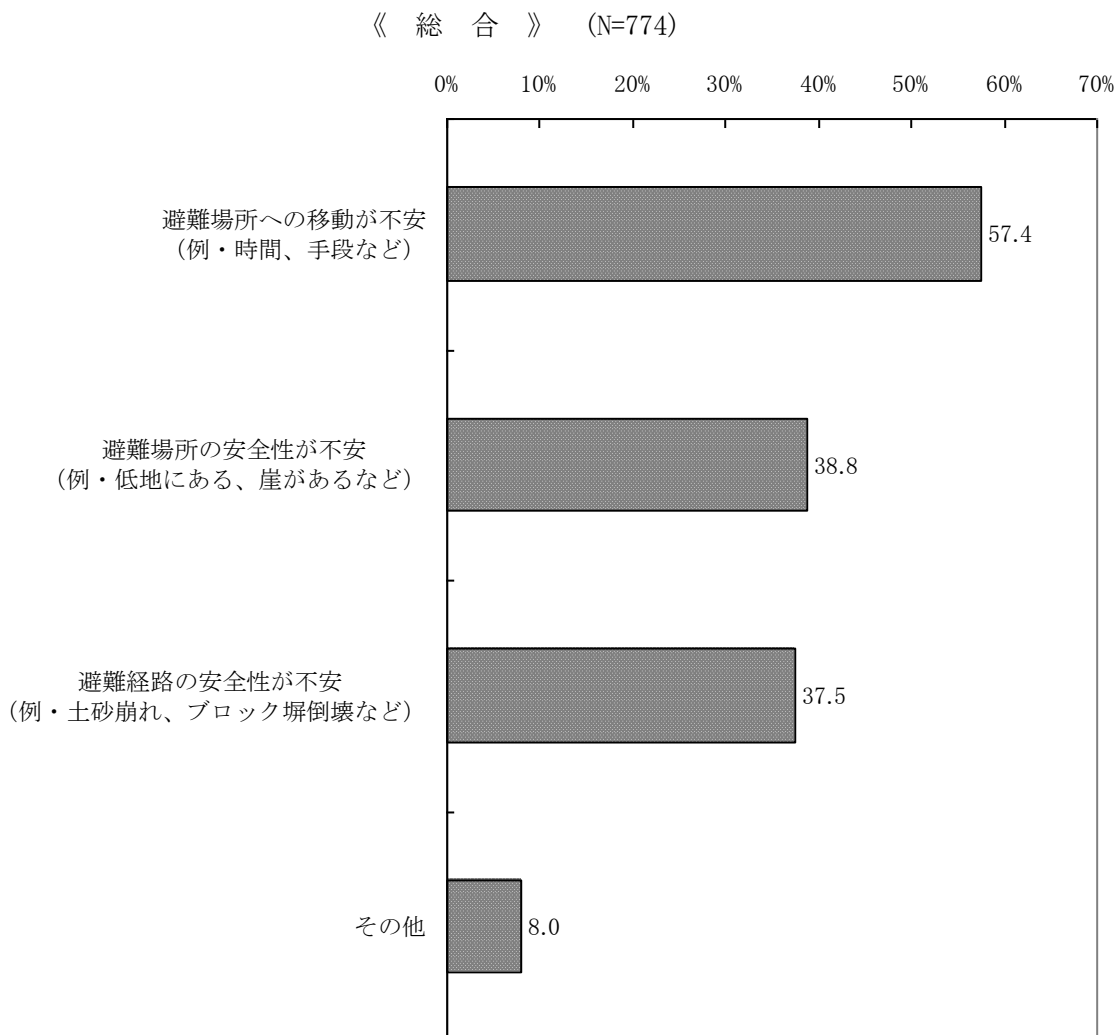
「不安がある」人の割合は、沿岸部の73.7%に対し非沿岸部は62.3%と、沿岸部が11.4ポイント上回っている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



問4副問2（副問1で「1」を選んだ方のみお答えください。）どのような不安か教えてください。（当てはまるものすべてに○印）

問4副問1で避難場所や避難経路に「不安がある」と答えた人が不安な点としたもので最も比率が高いのは、「避難場所への移動が不安」の57.4%で、続いて「避難場所の安全性が不安」が38.8%、「避難経路の安全性が不安」が37.5%となっている。



#### 【性別】

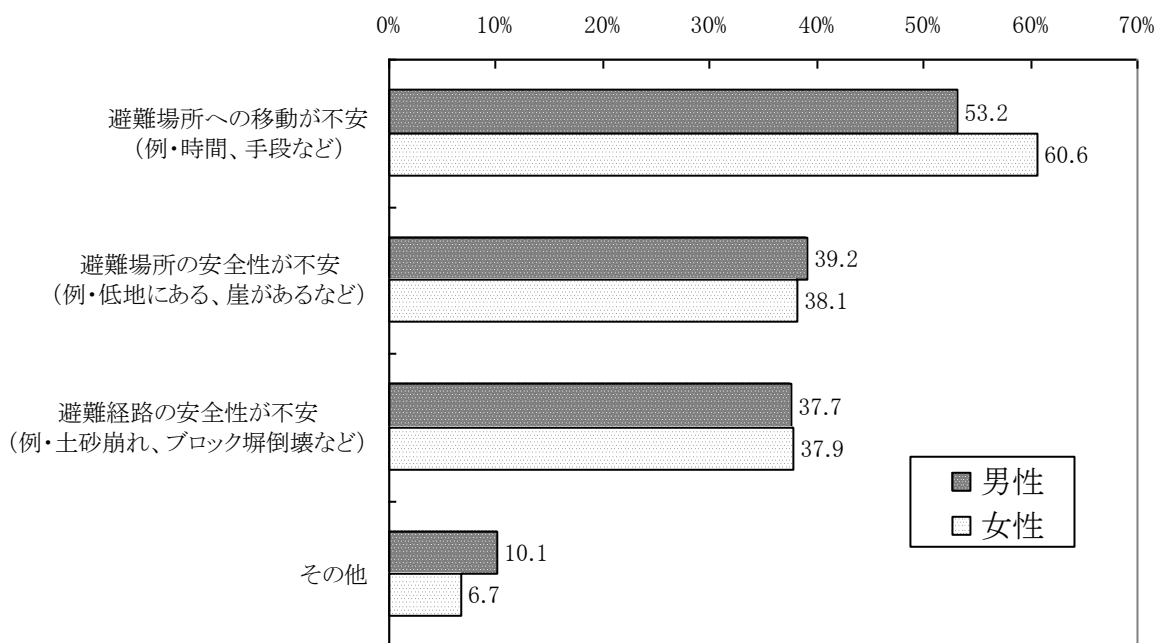
男女とも《総合》の順位と同じであるが、「避難場所への移動が不安」が女性で60.6%と男性の53.2%より7.4ポイント高くなっている。

#### 【年代別】

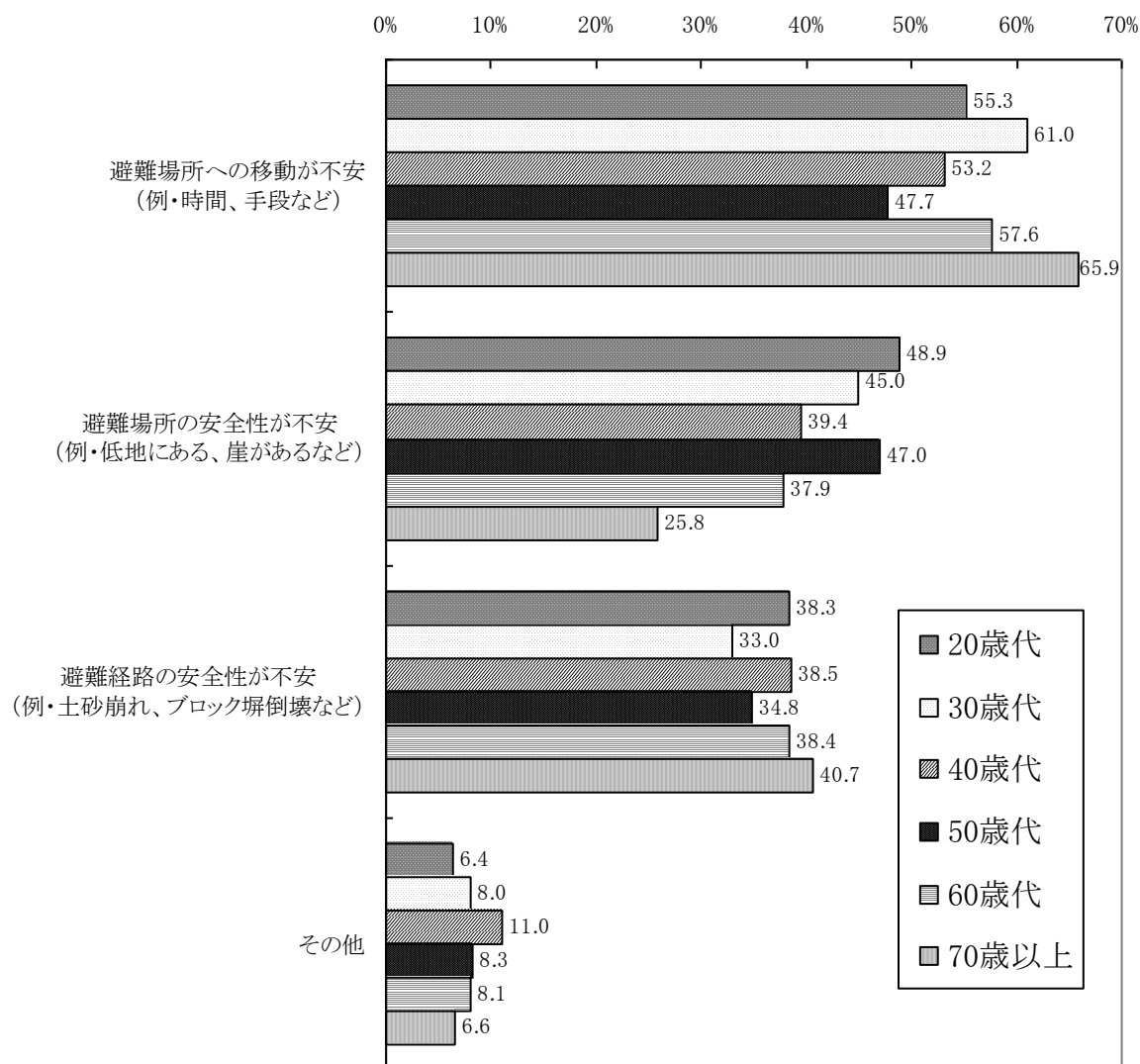
すべての年代で「避難場所への移動が不安」の比率が最も高くなっている。20歳代～50歳代では《総合》の順位と同じであるが、60歳以上では2位と3位が逆転している。

また、「避難場所への移動が不安」については、最も比率が高い70歳以上の65.9%に対し50歳代は47.7%と比率が低くなっており、「避難場所の安全性が不安」と答えた人は70歳以上では25.8%に留まるなど、年代によって不安を感じる点には違いが見られる。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

すべての職業区分で「避難場所への移動が不安」の比率が最も高く、中でも自由業が70.0%、漁業、学生がともに66.7%、無職が65.1%と65%を超える比率となっている。

また、漁業では、「避難経路の安全性が不安」が55.6%と他の職業区分に比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

嶺北広域圏、高吾北広域圏を除くすべての地域で「避難場所への移動が不安」が最も高くなっている。

嶺北広域圏、高吾北広域圏では、「避難経路の安全性が不安」が最も高くなっており、その比率は50%以上と他の地域に比べて高く、不安と感じる点に違いが見られる。特に、高吾北広域圏で「避難場所への移動が不安」が20.8%と、他の地域に比べて不安を感じている人がかなり少なくなっている。

【沿岸部別】

沿岸部、非沿岸部いずれも「避難場所への移動が不安」が高いが、比率を見ると沿岸部の59.8%が非沿岸部の54.8%を5ポイント上回っている。

また、「避難場所の安全性が不安」についても、沿岸部の42.9%が非沿岸部の35.0%を7.9ポイント上回っている。

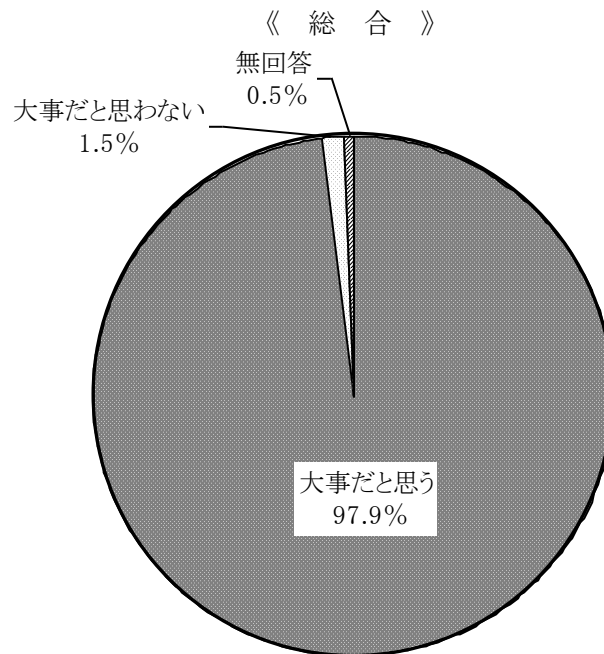
《 職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》

(単位：%)

項目		避難場所への移動が不安 (例・時間、手段など)	避難場所の安全性が不安 (例・低地にある、崖があるなど)	避難経路の安全性が不安 (例・土砂崩れ、ブロック塀倒壊など)	その他
職業別	農林業	50.0	47.7	43.2	4.5
	漁業	66.7	33.3	55.6	11.1
	商工サービス業自営	49.1	40.0	45.5	10.9
	事務職	62.0	44.3	34.2	5.1
	技術職	49.4	43.4	44.6	10.8
	労務職	50.7	48.0	36.0	9.3
	管理職	47.6	28.6	28.6	14.3
	自由業	70.0	10.0	20.0	10.0
	主婦	56.6	40.2	32.8	9.0
	学生	66.7	44.4	44.4	11.1
	無職	65.1	30.3	39.5	7.2
	その他	59.7	37.1	32.3	4.8
広域市町村圏別	高知市	61.3	35.3	37.4	8.3
	安芸広域圏	63.8	36.3	37.5	7.5
	南国・香美広域圏	51.1	43.3	33.3	7.8
	嶺北広域圏	38.5	38.5	53.8	15.4
	仁淀川広域圏	56.1	43.9	31.6	3.5
	高吾北広域圏	20.8	45.8	50.0	4.2
	高幡広域圏	59.4	37.5	43.8	10.9
	幡多広域圏	55.0	42.2	36.7	8.3
沿岸部別	沿岸部	59.8	42.9	36.3	7.8
	非沿岸部	54.8	35.0	39.2	8.1

問5 あなたは、いざというときに「地域の支え合い」は大事だと思いますか。(どちらかに○印)

いざというときの「地域の支え合い」が大事だと思うかどうかについては、「大事だと思う」の割合が97.9%と、大多数の人が地域の支え合いを重視していることが分かる。



【性別】

割合に男女差はほとんどない。

【年代別】

すべての年代で割合の差はほとんどない。

【職業別】

職業別で割合の差はほとんどない。漁業、自由業、学生はすべての人が「大事だと思う」と答えている。

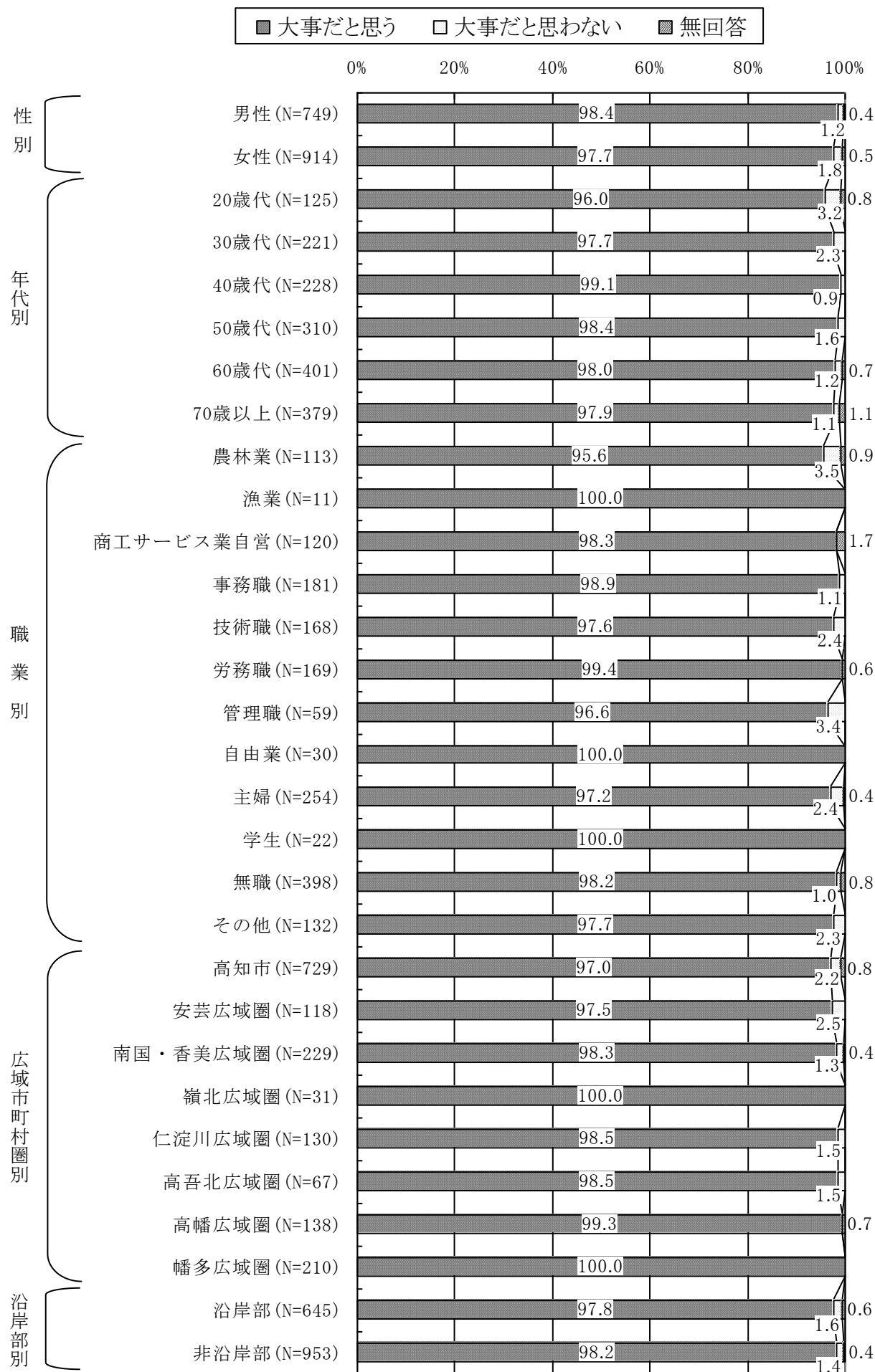
【広域市町村圏別】

広域市町村圏別で割合の差はほとんどない。嶺北広域圏、幡多広域圏ではすべての人が「大事だと思う」と答えている。

【沿岸部別】

沿岸部、非沿岸部とも割合の差はほとんどない。

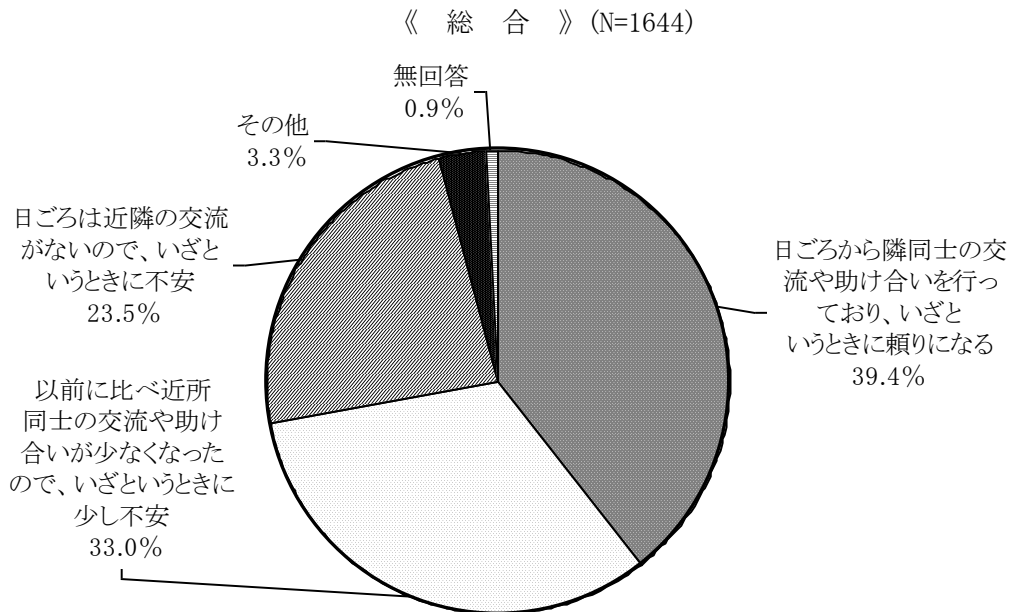
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》





**問5副問（問5で「1」を選んだ方のみお答えください。）あなたのお住まいの地域での「支え合い」について、どのように感じていますか。（1つだけ○印）**

問5で地域の支え合いが「大事だと思う」と答えた人が、居住地域での支え合いの現状をどう感じているかについては、「日ごろから隣同士の交流や助け合いを行っており、いざというときに頼りになる」（以下『日ごろから交流を行っている』）が39.4%と最も高く、「以前に比べ近所同士の交流や助け合いが少なくなったので、いざというときに少し不安」（以下『以前に比べ交流が少なくなった』）の33.0%、「日ごろは近隣の交流がないので、いざというときに不安」（以下『日ごろは交流がない』）の23.5%の順となっている。



**【性別】**

男女とも『日ごろから交流を行っている』が最も高いが、男性の36.6%に対して女性は41.3%と4.7ポイント上回っている。

**【年代別】**

『日ごろから交流を行っている』の割合は70歳以上では52.8%と過半数に達している一方で、20歳代～40歳代では30%程度と割合が低くなっている。

また、『日ごろは交流がない』は30歳代の39.8%、20歳代の34.2%に対して70歳以上は10.0%、60歳代は18.8%と年齢が高くなるほど日ごろから地域での交流や助け合いが行われている現状が見てとれる。

**【職業別】**

『日ごろから交流を行っている』の割合は、農林業が61.1%と他の職業区分に比べて高くなっており、学生は22.7%、労務職は26.8%と低くなっている。

また、『以前に比べ交流が少なくなった』の割合は、漁業が54.5%、自由業が46.7%、学生が45.5%と他の職業区分より高くなっている。

一方、『日ごろは交流がない』の割合は、農林業では6.5%、漁業では0%と低く、他の職業区分よりも日ごろの地域での交流や助け合いが行われている現状が見てとれる。

**【広域市町村圏別】**

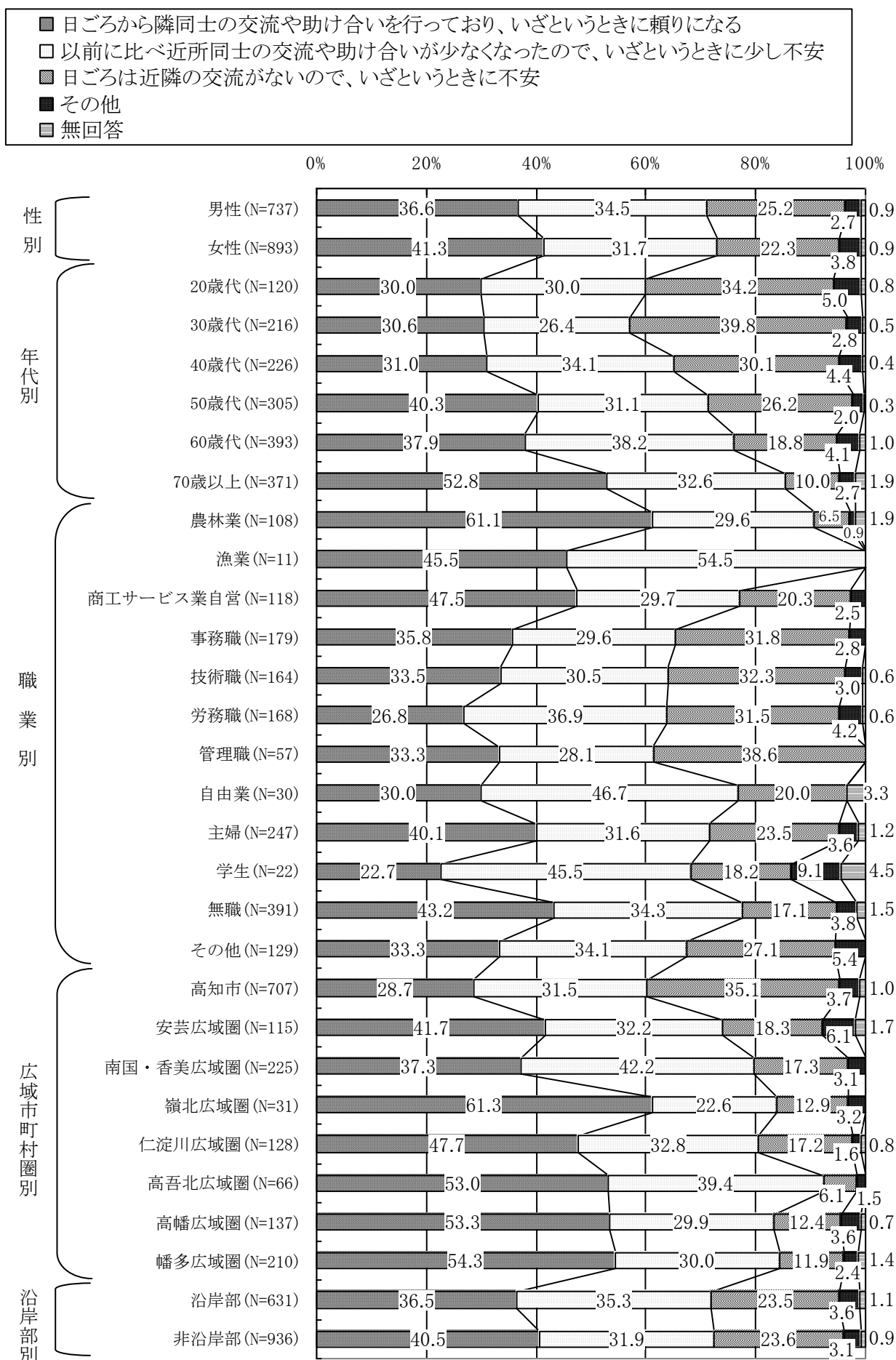
『日ごろから交流を行っている』の割合は嶺北広域圏が61.3%と高くなっており、幡多広域圏、高幡広域圏、高吾北広域圏でも50%を超えている。

一方、高知市では『日ごろから交流を行っている』が28.7%と他の地域と比べて低くなっており、『日ごろは交流がない』は35.1%と高い割合になっている。

**【沿岸部別】**

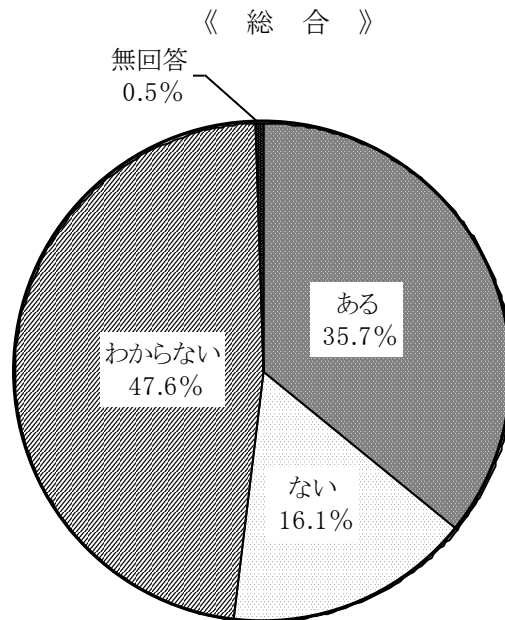
沿岸部、非沿岸部で大きな割合の差はない。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



**問6 大規模災害が発生した場合には、地域での自主防災活動が非常に重要となります。あなたのお住まいの地域に「自主防災組織」はありますか。(1つだけ○印)**

居住地域に自主防災組織があるかどうかについては、「ある」と答えた人の割合が35.7%、「ない」と答えた人の割合が16.1%と、自主防災組織の有無について回答できた人は51.8%である一方で、「わからない」と答えた人の割合が47.6%と半数近くを占めている。



**【性別】**

自主防災組織の有無を答えた人の割合は、男性で56.2%、女性で48.0%となっており、一方、「わからない」の割合は女性の51.4%が男性の43.3%を8.1ポイント上回っている。

**【年代別】**

「わからない」と答えた人の割合が20歳代、30歳代で70%を超えており、40歳代でも60%を超えるなど、年齢が低いほど「わからない」人の割合が高くなる傾向がある。

**【職業別】**

「わからない」と答えた人の割合は自由業で76.7%と特に高くなっており、事務職、労務職、学生でも60%近い割合になっている。

一方、農林業、漁業、商工サービス業自営、無職では、「わからない」と答えた人の割合は、40%未満となっている。

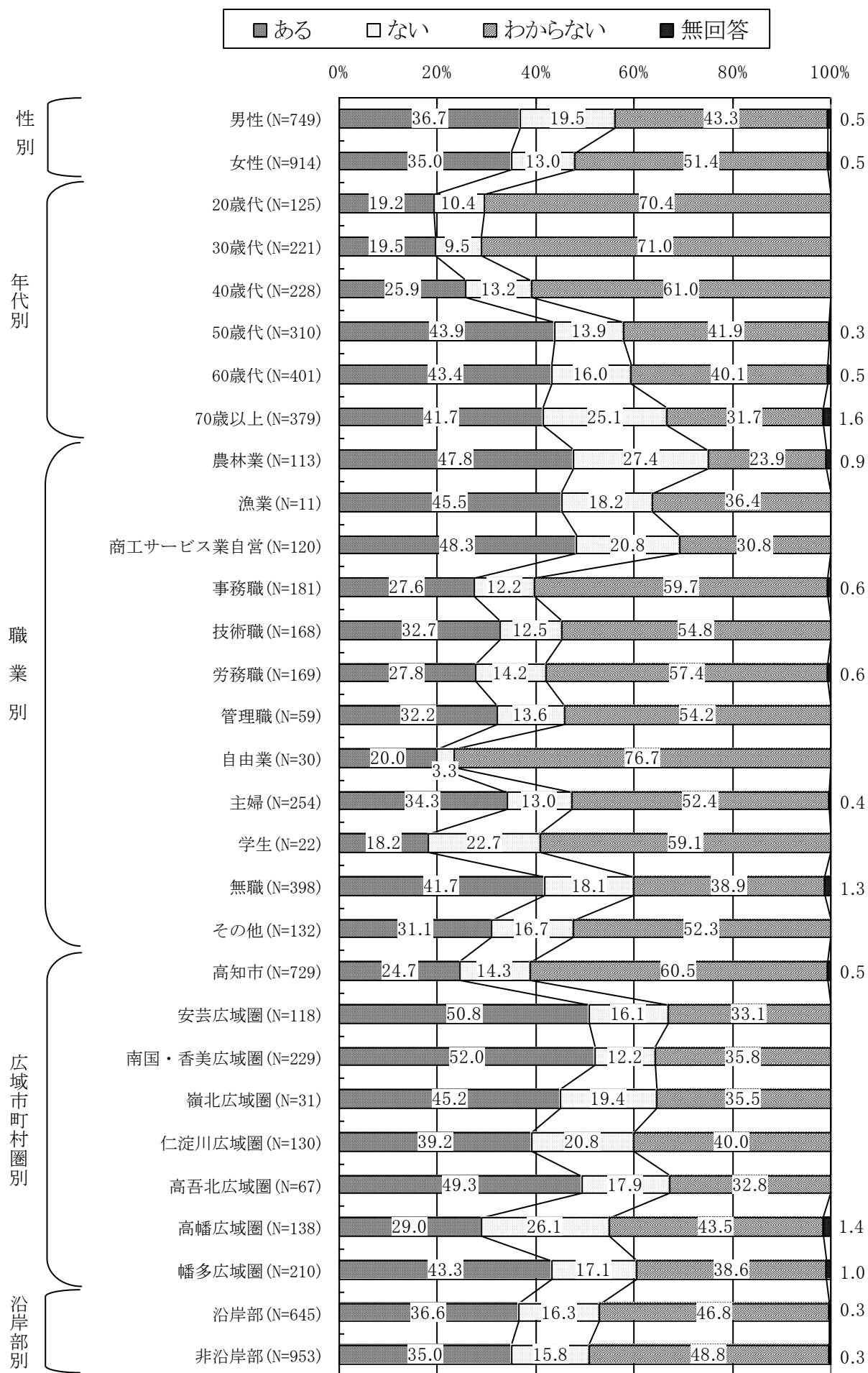
**【広域市町村圏別】**

高知市では「わからない」と答えた人の割合が60.5%と、他の地域に比べて特に高くなっている。

**【沿岸部別】**

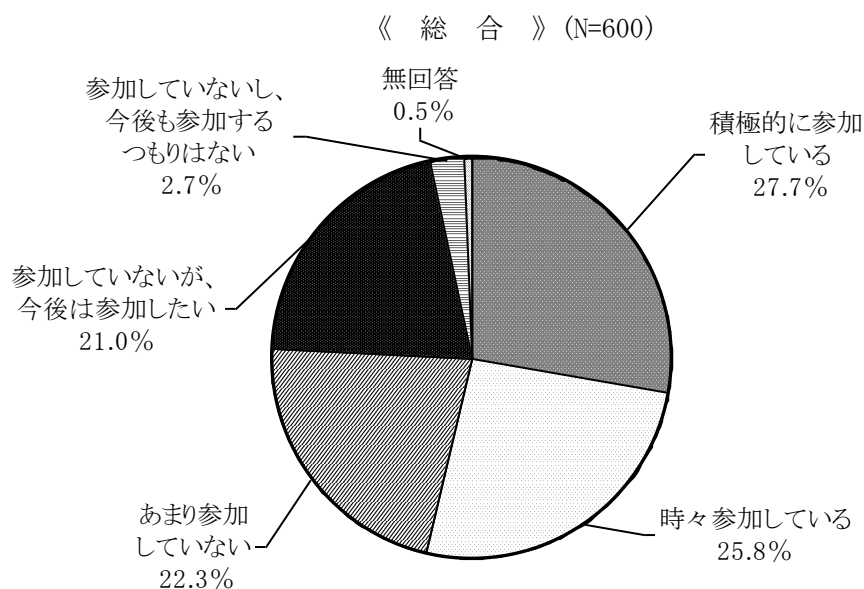
沿岸部、非沿岸部とも、《総合》の割合とほぼ同じであり差は見られない。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



問6副問（問6で「1」を選んだ方のみお答えください。）お住まいの地域の「自主防災組織」の活動に参加をしていますか。（1つだけ〇印）

自主防災組織があると答えた人がその活動に参加しているかどうかについては、『参加している』（＝「積極的に参加している」＋「時々参加している」）は53.5%、『参加していない』（＝「あまり参加していない」＋「参加していないが、今後は参加したい」＋「参加していないし、今後も参加するつもりはない」）は46.0%となっている。



【性別】

『参加している』は、男性が60.3%で女性の47.9%を12.4ポイント上回っており、参加している人の割合は男性の方が高いが、女性は「参加していないが、今後は参加したい」が26.3%と男性の15.3%を11ポイント上回っている。

【年代別】

『参加している』は70歳以上で63.9%と最も高く、年齢が高いほど積極的に参加している傾向にある。

【職業別】

『参加している』は自由業で83.3%、学生で75.0%と高い割合となっており、一方で、事務職は42.0%、労務職は42.5%、管理職は42.1%と低い割合を示している。

「参加していないが、今後は参加したい」と答えた人は、技術職で27.3%、主婦で29.9%と他の職業区分に比べて高い割合となっている。

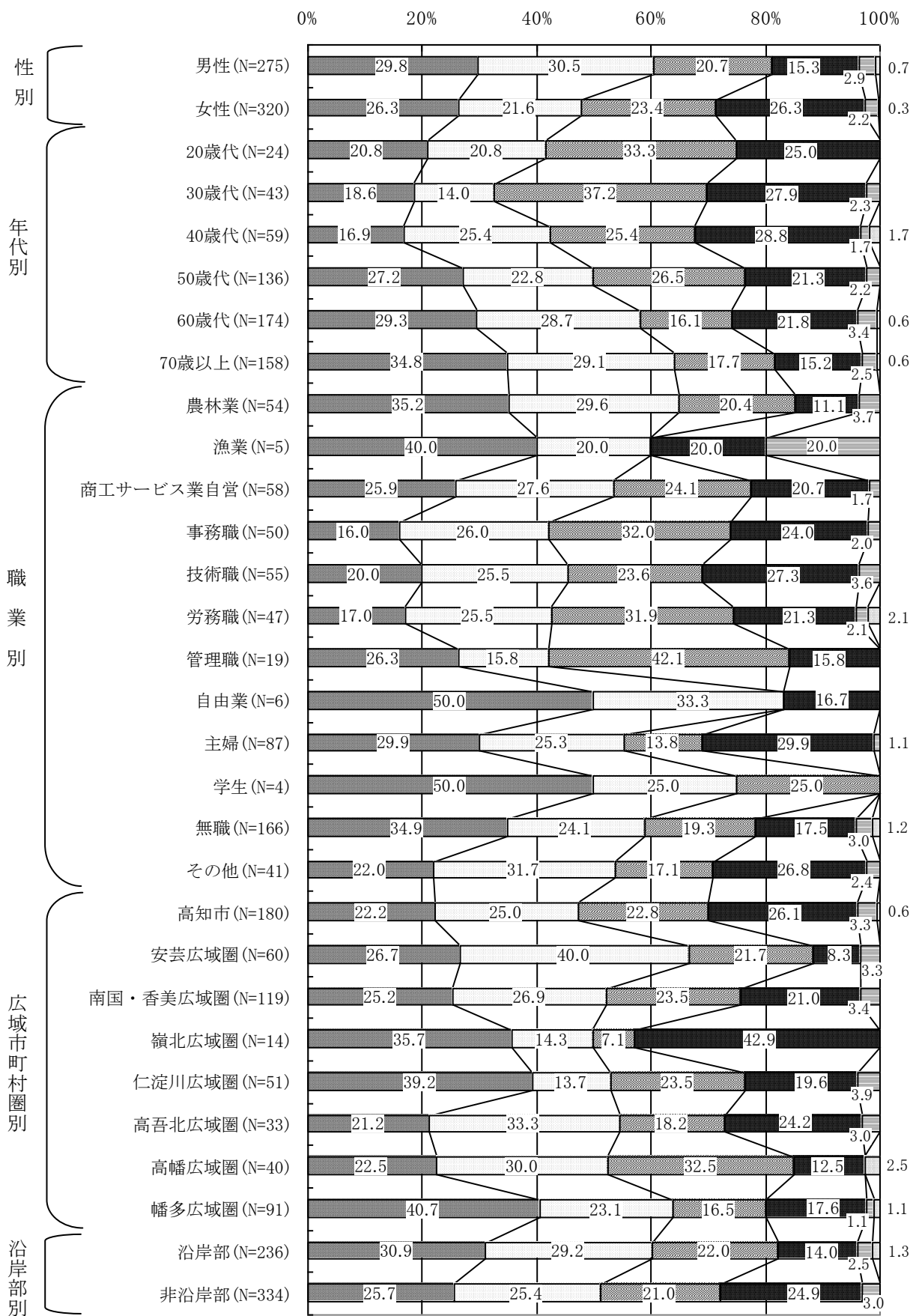
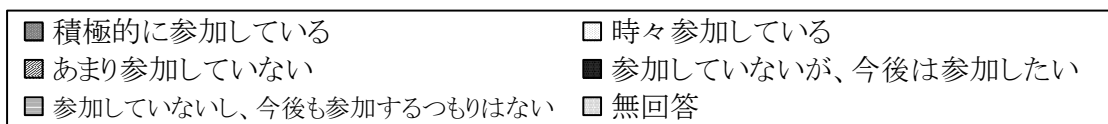
【広域市町村圏別】

『参加している』の割合は安芸広域圏で66.7%、幡多広域圏で63.8%と高い割合になっている。また、「積極的に参加している」の割合を見ると、幡多広域圏が40.7%、仁淀川広域圏が39.2%、嶺北広域圏が35.7%で他の地域に比べて高い。嶺北広域圏は「参加していないが、今後は参加したい」も42.9%と高い割合となっている。

【沿岸部別】

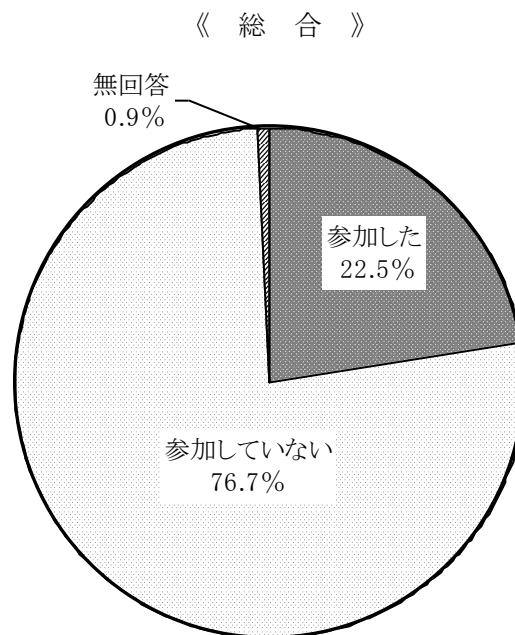
『参加している』の割合は、沿岸部が60.1%で非沿岸部の51.1%を9ポイント上回っているが、「参加していないが、今後は参加したい」は非沿岸部が24.9%となっており、沿岸部の14.0%を10.9ポイント上回っている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》



問7 あなたは、過去1年間に地域の自主防災組織や職場などの地震防災訓練に参加したことがありますか。(どちらかに○印)

地域や職場の地震防災訓練に参加したことがあるかどうかについては、「参加していない」の割合が76.7%と全体の4分の3以上を占めている。



**【性別】**

「参加した」の割合は男性の25.0%が女性の20.7%を4.3ポイント上回っている。

**【年代別】**

「参加した」の割合は50歳代の28.4%が他の年代に比べやや高いが、その他の年代は《総合》の割合とほとんど差がない。

**【職業別】**

「参加した」の割合は漁業の45.5%が他の職業区分に比べ高いが、主婦では15.7%、労務職では17.2%と低くなっている。

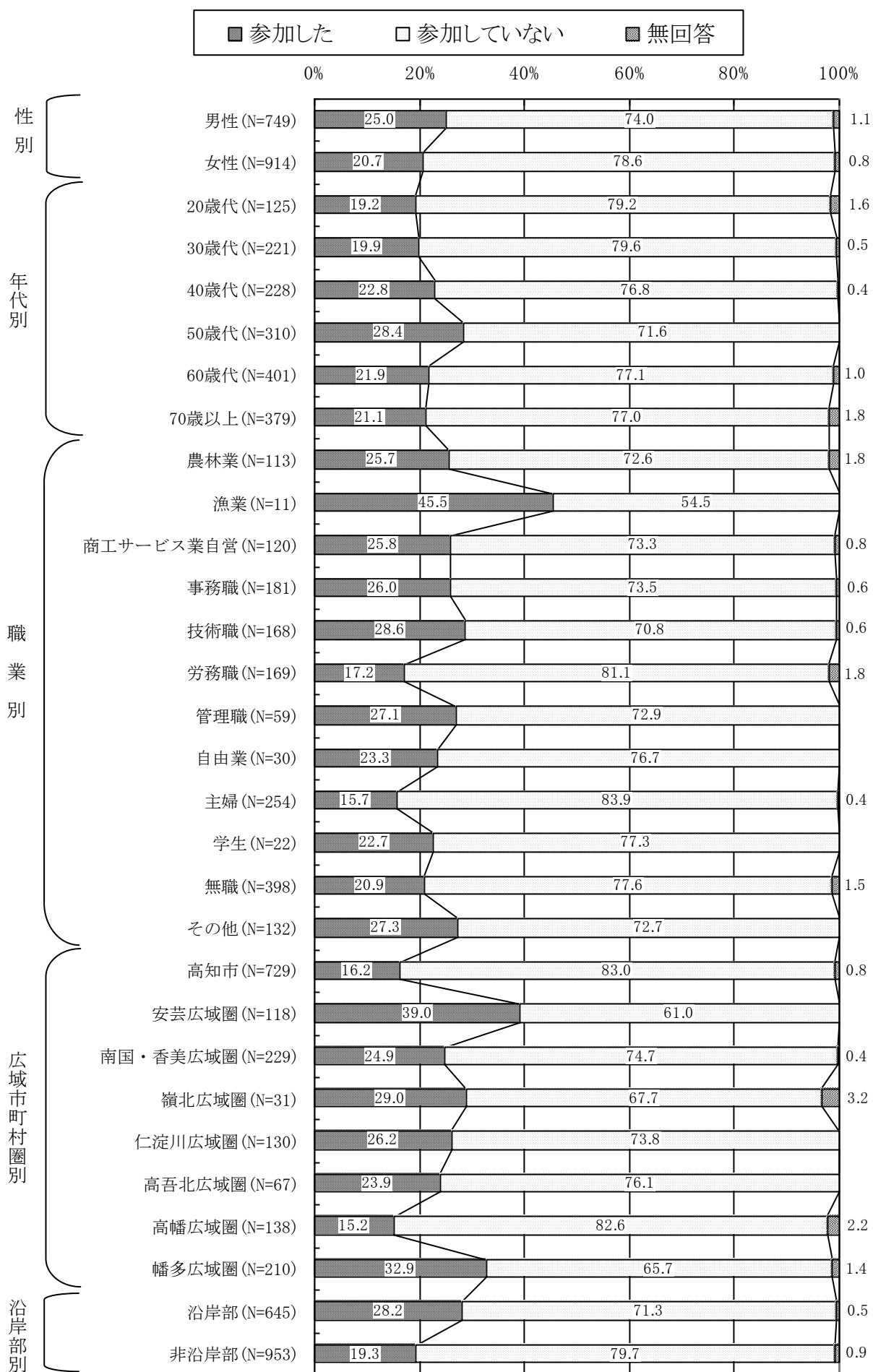
**【広域市町村圏別】**

「参加した」の割合は安芸広域圏の39.0%、幡多広域圏の32.9%、嶺北広域圏の29.0%が他の地域に比べて高いが、高幡広域圏では15.2%、高知市では16.2%と低くなっている。

**【沿岸部別】**

「参加した」の割合は、沿岸部の28.2%が非沿岸部の19.3%を8.9ポイント上回っている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別・沿岸部別 》

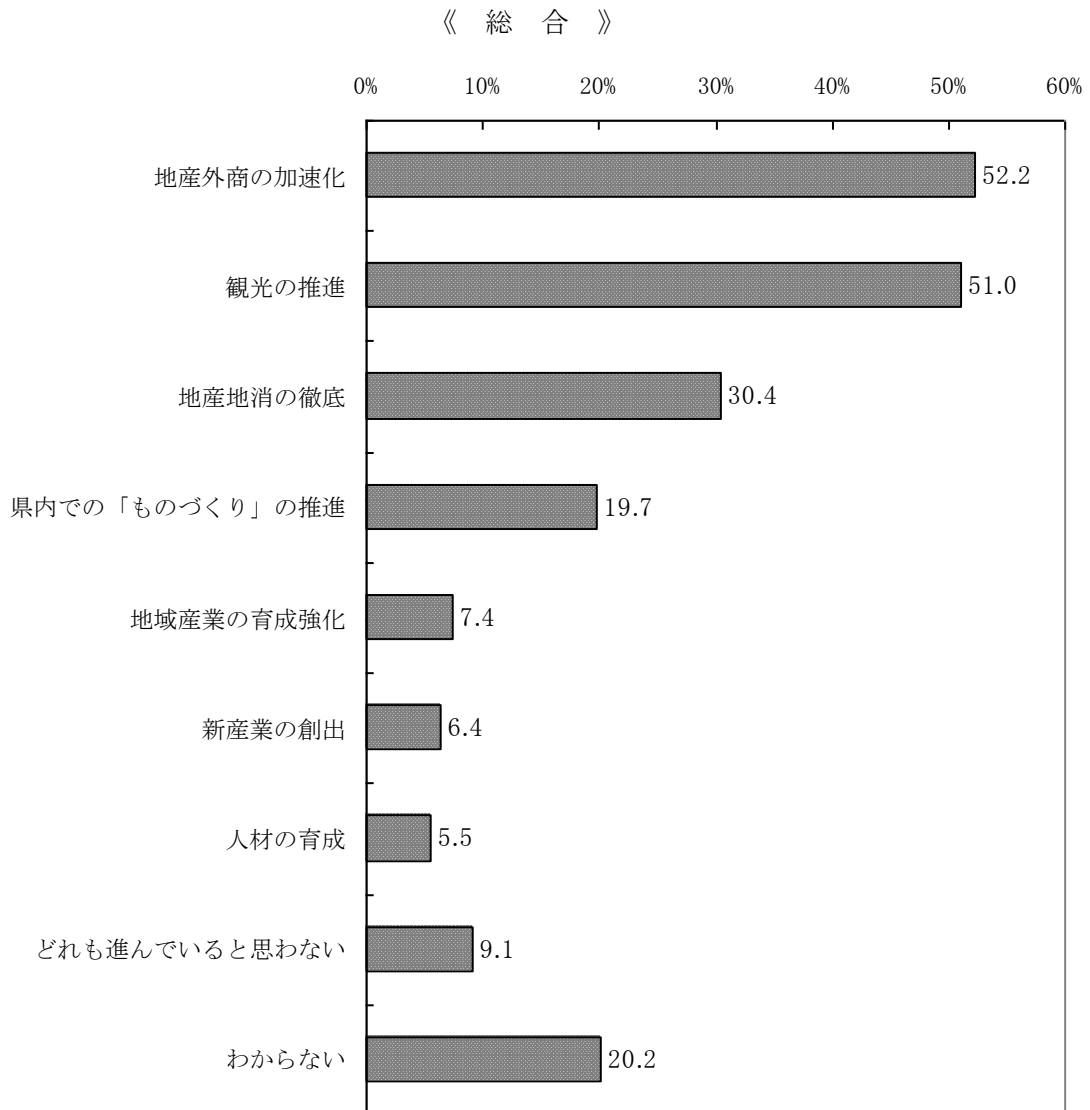




## 〔 2 〕 産業振興計画について

問 8 県では、これまでに、大きく分けて次の1～7の方向に基づき取り組みを進めてきました。1～7について、あなたが、取り組みが進んできたと思うものはどれですか。  
(当てはまるものすべてに○印)

県の産業振興計画での取り組みで進んできたと思うものについては、「地産外商の加速化」が52.2%、「観光の推進」が51.0%と、この2項目の比率が特に高く、「地産地消の徹底」が30.4%、「県内での『ものづくり』の推進」が19.7%と続いている。  
一方、「わからない」とする回答が20.2%の比率となっている。



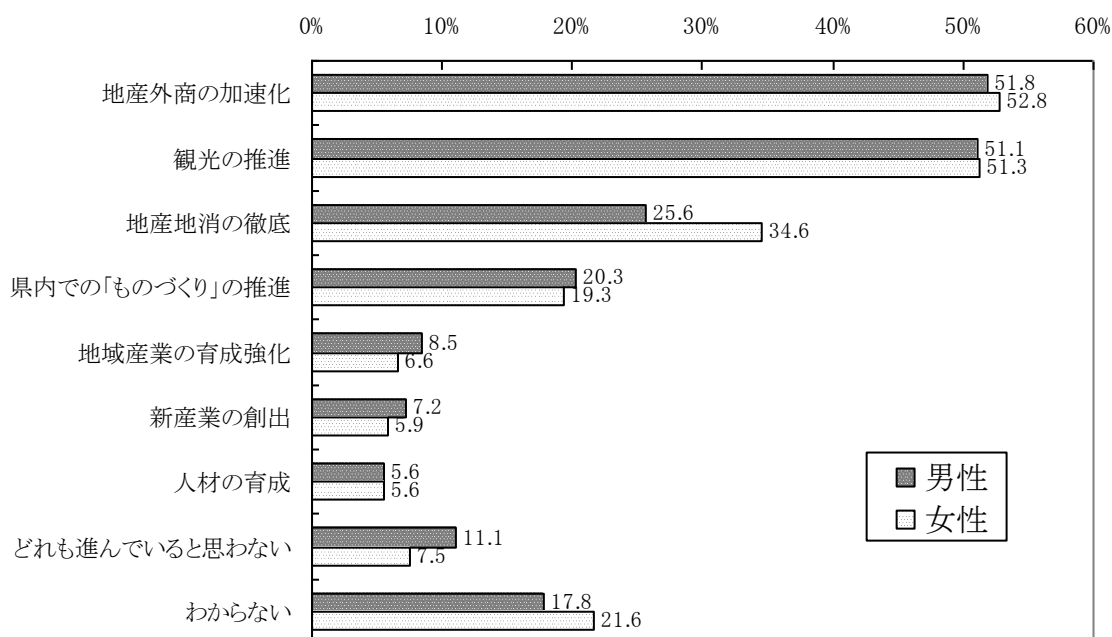
### 【性別】

男女とも過半数に達している「地産外商の加速化」「観光の推進」をはじめ、男女による差はあまりないが、「地産地消の徹底」は男性の25.6%に比べ女性は34.6%と9ポイント上回っている。

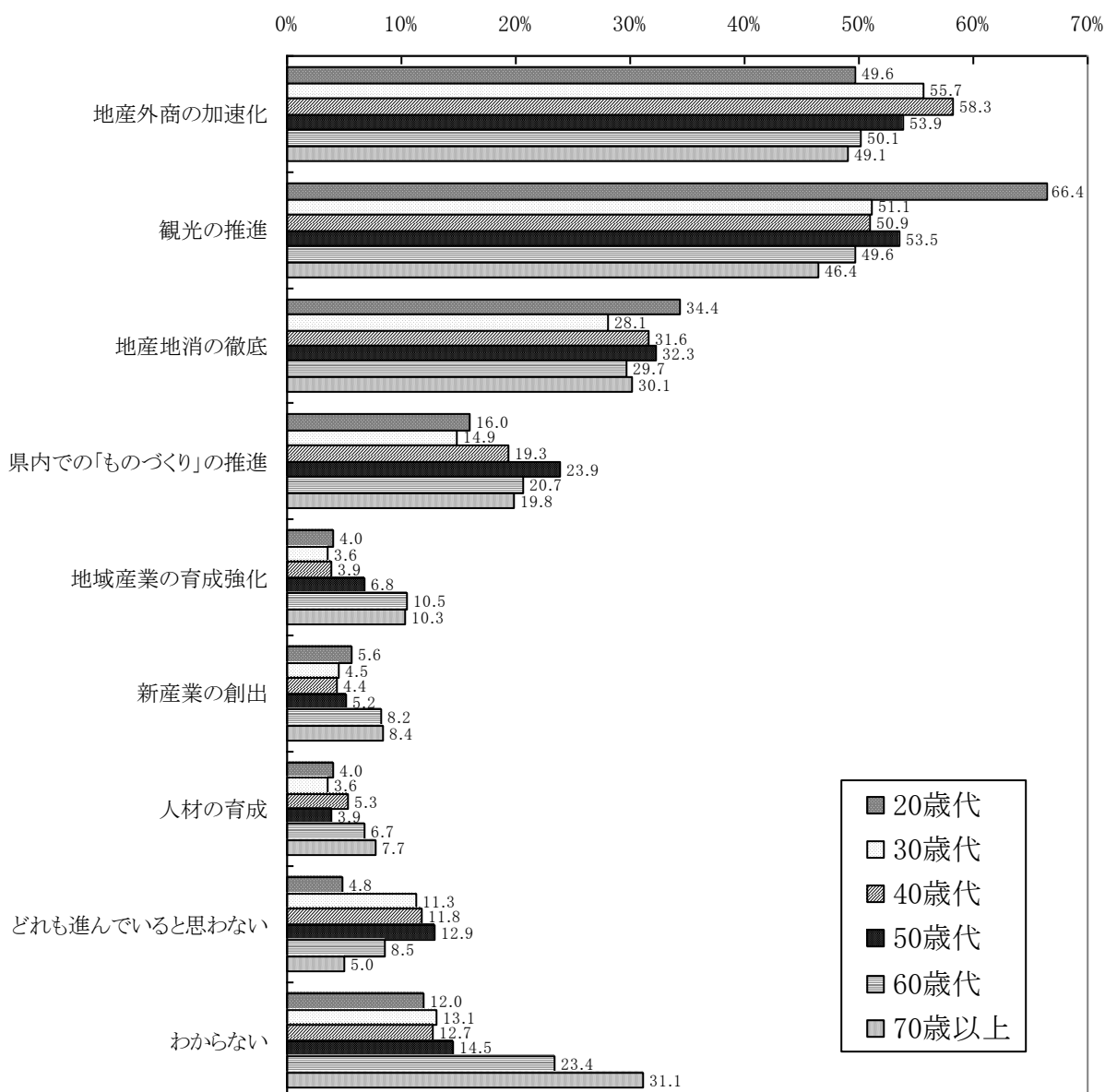
### 【年代別】

「地産外商の加速化」「観光の推進」はすべての年代で比率が高い。その中でも20歳代では「観光の推進」が66.4%と特に比率が高く、《総合》の1位と2位の順位が逆転している。年齢が高くなるほど「わからない」と答えた人の比率が高くなる傾向が見られる。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

漁業を除くすべての職業区分で《総合》の上位2項目のどちらかが最も高くなっており、中でも「観光の推進」の比率は学生が63.6%と高くなっている。

また、漁業では「わからない」が36.4%、「どれも進んでいると思わない」が27.3%と他の職業区分に比べて高い比率となっている。

【広域市町村圏別】

南国・香美広域圏と嶺北広域圏で「観光の推進」が最も高く、それ以外の地域では「地産外商の加速化」が最も高い比率を示している。特に嶺北広域圏では、「観光の推進」の比率が64.5%と他の地域に比べ高くなっている。

また、「わからない」と答えた人は、高吾北広域圏で35.8%、幡多広域圏で29.5%と他の地域に比べて高い比率となっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

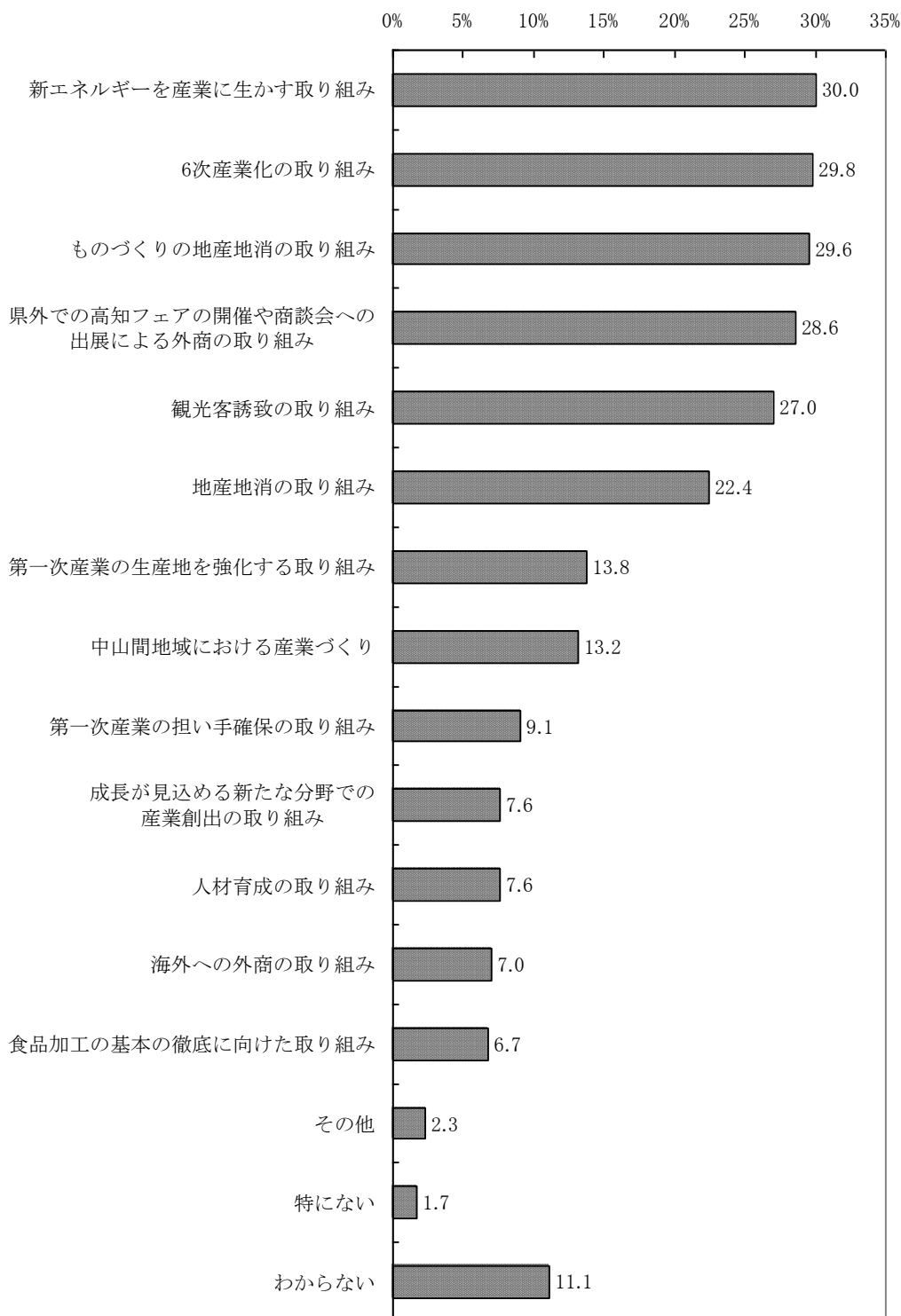
(単位：%)

属 性		項 目		地産外商の加速化	観光の推進	地産地消の徹底	県内での「ものづくり」の推進	地域産業の育成強化	新産業の創出	人材の育成	どれも進んでいると思わない	わからない
		地産外商の加速化	観光の推進									
職業別	農林業	53.1	40.7	28.3	29.2	12.4	5.3	6.2	7.1	24.8		
	漁業	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	36.4		
	商工サービス業自営	53.3	50.8	35.8	19.2	6.7	7.5	6.7	11.7	19.2		
	事務職	56.4	54.1	31.5	19.9	6.6	5.0	3.3	9.4	11.0		
	技術職	57.7	58.9	36.9	25.0	7.1	5.4	4.8	10.1	9.5		
	労務職	52.7	48.5	21.9	17.8	4.1	5.3	3.0	15.4	13.6		
	管理職	57.6	55.9	32.2	13.6	1.7	1.7	5.1	13.6	10.2		
	自由業	50.0	53.3	13.3	10.0	3.3	10.0	6.7	10.0	10.0		
	主婦	55.1	53.5	39.4	20.9	5.5	5.5	6.3	7.1	21.7		
	学生	54.5	63.6	36.4	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1		
	無職	47.5	49.7	27.1	20.4	11.3	9.8	7.8	5.8	29.4		
その他	50.8	53.0	28.8	12.1	6.1	5.3	4.5	9.8	19.7			
広域市町村圏別	高知市	55.3	54.5	35.1	19.6	6.4	6.7	7.1	11.0	15.5		
	安芸広域圏	50.8	50.0	20.3	20.3	7.6	5.1	3.4	5.1	23.7		
	南国・香美広域圏	54.1	57.2	36.7	21.8	7.9	7.0	5.7	6.1	17.9		
	嶺北広域圏	54.8	64.5	32.3	16.1	9.7	6.5	3.2	9.7	19.4		
	仁淀川広域圏	56.2	50.8	33.1	21.5	10.0	12.3	3.8	9.2	17.7		
	高吾北広域圏	46.3	44.8	11.9	16.4	3.0	1.5	6.0	6.0	35.8		
	高幡広域圏	48.6	38.4	26.1	18.8	7.2	0.7	2.9	9.4	26.8		
	幡多広域圏	42.9	40.5	20.5	18.1	10.0	6.7	4.8	9.5	29.5		

**問9 あなたが、今後「高知県産業振興計画」をさらに進めるために、充実させた方がよいと思われる具体的な取り組みはどれですか。（3つまで○印）**

「高知県産業振興計画」をさらに進めるために充実させた方がよいと思う取り組みについては、「新エネルギーを産業に生かす取り組み」が30.0%と最も高く、続いて「6次産業化の取り組み」が29.8%、「ものづくりの地産地消の取り組み」が29.6%、「県外での高知フェアの開催や商談会への出展による外商の取り組み」が28.6%、「観光客誘致の取り組み」が27.0%と、上位5項目があまり差のない比率で並んでいる。

《 総 合 》

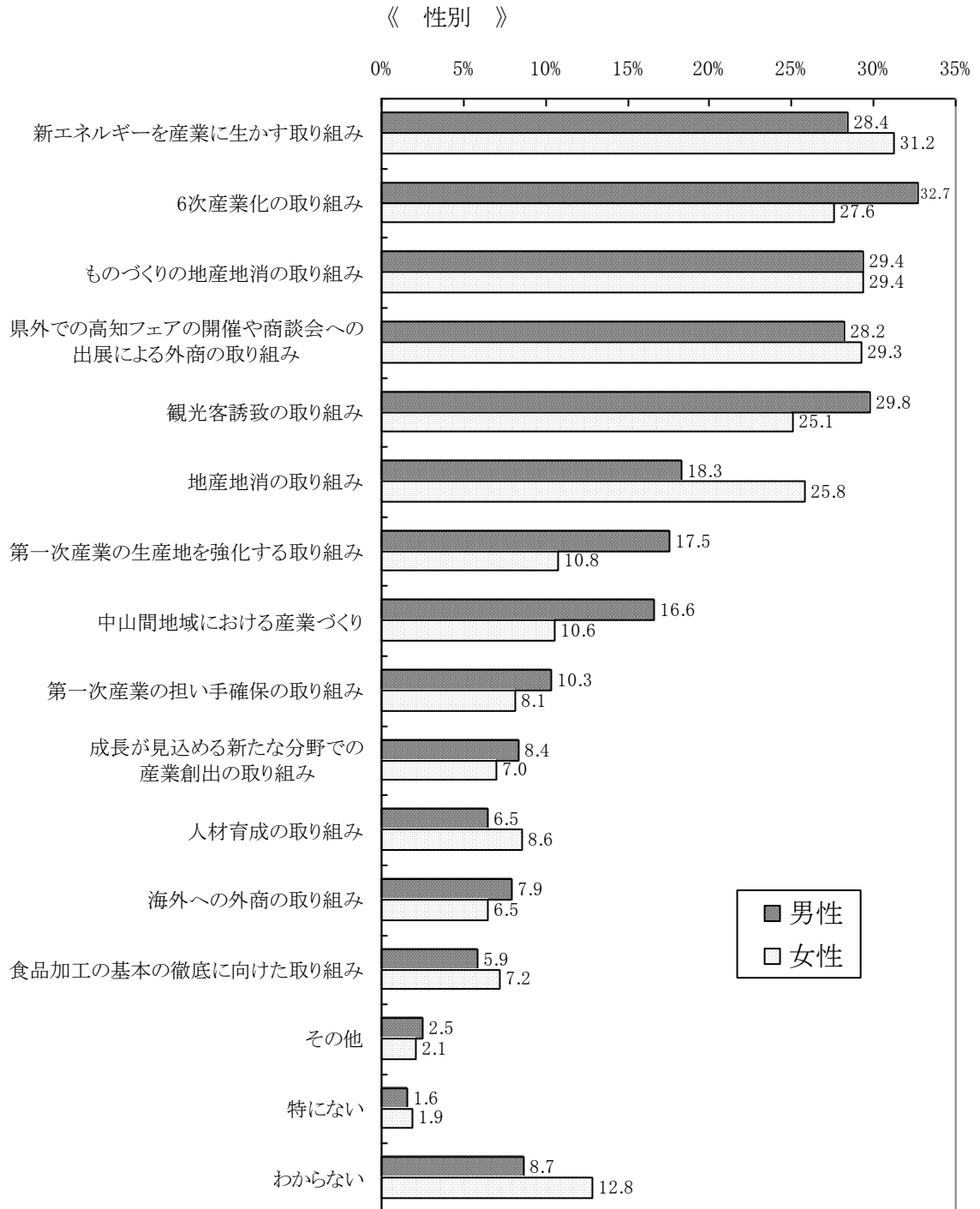


**【性別】**

男性は「6次産業化の取り組み」が32.7%と最も高く、続いて「観光客誘致の取り組み」が29.8%、「ものづくりの地産地消の取り組み」が29.4%となっている。

一方、女性は「新エネルギーを産業に生かす取り組み」が31.2%で最も高く、続いて「ものづくりの地産地消の取り組み」が29.4%、「県外での高知フェアの開催や商談会への出展による外商の取り組み」が29.3%の順に高くなっている。

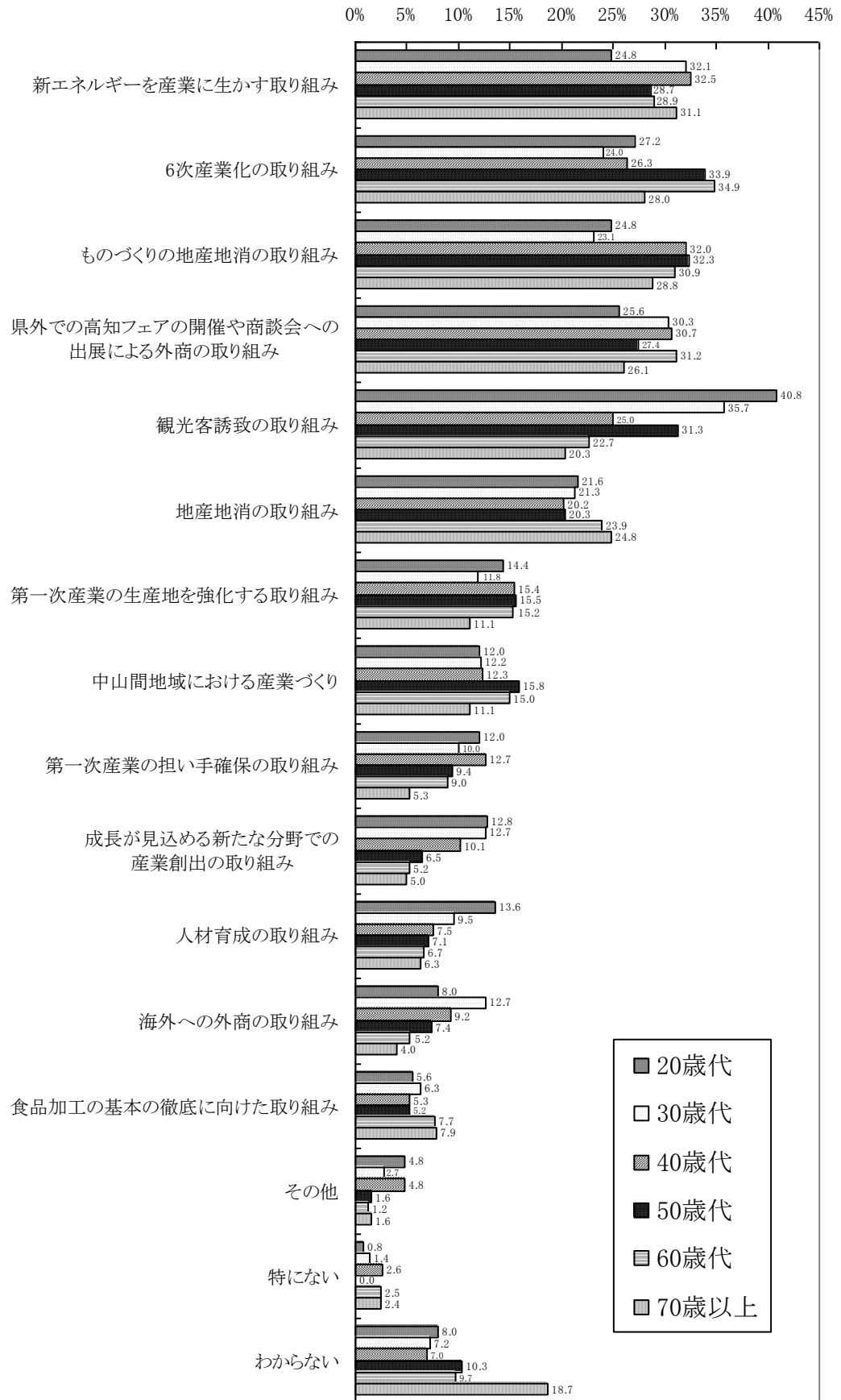
また、この項目でも問8の結果と同様に地産地消の取り組みに対する男女間の差は大きい。



【年代別】

すべての年代で、《総合》の上位5項目のいずれかが最も高くなっている。20歳代、30歳代では「観光客誘致の取り組み」が、40歳代、70歳以上では「新エネルギーを産業に生かす取り組み」が、50歳代、60歳代では「6次産業化の取り組み」がそれぞれ最も高い比率を示している。

《 年代別 》



【職業別】

職業区分により順位、比率とも違いが見られる。《総合》で上位となっている項目のうち、「新エネルギーを産業に生かす取り組み」は農林業で38.9%、技術職で37.5%、「6次産業化の取り組み」は漁業で54.5%、また「観光客誘致の取り組み」は学生で40.9%、管理職で39.0%と他の職業区分に比べて高い比率を示している。

【広域市町村圏別】

地域により順位、比率とも違いが見られるが、嶺北広域圏、高吾北広域圏を除くすべての地域で上位の6項目は《総合》と同じである。《総合》の上位3項目で見ると、「新エネルギーを産業に生かす取り組み」の比率は高吾北広域圏で38.8%、嶺北広域圏で38.7%と高く、「6次産業化の取り組み」の比率は安芸広域圏で40.7%、南国・香美広域圏で38.4%と高い。「ものづくりの地産地消の取り組み」の比率は仁淀川広域圏で35.4%と他の地域に比べ高くなっている。

また、《総合》7位の「第一次産業の生産地を強化する取り組み」は、嶺北広域圏で「新エネルギーを産業に生かす取り組み」に次ぐ2位で32.3%となっており、他の地域に比べて特に高くなっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

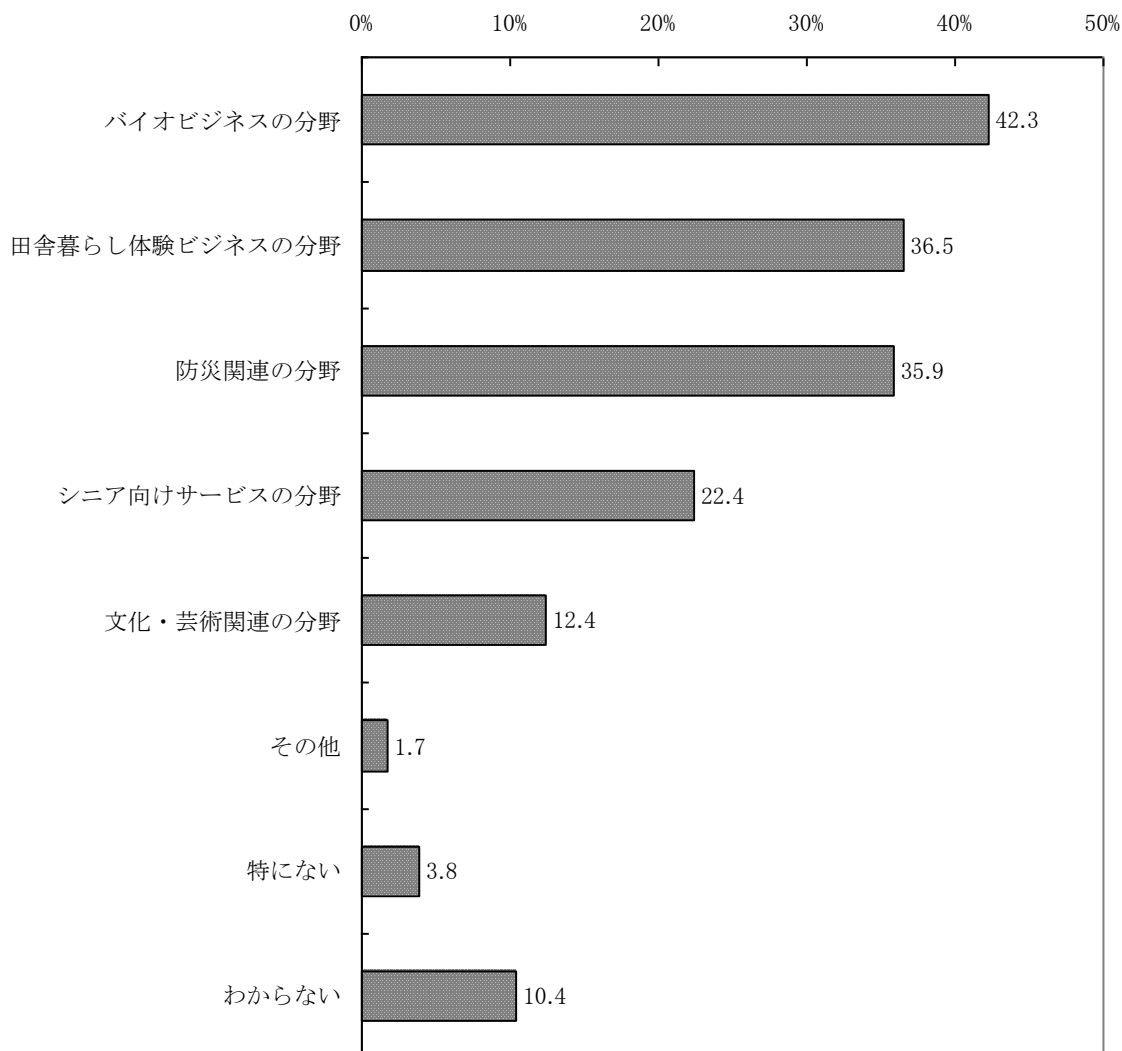
(単位：%)

項目 属性	新エネルギーを産業に生かす取り組み	6次産業化の取り組み	ものづくりの地産地消の取り組み	県外での高知フテの開催や商談会への出展による外商の取り組み	観光客誘致の取り組み	地産地消の取り組み	第一次産業の生産地を強化する取り組み	中山間地域における産業づくり	第一次産業の担い手確保の取り組み	成長が見込める新たな分野での産業創出の取り組み	人材育成の取り組み	海外への外商の取り組み	食品加工の基本の徹底に向けた取り組み	その他	特になし	わからない	
	職業別	農林業	38.9	35.4	31.9	25.7	19.5	25.7	20.4	15.0	13.3	2.7	1.8	2.7	8.8	0.9	0.9
	漁業	9.1	54.5	45.5	0.0	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3
	商工サービス業自営	27.5	34.2	35.0	22.5	30.8	19.2	13.3	15.8	10.8	7.5	6.7	8.3	3.3	0.8	0.8	10.8
	事務職	26.5	31.5	30.4	37.0	32.0	27.1	13.3	13.3	8.8	8.8	12.2	10.5	1.7	4.4	1.1	4.4
	技術職	37.5	29.2	31.0	23.8	31.0	19.6	14.3	13.1	10.1	9.5	8.3	7.1	8.9	2.4	0.0	7.7
	労務職	35.5	24.9	36.7	26.6	26.0	19.5	14.8	19.5	12.4	8.9	7.1	4.7	6.5	1.2	1.2	6.5
	管理職	28.8	32.2	22.0	35.6	39.0	16.9	32.2	13.6	13.6	1.7	8.5	11.9	3.4	6.8	1.7	3.4
	自由業	26.7	23.3	33.3	36.7	30.0	13.3	10.0	10.0	23.3	16.7	0.0	6.7	16.7	6.7	3.3	3.3
	主婦	31.1	25.2	29.5	34.6	22.8	31.9	10.2	7.1	8.3	5.9	7.9	6.3	8.7	1.2	2.4	11.8
	学生	31.8	31.8	22.7	22.7	40.9	18.2	13.6	9.1	13.6	22.7	22.7	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5
	無職	27.1	31.4	25.9	26.9	23.1	21.1	12.1	14.1	5.3	7.5	6.8	6.5	7.5	2.0	3.3	16.1
	その他	24.2	31.8	22.7	29.5	35.6	15.2	13.6	12.1	6.8	6.8	7.6	10.6	5.3	3.8	0.8	16.7
広域市町村圏別	高知市	31.6	27.0	29.6	31.8	29.4	24.1	12.8	12.3	9.7	8.4	8.2	9.1	6.4	3.6	1.4	8.6
	安芸広域圏	28.8	40.7	21.2	23.7	20.3	20.3	16.9	10.2	9.3	5.9	11.0	8.5	8.5	0.8	0.8	13.6
	南国・香美広域圏	30.6	38.4	27.1	30.6	29.3	21.0	14.8	12.7	10.9	7.4	7.0	6.6	6.1	0.9	2.2	10.0
	嶺北広域圏	38.7	32.3	22.6	16.1	25.8	16.1	32.3	19.4	6.5	3.2	12.9	6.5	3.2	0.0	0.0	12.9
	仁淀川広域圏	27.7	27.7	35.4	27.7	21.5	23.8	16.9	8.5	8.5	13.1	8.5	9.2	6.2	1.5	1.5	7.7
	高吾北広域圏	38.8	23.9	29.9	25.4	20.9	23.9	9.0	22.4	7.5	3.0	4.5	6.0	9.0	1.5	1.5	13.4
	高幡広域圏	29.0	30.4	33.3	27.5	29.0	21.7	13.0	18.8	7.2	2.9	6.5	1.4	5.1	2.9	0.0	15.9
	幡多広域圏	23.3	27.6	31.0	22.4	23.8	19.0	11.4	15.2	7.6	6.7	3.8	2.9	8.6	1.4	4.3	17.6

**問 10 あなたが、(問 9 に掲げた取り組みのほかに) 今後、成長が期待でき、強化すべきだと思う分野はどれですか。(2 つまで○印)**

産業振興計画に関連して、成長が期待でき強化すべきだと思う分野については、「バイオビジネスの分野」が 42.3%で最も高く、続いて「田舎暮らし体験ビジネスの分野」が 36.5%、「防災関連の分野」が 35.9%となっている。

《 総 合 》



**【性別】**

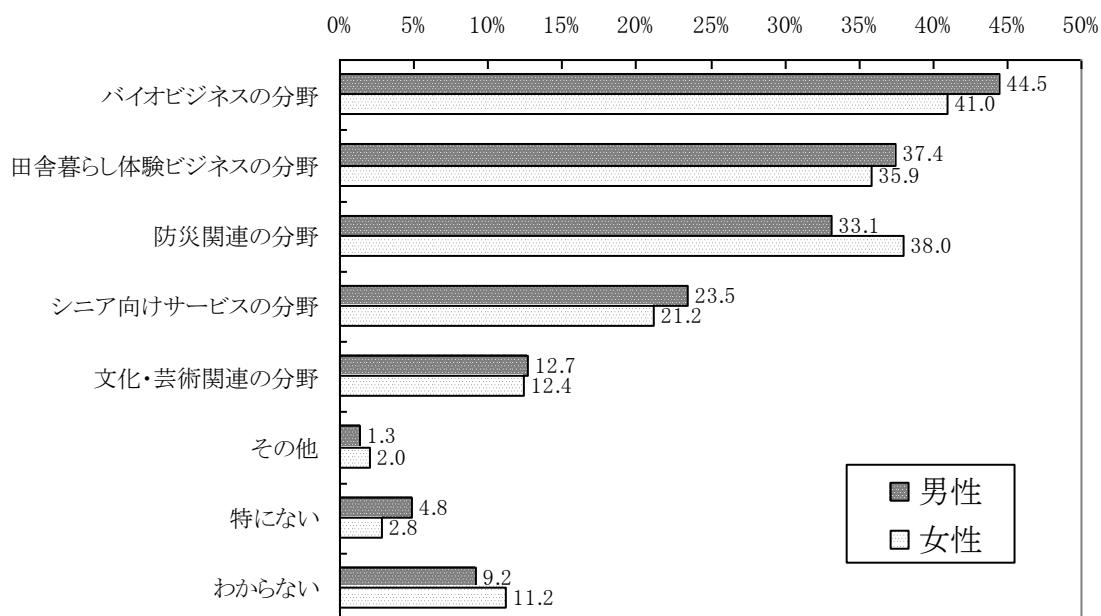
男女とも「バイオビジネスの分野」の比率が最も高い。続いて、男性は「田舎暮らし体験ビジネスの分野」、女性は「防災関連の分野」が 2 位となっており、男女で 2 位と 3 位の順位が逆転している。

**【年代別】**

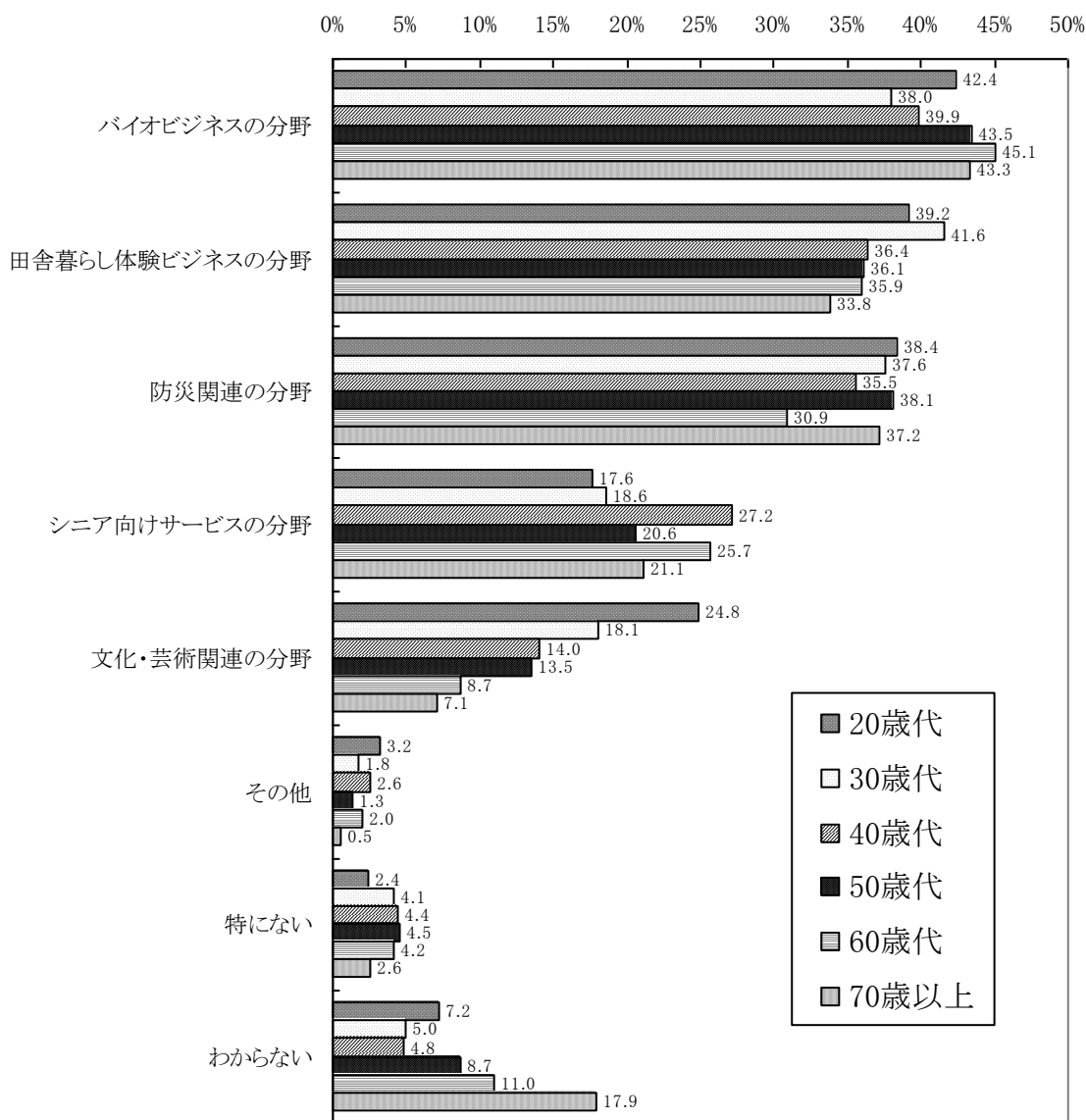
30 歳代を除くすべての年代で「バイオビジネスの分野」が最も高い。30 歳代は「田舎暮らし体験ビジネスの分野」が 41.6%で最も高い。



《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

漁業、事務職、自由業では、「田舎暮らし体験ビジネスの分野」が、主婦、学生では「防災関連の分野」が最も高い。特に学生では「防災関連の分野」の比率が 54.5%と、他の職業区分に比べて高くなっている。それ以外の職業区分では、「バイオビジネスの分野」が最も高くなっている（同率含む）。

【広域市町村圏別】

幡多広域圏を除くすべての地域で、「バイオビジネスの分野」、「田舎暮らし体験ビジネスの分野」のいずれかが最も高くなっている。このうち、仁淀川広域圏では「バイオビジネスの分野」が 52.3%、高吾北広域圏では「田舎暮らし体験ビジネスの分野」が 47.8%と、他の地域の比率と比べ高くなっている。また、幡多広域圏では、「防災関連の分野」が 38.1%で 1 位となっている。

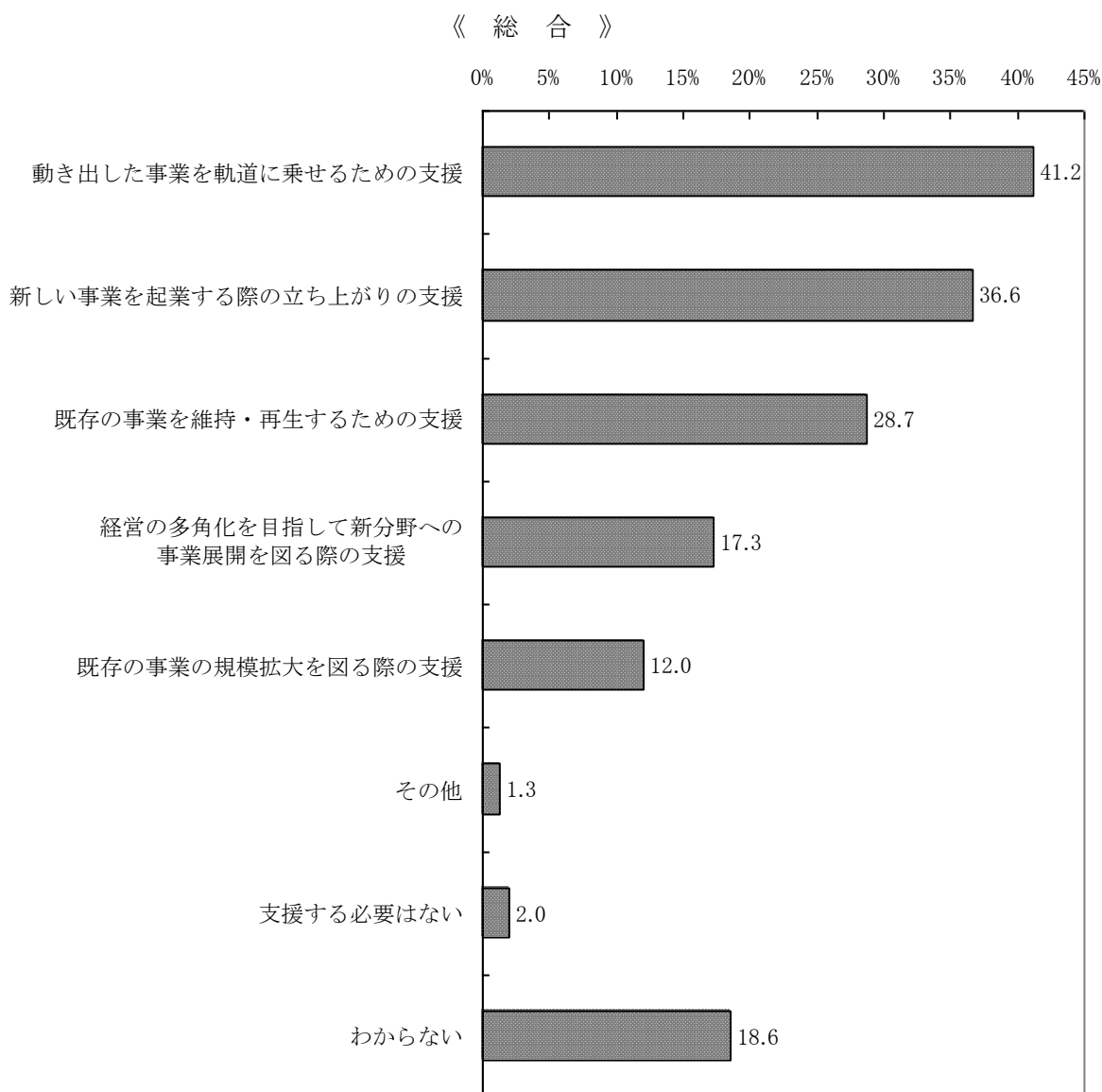
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

項目 属性		バイオビジネスの分野	田舎暮らし体験ビジネスの分野	防災関連の分野	シニア向けサービスの分野	文化・芸術関連の分野	その他	特にない	わからない	
		職業別		農林業	46.0	38.1	39.8	15.9	8.0	1.8
		漁業	36.4	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	27.3
		商工サービス業自営	48.3	40.8	22.5	20.8	9.2	4.2	8.3	9.2
		事務職	43.1	44.2	28.7	26.0	16.6	2.8	2.8	2.8
		技術職	42.3	37.5	41.1	22.6	21.4	1.2	3.6	4.2
		労務職	43.8	39.1	40.8	22.5	14.2	0.6	1.8	5.9
		管理職	40.7	32.2	25.4	30.5	13.6	3.4	8.5	5.1
		自由業	36.7	40.0	26.7	23.3	23.3	0.0	3.3	6.7
		主婦	39.4	33.9	44.1	22.0	11.4	1.6	2.0	12.6
		学生	36.4	36.4	54.5	18.2	27.3	4.5	0.0	4.5
		無職	44.5	32.4	34.4	23.1	7.5	0.5	3.8	15.6
		その他	39.4	37.1	34.8	20.5	12.1	3.0	6.1	12.1
広域市町村圏別		高知市	41.8	34.4	35.3	26.5	13.9	2.2	3.3	9.3
		安芸広域圏	42.4	39.0	36.4	16.9	11.0	1.7	2.5	11.9
		南国・香美広域圏	48.0	31.9	36.7	23.6	11.4	1.3	5.2	9.6
		嶺北広域圏	38.7	38.7	29.0	22.6	16.1	3.2	0.0	16.1
		仁淀川広域圏	52.3	40.0	33.1	16.2	18.5	1.5	2.3	7.7
		高吾北広域圏	38.8	47.8	25.4	22.4	11.9	1.5	1.5	14.9
		高幡広域圏	38.4	42.8	40.6	13.0	9.4	0.7	4.3	10.9
		幡多広域圏	36.2	37.6	38.1	20.0	6.7	1.0	6.7	12.9

**問 11 あなたが、県の産業振興をさらに推進するために、より手厚く支援すべきだと思うものはどれですか。（2つまで〇印）**

県の産業振興を推進するためにより手厚く支援すべきだと思うものについては、「動き出した事業を軌道に乗せるための支援」が41.2%で最も高く、「新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援」が36.6%、「既存の事業を維持・再生するための支援」が28.7%の順で続いている。



**【性別】**

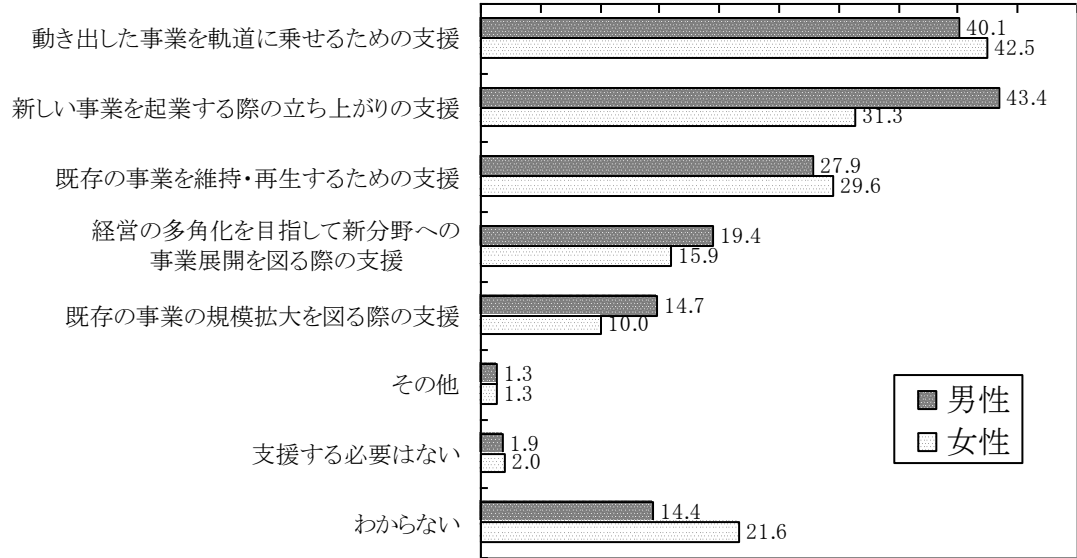
女性は《総合》の順位と同じであるが、男性は1位と2位の順位が逆転するなど、違いが見られる。男性は「新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援」と答えた人が43.4%と、女性の31.3%より12.1ポイント高くなっているのに対し、女性は「わからない」と答えた人が21.6%と男性の14.4%より7.2ポイント高くなっている。

**【年代別】**

30歳以上は「動き出した事業を軌道に乗せるための支援」が最も高い。20歳代は「新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援」が最も高く、比率も48.8%と他の年代と比べて高くなっており、この項目は年齢が低くなるほど比率が高くなっている。

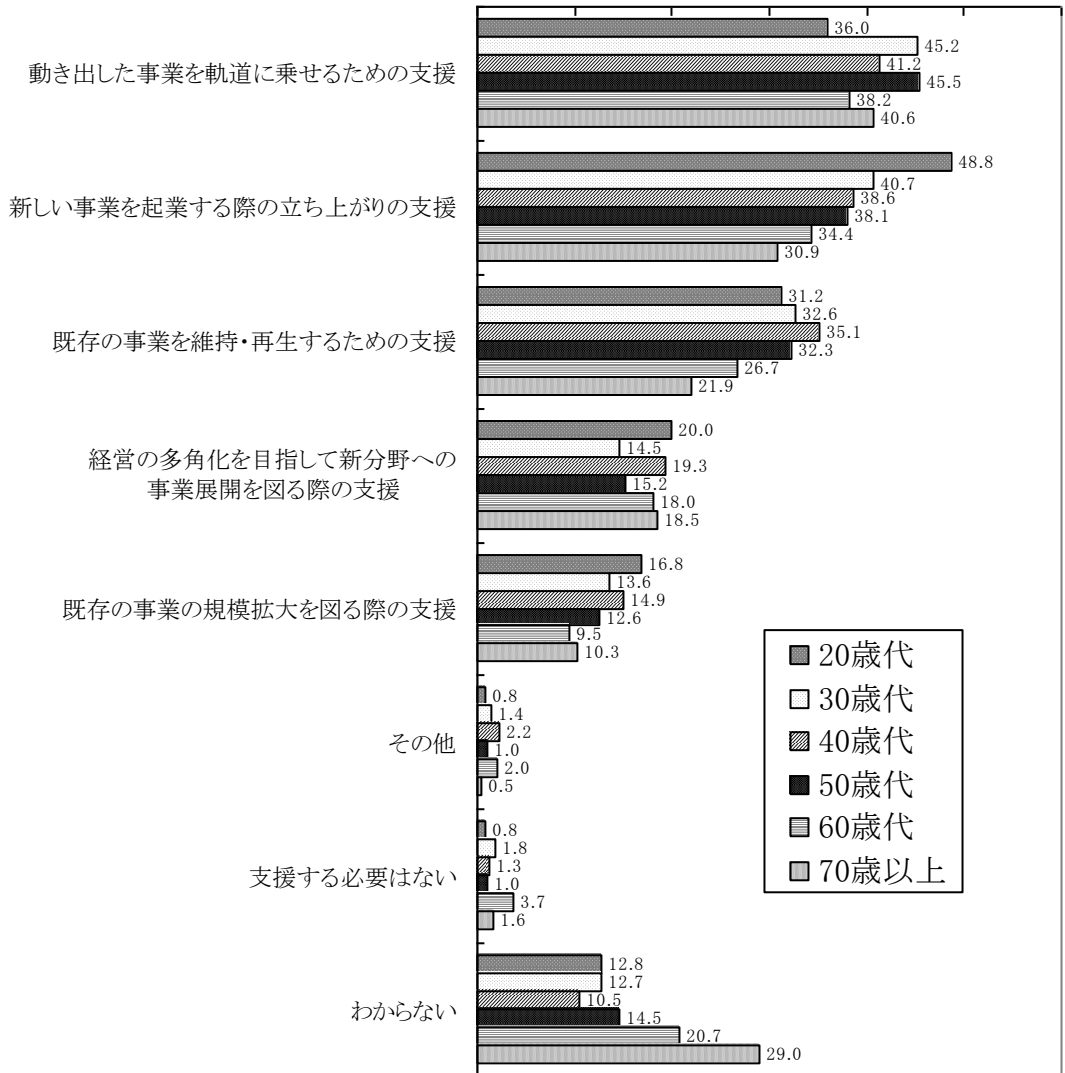
《 性別 》

0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40% 45% 50%



《 年代別 》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



【職業別】

職業区分によって順位、比率ともに違いが見られる。《総合》の上位3項目での比率を見ると、「動き出した事業を軌道に乗せるための支援」は事務職が52.5%、自由業が50.0%、「新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援」は農林業が46.9%、「既存の事業を維持・再生するための支援」は漁業が54.5%、労務職が40.2%と、それぞれ他の職業区分と比べ高い比率を示している。

【広域市町村圏別】

いずれの地域においても、上位2項目は《総合》と同じである。

《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属 性		項 目	動き出した事業を軌道に乗せるための支援	新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援	既存の事業を維持・再生するための支援	経営の多角化を目指して新分野への事業展開を図る際の支援	既存の事業の規模拡大を図る際の支援	その他	支援する必要はない	わからない
職業別	農林業		44.2	46.9	23.0	13.3	11.5	0.9	3.5	15.0
	漁業		27.3	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3
	商工サービス業自営		40.0	27.5	29.2	25.0	12.5	3.3	0.8	15.8
	事務職		52.5	35.4	27.6	16.0	16.0	3.3	1.7	9.9
	技術職		42.9	44.6	29.8	18.5	12.5	1.2	1.2	13.7
	労務職		43.2	36.7	40.2	16.6	7.7	1.8	1.2	10.7
	管理職		30.5	45.8	33.9	20.3	23.7	0.0	1.7	10.2
	自由業		50.0	40.0	6.7	20.0	20.0	0.0	3.3	13.3
	主婦		37.8	35.4	29.1	13.8	12.2	0.4	3.1	23.6
	学生		45.5	45.5	31.8	18.2	22.7	4.5	0.0	4.5
	無職		39.7	32.4	26.1	19.3	10.6	0.3	1.8	26.1
その他		36.4	39.4	29.5	16.7	9.1	1.5	2.3	20.5	
広域市町村圏別	高知市		43.3	34.3	30.6	20.0	13.7	1.0	2.2	16.2
	安芸広域圏		39.8	28.8	22.9	16.9	11.9	3.4	0.0	26.3
	南国・香美広域圏		44.1	39.7	33.6	16.2	9.2	0.4	1.7	16.2
	嶺北広域圏		45.2	45.2	12.9	3.2	16.1	3.2	0.0	19.4
	仁淀川広域圏		41.5	38.5	23.1	20.8	9.2	3.1	2.3	16.9
	高吾北広域圏		35.8	31.3	29.9	14.9	13.4	0.0	1.5	22.4
	高幡広域圏		40.6	44.2	28.3	12.3	10.1	0.0	2.9	18.8
	幡多広域圏		31.9	40.5	27.1	13.8	11.0	1.9	1.4	25.2

【問9×問11のクロス分析】

【問9 県の産業振興推進計画をより進めるために充実させるべき取り組み】の各選択肢を選んだ人が本問にどのように回答しているかをみると、問9のいずれの取り組みでも、「動き出した事業を軌道に乗せるための支援」と「新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援」の2項目が、1位と2位になっている。

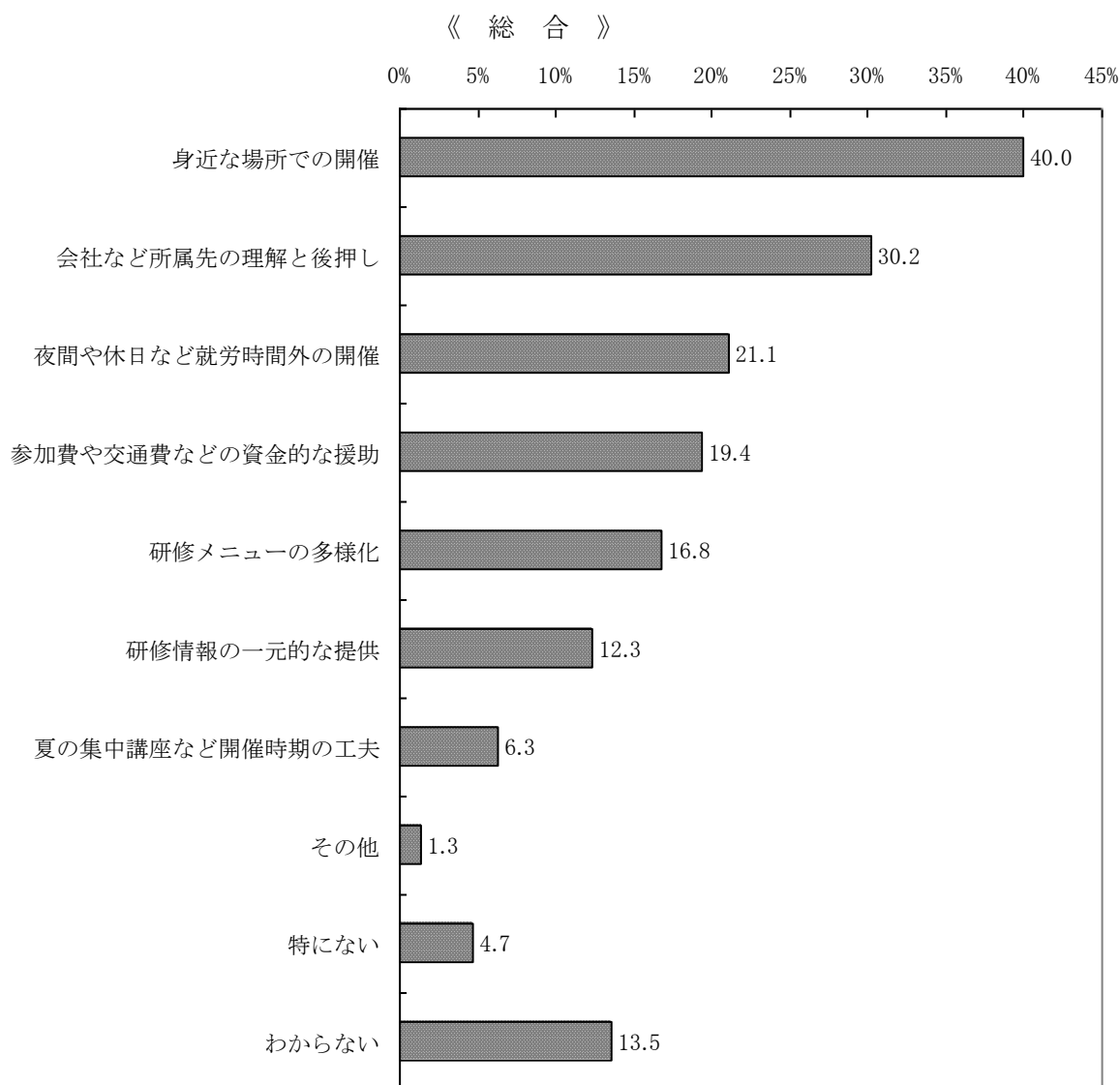
問9のいずれの取り組みを選んだ人も、手厚くするべき支援としているものは問11の《総合》とほぼ同様の結果となっており、あまり差は見られない。

(単位：%)

		問11							
		動き出した事業を軌道に乗せるための支援	新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援	既存の事業を維持・再生するための支援	経営の多角化を目指して新分野への事業展開を図る際の支援	既存の事業の規模拡大を図る際の支援	その他	支援する必要はない	わからない
問9	県外での高知フェアの開催や商談会への出展による外商の取り組み	50.2	45.6	31.5	20.2	15.8	0.6	0.4	9.0
	海外への外商の取り組み	49.2	42.4	25.4	28.0	18.6	2.5	0.8	6.8
	ものづくりの地産地消の取り組み	48.5	37.0	32.4	18.1	12.5	1.4	2.2	10.9
	地産地消の取り組み	43.6	38.0	33.5	17.8	13.8	1.1	1.1	14.4
	観光客誘致の取り組み	46.4	44.8	32.9	21.0	15.2	0.9	1.3	7.9
	第一次産業の生産地を強化する取り組み	51.3	41.8	35.3	20.7	13.4	3.0	2.2	4.7
	6次産業化の取り組み	46.5	42.5	30.3	23.8	13.8	1.6	1.4	9.4
	食品加工の基本の徹底に向けた取り組み	42.9	33.9	32.1	13.4	8.9	3.6	0.0	16.1
	中山間地域における産業づくり	45.5	45.9	35.6	20.7	11.7	1.8	2.7	5.4
	成長が見込める新たな分野での産業創出の取り組み	44.1	45.7	29.1	29.9	10.2	1.6	0.0	12.6
	新エネルギーを産業に生かす取り組み	46.6	40.5	32.5	19.4	12.9	1.2	1.2	11.3
	第一次産業の担い手確保の取り組み	44.1	48.7	31.6	17.8	19.1	1.3	2.6	5.3
	人材育成の取り組み	48.4	42.2	32.0	21.1	17.2	0.8	1.6	9.4
	その他	30.8	43.6	25.6	23.1	7.7	2.6	5.1	17.9
	特にない	6.9	3.4	17.2	3.4	6.9	0.0	10.3	58.6
	わからない	12.3	10.2	9.1	4.8	0.5	1.1	3.7	72.7

問 12 県では、人材育成研修をはじめとした産業振興のためのさまざまな研修や講習会を実施していますが、あなたが、こうした研修などにより参加しやすくなるために必要だと思うものはどれですか。（2つまで○印）

産業振興のための研修などに参加しやすくなるために必要だと思うものについては、「身近な場所での開催」が40.0%と最も高く、続いて「会社など所属先の理解と後押し」が30.2%、「夜間や休日など就労時間外の開催」が21.1%の順となっている。



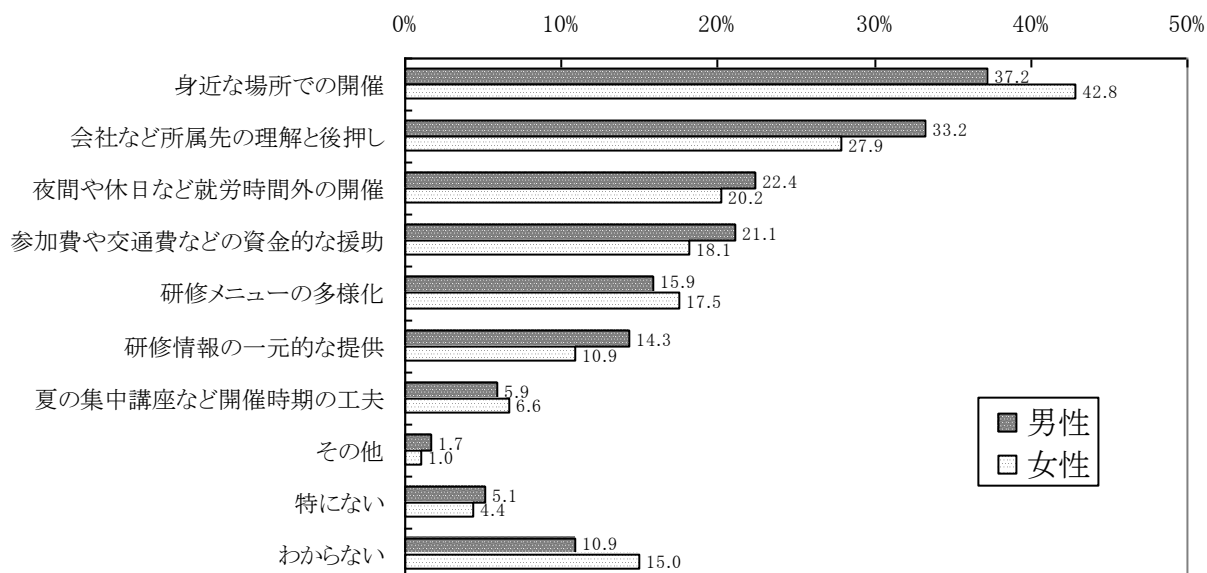
#### 【性別】

男女とも順位は《総合》と同じであるが、各項目の比率では、「身近な場所での開催」で、女性が42.8%と男性の37.2%を5.6ポイント上回っている。逆に「会社など所属先の理解と後押し」では、男性が33.2%と女性の27.9%を5.3ポイント上回っている。

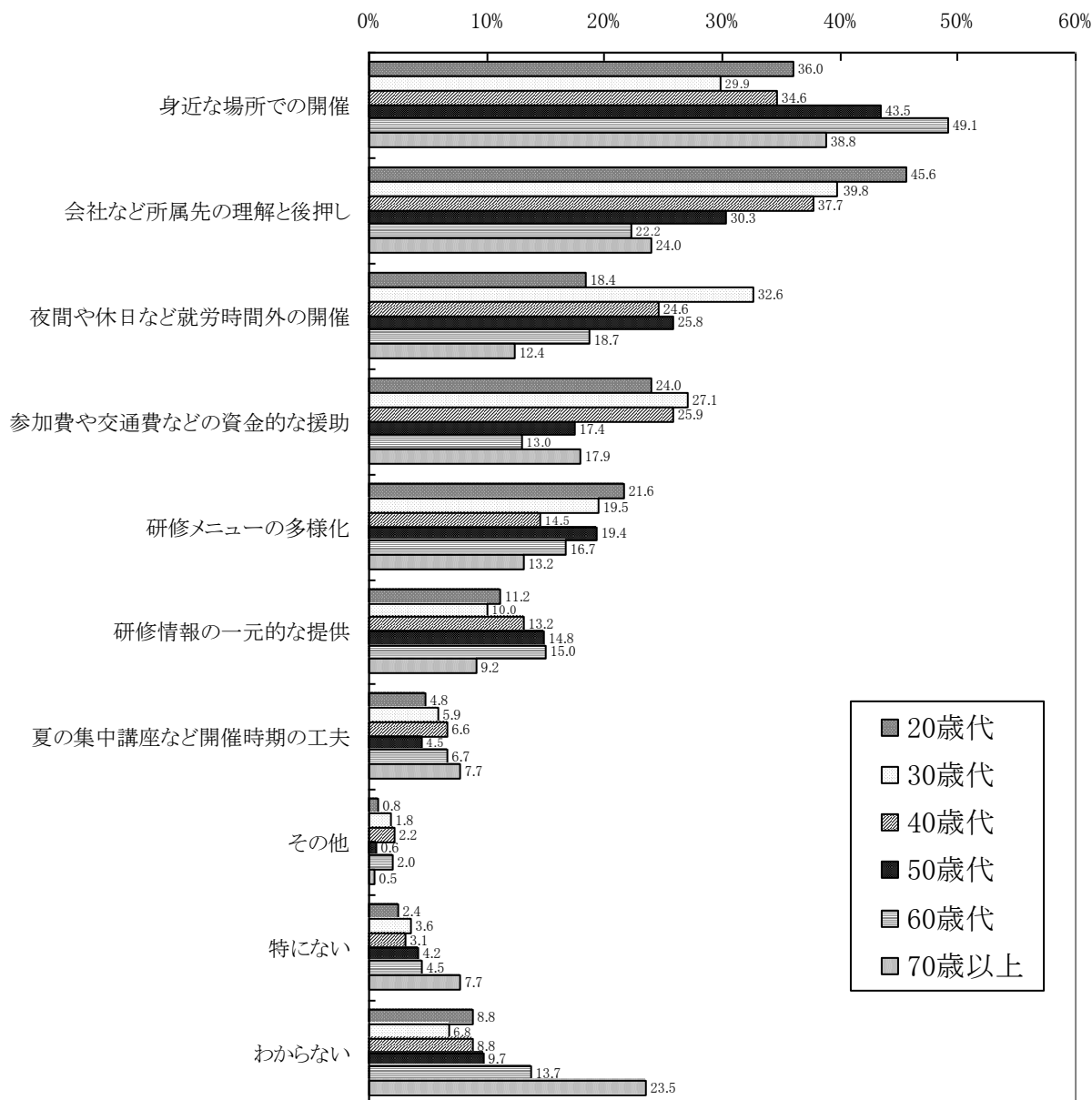
#### 【年代別】

20歳代～40歳代では「会社など所属先の理解と後押し」が、50歳以上では「身近な場所での開催」が最も高くなっており、年代間で違いが見られる。「身近な場所での開催」では60歳代が49.1%、「会社など所属先の理解と後押し」では20歳代が45.6%、「夜間や休日など就労時間外の開催」では30歳代が32.6%と他の年代と比べ高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》





【職業別】

事務職、技術職、管理職で、「会社など所属先の理解と後押し」が最も高くなっており、それ以外の職業区分では「身近な場所での開催」が最も高い（同率含む）。

【広域市町村圏別】

高知市を除くすべての地域では「身近な場所での開催」が最も高くなっており、特に高吾北広域圏では53.7%、幡多広域圏では52.9%と他の地域に比べて高い比率となっている。高知市では、「会社など所属先の理解と後押し」が1位になっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

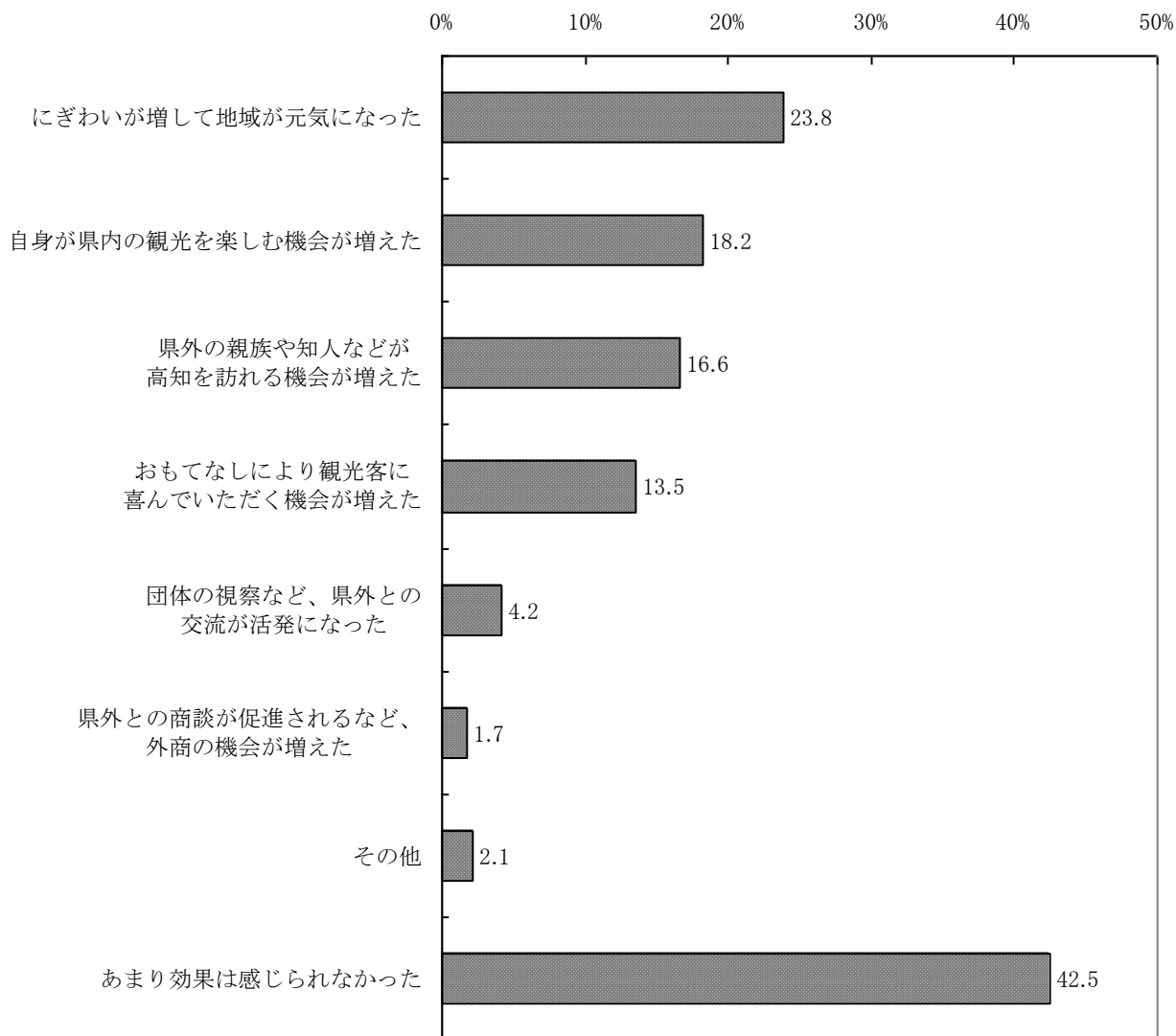
(単位：%)

項目 属性		身近な場所での開催	会社など所属先の理解と後押し	夜間や休日など就労時間外の開催	参加費や交通費などの資金的な援助	研修メニューの多様化	研修情報の一元的な提供	夏の集中講座など開催時期の工夫	その他	特になし	わからない
		職業別	農林業	46.9	18.6	19.5	14.2	14.2	12.4	10.6	0.9
	漁業	54.5	9.1	9.1	27.3	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	27.3
	商工サービス業自営	46.7	20.8	21.7	17.5	11.7	10.8	6.7	1.7	5.0	14.2
	事務職	35.4	37.6	31.5	17.1	23.8	10.5	7.2	2.2	2.2	6.6
	技術職	32.7	41.1	20.8	28.6	22.6	13.7	4.2	0.0	3.6	7.1
	労務職	40.2	38.5	27.8	21.9	10.1	17.8	5.3	1.8	3.6	5.9
	管理職	32.2	45.8	32.2	10.2	22.0	13.6	6.8	8.5	1.7	5.1
	自由業	36.7	23.3	36.7	20.0	16.7	13.3	0.0	0.0	6.7	13.3
	主婦	46.5	24.4	20.1	17.3	20.1	11.0	6.3	0.4	3.1	15.7
	学生	59.1	40.9	13.6	36.4	22.7	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5
	無職	40.7	27.6	12.1	18.8	13.3	13.1	5.5	1.0	7.5	18.8
	その他	33.3	30.3	24.2	20.5	18.9	8.3	9.1	1.5	3.8	17.4
広域市町村圏別	高知市	33.2	34.0	22.1	19.5	19.6	15.1	6.2	1.9	4.5	11.9
	安芸広域圏	47.5	17.8	22.0	18.6	15.3	9.3	6.8	0.8	4.2	18.6
	南国・香美広域圏	39.7	33.6	21.0	18.8	17.5	11.8	6.6	0.4	7.0	11.4
	嶺北広域圏	48.4	29.0	25.8	12.9	19.4	12.9	6.5	3.2	0.0	12.9
	仁淀川広域圏	40.0	26.2	25.4	23.1	10.0	8.5	8.5	1.5	5.4	14.6
	高吾北広域圏	53.7	22.4	25.4	16.4	11.9	10.4	6.0	0.0	6.0	14.9
	高幡広域圏	44.9	34.1	18.1	19.6	13.0	8.7	8.0	0.7	5.1	11.6
	幡多広域圏	52.9	21.4	13.8	20.5	15.7	11.4	3.8	0.5	2.9	17.1

**問 13 昨年、高知県に注目が集まったことによって、あなたの仕事や生活、そのほか、身の回りにどのような効果をもたらしましたか。(2つまで○印)**

高知県に注目が集まったことによって身の回りに起きた効果については、「あまり効果は感じられなかった」の比率が42.5%を占めている。感じた効果としては、「にぎわいが増して地域が元気になった」が23.8%、「自身が県内の観光を楽しむ機会が増えた」が18.2%、「県外の親族や知人などが高知を訪れる機会が増えた」が16.6%という順になっている。

《 総 合 》



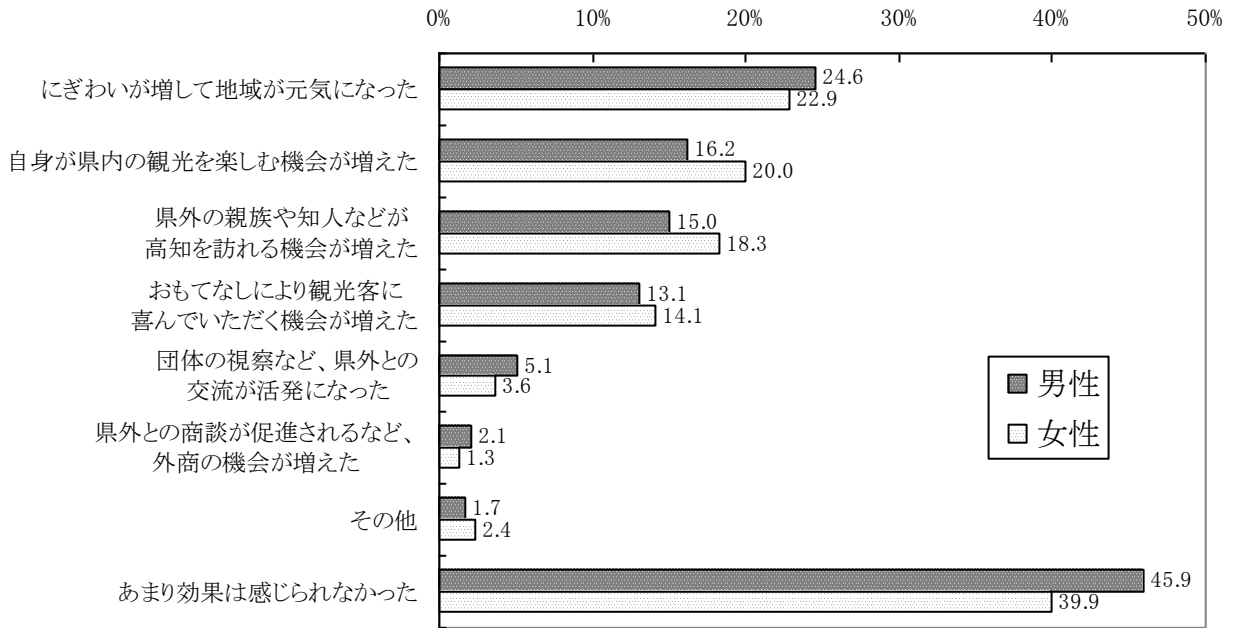
**【性別】**

男女とも《総合》とほぼ同じ順位となっている。「あまり効果は感じられなかった」は、男性が45.9%と女性の39.9%を6ポイント上回っている。

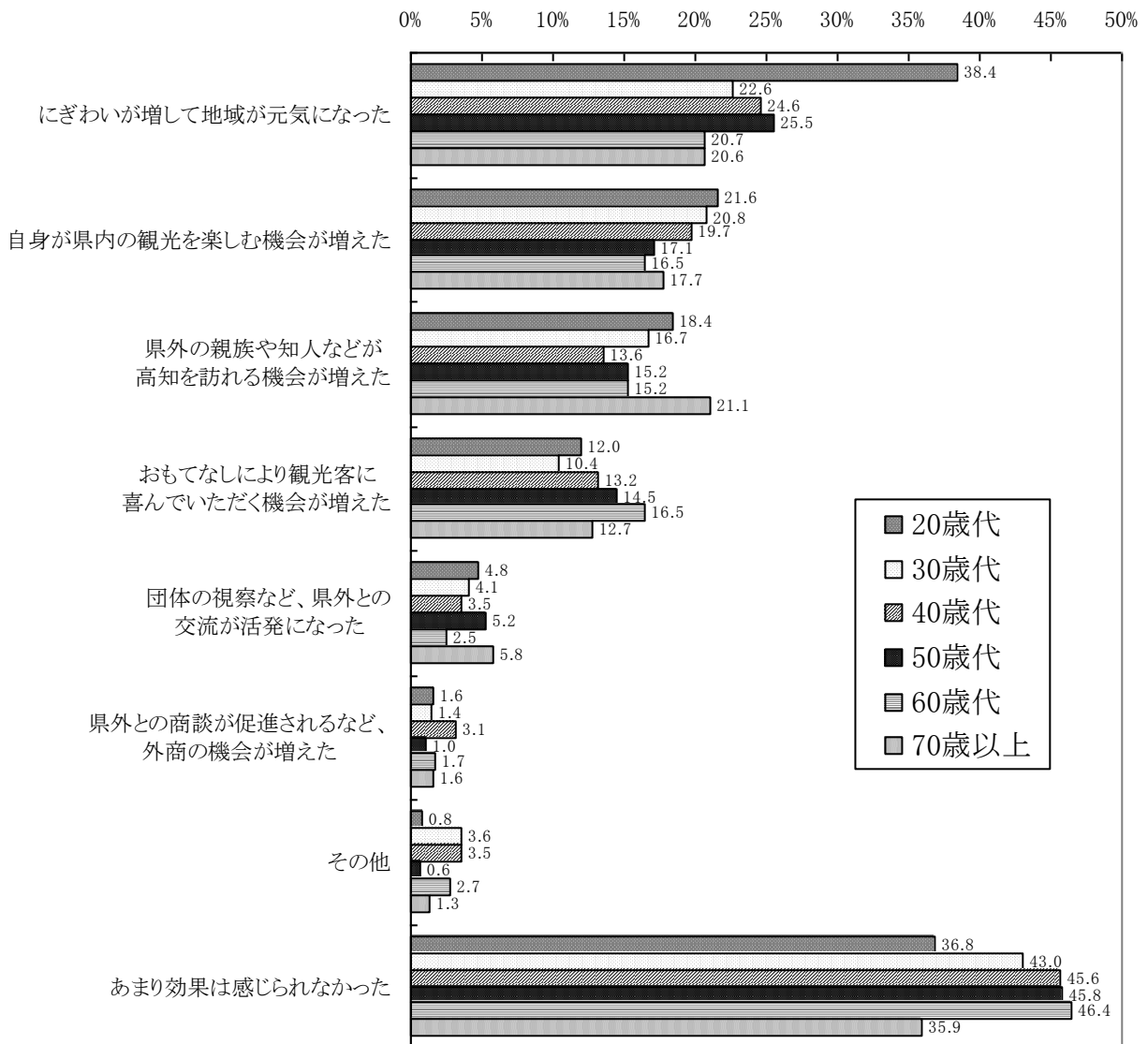
**【年代別】**

20歳代では「にぎわいが増して地域が元気になった」が38.4%と最も高くなっている。また60歳代で「おもてなしにより観光客に喜んでいただく機会が増えた」が16.5%、70歳以上で「県外の親族や知人などが高知を訪れる機会が増えた」が21.1%と、他の年代より比率が高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

「あまり効果は感じられなかった」の比率は、商工サービス業自営で54.2%と労務職で50.3%となつて50%を超えている。学生では「にぎわいが増して地域が元気になった」が50.0%と、他の職業区分に比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

「あまり効果は感じられなかった」は、嶺北広域圏で54.8%、幡多広域圏で51.9%と特に高い比率となっている。また、高知市では「にぎわいが増して地域が元気になった」が29.2%、高吾北広域圏では「自身が県内の観光を楽しむ機会が増えた」が28.4%と、他の地域より高い比率となっている。

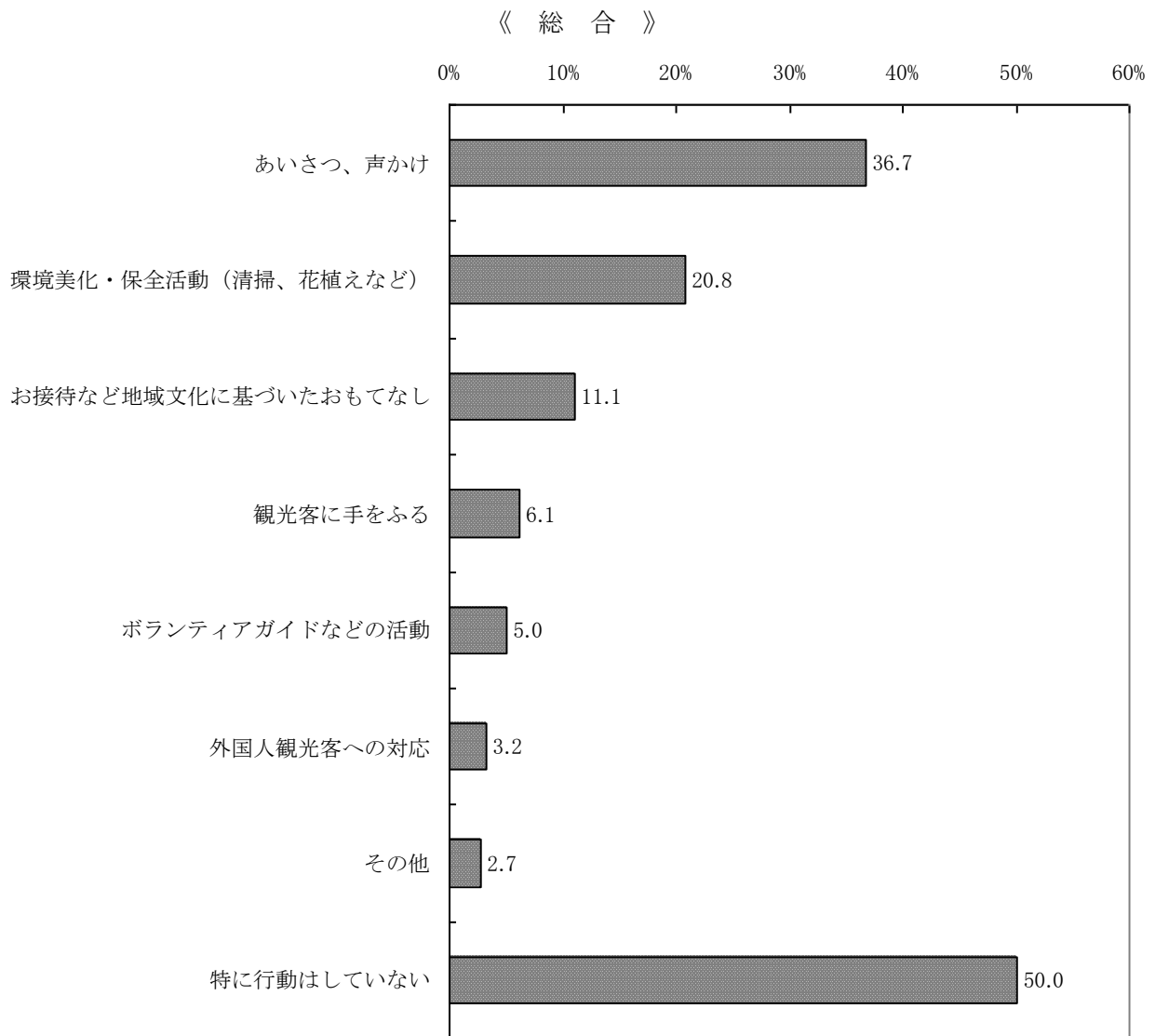
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属 性		項 目							
		にぎわいが増して地域が元気になった	自身が県内の観光を楽しむ機会が増えた	県外の親族や知人などが高知を訪れる機会が増えた	おもてなしにより観光客に喜んでいただく機会が増えた	団体の視察など、県外との交流が活発になった	県外との商談が促進されるなど、外商の機会が増えた	その他	あまり効果は感じられなかった
職業別	農林業	18.6	19.5	16.8	11.5	8.0	1.8	1.8	40.7
	漁業	9.1	9.1	27.3	27.3	18.2	0.0	0.0	36.4
	商工サービス業自営	18.3	17.5	20.0	10.8	2.5	0.8	0.0	54.2
	事務職	28.2	19.3	18.2	15.5	5.5	2.8	2.2	37.0
	技術職	29.8	26.2	17.3	11.3	3.6	0.0	2.4	40.5
	労務職	24.3	13.0	8.3	16.6	4.1	1.2	3.6	50.3
	管理職	27.1	16.9	13.6	5.1	8.5	1.7	5.1	45.8
	自由業	23.3	6.7	16.7	20.0	3.3	0.0	0.0	43.3
	主婦	22.8	21.3	20.5	14.2	2.8	1.6	2.4	39.0
	学生	50.0	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0	0.0	40.9
	無職	21.6	16.1	16.1	14.3	4.0	2.5	2.0	41.7
その他	23.5	18.9	18.2	12.9	3.0	1.5	1.5	43.9	
広域市町村圏別	高知市	29.2	19.3	17.6	17.1	4.5	1.5	1.8	37.6
	安芸広域圏	17.8	12.7	11.9	15.3	1.7	2.5	5.1	49.2
	南国・香美広域圏	22.7	19.2	16.2	7.9	6.6	1.3	2.2	45.0
	嶺北広域圏	9.7	19.4	16.1	6.5	0.0	0.0	6.5	54.8
	仁淀川広域圏	18.5	24.6	21.5	10.8	0.8	0.8	1.5	43.1
	高吾北広域圏	16.4	28.4	17.9	9.0	7.5	4.5	1.5	40.3
	高幡広域圏	20.3	17.4	15.9	11.6	5.1	2.9	1.4	43.5
	幡多広域圏	17.6	10.0	13.3	11.4	3.3	1.4	1.9	51.9

問 14 県のイメージアップやリピーターを増やすためには、県民一人一人が観光客を「おもてなしの心」で迎えることが大切です。あなたは、観光客への「おもてなし」について、どのようなことをされていますか。（3つまで〇印）

観光客への「おもてなし」については、半数の人が「特に行動はしていない」と答えている。行っていることでは、「あいさつ、声かけ」が36.7%、「環境美化・保全活動（清掃、花植えなど）」が20.8%と続いている。



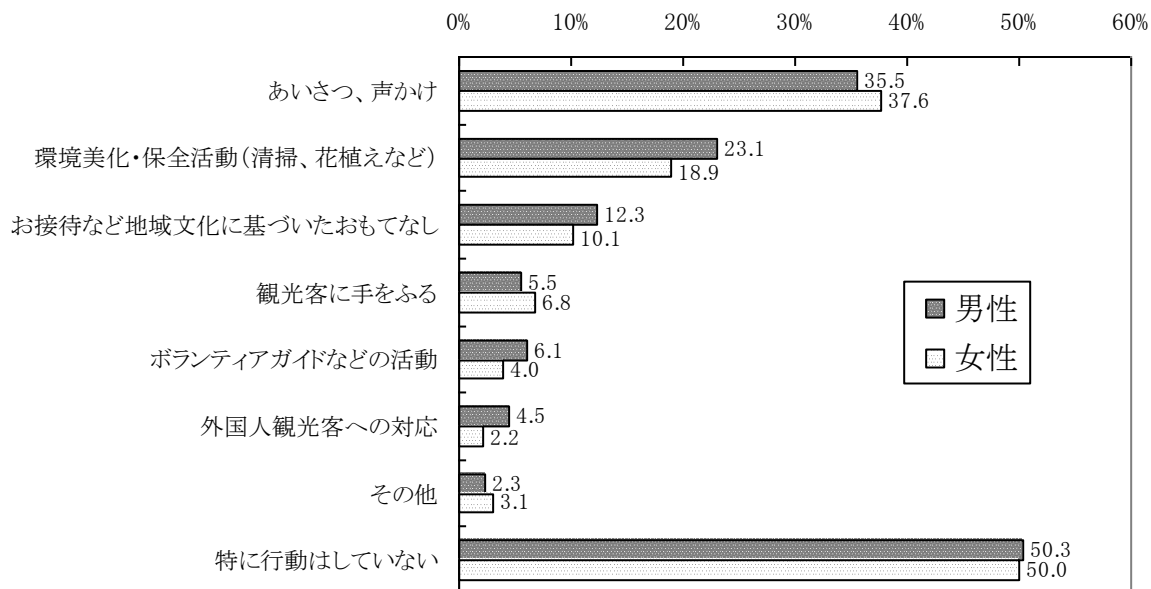
**【性別】**

男女による違いはほとんど見られない。

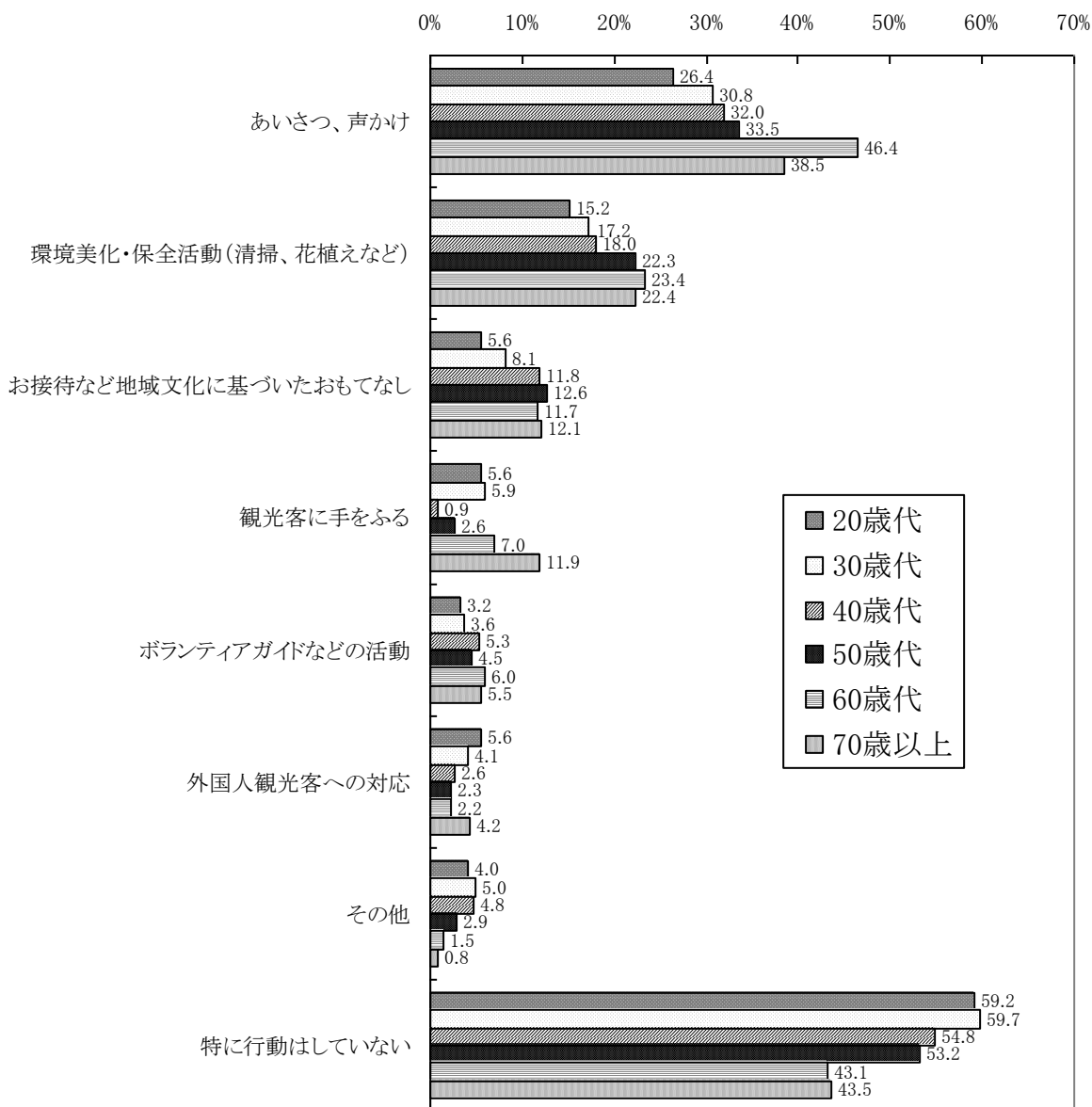
**【年代別】**

60歳代を除くすべての年代で「特に行動はしていない」の比率が最も高く、特に20歳代で59.2%、30歳代で59.7%と、低い年代の比率が高くなっているのが特徴である。60歳代は「あいさつ、声かけ」が46.4%と最も高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

「特に行動はしていない」は、学生で72.7%、自由業で60.0%と他の職業区分に比べて比率が高くなっている。漁業では、「あいさつ、声かけ」が63.6%と最も高く、「特に行動はしていない」と答えた人も他の職業区分に比べ低くなっている。

【広域市町村圏別】

高幡広域圏、幡多広域圏ともに、「あいさつ、声かけ」が1位となっている。また幡多広域圏では、「環境美化・保全活動（清掃、花植えなど）」、「ボランティアガイドなどの活動」でも、他の地域より高い比率になっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

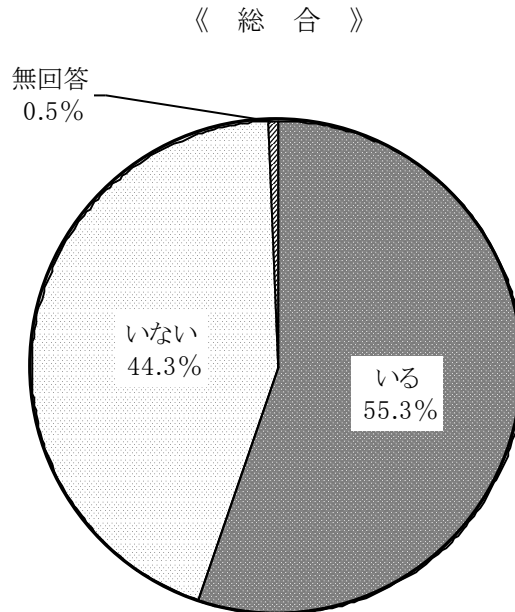
(単位：%)

属 性		項目		あいさつ、声かけ	環境美化・保全活動（清掃、花植えなど）	お接待など地域文化に基づいたおもてなし	観光客に手をふる	ボランティアガイドなどの活動	外国人観光客への対応	その他	特に行動はしていない
		あいさつ、声かけ	環境美化・保全活動（清掃、花植えなど）								
職業別	農林業	41.6	27.4	13.3	8.0	4.4	1.8	0.0	48.7		
	漁業	63.6	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	36.4		
	商工サービス業自営	42.5	21.7	13.3	5.8	2.5	2.5	0.8	42.5		
	事務職	33.1	19.9	9.4	5.0	7.2	2.2	7.2	51.4		
	技術職	32.7	20.2	9.5	3.6	5.4	3.0	2.4	54.8		
	労務職	39.1	22.5	13.0	7.7	4.1	4.1	2.4	49.7		
	管理職	32.2	27.1	10.2	1.7	1.7	6.8	5.1	44.1		
	自由業	23.3	16.7	13.3	3.3	3.3	0.0	0.0	60.0		
	主婦	36.6	18.5	9.8	7.5	2.8	1.2	1.2	53.1		
	学生	18.2	4.5	4.5	4.5	0.0	9.1	4.5	72.7		
	無職	39.9	21.9	11.8	8.0	7.8	4.5	1.5	47.0		
その他	30.3	18.2	9.8	2.3	3.0	4.5	6.8	53.8			
広域市町村圏別	高知市	32.5	18.8	10.0	6.3	4.5	3.4	4.1	53.5		
	安芸広域圏	35.6	21.2	13.6	1.7	3.4	3.4	2.5	48.3		
	南国・香美広域圏	35.4	22.7	9.2	4.8	4.8	3.5	1.7	54.6		
	嶺北広域圏	41.9	16.1	6.5	9.7	6.5	0.0	0.0	48.4		
	仁淀川広域圏	38.5	20.8	14.6	5.4	6.2	4.6	0.0	48.5		
	高吾北広域圏	43.3	19.4	13.4	9.0	4.5	3.0	0.0	47.8		
	高幡広域圏	42.8	21.0	10.1	10.9	2.2	2.9	3.6	42.0		
	幡多広域圏	44.8	24.3	14.3	6.2	8.6	1.9	1.4	41.9		

### 〔3〕日本一の健康長寿県構想について

問 15 日ごろから診療を受けるだけでなく、病気や健康に関して相談することができる、かかりつけとして医師がいますか。(どちらかに○印)

かかりつけとして医師がいるかどうかについては、「いる」の割合が 55.3%、「いない」が 44.3% となっている。



#### 【性別】

「いる」と答えた人の割合は、女性が 56.8%で、男性の 52.7%を 4.1 ポイント上回っている。

#### 【年代別】

「いる」と答えた人の割合は年齢が高くなるほど高くなっている。

#### 【職業別】

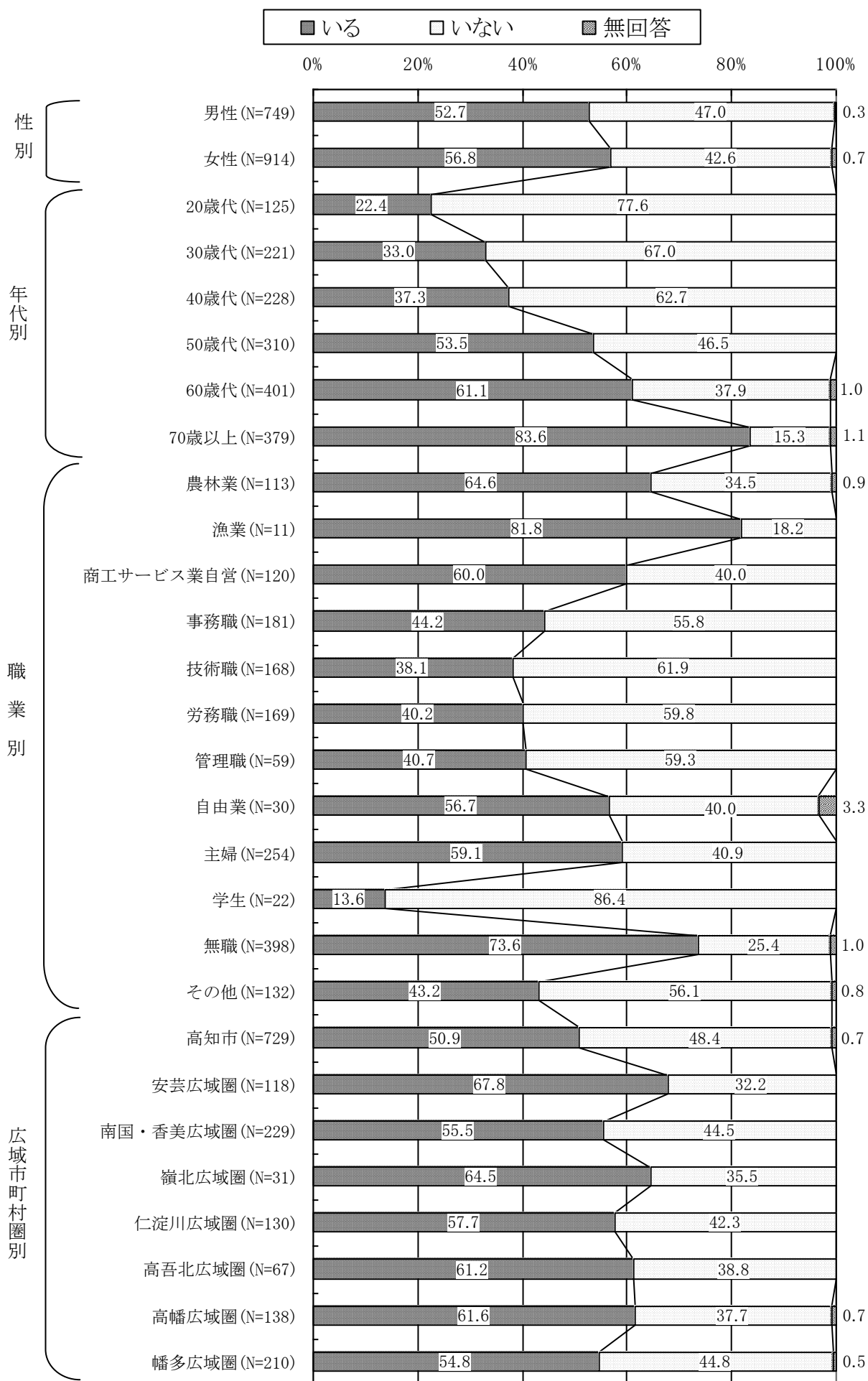
「いる」と答えた人の割合は、漁業で 81.8%、無職で 73.6%、農林業で 64.6%、商工サービス業自営で 60.0%と、これらの職業区分で 6 割以上となっている。一方、技術職で 38.1%、労務職で 40.2%、管理職で 40.7%、学生で 13.6%と低い割合となっている。

#### 【広域市町村圏別】

「いる」と答えた人の割合は安芸広域圏で 67.8%、嶺北広域圏で 64.5%と他の地域に比べて高くなっている。

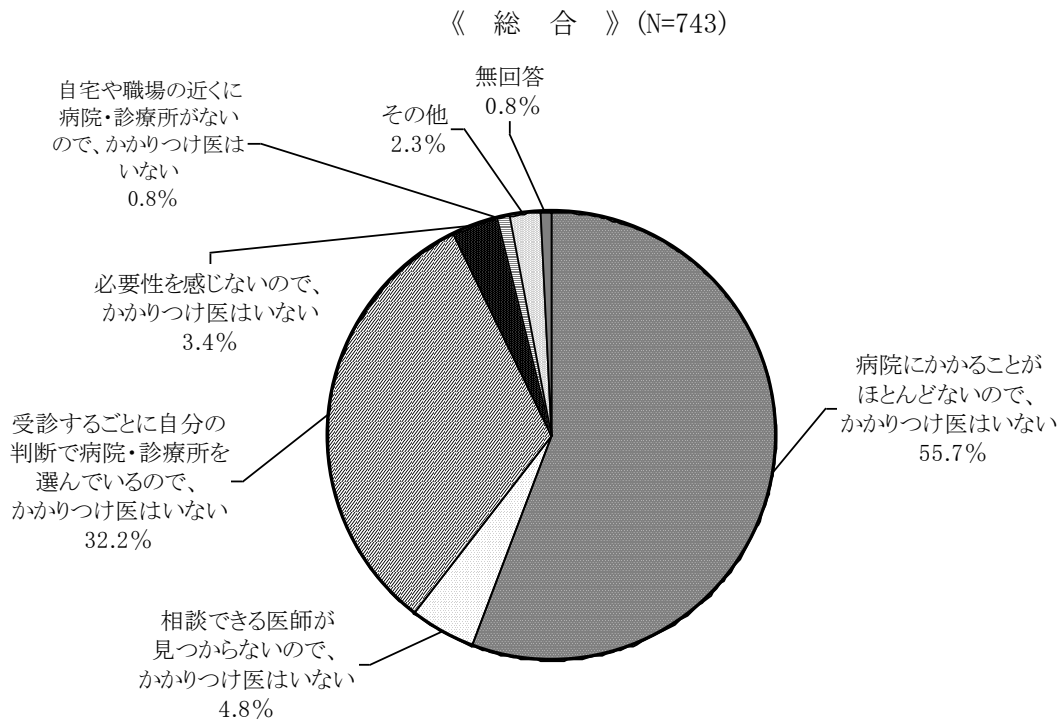


《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



問 15 副問（問 15 で「2」を選んだ方のみお答えください。）かかりつけ医がないのはどうしてですか。（1つだけ〇印）

かかりつけ医がないと答えた人の理由については、「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ医はいない」が 55.7%と過半数に達しており、次いで「受診するごとに自分の判断で病院・診療所を選んでいるので、かかりつけ医はいない」が 32.2%となっており、この2項目でかかりつけ医のいない理由の大半を占めている。



#### 【性別】

男女とも《総合》とほぼ同じであり、割合の差はあまり見られない。

#### 【年代別】

「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ医はいない」と答えた人の割合は 20 歳代で 71.1%、30 歳代で 64.2%と他の年代に比べて高くなっている。

#### 【職業別】

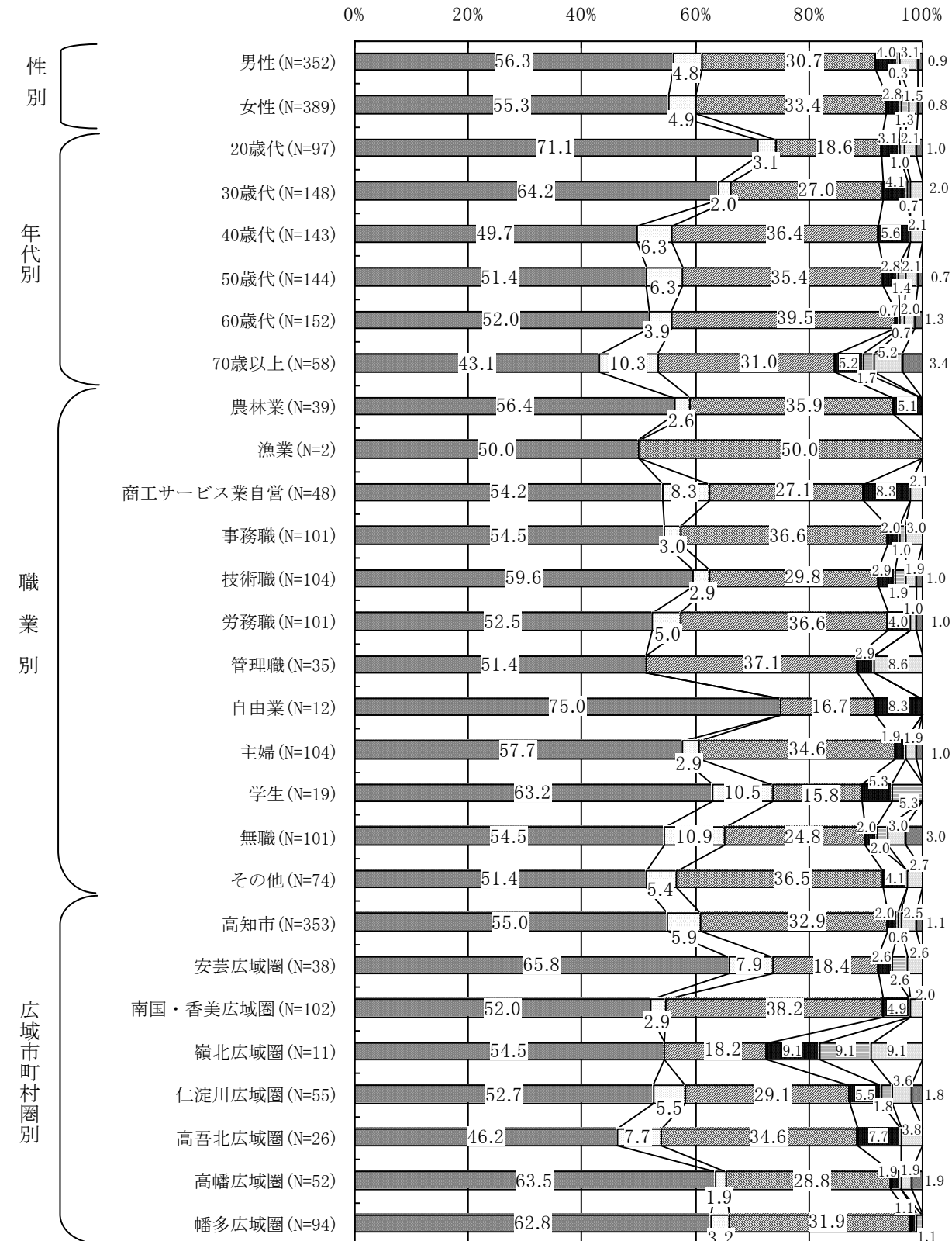
「相談できる医師が見つからないので、かかりつけ医はいない」と答えた人の割合は、商工サービス業自営で 8.3%、学生で 10.5%、無職で 10.9%と他の職業区分に比べてやや高くなっている。

#### 【広域市町村圏別】

嶺北広域圏では「自宅や職場の近くに病院・診療所がないので、かかりつけ医はいない」を理由に答えた人が 9.1%と他の地域に比べて高くなっている。

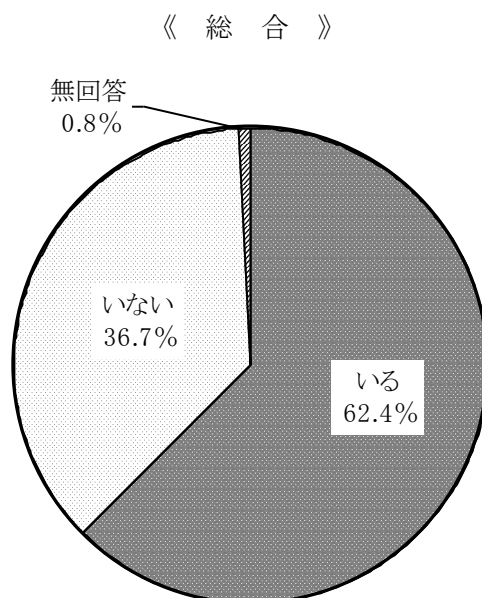
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

- 病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ医はいない
- 相談できる医師が見つからないので、かかりつけ医はいない
- ▨ 受診するごとに自分の判断で病院・診療所を選んでいるので、かかりつけ医はいない
- 必要性を感じないので、かかりつけ医はいない
- ▨ 自宅や職場の近くに病院・診療所がないので、かかりつけ医はいない
- その他
- 無回答



問 16 自分の歯に関して何でも相談することができる、かかりつけとしている歯科医がいますか。  
(どちらかに○印)

かかりつけとしている歯科医がいるかどうかについては、「いる」と答えた人の割合が62.4%、「いない」は36.7%となっている。問15のかかりつけ医師が「いる」割合55.3%と比べて7.1ポイント高い割合となっている。



【性別】

女性では「いる」と答えた人の割合が66.3%で、男性の57.3%を9ポイント上回っている。

【年代別】

「いる」と答えた人は、年齢が高くなるほど割合も高くなっている。

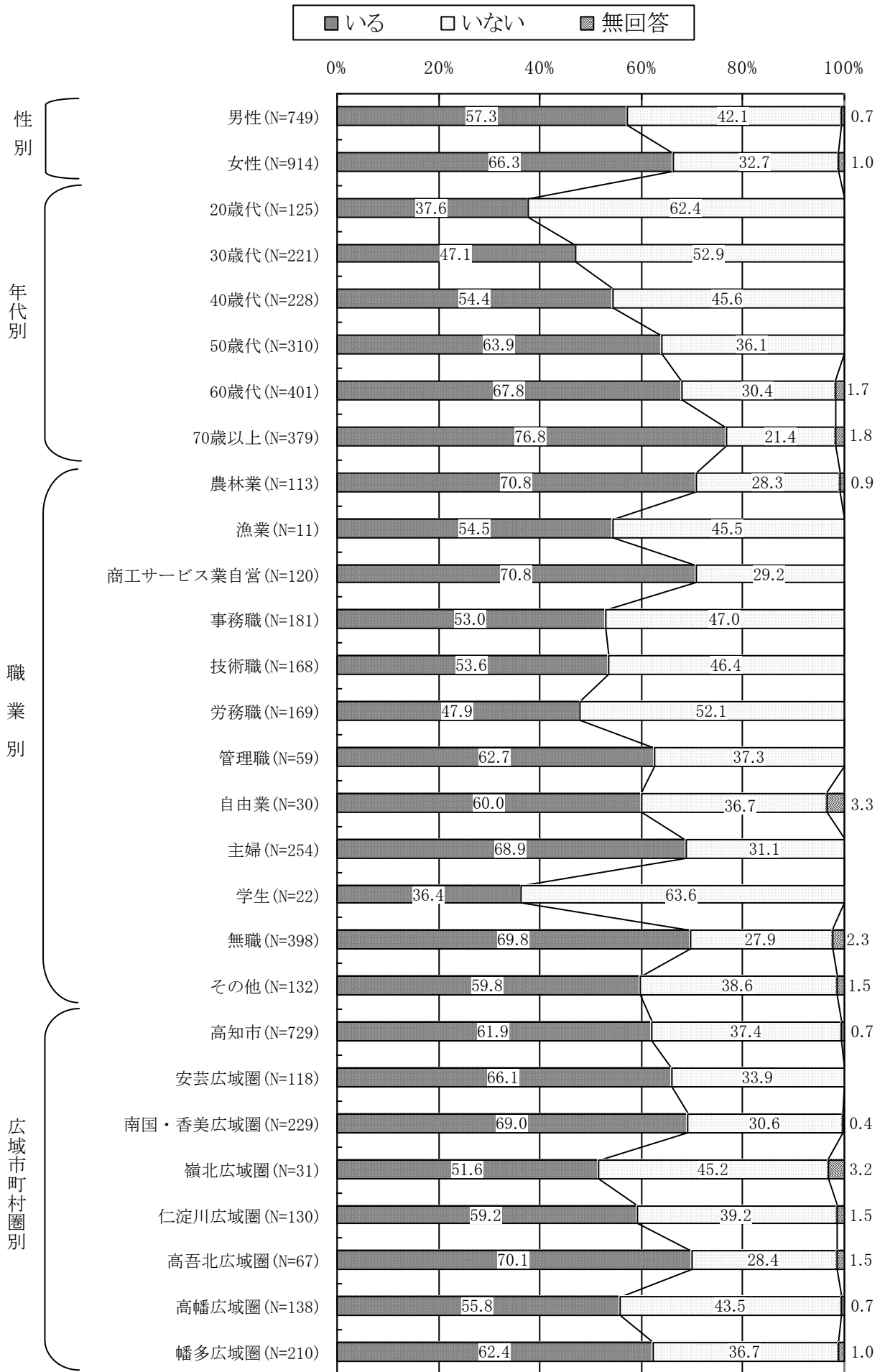
【職業別】

「いる」と答えた人の割合は、農林業、商工サービス業自営でそれぞれ70.8%、無職で69.8%、主婦で68.9%と、これらの職業区分で約7割となっている。一方、学生で36.4%、労務職で47.9%と他の職業区分と比べて低くなっている。

【広域市町村圏別】

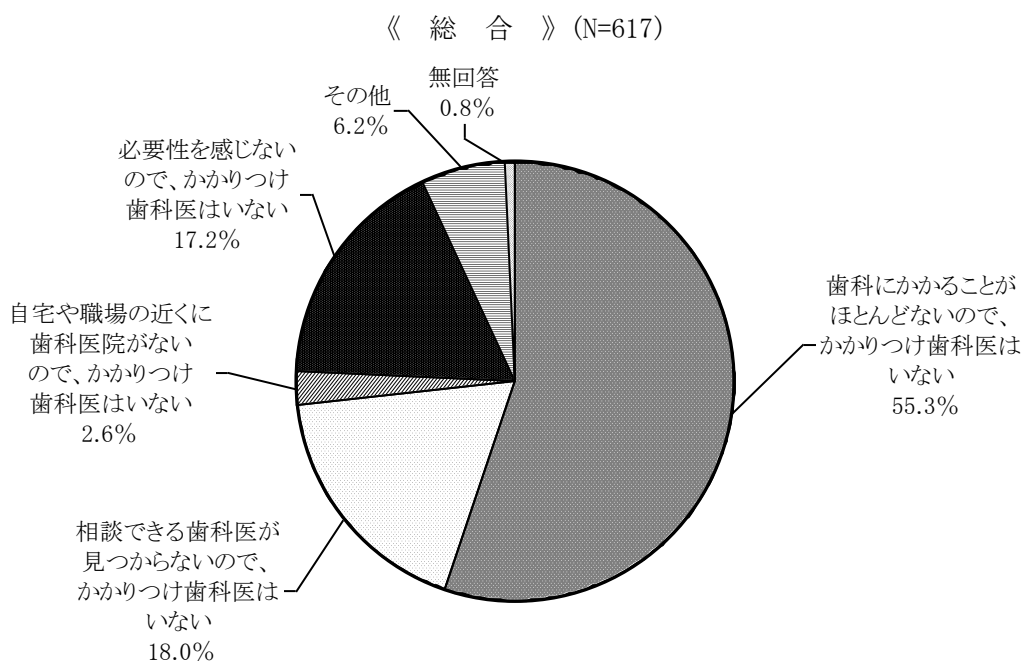
「いる」と答えた人の割合は、高吾北広域圏で70.1%、南国・香美広域圏で69.0%と他の地域に比べて高くなっており、嶺北広域圏では51.6%と他の地域に比べて低くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



問 16 副問 (問 16 で「2」を選んだ方のみお答えください。) かかりつけ歯科医がないのはどうしてですか。(1つだけ○印)

かかりつけ歯科医がないと答えた人の理由については、「歯科にかかることがほとんどないので、かかりつけ歯科医はいない」の割合が 55.3%で最も高く、「相談できる歯科医が見つからないので、かかりつけ歯科医はいない」が 18.0%、「必要性を感じないので、かかりつけ歯科医はいない」が 17.2%の順に高くなっている。



#### 【性別】

男女とも《総合》とほぼ同じ割合となっており、大きな違いは見られない。

#### 【年代別】

「歯科にかかることがほとんどないので、かかりつけ歯科医はいない」は年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向が見られる。

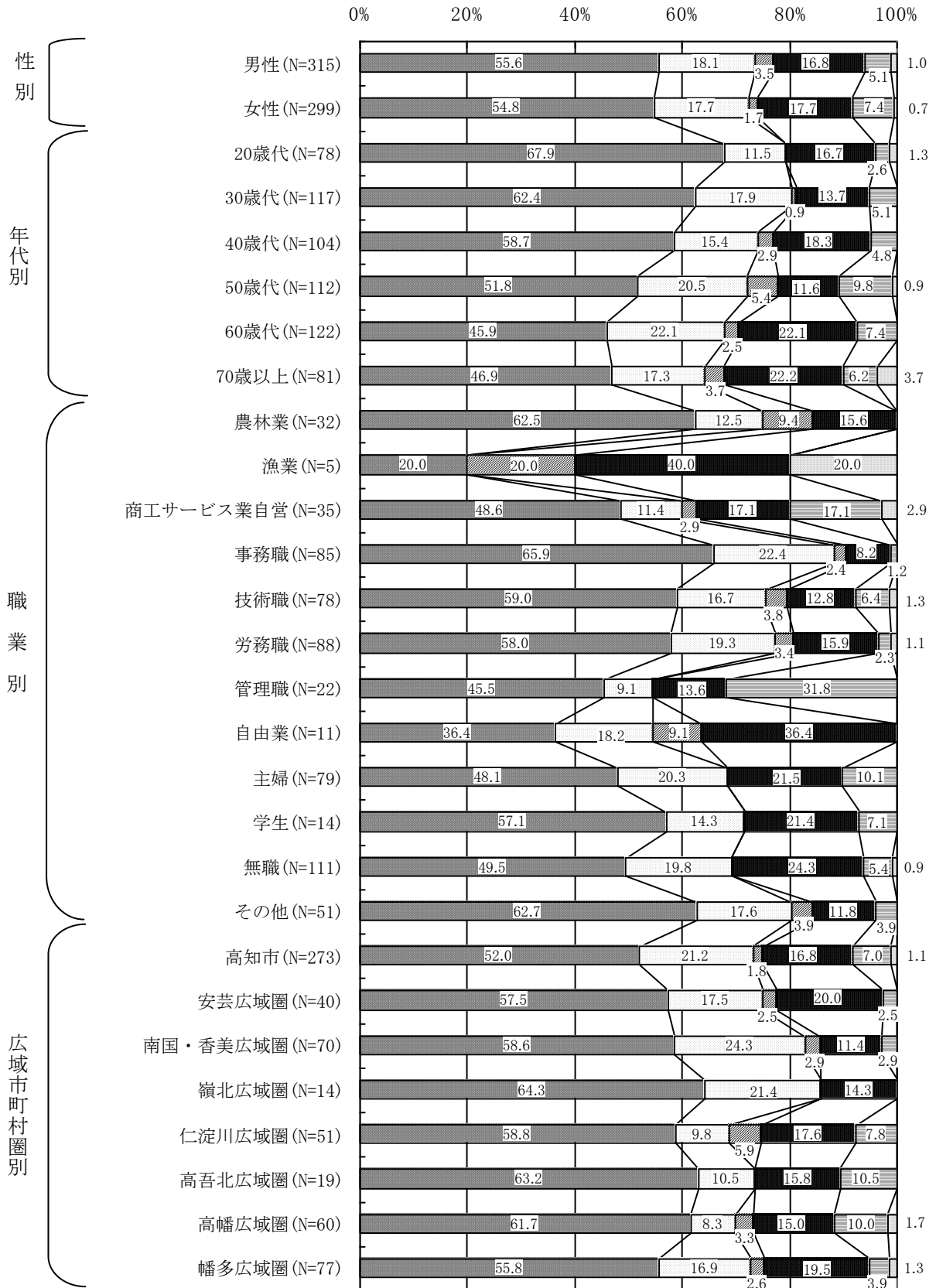
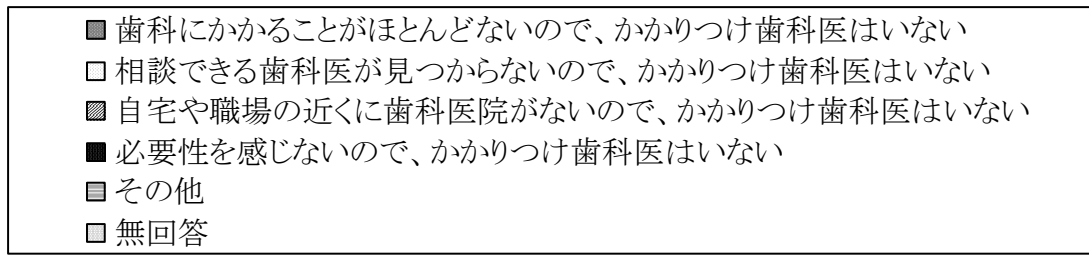
#### 【職業別】

漁業を除くすべての職業区分で、「歯科にかかることがほとんどないので、かかりつけ歯科医はいない」が最も高い割合になっている(同率含む)。漁業、自由業では、「必要性を感じないので、かかりつけ歯科医はいない」の割合が最も高く(同率含む)、その比率も他の職業区分と比べ高くなっている。

#### 【広域市町村圏別】

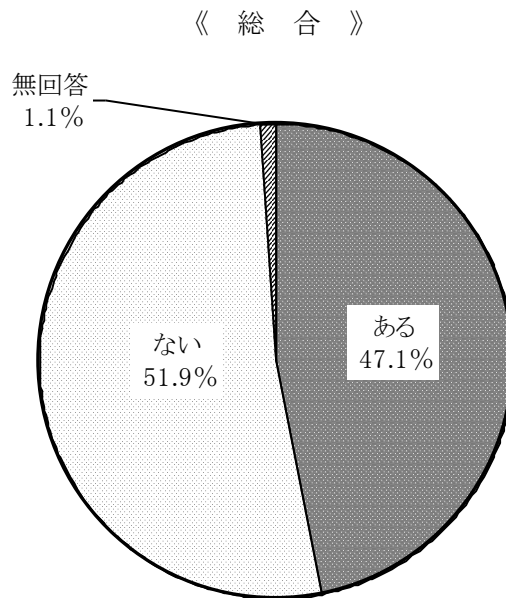
「相談できる歯科医が見つからないので、かかりつけ歯科医はいない」の割合は、南国・香美広域圏で 24.3%に対し、高幡広域圏で 8.3%と、地域により違いが見られる。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



問 17 病院から出された処方箋をいつも調剤してもらう、かかりつけとしている薬局がありますか。(どちらかに○印)

かかりつけとしている薬局があるかどうかについては、「ない」が 51.9%、「ある」は 47.1%となっている。



**【性別】**

「ある」と答えた人の割合は、女性が 50.4%で、男性の 42.5%より 7.9 ポイント高い。

**【年代別】**

「ある」と答えた人は、年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向が見られる。

**【職業別】**

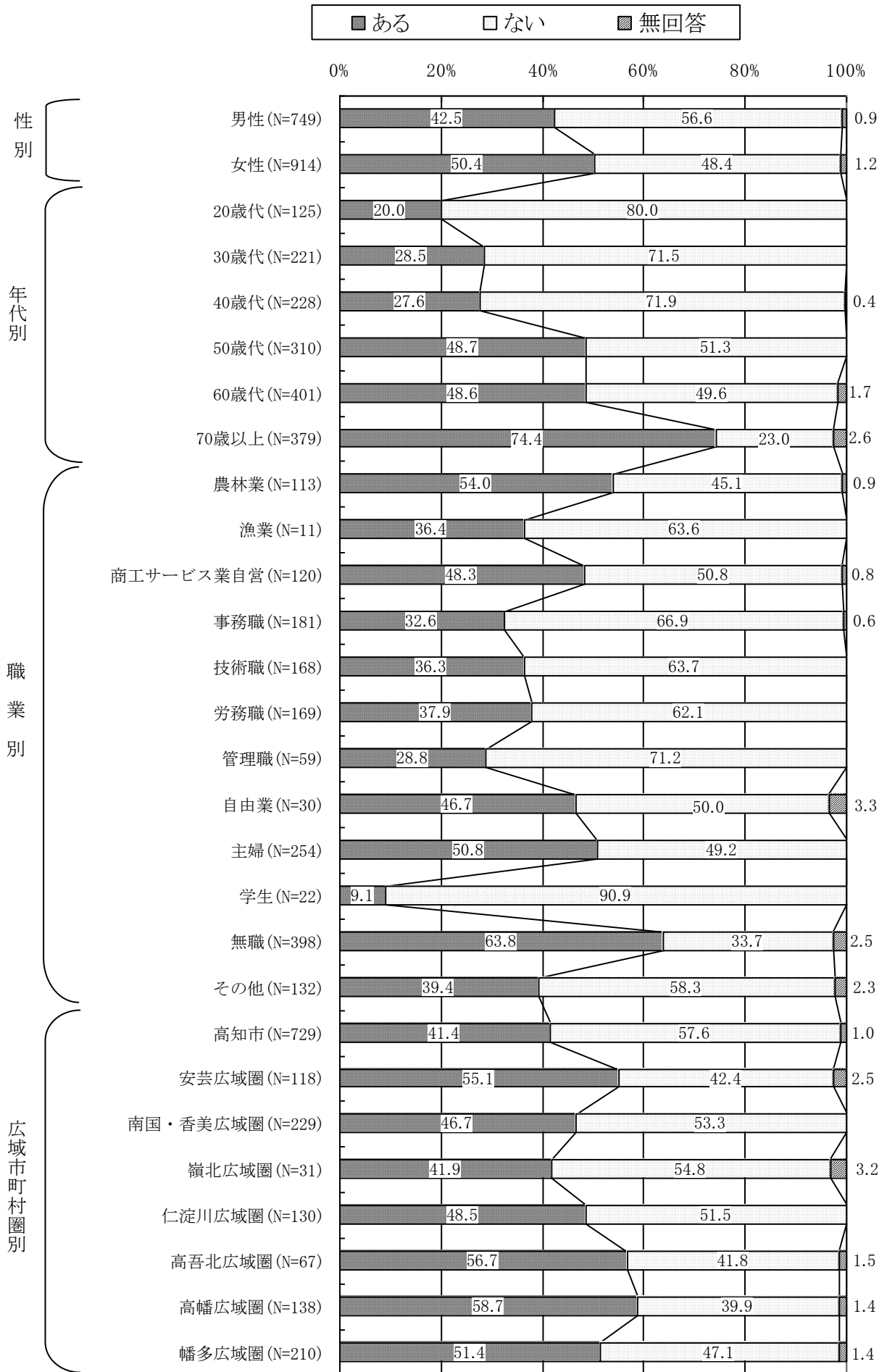
「ある」と答えた人の割合は無職で 63.8%、農林業で 54.0%、主婦で 50.8%と、これらの職業区分で半数を超えており、一方、学生では 9.1%と他の職業区分に比べて低くなっている。

**【広域市町村圏別】**

「ある」と答えた人の割合は、高幡広域圏で 58.7%、高吾北広域圏で 56.7%、安芸広域圏で 55.1%と他の地域に比べ高くなっている。

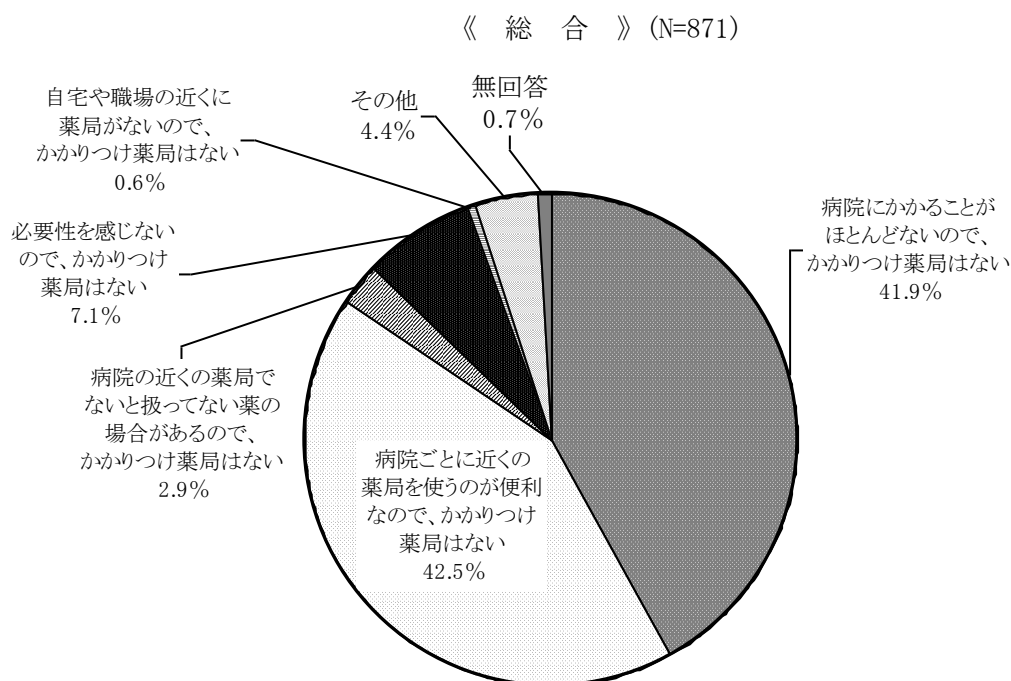


《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



問 17 副問（問 17 で「2」を選んだ方のみお答えください。）かかりつけ薬局がないのはどうしてですか。（1つだけ〇印）

かかりつけ薬局がないと答えた人の理由については、「病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない」が 42.5%、「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない」が 41.9%と、この 2 項目でかかりつけ薬局がない理由の大半を占めている。



### 【性別】

男女とも《総合》と同様に、上位 2 項目でかかりつけ薬局がない理由の大半を占めている。

それぞれの比率を見ると、「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない」は男性が 44.3%で女性の 39.8%より 4.5 ポイント高く、「病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない」は女性が 45.7%で男性の 38.9%より 6.8 ポイント高くなっている。

### 【年代別】

20 歳代、30 歳代では、「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない」が最も高く、その割合も過半数に達している。40 歳以上では、「病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない」の割合が高く、低い年代と高い年代で 1 位となる項目が分かれている。

### 【職業別】

職業区分によって、「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない」と「病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない」の割合に違いが見られる。

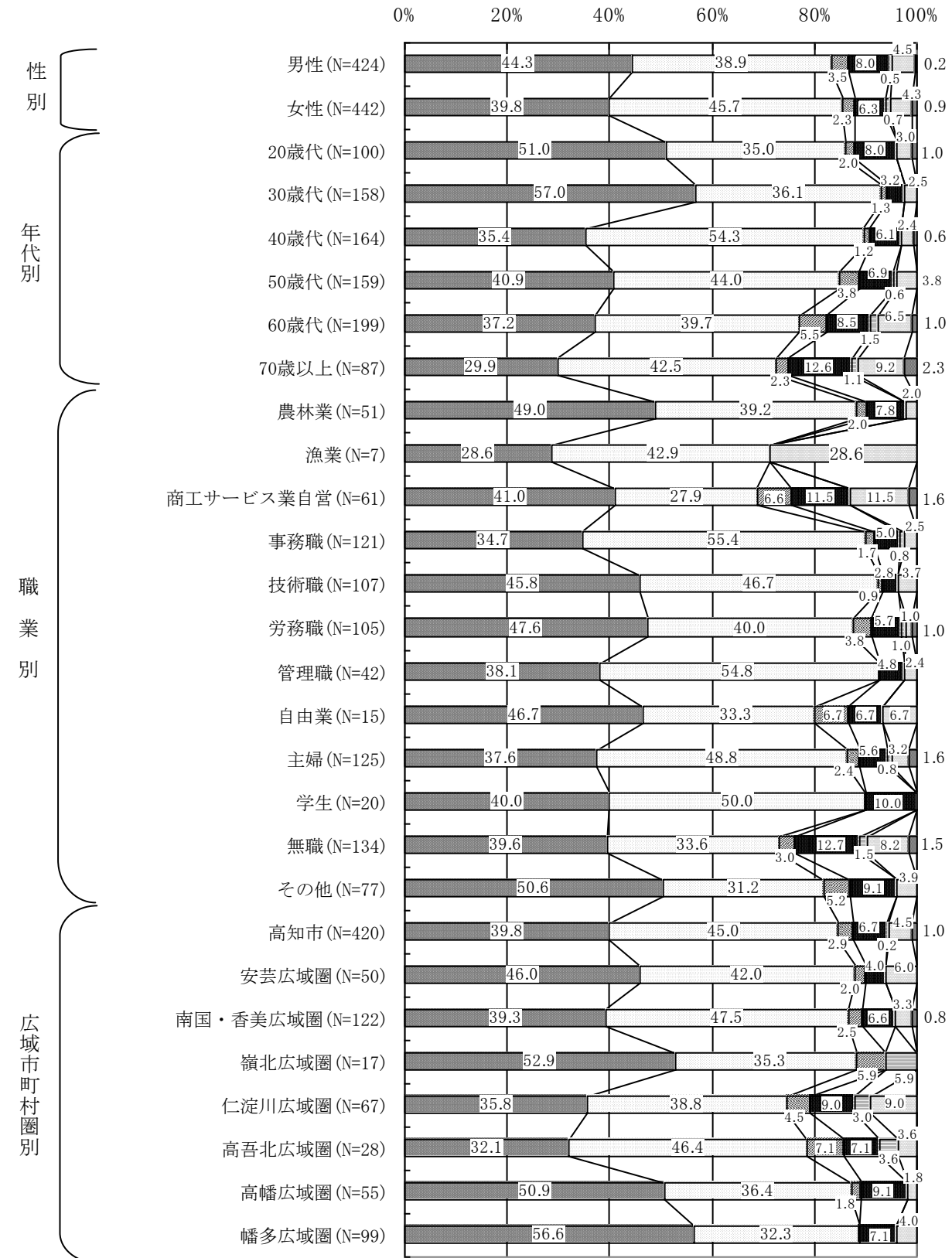
「必要性を感じないので、かかりつけ薬局はない」の割合は、商工サービス業自営で 11.5%、学生 10.0%、無職で 12.7%と他の職業区分に比べてやや高くなっている。

### 【広域市町村圏別】

地域によって、「病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない」と「病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない」の割合に違いが見られる。

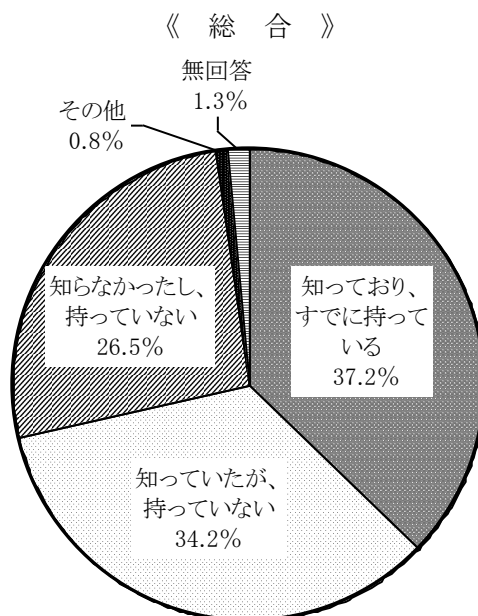
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

- 病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない
- 病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない
- ▨ 病院の近くの薬局でないと扱ってない薬の場合があるので、かかりつけ薬局はない
- 必要性を感じないので、かかりつけ薬局はない
- ▨ 自宅や職場の近くに薬局がないので、かかりつけ薬局はない
- その他
- 無回答



問 18 あなたは「お薬手帳」を知っていましたか、また、持っていますか。(1つだけ○印)

「お薬手帳」を知っていたかどうかについては、『知っている』(=「知っており、すでに持っている」+「知っていたが、持っていない」)の割合は71.4%と3分の2以上を占めているが、「知っており、すでに持っている」のは37.2%と『知っている』のうちの約半数である。



【性別】

『知っている』の割合は女性が81.8%で、男性の58.8%より23ポイント高く、男女間で「お薬手帳」の認知度に違いがある。また、「知っており、すでに持っている」も女性が41.5%で、男性の31.8%より9.7ポイント高い割合となっている。

【年代別】

『知っている』の割合は20歳代と60歳代で6割程度、その他の年代で7割以上となっており、中でも70歳以上は78.8%と高くなっている。特に、70歳以上では「知っており、すでに持っている」も60.9%と他の年代と比べて格段に高い割合となっている。

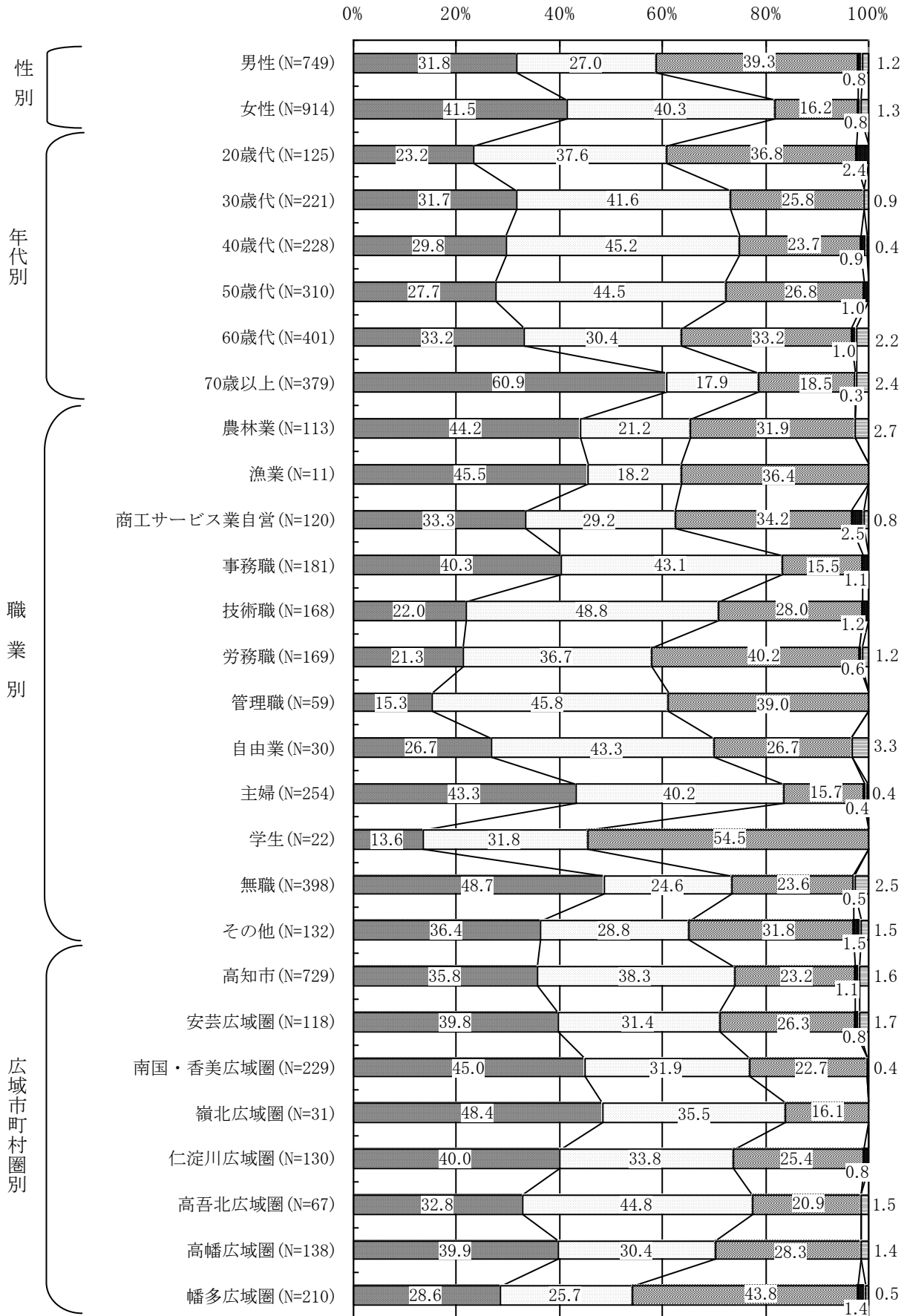
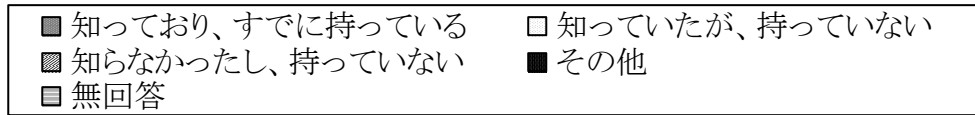
【職業別】

事務職、主婦では『知っている』が8割を超えて高くなっている。  
一方、学生は「知らなかったし、持っていない」が54.5%と過半数に達している。

【広域市町村圏別】

嶺北広域圏では、『知っている』が83.9%と高く、「知っており、すでに持っている」も48.4%と半数近くとなっている。幡多広域圏では、『知っている』が54.3%と他の地域と比べて低い割合となっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

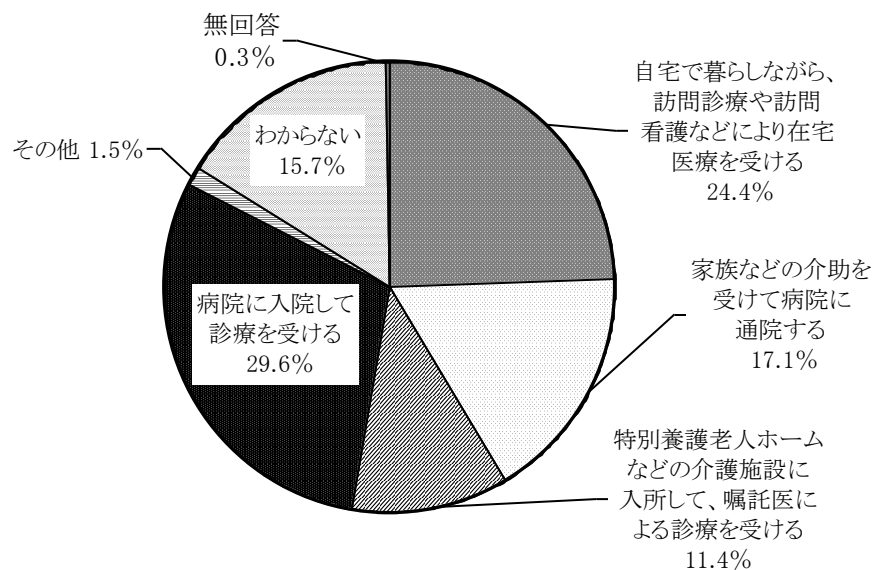


**問 19 仮にあなたが病気の急性期を過ぎて、その後遺症などで長期の療養が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。(1つだけ○印)**

長期療養が必要になった場合にどのような医療を選ぶかについては、「病院に入院して診療を受ける」が 29.6%で最も高く、次いで「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」が 24.4%、「家族などの介助を受けて病院に通院する」が 17.1%と続いている。

『自宅で療養』(=「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」+「家族などの介助を受けて病院に通院する」)は 41.5%、『施設で療養』(=「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける」+「病院に入院して診療を受ける」)は 41.0%と、療養の場所として自宅を選ぶか施設を選ぶかの割合の差はほとんどない。

《 総 合 》



**【性別】**

男女とも、《総合》の割合とほぼ同じである。

**【年代別】**

『自宅で療養』は 20 歳代では 50.4%と過半数に達しており、その他の年代では 4 割程度となっている。

一方、『施設で療養』は、すべての年代で 4 割前後とあまり差はない。

また、30 歳代～50 歳代では「わからない」と答えた人が他の年代に比べてやや高くなっている。

**【職業別】**

農林業、自由業、学生では、『自宅で療養』が 50%以上となっており、漁業を除くこの他の職業区分では 4 割程度となっている。

漁業では、「病院に入院して診療を受ける」が 63.6%で他の職業区分と比べて特に高い。

**【広域市町村圏別】**

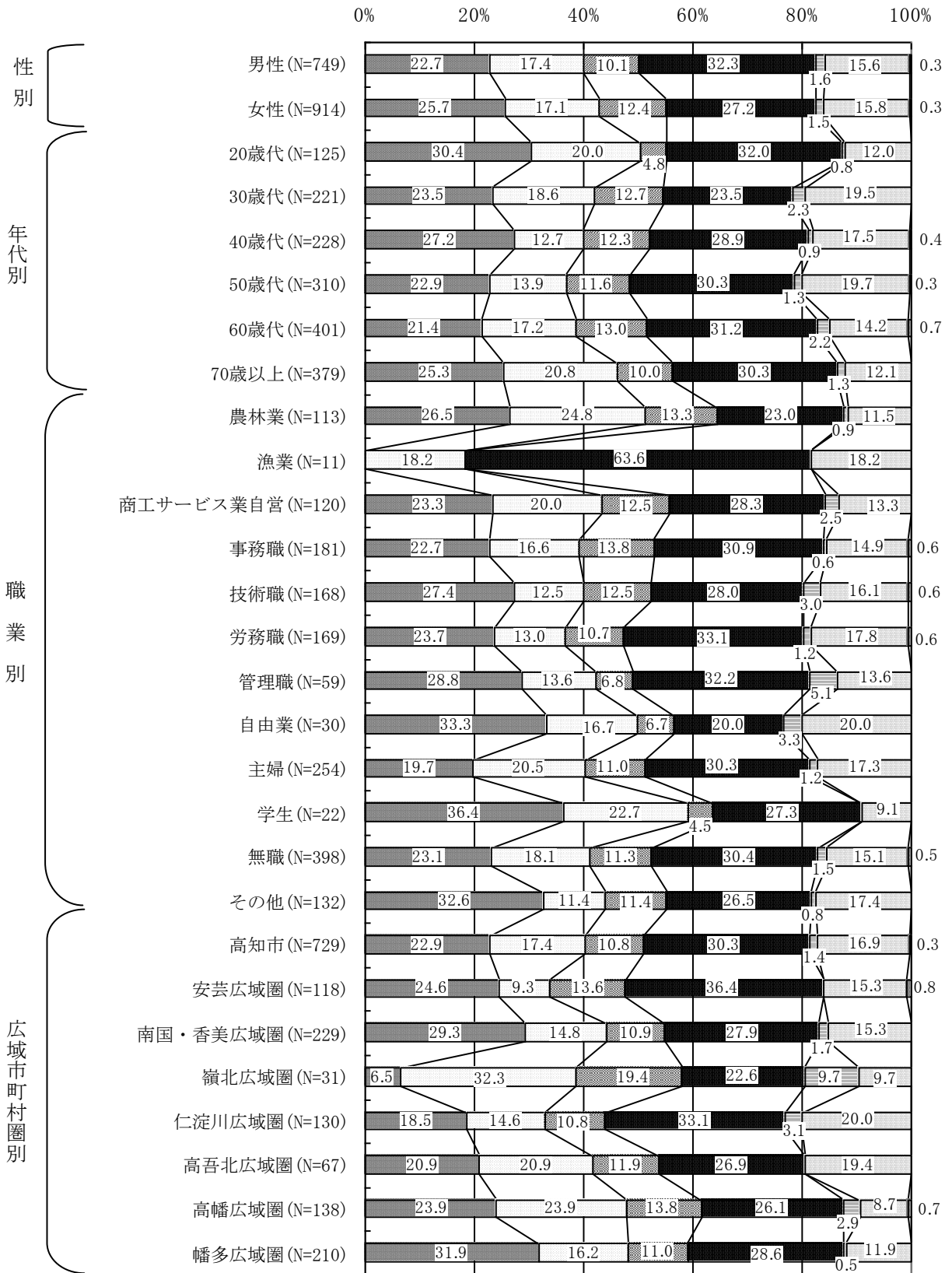
安芸広域圏、仁淀川広域圏で、『自宅で療養』が 3 割程度と他の地域に比べて低くなっている。

また、嶺北広域圏では『自宅で療養』の割合は 38.8%と《総合》とあまり差はないが、内訳を見ると、「自宅で暮らしながら、訪問医療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」は 6.5%とかなり低くなっており、「家族などの介助を受けて病院に通院する」が 32.3%と他の地域に比べて高い割合を示している。

仁淀川広域圏、高吾北広域圏では、「わからない」と答えた人の割合が約 2 割と他の地域に比べてやや高くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

- 自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける
- 家族などの介助を受けて病院に通院する
- ▨ 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける
- 病院に入院して診療を受ける
- ▨ その他
- わからない
- 無回答



【問 15×問 19 のクロス分析】

【問 15 かかりつけとしている医師の有無】の各選択肢を選んだ人が本問にどのように回答しているかをみると、「いる」と答えた人も、「いない」と答えた人も《総合》とあまり違いは見られないが、問 19 の各項目で「いる」と「いない」の比率を比較すると、「家族などの介助を受けて病院に通院する」は「いる」が 19.6%で「いない」の 14.1%より 5.5 ポイント高く、また「わからない」は「いない」が 18.3%で「いる」の 13.1%より 5.2 ポイント高いといった違いが見られる。

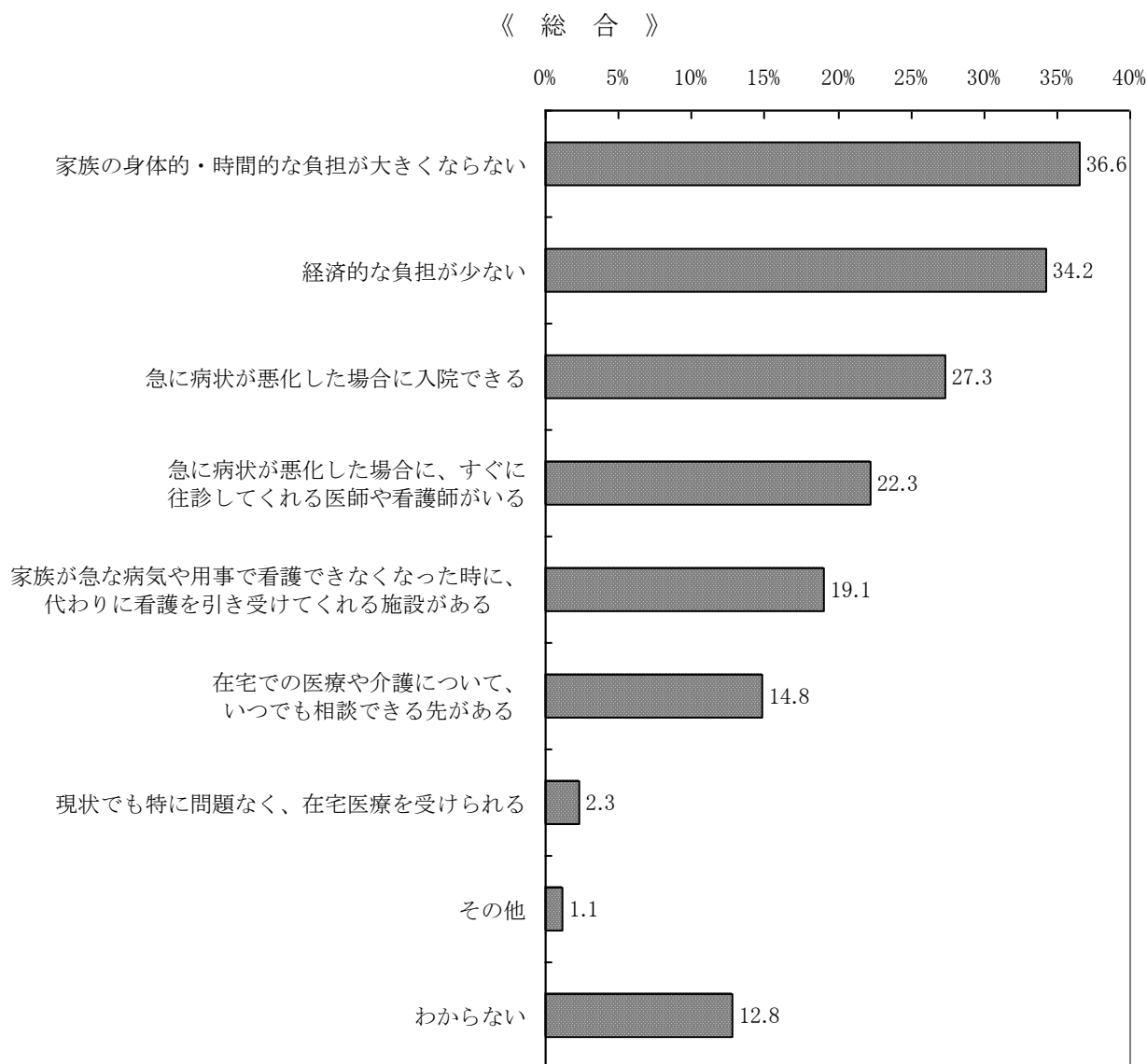
(単位：%)

		問 19					
		病院に入院して診療を受ける	自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける	家族などの介助を受けて病院に通院する	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける	その他	わからない
問 15	いる	29.3	22.8	19.6	13.0	1.8	13.1
	いない	30.3	26.2	14.1	9.6	1.2	18.3



**問 20 あなたが長期の療養が必要になった場合、どのような条件や環境を整えば在宅医療を選択しますか。(2つまで○印)**

長期療養が必要になった場合、どのような条件や環境を整えば在宅医療を選択するかについては、「家族の身体的・時間的な負担が大きくなるならない」が36.6%と最も高く、次に、「経済的な負担が少ない」が34.2%とあまり差がなく2位となっており、以下、「急に病状が悪化した場合に入院できる」が27.3%、「急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる」が22.3%と続いている。



**【性別】**

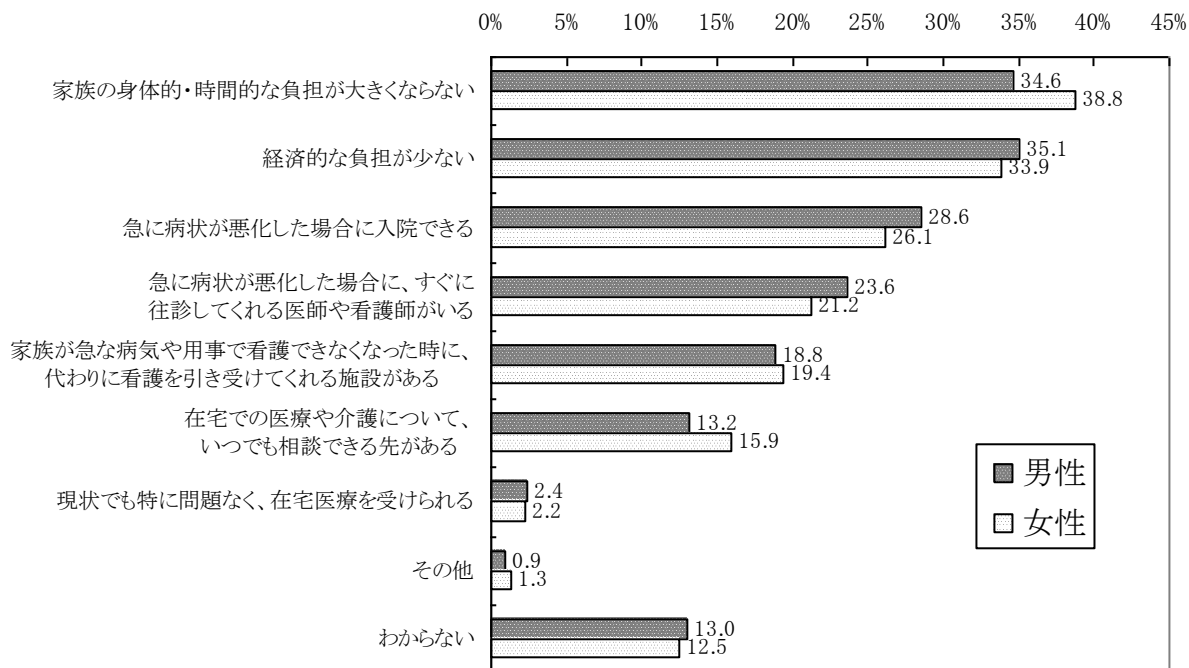
女性は、《総合》の順位と同じであるが、男性は「経済的な負担が少ない」が1位となっている。

**【年代別】**

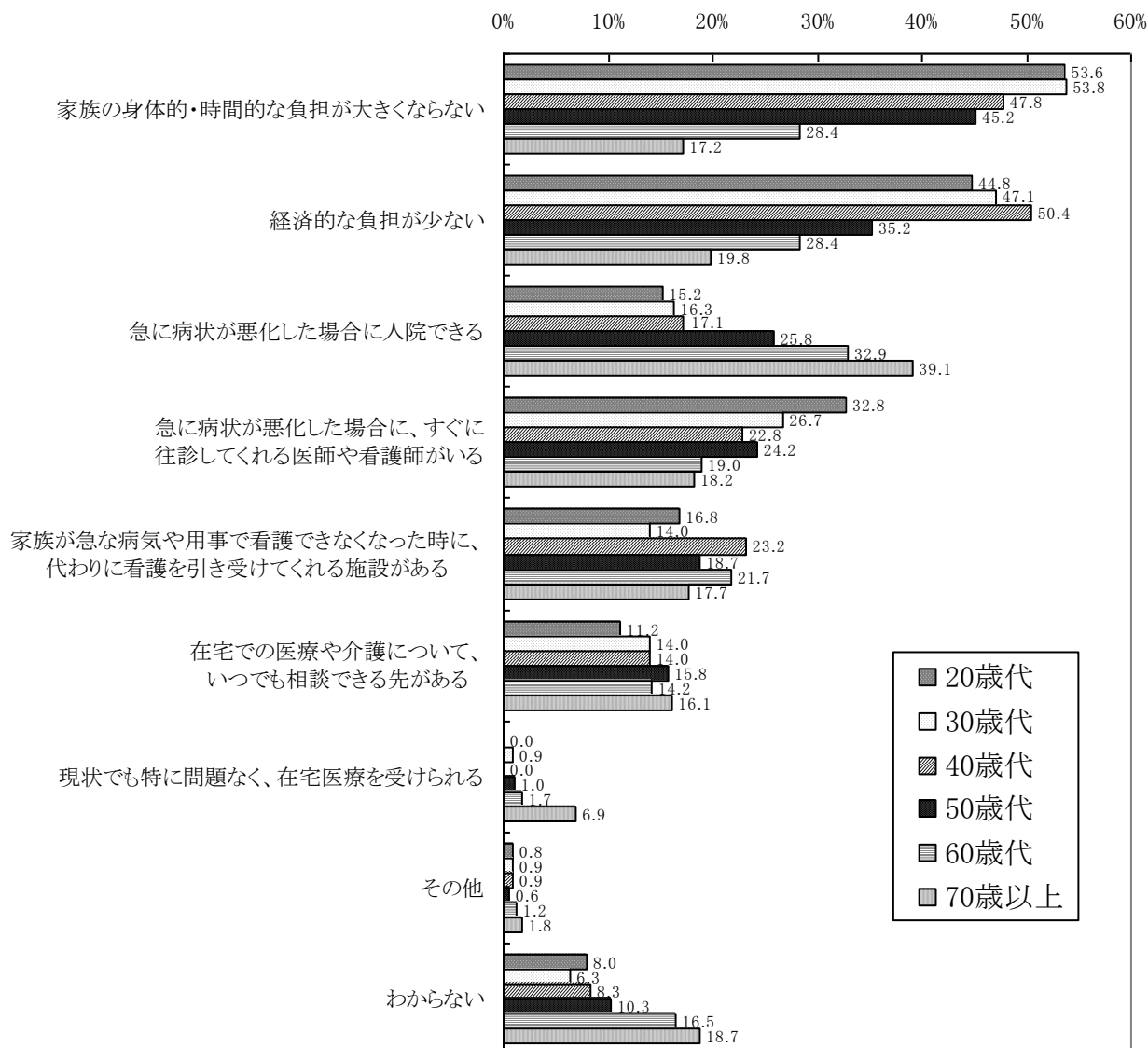
20歳代、30歳代、50歳代では、「家族の身体的・時間的な負担が大きくなるならない」が最も高く、40歳代では「経済的な負担が少ない」が最も高い。60歳以上では「急に病状が悪化した場合に入院できる」が最も高く、年代によって違いが見られる。

「家族の身体的・時間的な負担が大きくなるならない」は40歳以上で、「経済的な負担が少ない」は50歳以上で、それぞれ年齢が高くなるほど比率が低くなる傾向が見られ、「急に病状が悪化した場合に入院できる」では年齢が高くなるほど比率が高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

すべての職業区分で、《総合》の上位3項目のいずれかが最も高くなっている。事務職、技術職、管理職、自由業、学生で「家族の身体的・時間的な負担が大きくなる」が50%以上と他の職業区分に比べ高い比率となっている。

【広域市町村圏別】

幡多広域圏を除くすべての地域で「家族の身体的・時間的な負担が大きくなる」が最も高く、幡多広域圏では「経済的な負担が少ない」が最も高くなっている。

嶺北広域圏では、《総合》5位の「家族が急な病気や用事で看護できなくなった時に、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある」が29.0%で2位となっており、他の地域と違いが見られる。

《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

項目 属性		家族の身体的・時間的な負担が大きくなる	経済的な負担が少ない	急に病状が悪化した場合に入院できる	急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる	家族が急な病気や用事で看護できなくなった時に、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある	在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある	現状でも特に問題なく、在宅医療を受けられる	その他	わからない
職業別	農林業	31.0	27.4	36.3	23.9	24.8	15.0	4.4	0.0	8.8
	漁業	18.2	27.3	27.3	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1
	商工サービス業自営	32.5	33.3	36.7	20.0	16.7	12.5	1.7	0.0	11.7
	事務職	51.9	39.8	21.5	26.5	15.5	16.0	1.7	2.2	5.0
	技術職	52.4	45.2	14.3	31.5	22.0	10.7	0.6	0.0	6.0
	労務職	38.5	47.9	21.3	24.3	17.2	11.8	0.6	1.2	10.7
	管理職	55.9	32.2	28.8	35.6	18.6	6.8	0.0	1.7	6.8
	自由業	50.0	23.3	23.3	16.7	23.3	16.7	0.0	3.3	10.0
	主婦	38.6	28.0	26.8	17.3	25.6	18.9	2.0	1.6	14.2
	学生	54.5	31.8	18.2	45.5	9.1	9.1	0.0	0.0	13.6
	無職	21.6	28.4	34.7	17.3	15.6	16.6	4.3	0.5	20.6
その他	34.8	40.2	22.7	22.0	19.7	12.9	0.8	2.3	15.2	
広域市町村圏別	高知市	40.1	36.5	26.7	21.1	18.0	15.0	1.2	1.1	12.3
	安芸広域圏	33.1	28.8	29.7	21.2	19.5	16.1	0.8	0.0	16.1
	南国・香美広域圏	40.2	37.1	28.4	25.3	20.1	15.3	1.7	0.4	8.7
	嶺北広域圏	32.3	22.6	25.8	19.4	29.0	9.7	6.5	3.2	16.1
	仁淀川広域圏	34.6	33.8	32.3	16.2	19.2	13.1	1.5	1.5	13.8
	高吾北広域圏	31.3	26.9	28.4	17.9	22.4	14.9	6.0	0.0	17.9
	高幡広域圏	29.7	27.5	25.4	24.6	21.7	13.8	5.8	3.6	14.5
	幡多広域圏	32.4	36.7	26.7	26.7	18.6	15.7	2.9	1.0	11.9

【問 19×問 20 のクロス分析】

【問 19 長期療養が必要になった場合に選ぶ医療形態】の各選択肢を選んだ人が本問にどのように回答しているかをみると、いずれの医療形態を選んだ人も「家族の身体的・時間的な負担が大きくなる」の比率が高くなっている。

特に問 19 の回答が「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける」となっている人は、「家族の身体的・時間的な負担が大きくなる」の比率が 44.8%、「家族が急な病気や用事で介護できなくなった時に、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある」が 29.7%と他の医療形態を選んだ人よりも高くなっている。

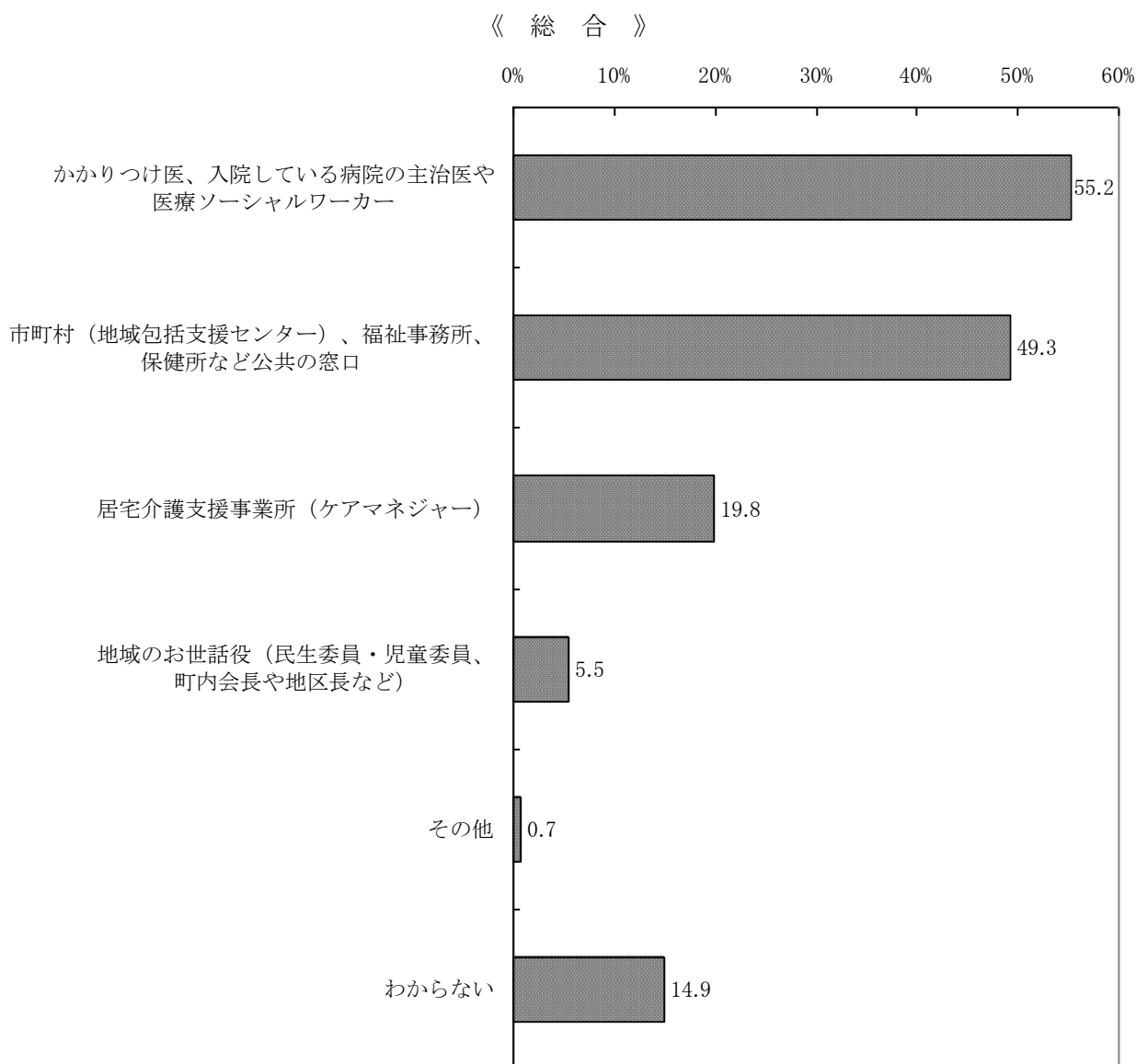
他に、問 19 で「自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける」となっている人は、「急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる」が 31.8%、「在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある」が 24.2%と他の医療形態を選んだ人よりも高くなっている。また、問 19 の回答が「病院に入院して診療を受ける」となっている人は、「急に病状が悪化した場合に入院できる」が 33.4%と他の医療形態を選んだ人よりも高くなっている。

(単位：%)

		問 20								
		家族の身体的・時間的な負担が大きくなる	経済的な負担が少ない	急に病状が悪化した場合に入院できる	急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる	看護を引き受けてくれる施設がある	家族が急な病気や用事で介護できなくなった時に、代わりに在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある	現状でも特に問題なく、在宅医療を受けられる	その他	わからない
問 19	自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける	38.4	34.5	28.9	31.8	18.6	24.2	2.4	0.5	4.4
	家族などの介助を受けて病院に通院する	33.4	32.1	30.0	25.8	18.8	16.4	5.6	1.4	9.1
	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける	44.8	36.5	21.9	18.8	29.7	14.1	0.0	1.0	10.4
	病院に入院して診療を受ける	36.8	33.6	33.4	18.1	17.9	10.7	1.4	1.4	12.9
	その他	26.9	30.8	19.2	23.1	26.9	11.5	0.0	11.5	11.5
	わからない	31.9	36.9	15.2	14.4	14.1	7.6	1.9	0.4	31.9

**問 21 あなたや家族の方が在宅医療を選択する場合、どこに相談しますか。(2つまで○印)**

在宅医療を選択する場合にどこに相談するかについては、「かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー」の比率が 55.2%で、次いで「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所など公共の窓口」が 49.3%と、上位 2 項目の比率が約 50%となっている。



**【性別】**

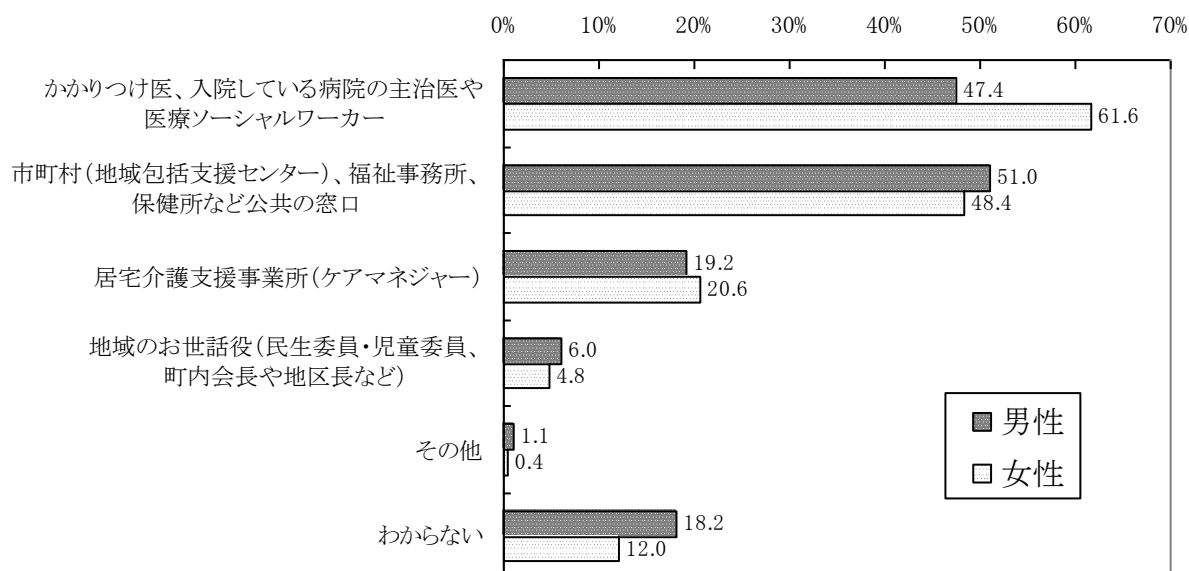
「かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー」は、女性が 61.6%で、男性の 47.4%より 14.2 ポイント高くなっている。男性では、「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所など公共の窓口」が 51.0%で 1 位になっている。

**【年代別】**

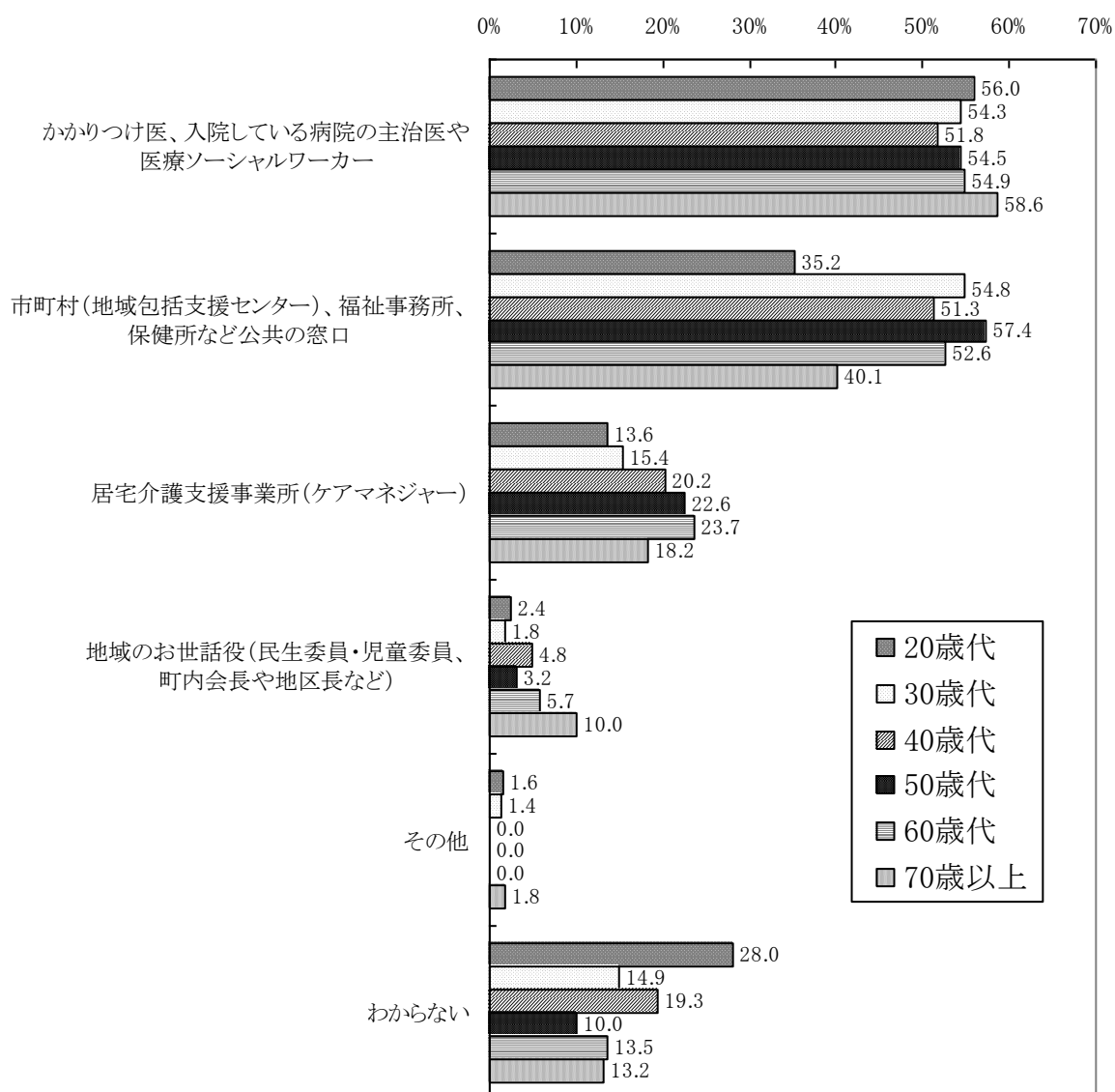
いずれの年代も、《総合》の上位 2 項目のどちらかが最も高くなっている。

項目ごとの比率を見ると、すべての年代で「かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー」は過半数に達しているが、「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所など公共の窓口」は 20 歳代と 70 歳以上では 50%に満たない比率で、他の年代と比べ低くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

労務職、その他を除くすべての職業区分で、「かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー」が最も高くなっている（同率含む）。漁業、労務職、管理職、その他では、「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所など公共の窓口」が最も高くなっている（同率含む）。

【広域市町村圏別】

高知市を除くすべての地域で「市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所など公共の窓口」が最も高くなっている（同率含む）。特に、嶺北広域圏では、その比率が77.4%と高い比率を示している。

高知市では、「かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー」が59.0%で最も高くなっている。

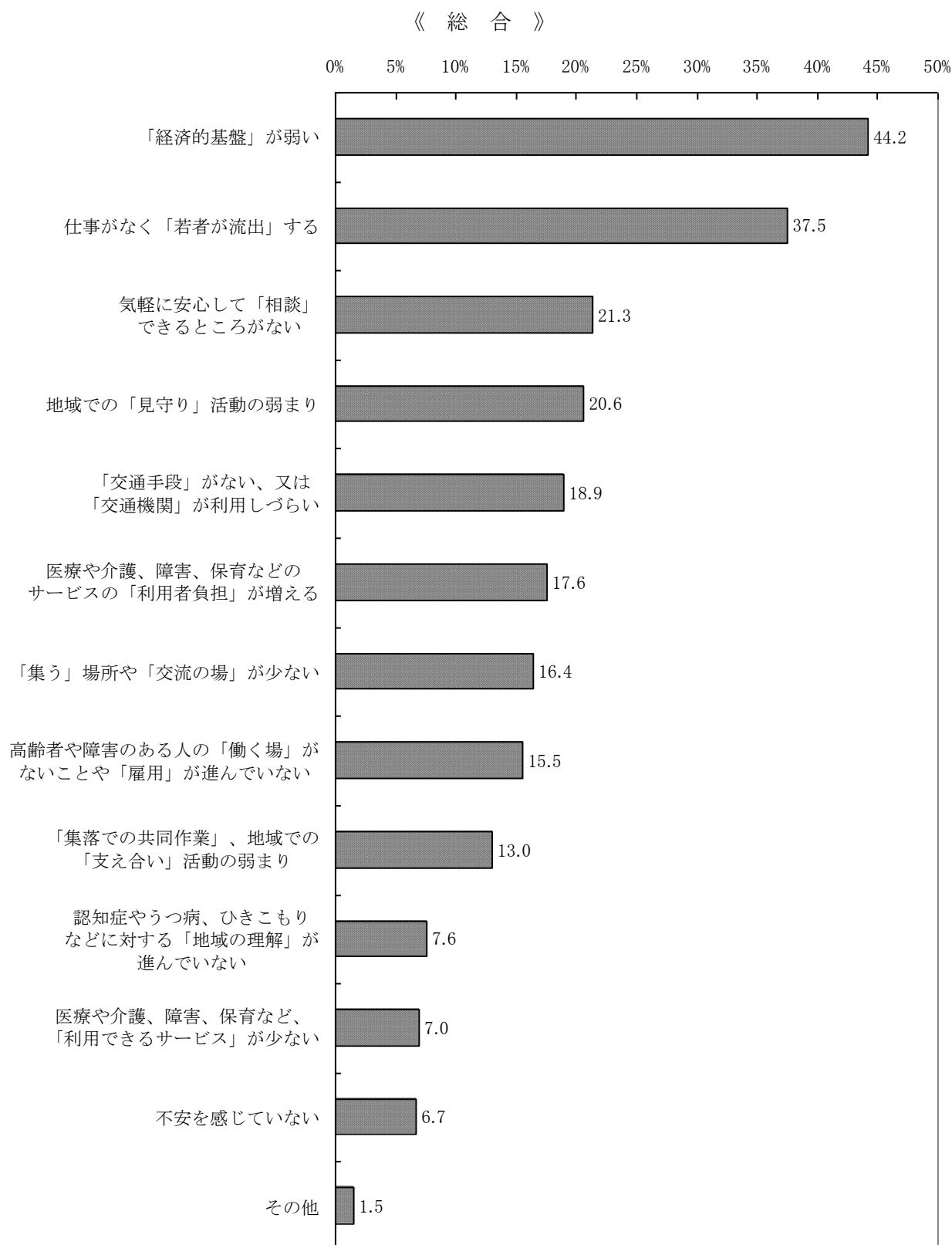
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属 性		項 目	かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー	市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所など公共の窓口	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	地域のお世話役（民生委員・児童委員、町内会長や地区長など）	その他	わからない			
									農林業	漁業	商工サービス業自営
職業別	農林業	58.4	55.8	20.4	8.8	0.0	9.7				
	漁業	54.5	54.5	18.2	0.0	9.1	9.1				
	商工サービス業自営	57.5	54.2	19.2	0.8	0.0	10.0				
	事務職	61.9	51.9	18.2	1.1	0.0	13.3				
	技術職	60.7	55.4	26.2	2.4	0.0	11.3				
	労務職	44.4	52.7	18.9	8.3	1.2	16.6				
	管理職	47.5	47.5	28.8	0.0	3.4	16.9				
	自由業	60.0	26.7	23.3	0.0	3.3	16.7				
	主婦	64.2	44.1	19.7	5.9	0.4	13.4				
	学生	63.6	40.9	13.6	0.0	4.5	31.8				
	無職	52.0	47.2	18.8	8.8	0.8	15.3				
	その他	43.2	50.8	15.9	5.3	0.8	23.5				
広域市町村圏別	高知市	59.0	40.5	21.0	4.7	0.5	17.7				
	安芸広域圏	52.5	53.4	21.2	5.1	0.0	14.4				
	南国・香美広域圏	57.2	58.1	19.7	1.3	1.3	10.9				
	嶺北広域圏	45.2	77.4	16.1	6.5	0.0	3.2				
	仁淀川広域圏	53.1	56.2	15.4	6.2	0.0	14.6				
	高吾北広域圏	47.8	47.8	25.4	13.4	0.0	13.4				
	高幡広域圏	50.0	55.8	15.9	5.1	1.4	15.9				
	幡多広域圏	51.0	56.7	20.0	10.0	1.4	10.5				

問 22 あなたは、現在お住まいの地域で、今後も安心して暮らしていくことについて、どのような不安を感じていますか。（3つまで○印）

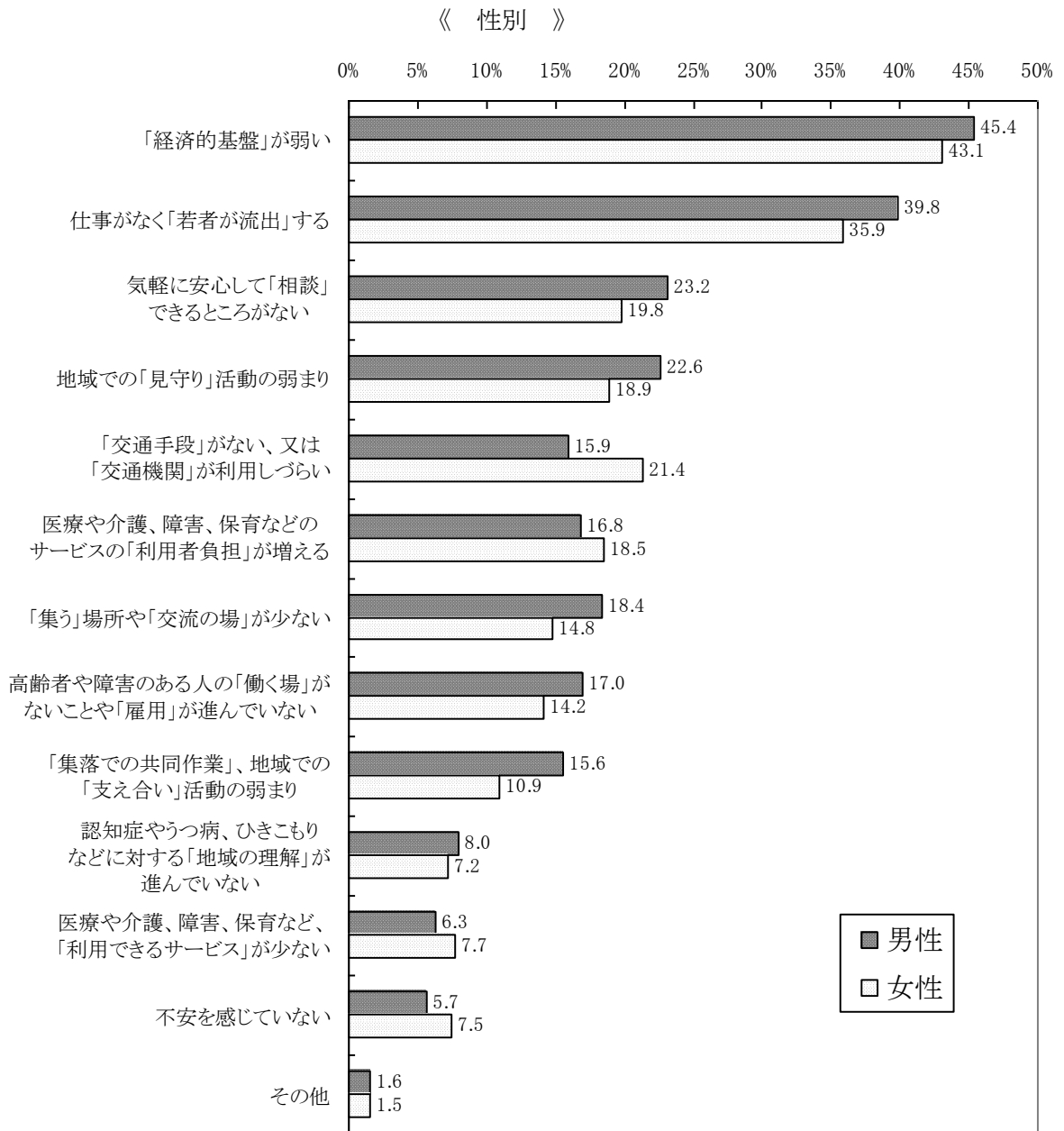
現在居住する地域で暮らしていくことに、どのような不安を感じているかについては、『『経済的基盤』が弱い』が44.2%で最も高く、次いで「仕事がなく『若者が流出』する」が37.5%、「気軽に安心して『相談』できるところがない」が21.3%、「地域での『見守り』活動の弱まり」が20.6%、「『交通手段』がない、又は『交通機関』が利用しづらい」が18.9%と続いている。





**【性別】**

男女とも1位、2位は《総合》と同じであるが、3位以下はそれぞれ順位に違いが見られる。《総合》の上位4項目についてはいずれも男性の方が比率が高いが、女性では、《総合》5位の『交通手段』がない、又は『交通機関』が利用しづらい」が21.4%で3位となっており、男性の15.9%より5.5ポイント高くなっている。

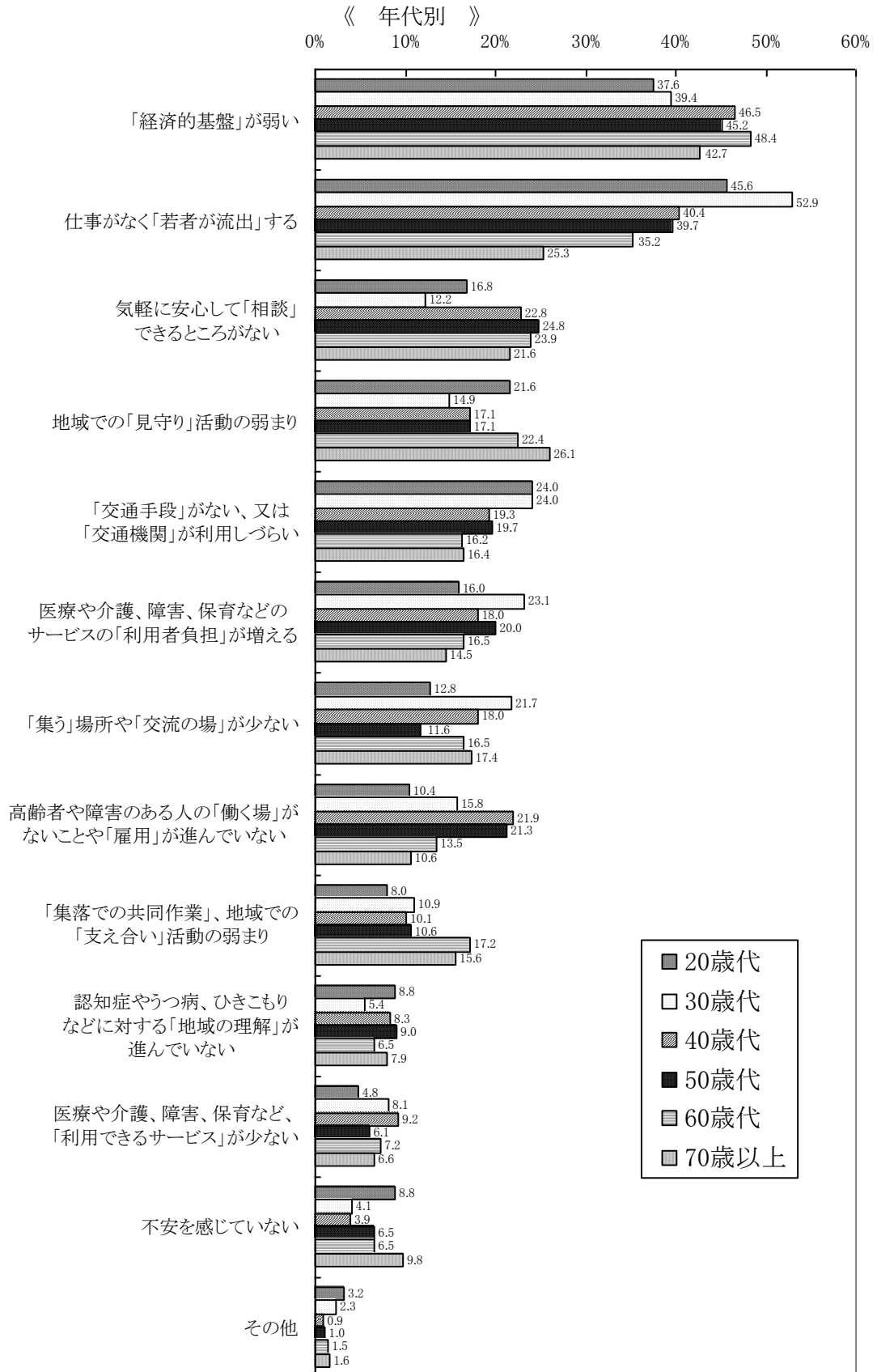


【年代別】

20歳代、30歳代では、「仕事がなく『若者が流出』する」が最も高く、その比率も20歳代が45.6%、30歳代が52.9%と他の年代に比べて高くなっている。

一方、40歳以上では「『経済的基盤』が弱い」が最も高く、比率はどの年代も《総合》とほぼ差はない。

また、70歳以上では2位が「地域での『見守り』活動の弱まり」となっており、年代間で順位が分かれている。



【職業別】

いずれの職業区分でも《総合》の上位2項目のどちらかが最も高くなっている。特に、商工サービス業自営、労務職では『『経済的基盤』が弱い』の比率が50%以上と他の職業区分に比べて高く、学生では「仕事がなく『若者が流出』する」が54.5%と他に比べ際立って高い比率となっている。

【広域市町村圏別】

いずれの地域でも《総合》の上位2項目のどちらかが最も高くなっている。

嶺北広域圏では、1位の『『経済的基盤』が弱い』の比率が61.3%、2位の「仕事がなく『若者が流出』する」が58.1%、3位には『『集落での共同作業』、地域での『支え合い』活動の弱まり』が32.3%となっており、いずれも他の地域と比べて際立って高い比率となっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

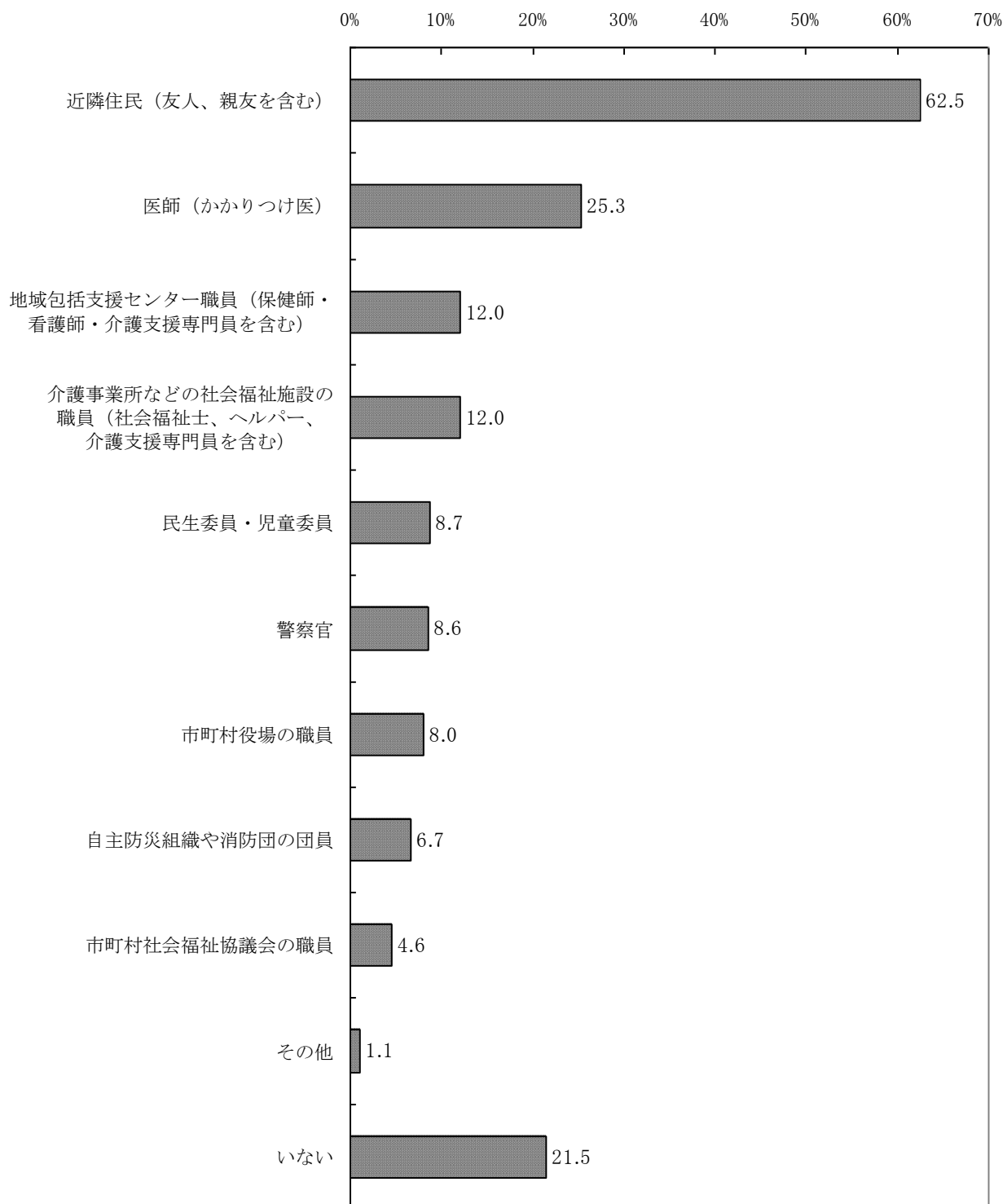
項目 属性		「経済的基盤」が弱い	仕事がなく「若者が流出」する	気軽に安心して「相談」できるところがない	地域での「見守り」活動の弱まり	「交通手段」がない、又は「交通機関」が利用しづらい	医療や介護、障害、保育などのサービスの「利用者負担」が増える	「集う」場所や「交流の場」が少ない	高齢者や障害のある人の「働く場」がないことや「雇用」が進んでいない	「集落での共同作業」、地域での「支え合い」活動の弱まり	認知症やうつ病、ひきこもりなどに対する「地域の理解」が進んでいない	医療や介護、障害、保育など、「利用できるサービス」が少ない	不安を感じていない	その他
職業別	農林業	42.5	38.9	16.8	23.9	18.6	13.3	19.5	8.8	21.2	12.4	8.0	8.0	0.9
	漁業	45.5	45.5	27.3	0.0	18.2	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0
	商工サービス業自営	50.0	40.8	22.5	18.3	12.5	15.8	17.5	10.8	10.0	5.0	3.3	3.3	1.7
	事務職	40.9	44.8	17.1	17.1	28.7	21.5	16.0	16.0	9.4	5.0	8.8	7.2	1.1
	技術職	45.2	43.5	20.2	14.3	18.5	22.0	19.0	15.5	12.5	12.5	8.3	3.6	3.0
	労務職	57.4	46.7	21.3	19.5	13.6	21.9	12.4	23.7	10.1	1.8	5.9	1.8	1.2
	管理職	35.6	30.5	32.2	27.1	16.9	22.0	11.9	20.3	15.3	5.1	11.9	5.1	1.7
	自由業	23.3	40.0	26.7	16.7	26.7	3.3	10.0	6.7	6.7	10.0	0.0	6.7	3.3
	主婦	35.8	33.1	20.9	21.3	24.4	16.5	17.3	14.6	14.2	9.1	7.1	9.4	1.2
	学生	31.8	54.5	22.7	13.6	27.3	9.1	13.6	13.6	9.1	13.6	4.5	9.1	0.0
	無職	47.5	27.1	23.1	21.9	15.8	16.6	17.8	14.6	15.3	6.8	7.8	9.0	1.8
	その他	44.7	46.2	18.2	27.3	16.7	18.2	13.6	18.9	10.6	8.3	5.3	6.8	1.5
広域市町村圏別	高知市	42.1	31.8	26.3	23.0	14.3	19.2	18.1	14.3	13.2	7.0	6.9	8.0	1.9
	安芸広域圏	39.8	54.2	21.2	17.8	26.3	18.6	12.7	11.9	10.2	4.2	7.6	3.4	0.8
	南国・香美広域圏	45.4	31.0	17.5	22.3	24.0	19.2	19.2	15.3	16.6	5.7	5.7	7.0	0.9
	嶺北広域圏	61.3	58.1	16.1	22.6	12.9	19.4	9.7	6.5	32.3	22.6	0.0	0.0	6.5
	仁淀川広域圏	46.9	35.4	18.5	16.9	16.9	14.6	12.3	18.5	10.8	6.9	13.1	6.9	0.8
	高吾北広域圏	40.3	41.8	11.9	17.9	20.9	13.4	16.4	22.4	11.9	10.4	6.0	9.0	0.0
	高幡広域圏	46.4	47.1	15.2	22.5	26.8	12.3	15.9	12.3	10.1	11.6	5.8	2.9	2.9
	幡多広域圏	49.0	44.3	18.6	14.8	22.9	16.2	14.8	21.0	10.0	8.1	7.6	6.2	0.5

**問 23 あなたが今お住まいの地域で安心して暮らしていくために、家族や親類以外にあなたの周りで頼りに思う人は誰ですか。(3つまで〇印)**

居住地域で安心して暮らしていくために、家族や親類以外で頼りに思う人については、「近隣住民(友人、親友を含む)」が62.5%と突出して高くなっている。それに続く項目は「医師(かかりつけ医)」が25.3%となっている。以下、「地域包括支援センター職員(保健師・看護師・介護支援専門員を含む)」と「介護事業所などの社会福祉施設の職員(社会福祉士、ヘルパー、介護支援専門員を含む)」がともに12.0%となっているなど、10%前後の項目が続く。

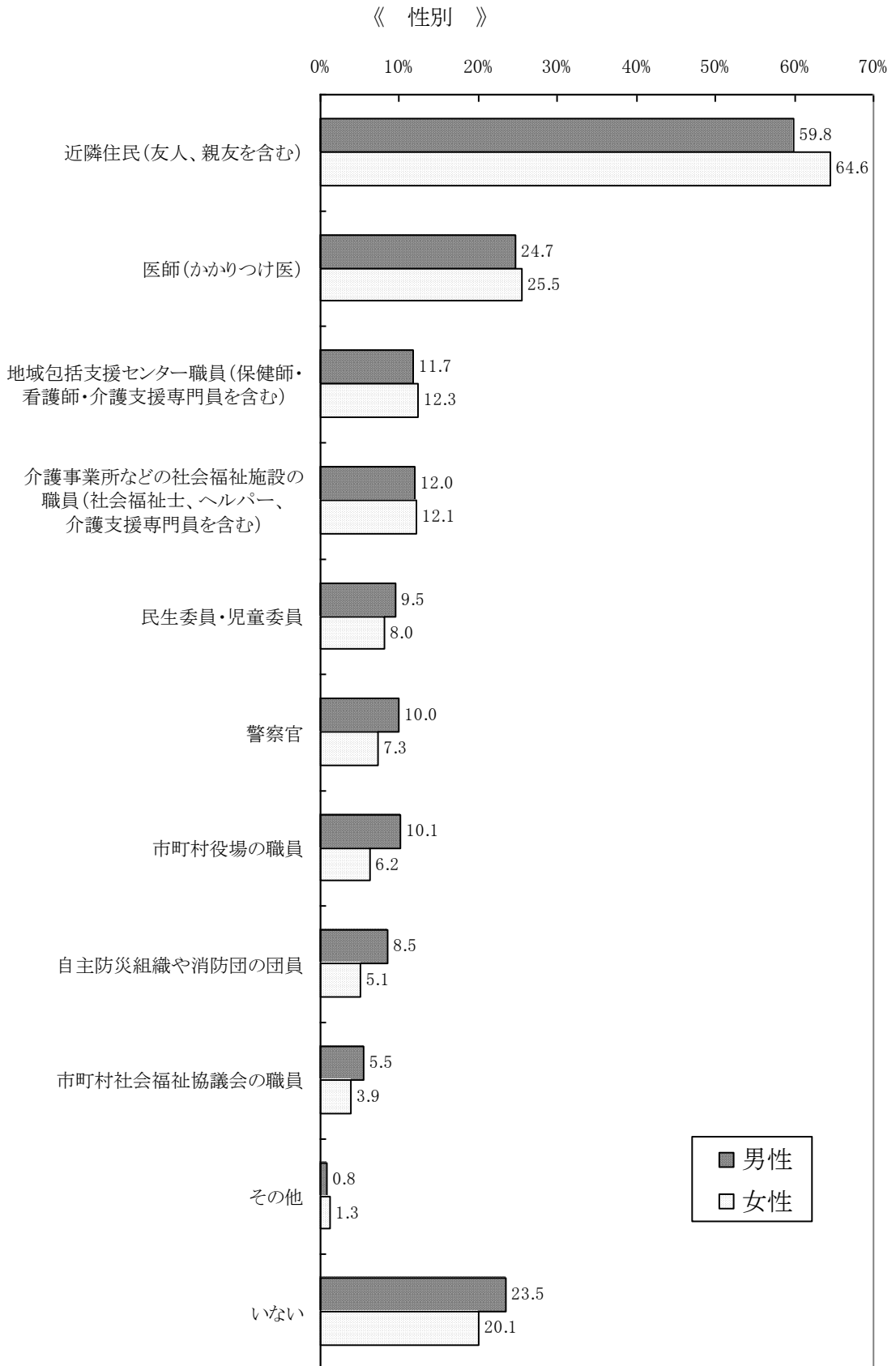
なお、「いない」は21.5%となっている。

《 総 合 》



【性別】

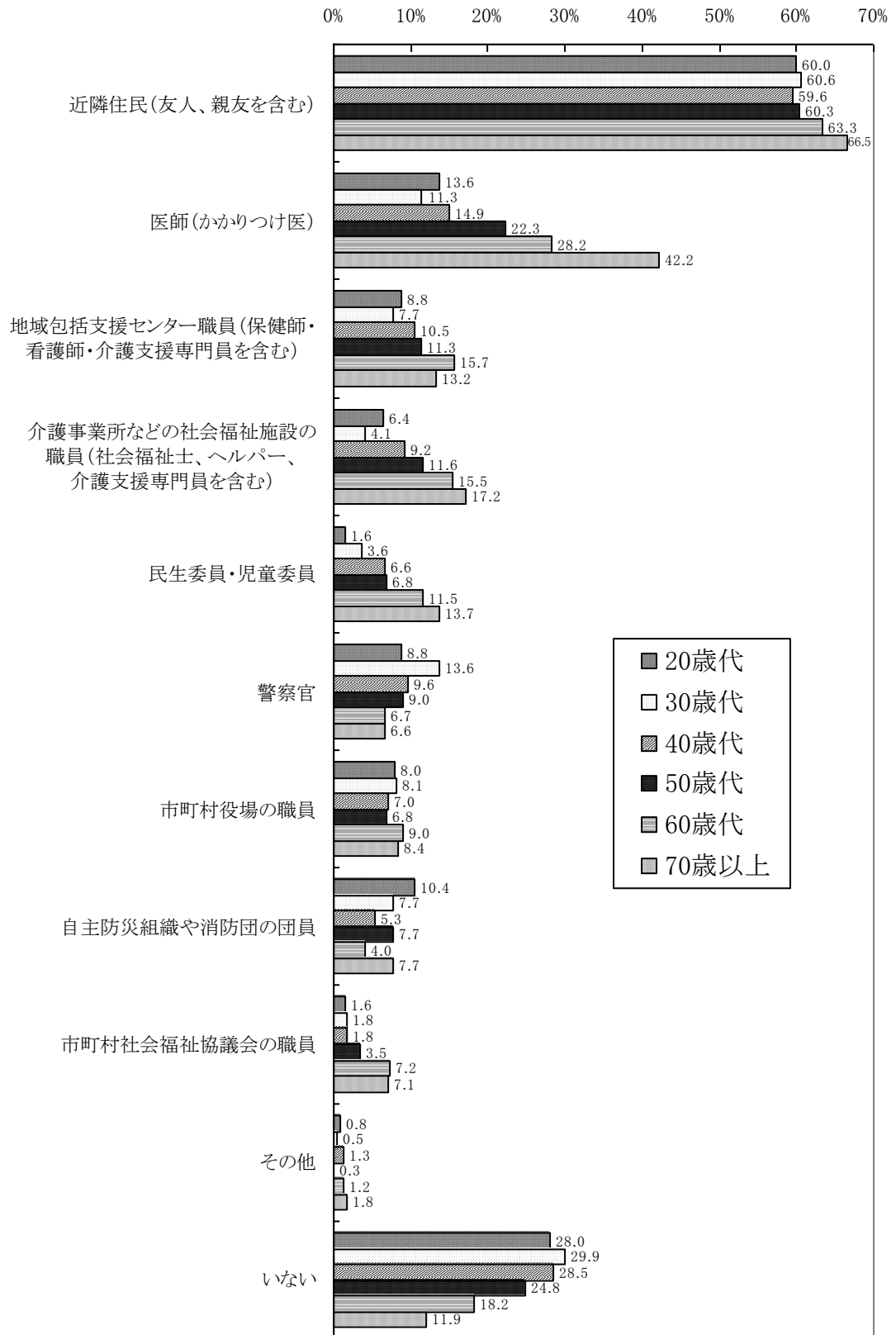
男女に大きな比率の差は見られない。「近隣住民（友人、親友を含む）」は女性が 64.6%で男性の 59.8%より 4.8 ポイント高い。



【年代別】

いずれの年代でも「近隣住民（友人、親友を含む）」の比率が最も高い一方で、《総合》で2位の「医師（かかりつけ医）」は年齢が高くなるほど比率も高くなる傾向が見られる。また、「いない」は年齢が低くなるほど、比率が高くなる傾向が見られる。

《 年代別 》



【職業別】

いずれの職業区分でも「近隣住民（友人、親友を含む）」が最も高く、中でも漁業で90.9%、農林業で80.5%と特に高い。一方、自由業ではその比率が43.3%となり、「いない」の40.0%とほとんど差がなく、他の職業区分と違いが見られる。

【広域市町村圏別】

いずれの地域でも「近隣住民（友人、親友を含む）」が最も高く、2位は嶺北広域圏を除く地域で「医師（かかりつけ医）」となっている。嶺北広域圏では、1位の「近隣住民（友人、親友を含む）」の比率が83.9%、2位の「市町村社会福祉協議会の職員」が41.9%となっており、高知市では「いない」が28.1%と他の地域と比べて比率が高く、違いが見られる。

《 職業別・広域市町村圏別 》

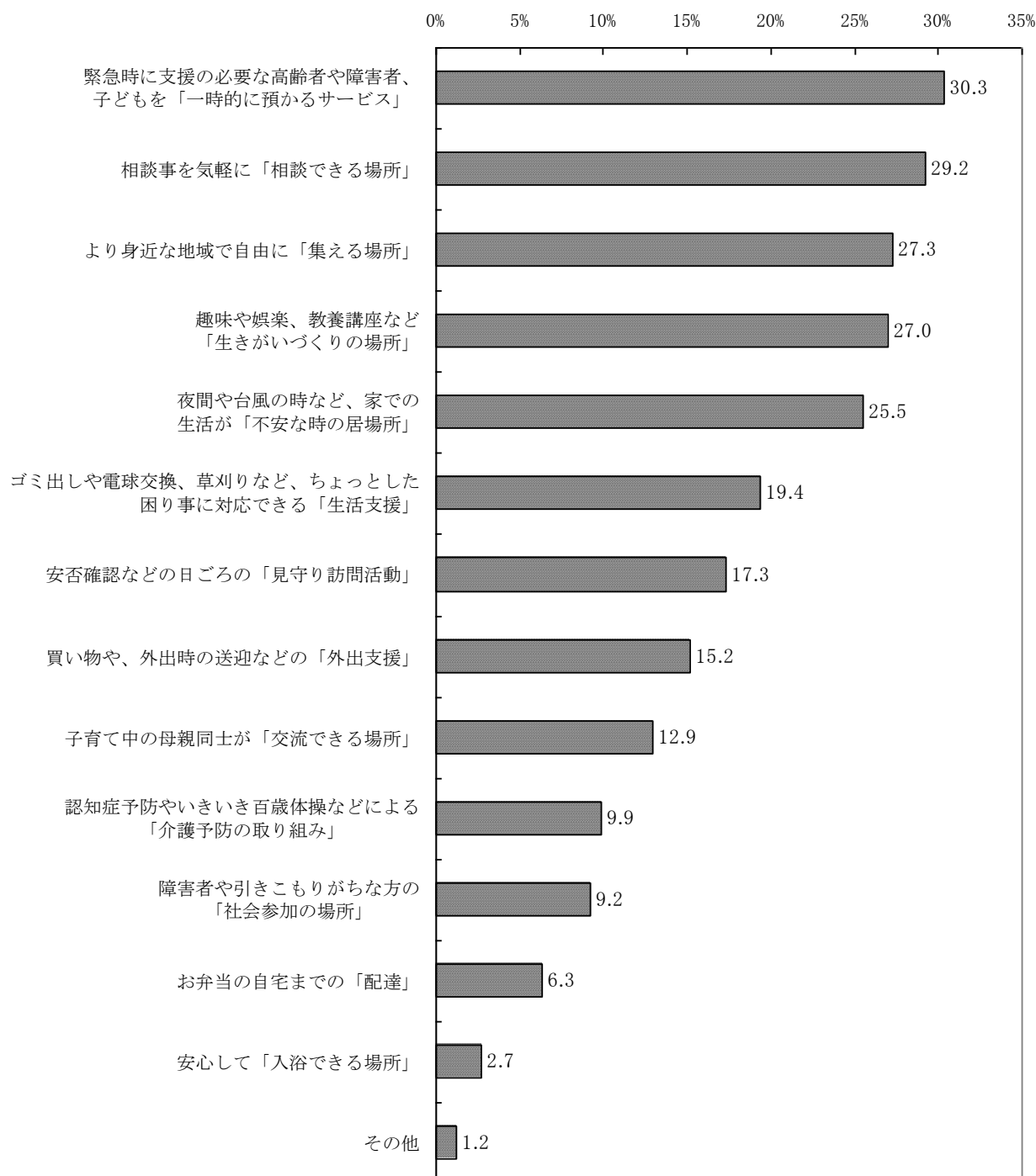
(単位：%)

項目 属性		近隣住民(友人、親友を含む)	医師(かかりつけ医)	地域包括支援センター職員(保健師・看護師・介護支援専門員を含む)	介護事業所などの社会福祉施設の職員(社会福祉士、ヘルパー、介護支援専門員を含む)	民生委員・児童委員	警察官	市町村役場の職員	自主防災組織や消防団の団員	市町村社会福祉協議会の職員	その他	いない
		職業別	農林業	80.5	33.6	8.8	15.0	20.4	1.8	8.8	9.7	8.0
	漁業	90.9	27.3	0.0	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1
	商工サービス業自営	62.5	23.3	9.2	10.0	6.7	4.2	5.8	4.2	5.0	0.8	23.3
	事務職	65.2	19.9	11.0	8.3	5.5	11.6	5.0	7.7	1.1	0.0	22.7
	技術職	60.7	22.6	11.3	12.5	4.2	7.7	9.5	4.8	2.4	0.6	25.6
	労務職	56.2	12.4	7.7	8.9	8.3	10.1	7.1	7.1	4.1	0.6	33.1
	管理職	64.4	22.0	18.6	15.3	3.4	16.9	15.3	5.1	5.1	1.7	16.9
	自由業	43.3	10.0	13.3	0.0	0.0	13.3	3.3	6.7	0.0	0.0	40.0
	主婦	63.8	27.2	16.9	14.2	8.3	8.7	5.5	5.5	5.5	1.2	18.1
	学生	63.6	13.6	9.1	4.5	0.0	13.6	13.6	22.7	4.5	4.5	18.2
	無職	60.3	33.9	12.6	15.3	13.1	7.5	10.1	7.0	6.5	2.0	18.6
	その他	57.6	21.2	12.1	9.1	3.0	10.6	8.3	6.1	3.8	0.8	26.5
広域市町村圏別	高知市	55.8	22.2	8.8	10.7	7.0	12.2	6.7	6.2	2.3	0.8	28.1
	安芸広域圏	72.0	34.7	15.3	11.0	11.0	1.7	8.5	9.3	3.4	0.8	12.7
	南国・香美広域圏	63.3	29.3	18.8	14.4	9.6	7.9	7.9	6.6	5.7	0.9	18.3
	嶺北広域圏	83.9	12.9	9.7	16.1	9.7	6.5	22.6	9.7	41.9	0.0	6.5
	仁淀川広域圏	62.3	26.9	12.3	11.5	10.0	6.9	11.5	5.4	4.6	3.1	18.5
	高吾北広域圏	70.1	22.4	16.4	20.9	9.0	7.5	4.5	10.4	4.5	1.5	13.4
	高幡広域圏	72.5	26.8	14.5	8.0	10.1	3.6	9.4	7.2	8.0	1.4	15.2
	幡多広域圏	69.5	27.1	11.0	13.3	10.5	6.7	8.6	6.7	5.2	1.0	16.7

**問 24** このように、「あったかふれあいセンター」ではさまざまな支援を行っていますが、どのような機能（支援）をさらに充実すれば良いと思いますか。（3つまで○印）

「あったかふれあいセンター」に関して、さらに充実してほしいと思う機能（支援）については、「緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを『一時的に預かるサービス』」が 30.3%、「相談事を気軽に『相談できる場所』」が 29.2%、「より身近な地域で自由に『集える場所』」が 27.3%、「趣味や娯楽、教養講座など『生きがいがづくりの場所』」が 27.0%、「夜間や台風の時など、家での生活が『不安な時の居場所』」が 25.5%と、5位までがあまり差がなく並んでいる。

《 総 合 》

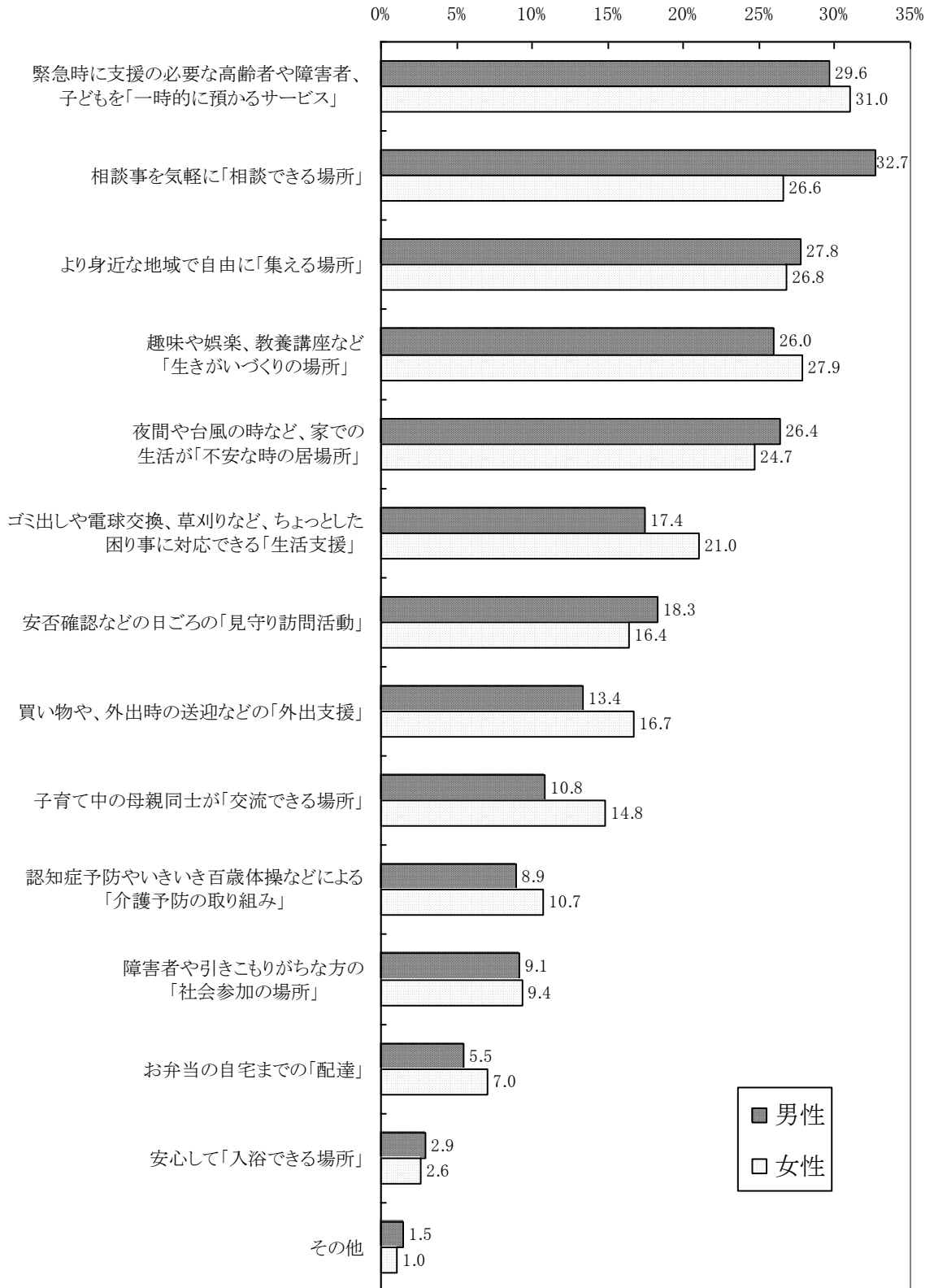




【性別】

男性は「相談事を気軽に『相談できる場所』」が32.7%で最も高く、女性は「緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを『一時的に預かるサービス』」が31.0%で最も高くなるなど、男女間で順位に違いが見られる。

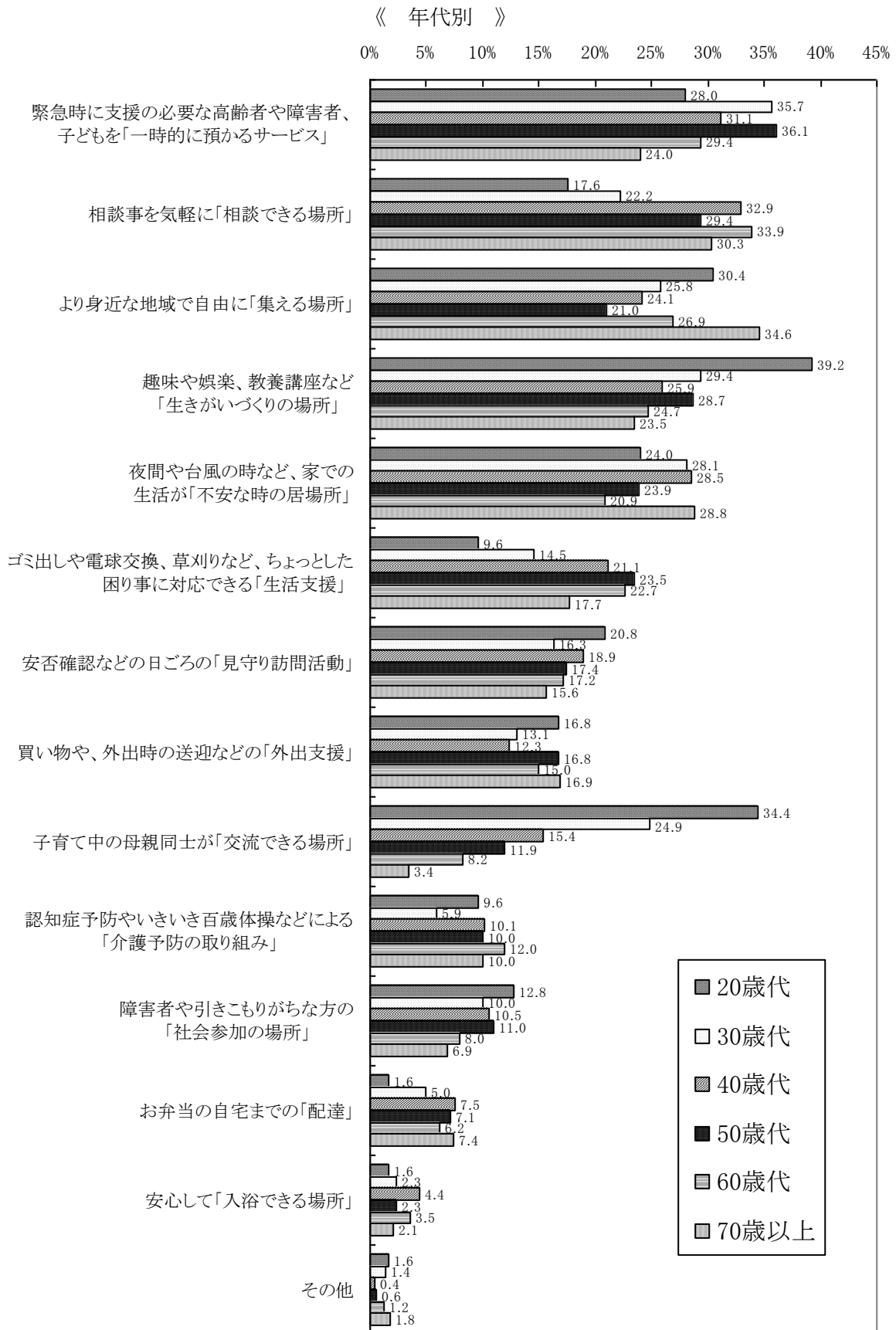
《 性別 》



【年代別】

20歳代では《総合》4位の「趣味や娯楽、教養講座など『生きがいくりの場所』」が39.2%で1位、《総合》9位の「子育て中の母親同士が『交流できる場所』」が34.4%で2位と、他の年代に比べて順位も比率も特になくなっている。

また、70歳以上では「より身近な地域で自由に『集える場所』」が34.6%で最も高いなど、年代ごとで比率の高い項目に違いが見られる。



【職業別】

職業区分により求める機能に違いが見られる。漁業では「より身近な地域で自由に『集える場所』」が45.5%、管理職では「緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを『一時的に預かるサービス』」が47.5%と、特に高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市では「相談事を気軽に『相談できる場所』」が、嶺北広域圏では「夜間や台風の時など、家での生活が『不安な時の居場所』」、高幡広域圏、幡多広域圏では「より身近な地域で自由に『集える場所』」が最も高くなっており、その他の地域では「緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを『一時的に預かるサービス』」が最も高くなっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

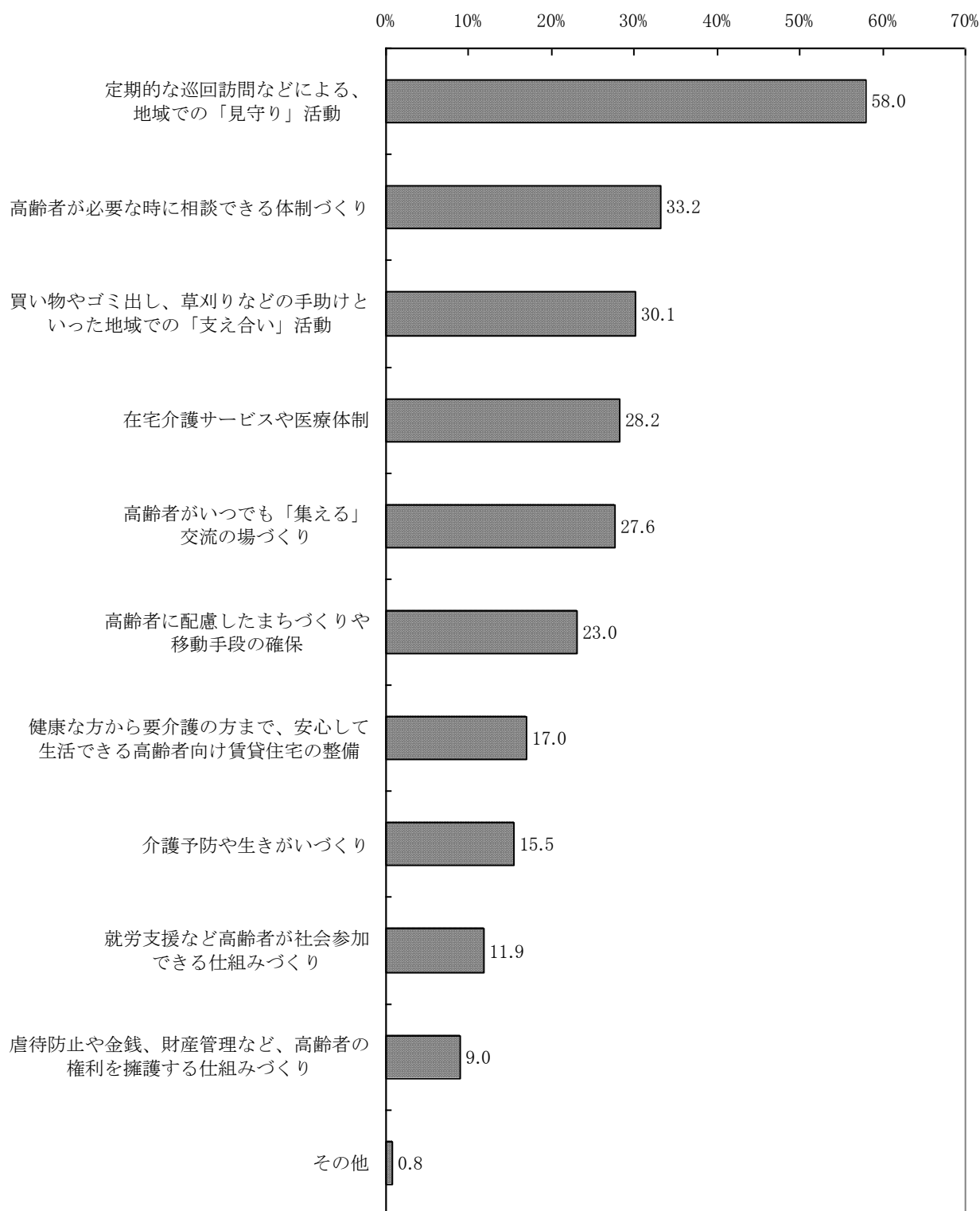
(単位：%)

項目	属性	緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを一時的に預かるサービス	相談事を気軽に「相談できる場所」	より身近な地域で自由に「集える場所」	趣味や娯楽、教養講座など「生きがいがづくりの場所」	夜間や台風の時など、家での生活が「不安な時の居場所」	ゴミ出しや電球交換、草刈りなど、ちょっとした困り事に対応できる「生活支援」	安否確認などの日ごろの「見守り訪問活動」	買い物や、外出時の送迎などの「外出支援」	子育て中の母親同士が「交流できる場所」	認知症予防やいきいき百歳体操などによる「介護予防の取り組み」	障害者や引きこもりがちな方の「社会参加の場所」	お弁当の自宅までの「配達」	安心して「入浴できる場所」	その他
職業別	農林業	31.9	27.4	34.5	22.1	23.0	13.3	13.3	18.6	14.2	11.5	6.2	4.4	2.7	0.9
	漁業	36.4	9.1	45.5	18.2	27.3	9.1	18.2	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	31.7	30.0	31.7	22.5	24.2	17.5	12.5	10.8	15.0	12.5	3.3	4.2	5.0	1.7
	事務職	31.5	22.7	23.8	37.0	27.1	18.8	19.3	14.9	19.9	8.3	11.0	3.9	2.8	2.2
	技術職	35.7	26.8	32.1	31.0	20.8	19.0	18.5	16.1	16.7	8.3	8.3	4.2	2.4	0.0
	労務職	31.4	30.8	22.5	29.6	28.4	18.3	16.0	13.6	18.3	4.7	9.5	11.2	2.4	0.6
	管理職	47.5	37.3	18.6	32.2	27.1	16.9	20.3	15.3	10.2	11.9	13.6	5.1	0.0	1.7
	自由業	26.7	33.3	16.7	26.7	13.3	13.3	13.3	10.0	3.3	13.3	10.0	13.3	3.3	3.3
	主婦	28.3	32.3	26.4	30.3	24.8	22.0	12.6	16.5	14.2	13.8	10.2	9.1	2.0	1.6
	学生	31.8	18.2	36.4	36.4	27.3	9.1	31.8	13.6	22.7	18.2	18.2	4.5	4.5	0.0
	無職	27.6	32.7	28.4	20.9	28.6	21.9	18.1	16.1	4.5	9.0	8.0	7.0	2.5	1.0
	その他	25.0	25.8	23.5	23.5	22.7	22.7	26.5	15.9	12.9	10.6	13.6	2.3	3.8	1.5
広域市町村圏別	高知市	28.8	30.5	24.3	27.4	25.0	20.4	18.4	12.3	15.6	12.2	11.7	7.1	2.5	1.5
	安芸広域圏	31.4	25.4	24.6	25.4	27.1	11.0	19.5	15.3	7.6	6.8	6.8	8.5	0.8	1.7
	南国・香美広域圏	34.1	29.3	27.1	27.5	21.8	21.4	15.3	19.7	10.9	8.7	8.3	4.8	4.4	0.9
	嶺北広域圏	16.1	32.3	22.6	16.1	38.7	25.8	16.1	25.8	6.5	22.6	12.9	3.2	3.2	0.0
	仁淀川広域圏	35.4	30.0	26.9	22.3	26.9	17.7	20.8	18.5	11.5	9.2	8.5	6.2	4.6	0.0
	高吾北広域圏	35.8	28.4	31.3	28.4	28.4	23.9	16.4	10.4	10.4	4.5	9.0	4.5	1.5	0.0
	高幡広域圏	34.8	26.1	36.2	29.0	15.2	18.8	16.7	17.4	13.8	8.0	7.2	2.2	3.6	1.4
	幡多広域圏	24.8	29.5	33.8	29.0	32.4	17.6	12.9	17.6	10.5	7.6	4.3	7.6	1.4	1.4

問 25 高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者も増え続けています。一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。(3つまで○印)

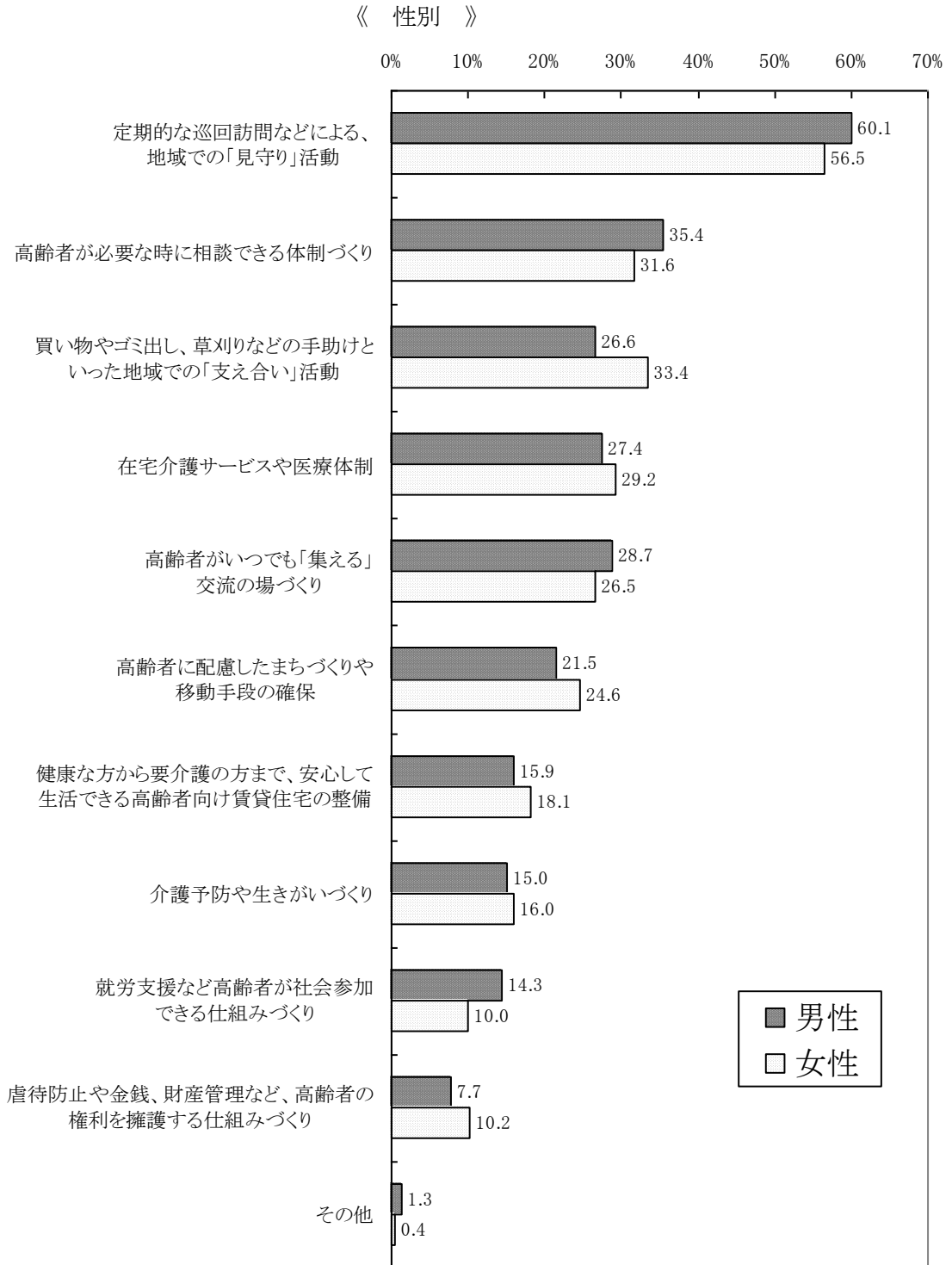
一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために充実していくべき取り組みについては、「定期的な巡回訪問などによる、地域での『見守り』活動」が58.0%と高い比率を示しており、次いで「高齢者が必要な時に相談できる体制づくり」が33.2%、「買い物やゴミ出し、草刈りなどの手助けといった地域での『支え合い』活動」が30.1%、「在宅介護サービスや医療体制」が28.2%、「高齢者がいつでも『集える』交流の場づくり」が27.6%と、2位から5位までがあまり差がなく並んでいる。

《 総 合 》



**【性別】**

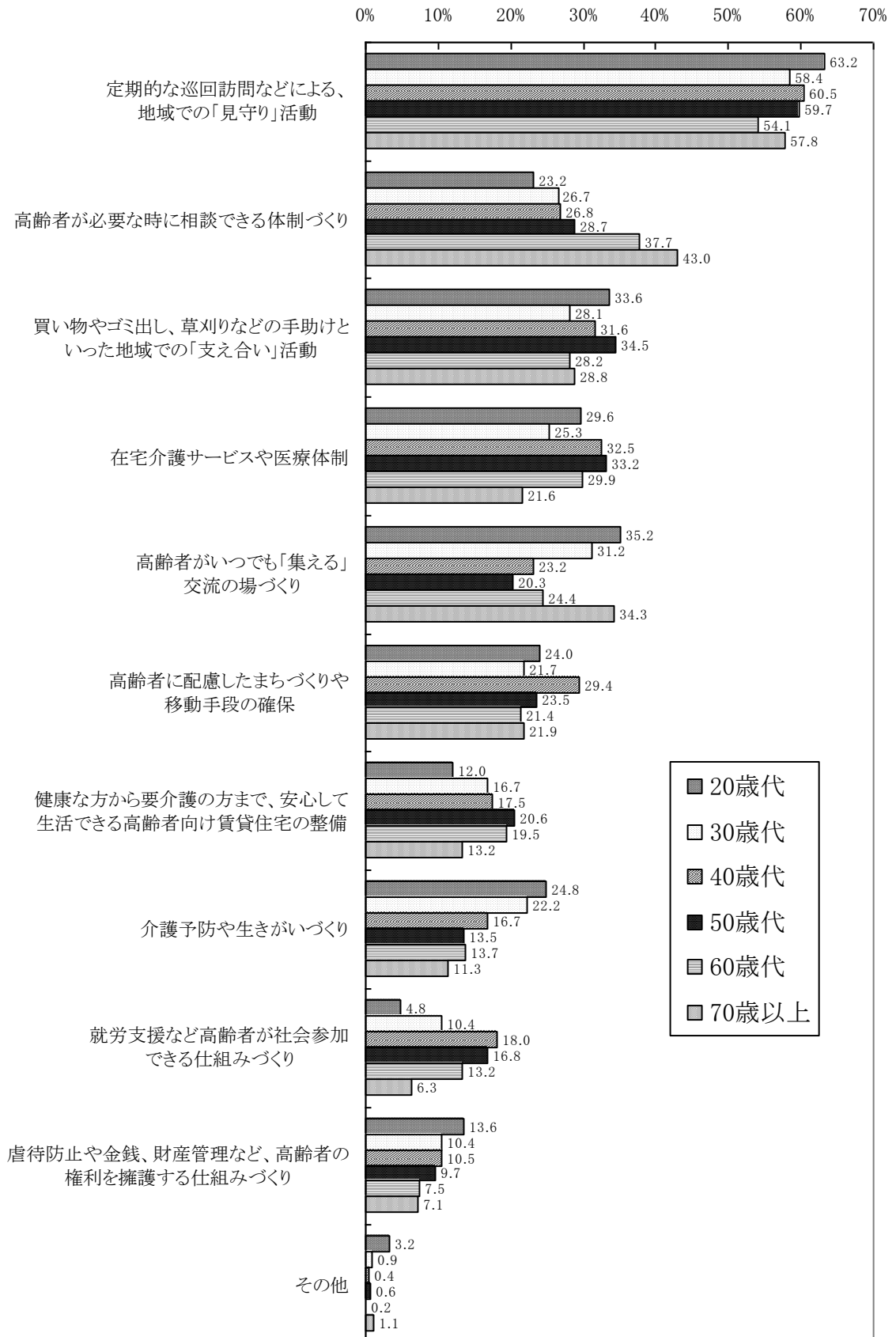
男女ともに「定期的な巡回訪問などによる、地域での『見守り』活動」が最も高いが、2位以下は順位に違いが見られる。また、「買い物やゴミ出し、草刈りなどの手助けといった地域での『支え合い』活動」が、女性は33.4%で男性の26.6%より6.8ポイント高くなっているが、他の項目では男女間の比率の差はあまりない。



【年代別】

いずれの年代も「定期的な巡回訪問などによる、地域での『見守り』活動」の比率が最も高いが、2位以下の順位は年代によって違っている。「高齢者が必要な時に相談できる体制づくり」は年齢が高くなるほど比率も高くなっている。

《 年代別 》



【職業別】

いずれの職業でも「定期的な巡回訪問などによる、地域での『見守り』活動」が最も高く、中でも学生が72.7%で特に高い比率となっている。2位以下の順位は、職業区分によって違っている。

【広域市町村圏別】

いずれの広域市町村圏でも「定期的な巡回訪問などによる、地域での『見守り』活動」が最も高くなっている。2位以下は地域によって順位に違いがあり、高幡広域圏は2位の「買い物やゴミ出し、草刈りなどの手助けといった地域での『支え合い』活動」の比率が42.0%で、他の地域に比べ高い比率となっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

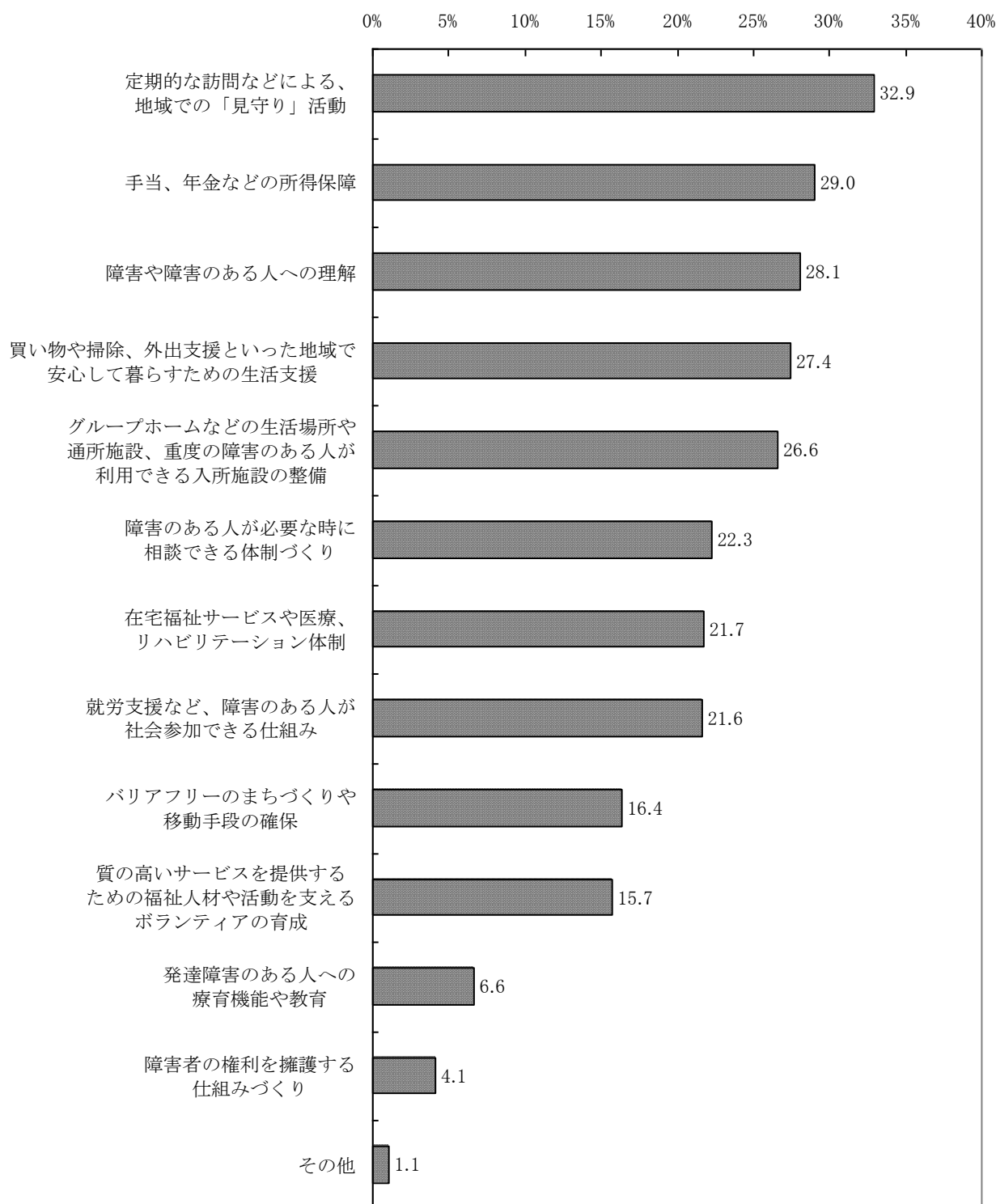
属性		項目	定期的な巡回訪問などによる、地域での「見守り」活動	高齢者が必要な時に相談できる体制づくり	買い物やゴミ出し、草刈りなどの手助けといった地域での「支え合い」活動	在宅介護サービスや医療体制	高齢者がいつでも「集える」交流の場づくり	高齢者に配慮したまちづくりや移動手段の確保	健康な方から要介護の方まで、安心して生活できる高齢者向け賃貸住宅の整備	介護予防や生きがいづくり	就労支援など高齢者が社会参加できる仕組みづくり	虐待防止や金銭、財産管理など、高齢者の権利を擁護する仕組みづくり	その他
職業別	農林業	60.2	34.5	28.3	23.9	31.0	28.3	10.6	10.6	7.1	8.0	0.9	
	漁業	54.5	36.4	27.3	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	59.2	33.3	24.2	30.0	26.7	24.2	17.5	13.3	10.8	7.5	0.8	
	事務職	59.1	24.9	36.5	29.8	22.7	28.7	16.6	18.2	15.5	8.3	0.0	
	技術職	59.5	28.6	26.8	32.7	30.4	24.4	20.8	17.9	11.9	12.5	1.2	
	労務職	59.8	29.6	26.6	29.0	23.7	21.3	26.6	13.0	19.5	11.8	0.0	
	管理職	54.2	28.8	39.0	42.4	27.1	22.0	16.9	18.6	20.3	3.4	3.4	
	自由業	43.3	13.3	20.0	33.3	26.7	20.0	16.7	23.3	13.3	20.0	6.7	
	主婦	55.1	39.0	33.1	26.4	29.5	19.7	16.9	16.1	8.7	13.0	0.4	
	学生	72.7	27.3	31.8	27.3	45.5	13.6	9.1	22.7	4.5	22.7	0.0	
	無職	56.3	40.2	28.1	24.9	29.4	21.9	15.3	14.1	10.8	5.8	0.8	
	その他	65.2	29.5	36.4	30.3	22.0	27.3	14.4	18.2	11.4	5.3	1.5	
広域市町村圏別	高知市	57.9	34.3	27.6	28.3	28.5	21.9	18.4	16.2	12.5	11.0	1.0	
	安芸広域圏	58.5	27.1	32.2	22.0	28.0	23.7	12.7	13.6	11.9	7.6	0.0	
	南国・香美広域圏	59.0	35.4	27.9	34.5	26.2	23.6	16.6	14.0	14.8	6.6	0.9	
	嶺北広域圏	58.1	22.6	38.7	25.8	19.4	25.8	25.8	19.4	9.7	3.2	0.0	
	仁淀川広域圏	56.9	32.3	35.4	33.8	24.6	21.5	21.5	12.3	10.0	7.7	0.8	
	高吾北広域圏	62.7	32.8	37.3	23.9	23.9	26.9	14.9	16.4	13.4	11.9	0.0	
	高幡広域圏	61.6	36.2	42.0	25.4	26.8	21.0	15.9	15.9	6.5	7.2	0.0	
	幡多広域圏	55.2	30.0	27.1	24.3	31.4	27.1	11.9	17.6	10.5	8.1	1.9	

問 26 障害者施策についてお尋ねします。障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。

(3つまで○印)

障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために充実すべき取り組みについては、「定期的な訪問などによる、地域での『見守り』活動」が 32.9%で最も高く、次いで「手当、年金などの所得保障」が 29.0%、「障害や障害のある人への理解」が 28.1%、「買い物や掃除、外出支援といった地域で安心して暮らすための生活支援」が 27.4%、「グループホームなどの生活場所や通所施設、重度の障害のある人が利用できる入所施設の整備」が 26.6%と、2位から5位までがあまり差がなく並んでいる。

《 総 合 》

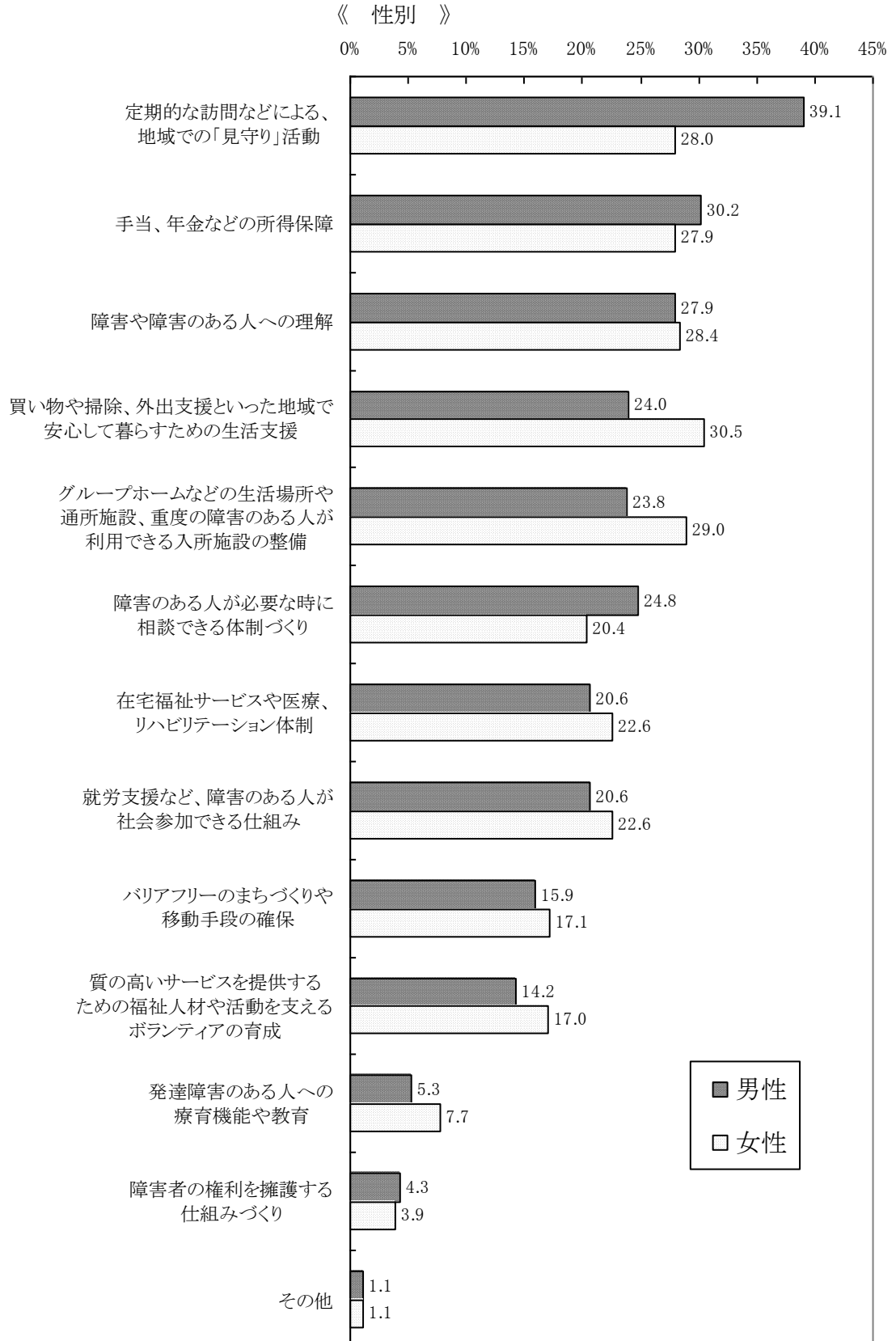




## 【性別】

男性は1位から3位まで《総合》と同じであるが、女性は1位から5位までの比率はどの項目も30%前後ではば差がなく並んでおり、順位も違っている。

各項目の比率を見ると、「定期的な訪問などによる、地域での『見守り』活動」は、男性では39.1%で女性の28.0%より11.1ポイント高くなっている。女性は、「買い物や掃除、外出支援といった地域で安心して暮らすための生活支援」、「グループホームなどの生活場所や通所施設、重度の障害のある人が利用できる入所施設の整備」の項目で、男性より5～6ポイント高く、男女で比率に違いがみられる。

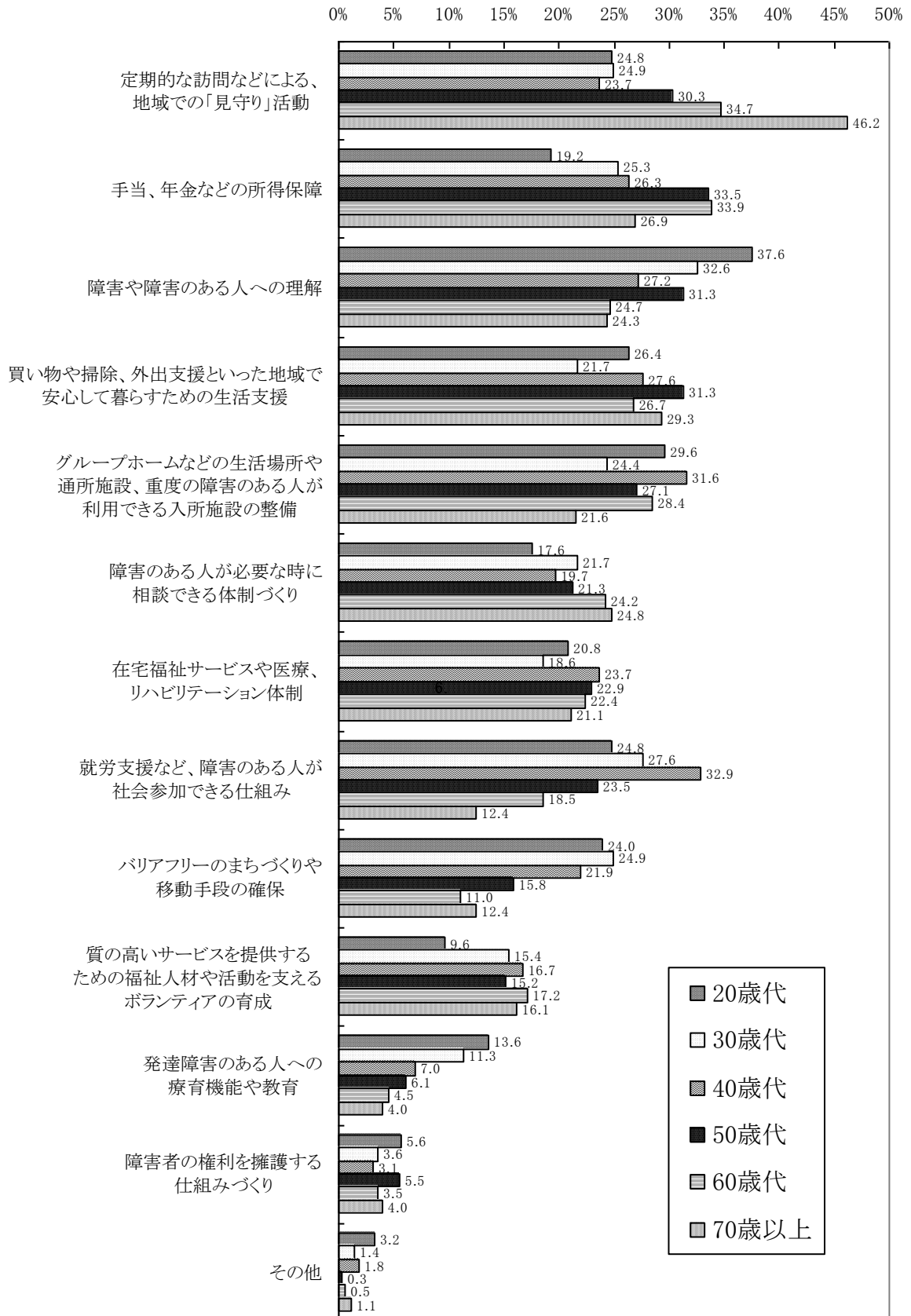


【年代別】

年代によって順位に違いがあり、60歳代と70歳以上では「定期的な訪問などによる、地域での『見守り』活動」が最も高く、70歳以上の比率は他の年代と比べて10ポイント以上高くなっている。50歳代では「手当、年金などの所得保障」が、40歳代では「就労支援など、障害のある人が社会参加できる仕組み」が最も高くなっている。

また、20歳代と30歳代では「障害や障害のある人への理解」が最も高く、特に20歳代では37.6%で高い比率を示している。

《 年代別 》



【職業別】

職業区分によって順位に違いが見られるが、《総合》の上位5項目のいずれかが1位となっている。

【広域市町村圏別】

仁淀川広域圏を除くすべての地域で「定期的な訪問などによる、地域での『見守り』活動」が最も高い。仁淀川広域圏は「手当、年金などの所得保障」が36.2%で最も高い。嶺北広域圏では「在宅福祉サービスや医療、リハビリテーション体制」も35.5%で同率の1位となっている。

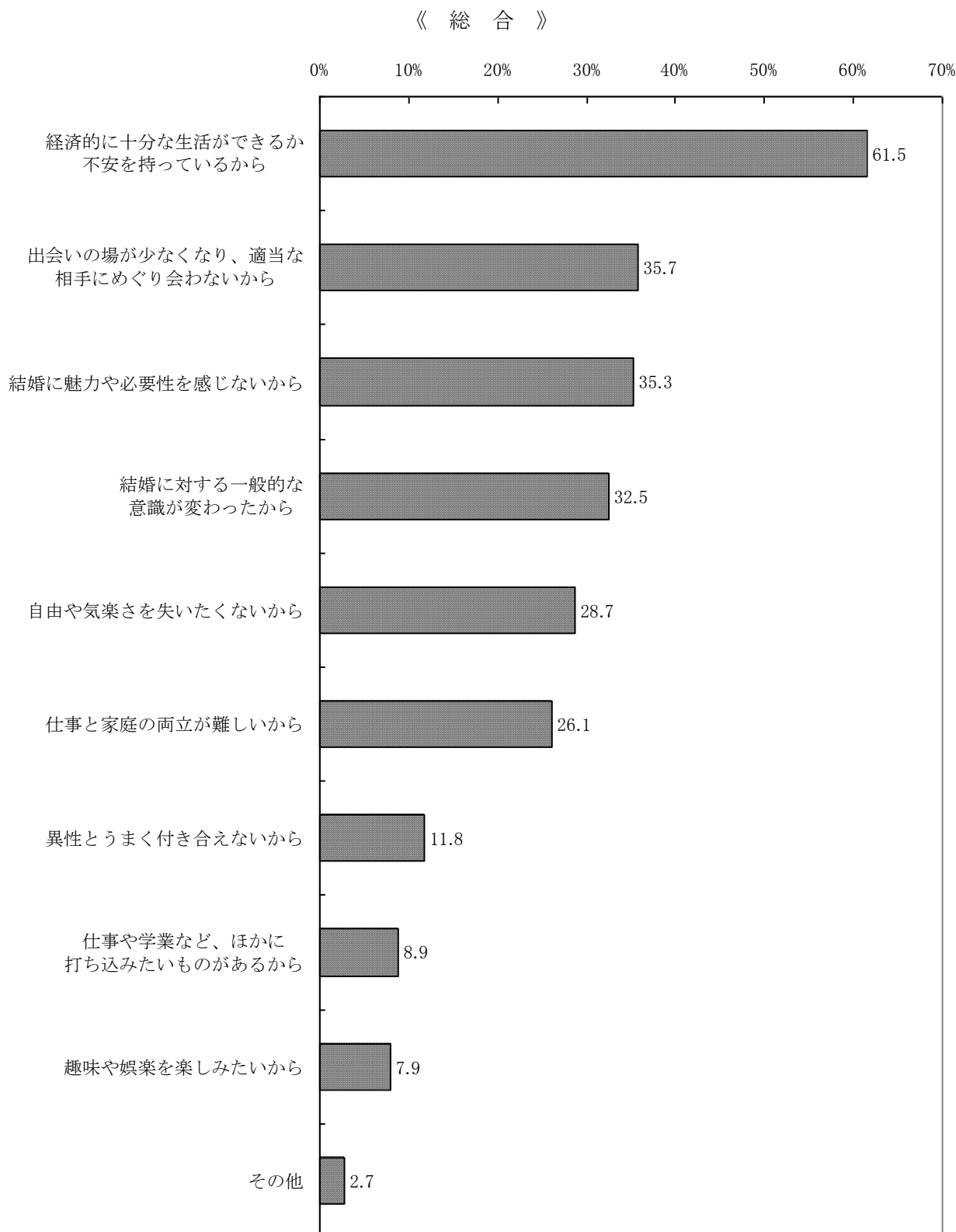
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

項目	属性	定期的な訪問などによる、地域での「見守り」活動	手当、年金などの所得保障	障害や障害のある人への理解	買い物や掃除、外出支援といった地域で安心して暮らすための生活支援	グループホームなどの生活場所や通所施設、重度の障害のある人が利用できる入所施設の整備	障害のある人が必要な時に相談できる体制づくり	在宅福祉サービスや医療、リハビリテーション体制	就労支援など、障害のある人が社会参加できる仕組み	バリアフリーのまちづくりや移動手段の確保	質の高いサービスを提供するための福祉人材や活動を支えるボランティアの育成	発達障害のある人への療育機能や教育	障害者の権利を擁護する仕組みづくり	その他
		40.7	35.4	27.4	30.1	20.4	22.1	23.0	16.8	11.5	16.8	4.4	1.8	0.9
職業別	農林業	18.2	45.5	18.2	36.4	27.3	27.3	36.4	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	漁業	35.8	35.8	32.5	24.2	25.8	24.2	16.7	14.2	14.2	18.3	9.2	1.7	0.0
	商工サービス業自営	26.5	26.5	32.0	29.3	27.1	19.9	22.7	26.5	23.8	16.6	6.1	3.9	1.7
	事務職	26.2	28.0	27.4	25.0	31.0	19.6	28.0	24.4	16.7	15.5	9.5	5.4	0.6
	技術職	34.9	29.0	29.0	21.9	24.9	25.4	14.8	25.4	23.1	13.0	5.3	5.9	0.0
	労務職	33.9	33.9	30.5	28.8	33.9	11.9	20.3	30.5	16.9	18.6	5.1	5.1	6.8
	管理職	20.0	43.3	36.7	23.3	10.0	13.3	16.7	26.7	16.7	10.0	10.0	3.3	0.0
	自由業	26.8	26.4	26.8	31.9	31.1	24.8	24.8	22.8	13.8	15.7	9.1	3.9	0.8
	主婦	31.8	13.6	40.9	22.7	27.3	13.6	22.7	27.3	18.2	13.6	13.6	18.2	4.5
	学生	40.7	26.9	22.6	30.4	23.9	25.1	21.6	15.6	11.8	15.8	5.0	4.5	0.8
	無職	31.8	29.5	33.3	21.2	30.3	17.4	20.5	30.3	23.5	15.2	4.5	1.5	2.3
広域市町村圏別	高知市	30.7	28.8	28.8	26.7	25.5	23.0	20.6	22.5	17.8	17.1	6.9	4.8	1.6
	安芸広域圏	32.2	31.4	23.7	22.9	28.0	19.5	24.6	22.9	14.4	14.4	4.2	1.7	0.8
	南国・香美広域圏	35.4	29.7	27.5	26.2	25.3	27.9	22.3	22.7	13.5	16.2	7.4	5.7	0.4
	嶺北広域圏	35.5	22.6	25.8	29.0	22.6	22.6	35.5	16.1	12.9	22.6	3.2	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	30.0	36.2	35.4	34.6	32.3	14.6	16.9	16.9	15.4	13.1	6.9	3.8	0.8
	高吾北広域圏	32.8	25.4	26.9	23.9	28.4	22.4	22.4	19.4	20.9	19.4	10.4	4.5	0.0
	高幡広域圏	39.1	19.6	24.6	31.9	27.5	22.5	18.8	25.4	14.5	10.1	8.7	3.6	1.4
	幡多広域圏	37.1	31.9	28.1	28.6	27.1	17.6	25.2	17.6	16.7	13.8	3.8	1.9	0.5

**問 27 少子化についてお尋ねします。少子化の要因の一つに未婚化や晩婚化がありますが、その要因は何だと思えますか。(3つまで○印)**

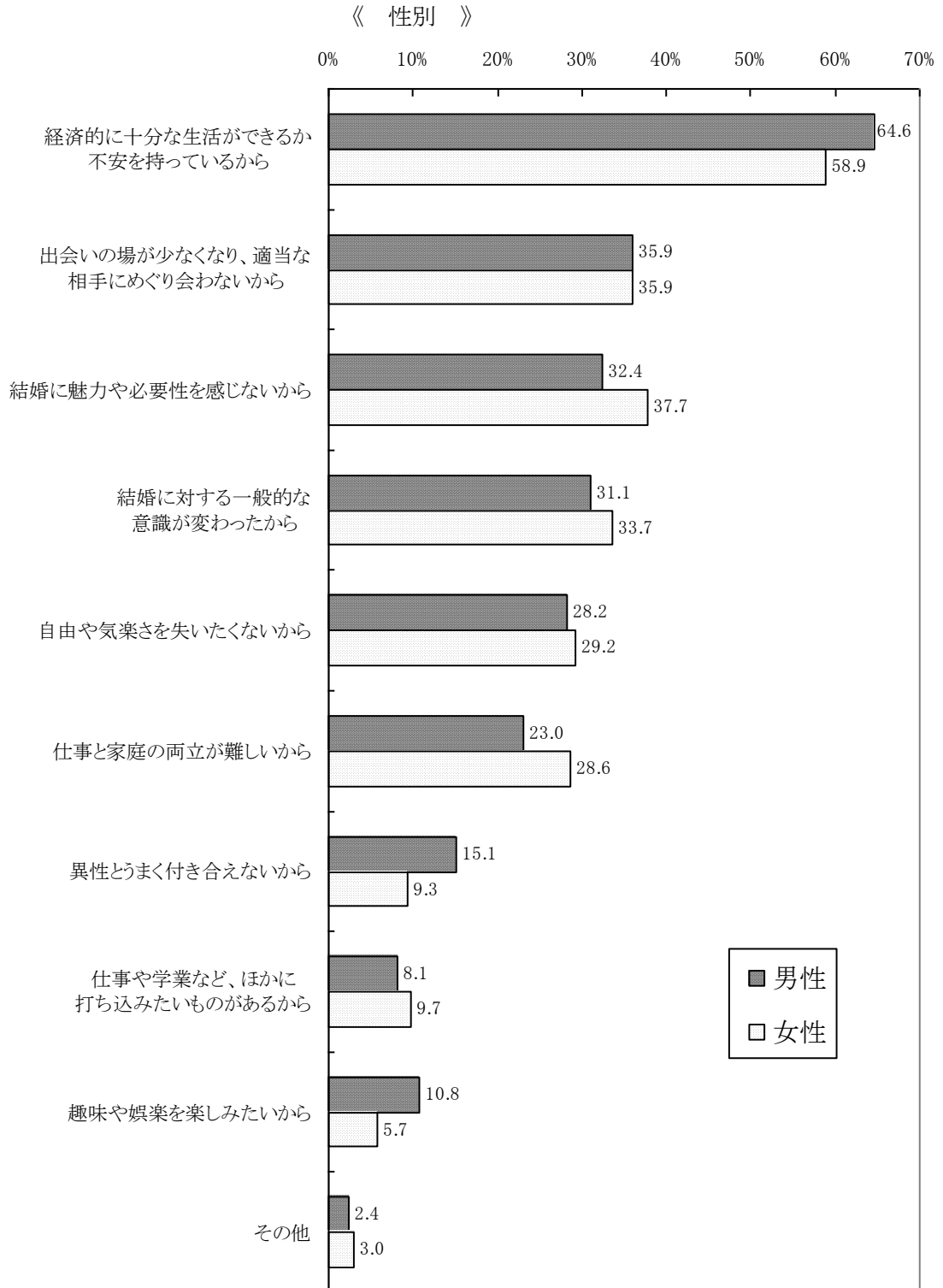
未婚化や晩婚化の要因だと思うものについては、「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」が61.5%で他の項目と比べて特に高い比率を示している。次いで、「出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり会わないから」が35.7%、「結婚に魅力や必要性を感じないから」が35.3%、「結婚に対する一般的な意識が変わったから」が32.5%と続いている。



## 【性別】

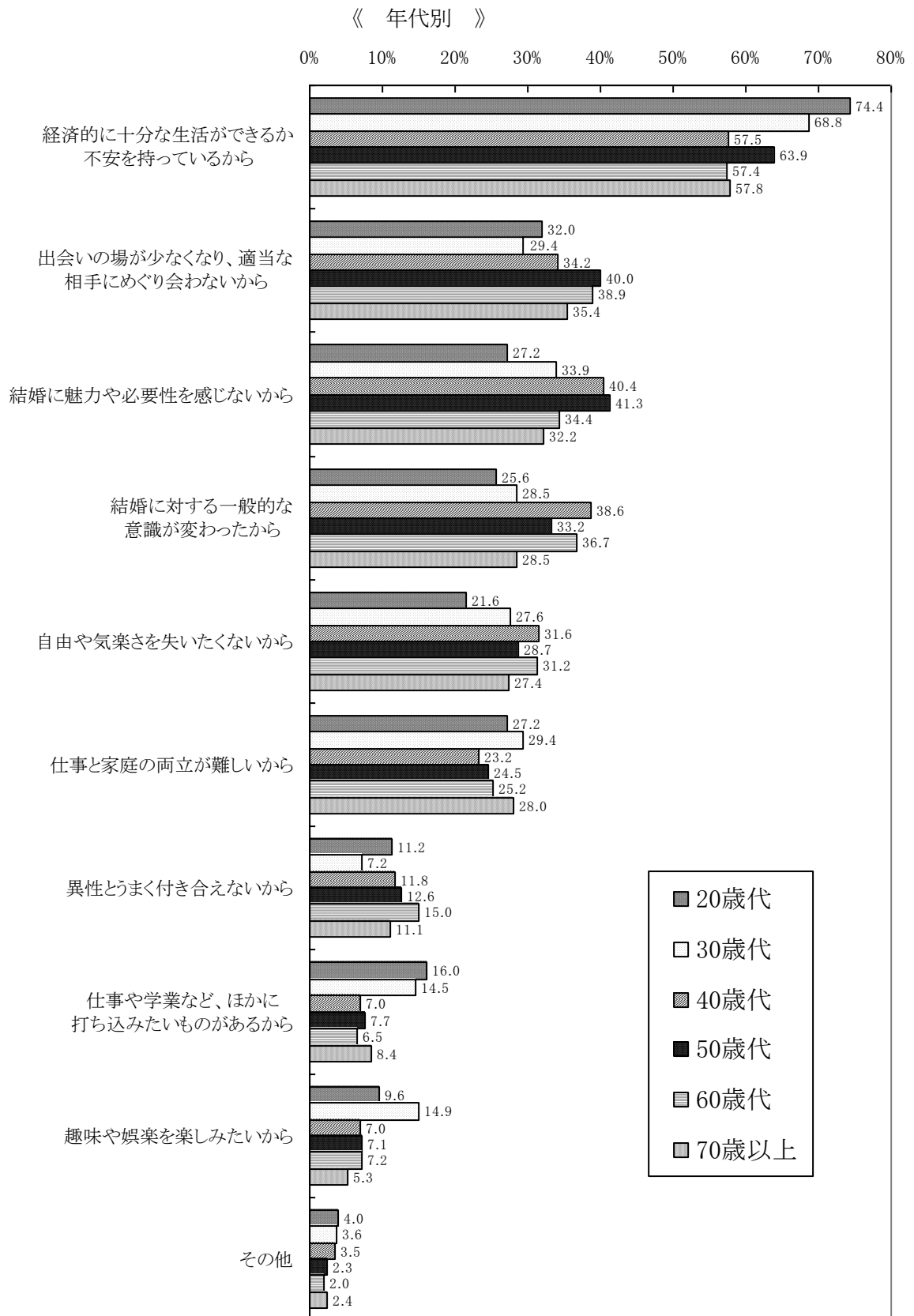
男女とも「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」が最も高くなっているが、2位以下は男女で順位に違いがみられる。

また、各項目の比率を見ると、男性が「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」、「異性とうまく付き合えないから」、「趣味や娯楽を楽しみたいから」で女性より5ポイント以上高く、女性は「結婚に魅力や必要性を感じないから」と「仕事と家庭の両立が難しいから」が男性より5ポイント以上高くなっている。



【年代別】

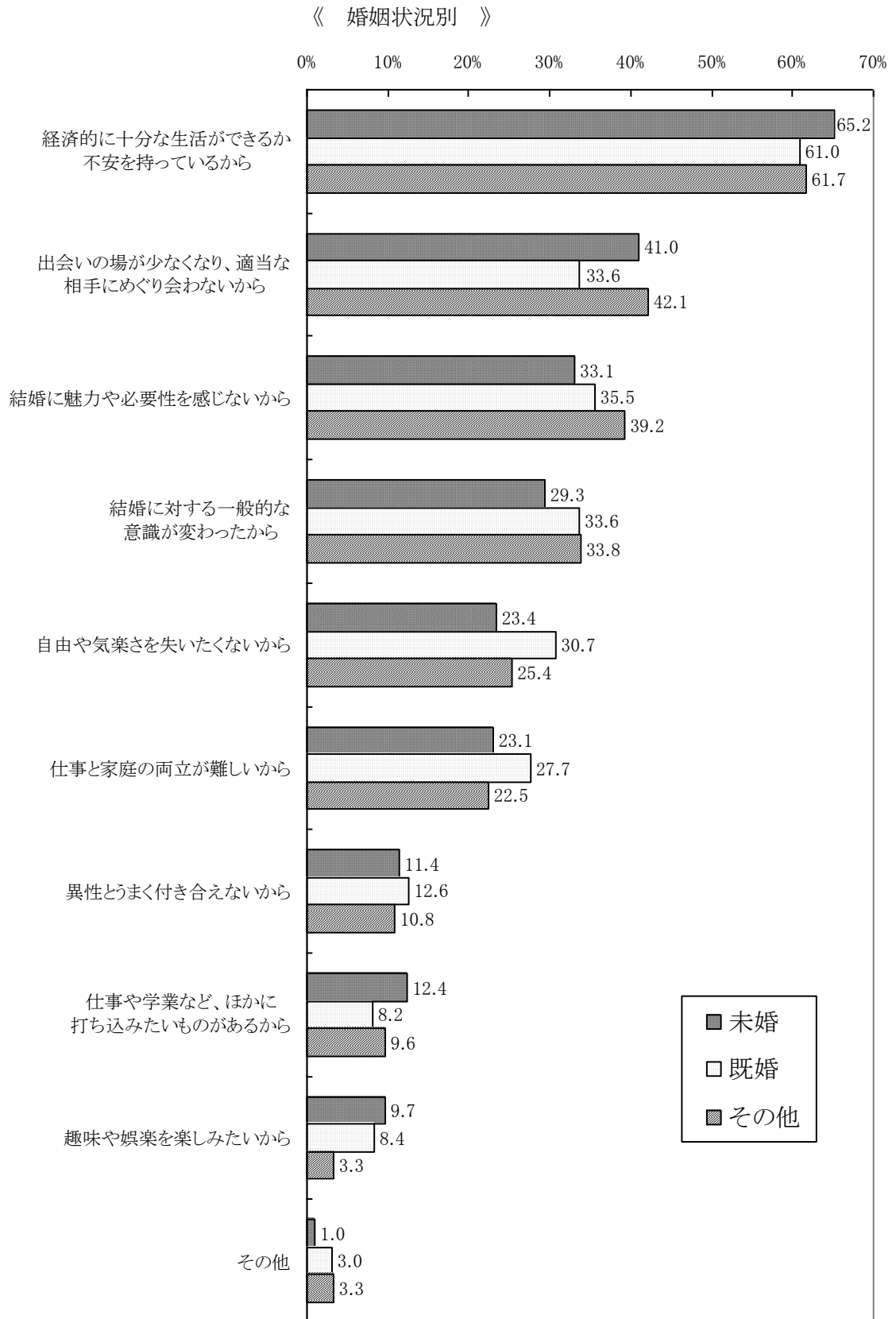
すべての年代で「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」が最も高く、20歳代で74.4%、30歳代では68.8%と特に高い比率となっている。



【婚姻状況別】

いずれの状況も、各項目の比率は《総合》とほぼ同じで、あまり差は見られない。

2位の「出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり合わないから」については、既婚者の回答に比べて未婚者の回答が7.4ポイント高くなっており、他の項目に比べてその差が大きい。



【職業別】

いずれの職業でも「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」が最も高く、比率では労務職が71.6%、技術職が68.5%、学生が68.2%と他の職業区分に比べて高い。「出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり合わないから」は、農林業で48.7%、漁業で54.5%と高い比率となっている。

【広域市町村圏別】

いずれの地域でも「経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから」が最も高く、高知市と仁淀川広域圏を除く地域では2位も《総合》と同様に「出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり合わないから」となっている（同率含む）。高知市と仁淀川広域圏は、「結婚に魅力や必要性を感じないから」が2位となっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

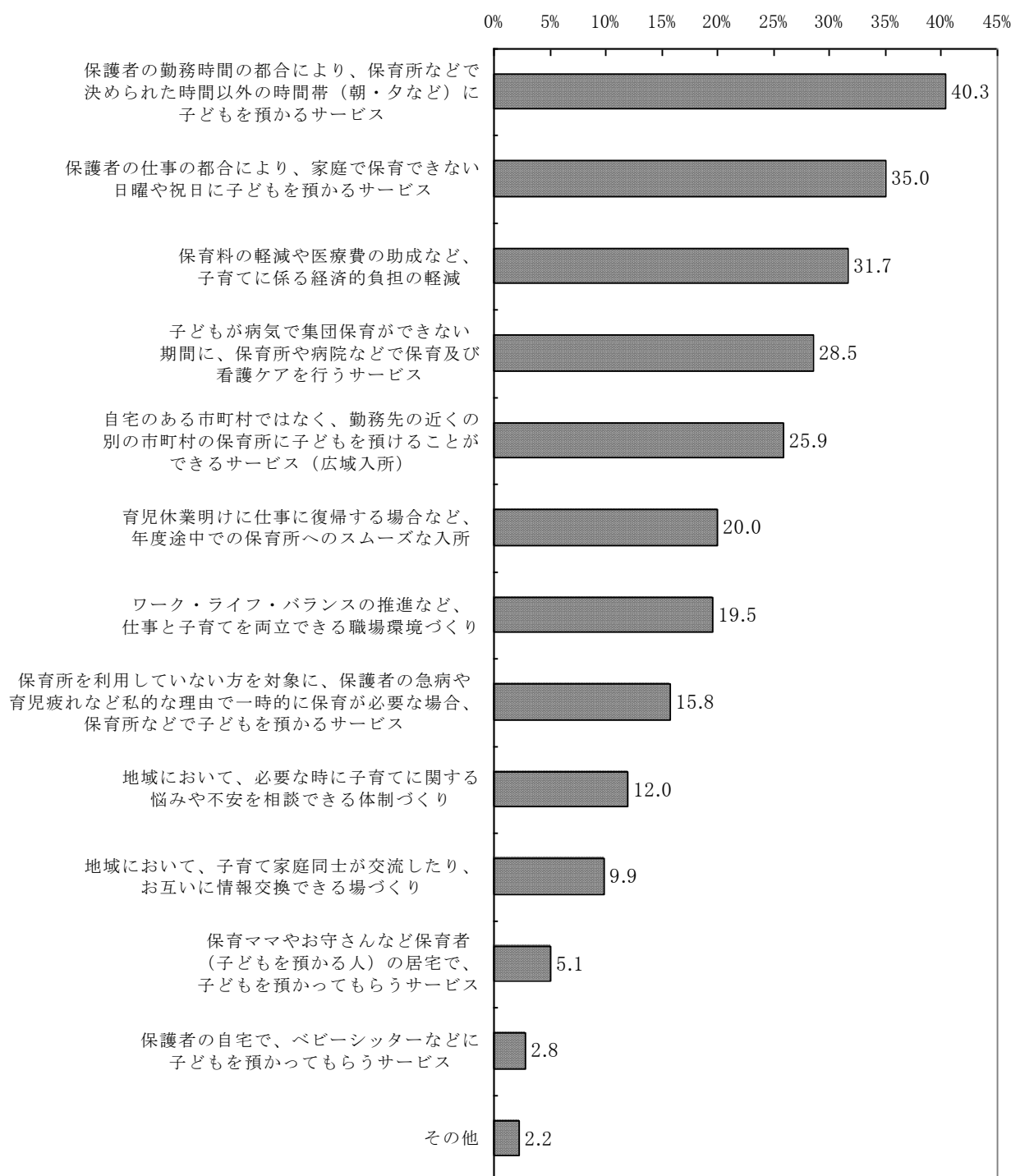
項目		経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから	出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり合わないから	結婚に魅力や必要性を感じないから	結婚に対する一般的な意識が変わったから	自由や気楽さを失いたくないから	仕事と家庭の両立が難しいから	異性とうまく付き合えないから	仕事や学業など、ほかに打ち込みたいものがあるから	趣味や娯楽を楽しみたいから	その他
職業別	農林業	52.2	48.7	26.5	29.2	35.4	25.7	18.6	4.4	8.0	0.9
	漁業	63.6	54.5	18.2	18.2	27.3	36.4	27.3	0.0	9.1	0.0
	商工サービス業自営	57.5	37.5	43.3	35.8	31.7	15.0	19.2	11.7	5.8	4.2
	事務職	54.1	34.8	43.6	33.7	28.7	26.5	9.4	12.7	11.0	2.2
	技術職	68.5	33.3	33.9	28.0	33.3	26.8	6.5	12.5	10.1	3.0
	労務職	71.6	33.1	37.3	37.3	21.9	24.3	11.8	4.7	8.3	2.4
	管理職	59.3	27.1	40.7	39.0	27.1	20.3	16.9	10.2	11.9	10.2
	自由業	50.0	23.3	30.0	40.0	40.0	26.7	13.3	26.7	3.3	0.0
	主婦	59.4	33.1	34.6	33.1	33.9	32.3	8.7	9.1	5.9	2.0
	学生	68.2	31.8	31.8	31.8	27.3	31.8	4.5	22.7	9.1	9.1
	無職	60.8	36.4	33.2	30.2	25.4	26.4	12.1	7.0	8.3	1.5
	その他	71.2	39.4	32.6	34.8	20.5	26.5	12.9	6.8	5.3	5.3
広域市町村圏別	高知市	65.0	30.0	35.3	35.1	27.4	29.4	9.7	9.6	8.1	3.4
	安芸広域圏	58.5	45.8	34.7	27.1	30.5	21.2	16.1	5.9	5.9	2.5
	南国・香美広域圏	59.4	41.9	39.7	34.1	34.5	22.3	13.1	8.7	7.4	1.3
	嶺北広域圏	51.6	35.5	25.8	9.7	35.5	35.5	9.7	6.5	12.9	3.2
	仁淀川広域圏	63.8	35.4	37.7	33.1	26.2	20.0	10.8	9.2	9.2	1.5
	高吾北広域圏	55.2	49.3	29.9	37.3	31.3	34.3	16.4	3.0	9.0	0.0
	高幡広域圏	61.6	37.7	31.9	25.4	21.7	26.1	12.3	10.1	5.8	5.8
	幡多広域圏	57.1	35.7	34.3	31.4	31.0	21.9	14.8	10.0	7.6	1.0



問 28 小学校就学前の子育てについてお尋ねします。あなたが今お住まいの地域において、就学前の子どもをより育てやすくするために、どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。(3つまで○印)

居住地域で、就学前の子どもをより育てやすくするために充実すべき取り組みについては、「保護者の勤務時間の都合により、保育所などで決められた時間以外の時間帯（朝・夕など）に子どもを預かるサービス」（以下『保育所などで時間外に子どもを預かるサービス』）の比率が 40.3%で最も高い。次いで、「保護者の仕事の都合により、家庭で保育できない日曜や祝日に子どもを預かるサービス」（以下『日祝日に子どもを預かるサービス』）が 35.0%、「保育料の軽減や医療費の助成など、子育てに係る経済的負担の軽減」（以下『子育てに係る経済的負担の軽減』）が 31.7%、「子どもが病気で集団保育ができない期間に、保育所や病院などで保育及び看護ケアを行うサービス」（以下『保育所や病院などで保育・看護ケアを行うサービス』）が 28.5%と続いている。

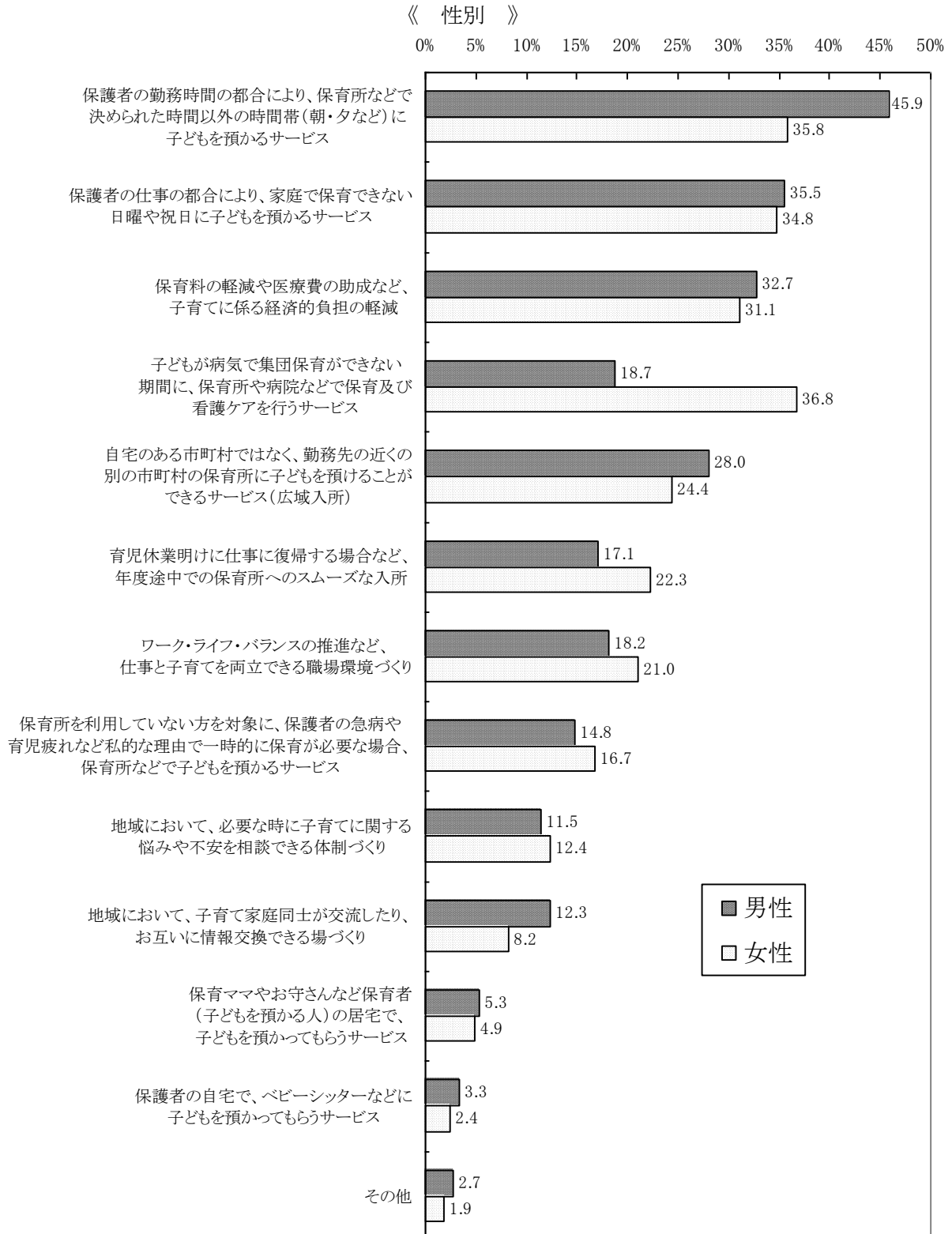
《 総 合 》



## 【性別】

男性は1位から3位まで《総合》の順位と同じであるが、女性は《総合》4位の『保育所や病院などで保育・看護ケアを行うサービス』が36.8%で1位となっている。また、女性の1位から3位までの項目は、比率もほとんど差がない。

項目ごとの比率を見ると、『保育所などで時間外に子どもを預かるサービス』は男性が45.9%で女性の35.8%より10.1ポイント高く、逆に、『保育所や病院などで保育・看護ケアを行うサービス』では女性が36.8%で男性の18.7%より18.1ポイント高く、ほぼ2倍の比率になるなど、男女間で求める取り組みが大きく違っている。

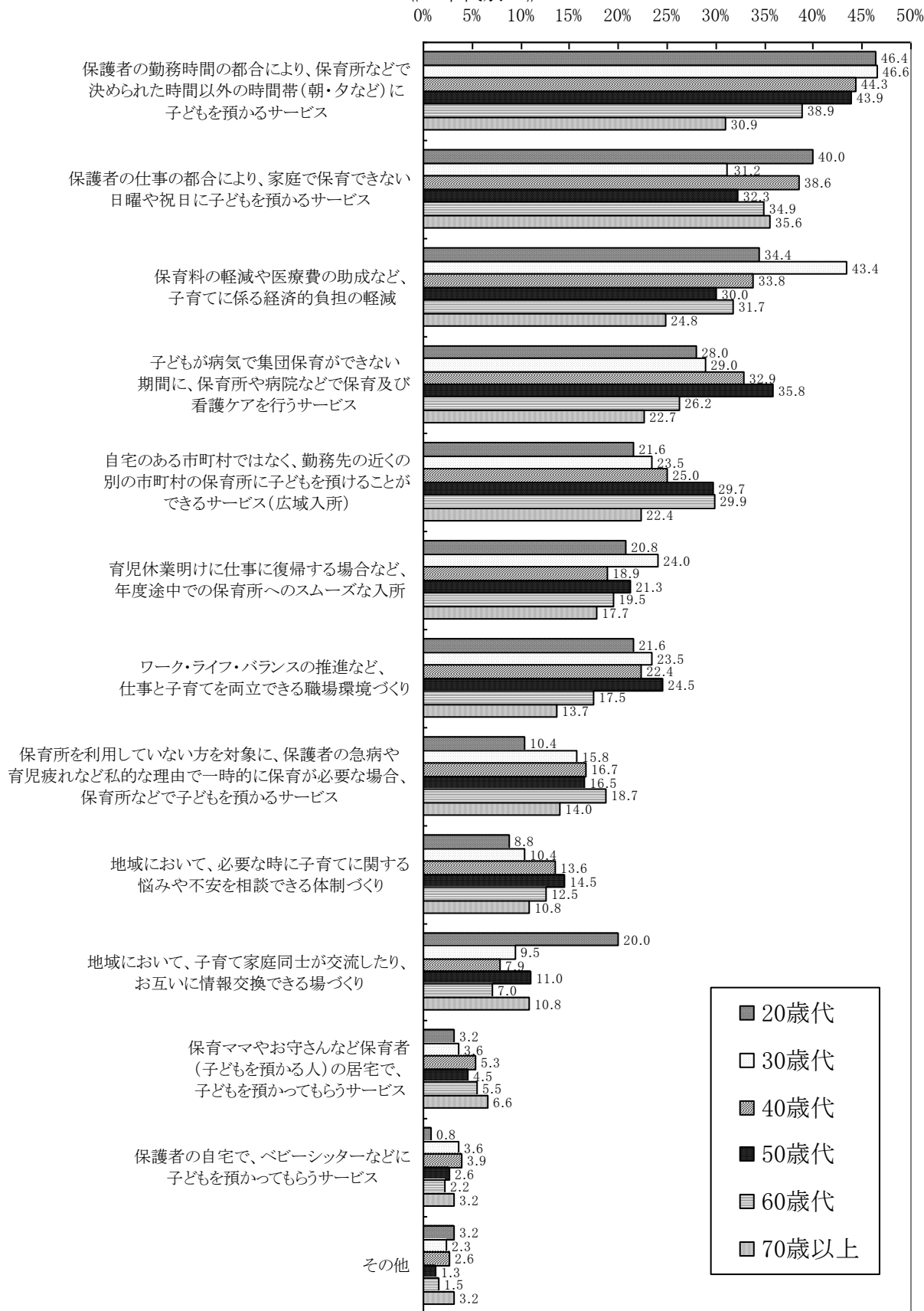


【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で『保育所などで時間外に子どもを預かるサービス』が最も高く、年齢が低くなるほど比率が高くなる傾向が見られる。70歳以上は『日祝日に子どもを預かるサービス』が最も高くなっている。

また、20歳代では「地域において、子育て家庭同士が交流したり、お互いに情報交換できる場づくり」が20.0%、30歳代では『子育てに係る経済的負担の軽減』が43.4%、50歳代では『保育所や病院などで保育・看護ケアを行うサービス』が35.8%と、他の年代に比べて高い比率になっているのが特徴である。

《 年代別 》

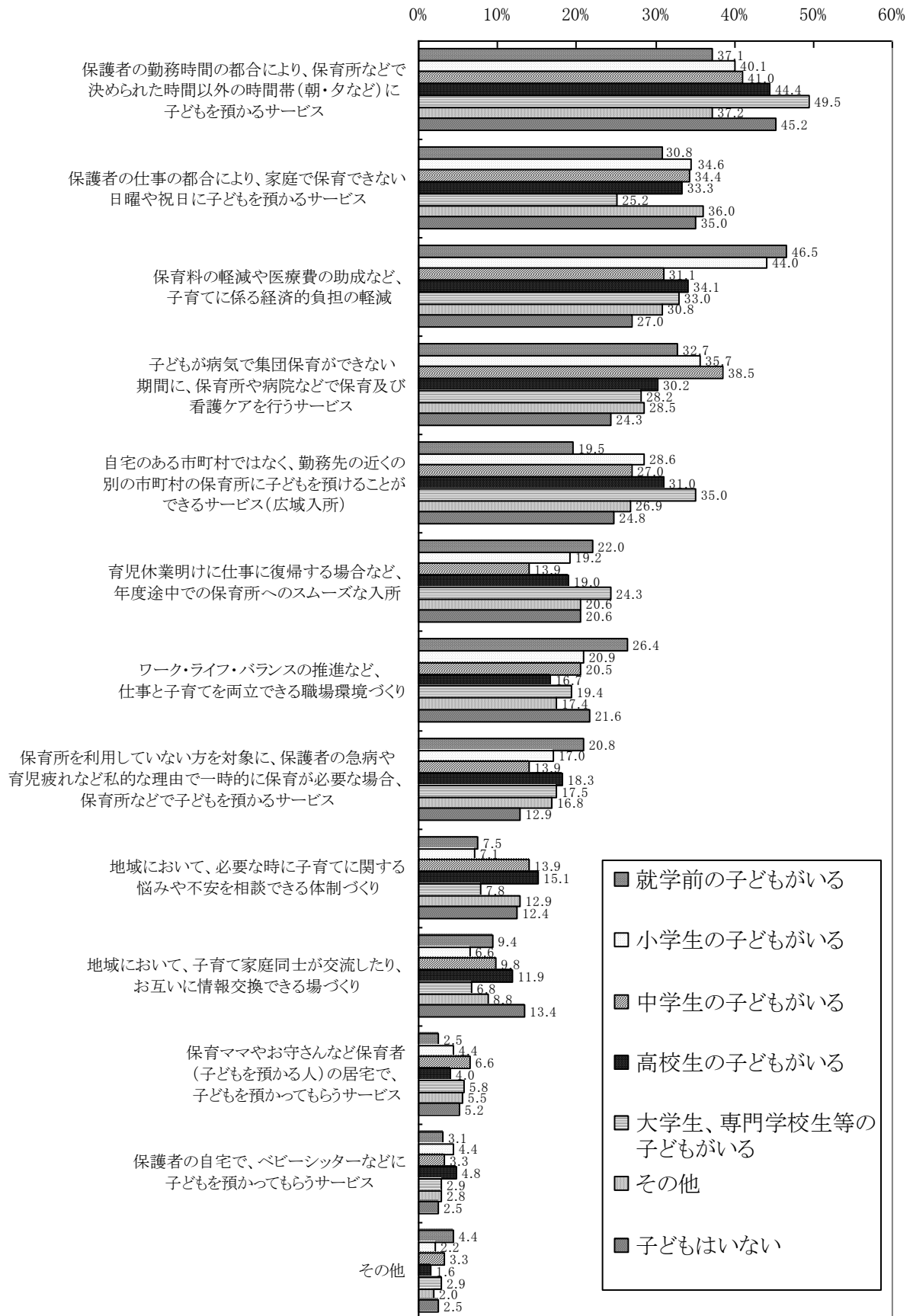


## 【子どもの状況別】

就学前、小学生の子どもがいる人では『子育てに係る経済的負担の軽減』の比率が特に高くなっている。

また、『仕事と子育てを両立できる職場環境づくり』を充実すべきと答えた人は、就学前の子どもがいる人の比率が、他の状況の人に比べて高くなっている。

《 子どもの状況別 》



【職業別】

漁業、主婦、無職を除くすべての職業区分で『保育所などで時間外に子どもを預かるサービス』が最も高く（同率含む）、事務職、技術職、学生では50%以上の比率になっている。漁業、主婦では『子育てに係る経済的負担の軽減』が最も高くなっている（同率含む）。

【広域市町村圏別】

高幡広域圏、幡多広域圏を除くすべての地域で『保育所などで時間外に子どもを預かるサービス』の比率が最も高く、なかでも嶺北広域圏では51.6%と他の地域に比べて比率が高くなっている。高幡広域圏と幡多広域圏は、『日祝日に子どもを預かるサービス』が最も高い。

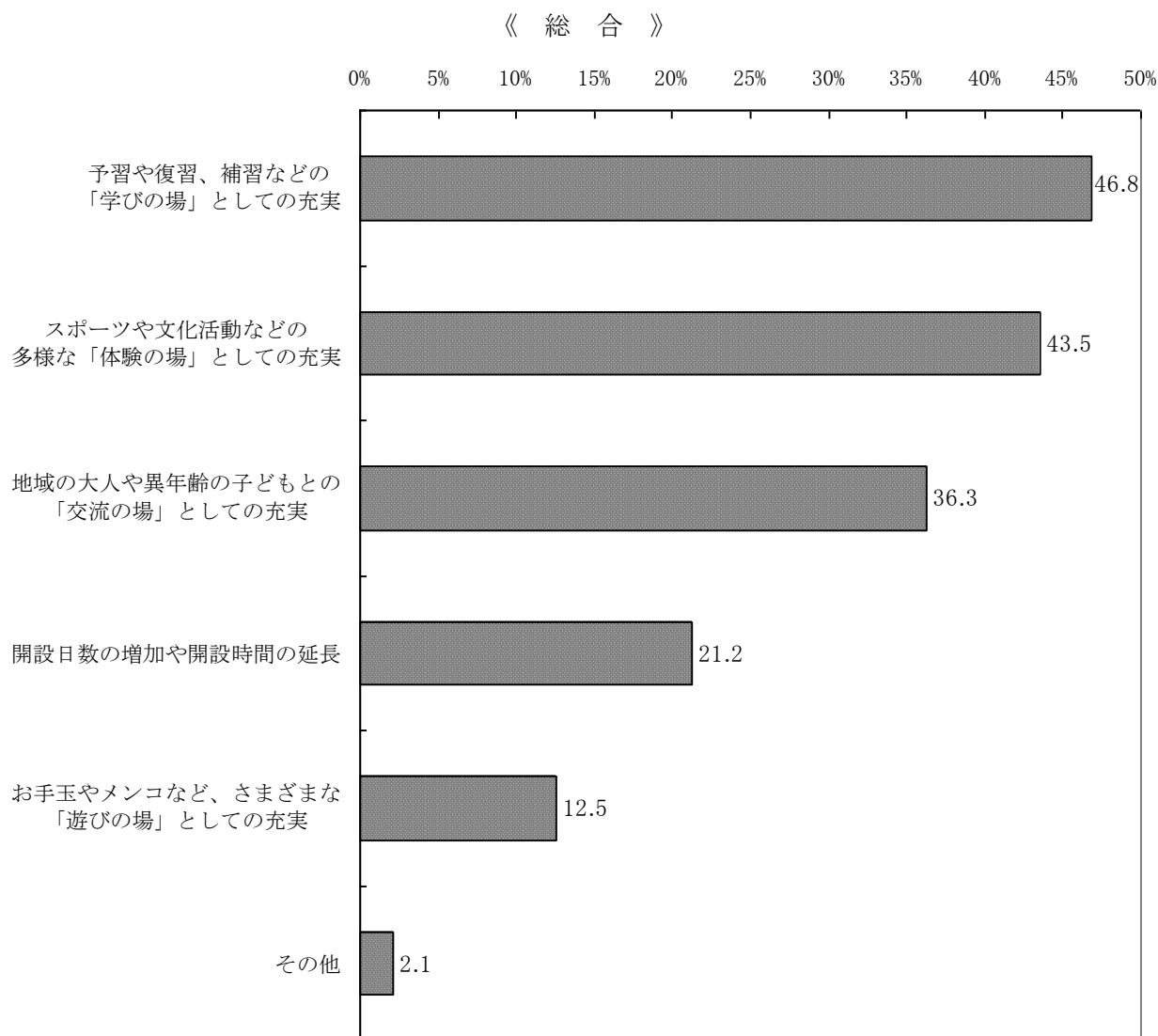
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属性	項目	保護者の勤務時間の都合により、保育所などで決められた時間以外の時間帯(朝・夕など)に子どもを預かるサービス	保護者の仕事の都合により、家庭で保育できない日曜や祝日に子どもを預かるサービス	保護者の仕事の都合により、家庭で保育できない日曜や祝日に子どもを預かるサービス	保育料の軽減や医療費の助成など、子育てに係る経済的負担の軽減	子どもが病気で集団保育ができない期間に、保育所や病院などで保育及び看護ケアを行うサービス	自宅のある市町村ではなく、勤務先の近くの別の市町村の保育所に子どもを預けることができるサービス(広域入所)	育児休業明けに仕事に復帰する場合など、年度途中での保育所へのスムーズな入所	職場環境づくり	ワークライフバランスの推進など、仕事と子育てを両立できる職場環境づくり	保育所を利用していない方を対象に、保護者の急病や育児疲れなど私的な理由で一時的に保育が必要な場合、保育所などで子どもを預かるサービス	地域において、必要な時に子育てに関する悩みや不安を相談できる体制づくり	地域において、子育て家庭同士が交流したり、お互いに情報交換できる場づくり	保育ママやお守さんなど保育者(子どもを預かる人)の居宅で、子どもを預かってもらうサービス	保護者の自宅で、ベビーシッターなどに子どもを預かってもらうサービス	その他
		46.0	33.6	31.9	28.3	27.4	17.7	7.1	18.6	8.8	14.2	6.2	0.9	0.0		
職業別	農林業	46.0	33.6	31.9	28.3	27.4	17.7	7.1	18.6	8.8	14.2	6.2	0.9	0.0		
	漁業	18.2	27.3	36.4	9.1	27.3	18.2	18.2	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0		
	商工サービス業自営	37.5	35.8	28.3	27.5	28.3	21.7	14.2	15.0	17.5	13.3	5.0	0.8	4.2		
	事務職	51.4	34.3	33.1	38.1	28.7	20.4	20.4	17.7	8.3	11.0	3.9	3.3	1.7		
	技術職	50.6	35.1	33.9	34.5	25.6	21.4	27.4	8.9	10.1	8.9	3.6	3.0	3.0		
	労務職	44.4	33.7	36.7	29.6	26.0	22.5	23.7	13.0	13.0	11.8	7.7	3.6	0.6		
	管理職	47.5	32.2	33.9	20.3	40.7	22.0	28.8	15.3	13.6	6.8	5.1	5.1	5.1		
	自由業	43.3	36.7	23.3	26.7	13.3	20.0	13.3	13.3	16.7	3.3	6.7	13.3	3.3		
	主婦	32.7	35.8	37.8	34.3	22.4	21.7	22.4	20.5	14.2	6.7	3.5	2.0	1.6		
	学生	50.0	22.7	9.1	40.9	36.4	22.7	18.2	18.2	13.6	36.4	0.0	4.5	0.0		
	無職	32.7	35.2	27.4	19.3	24.1	17.8	17.1	15.6	11.6	9.3	7.0	3.0	2.8		
その他	40.2	40.2	33.3	29.5	28.0	18.9	19.7	15.9	9.8	9.8	3.0	2.3	3.0			
広域市町村圏別	高知市	41.3	32.4	31.4	29.8	24.7	24.4	20.4	17.6	12.8	9.9	5.1	3.6	2.1		
	安芸広域圏	38.1	30.5	34.7	29.7	23.7	12.7	16.9	5.9	11.9	16.1	4.2	0.0	1.7		
	南国・香美広域圏	39.7	33.2	34.5	31.0	29.7	17.9	21.0	14.4	10.9	9.6	4.8	3.5	2.6		
	嶺北広域圏	51.6	48.4	25.8	19.4	35.5	9.7	22.6	3.2	6.5	6.5	6.5	0.0	3.2		
	仁淀川広域圏	37.7	36.9	30.8	29.2	34.6	17.7	20.8	20.0	9.2	6.2	6.2	2.3	1.5		
	高吾北広域圏	43.3	28.4	25.4	34.3	26.9	19.4	16.4	19.4	19.4	7.5	4.5	0.0	1.5		
	高幡広域圏	42.0	46.4	31.9	26.8	22.5	13.8	15.2	18.1	11.6	10.1	5.1	2.2	2.2		
	幡多広域圏	36.2	41.4	31.0	21.9	23.8	18.6	19.0	13.8	11.4	9.5	5.7	3.3	1.9		

問 29 このように、「放課後学び場」の設置を推進していますが、あなたが今お住まいの地域における「放課後学び場」について、さらにどのような取り組みを充実していくことが望まれますか。（2つまで○印）

居住地域における「放課後学び場」について、さらに充実していくべき取り組みについては、「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」が 46.8%で最も高く、次いで「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」が 43.5%、「地域の大人や異年齢の子どもとの『交流の場』としての充実」が 36.3%となっている。



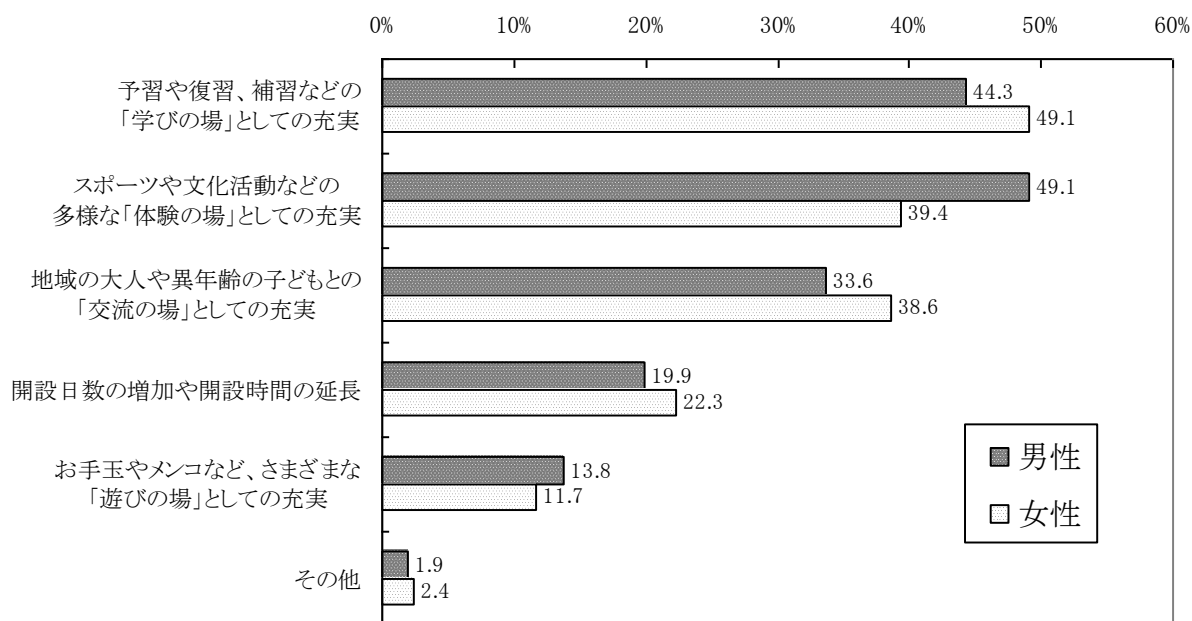
#### 【性別】

女性は《総合》の順位と同じであるが、男性は1位と2位が逆転しており、「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」が 49.1%で最も高く、その比率も女性の 39.4%に対して 9.7ポイント高くなっている。一方、女性は「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」が 49.1%で男性の 44.3%より 4.8ポイント高くなっている。

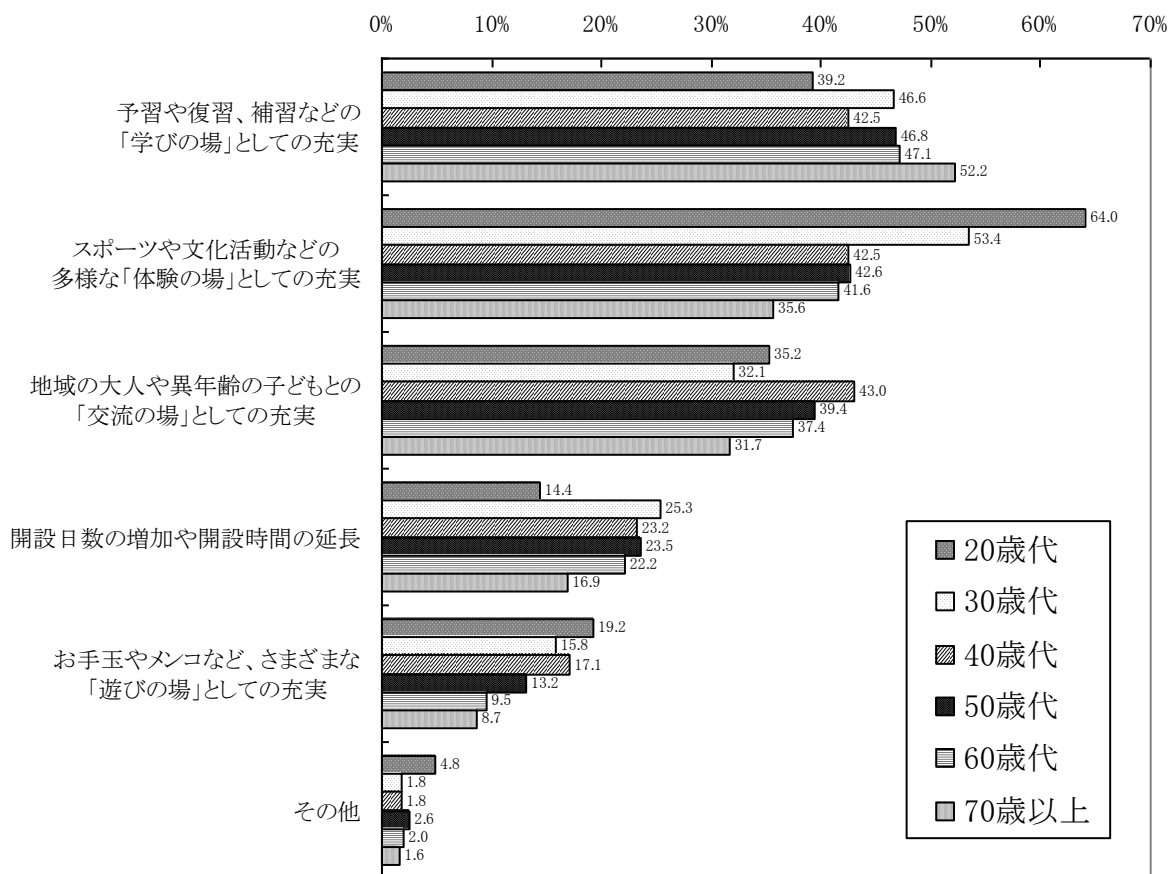
#### 【年代別】

50歳以上の年代では「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」が最も高いが、20歳代と30歳代では「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」が最も高く、その比率も50%を超えて高くなっている。また40歳代は「地域の大人や異年齢の子どもとの『交流の場』としての充実」が 43.0%で最も高いが、「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」、「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」も 42.5%で2位と、これら3項目で比率の差はほとんどない。

《 性別 》



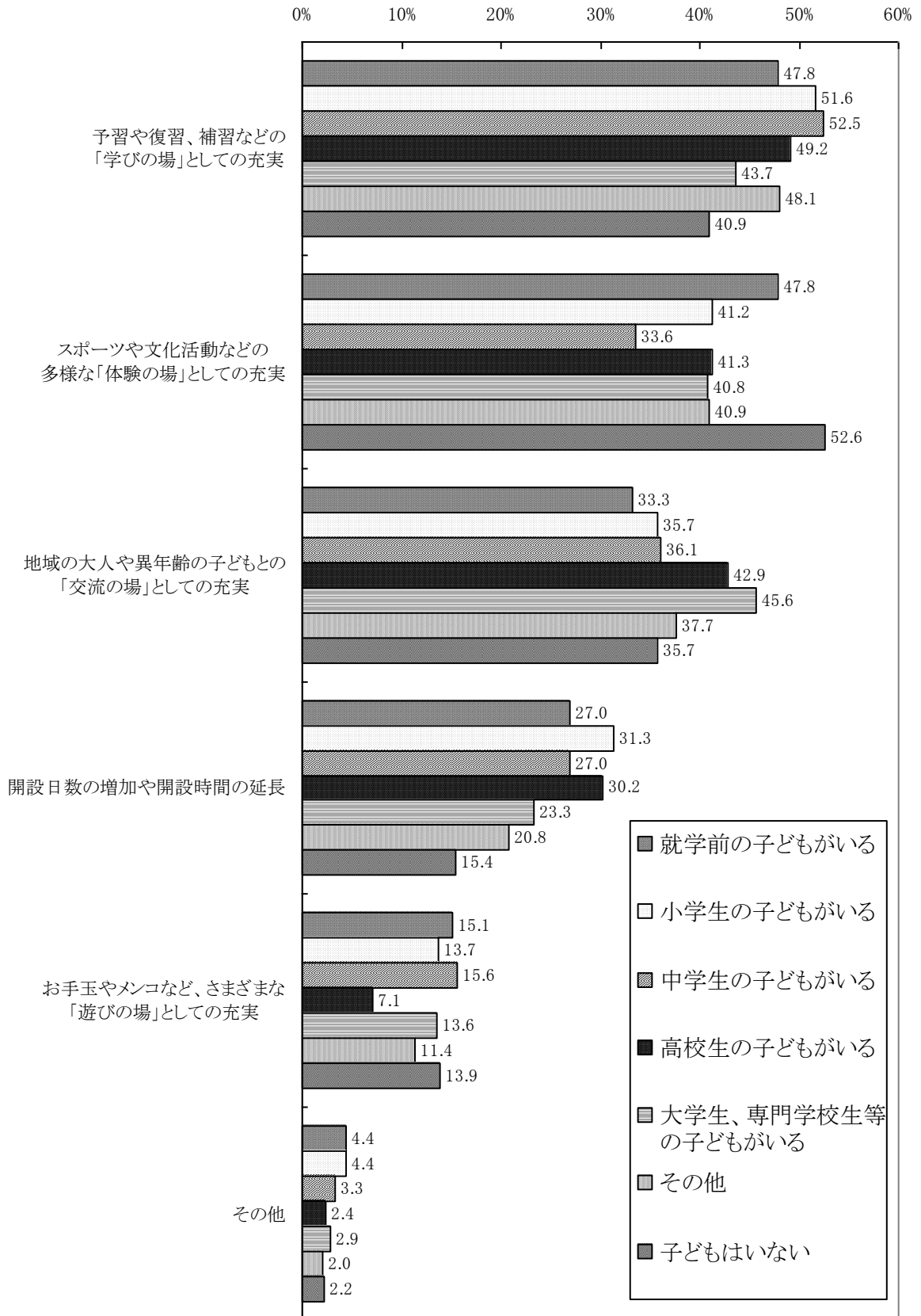
《 年代別 》



### 【子どもの状況別】

大学生、専門学校生等の子どもがいる人、子どもはいるいないを除外するいずれの状況の人も、「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」が最も高い（同率含む）。また、大学生、専門学校生等の子どもがいる人では「地域の大人や異年齢の子どもとの『交流の場』としての充実」が、子どもはいるいない人では「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」が最も高くなっている。

《 子どもの状況別 》





【職業別】

職業区分によって順位に違いはあるが、「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」と「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」のいずれかの項目が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

仁淀川広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏を除くすべての地域では「予習や復習、補習などの『学びの場』としての充実」が最も高い。また、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏は「スポーツや文化活動などの多様な『体験の場』としての充実」が最も高くなっている。

《 職業別・広域市町村圏別 》

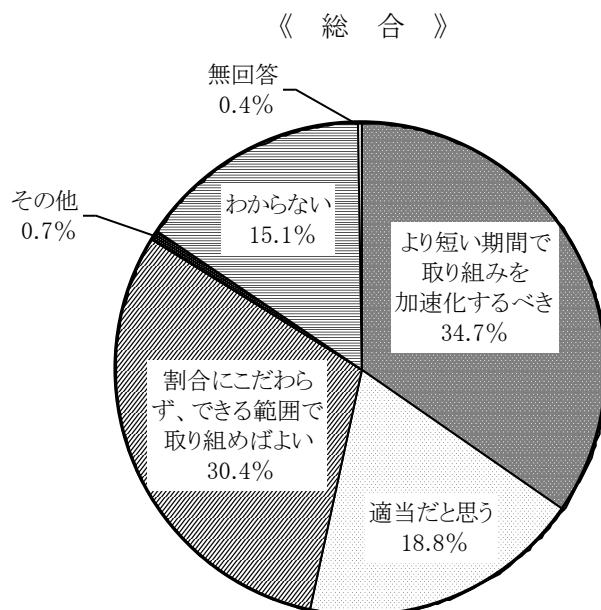
(単位：%)

属性		項目	予習や復習、補習などの「学びの場」としての充実	スポーツや文化活動などの多様な「体験の場」としての充実	地域の大人や異年齢の子どもとの「交流の場」としての充実	開設日数の増加や開設時間の延長	お手玉やメンコなど、さまざまな「遊びの場」としての充実	その他
職業別	農林業		55.8	46.9	34.5	15.0	11.5	0.9
	漁業		18.2	54.5	18.2	27.3	18.2	0.0
	商工サービス業自営		49.2	45.8	31.7	21.7	8.3	5.8
	事務職		48.6	50.3	33.7	27.1	12.2	3.3
	技術職		41.1	50.0	38.7	28.6	11.9	1.8
	労務職		47.3	46.7	39.1	14.8	17.8	1.2
	管理職		35.6	50.8	42.4	28.8	18.6	5.1
	自由業		40.0	46.7	33.3	26.7	13.3	0.0
	主婦		50.8	34.6	39.8	21.3	14.2	3.1
	学生		27.3	86.4	59.1	0.0	18.2	0.0
	無職		49.5	36.2	32.9	19.3	9.5	0.8
	その他		41.7	48.5	40.2	22.0	15.2	2.3
広域市町村圏別	高知市		48.0	42.8	35.1	24.6	14.5	2.6
	安芸広域圏		44.9	42.4	38.1	14.4	10.2	2.5
	南国・香美広域圏		43.7	43.2	40.2	21.0	12.7	0.9
	嶺北広域圏		58.1	38.7	41.9	19.4	0.0	3.2
	仁淀川広域圏		47.7	48.5	33.1	21.5	14.6	3.1
	高吾北広域圏		50.7	55.2	38.8	13.4	7.5	0.0
	高幡広域圏		55.1	37.7	35.5	18.8	11.6	2.2
	幡多広域圏		39.5	43.3	36.2	17.6	10.0	1.4

## 〔4〕新エネルギーの導入について

問 30 高知県におけるエネルギーの消費に占める新エネルギーの割合は、2007（平成 19）年度では約 1.36 パーセントとなっています。東日本大震災の発生前に策定した「高知県新エネルギービジョン」では、この割合を 2020 年度までに 2 倍以上にするよう新エネルギーの導入に努めていくこととしています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（1 つだけ○印）

「高知県新エネルギービジョン」での取り組み目標に対してどう思うかについては、「より短い期間で取り組みを加速化すべき」が 34.7%、「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」が 30.4%となっており、この 2 項目にあまり差がない。「適当だと思う」が 18.8%、「わからない」が 15.1%となっている。



### 【性別】

男女とも《総合》とあまり違いはない。「より短い期間で取り組みを加速するべき」は、男性が 37.1%で女性の 32.7%より 4.4 ポイント高い。女性は「わからない」が 17.7%で男性に比べて 6.1 ポイント高くなっている。

### 【年代別】

20 歳代、30 歳代、70 歳以上では「より短い期間で取り組みを加速するべき」と「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」の割合にほぼ差がなく並んでいるのに対し、40 歳代～60 歳代では「より短い期間で取り組みを加速するべき」が「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」よりやや高い割合となっている。

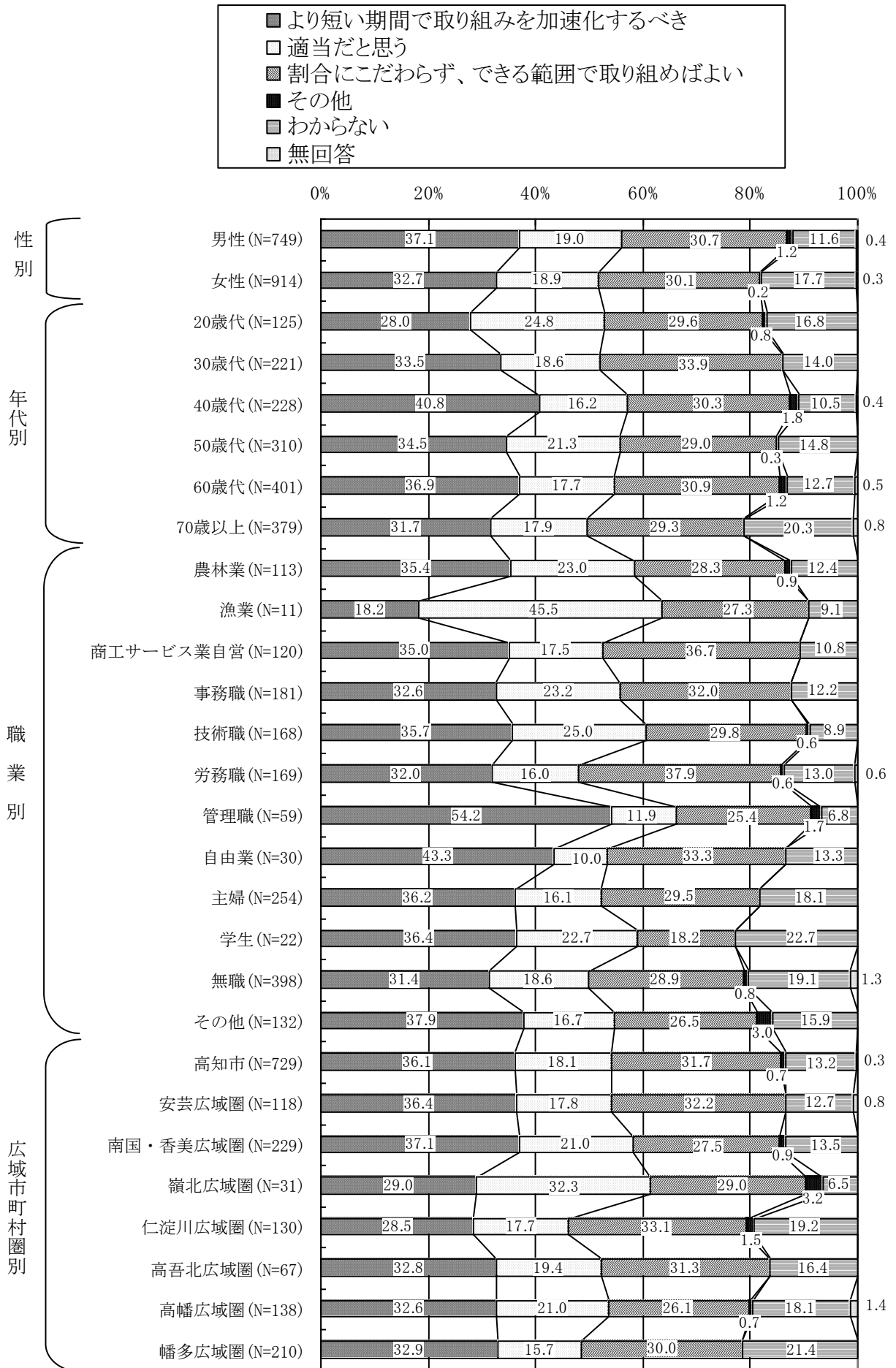
### 【職業別】

商工サービス業自営、事務職、無職では、「より短い期間で取り組みを加速するべき」と「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」の割合にほぼ差がない。労務職では、「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」が最も高い割合になっており、漁業では「適当だと思う」の割合が 45.5%と最も高く、他の職業区分と違いが見られる。これらの職業区分以外では、「より短い期間で取り組みを加速するべき」が「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」より高い割合になっており、特に管理職では「より短い期間で取り組みを加速するべき」が 54.2%と他の職業区分に比べて高い割合となっている。

### 【広域市町村圏別】

嶺北広域圏で「適当だと思う」が、仁淀川広域圏で「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」がそれぞれ最も高い割合を示している。この他の地域では、「より短い期間で取り組みを加速するべき」が最も高い割合になっているが、このうち高吾北広域圏と幡多広域圏は「割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい」と割合の差はほとんどない。

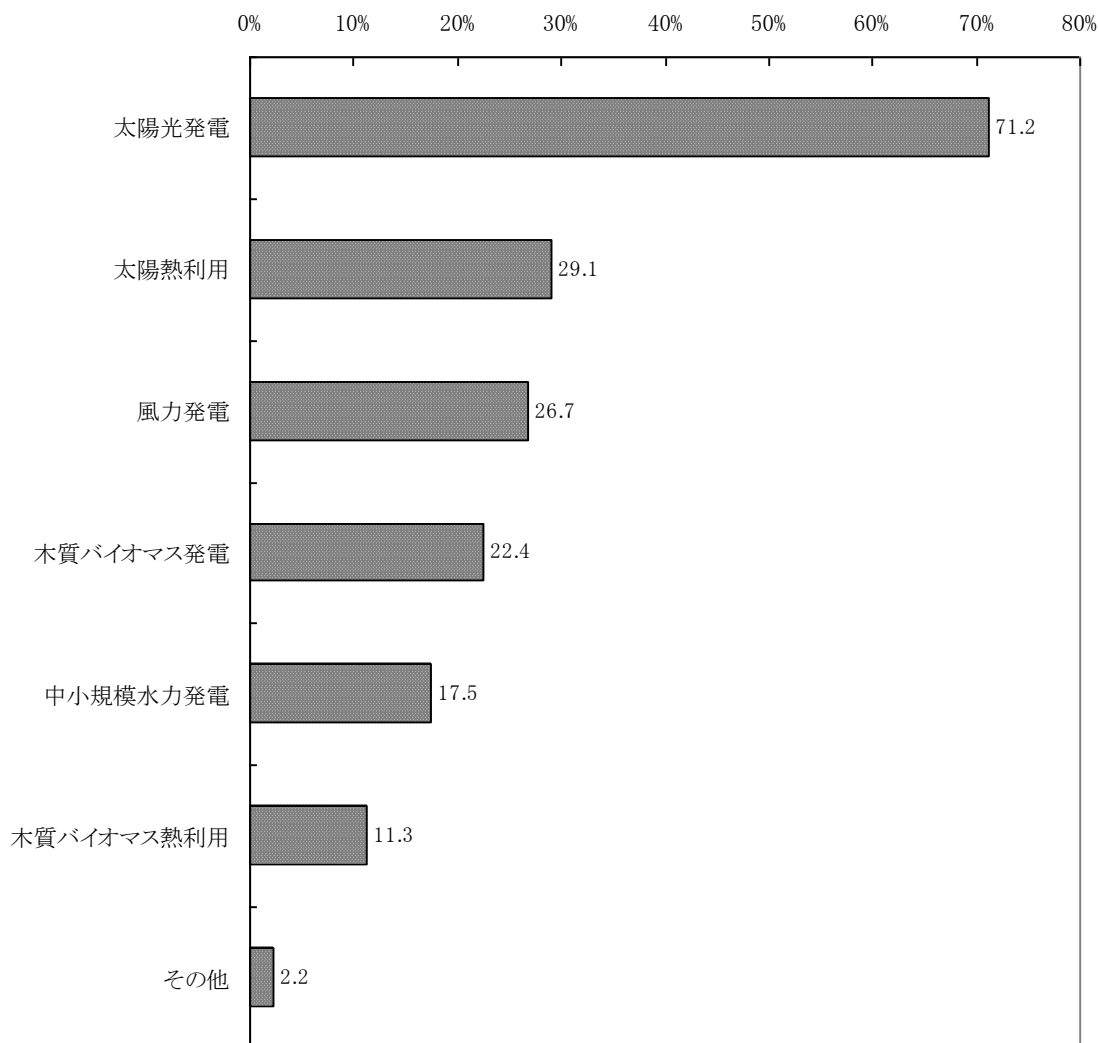
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



問 31 高知県において、積極的に導入すべき新エネルギーは何だと思えますか。あなたが、優先順位が高いと思う新エネルギーを2つまで選んでお答えください。(2つまで○印)

高知県において積極的に導入すべき新エネルギーについては、「太陽光発電」の比率が71.2%と他の項目に比べて非常に高い。以下、「太陽熱利用」が29.1%、「風力発電」が26.7%、「木質バイオマス発電」が22.4%と続いている。

《 総 合 》



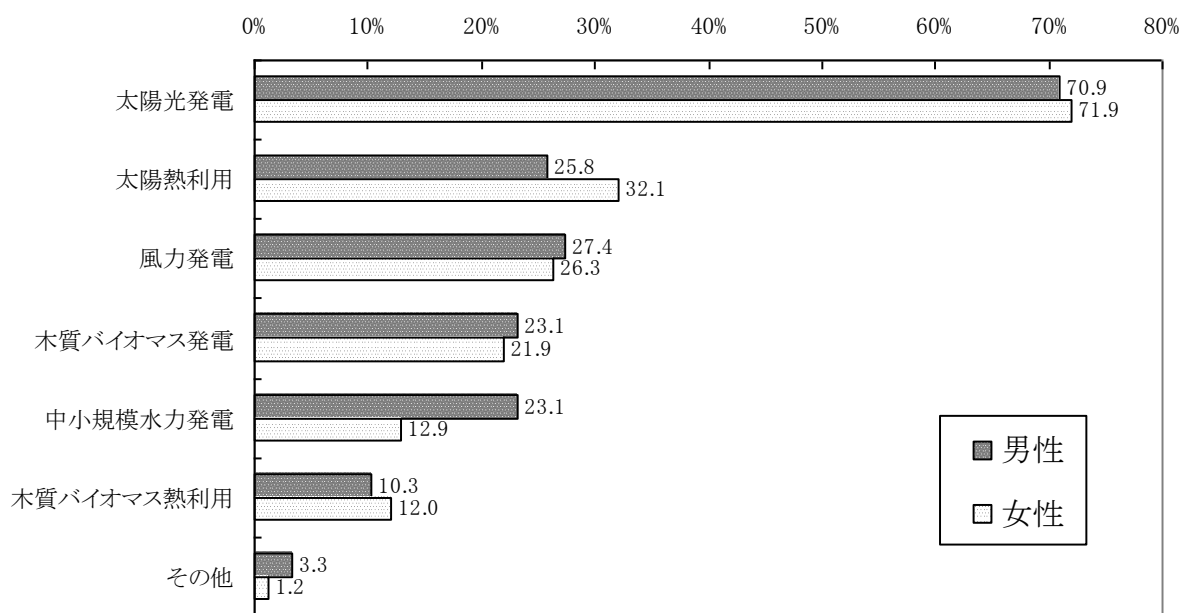
【性別】

女性は、《総合》と同じ順位であるが、男性は2位に「風力発電」、3位に「太陽熱利用」となっており、男女で順位に違いがある。「太陽熱利用」は女性が32.1%で男性の25.8%より6.3ポイント高く、「中小規模水力発電」は男性が23.1%で女性の12.9%より10.2ポイント高くなっている。

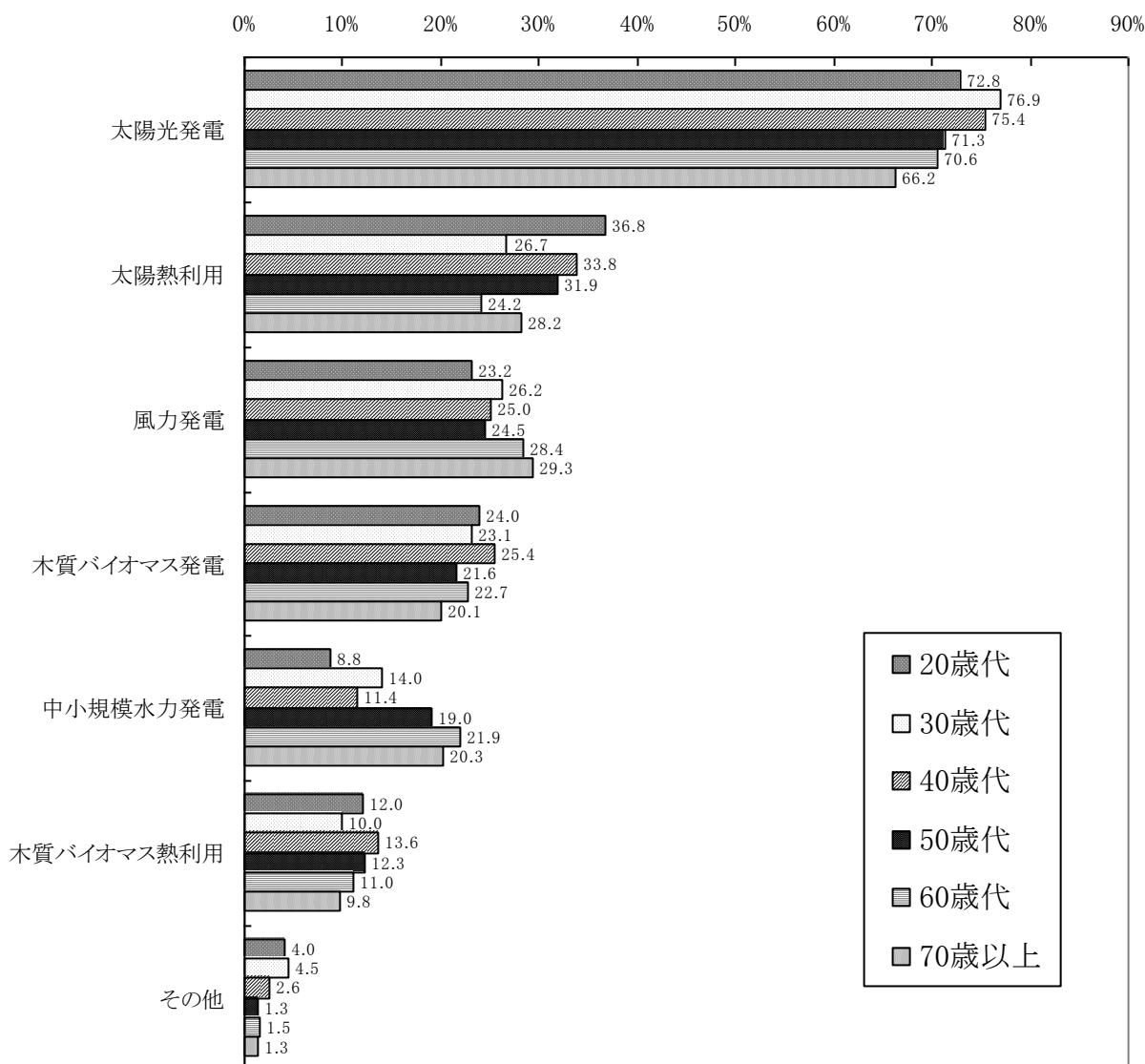
【年代別】

いずれの年代も「太陽光発電」の比率が最も高いが、2位には、20歳代～50歳代では「太陽熱利用」、60歳以上では「風力発電」となっており、年代によって順位に違いがみられる。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

いずれの職業も「太陽光発電」の比率が最も高いが、2位以下は順位にばらつきがある。

漁業では、「太陽光発電」が81.8%、「中小規模水力発電」が36.4%と、他の職業区分の比率と比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

いずれの地域でも「太陽光発電」の比率が最も高いが、2位以下はそれぞれの地域で違いがある。嶺北広域圏では「中小規模水力発電」が29.0%、高幡広域圏では「風力発電」が35.5%と、他の地域に比べて高い比率となっている。

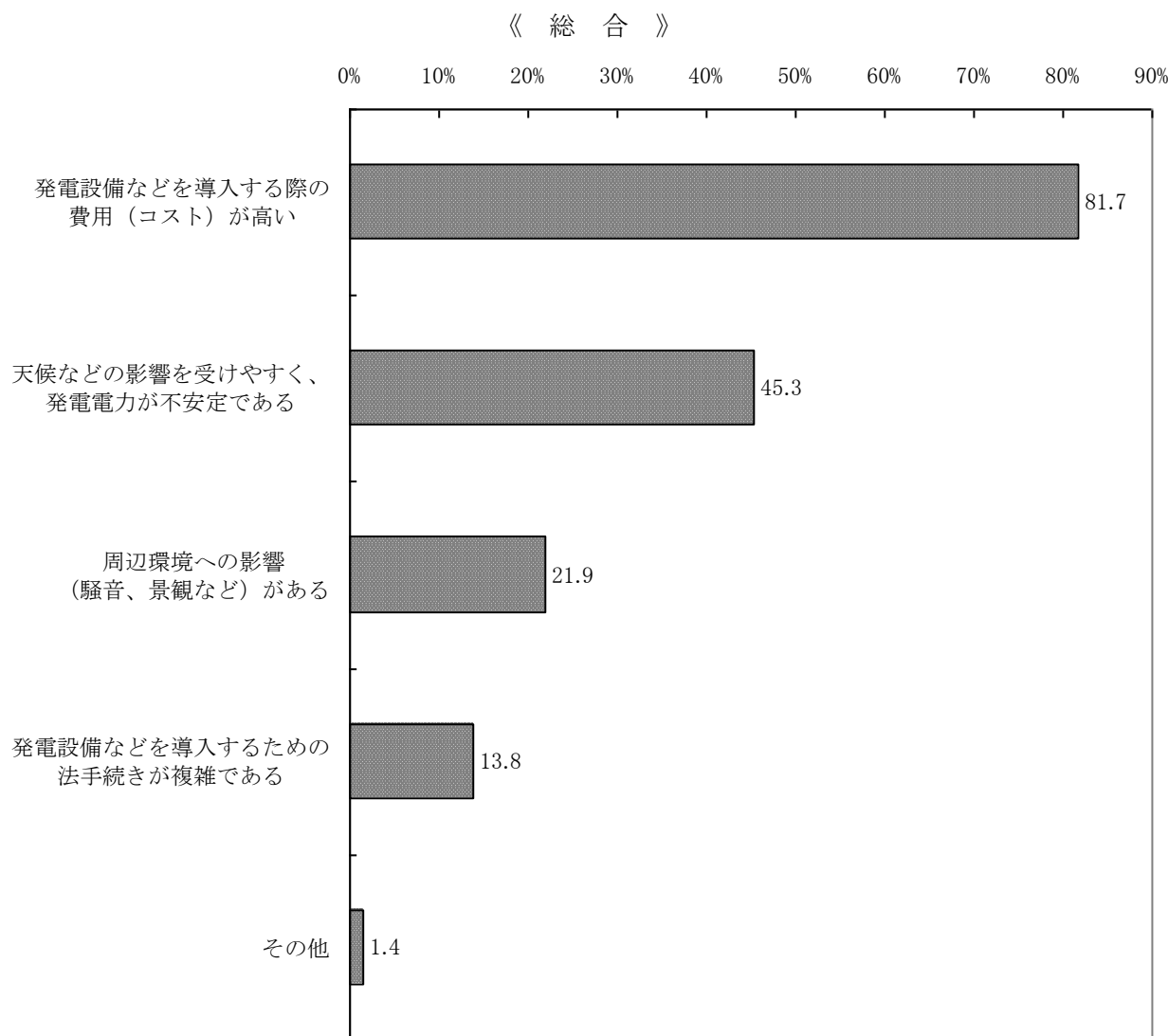
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属性		項目		太陽光発電	太陽熱利用	風力発電	木質バイオマス発電	中小規模水力発電	木質バイオマス熱利用	その他
		項目	項目							
職業別	農林業			78.8	23.9	23.0	18.6	26.5	9.7	2.7
	漁業			81.8	36.4	18.2	9.1	36.4	9.1	0.0
	商工サービス業自営			72.5	25.8	26.7	20.8	21.7	11.7	0.0
	事務職			72.9	29.8	19.3	28.2	16.0	14.9	2.8
	技術職			74.4	28.0	31.0	26.8	9.5	8.9	2.4
	労務職			72.8	33.7	21.9	23.1	21.3	11.8	3.0
	管理職			74.6	33.9	27.1	18.6	22.0	11.9	0.0
	自由業			70.0	26.7	26.7	26.7	10.0	6.7	0.0
	主婦			71.7	31.9	26.4	20.5	13.4	15.0	1.2
	学生			77.3	31.8	36.4	9.1	9.1	22.7	9.1
	無職			65.8	28.1	28.6	22.6	20.1	9.3	2.0
	その他			70.5	27.3	33.3	22.0	12.9	8.3	4.5
広域市町村圏別	高知市			71.1	30.0	25.1	23.6	16.6	13.3	2.9
	安芸広域圏			75.4	26.3	31.4	18.6	11.9	9.3	3.4
	南国・香美広域圏			72.9	30.6	24.5	25.8	18.3	12.7	0.9
	嶺北広域圏			71.0	16.1	22.6	29.0	29.0	12.9	0.0
	仁淀川広域圏			66.2	30.0	20.8	19.2	27.7	13.1	1.5
	高吾北広域圏			70.1	23.9	28.4	28.4	20.9	4.5	1.5
	高幡広域圏			71.0	23.2	35.5	19.6	16.7	7.2	2.2
幡多広域圏			71.4	32.4	29.0	16.7	14.3	7.6	1.9	

**問 32 新エネルギーの導入を進めるうえではいろいろな課題がありますが、次のうち、あなたが特に問題だと思うことはどれですか。（2つまで○印）**

新エネルギーの導入を進めるうえで特に問題だと思うことについては、「発電設備などを導入する際の費用（コスト）が高い」が 81.7%と非常に高い比率で1位となっており、次いで「天候などの影響を受けやすく、発電電力が不安定である」が 45.3%、「周辺環境への影響（騒音、景観など）がある」が 21.9%、「発電設備などを導入するための法手続きが複雑である」が 13.8%となっている。



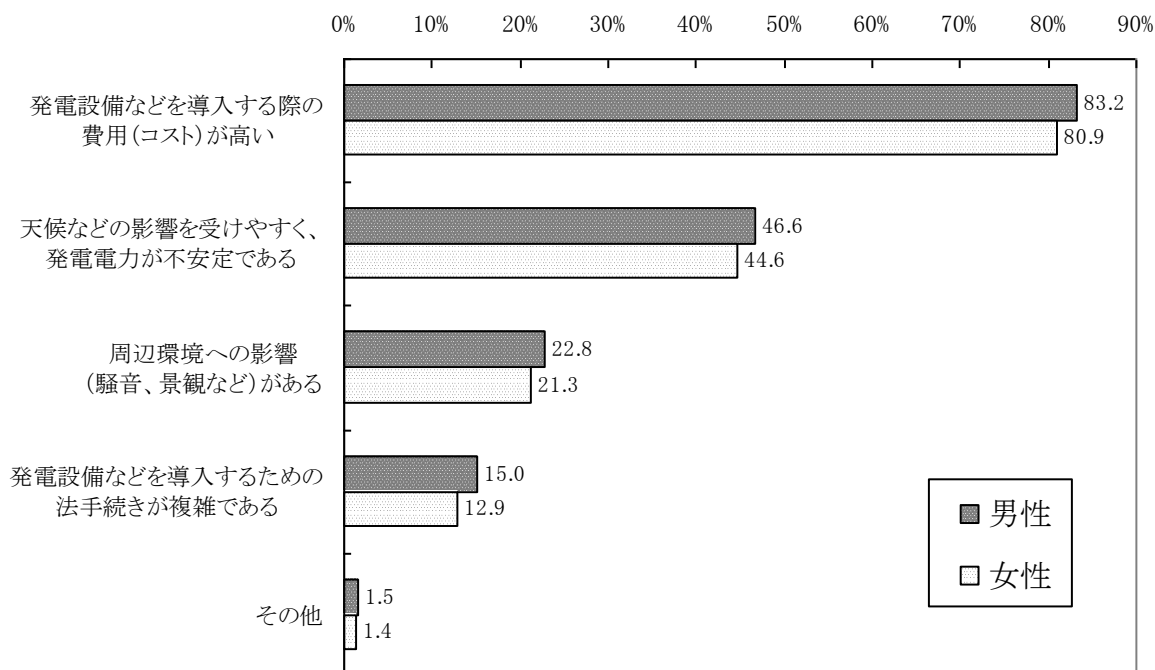
**【性別】**

男女とも《総合》とほぼ同じで違いはみられない。

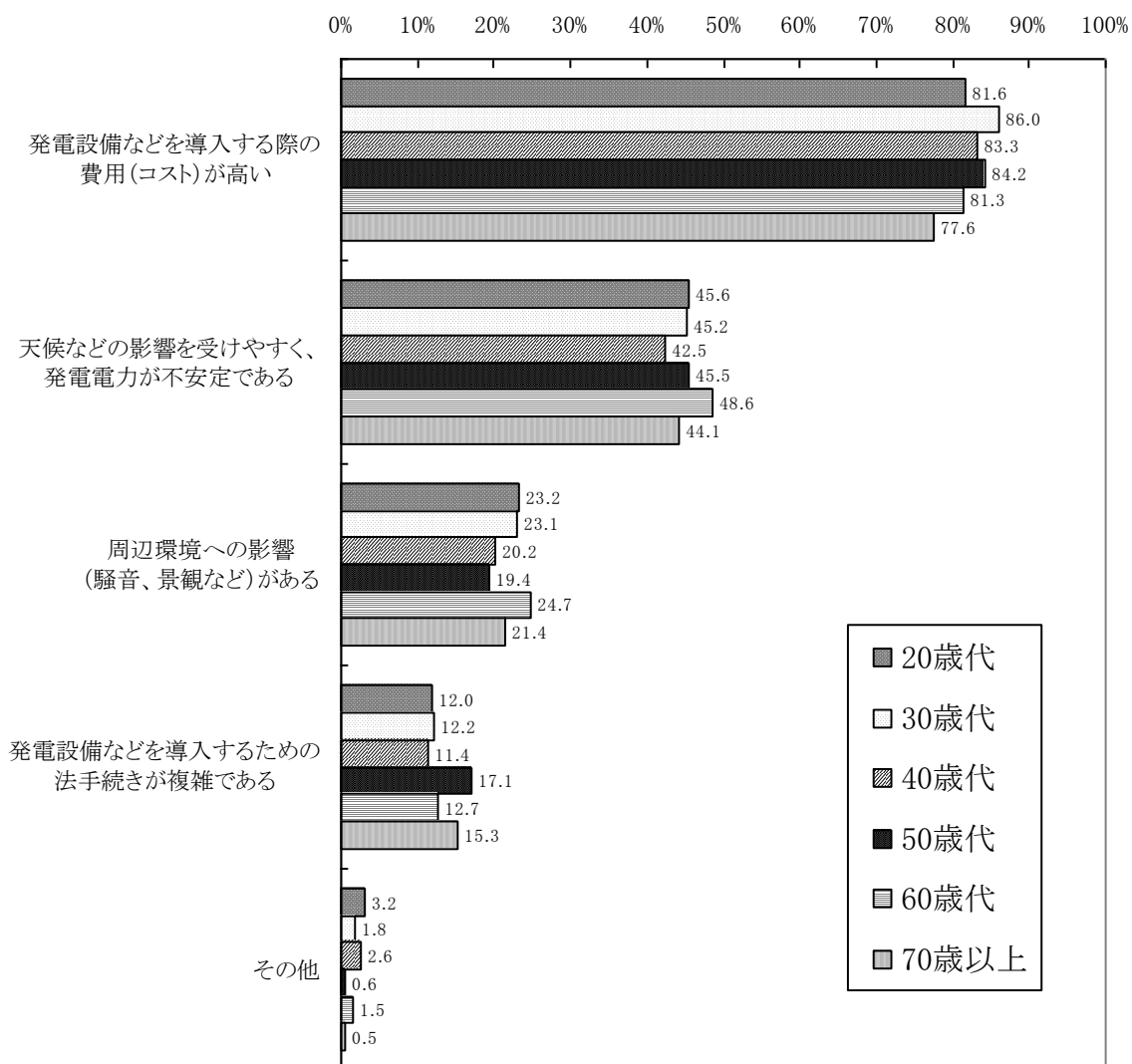
**【年代別】**

年代による違いはあまりなく、どの年代も《総合》と同様の結果になっている。

《 性別 》



《 年代別 》





【職業別】

漁業を除くすべての職業区分で《総合》の順位と同じである。特に学生では、「発電設備などを導入する際のコストが高い」が100%と全員がこの項目を挙げている。

漁業では、「発電設備などを導入するための法手続きが複雑である」が27.3%と他の職業区分に比べて高くなっており、「周辺環境への影響（騒音、景観など）がある」は9.1%と低くなっており、違いが見られる。

【広域市町村圏別】

仁淀川広域圏、高吾北広域圏を除くすべての地域で《総合》の順位と同じである（同率含む）。仁淀川広域圏、高吾北広域圏では、「発電設備などを導入するための法手続きが複雑である」が「周辺環境への影響（騒音、景観など）がある」を上回って3位となっている。

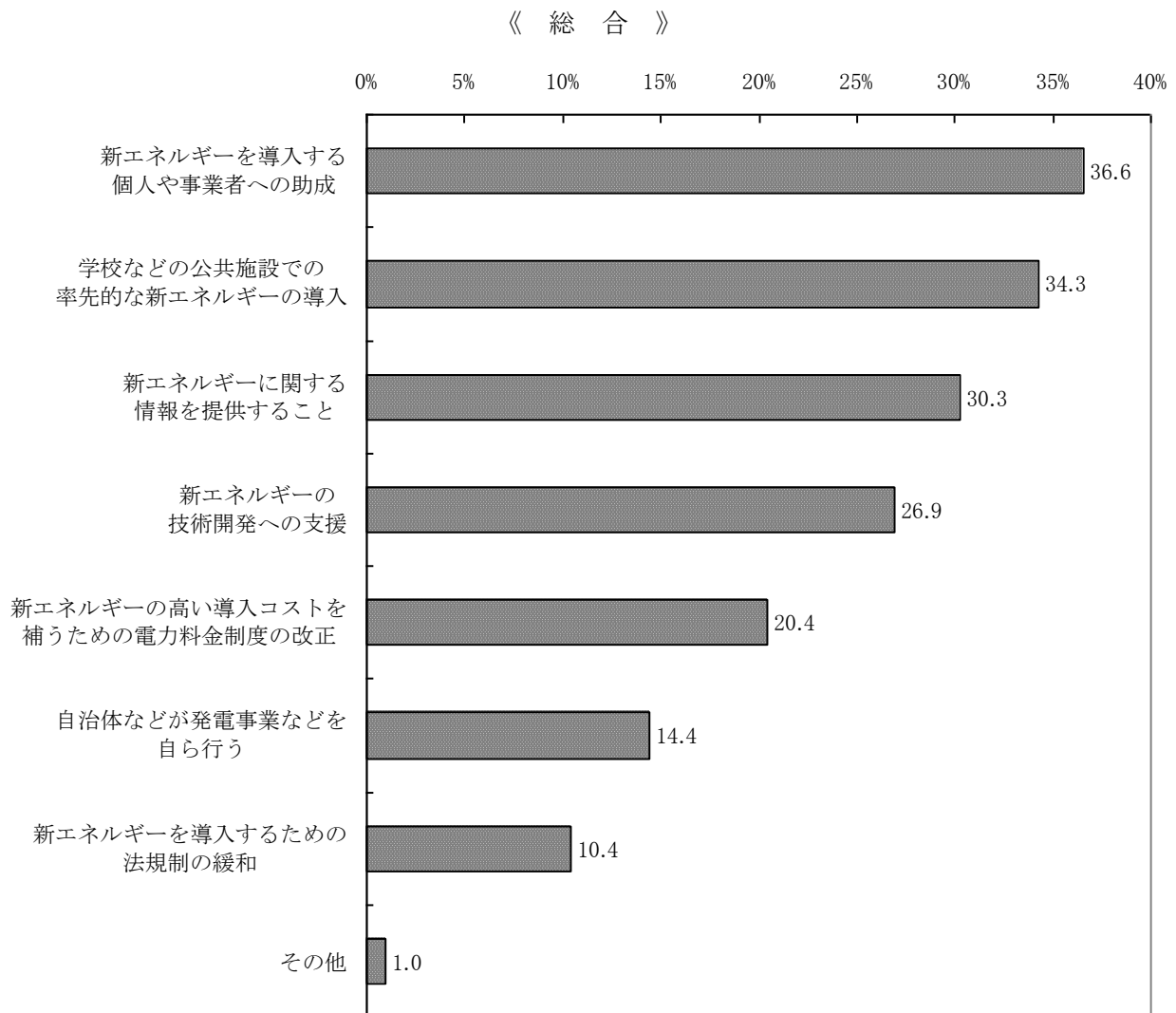
《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属性		項目	発電設備などを導入する際のコストが高い	天候などの影響を受けやすく、発電電力が不安定である	周辺環境への影響（騒音、景観など）がある	発電設備などを導入するための法手続きが複雑である	その他
職業別	農林業		86.7	48.7	22.1	14.2	0.9
	漁業		81.8	54.5	9.1	27.3	0.0
	商工サービス業自営		83.3	45.0	21.7	14.2	1.7
	事務職		85.6	43.1	22.1	12.7	0.6
	技術職		85.1	45.8	23.2	14.3	0.6
	労務職		81.7	49.1	24.9	13.6	1.8
	管理職		83.1	45.8	25.4	18.6	1.7
	自由業		76.7	36.7	16.7	10.0	0.0
	主婦		82.3	48.4	22.0	12.6	0.4
	学生		100.0	36.4	22.7	4.5	4.5
	無職		77.1	43.0	21.9	14.8	1.5
	その他		83.3	47.0	18.9	13.6	5.3
広域市町村圏別	高知市		82.3	45.5	23.3	13.4	1.5
	安芸広域圏		78.8	45.8	16.1	10.2	1.7
	南国・香美広域圏		89.1	51.1	19.2	13.5	0.9
	嶺北広域圏		74.2	51.6	19.4	19.4	0.0
	仁淀川広域圏		79.2	45.4	19.2	20.8	2.3
	高吾北広域圏		80.6	44.8	13.4	16.4	1.5
	高幡広域圏		76.1	44.9	23.2	13.8	1.4
	幡多広域圏		80.5	38.6	27.1	11.4	1.4

問 33 あなたが、新エネルギーの導入を進めるために行政が行うべきだと思う取り組みについて、次のうち2つまで選んでお答えください。（2つまで〇印）

新エネルギーの導入を進めるために行政が行うべき取り組みについては、「新エネルギーを導入する個人や事業者への助成」が36.6%で最も高く、次いで「学校などの公共施設での率優先的な新エネルギーの導入」が34.3%、「新エネルギーに関する情報を提供すること」が30.3%と3項目で30%を超えている。



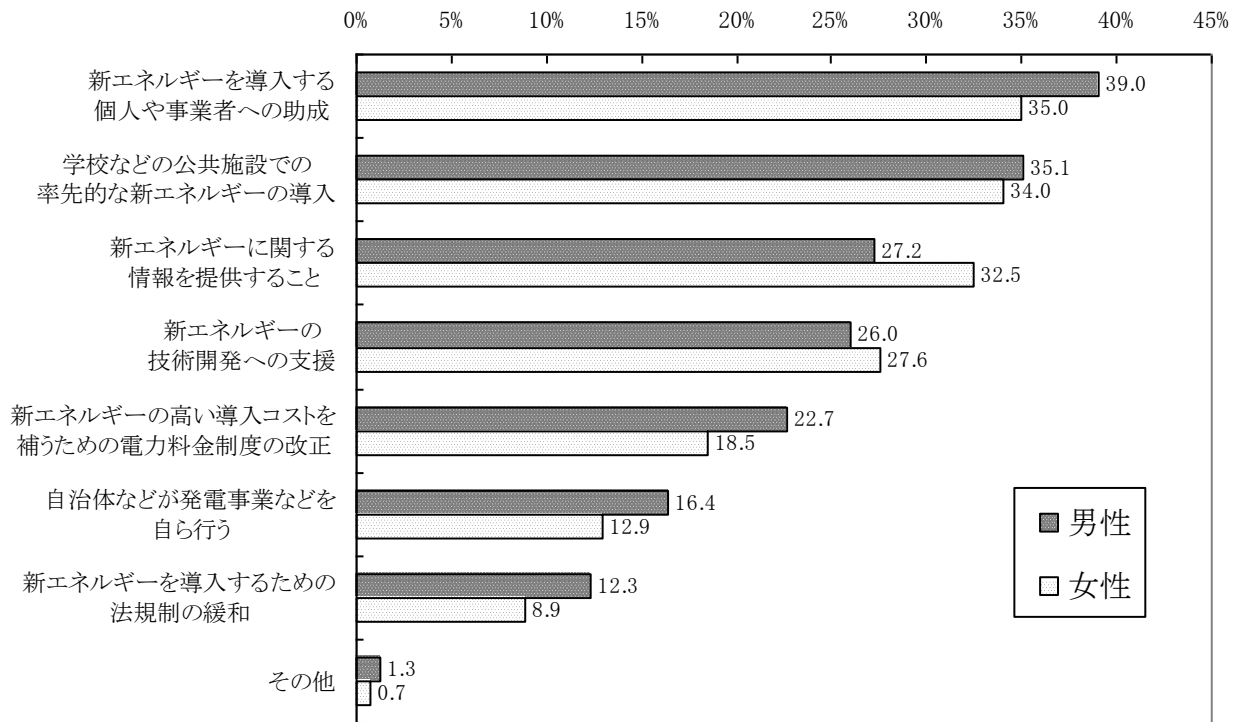
**【性別】**

男女とも《総合》の順位と同様であるが、「新エネルギーを導入する個人や事業者への助成」や「新エネルギーの高い導入コストを補うための電力料金制度の改正」で男性の方が女性より4ポイント程度比率が高く、「新エネルギーに関する情報を提供すること」は女性の方が男性より5.3ポイント比率が高くなっている。

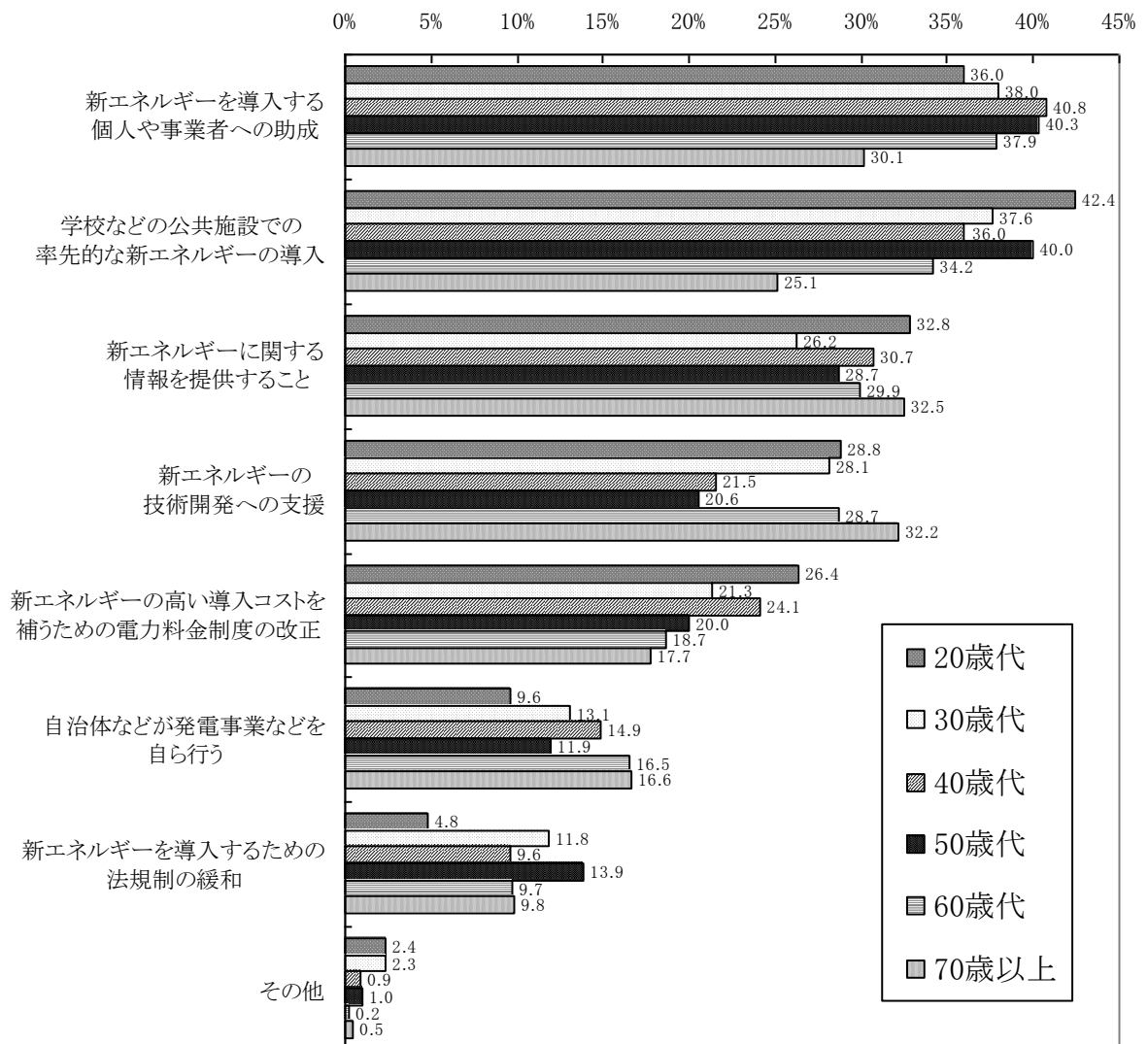
**【年代別】**

20歳代、70歳以上を除くすべての年代で「新エネルギーを導入する個人や事業者への助成」の比率が最も高くなっている。20歳代は「学校などの公共施設での率優先的な新エネルギーの導入」が最も高く、70歳以上では「新エネルギーに関する情報を提供すること」が最も高くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》



### 【職業別】

職業区分により順位にばらつきがある。商工サービス業自営では「新エネルギーを導入する個人や事業者への助成」が46.7%と他の職業区分に比べて高い比率になっており、管理職では「学校などの公共施設での率先的な新エネルギーの導入」が45.8%、農林業、漁業では「新エネルギーの高い導入コストを補うための電力料金制度の改正」が30%を超える比率で他の職業区分と比べて高くなっている。

### 【広域市町村圏別】

安芸広域圏、仁淀川広域圏を除くすべての地域で「新エネルギーを導入する個人や事業者への助成」の比率が最も高く、特に南国・香美広域圏が46.3%と他の地域と比べて比率が高い。安芸広域圏は「学校などの公共施設での率先的な新エネルギーの導入」が、仁淀川広域圏は「新エネルギーに関する情報を提供すること」の比率が最も高くなっている。

また、嶺北広域圏では、《総合》5位の「新エネルギーの高い導入コストを補うための電力料金制度の改正」が35.5%で2位と、他の地域に比べて高くなっている。

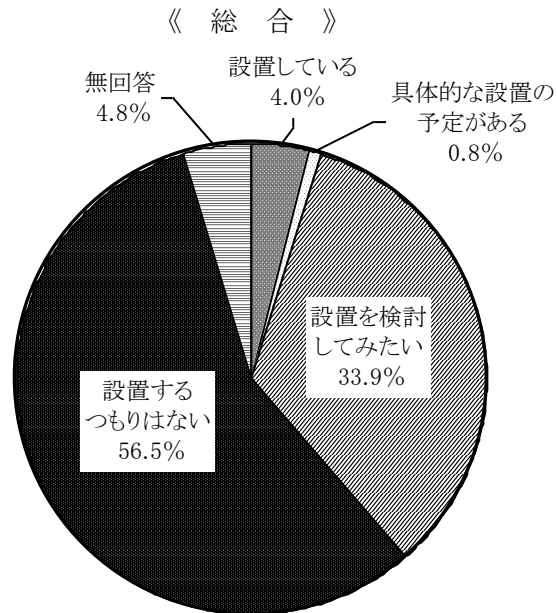
### 《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属 性		項 目							
		新エネルギーを導入する個人や事業者への助成	学校などの公共施設での率先的な新エネルギーの導入	学校などの公共施設での率先的な新エネルギーの導入	新エネルギーに関する情報を提供すること	新エネルギーの技術開発への支援	新エネルギーの高い導入コストを補うための電力料金制度の改正	自治体などが発電事業などを自ら行う	新エネルギーを導入するための法規制の緩和
職業別	農林業	37.2	29.2	30.1	24.8	30.1	15.9	13.3	0.0
	漁業	27.3	36.4	27.3	18.2	36.4	9.1	18.2	0.0
	商工サービス業自営	46.7	40.0	27.5	22.5	15.0	14.2	9.2	0.0
	事務職	43.1	34.8	26.5	24.9	23.8	9.9	13.3	1.1
	技術職	41.1	42.3	28.6	28.0	18.5	14.3	9.5	0.6
	労務職	37.9	37.9	25.4	26.6	22.5	17.8	11.8	1.2
	管理職	42.4	45.8	30.5	11.9	20.3	18.6	11.9	3.4
	自由業	30.0	33.3	23.3	30.0	13.3	26.7	3.3	0.0
	主婦	32.7	33.1	35.0	27.2	18.5	10.2	9.4	0.8
	学生	36.4	40.9	27.3	36.4	18.2	13.6	4.5	0.0
	無職	31.2	29.9	30.4	33.7	17.6	16.1	9.5	1.3
その他	38.6	31.1	37.1	21.2	26.5	14.4	10.6	1.5	
広域市町村圏別	高知市	35.3	34.0	29.8	27.8	20.6	14.8	11.7	1.8
	安芸広域圏	35.6	40.7	26.3	26.3	21.2	9.3	10.2	0.0
	南国・香美広域圏	46.3	38.4	30.1	24.9	18.3	13.1	10.9	0.9
	嶺北広域圏	38.7	35.5	19.4	22.6	35.5	6.5	6.5	0.0
	仁淀川広域圏	33.1	33.8	36.9	32.3	19.2	14.6	7.7	0.0
	高吾北広域圏	40.3	34.3	32.8	19.4	17.9	22.4	7.5	0.0
	高幡広域圏	38.4	27.5	29.0	27.5	19.6	16.7	8.7	0.7
幡多広域圏	32.9	32.4	32.4	26.2	21.9	14.3	10.0	0.5	

問 34 あなたは、ご自宅に太陽光発電設備を設置していますか。(1つだけ○印)

自宅に太陽光発電設備を設置しているかについては、「設置している」の割合は4.0%と少なく、「設置するつもりはない」が56.5%と過半数を占めている。「設置を検討してみたい」が33.9%で、「具体的な設置の予定がある」は0.8%に留まっている。



【性別】

男女とも《総合》の割合とほぼ同じである。「設置するつもりはない」が過半数を占めている。

【年代別】

20歳代は「設置している」が10.4%と他の年代に比べて高い。「設置を検討してみたい」は、30歳代～50歳代では40%を超えており、70歳以上では19.3%と低く、年代で違いが見られる。

【職業別】

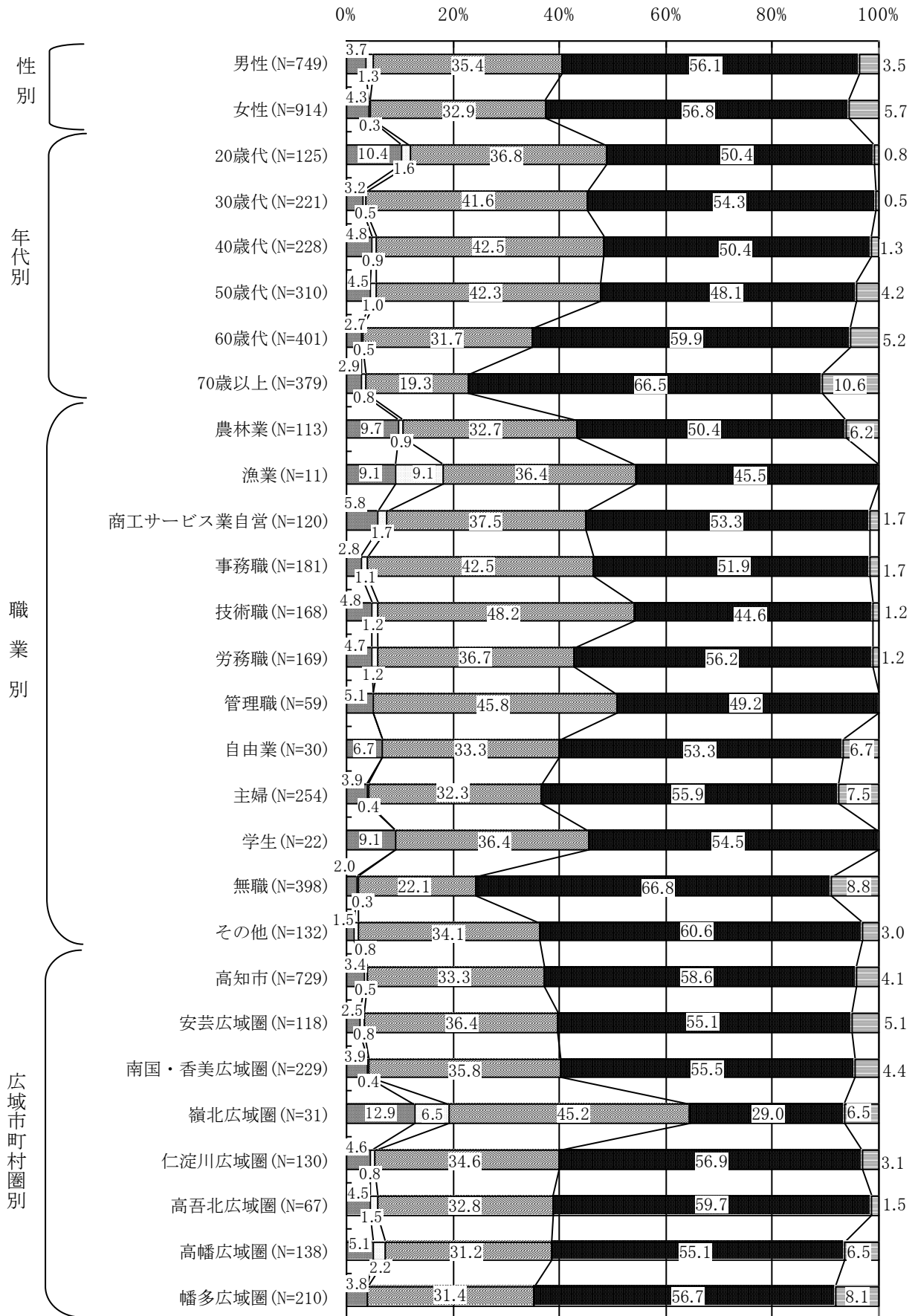
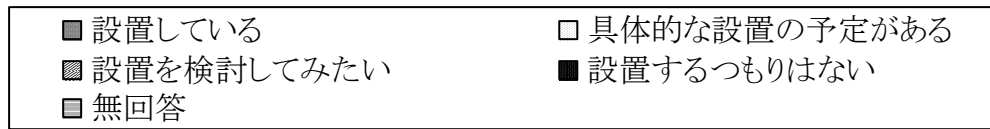
事務職、技術職、管理職では「設置を検討してみたい」が40%を超えて、他の職業区分に比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

嶺北広域圏を除くすべての地域で《総合》の割合とあまり違いはない。

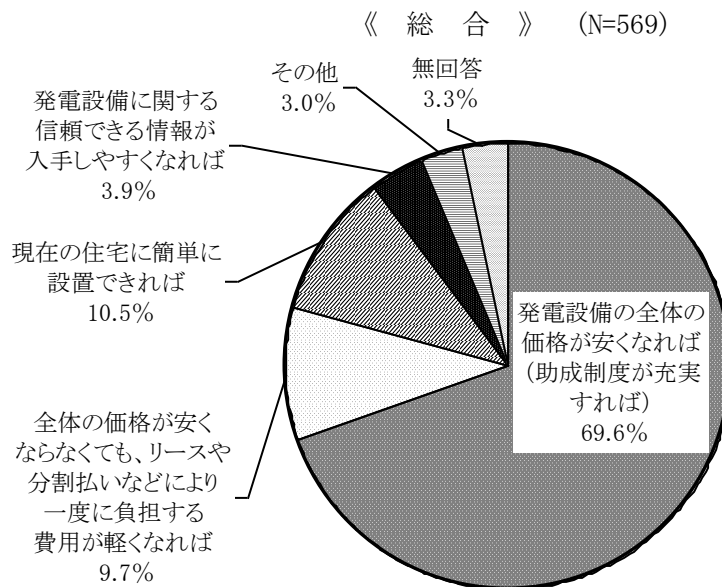
嶺北広域圏は「設置を検討してみたい」が45.2%、また「設置している」が12.9%、「具体的な設置の予定がある」が6.5%と他の地域より割合が高くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



問 34 副問 1 (問 34 で「3」を選んだ方のみお答えください。) あなたは、今後どのような条件が整えば、太陽光発電設備を設置してもよいと思いますか。(1つだけ○印)

問 34 で 太陽光発電設備の「設置を検討してみたい」と答えた人が、どのような条件が整えば設置してもよいかについては、「発電設備の全体の価格が安くなれば(助成制度が充実すれば)」(以下『全体の価格が安くなれば』)が 69.6%と 3分の2以上を占め、次いで「現在の住宅に簡単に設置できれば」が 10.5%、「全体の価格が安くならなくても、リースや分割払いなどにより一度に負担する費用が軽くなれば」(以下『一度に負担する費用が軽くなれば』)が 9.7%、「発電設備に関する信頼できる情報が入手しやすくなれば」が 3.9%の順になっている。



#### 【性別】

男女とも《総合》の割合とほぼ同じである。

#### 【年代別】

20歳代では、『全体の価格が安くなれば』が 78.3%、『一度に負担する費用が軽くなれば』が 13.0%と費用負担に関する条件が9割以上を占め、他の年代に比べて高くなっている。40歳代と70歳以上は「現在の住宅に簡単に設置できれば」が他の年代に比べて高くなっている。

#### 【職業別】

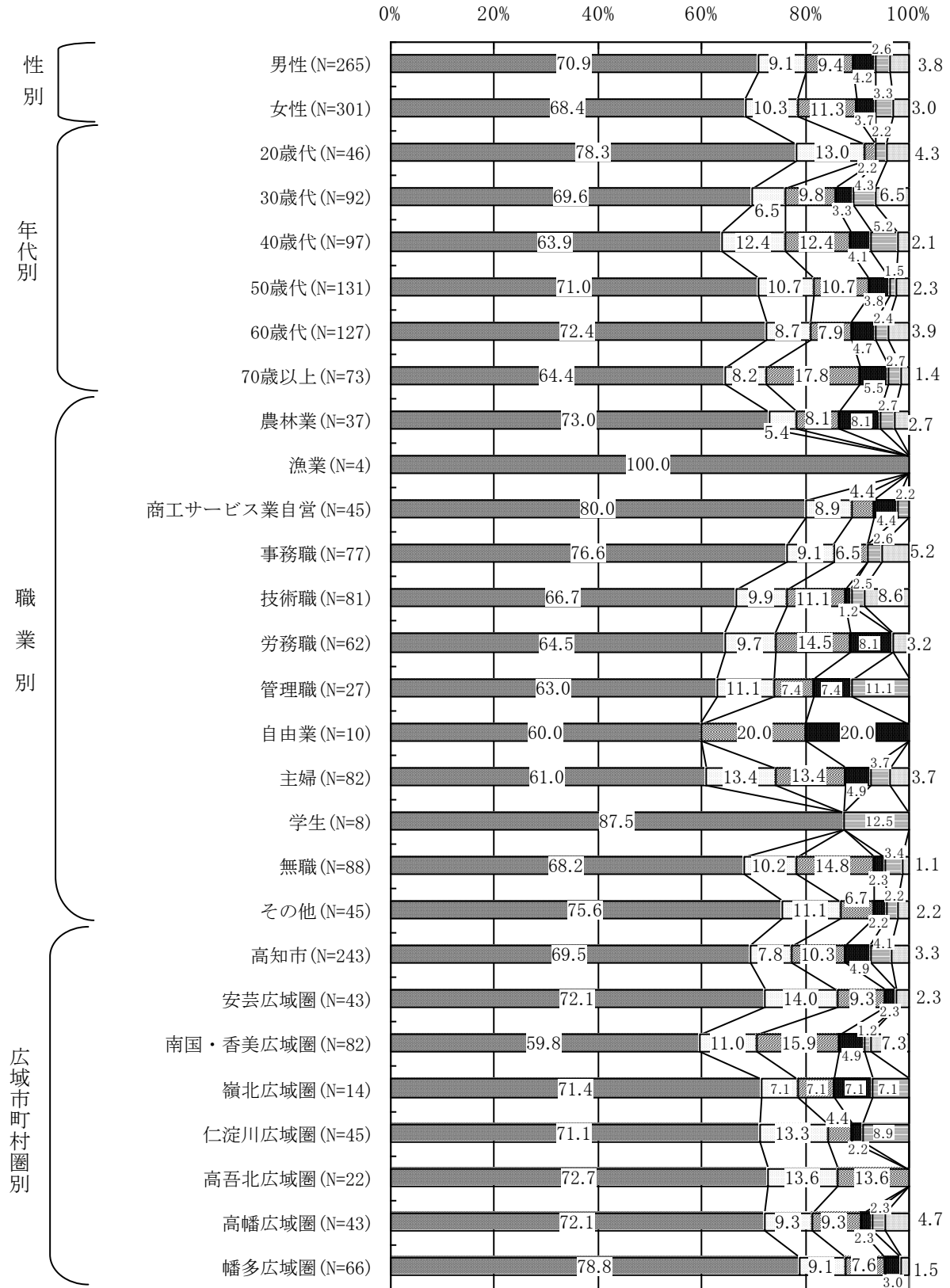
いずれの職業も『全体の価格が安くなれば』の割合が最も高く、漁業は 100%、学生は 87.5%、商工サービス業自営は 80.0%と高い割合を占めている。労務職、自由業、無職は「現在の住宅に簡単に設置できれば」が他の職業区分に比べてやや高い割合となっている。主婦では、『一度に負担する費用が軽くなれば』が 13.4%と他に比べてやや高い割合となっている。

#### 【広域市町村圏別】

いずれの地域も『全体の価格が安くなれば』の割合が最も高く、幡多広域圏では 78.8%と他の地域に比べて高くなっている。南国・香美広域圏では、59.8%と他の地域に比べて低い割合となっている一方、「現在の住宅に簡単に設置できれば」が 15.9%と他の地域に比べてやや高くなっている。安芸広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏では『一度に負担する費用が軽くなれば』の割合が 13~14%と他の地域に比べてやや高くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

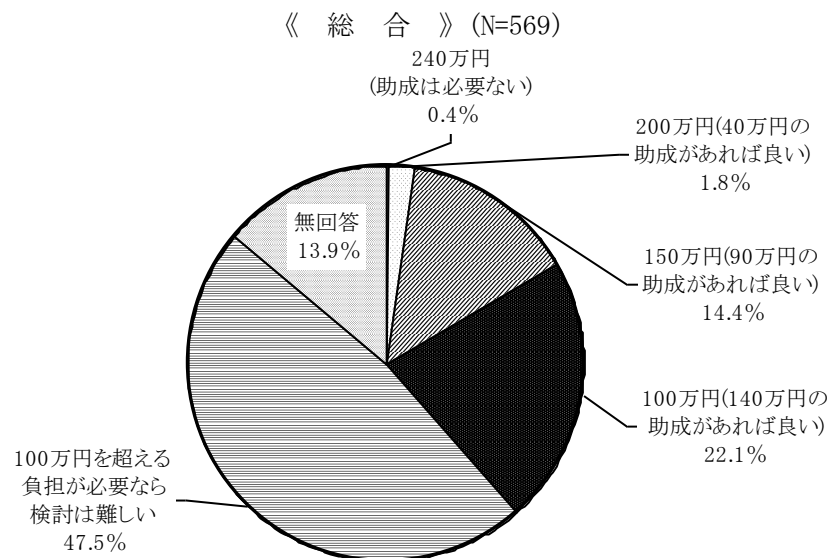
- 発電設備の全体の価格が安くなれば(助成制度が充実すれば)
- 全体の価格が安くならなくても、リースや分割払いなどにより一度に負担する費用が軽くなれば
- ▨ 現在の住宅に簡単に設置できれば
- 発電設備に関する信頼できる情報が入手しやすくなれば
- その他
- 無回答





問 34 副問 2 (問 34 で「3」を選んだ方のみお答えください。) 現在、住宅用太陽光発電設備の設置に対しては、助成制度があります。一般家庭での設備の導入のために 240 万円 (電力は 4 キロワット) かかるとした場合に、国からは約 19 万 2 千円が助成されます。あなたが、太陽光発電設備を設置する場合に、いくらまでなら負担できますか。(1つだけ○印)

問 34 で太陽光発電設備の「設置を検討してみたい」と答えた人が、いくらまでなら負担できるかについては、「100 万円を超える負担が必要なら検討は難しい」(以下『100 万円を超えるなら難しい』)が 47.5%と半数近くを占め、次いで「100 万円 (140 万円の助成があれば良い)」(以下『100 万円』)が 22.1%、「150 万円 (90 万円の助成があれば良い)」(以下『150 万円』)が 14.4%、「200 万円 (40 万円の助成があれば良い)」(以下『200 万円』)が 1.8%、「240 万円 (助成は必要ない)」が 0.4%と、負担額が上がるほど割合は低くなっている。



#### 【性別】

『100 万円を超えるなら難しい』は女性で 50.2%と男性の 43.8%より 6.4 ポイント高く、一方、『150 万円』は男性で 17.7%と女性の 11.6%より 6.1 ポイント高くなっている。

#### 【年代別】

20 歳代は『150 万円』の割合が 21.7%と他の年代に比べて高くなっている。

#### 【職業別】

農林業、自由業では『150 万円』の比率が他の職業区分に比べて高く、事務職は『100 万円』が 29.9%と他に比べて高い比率になっている。

#### 【世帯の年間収入別】

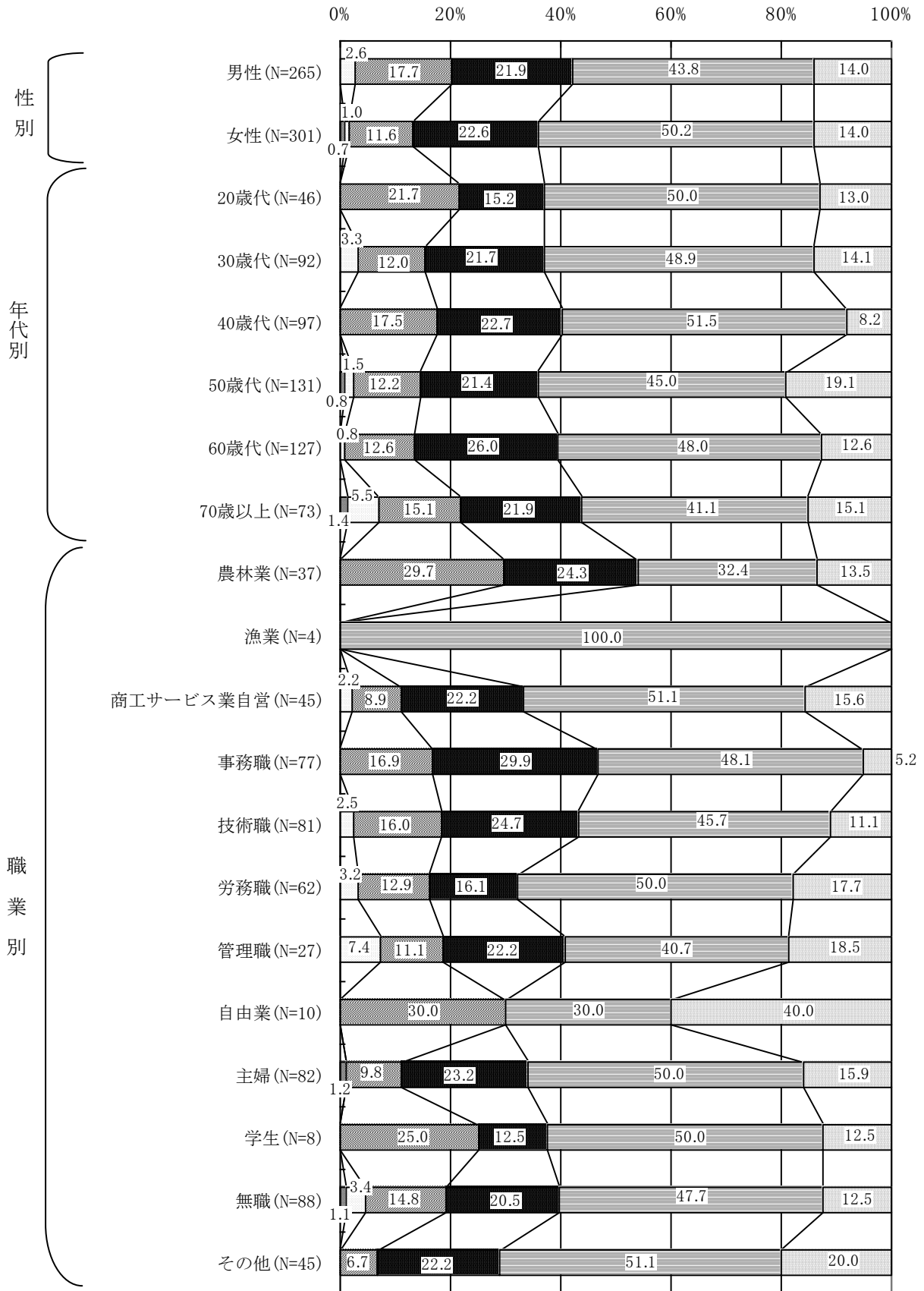
1000 万円未満までは、年間収入額が高くなるほど『100 万円を超えるなら難しい』の割合は低くなり、一方で『100 万円』の割合が高くなる傾向がみられる。800~1000 万円未満の層では、『150 万円』が 25.8%を占めて、他の層に比べて高くなっている。1000 万円以上の層では、100 万円を超える負担額の割合が低い 1000 万円未満の年間収入額の増減による傾向とは違った割合となっている。

#### 【広域市町村圏別】

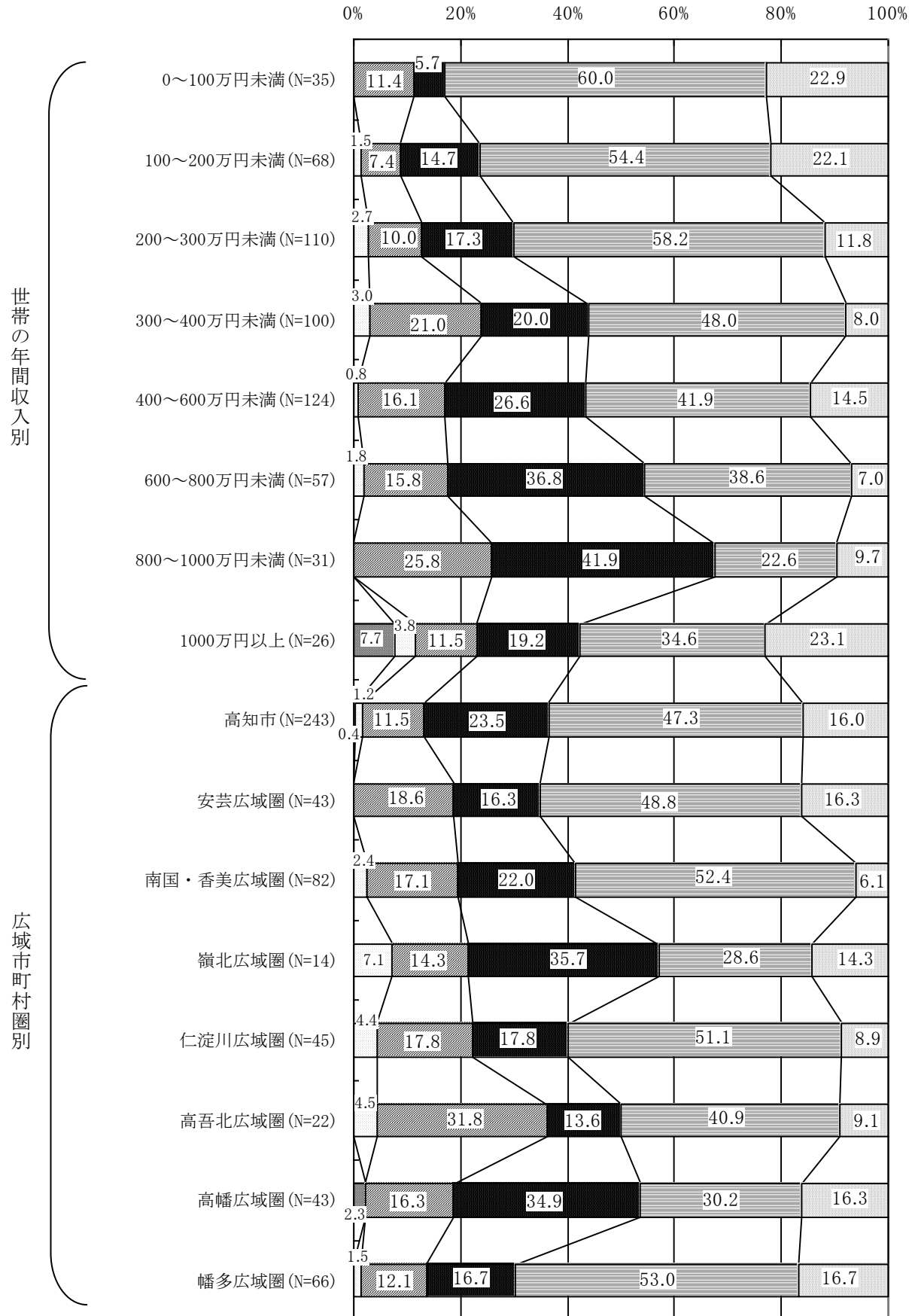
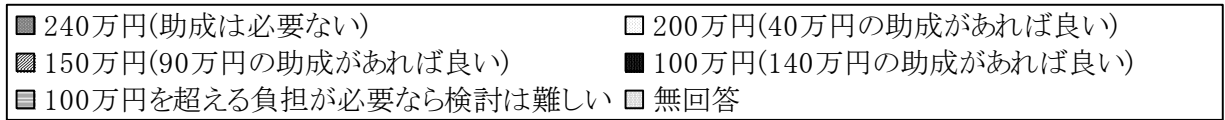
嶺北広域圏、高幡広域圏を除くすべての地域で『100 万円を超えるなら難しい』の割合が最も高く、嶺北広域圏、高幡広域圏では『100 万円』の割合が最も高い。また、高吾北広域圏では『150 万円』の割合が 31.8%と他の地域に比べて高くなっている。

《 性別・年代別・職業別 》

- 240万円(助成は必要ない)      □ 200万円(40万円の助成があれば良い)
- 150万円(90万円の助成があれば良い)      ■ 100万円(140万円の助成があれば良い)
- 100万円を超える負担が必要なら検討は難しい      □ 無回答



《 世帯の年間収入別・広域市町村圏別 》



【問 34 副問 1×問 34 副問 2 のクロス分析】

【問 34 副問 1 どのような条件が整えば太陽光発電設備を設置してもよいと思うか】の各選択肢を選んだ人が本問にどのように回答しているかをみると、問 34 副問 1 で「その他」を除くどの条件を選んだ人も『100 万円を超えるなら難しい』の割合が最も高く、「現在の住宅に簡単に設置できれば」を選んだ人は 68.3%と高い割合になっている。また、『一度に負担する費用が軽くなれば』『全体の価格が安くなれば』と答えた人は、『100 万円』の割合が 20%を超えており、他の条件を選んだ人より高くなっている。

(単位:%)

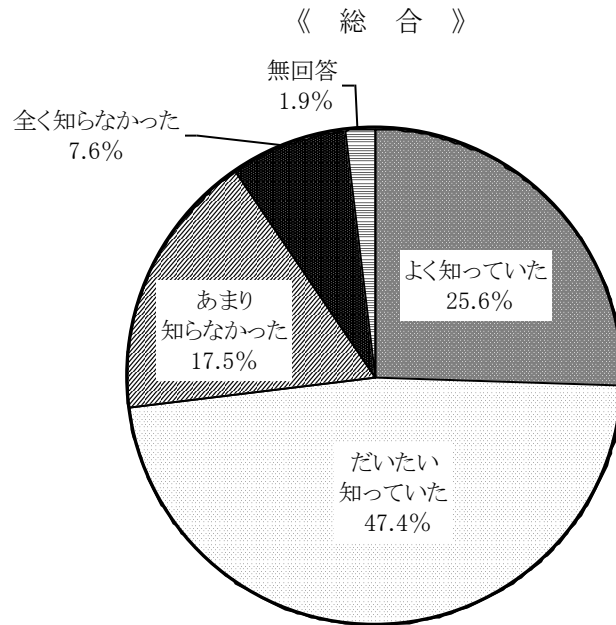
		問 34 副問 2				
		240万円(助成は必要ない)	400万円の助成があれば良い	200万円 (90万円の助成があれば良い)	150万円 (140万円の助成があれば良い)	100万円 (100万円の助成があれば良い)
問 34 副問 1	発電設備の全体の価格が安くなれば(助成制度が充実すれば)	0.3	1.0	15.7	23.5	44.9
	全体の価格が安くならなくても、リースや分割払いなどにより一度に負担する費用が軽くなれば	0.0	1.8	9.1	29.1	43.6
	現在の住宅に簡単に設置できれば	0.0	3.3	11.7	15.0	68.3
	発電設備に関する信頼できる情報が入手しやすくなれば	0.0	9.1	9.1	9.1	45.5
	その他	5.9	5.9	23.5	17.6	17.6

## 〔5〕森林環境税について

問 35 森林は、①土壌に水を蓄え、②山の崩壊を防止し、③二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に役立つなどの「公益的機能」を持っていますが、近年、間伐などの手入れが不足し、これらの機能の低下を招いています。こうした状況をご存知でしたか。(1つだけ○印)

森林の「公益的機能」が低下していることを知っているかどうかについては、「だいたい知っていた」が 47.4%と半数近くを占め、次いで「よく知っていた」が 25.6%、「あまり知らなかった」が 17.5%、「全く知らなかった」が 7.6%の順に高くなっている。

『知っていた』(=「だいたい知っていた」+「よく知っていた」)は、73.0%と約4分の3を占めている。



### 【性別】

男女とも「だいたい知っていた」の割合が最も高い。男性は、『知っていた』が 78.8%で、女性の 68.3%に比べ 10.5 ポイント高くなっており、男女で認知度に差が見られる。

### 【年代別】

いずれの年代も「だいたい知っていた」の割合が最も高い。年齢が高くなるほど『知っていた』の割合が高くなる傾向が見られる。「全く知らなかった」は、30 歳代で 14.5%、20 歳代で 19.2%と低い年代になるほど割合が高くなる傾向が見られる。

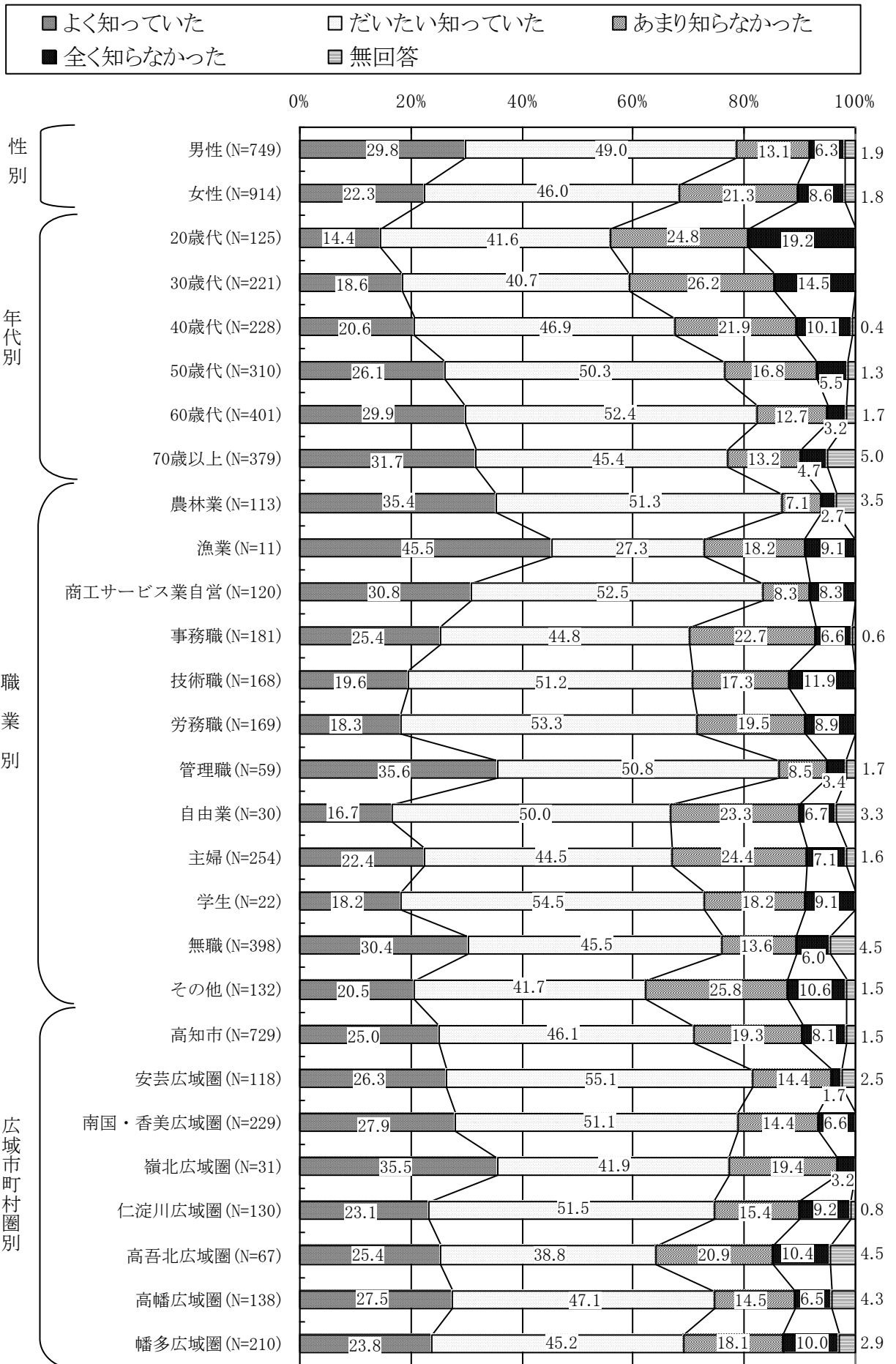
### 【職業別】

農林業、商工サービス業自営、管理職で『知っていた』が 8 割を超えている一方、自由業、主婦、その他では 6 割程度と他の職業区分に比べて低くなっている。漁業は『知っていた』は 72.8%で《総合》と同様の割合であるが、その内訳を見ると「よく知っていた」が 45.5%と他の職業区分に比べ高くなっている。

### 【広域市町村圏別】

安芸広域圏、南国・香美広域圏で『知っていた』が 8 割程度と他の地域に比べ高くなっている。嶺北広域圏は「よく知っていた」が 35.5%と他の地域に比べて高く、高吾北広域圏は「あまり知らなかった」の割合が高くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

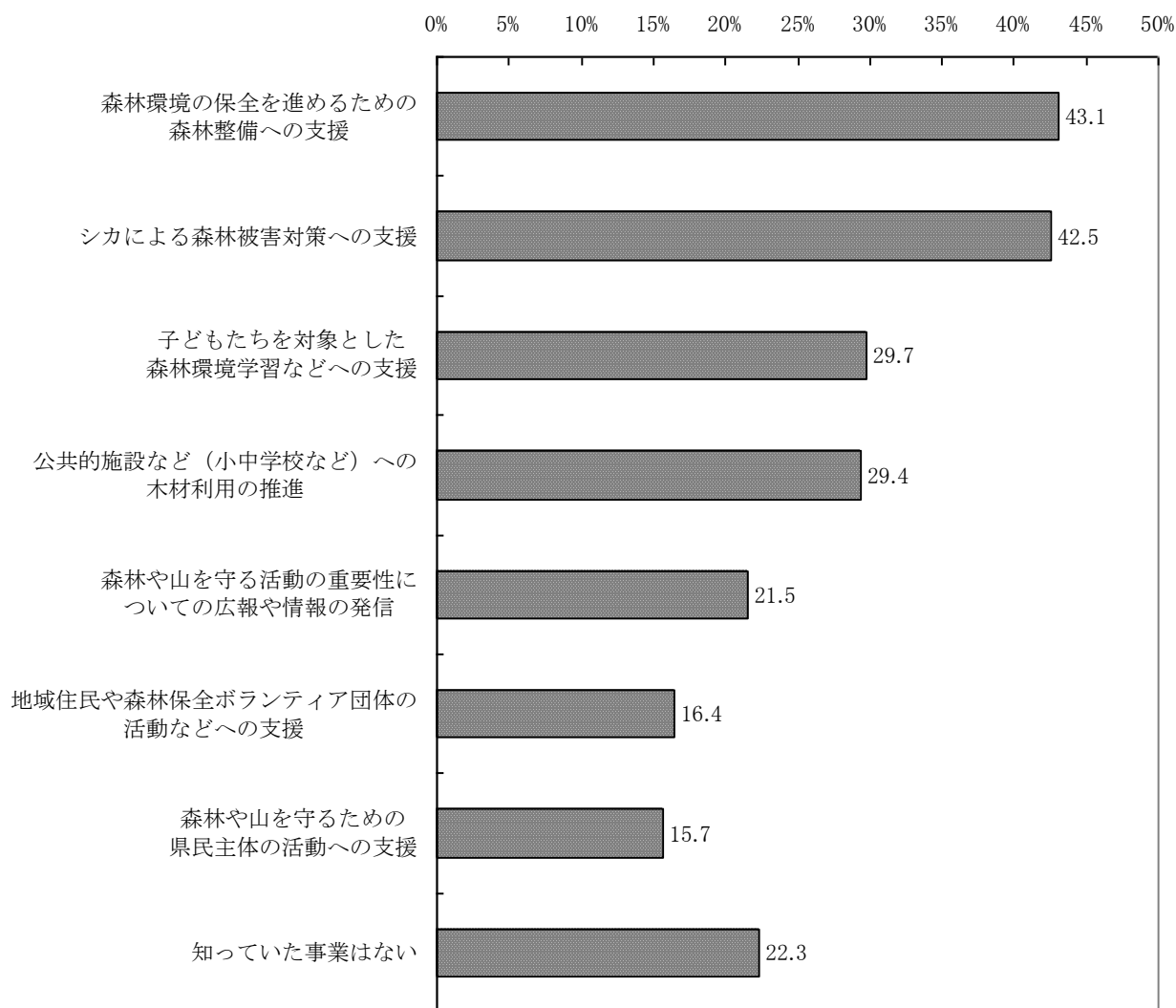


**問 36 森林の公益的機能を守るため、森林環境税を活用し、次のような取り組みを進めています。この調査以前に、知っていた事業はありますか。(当てはまるものすべてに○印)**

今回の調査以前に知っていた、森林環境税を活用した取り組みについては、「森林環境の保全を進めるための森林整備への支援」が43.1%、「シカによる森林被害対策への支援」が42.5%となっている。次いで「子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援」が29.7%、「公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進」が29.4%、「森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信」が21.5%と続いている。

一方で、「知っていた事業はない」が22.3%となっている。

《 総 合 》



**【性別】**

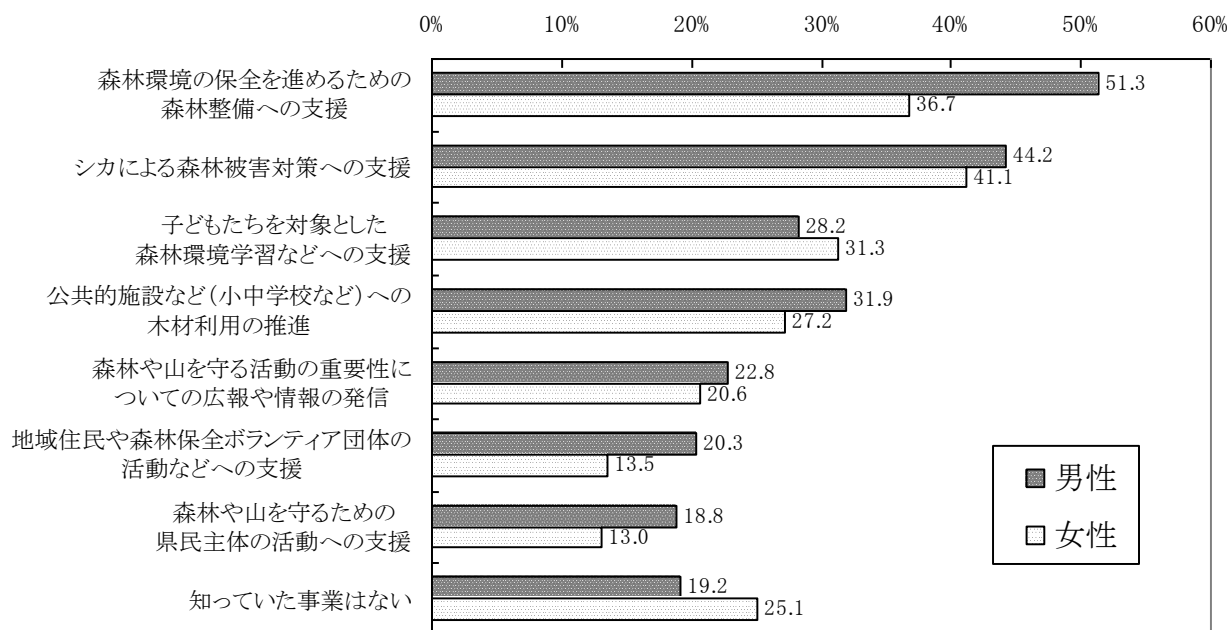
男性は「森林環境の保全を進めるための森林整備への支援」が51.3%と最も高くなっており、女性の36.7%より14.6ポイント高くなっている。女性は「シカによる森林被害対策への支援」が41.1%で最も高くなっている。

「子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援」を除き、すべての項目で男性の比率が女性より高くなっている。また、「知っていた事業はない」は女性の比率が男性より5.9ポイント高くなっている。

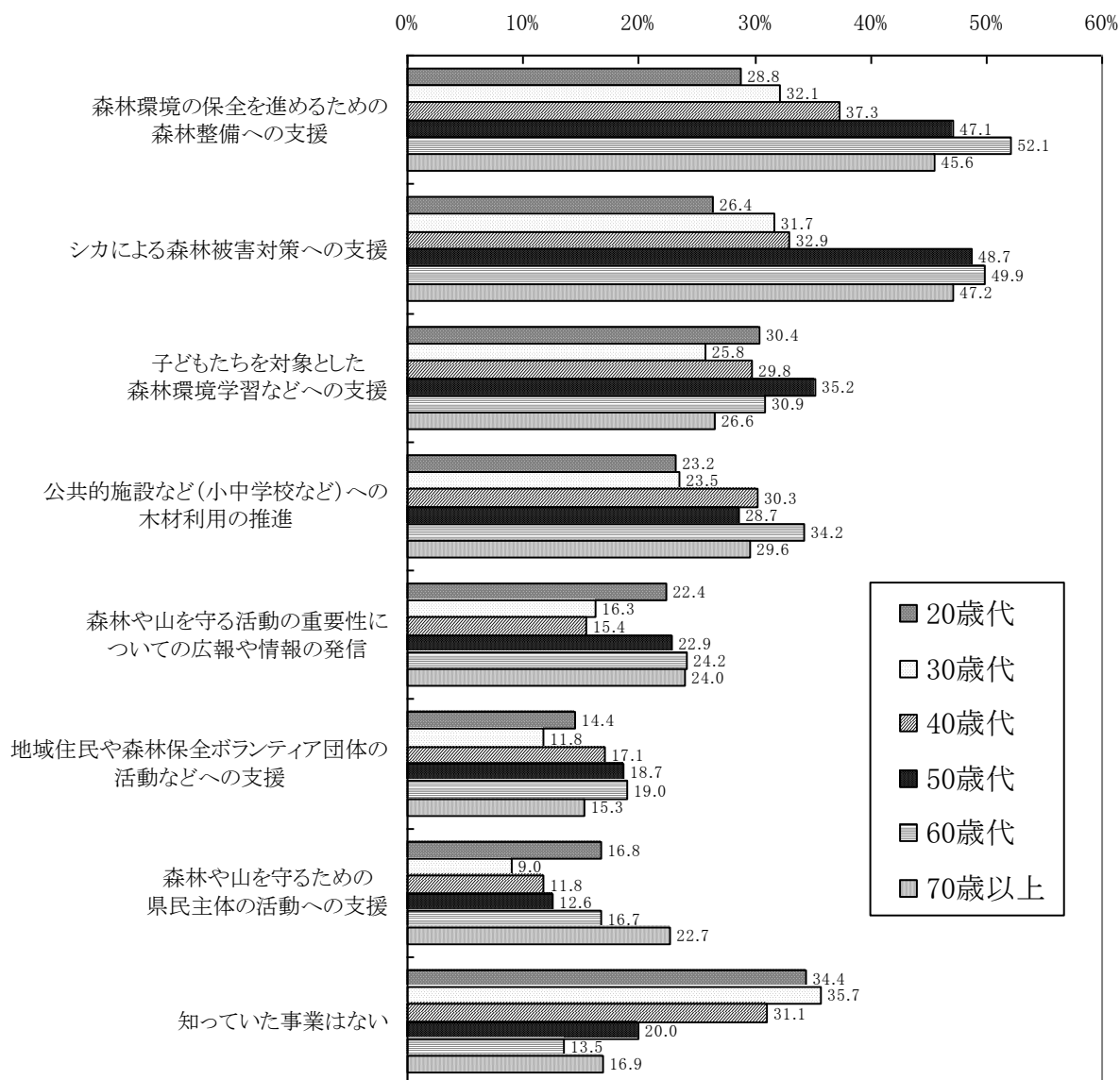
**【年代別】**

40歳以上では、《総合》の上位2項目のいずれかが最も高くなっている。一方で20歳代、30歳代は「知っていた事業はない」の比率が最も高くなっており、低い年代の認知度が低くなっている。

《 性別 》



《 年代別 》





【職業別】

すべての職業区分で《総合》の上位2項目のいずれかが最も高くなっている（漁業は、《総合》の1位、2位、4位がすべて同率で1位）。管理職、自由業では「森林環境の保全を進めるための森林整備への支援」の比率が60%以上と高く、農林業では「シカによる森林被害対策への支援」が55.8%と他の職業区分と比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

すべての地域で《総合》の上位2項目のいずれかが最も高くなっている。嶺北広域圏では、1位の「シカによる森林被害対策への支援」が58.1%、2位の「森林環境の保全を進めるための森林整備への支援」が54.8%と、どちらも他の地域に比べて高い割合になっており、南国・香美広域圏でも「シカによる森林被害対策への支援」が57.2%と嶺北広域圏と同様に高い。

《 職業別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

項 目 属 性		森林環境の保全を進めるための森林整備への支援	シカによる森林被害対策への支援	子どもたちを対象とした森林環境学習などの支援	公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進	森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信	地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援	森林や山を守るための県民主体の活動への支援	知っていた事業はない
職業別	農林業	54.0	55.8	34.5	38.1	31.0	24.8	20.4	10.6
	漁業	36.4	36.4	18.2	36.4	18.2	18.2	18.2	27.3
	商工サービス業自営	48.3	47.5	34.2	30.0	24.2	17.5	15.0	16.7
	事務職	47.5	43.1	27.6	29.8	18.2	16.6	13.3	25.4
	技術職	39.9	38.7	38.1	30.4	22.6	19.0	15.5	25.6
	労務職	40.8	40.2	30.8	29.0	18.9	14.2	9.5	23.1
	管理職	62.7	40.7	37.3	40.7	27.1	25.4	18.6	20.3
	自由業	60.0	26.7	20.0	30.0	16.7	23.3	13.3	13.3
	主婦	34.3	39.0	29.9	26.4	18.5	10.2	13.8	27.2
	学生	40.9	22.7	36.4	31.8	31.8	27.3	31.8	18.2
	無職	45.2	45.5	23.6	27.6	24.4	16.3	19.6	20.6
	その他	32.6	40.9	31.8	26.5	14.4	14.4	12.1	28.0
広域市町村圏別	高知市	41.6	37.2	28.7	28.5	21.1	18.0	16.2	25.2
	安芸広域圏	45.8	44.9	28.8	27.1	20.3	13.6	14.4	20.3
	南国・香美広域圏	48.9	57.2	36.2	34.1	24.9	21.0	14.0	17.5
	嶺北広域圏	54.8	58.1	35.5	32.3	25.8	9.7	22.6	16.1
	仁淀川広域圏	43.1	38.5	32.3	33.8	26.9	17.7	20.8	20.0
	高吾北広域圏	43.3	41.8	23.9	25.4	22.4	10.4	17.9	26.9
	幡多広域圏	37.6	41.9	26.2	26.2	17.6	10.5	11.9	24.3

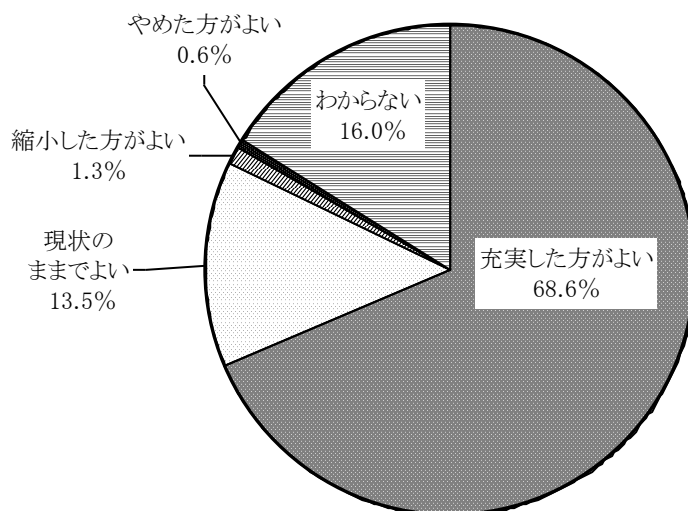
問 37 また、それぞれの事業に関して、今後どう取り組んでいくべきか、あなたの意見を聞かせてください。(1つだけ○印)

問 36 の各事業に関して、今後どう取り組んでいくべきかについては、以下のとおりとなっている。

### 【1. 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援】

「充実した方がよい」が 68.6%で最も高く、次いで「わからない」が 16.0%、「現状のままでよい」が 13.5%、「縮小した方がよい」が 1.3%、「やめた方がよい」が 0.6%となっている。

《 総 合 》



#### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が 70%近くを占めている。女性は「わからない」が 17.3%で男性の 13.4%より 3.9 ポイント高くなっている。

#### 【年代別】

いずれの年代も「充実した方がよい」の割合が最も高い。70 歳以上で「わからない」の比率が 26.9%と高くなっている。

#### 【職業別】

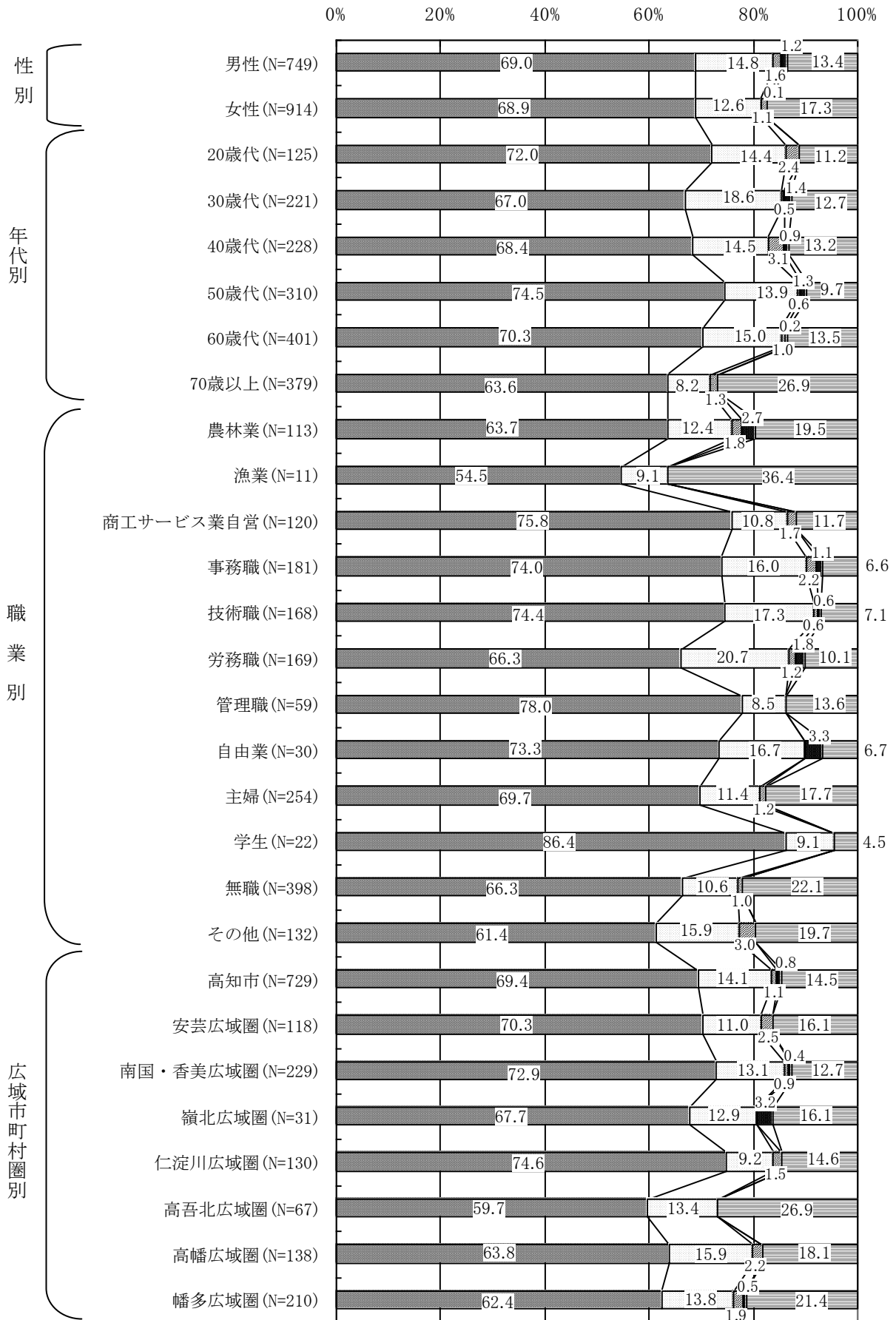
いずれの職業も「充実した方がよい」の割合が最も高く、学生は 86.4%と特に高い割合を占めている。漁業で「わからない」の割合が 36.4%と他の職業区分に比べて高くなっている。

#### 【広域市町村圏別】

いずれの地域でも「充実した方がよい」の割合が最も高く、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏で7割を超えて高くなっている。高吾北広域圏は「わからない」が 26.9%と他の地域に比べて高くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

■ 充実した方がよい □ 現状のままでよい ▨ 縮小した方がよい  
 ■ やめた方がよい □ わからない

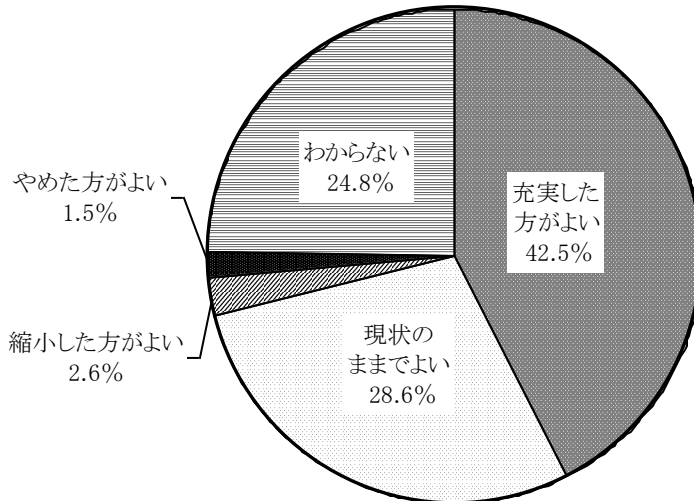


## 【2. シカによる森林被害対策への支援】

「充実した方がよい」が42.5%で最も高く、次いで「現状のままでよい」が28.6%、「わからない」が24.8%、「縮小した方がよい」が2.6%、「やめた方がよい」が1.5%となっている。

「わからない」の割合が4分の1近くを占めている。

《 総 合 》



### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が最も高く、「わからない」は女性が26.9%で男性の21.8%より5.1ポイント高くなっている。

### 【年代別】

30歳代を除くすべての年代で「充実した方がよい」の割合が最も高く、20歳代は「現状のままでよい」も31.2%で同じ割合となっている。50歳代、60歳代では「充実した方がよい」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

30歳代は「現状のままでよい」の割合が41.6%で最も高い。70歳以上は「わからない」が31.9%で他の年代に比べて高くなっている。

### 【職業別】

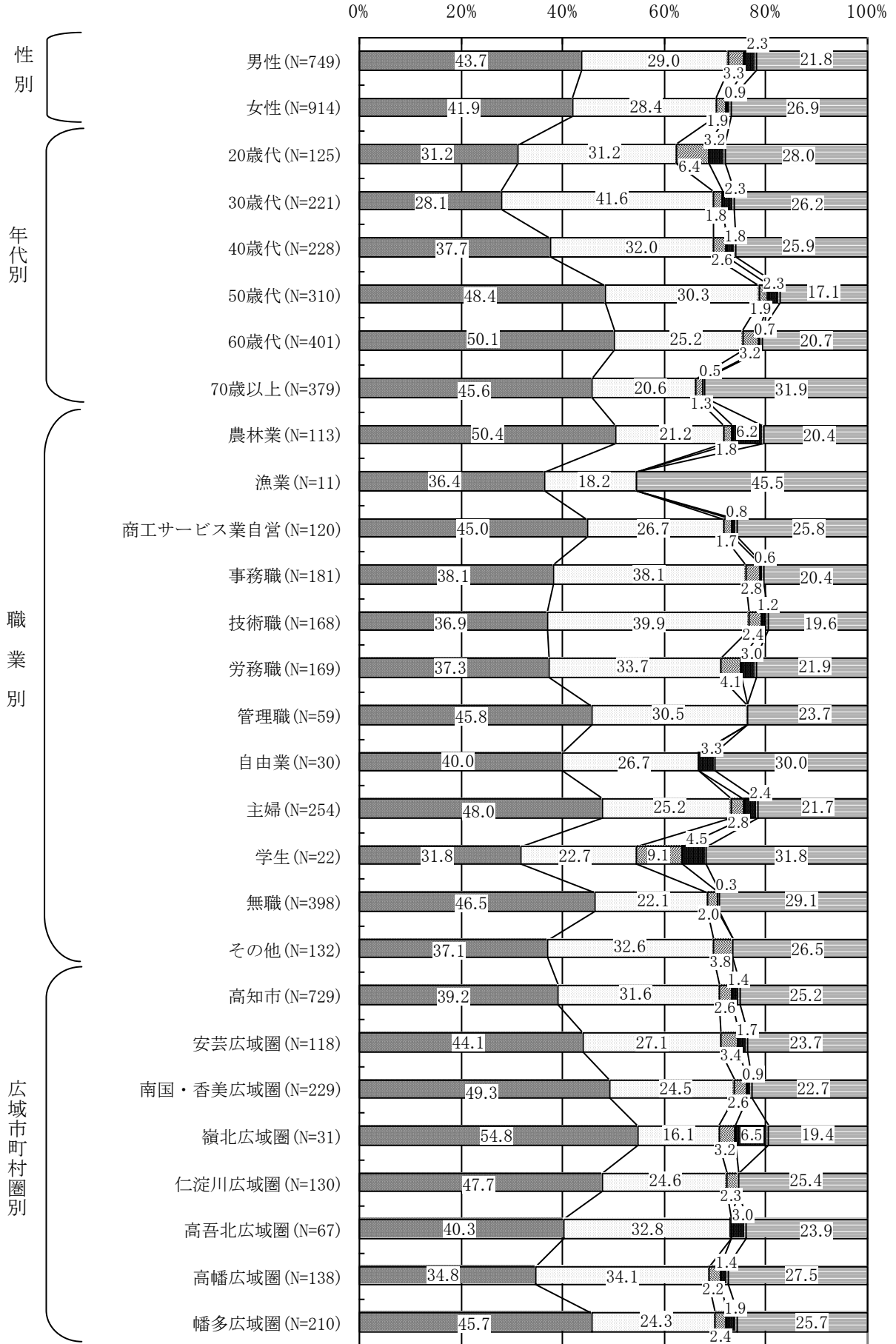
漁業、技術職を除くすべての職業区分で「充実した方がよい」の割合が最も高く（同率含む）、中でも農林業、主婦が約半数の割合となっている。技術職は「現状のままでよい」が39.9%で最も高く、漁業は「わからない」が45.5%で最も高く、学生は「充実した方がよい」、「わからない」が同率で1位となっている。

### 【広域市町村圏別】

いずれの地域でも「充実した方がよい」の割合が最も高く、中でも嶺北広域圏は54.8%と過半数に達している。高幡広域圏は「充実した方がよい」が34.8%、「現状のままでよい」が34.1%とほとんど割合に差がない。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》

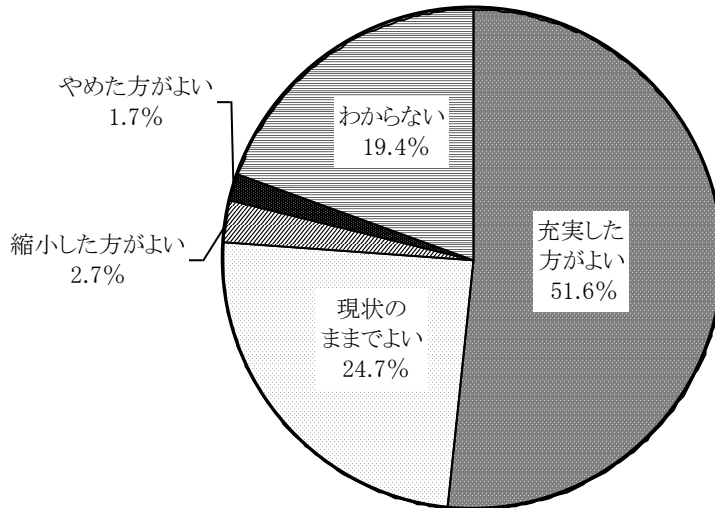
■ 充実した方がよい □ 現状のままでよい ▨ 縮小した方がよい  
 ■ やめた方がよい □ わからない



### 【3. 公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進】

「充実した方がよい」が51.6%で過半数を占め、次いで「現状のままでよい」が24.7%、「わからない」が19.4%、「縮小した方がよい」が2.7%、「やめた方がよい」が1.7%となっている。

《 総 合 》



#### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が最も高く、女性は「充実した方がよい」が54.0%と男性の49.0%より5ポイント高い。「現状のままでよい」は男性が27.5%で女性の22.6%より4.9ポイント高くなっている。

#### 【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「充実した方がよい」の割合が過半数を占めている。70歳以上は「わからない」の割合が33.5%と他の年代に比べて高い。

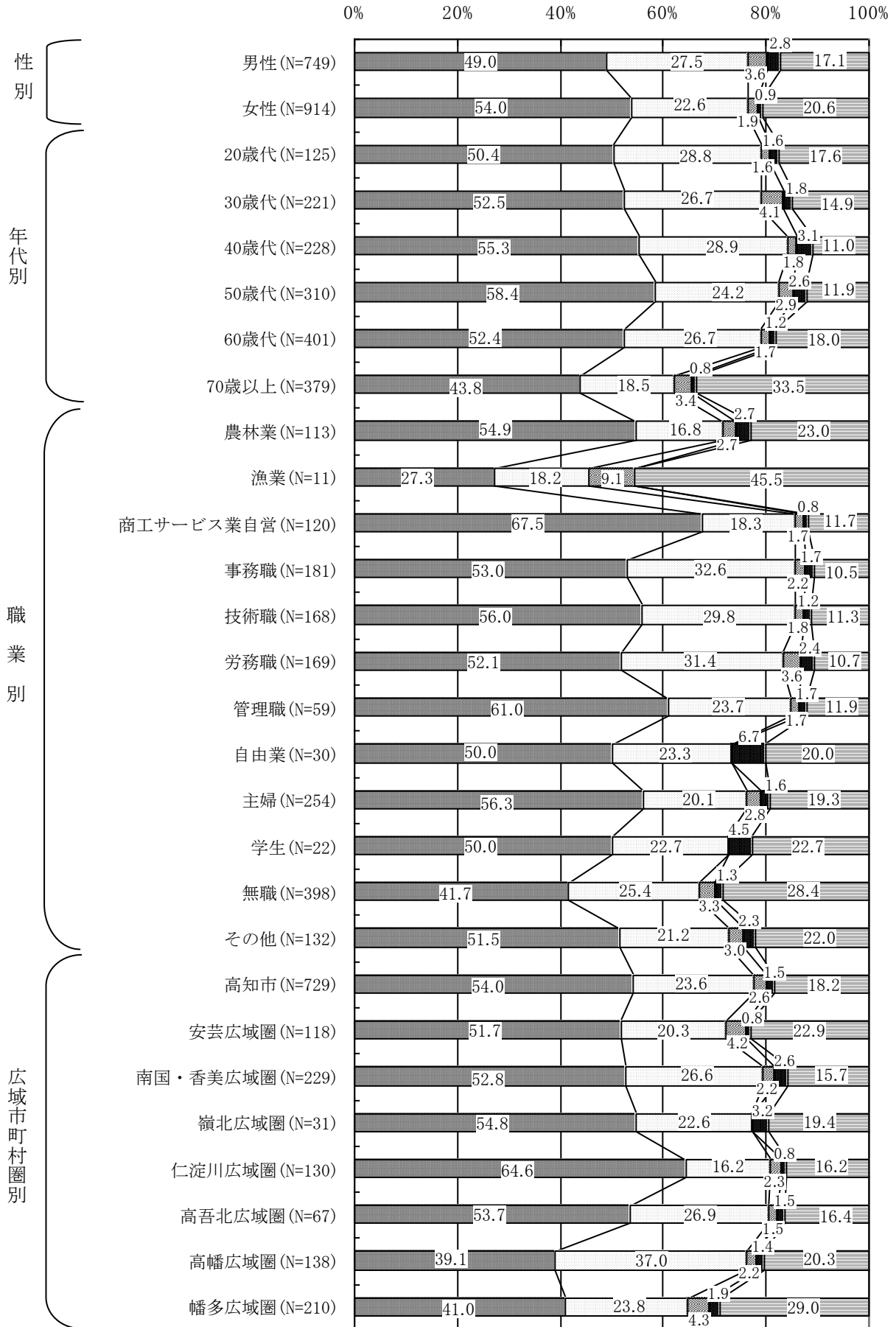
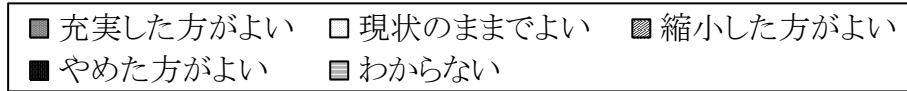
#### 【職業別】

漁業を除くすべての職業区分で「充実した方がよい」の割合が最も高く、特に管理職、商工サービス業自営では60%を超えて高い割合を占めている。漁業は「わからない」の割合が45.5%で最も高くなっている。

#### 【広域市町村圏別】

いずれの地域でも「充実した方がよい」の割合が最も高く、仁淀川広域圏では64.6%と他の地域に比べて高く、高幡広域圏、幡多広域圏では40%程度となっている。高幡広域圏は「現状のままでよい」が37.0%、幡多広域圏は「わからない」の割合が29.0%と他の地域に比べて高くなっている。

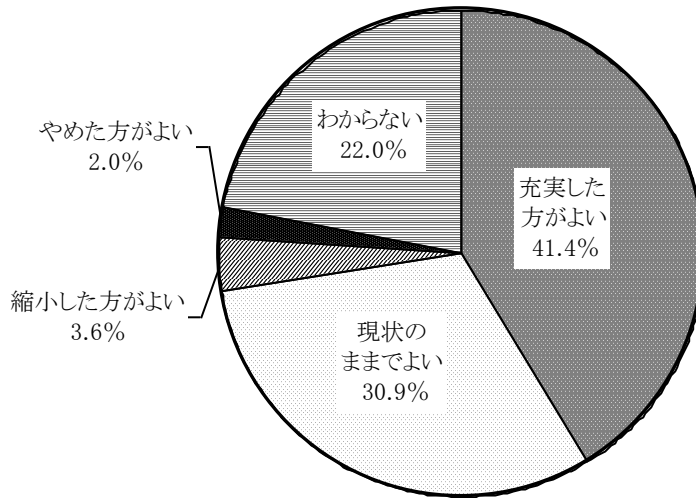
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



#### 【4. 森林や山を守るための県民主体の活動への支援】

「充実した方がよい」が41.4%で最も高く、次いで「現状のままでよい」が30.9%、「わからない」が22.0%、「縮小した方がよい」が3.6%、「やめた方がよい」が2.0%となっている。

《 総 合 》



##### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が最も高く、女性が43.4%で男性の39.4%より4ポイント高い。「現状のままでよい」は男性が33.6%で女性の29.0%より4.6ポイント高く、「わからない」は女性が24.2%で男性の18.6%より5.6ポイント高くなっている。

##### 【年代別】

いずれの年代も「充実した方がよい」の割合が最も高い（同率含む）。また、70歳以上は「わからない」の割合が35.1%と他の年代と比べて高くなっている。

##### 【職業別】

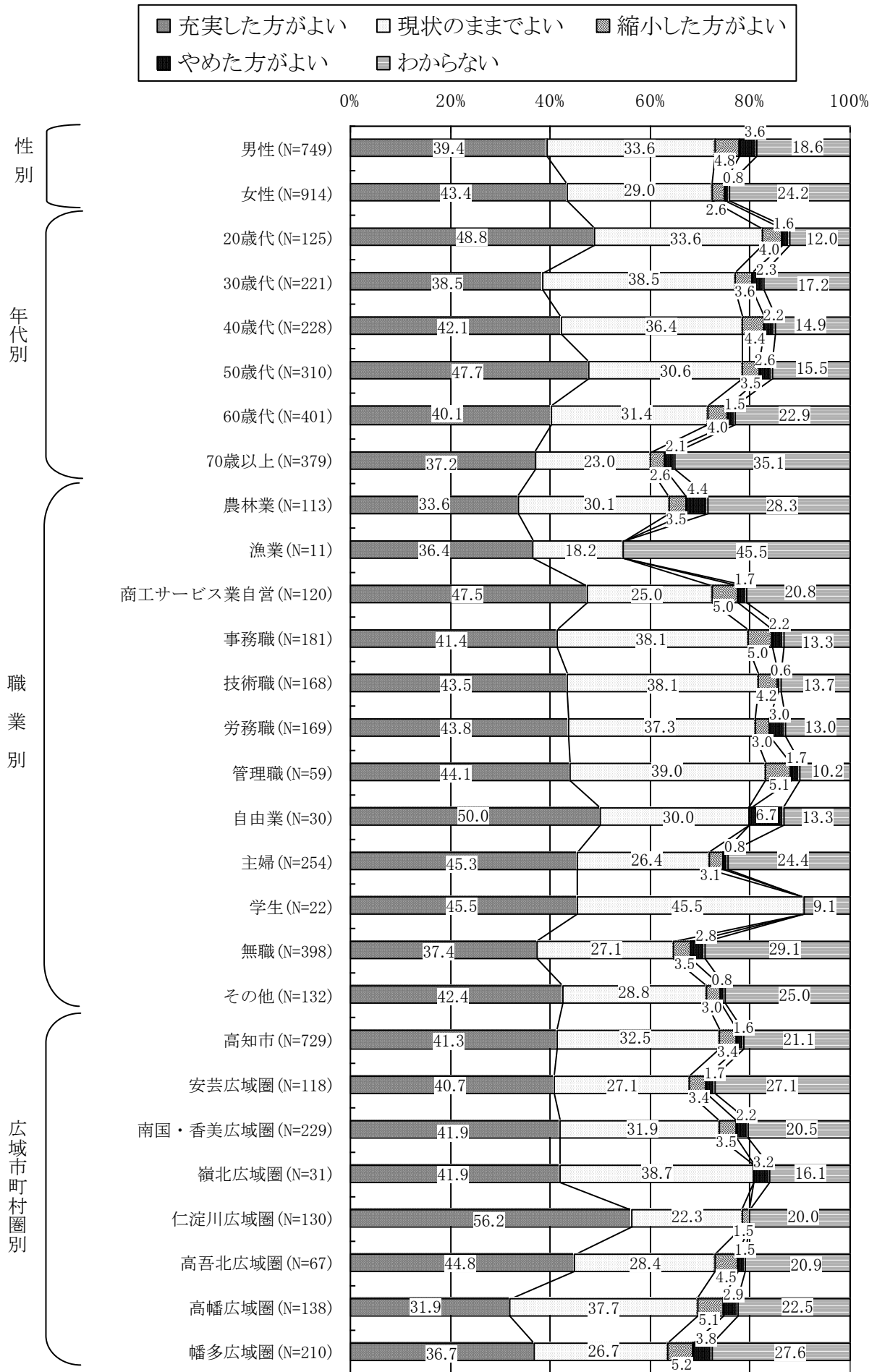
漁業を除くすべての職業区分で「充実した方がよい」の割合が最も高い（同率含む）。漁業は「わからない」が45.5%で最も高くなっている。

##### 【広域市町村圏別】

高幡広域圏を除くすべての地域で「充実した方がよい」が最も高く、中でも仁淀川広域圏の割合が56.2%と特に高くなっている。高幡広域圏は「現状のままでよい」が37.7%と最も高く、安芸広域圏、幡多広域圏は「わからない」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

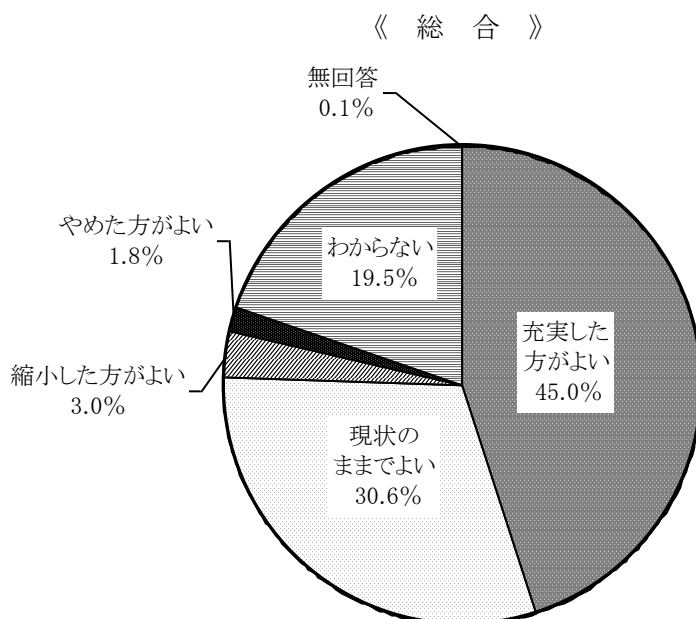


《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



## 【5. 子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援】

「充実した方がよい」が45.0%で最も高く、次いで「現状のままでよい」が30.6%、「わからない」が19.5%、「縮小した方がよい」が3.0%、「やめた方がよい」が1.8%となっている。



### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が最も高く、「わからない」は女性が20.9%で男性の16.8%より4.1ポイント高くなっている。

### 【年代別】

いずれの年代も「充実した方がよい」の割合が最も高く、年齢が低いほど割合が高い傾向が見られる。70歳以上は「わからない」が34.6%で他の年代と比べて高くなっている。

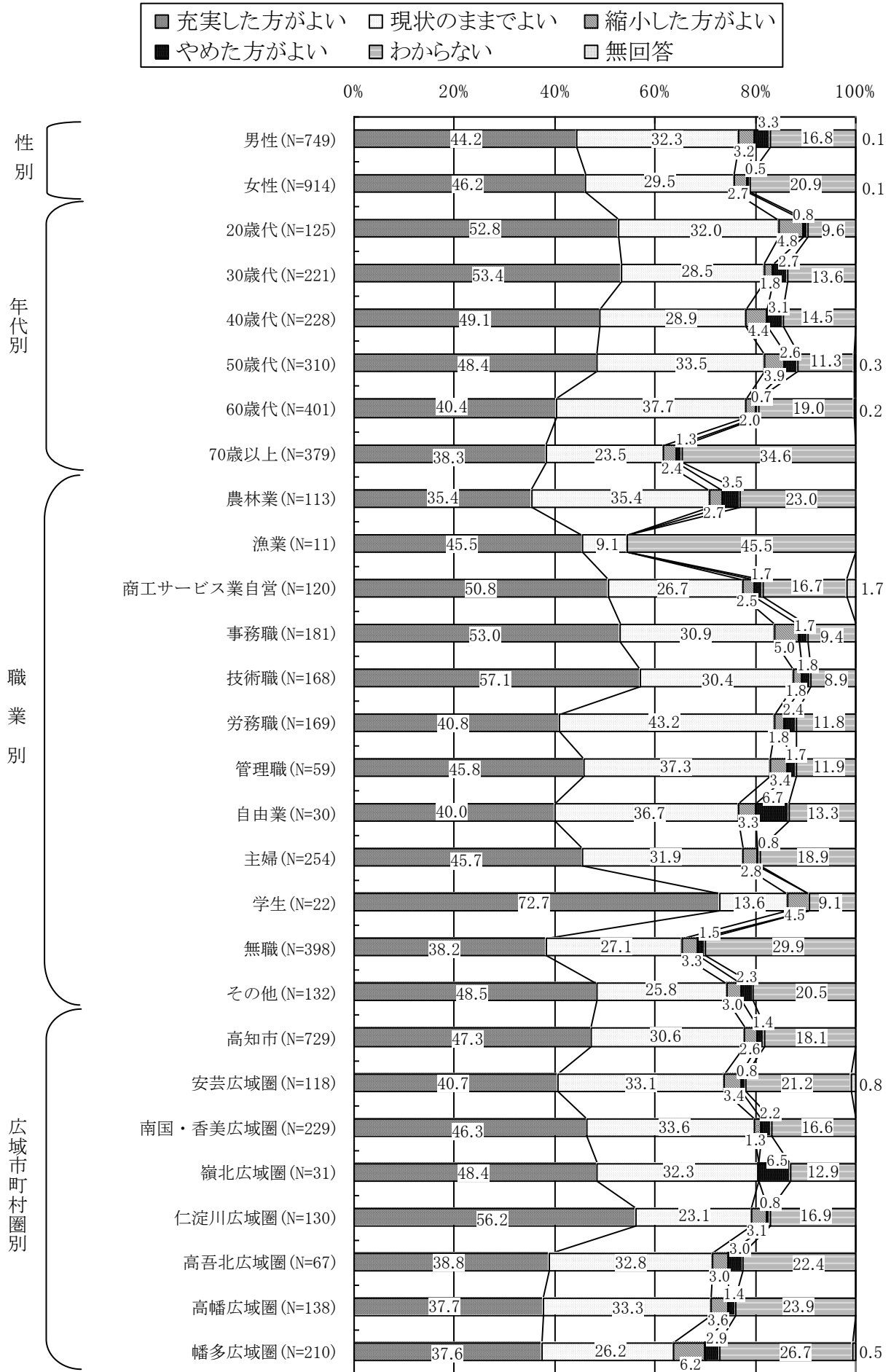
### 【職業別】

労務職を除くすべての職業で「充実した方がよい」の割合が最も高く（同率含む）、中でも学生が72.7%と特に高い割合となっている。漁業は、「充実した方がよい」、「わからない」が同率となっている。労務職は「現状のままでよい」が43.2%で最も高い。

### 【広域市町村圏別】

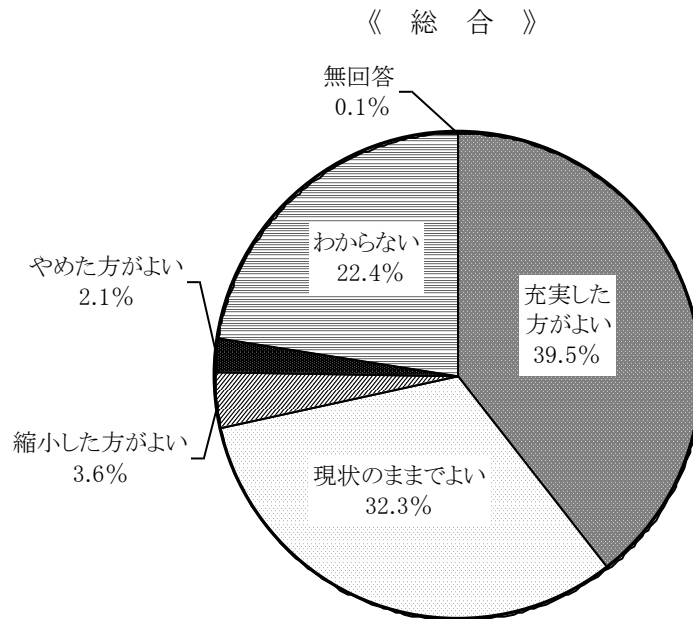
いずれの地域も「充実した方がよい」の割合が最も高く、中でも仁淀川広域圏は56.2%と過半数を占めている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



## 【6. 地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援】

「充実した方がよい」が39.5%で最も高く、次いで「現状のままでよい」が32.3%、「わからない」が22.4%、「縮小した方がよい」が3.6%、「やめた方がよい」が2.1%となっている。



### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が最も高くなっている。「わからない」は女性が24.0%で男性の19.8%より4.2ポイント高くなっている。

### 【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「充実した方がよい」の割合が最も高い。70歳以上は「わからない」が35.9%で最も高くなっている。

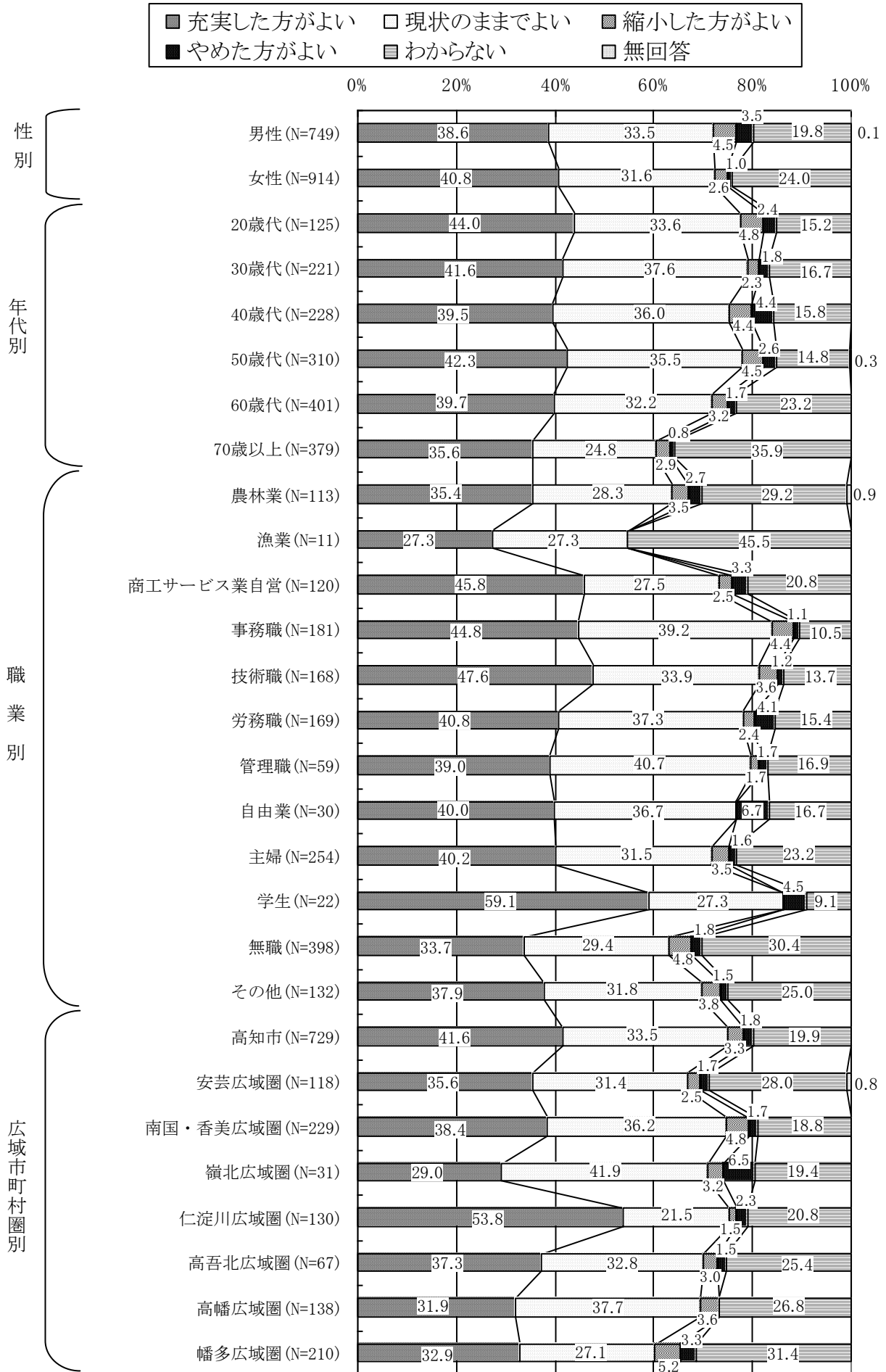
### 【職業別】

漁業、管理職を除くすべての職業区分で「充実した方がよい」が最も高く、中でも学生は59.1%と過半数を占めている。管理職は「現状のままでよい」が40.7%と最も高く、漁業は「わからない」が45.5%と最も高くなっている。

### 【広域市町村圏別】

嶺北広域圏、高幡広域圏を除くすべての地域で「充実した方がよい」の割合が最も高く、中でも仁淀川広域圏は53.8%と過半数を占めている。嶺北広域圏、高幡広域圏は「現状のままでよい」が最も高くなっている。

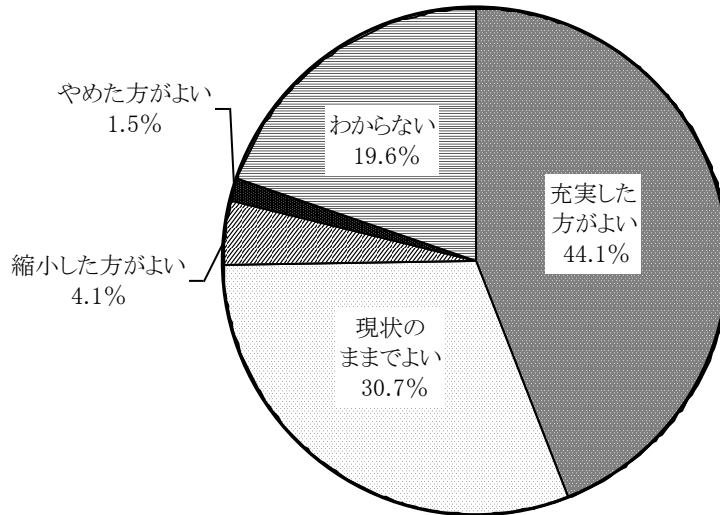
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



## 【7. 森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信】

「充実した方がよい」が44.1%で最も高く、次いで「現状のままでよい」が30.7%、「わからない」が19.6%、「縮小した方がよい」が4.1%、「やめた方がよい」が1.5%となっている。

《 総合 》



### 【性別】

男女とも「充実した方がよい」の割合が最も高くなっている。「わからない」は女性が21.0%で男性の17.1%より3.9ポイント高くなっている。

### 【年代別】

いずれの年代も「充実した方がよい」の割合が最も高くなっている。20歳代～60歳代は、《総合》とほぼ同じ割合となっている。70歳以上は「現状のままでよい」が20.8%と他の年代に比べ低く、「わからない」が33.5%と高くなっている。

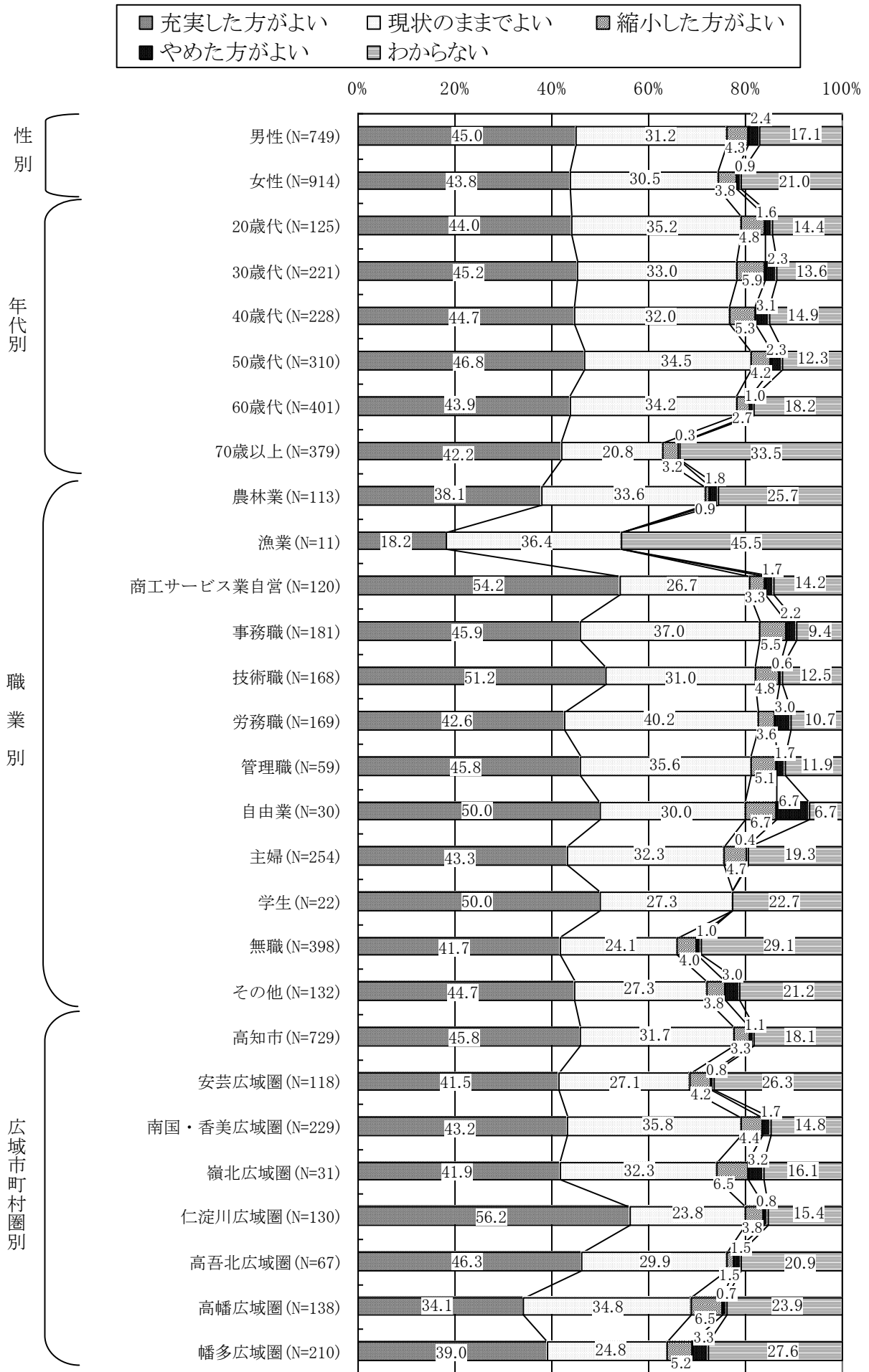
### 【職業別】

漁業を除くすべての職業区分で「充実した方がよい」の割合が最も高く、中でも商工サービス業自営、技術職、自由業、学生は50%以上となっている。漁業は「わからない」が45.5%で最も高くなっている。労務職は「現状のままでよい」が40.2%で他の職業区分と比べて高い。

### 【広域市町村圏別】

高幡広域圏を除くすべての地域で「充実した方がよい」の割合が最も高く、中でも仁淀川広域圏が56.2%と過半数を占めている。高幡広域圏は「現状のままでよい」が34.8%で最も高くなっている。

《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



## 問 37 事業別割合の比較

問 37 で挙げられた【1】～【7】の各事業に対する考えを、総合の割合で比較すると、「充実した方がよい」の割合は、

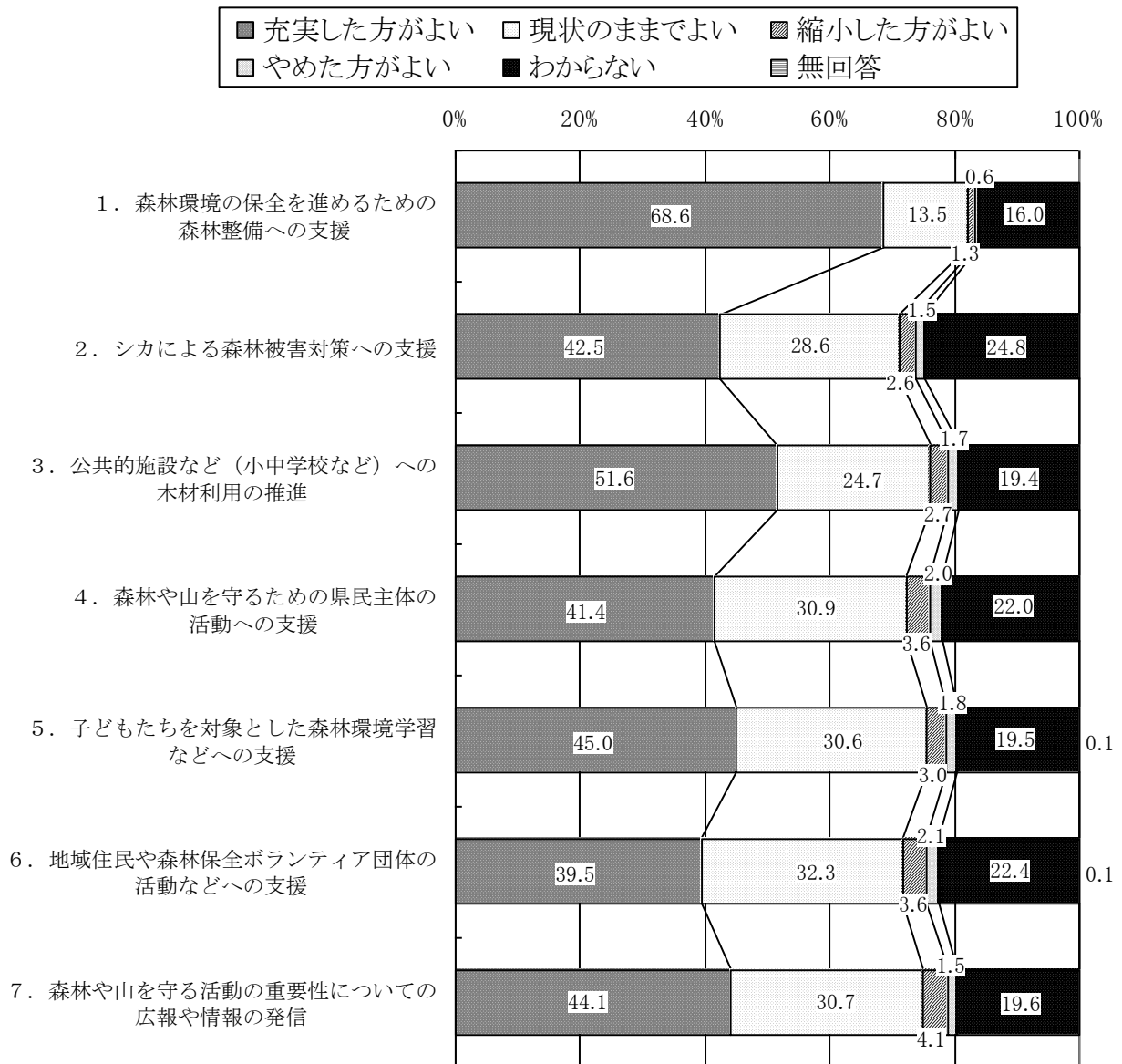
- ①【1. 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援】68.6%
- ②【3. 公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進】51.6%
- ③【5. 子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援】45.0%
- ④【7. 森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信】44.1%
- ⑤【2. シカによる森林被害対策への支援】42.5%
- ⑥【4. 森林や山を守るための県民主体の活動への支援】41.4%
- ⑦【6. 地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援】39.5%

の順になっている。

問 36 で最も認知度の高かった【1. 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援】を充実した方がよいと考えている人が7割近くで、最も高くなっている。また、【3. 公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進】も充実した方がよいと考える人が過半数に達している。

また、「現状のままでよい」は【6. 地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援】が32.3%、「わからない」は【2. シカによる森林被害対策への支援】が24.8%と他の事業に比べて高くなっている。

《事業別割合比較（総合）》

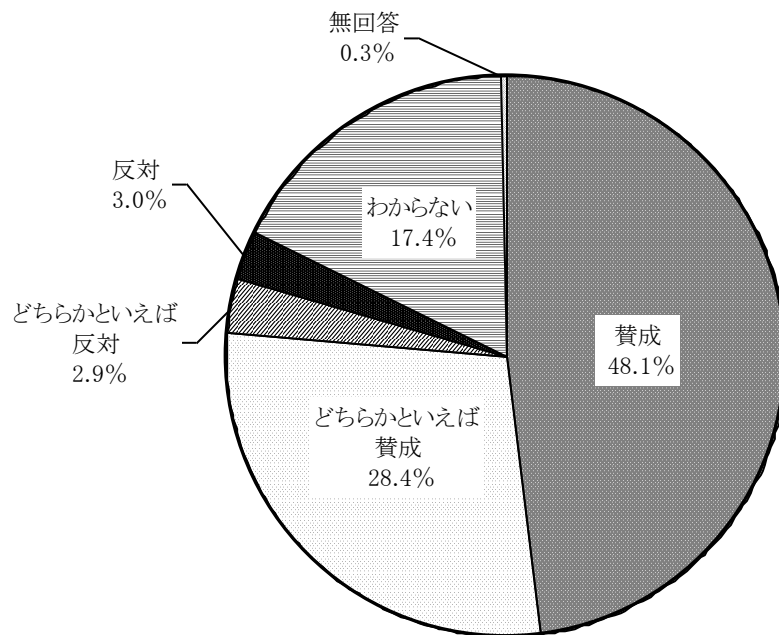




問 38 森林環境税は、年額 500 円のご負担をいただき、問 36 に記載しているような各種取り組みに活用されていますが、その期間は平成 25 年 3 月末で終了します。平成 25 年 4 月以降も引き続き森林環境税の課税期間を 5 年程度延長することについて、どのように考えますか。(1 つだけ○印)

森林環境税の課税期間を平成 25 年 4 月以降も 5 年程度延長することについては、「賛成」が 48.1% と半数近くを占め、「どちらかといえば賛成」が 28.4% で、『賛成意見』(=「賛成」+「どちらかといえば賛成」)の割合が 76.5% と約 4 分の 3 を占めている。これに対し、『反対意見』(=「どちらかといえば反対」+「反対」)は 5.9% にとどまっている。

《 総 合 》



【性別】

男女ともに、「賛成」の割合が最も高くなっている。「わからない」は女性が 19.0% で男性の 15.0% より 4 ポイント高くなっている。

【年代別】

いずれの年代も『賛成意見』が 70% を超えているが、20 歳代、30 歳代は「賛成」の割合がやや低めとなっている。70 歳以上は「わからない」が 23.0% と高めになっている。

【職業別】

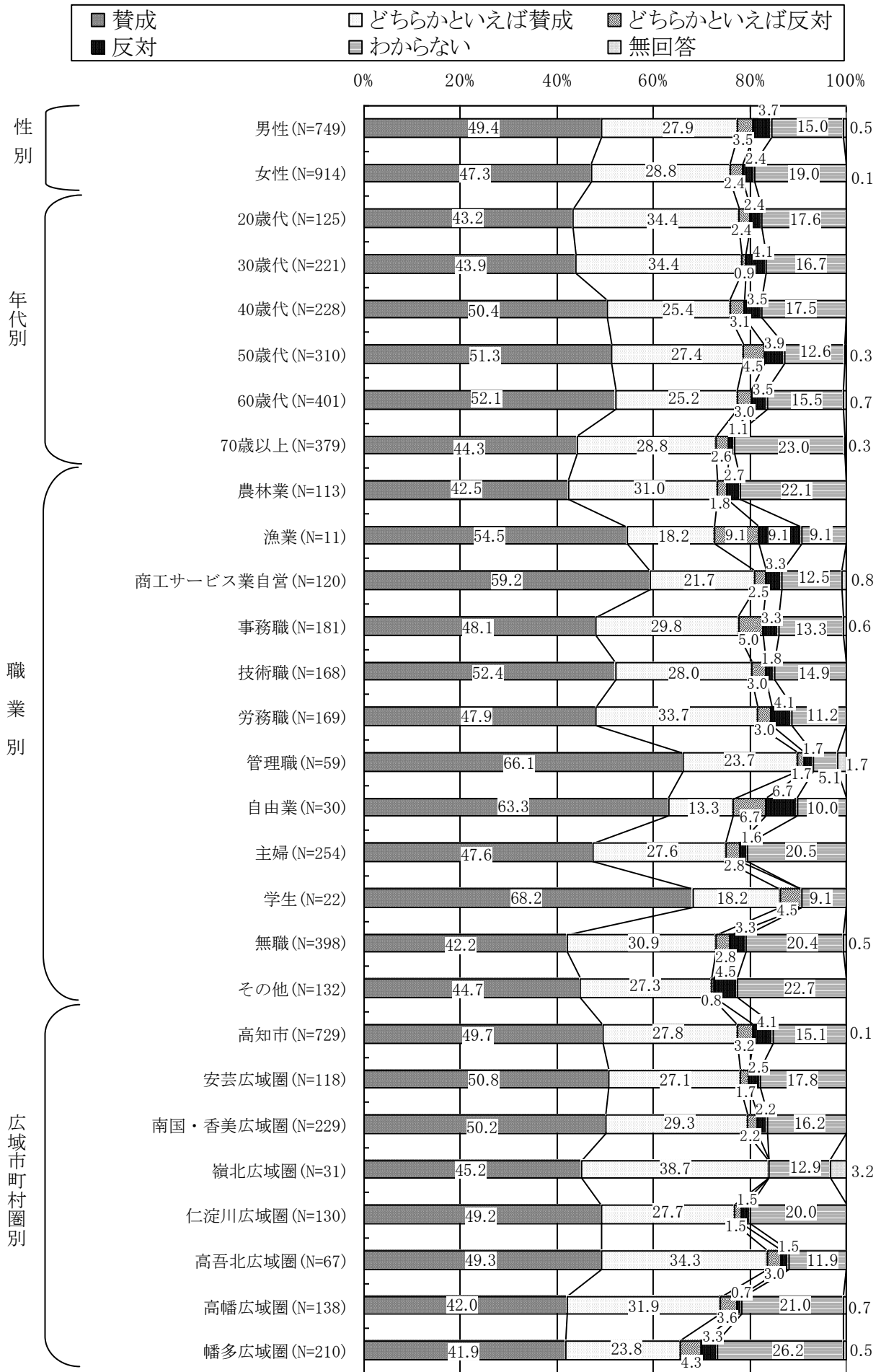
いずれの職業も『賛成意見』は 70% を超えている。管理職、自由業、学生は「賛成」の割合が 60% を超えており、管理職は『賛成意見』が 89.8% と非常に高い割合となっている。

『反対意見』は、漁業で 18.2%、自由業で 13.4% と他の職業区分に比べて高い。

【広域市町村圏別】

幡多広域圏を除くすべての地域で『賛成意見』が 70% を超えている。『賛成意見』の割合は、嶺北広域圏で 83.9%、高吾北広域圏で 83.6% と特に高くなっており、また、幡多広域圏は「わからない」が 26.2% と他の地域に比べて高くなっている。嶺北広域圏では、『反対意見』は 0% である。

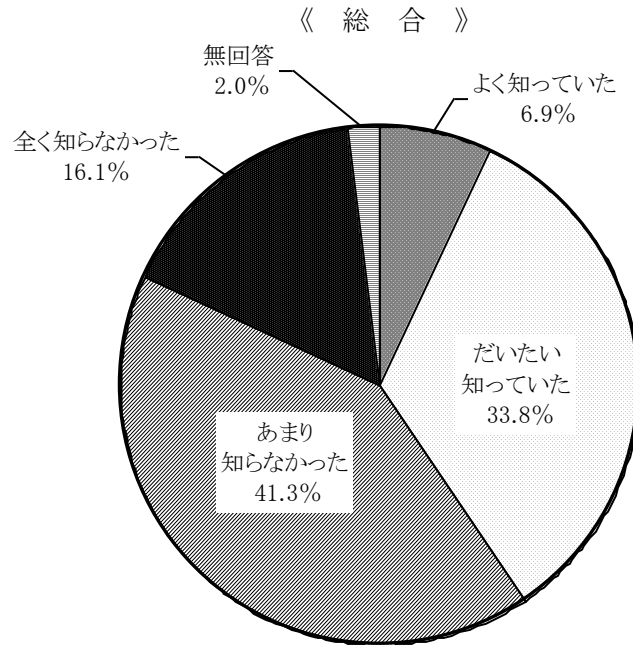
《 性別・年代別・職業別・広域市町村圏別 》



## 〔6〕高知県の教育について

問 39 小・中学生の学力や体力・運動能力について、改善の兆しが見え始めていることを知っていましたか。(1つだけ○印)

小・中学生の学力や体力・運動能力に改善の兆しが見え始めていることについて、「あまり知らなかった」が41.3%と最も高く、『知っていた』(=「よく知っていた」+「だいたい知っていた」)の40.7%に対し、『知らなかった』(=「あまり知らなかった」+「全く知らなかった」)の割合が57.4%となっている。



### 【性別】

割合に男女間の差はあまりなく、ほぼ《総合》と同じである。

### 【年代別】

『知っていた』が40歳代で45.6%、70歳以上で45.9%と他の年代に比べて割合がやや高くなっている。また、「全く知らなかった」は、20歳代の27.2%、30歳代の25.8%に対し70歳以上は9.5%となっており、年齢が高くなるほど割合は低くなっている。

### 【職業別】

管理職は「よく知っていた」が18.6%で、他の職業区分と比べて高くなっている。また、「全く知らなかった」は農林業が8.0%、漁業が9.1%と他の職業区分に比べて低いのに対し、自由業が23.3%、学生が22.7%、その他が22.0%と20%を超えており、学生については「あまり知らなかった」の54.5%と合わせると8割近くの人が『知らなかった』と答えている。

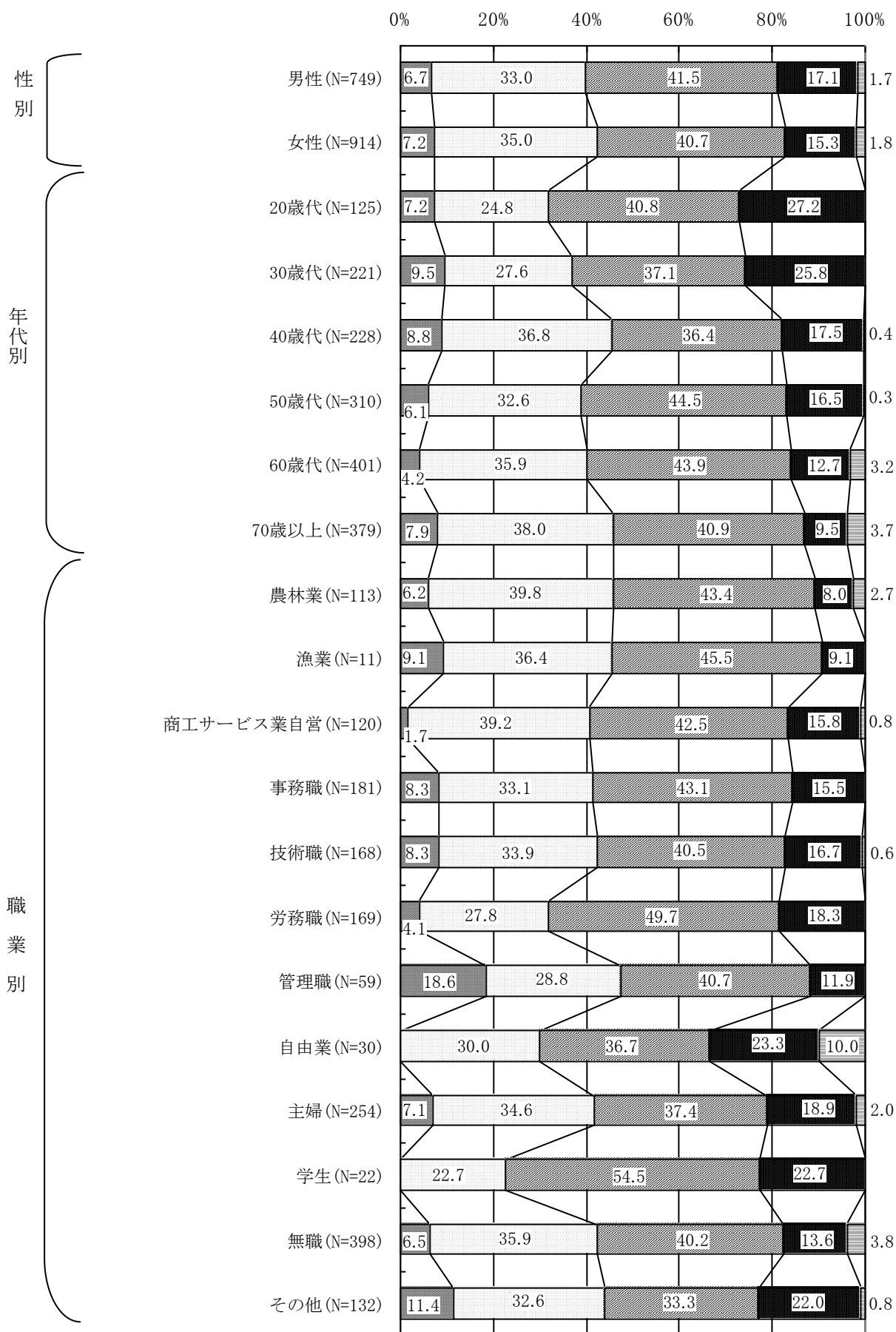
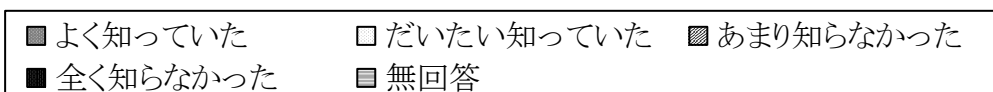
### 【子どもの状況別】

高校生の子どもがいる人で『知っていた』の割合が50.8%と過半数に達しており、次いで中学生の子どもがいる人で49.2%、小学生の子どもがいる人で48.9%と半数近くを占めている。一方、子どものいない人では「全く知らなかった」の割合が24.1%と他の状況の人に比べて高く、「あまり知らなかった」の41.9%と合わせると66.0%の人が『知らなかった』となっている。また、就学前の子どもがいる人も「全く知らなかった」が22.0%とやや高い割合になっている。

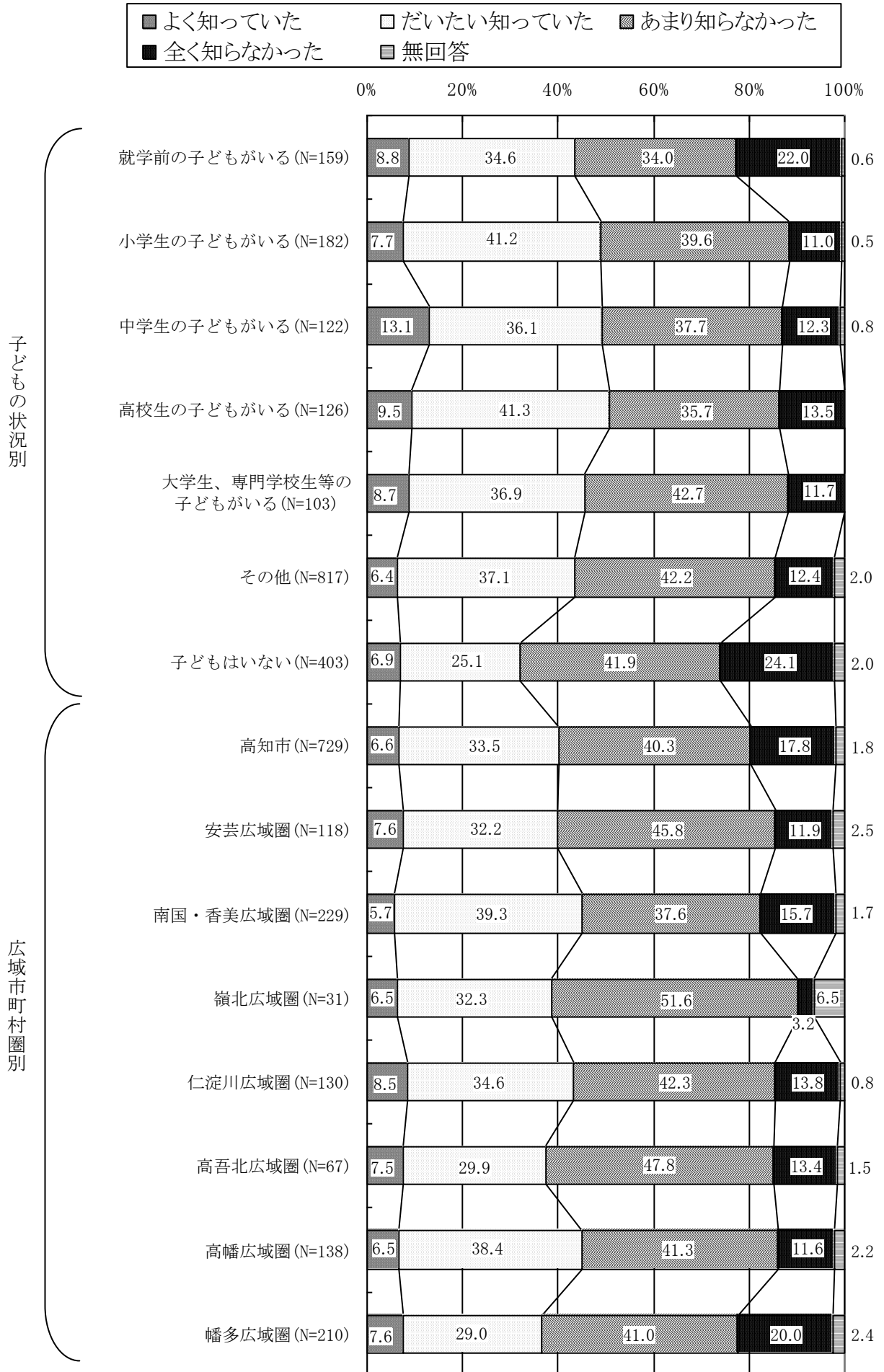
### 【広域市町村圏別】

南国・香美広域圏、高幡広域圏では『知っている』が45%程度で、他の地域に比べて高くなっている。また、高吾北広域圏、幡多広域圏では『知らなかった』が60%を超えており、特に幡多広域圏では「全く知らなかった」が20.0%と他の地域に比べて高くなっている。

《 性別・年代別・職業別 》

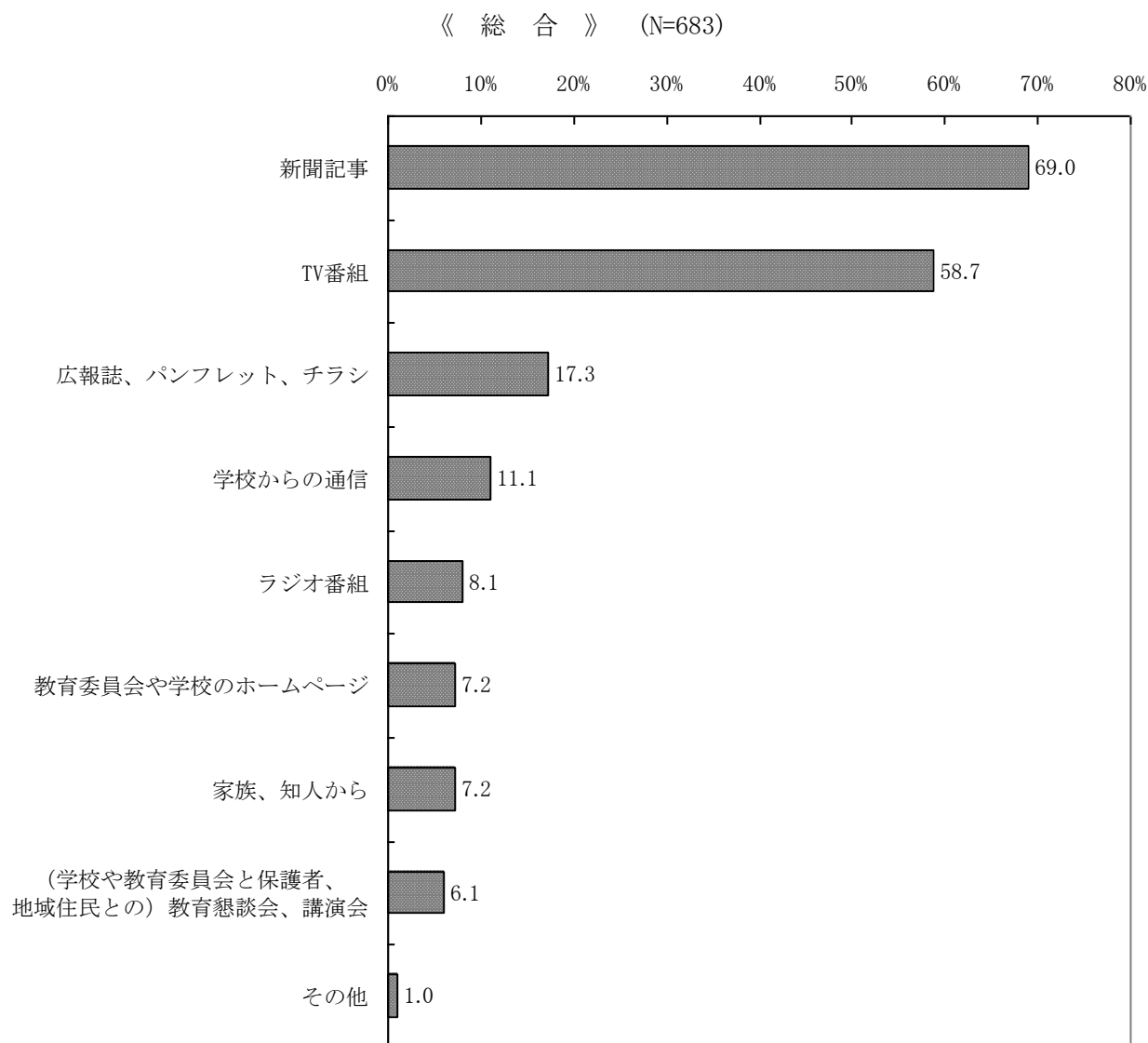


《 子どもの状況別・広域市町村圏別 》



問 39 副問（問 39 で「1」又は「2」を選んだ方のみお答えください。）何を通じて知りましたか。（当てはまるものすべてに○印）

問 39 で『知っていた』と答えた人が、何を通じて知ったかについては、「新聞記事」が 69.0%、「TV番組」が 58.7%と、他の項目と比べて特に高い比率となっている。以下、「広報誌、パンフレット、チラシ」が 17.3%、「学校からの通信」が 11.1%、「ラジオ番組」が 8.1%と低い比率が続いている。



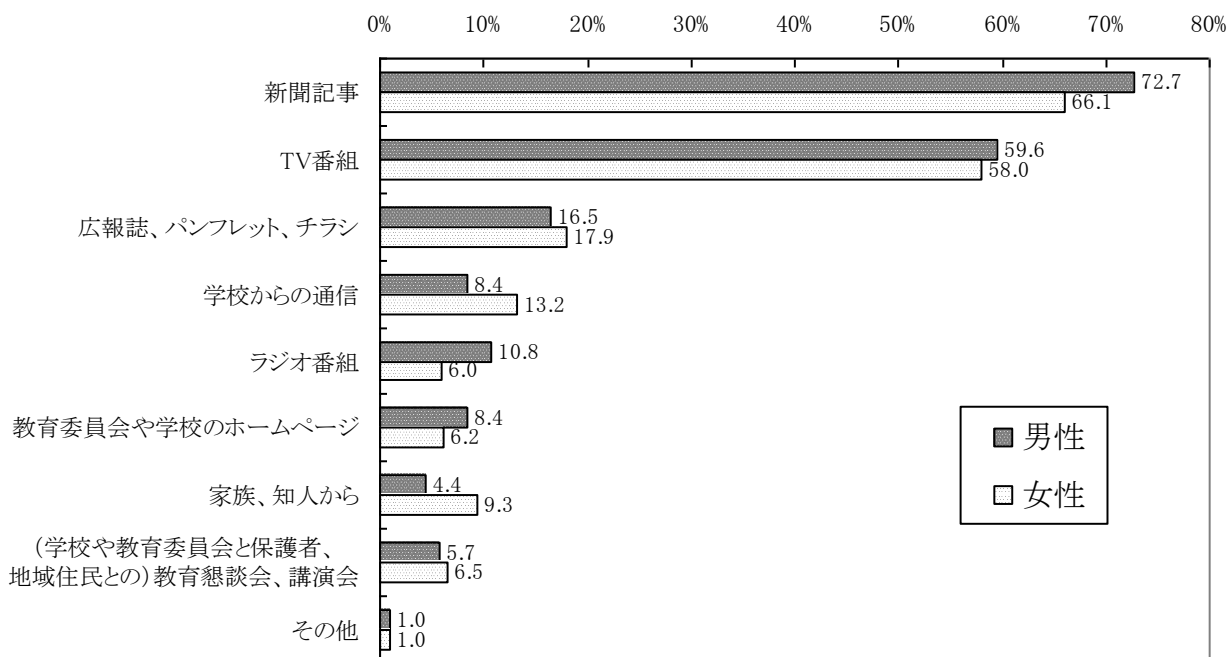
#### 【性別】

男女とも 1 位から 3 位までは《総合》と同じ順位だが、1 位の「新聞記事」では男性が 72.7%で女性の 66.1%より 6.6 ポイント高くなっている。男性は 4 位に「ラジオ番組」が、女性は「学校からの通信」が続くなど、男女間で順位に違いが見られる。また女性で、「家族、知人から」が 9.3%と男性に比べ高い比率を示している。

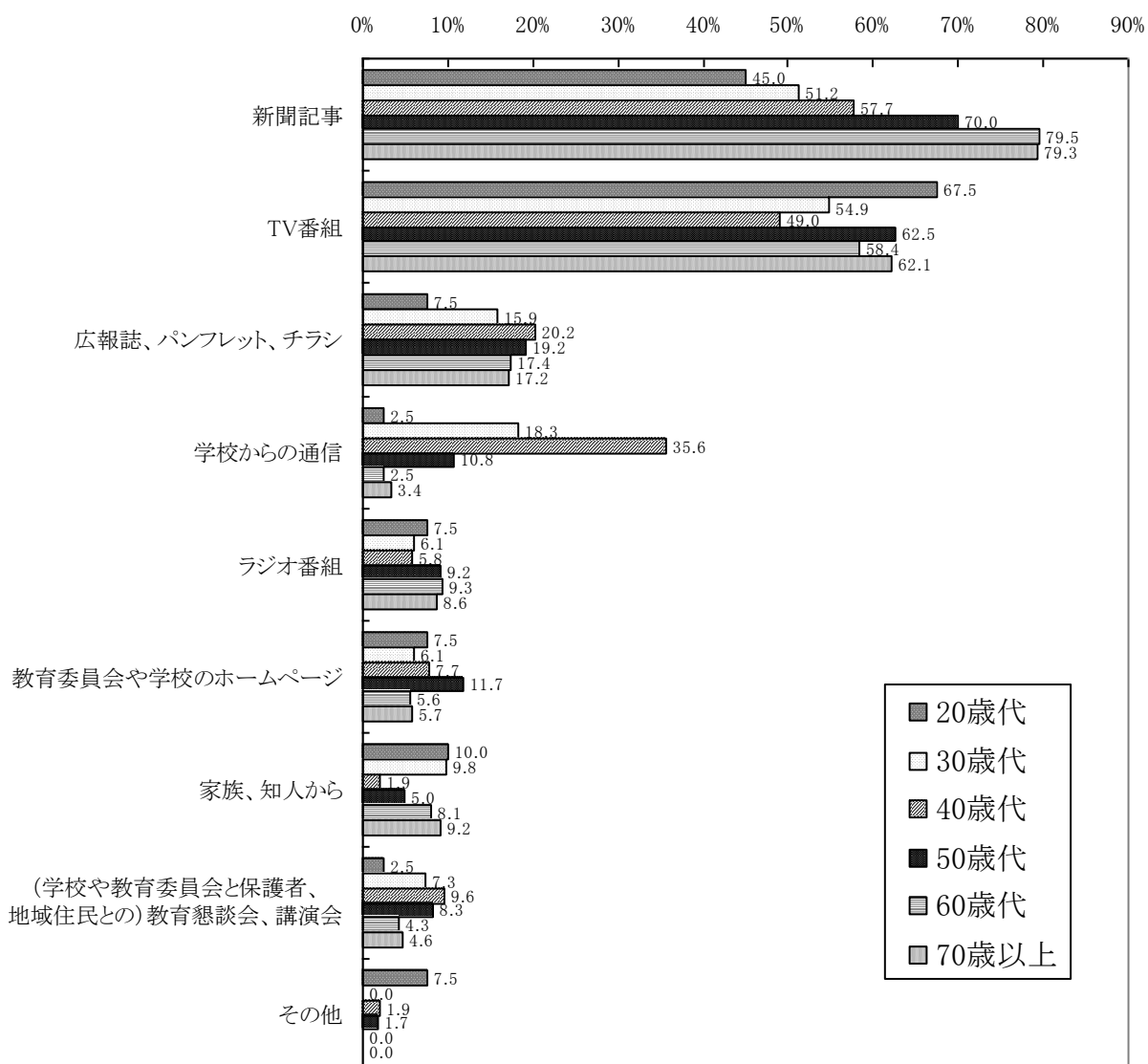
#### 【年代別】

20 歳代、30 歳代では「TV番組」が最も高く、特に 20 歳代では 67.5%となって他の年代よりも比率が高くなっている。40 歳以上では「新聞記事」が最も高く、60 歳代、70 歳以上では 80%近くの高い比率となっており、年齢が高くなるほど比率も高くなる傾向が見られる。また 40 歳代では「学校からの通信」が 35.6%で、他に比べて際立って高い比率となっている。

《 性別 》



《 年代別 》



【職業別】

いずれの職業でも、《総合》と同じく「新聞記事」と「TV番組」が高い比率で上位2項目を占めている。また、管理職では「広報誌、パンフレット、チラシ」の比率が28.6%となっているなど、ほとんどの項目において他の職業より高い比率が並んでいる。

【子どもの状況別】

小学生の子どもがいる人を除き、いずれの状況の人も《総合》と同じく「新聞記事」と「TV番組」が1位と2位を占めている。小学生の子どもがいる人では「新聞記事」に次いで「学校からの通信」が41.6%と2位になっている。また、この項目は中学生の子どもがいる人でも36.7%、高校生の子どものいる人でも28.1%と、学校に通う子どもがいる人で高い比率となっている。

【広域市町村圏別】

嶺北広域圏を除くすべての地域で「新聞記事」が最も高く、特に安芸広域圏では74.5%と他の地域に比べて高い比率となっている。嶺北広域圏は「TV番組」が75.0%で最も高い。

《 職業別・子どもの状況別・広域市町村圏別 》

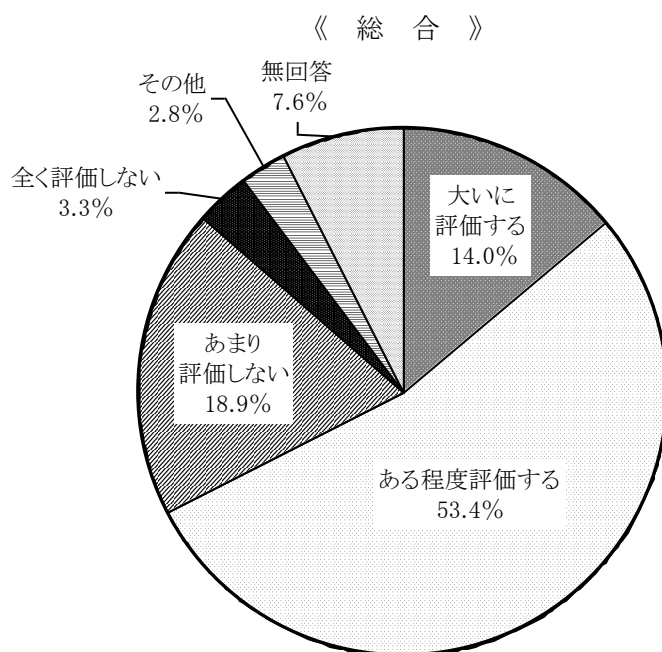
(単位：%)

属性		項目	新聞記事	TV番組	シ ン 報 誌 、 パ ン フ レ ッ ト 、 チ ラ シ	学 校 か ら の 通 信	ラ ジ オ 番 組	ペ ー ジ 教 育 委 員 会 や 学 校 の ホ ー ム	家 族 、 知 人 か ら	会 、 講 演 会  (学 校 や 教 育 委 員 会 と 保 護 者 、 地 域 住 民 と の) 教 育 懇 談	そ の 他
職業別	農林業	63.5	59.6	15.4	7.7	23.1	7.7	3.8	5.8	0.0	
	漁業	100.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	81.6	57.1	20.4	2.0	4.1	6.1	10.2	2.0	0.0	
	事務職	60.0	48.0	16.0	21.3	0.0	13.3	4.0	6.7	1.3	
	技術職	59.2	57.7	12.7	16.9	7.0	8.5	5.6	12.7	2.8	
	労務職	59.3	55.6	14.8	16.7	9.3	1.9	7.4	5.6	1.9	
	管理職	67.9	57.1	28.6	25.0	3.6	17.9	10.7	14.3	7.1	
	自由業	100.0	55.6	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	主婦	72.6	65.1	17.9	10.4	5.7	4.7	10.4	3.8	0.0	
	学生	80.0	80.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
	無職	77.5	63.3	17.8	3.6	8.3	5.3	6.5	4.7	0.6	
その他	58.6	51.7	20.7	13.8	10.3	10.3	8.6	8.6	0.0		
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	59.4	49.3	15.9	13.0	4.3	2.9	14.5	7.2	1.4	
	小学生の子どもがいる	48.3	40.4	19.1	41.6	4.5	7.9	7.9	13.5	1.1	
	中学生の子どもがいる	58.3	45.0	26.7	36.7	3.3	10.0	5.0	13.3	1.7	
	高校生の子どものいる	70.3	54.7	17.2	28.1	7.8	12.5	1.6	14.1	1.6	
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	70.2	66.0	17.0	19.1	8.5	10.6	2.1	14.9	4.3	
	その他	78.6	62.0	17.5	4.8	9.0	5.9	7.3	4.8	0.0	
	子どもはいない	59.7	62.0	14.0	5.4	10.1	10.1	7.0	3.9	3.1	
広域市町村圏別	高知市	69.9	59.2	13.4	11.0	7.5	6.5	7.5	4.5	1.0	
	安芸広域圏	74.5	57.4	19.1	10.6	8.5	6.4	8.5	4.3	2.1	
	南国・香美広域圏	70.9	65.0	17.5	7.8	11.7	10.7	4.9	8.7	0.0	
	嶺北広域圏	58.3	75.0	25.0	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	
	仁淀川広域圏	67.9	60.7	21.4	16.1	3.6	7.1	7.1	7.1	0.0	
	高吾北広域圏	64.0	44.0	24.0	16.0	4.0	4.0	8.0	4.0	4.0	
	幡多広域圏	71.0	56.5	19.4	9.7	11.3	6.5	8.1	9.7	1.6	
	幡多広域圏	61.0	51.9	22.1	13.0	6.5	6.5	6.5	6.5	1.3	



**問 40 小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた、教育委員会や学校のこれまでの取り組みについてどのようにお考えですか。(1つだけ○印)**

小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた教育委員会や学校のこれまでの取り組みについて、「ある程度評価する」と答えた人の割合が53.4%と最も高く、『評価する』(=「大いに評価する」+「ある程度評価する」)が67.4%と3分の2を占めている。『評価しない』(=「あまり評価しない」+「全く評価しない」)は、22.2%となっている。



**【性別】**

男女にあまり大きな差は見られないが、『評価しない』は、男性が24.5%と女性の20.4%より4.1ポイント高くなっている。

**【年代別】**

「大いに評価する」が20歳代で18.4%、70歳以上で22.4%と他の年代に比べてやや高い割合となっている。一方、30歳代では『評価しない』が32.6%と他の年代に比べて高い割合を示している。

**【職業別】**

管理職、自由業、学生で『評価する』が75%を超えて他の職業区分より高い割合を示している。特に学生は22.7%が「大いに評価する」と高くなっている。

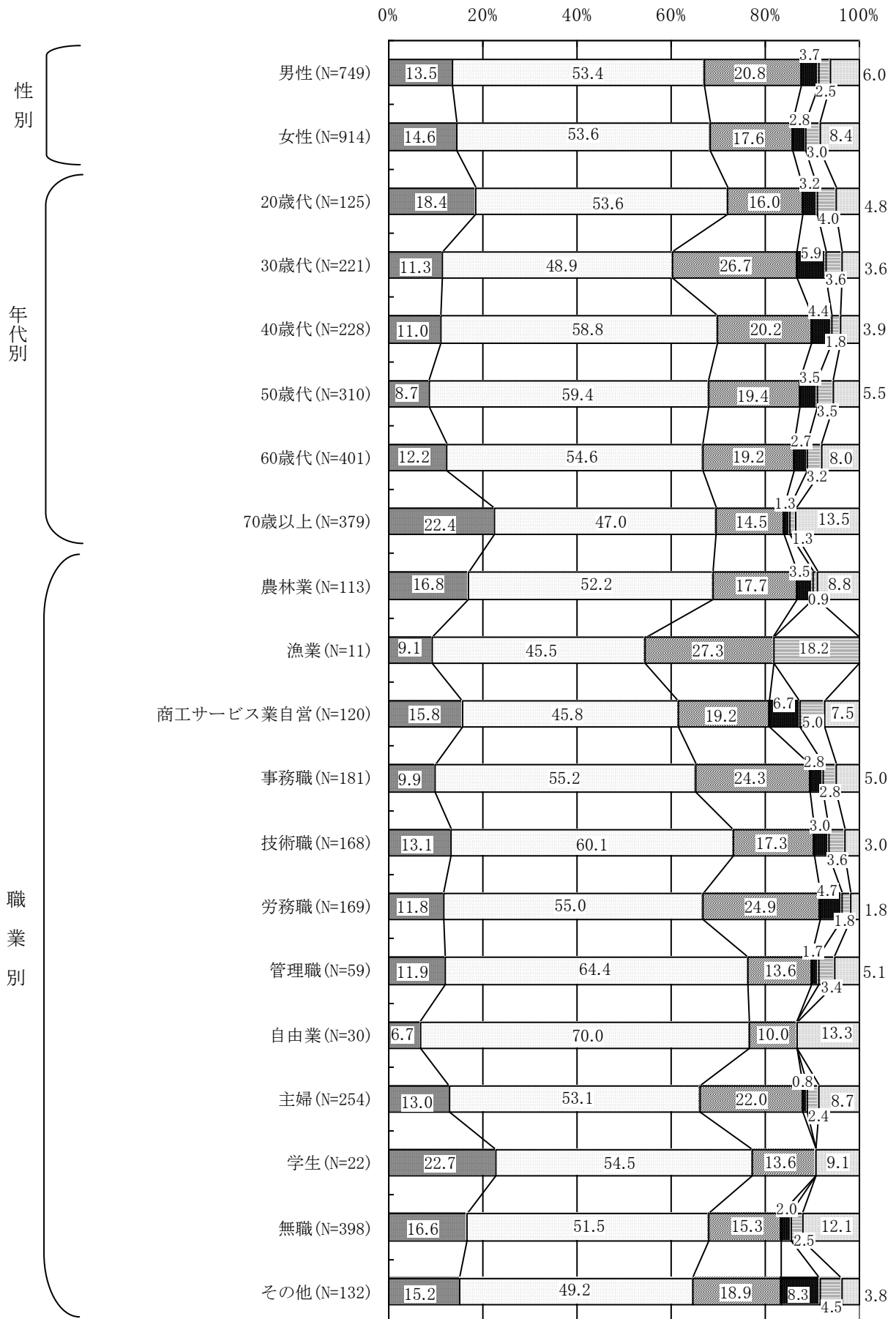
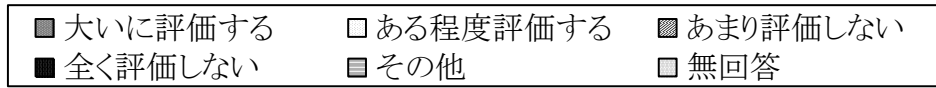
**【子どもの状況別】**

子どもの状況別ではほとんど割合の差は見られない。

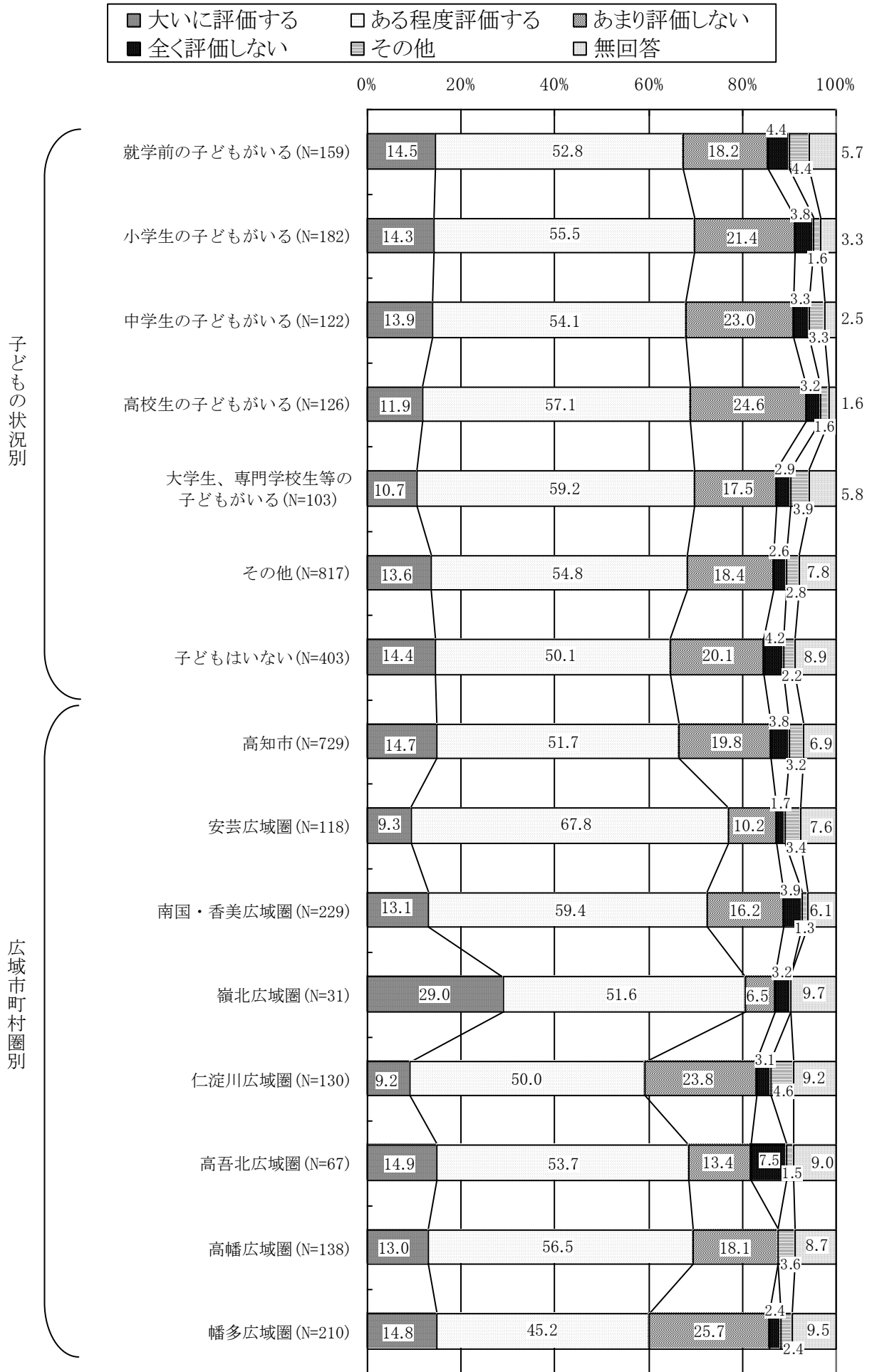
**【広域市町村圏別】**

嶺北広域圏で「大いに評価する」が29.0%と他の地域と比べてかなり高い割合を示しており、『評価する』も80.6%と高くなっている。また、安芸広域圏でも『評価する』が77.1%と高くなっている。『評価しない』は幡多広域圏で28.1%、仁淀川広域圏で26.9%と他の地域に比べてやや高い割合となっている。また、高吾北広域圏では、「大いに評価する」が14.9%に対し、「全く評価しない」も7.5%と他の地域に比べて高く、地域内で評価が分かれている。

《 性別・年代別・職業別 》

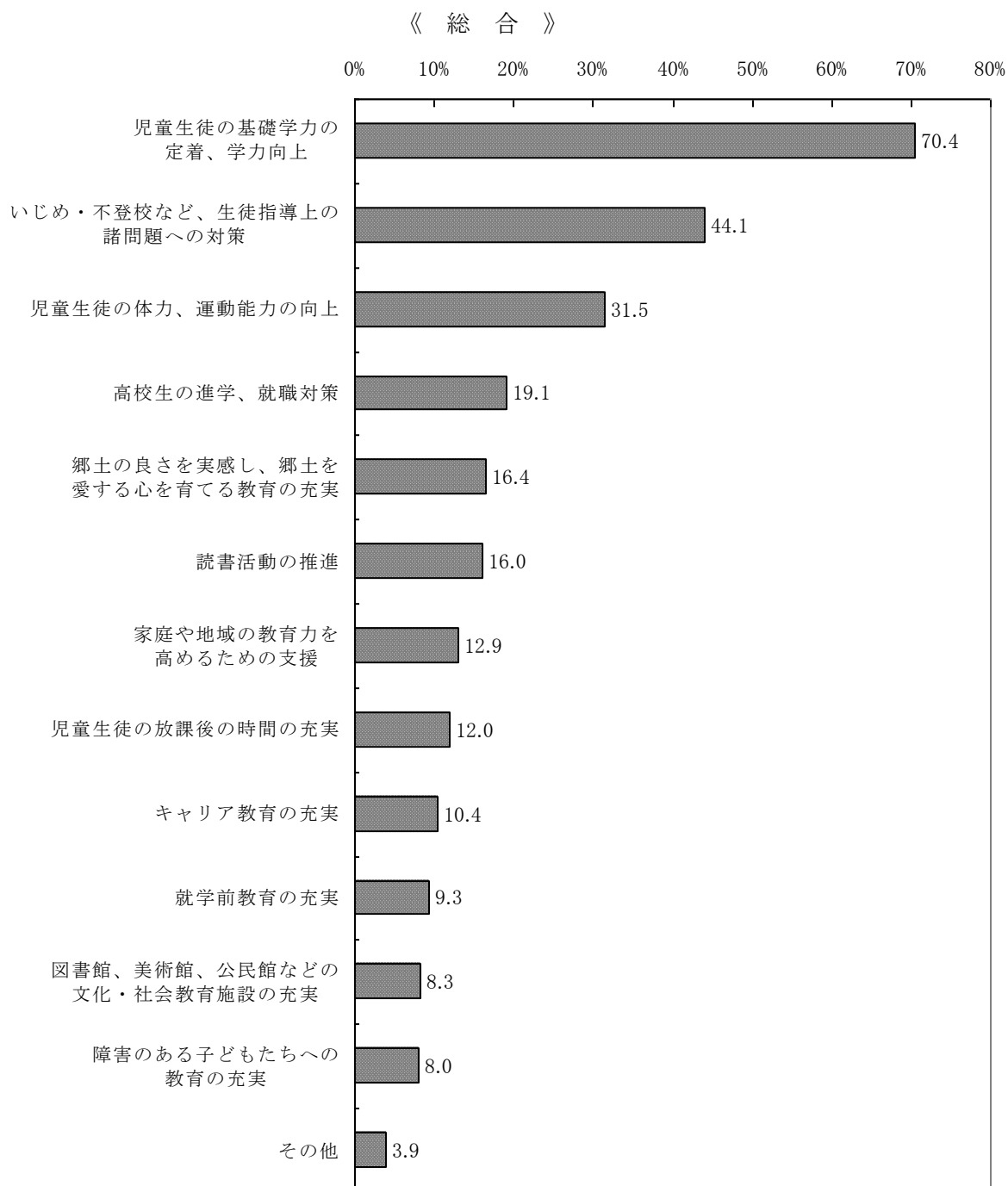


《 子どもの状況別・広域市町村圏別 》



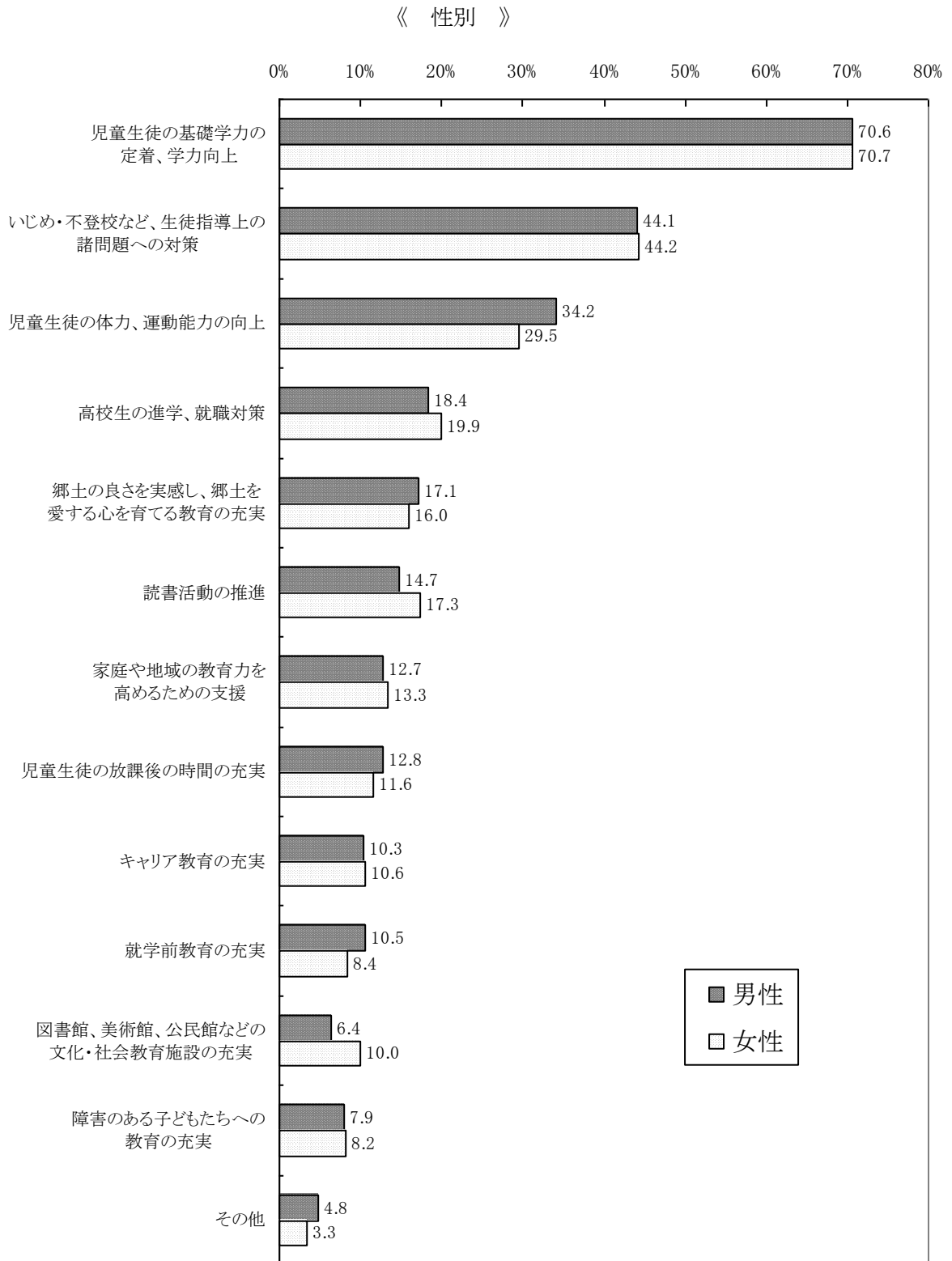
問 41 今後、高知県の教育振興のために、どのような取り組みや支援が重要だと思いますか。  
(3つまで○印)

高知県の教育振興のために今後重要だと思う取り組みや支援については、「児童生徒の基礎学力の定着、学力向上」が70.4%と最も高くなって2位以下に比率で大きく差をつけている。次いで「いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策」が44.1%、「児童生徒の体力、運動能力の向上」が31.5%、「高校生の進学、就職対策」が19.1%、「郷土の良さを実感し、郷土を愛する心を育てる教育の充実」が16.4%と続いている。



【性別】

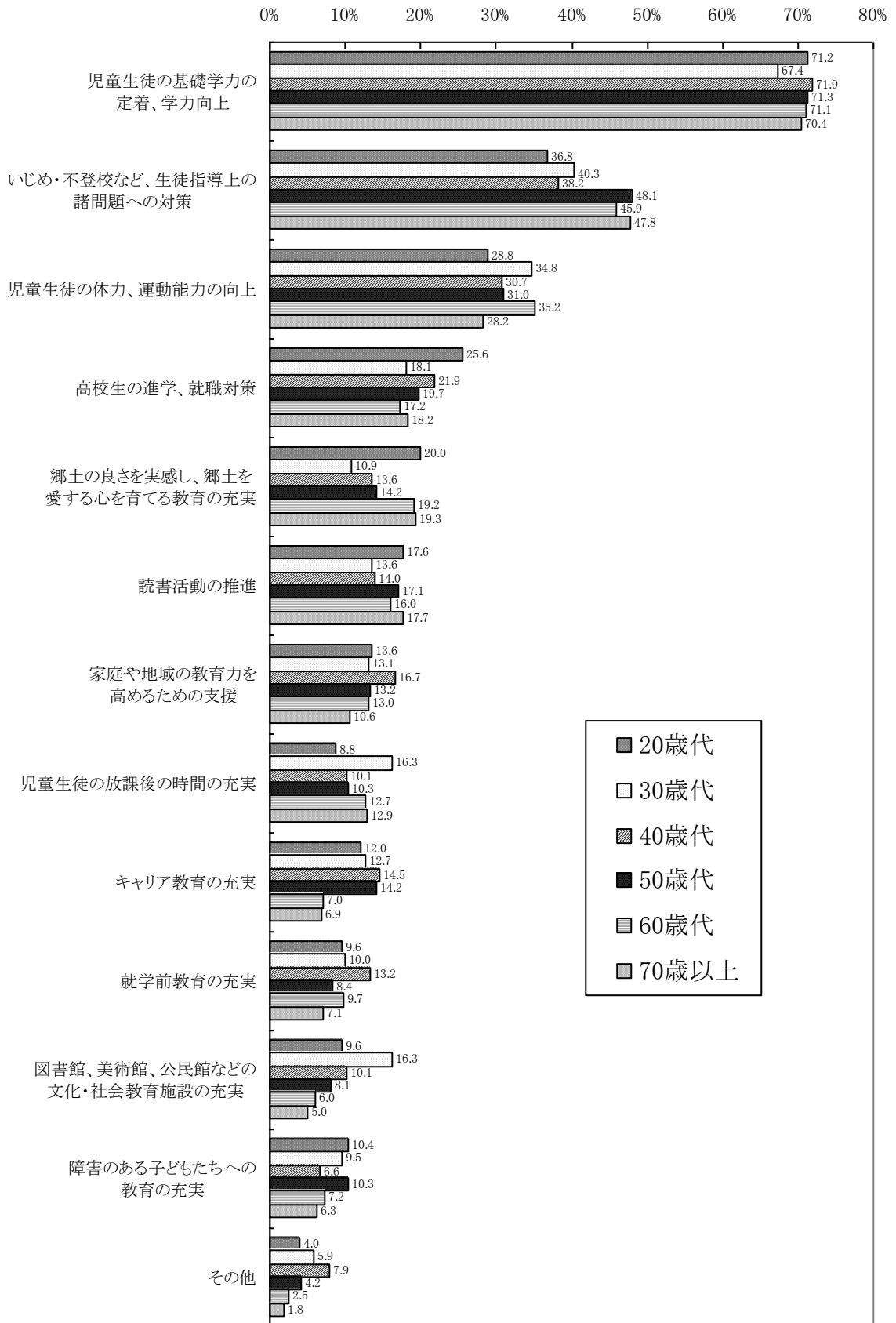
男女とも《総合》の比率と大きな違いは見られないが、「児童生徒の体力、運動能力の向上」は男性が34.2%で女性の29.5%より4.7ポイント高く、「読書活動の推進」、「図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実」では女性が男性より比率がやや高くなっている。



【年代別】

すべての年代で上位の項目の順位に大きな違いは見られないが、「いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策」では50歳以上の年代で50%近くの比率となっており、高い年代の方が低い年代よりも比率が高くなっている。また、20歳代は「高校生の進学、就職対策」が25.6%と比較的高い。

《 年代別 》



【職業別】

すべての職業区分で「児童生徒の基礎学力の定着、学力向上」が最も高く、特に管理職では84.7%と高い比率となっている。また、漁業では「児童生徒の体力、運動能力の向上」も54.5%と同率の1位となっており、他の職業区分に比べて高くなっている。学生は「いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策」が54.5%と他の職業区分に比べて高い。

【子どもの状況別】

いずれの状況の人も「児童生徒の基礎学力の定着、学力向上」が最も高く、特に高校生の子どもがいる人は82.5%と高くなっている。中学生、高校生の子どもがいる人は、「高校生の進学、就職対策」が3位となっており、比率も他の状況の人と比べて高くなっている。

【広域市町村圏別】

いずれの広域市町村圏でも「児童生徒の基礎学力の定着、学力向上」が最も高くなっている。仁淀川広域圏では「児童生徒の体力、運動能力の向上」が44.6%、嶺北広域圏では「高校生の進学、就職対策」が35.5%と他の地域に比べ高くなっている。

《 職業別・子どもの状況別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属 性		項 目												
		児童生徒の基礎学力の定着、 学力向上	いじめ・不登校など、 生徒指導上の 諸問題への対策	児童生徒の体力、 運動能力の 向上	児童生徒の進学、 就職対策	郷土の良さを実感し、 郷土を愛する心を育てる 教育の充実	読書活動の推進	家庭や地域の教育力を 高めるための支援	児童生徒の放課後の 時間の充実	キャリア教育の充実	就学前教育の充実	文化・社会教育施設の 充実	図書館、美術館、 公民館などの 充実	障害のある子どもたち への教育の充実
職業別	農林業	72.6	38.9	38.9	23.9	23.0	10.6	13.3	11.5	7.1	8.0	3.5	1.8	1.8
	漁業	54.5	45.5	54.5	9.1	27.3	9.1	9.1	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1
	商工サービス業自営	75.8	45.0	31.7	8.3	21.7	9.2	15.0	11.7	6.7	10.8	10.0	8.3	5.8
	事務職	77.9	34.3	33.7	14.4	13.8	20.4	17.7	10.5	14.4	7.2	16.0	5.5	5.0
	技術職	72.6	44.0	29.8	23.8	10.1	17.3	13.7	14.3	16.1	8.3	11.3	7.7	8.3
	労務職	65.1	50.9	28.4	20.1	18.3	14.8	7.1	10.1	15.4	14.2	5.9	11.2	4.1
	管理職	84.7	37.3	42.4	16.9	11.9	16.9	20.3	15.3	13.6	15.3	6.8	3.4	5.1
	自由業	76.7	43.3	33.3	6.7	13.3	26.7	16.7	16.7	13.3	3.3	3.3	6.7	0.0
	主婦	70.1	45.7	33.1	22.4	15.0	15.4	11.8	15.4	7.9	9.4	7.9	9.1	1.6
	学生	63.6	54.5	18.2	18.2	18.2	9.1	13.6	18.2	18.2	9.1	9.1	22.7	9.1
	無職	67.6	47.5	28.6	19.1	17.3	17.6	12.6	10.3	7.3	8.0	6.5	9.3	2.3
	その他	66.7	41.7	31.1	24.2	17.4	18.2	12.1	9.8	9.8	10.6	9.1	6.8	6.1
	子どもの状況別	就学前の子どもがいる	69.8	38.4	35.8	10.7	15.7	15.7	11.9	20.8	13.2	18.2	11.9	8.8
小学生の子どもがいる		77.5	42.9	38.5	15.4	17.0	14.3	10.4	16.5	9.3	11.0	8.2	6.6	6.6
中学生の子どもがいる		77.0	39.3	28.7	29.5	9.8	10.7	16.4	4.9	13.9	12.3	6.6	5.7	9.0
高校生の子どもがいる		82.5	38.1	31.0	33.3	9.5	12.7	13.5	7.1	16.7	11.1	6.3	7.9	5.6
大学生、専門学校生等の子どもがいる		78.6	46.6	26.2	23.3	9.7	12.6	17.5	8.7	12.6	12.6	8.7	6.8	5.8
その他		72.5	47.7	32.6	17.1	17.4	16.8	12.9	12.0	8.9	8.4	6.6	7.1	3.1
子どもはいない		65.0	39.7	28.5	22.6	16.9	17.6	14.9	10.7	11.4	7.9	11.2	10.9	3.5
広域市町村圏別	高知市	71.6	42.7	31.0	18.1	15.2	16.7	14.4	12.5	11.8	10.3	9.9	8.5	5.2
	安芸広域圏	65.3	37.3	36.4	21.2	16.1	10.2	13.6	13.6	5.1	12.7	4.2	5.9	2.5
	南国・香美広域圏	73.8	47.2	31.4	20.1	15.7	18.3	12.2	10.0	11.4	8.3	6.1	6.6	4.4
	嶺北広域圏	74.2	38.7	35.5	35.5	12.9	12.9	12.9	16.1	12.9	12.9	3.2	6.5	0.0
	仁淀川広域圏	68.5	44.6	44.6	13.8	14.6	14.6	8.5	8.5	8.5	9.2	13.1	6.9	3.8
	高吾北広域圏	64.2	41.8	29.9	22.4	25.4	17.9	6.0	11.9	10.4	14.9	6.0	6.0	0.0
	高幡広域圏	70.3	47.1	26.1	15.9	20.3	15.2	15.9	16.7	11.6	6.5	8.0	6.5	1.4
	幡多広域圏	68.1	49.5	26.7	22.9	17.1	15.2	12.9	11.4	7.6	5.7	5.7	10.5	2.4

【問 40×問 41 のクロス分析】

【問 40 小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた、教育委員会や学校のこれまでの取り組みに対する評価】の各選択肢を選んだ人が本問にどのように回答しているかを見てみると、いずれの評価の人も「児童生徒の基礎学力の定着、学力向上」の比率が最も高いが、「全く評価しない」と答えた人は、49.1%と他の評価の人に比べて低くなっている。また、「大いに評価する」と答えた人は「いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策」の比率も 53.2%と他に比べて高くなっている。また、「全く評価しない」と答えた人は「いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策」、「家庭や地域の教育力を高めるための支援」での比率も他に比べて低くなっている。

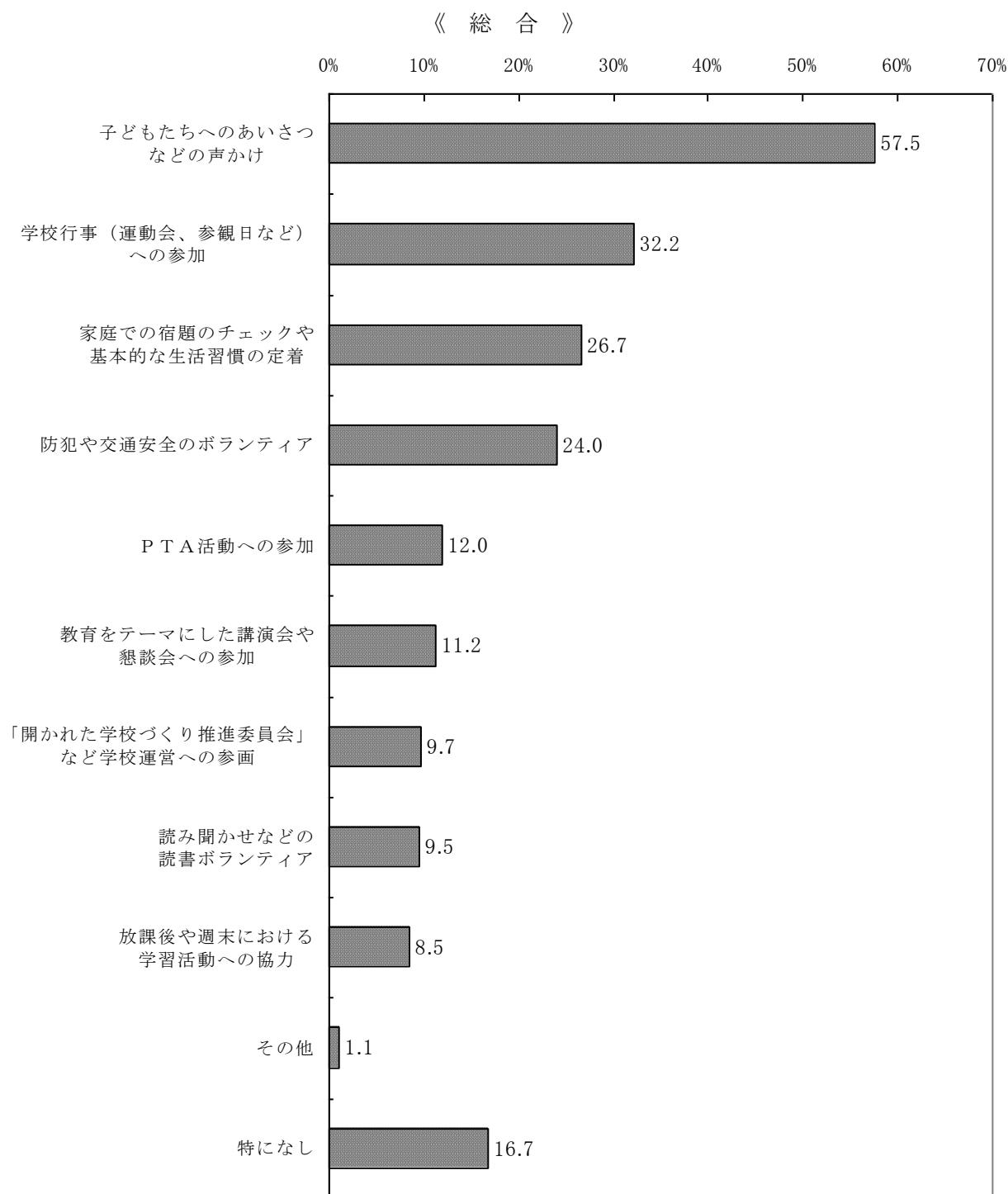
(単位：%)

		問 41												
		児童生徒の基礎学力の定着、学力向上	いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策	児童生徒の体力、運動能力の向上	高校生の進学、就職対策	郷土の良さを実感し、郷土を愛する心を育てる教育の充実	読書活動の推進	家庭や地域の教育力を高めるための支援	児童生徒の放課後の時間の充実	キャリア教育の充実	就学前教育の充実	図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実	障害のある子どもたちへの教育の充実	その他
問 40	大いに評価する	71.5	53.2	31.9	20.9	17.9	17.9	11.1	10.2	12.3	11.9	5.5	10.2	2.1
	ある程度評価する	75.2	45.1	33.8	19.8	18.2	17.0	14.5	13.8	10.4	8.4	8.6	7.5	2.2
	あまり評価しない	72.0	42.1	33.0	21.4	13.8	17.9	13.5	10.1	10.7	11.0	10.7	8.5	5.7
	全く評価しない	49.1	32.7	32.7	18.2	10.9	10.9	1.8	7.3	12.7	7.3	7.3	9.1	16.4
	その他	63.8	44.7	29.8	12.8	19.1	6.4	12.8	14.9	10.6	14.9	10.6	6.4	6.4



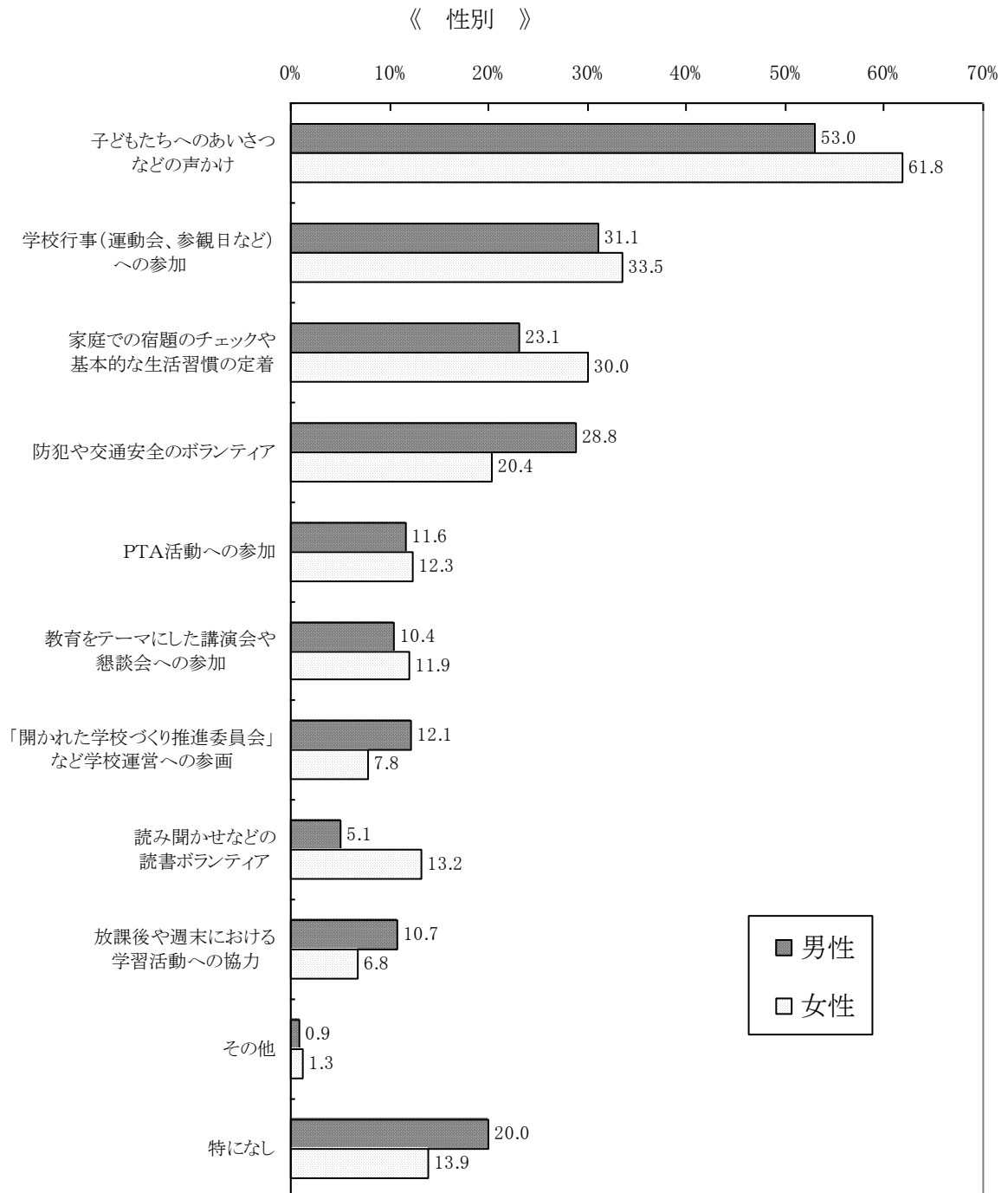
**問 42 教育振興や教育課題の解決には家庭や地域の協力も必要です。あなたが参加又は協力できることはどれですか。（当てはまるものすべてに○印）**

教育振興や教育課題の解決のため、参加や協力できることについては、「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」が57.5%と最も高く、次いで「学校行事（運動会、参観日など）への参加」が32.2%、「家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着」が26.7%、「防犯や交通安全のボランティア」が24.0%と続いている。「特になし」と答えた人は16.7%となっている。



【性別】

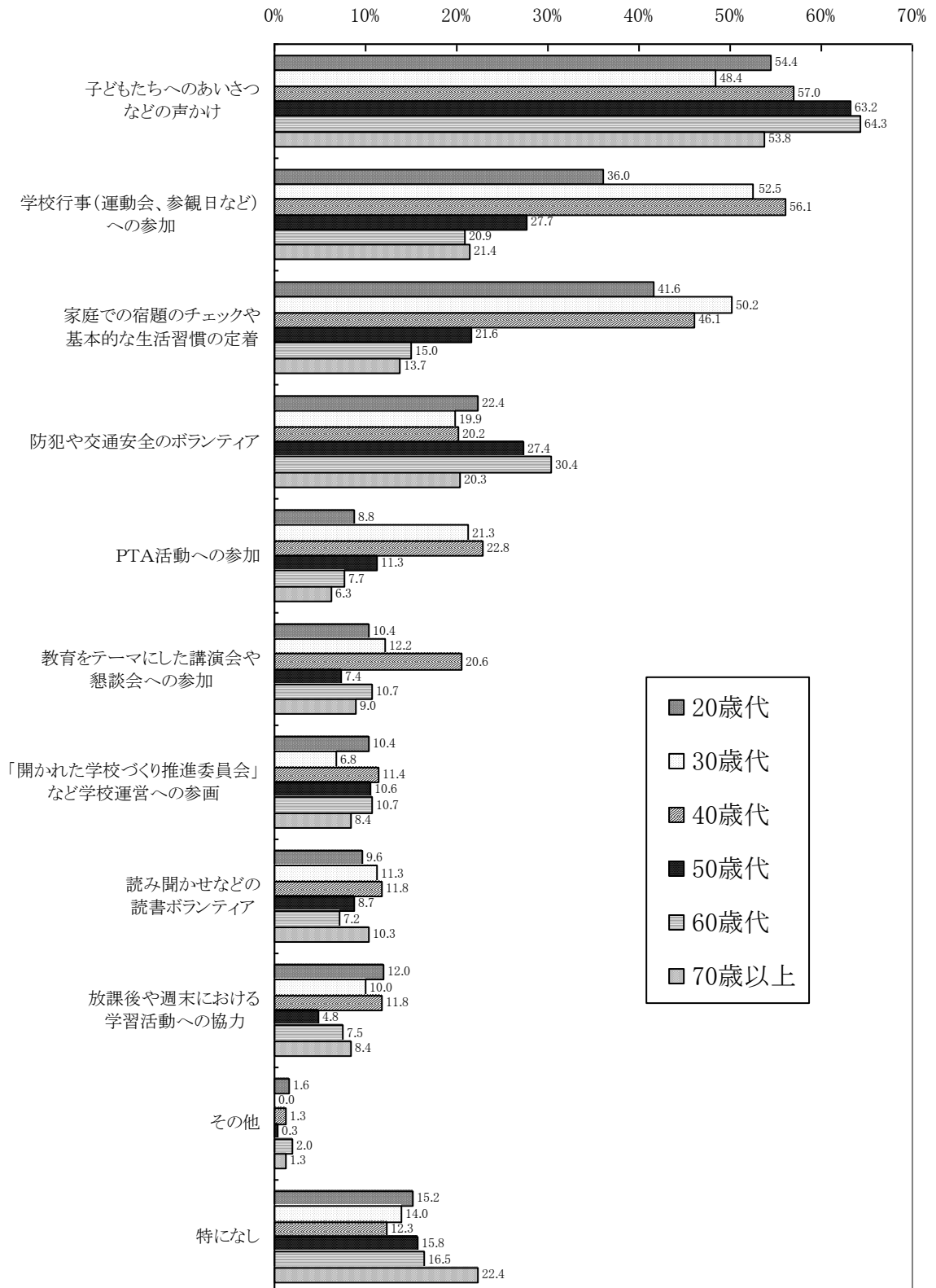
男女とも1位、2位は《総合》と同じであるが、3位以下の順位は違っている。女性は、「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」、「家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着」、「読み聞かせなどの読書ボランティア」などの比率が男性に比べておよそ7～8ポイント高くなっており、男性は「防犯や交通安全のボランティア」で女性に比べて8ポイント以上高くなっているなど、男女間で参加、協力できるとする活動に違いが見られる。



【年代別】

30歳代を除くすべての年代で「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」が最も高くなっており、30歳代は「学校行事（運動会、参観日など）への参加」が52.5%で最も高い。「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」、「防犯や交通安全のボランティア」では、50歳代、60歳代が他の年代に比べて比率が高くなっており、「学校行事（運動会、参観日など）への参加」、「家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着」では、20歳代～40歳代で高くなっており、年代によって参加、協力できるとする活動に違いが見られる。

《 年代別 》



【職業別】

すべての職業区分で「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」が最も高くなっており、特に商工サービス業自営では70.8%、学生では68.2%と高くなっている。事務職、技術職では「学校行事（運動会、参観日など）への参加」の比率が45%程度と高く、学生は「家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着」が50.0%、管理職は「防犯や交通安全のボランティア」が35.6%、自由業は「特になし」が30.0%と他の職業区分に比べて高い比率になっている。

【子どもの状況別】

中学生以下の子どもがいる人では「学校行事（運動会、参観日など）への参加」の比率が最も高く、70%程度となっている。それ以外の状況の人では「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」の比率が最も高くなっている。高校生以下の子どもがいる人は、3位までの比率がすべて50%を超えている。

【広域市町村圏別】

すべての地域で「子どもたちへのあいさつなどの声かけ」の比率が最も高くなっている。安芸広域圏、高吾北広域圏では「特になし」が20%を超えて他の地域に比べて高くなっている。

《 職業別・子どもの状況別・広域市町村圏別 》

(単位：%)

属 性		項 目										
		子どもたちへのあいさつなどの声かけ	学校行事（運動会、参観日など）への参加	家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着	防犯や交通安全のボランティア	PTA活動への参加	教育をテーマにした講演会や懇談会への参加	「開かれた学校づくり推進委員会」など学校運営への参画	読み聞かせなどの読書ボランティア	放課後や週末における学習活動への協力	その他	特になし
職業別	農林業	61.1	33.6	18.6	31.9	15.0	10.6	12.4	3.5	13.3	1.8	16.8
	漁業	63.6	18.2	27.3	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
	商工サービス業自営	70.8	16.7	19.2	26.7	5.8	11.7	9.2	6.7	6.7	5.0	10.8
	事務職	56.4	45.9	35.4	20.4	18.8	13.8	8.8	12.7	7.7	0.6	15.5
	技術職	55.4	44.6	42.3	20.8	19.0	12.5	11.3	10.1	10.1	1.2	11.3
	労務職	58.0	37.3	30.8	24.9	7.7	8.3	8.3	7.1	8.3	0.0	16.6
	管理職	64.4	37.3	28.8	35.6	16.9	16.9	13.6	5.1	23.7	0.0	11.9
	自由業	46.7	20.0	23.3	13.3	13.3	16.7	10.0	3.3	3.3	0.0	30.0
	主婦	60.6	36.2	32.3	23.2	14.2	11.0	8.7	13.0	7.1	1.2	13.8
	学生	68.2	31.8	50.0	22.7	13.6	9.1	9.1	13.6	9.1	0.0	9.1
	無職	51.8	20.1	12.6	23.1	5.5	10.1	10.6	9.5	7.0	0.5	24.1
その他	59.8	38.6	34.8	26.5	13.6	11.4	8.3	12.9	7.6	2.3	13.6	
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	57.9	67.9	63.5	26.4	21.4	17.0	8.8	10.1	13.8	0.6	3.1
	小学生の子どもがいる	67.6	70.3	58.2	27.5	29.7	21.4	14.3	14.3	8.8	1.1	3.8
	中学生の子どもがいる	52.5	71.3	52.5	21.3	32.0	18.9	19.7	5.7	9.8	0.8	7.4
	高校生の子どもがいる	64.3	61.1	52.4	27.0	28.6	19.8	16.7	8.7	6.3	0.0	7.9
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	70.9	38.8	28.2	28.2	17.5	15.5	12.6	11.7	12.6	1.0	8.7
	その他	60.7	23.0	15.4	26.2	8.1	9.1	10.4	8.1	7.3	1.3	18.1
	子どもはいない	50.6	21.3	23.1	20.1	6.0	9.9	5.7	11.7	9.7	1.2	24.1
広域市町村圏別	高知市	54.3	33.2	29.8	24.4	12.8	11.8	7.8	11.8	8.6	1.4	17.7
	安芸広域圏	51.7	28.8	20.3	22.0	16.9	14.4	12.7	4.2	5.9	0.0	22.9
	南国・香美広域圏	61.6	32.3	27.1	27.9	10.0	9.2	10.9	8.3	10.5	1.7	17.0
	嶺北広域圏	61.3	29.0	19.4	38.7	6.5	9.7	6.5	16.1	9.7	0.0	6.5
	仁淀川広域圏	62.3	31.5	29.2	23.1	10.0	10.8	12.3	6.2	8.5	0.8	13.1
	高吾北広域圏	65.7	34.3	26.9	25.4	16.4	14.9	13.4	6.0	4.5	1.5	20.9
	高幡広域圏	64.5	32.6	25.4	21.0	8.7	13.0	8.7	9.4	10.1	0.7	10.9
	幡多広域圏	57.1	30.0	21.0	20.0	12.4	9.0	12.9	8.1	7.1	1.0	14.8

# VI 調査結果

## 〔数 表〕

問1.発生確率の高まっている南海地震について、どの程度関心を持っていますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	非常に 関心 がある	関 心 が あ る	多 少 関 心 が あ る	関 心 が な い	無 回 答
総合	実数	1679	771	683	143	9	73
	%		45.9	40.7	8.5	0.5	4.3
性別	男性	749	46.2	39.7	8.5	0.4	5.2
	女性	914	45.6	41.5	8.5	0.7	3.7
	無回答	16	50.0	43.8	6.3	0.0	0.0
年代別	20歳代	125	46.4	32.0	16.0	1.6	4.0
	30歳代	221	55.2	35.7	6.3	0.5	2.3
	40歳代	228	50.0	37.3	9.2	0.0	3.5
	50歳代	310	43.9	44.2	7.7	0.3	3.9
	60歳代	401	40.9	43.9	10.0	1.0	4.2
	70歳以上	379	44.6	42.2	6.1	0.3	6.9
	無回答	15	53.3	40.0	6.7	0.0	0.0
職業別	農林業	113	45.1	37.2	8.8	1.8	7.1
	漁業	11	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	120	40.8	45.0	11.7	0.0	2.5
	事務職	181	48.6	37.6	9.4	0.6	3.9
	技術職	168	47.0	41.7	8.3	0.6	2.4
	労務職	169	41.4	45.6	8.3	0.0	4.7
	管理職	59	54.2	37.3	5.1	1.7	1.7
	自由業	30	36.7	43.3	13.3	0.0	6.7
	主婦	254	48.8	40.6	7.9	0.0	2.8
	学生	22	54.5	22.7	18.2	0.0	4.5
	無職	398	44.5	42.5	7.8	0.8	4.5
	その他	132	47.0	36.4	8.3	0.8	7.6
	無回答	22	45.5	31.8	4.5	0.0	18.2
状況別 婚姻	未婚	290	43.4	38.6	13.1	0.7	4.1
	既婚	1106	47.3	41.2	7.6	0.2	3.7
	その他	240	43.3	41.3	7.9	2.1	5.4
	無回答	43	41.9	37.2	4.7	0.0	16.3
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	56.6	32.1	6.3	1.3	3.8
	小学生の子どもがいる	182	56.6	33.0	4.4	1.1	4.9
	中学生の子どもがいる	122	53.3	32.0	9.0	0.8	4.9
	高校生の子どもがいる	126	50.0	34.9	8.7	0.0	6.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	41.7	45.6	5.8	1.9	4.9
	その他	817	42.7	44.6	8.1	0.5	4.2
	子どもはいない	403	45.7	38.5	11.2	0.5	4.2
	無回答	44	43.2	45.5	4.5	0.0	6.8
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	156	42.9	39.7	10.9	2.6	3.8
	100~200万円未満	287	40.8	41.5	10.8	0.3	6.6
	200~300万円未満	338	43.5	45.6	6.5	0.3	4.1
	300~400万円未満	255	48.2	41.2	8.6	0.4	1.6
	400~600万円未満	284	53.2	37.0	7.4	0.0	2.5
	600~800万円未満	145	49.0	37.2	8.3	0.0	5.5
	800~1000万円未満	66	48.5	43.9	4.5	0.0	3.0
	1000万円以上	58	34.5	48.3	10.3	1.7	5.2
	無回答	90	47.8	30.0	10.0	1.1	11.1
	広域市 町村 圏別	高知市	729	46.8	39.6	8.9	1.0
安芸広域圏		118	50.0	42.4	4.2	0.0	3.4
南国・香美広域圏		229	43.2	45.0	7.9	0.4	3.5
嶺北広域圏		31	45.2	38.7	6.5	0.0	9.7
仁淀川広域圏		130	40.8	44.6	8.5	0.8	5.4
高吾北広域圏		67	43.3	37.3	14.9	0.0	4.5
高幡広域圏		138	42.0	45.7	5.8	0.0	6.5
幡多広域圏		210	50.0	34.8	11.4	0.0	3.8
無回答		27	48.1	37.0	0.0	0.0	14.8
部 別 沿岸	沿岸部	645	50.9	38.3	6.8	0.6	3.4
	非沿岸部	953	42.4	42.5	10.2	0.5	4.4
	無回答	81	48.1	38.3	2.5	0.0	11.1

問2.南海地震が起きた場合、あなたのお住まいの地域(住宅)では危険があると感じていますか。(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	危 険 を 感 じ て い る	危 険 を 感 じ て い な い	無 回 答
総 合	実数	1679	1531	140	8
	%		91.2	8.3	0.5
性 別	男性	749	90.4	9.3	0.3
	女性	914	91.8	7.7	0.5
	無回答	16	93.8	0.0	6.3
年 代 別	20歳代	125	84.8	15.2	0.0
	30歳代	221	90.5	9.5	0.0
	40歳代	228	92.5	7.0	0.4
	50歳代	310	92.9	6.8	0.3
	60歳代	401	90.5	9.0	0.5
	70歳以上	379	92.1	7.1	0.8
	無回答	15	93.3	0.0	6.7
職 業 別	農林業	113	87.6	11.5	0.9
	漁業	11	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	120	90.0	8.3	1.7
	事務職	181	87.3	12.2	0.6
	技術職	168	91.7	8.3	0.0
	労務職	169	90.5	9.5	0.0
	管理職	59	91.5	8.5	0.0
	自由業	30	96.7	3.3	0.0
	主婦	254	93.7	5.9	0.4
	学生	22	95.5	4.5	0.0
	無職	398	92.2	7.3	0.5
	その他	132	90.2	9.8	0.0
	無回答	22	90.9	4.5	4.5
状 況 別 婚 姻	未婚	290	89.0	10.3	0.7
	既婚	1106	91.9	7.9	0.3
	その他	240	90.8	8.8	0.4
	無回答	43	90.7	4.7	4.7
子 ど も の 状 況 別	就学前の子どもがいる	159	93.1	6.9	0.0
	小学生の子どもがいる	182	90.7	8.8	0.5
	中学生の子どもがいる	122	89.3	9.0	1.6
	高校生の子どもがいる	126	93.7	6.3	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	93.2	5.8	1.0
	その他	817	91.9	7.8	0.2
	子どもはいない	403	89.8	9.4	0.7
	無回答	44	86.4	11.4	2.3
世 帯 の 年 間 収 入 別	0~100万円未満	156	89.1	9.6	1.3
	100~200万円未満	287	89.9	8.7	1.4
	200~300万円未満	338	92.9	6.8	0.3
	300~400万円未満	255	94.1	5.9	0.0
	400~600万円未満	284	90.5	9.5	0.0
	600~800万円未満	145	89.7	9.7	0.7
	800~1000万円未満	66	86.4	13.6	0.0
	1000万円以上	58	89.7	10.3	0.0
	無回答	90	93.3	6.7	0.0
	広 域 市 町 村 圏 別	高知市	729	90.7	8.8
安芸広域圏		118	97.5	2.5	0.0
南国・香美広域圏		229	90.8	8.3	0.9
嶺北広域圏		31	83.9	16.1	0.0
仁淀川広域圏		130	88.5	11.5	0.0
高吾北広域圏		67	86.6	13.4	0.0
高幡広域圏		138	89.9	9.4	0.7
幡多広域圏		210	95.2	4.8	0.0
無回答		27	88.9	7.4	3.7
部 別 沿 岸	沿岸部	645	96.4	3.1	0.5
	非沿岸部	953	87.6	12.0	0.4
	無回答	81	91.4	7.4	1.2

問2副問。(問2で「1」を選んだ方のみお答えください。)どのような危険があると思いますか。(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	津波	山崩れ、がけ崩れ	揺れで、建物に被害	揺れで、家具が転倒	火災	その他	無回答
総合	実数	1531	755	484	1135	836	535	67	4
	%		49.3	31.6	74.1	54.6	34.9	4.4	0.3
性別	男性	677	52.3	28.1	74.6	51.6	33.2	4.1	0.1
	女性	839	47.2	34.4	73.8	57.2	36.6	4.5	0.4
	無回答	15	33.3	33.3	73.3	46.7	20.0	6.7	0.0
年代別	20歳代	106	57.5	32.1	71.7	64.2	41.5	1.9	0.0
	30歳代	200	61.5	26.5	78.0	60.0	37.5	4.5	0.0
	40歳代	211	53.1	37.4	64.9	53.1	33.6	5.2	0.5
	50歳代	288	45.8	34.0	79.9	56.3	31.6	4.5	0.0
	60歳代	363	49.3	30.6	75.5	52.6	35.0	4.4	0.3
	70歳以上	349	41.0	29.5	72.5	51.0	35.5	4.3	0.6
	無回答	14	35.7	42.9	64.3	35.7	21.4	7.1	0.0
	職業別	農林業	99	37.4	39.4	67.7	46.5	22.2	2.0
漁業		11	72.7	27.3	72.7	63.6	18.2	0.0	0.0
商工サービス業自営		108	40.7	29.6	75.9	53.7	35.2	4.6	0.0
事務職		158	53.8	31.6	75.3	63.3	34.2	6.3	0.6
技術職		154	51.9	34.4	81.2	49.4	44.2	4.5	0.0
労務職		153	54.9	30.7	74.5	49.0	33.3	3.9	0.0
管理職		54	48.1	31.5	70.4	57.4	29.6	3.7	0.0
自由業		29	58.6	20.7	58.6	58.6	27.6	3.4	0.0
主婦		238	49.6	28.6	72.3	55.0	36.6	4.6	0.0
学生		21	66.7	38.1	57.1	71.4	28.6	4.8	0.0
無職		367	46.3	30.0	75.7	54.2	37.9	3.8	0.5
その他		119	54.6	35.3	76.5	63.0	31.9	5.0	0.0
無回答		20	35.0	45.0	60.0	30.0	30.0	10.0	0.0
状況別 婚姻	未婚	258	55.4	33.3	78.3	60.5	34.9	3.1	0.0
	既婚	1016	48.8	30.8	74.6	54.8	35.3	4.4	0.3
	その他	218	46.3	32.1	68.8	50.0	34.9	5.0	0.5
	無回答	39	38.5	38.5	64.1	35.9	25.6	7.7	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	148	56.8	27.7	73.0	53.4	36.5	7.4	0.0
	小学生の子どもがいる	165	55.2	30.9	73.9	47.9	38.2	6.1	0.6
	中学生の子どもがいる	109	58.7	34.9	64.2	50.5	31.2	4.6	0.9
	高校生の子どもがいる	118	50.8	33.9	65.3	51.7	30.5	4.2	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	96	47.9	37.5	71.9	46.9	29.2	5.2	0.0
	その他	751	45.5	30.2	74.4	54.2	34.6	3.9	0.3
	子どもはいない	362	52.5	34.3	76.8	58.6	35.4	3.3	0.0
	無回答	38	42.1	36.8	68.4	42.1	23.7	10.5	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	139	47.5	38.8	76.3	48.9	26.6	4.3	0.0
	100～200万円未満	258	43.8	33.7	74.4	48.8	37.2	3.9	0.4
	200～300万円未満	314	50.3	28.7	75.5	53.8	33.4	3.2	0.6
	300～400万円未満	240	53.3	31.3	72.5	57.1	34.6	5.0	0.4
	400～600万円未満	257	54.5	29.2	76.7	58.8	41.2	5.8	0.0
	600～800万円未満	130	49.2	28.5	70.0	58.5	30.8	6.9	0.0
	800～1000万円未満	57	49.1	26.3	77.2	54.4	33.3	5.3	0.0
	1000万円以上	52	36.5	40.4	61.5	55.8	28.8	1.9	0.0
	無回答	84	46.4	35.7	73.8	58.3	40.5	1.2	0.0
	広域市町村圏別	高知市	661	55.8	23.8	72.0	54.8	35.9	5.4
安芸広域圏		115	72.2	27.8	72.2	43.5	20.0	2.6	0.0
南国・香美広域圏		208	38.9	22.6	79.8	60.6	40.9	6.3	0.0
嶺北広域圏		26	3.8	80.8	65.4	50.0	30.8	11.5	3.8
仁淀川広域圏		115	24.3	44.3	78.3	60.9	45.2	0.9	0.0
高吾北広域圏		58	0.0	60.3	79.3	55.2	37.9	1.7	0.0
高幡広域圏		124	49.2	43.5	72.6	50.8	29.8	4.0	0.0
幡多広域圏		200	61.0	40.0	75.0	51.0	31.5	2.5	0.5
無回答	24	41.7	29.2	70.8	75.0	33.3	0.0	0.0	
部別 沿岸	沿岸部	622	82.5	22.0	72.2	54.2	31.7	4.0	0.0
	非沿岸部	835	25.5	38.6	76.0	55.6	37.7	4.9	0.5
	無回答	74	39.2	33.8	68.9	47.3	31.1	1.4	0.0



問3.あなたの、南海地震への備えを教えてください。(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	備 中 品 懐 等 の 医 薬 品 又 は ラ ジ オ 、 貴 重 品 の 非 常 持 ち 出 し 品 を	3 日 分 以 上 の 食 料 品 や 水	を 備 蓄 し て い る	め 具 な ど の 転 倒 防 止 の た め 、 金 具 な ど で 固 定 を し て い る	行 ガ ラ ス の 飛 散 防 止 対 策 を 行 っ て い る	合 地 震 の 備 え に つ い て 話 し 合 っ て い る	一 地 震 啓 発 パ ン フ レ ッ ト に 備 え ち よ き を 活 用 し て 、 家 族 と 地 震 の 備 え に つ い て 話 し 合 っ て い る	そ の 他	備 え は 行 っ て い ない	無 回 答	
総 合	実数	1679	849	331	304	63	245	65	537	21			
	%		50.6	19.7	18.1	3.8	14.6	3.9	32.0	1.3			
性 別	男性	749	48.2	19.2	18.8	3.6	13.5	3.5	35.0	1.2			
	女性	914	52.3	20.2	17.7	3.9	15.5	4.3	29.6	1.2			
	無回答	16	62.5	12.5	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	6.3		
年 代 別	20歳代	125	38.4	10.4	8.0	4.8	8.0	7.2	45.6	0.8			
	30歳代	221	46.6	16.3	19.0	4.5	9.5	5.9	37.1	0.5			
	40歳代	228	44.7	27.6	18.0	3.9	11.8	4.8	29.4	0.4			
	50歳代	310	51.0	22.6	18.1	3.9	14.5	4.2	31.9	1.0			
	60歳代	401	51.4	17.0	17.0	3.7	16.7	3.0	33.4	1.5			
	70歳以上	379	58.8	20.8	22.7	2.9	19.0	1.8	25.1	2.1			
	無回答	15	60.0	13.3	6.7	0.0	20.0	0.0	20.0	6.7			
職 業 別	農林業	113	39.8	20.4	18.6	1.8	12.4	2.7	38.9	2.7			
	漁業	11	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	45.5	0.0			
	商工サービス業自営	120	52.5	20.0	12.5	3.3	12.5	3.3	30.8	2.5			
	事務職	181	49.2	18.2	17.7	3.9	9.9	7.7	29.8	1.1			
	技術職	168	50.6	26.8	19.6	3.0	11.3	7.1	32.7	0.0			
	労務職	169	39.1	17.8	13.6	4.1	11.2	2.4	45.0	0.6			
	管理職	59	42.4	25.4	22.0	3.4	11.9	0.0	39.0	3.4			
	自由業	30	43.3	20.0	26.7	3.3	16.7	3.3	30.0	0.0			
	主婦	254	57.5	18.1	26.0	5.1	18.9	3.1	24.4	0.4			
	学生	22	27.3	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5	50.0	4.5			
	無職	398	57.0	21.9	17.8	4.3	19.3	3.0	28.4	1.3			
	その他	132	50.0	13.6	12.9	3.0	14.4	3.0	31.8	1.5			
	無回答	22	63.6	9.1	13.6	0.0	9.1	0.0	27.3	4.5			
状 況 別	未婚	290	43.1	13.1	13.1	3.1	8.3	5.2	38.3	1.7			
	既婚	1106	52.3	21.8	21.0	4.6	16.9	3.8	29.6	0.9			
	その他	240	51.7	20.0	11.7	0.8	10.8	2.5	37.5	0.8			
	無回答	43	51.2	9.3	14.0	2.3	18.6	4.7	20.9	9.3			
子 ど も の 状 況 別	就学前の子どもがいる	159	47.8	21.4	23.9	5.7	13.8	5.0	30.2	0.0			
	小学生の子どもがいる	182	48.9	24.2	24.2	5.5	12.1	6.0	30.2	1.1			
	中学生の子どもがいる	122	44.3	19.7	18.9	2.5	18.0	4.9	33.6	0.8			
	高校生の子どもがいる	126	38.9	22.2	21.4	2.4	15.9	4.8	37.3	0.8			
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	44.7	28.2	29.1	4.9	16.5	2.9	34.0	1.9			
	その他	817	55.1	21.7	19.0	3.1	17.3	2.9	29.3	0.6			
	子どもはいない	403	46.4	14.4	14.4	4.7	10.2	4.5	35.7	2.5			
	無回答	44	63.6	13.6	13.6	0.0	15.9	0.0	22.7	4.5			
世 帯 の 年 間 収 入 別	0～100万円未満	156	48.7	12.2	12.2	4.5	16.0	3.2	35.3	2.6			
	100～200万円未満	287	46.7	16.4	15.7	1.7	11.8	1.4	38.3	1.4			
	200～300万円未満	338	54.7	16.9	18.3	2.4	16.0	3.0	31.1	0.6			
	300～400万円未満	255	47.5	19.2	18.0	5.9	17.6	4.3	30.6	1.2			
	400～600万円未満	284	50.7	25.7	21.5	4.6	14.4	7.0	30.6	1.1			
	600～800万円未満	145	48.3	24.1	17.2	4.8	10.3	5.5	30.3	0.7			
	800～1000万円未満	66	57.6	31.8	33.3	4.5	22.7	6.1	18.2	1.5			
	1000万円以上	58	53.4	27.6	29.3	8.6	12.1	1.7	27.6	1.7			
	無回答	90	55.6	15.6	7.8	0.0	10.0	2.2	33.3	2.2			
	広 域 市 町 村 圏 別	高知市	729	50.2	19.6	21.1	5.6	14.7	5.1	30.7	1.2		
安芸広域圏		118	50.0	18.6	12.7	0.8	16.1	5.1	33.9	0.0			
南国・香美広域圏		229	52.8	21.4	16.6	3.9	17.0	2.6	29.3	2.2			
嶺北広域圏		31	54.8	22.6	16.1	3.2	6.5	0.0	32.3	0.0			
仁淀川広域圏		130	54.6	19.2	16.9	3.1	14.6	2.3	29.2	1.5			
高吾北広域圏		67	35.8	16.4	11.9	1.5	11.9	1.5	52.2	0.0			
高幡広域圏		138	49.3	26.1	18.8	1.4	14.5	4.3	33.3	1.4			
幡多広域圏		210	51.9	15.7	16.2	1.9	13.3	2.9	31.9	1.0			
無回答		27	51.9	18.5	7.4	0.0	11.1	0.0	37.0	3.7			
部 別		沿岸部	645	51.2	17.8	16.9	3.6	16.9	4.8	31.5	1.4		
	非沿岸部	953	50.3	21.2	19.1	4.2	13.2	3.6	32.1	1.2			
	無回答	81	49.4	17.3	16.0	0.0	12.3	0.0	34.6	1.2			

問4.南海地震は、昼夜を問わず、いつ発生するかわかりません。さまざまな場面での対処について考えておく必要がありますが、ご自宅で強い揺れに見舞われたときの「避難場所」を確認していますか。(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	確認している	確認していない	無回答
総合	実数	1679	1157	505	17
	%		68.9	30.1	1.0
性別	男性	749	68.0	31.2	0.8
	女性	914	69.6	29.3	1.1
	無回答	16	75.0	18.8	6.3
年代別	20歳代	125	57.6	42.4	0.0
	30歳代	221	65.6	34.4	0.0
	40歳代	228	68.9	31.1	0.0
	50歳代	310	66.5	32.9	0.6
	60歳代	401	75.6	22.9	1.5
	70歳以上	379	69.9	28.0	2.1
	無回答	15	60.0	33.3	6.7
職業別	農林業	113	65.5	31.0	3.5
	漁業	11	90.9	9.1	0.0
	商工サービス業自営	120	76.7	21.7	1.7
	事務職	181	66.3	33.1	0.6
	技術職	168	69.6	30.4	0.0
	労務職	169	63.9	35.5	0.6
	管理職	59	55.9	44.1	0.0
	自由業	30	46.7	53.3	0.0
	主婦	254	72.4	26.0	1.6
	学生	22	68.2	31.8	0.0
	無職	398	73.9	25.4	0.8
	その他	132	63.6	35.6	0.8
	無回答	22	54.5	40.9	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	59.3	40.3	0.3
	既婚	1106	72.2	26.8	1.0
	その他	240	64.6	34.6	0.8
	無回答	43	72.1	20.9	7.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	68.6	31.4	0.0
	小学生の子どもがいる	182	73.6	25.8	0.5
	中学生の子どもがいる	122	77.0	22.1	0.8
	高校生の子どもがいる	126	74.6	25.4	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	73.8	24.3	1.9
	その他	817	71.2	27.5	1.2
	子どもはいない	403	62.3	36.7	1.0
	無回答	44	70.5	27.3	2.3
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	70.5	28.2	1.3
	100~200万円未満	287	67.6	31.0	1.4
	200~300万円未満	338	71.6	26.9	1.5
	300~400万円未満	255	69.0	30.6	0.4
	400~600万円未満	284	70.1	28.9	1.1
	600~800万円未満	145	62.8	36.6	0.7
	800~1000万円未満	66	68.2	31.8	0.0
	1000万円以上	58	67.2	32.8	0.0
	無回答	90	67.8	31.1	1.1
	広域市町村圏別	高知市	729	64.5	34.3
安芸広域圏		118	83.1	16.9	0.0
南国・香美広域圏		229	71.2	27.5	1.3
嶺北広域圏		31	58.1	35.5	6.5
仁淀川広域圏		130	70.0	30.0	0.0
高吾北広域圏		67	53.7	44.8	1.5
高幡広域圏		138	70.3	29.0	0.7
幡多広域圏		210	78.6	21.4	0.0
無回答	27	70.4	25.9	3.7	
部沿別	沿岸部	645	76.0	23.6	0.5
	非沿岸部	953	64.5	34.2	1.3
	無回答	81	64.2	33.3	2.5

問4副問1.(問4で「1」を選んだ方のみお答えください。)避難場所や避難経路に対して、不安はありますか。(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	不 安 が あ る	不 安 が な い	無 回 答
総 合	実数	1157	774	369	14
	%		66.9	31.9	1.2
性 別	男性	509	62.1	37.3	0.6
	女性	636	70.6	27.7	1.7
	無回答	12	75.0	25.0	0.0
年 代 別	20歳代	72	65.3	33.3	1.4
	30歳代	145	69.0	31.0	0.0
	40歳代	157	69.4	29.9	0.6
	50歳代	206	64.1	35.0	1.0
	60歳代	303	65.3	33.3	1.3
	70歳以上	265	68.7	29.1	2.3
	無回答	9	66.7	33.3	0.0
職 業 別	農林業	74	59.5	36.5	4.1
	漁業	10	90.0	10.0	0.0
	商工サービス業自営	92	59.8	40.2	0.0
	事務職	120	65.8	33.3	0.8
	技術職	117	70.9	29.1	0.0
	労務職	108	69.4	30.6	0.0
	管理職	33	63.6	36.4	0.0
	自由業	14	71.4	28.6	0.0
	主婦	184	66.3	32.1	1.6
	学生	15	60.0	40.0	0.0
	無職	294	66.3	31.3	2.4
	その他	84	73.8	26.2	0.0
	無回答	12	83.3	16.7	0.0
状 況 別 婚 姻	未婚	172	66.3	32.0	1.7
	既婚	799	66.1	33.0	0.9
	その他	155	69.0	29.0	1.9
	無回答	31	80.6	16.1	3.2
子 ど も の 状 況 別	就学前の子どもがいる	109	77.1	22.0	0.9
	小学生の子どもがいる	134	70.1	27.6	2.2
	中学生の子どもがいる	94	71.3	28.7	0.0
	高校生の子どもがいる	94	66.0	34.0	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	76	61.8	38.2	0.0
	その他	582	65.3	34.0	0.7
	子どもはいない	251	64.1	33.5	2.4
	無回答	31	71.0	25.8	3.2
世 帯 の 年 間 収 入 別	0~100万円未満	110	62.7	34.5	2.7
	100~200万円未満	194	66.0	33.0	1.0
	200~300万円未満	242	66.9	32.2	0.8
	300~400万円未満	176	66.5	33.5	0.0
	400~600万円未満	199	72.4	27.6	0.0
	600~800万円未満	91	64.8	33.0	2.2
	800~1000万円未満	45	62.2	37.8	0.0
	1000万円以上	39	59.0	38.5	2.6
	無回答	61	72.1	21.3	6.6
	広 域 市 町 村 圏 別	高知市	470	69.4	30.0
安芸広域圏		98	81.6	16.3	2.0
南国・香美広域圏		163	55.2	44.2	0.6
嶺北広域圏		18	72.2	27.8	0.0
仁淀川広域圏		91	62.6	36.3	1.1
高吾北広域圏		36	66.7	33.3	0.0
高幡広域圏		97	66.0	30.9	3.1
幡多広域圏		165	66.1	32.1	1.8
無回答		19	57.9	36.8	5.3
部 沿 岸 別	沿岸部	490	73.7	25.3	1.0
	非沿岸部	615	62.3	36.9	0.8
	無回答	52	57.7	34.6	7.7

問4副問2.(副問1で「1」を選んだ方のみお答えください。)どのような不安か教えてください。(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	(避 難 場 所 へ の 移 動 が 不 安 な り の 手 段 な ど )	あ る な ど ( 例 難 場 所 の 安 全 性 が 不 安 な り の 手 段 な ど )	ク ハ ン ダ ン な り の 手 段 な ど ( 例 難 場 所 の 安 全 性 が 不 安 な り の 手 段 な ど )	そ の 他 ( 例 難 場 所 の 安 全 性 が 不 安 な り の 手 段 な ど )	無 回 答
総合	実数	774	444	300	290	62	17
	%		57.4	38.8	37.5	8.0	2.2
性別	男性	316	53.2	39.2	37.7	10.1	1.9
	女性	449	60.6	38.1	37.9	6.7	2.2
	無回答	9	44.4	55.6	11.1	0.0	11.1
年代別	20歳代	47	55.3	48.9	38.3	6.4	0.0
	30歳代	100	61.0	45.0	33.0	8.0	1.0
	40歳代	109	53.2	39.4	38.5	11.0	3.7
	50歳代	132	47.7	47.0	34.8	8.3	1.5
	60歳代	198	57.6	37.9	38.4	8.1	3.0
	70歳以上	182	65.9	25.8	40.7	6.6	2.2
	無回答	6	33.3	83.3	16.7	0.0	0.0
職業別	農林業	44	50.0	47.7	43.2	4.5	0.0
	漁業	9	66.7	33.3	55.6	11.1	0.0
	商工サービス業自営	55	49.1	40.0	45.5	10.9	1.8
	事務職	79	62.0	44.3	34.2	5.1	2.5
	技術職	83	49.4	43.4	44.6	10.8	0.0
	労務職	75	50.7	48.0	36.0	9.3	2.7
	管理職	21	47.6	28.6	28.6	14.3	4.8
	自由業	10	70.0	10.0	20.0	10.0	0.0
	主婦	122	56.6	40.2	32.8	9.0	0.8
	学生	9	66.7	44.4	44.4	11.1	0.0
	無職	195	65.1	30.3	39.5	7.2	3.1
	その他	62	59.7	37.1	32.3	4.8	4.8
	無回答	10	50.0	50.0	10.0	0.0	10.0
状況別 婚姻	未婚	114	52.6	41.2	39.5	7.9	2.6
	既婚	528	57.8	40.2	38.4	8.0	1.7
	その他	107	63.6	27.1	29.9	9.3	3.7
	無回答	25	44.0	48.0	40.0	4.0	4.0
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	84	60.7	36.9	34.5	7.1	3.6
	小学生の子どもがいる	94	56.4	31.9	37.2	9.6	3.2
	中学生の子どもがいる	67	59.7	34.3	43.3	11.9	1.5
	高校生の子がいる	62	62.9	32.3	40.3	11.3	3.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	47	53.2	40.4	40.4	12.8	0.0
	その他	380	57.1	36.6	37.1	6.6	2.6
	子どもはいない	161	56.5	44.7	36.6	9.9	1.2
	無回答	22	50.0	50.0	31.8	0.0	0.0
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	69	66.7	30.4	34.8	5.8	5.8
	100~200万円未満	128	53.9	35.2	33.6	10.9	2.3
	200~300万円未満	162	54.9	36.4	40.1	5.6	3.7
	300~400万円未満	117	59.0	36.8	44.4	10.3	0.0
	400~600万円未満	144	57.6	45.1	34.7	6.3	2.8
	600~800万円未満	59	57.6	44.1	33.9	6.8	0.0
	800~1000万円未満	28	46.4	46.4	46.4	14.3	0.0
	1000万円以上	23	52.2	43.5	21.7	8.7	0.0
	無回答	44	65.9	40.9	40.9	9.1	0.0
広域 市町 村 圏別	高知市	326	61.3	35.3	37.4	8.3	2.1
	安芸広域圏	80	63.8	36.3	37.5	7.5	1.3
	南国・香美広域圏	90	51.1	43.3	33.3	7.8	4.4
	嶺北広域圏	13	38.5	38.5	53.8	15.4	0.0
	仁淀川広域圏	57	56.1	43.9	31.6	3.5	5.3
	高吾北広域圏	24	20.8	45.8	50.0	4.2	4.2
	高幡広域圏	64	59.4	37.5	43.8	10.9	0.0
	幡多広域圏	109	55.0	42.2	36.7	8.3	0.9
無回答	11	63.6	54.5	27.3	9.1	0.0	
部 別 沿岸	沿岸部	361	59.8	42.9	36.3	7.8	1.7
	非沿岸部	383	54.8	35.0	39.2	8.1	2.6
	無回答	30	60.0	36.7	30.0	10.0	3.3

問5.あなたは、いざというときに「地域の支え合い」は大事だと思いますか。(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	大 事 だ と 思 う	大 事 だ と 思 わ な い	無 回 答
総合	実数	1679	1644	26	9
	%		97.9	1.5	0.5
性別	男性	749	98.4	1.2	0.4
	女性	914	97.7	1.8	0.5
	無回答	16	87.5	6.3	6.3
年代別	20歳代	125	96.0	3.2	0.8
	30歳代	221	97.7	2.3	0.0
	40歳代	228	99.1	0.9	0.0
	50歳代	310	98.4	1.6	0.0
	60歳代	401	98.0	1.2	0.7
	70歳以上	379	97.9	1.1	1.1
	無回答	15	86.7	6.7	6.7
職業別	農林業	113	95.6	3.5	0.9
	漁業	11	100.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	120	98.3	0.0	1.7
	事務職	181	98.9	1.1	0.0
	技術職	168	97.6	2.4	0.0
	労務職	169	99.4	0.0	0.6
	管理職	59	96.6	3.4	0.0
	自由業	30	100.0	0.0	0.0
	主婦	254	97.2	2.4	0.4
	学生	22	100.0	0.0	0.0
	無職	398	98.2	1.0	0.8
	その他	132	97.7	2.3	0.0
	無回答	22	90.9	4.5	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	98.6	0.7	0.7
	既婚	1106	98.3	1.4	0.4
	その他	240	96.7	2.9	0.4
	無回答	43	90.7	4.7	4.7
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	98.1	1.9	0.0
	小学生の子どもがいる	182	97.8	1.6	0.5
	中学生の子どもがいる	122	96.7	2.5	0.8
	高校生の子どもがいる	126	98.4	1.6	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	97.1	1.9	1.0
	その他	817	98.3	1.5	0.2
	子どもはいない	403	97.5	1.5	1.0
	無回答	44	95.5	2.3	2.3
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	156	97.4	1.3	1.3
	100~200万円未満	287	96.5	2.4	1.0
	200~300万円未満	338	98.5	0.9	0.6
	300~400万円未満	255	97.6	2.4	0.0
	400~600万円未満	284	99.3	0.4	0.4
	600~800万円未満	145	99.3	0.7	0.0
	800~1000万円未満	66	97.0	3.0	0.0
	1000万円以上	58	98.3	1.7	0.0
	無回答	90	95.6	3.3	1.1
	広域市 町村 圏別	高知市	729	97.0	2.2
安芸広域圏		118	97.5	2.5	0.0
南国・香美広域圏		229	98.3	1.3	0.4
嶺北広域圏		31	100.0	0.0	0.0
仁淀川広域圏		130	98.5	1.5	0.0
高吾北広域圏		67	98.5	1.5	0.0
高幡広域圏		138	99.3	0.0	0.7
幡多広域圏		210	100.0	0.0	0.0
無回答		27	92.6	3.7	3.7
部 別 沿岸	沿岸部	645	97.8	1.6	0.6
	非沿岸部	953	98.2	1.4	0.4
	無回答	81	95.1	3.7	1.2

問5副問。(問5で「1」を選んだ方のみお答えください。)あなたのお住まいの地域での「支え合い」について、どのように感じていますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	に お 頼 り に な る と い う と き に	日 ご ら い を 同 じ と し て	日 ご ら い を 同 じ と し て	交 流 の た り あ い を 同 じ と し て	以 前 に 比 べ る に 近 い と い う と き に	な ら ず に 近 い と い う と き に	日 ご ら い を 同 じ と し て	そ の 他	無 回 答
総 合	実数	1644	647	542	386	54	15				
	%		39.4	33.0	23.5	3.3	0.9				
性 別	男性	737	36.6	34.5	25.2	2.7	0.9				
	女性	893	41.3	31.7	22.3	3.8	0.9				
	無回答	14	57.1	35.7	7.1	0.0	0.0				
年 代 別	20歳代	120	30.0	30.0	34.2	5.0	0.8				
	30歳代	216	30.6	26.4	39.8	2.8	0.5				
	40歳代	226	31.0	34.1	30.1	4.4	0.4				
	50歳代	305	40.3	31.1	26.2	2.0	0.3				
	60歳代	393	37.9	38.2	18.8	4.1	1.0				
	70歳以上	371	52.8	32.6	10.0	2.7	1.9				
	無回答	13	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0				
職 業 別	農林業	108	61.1	29.6	6.5	0.9	1.9				
	漁業	11	45.5	54.5	0.0	0.0	0.0				
	商工サービス業自営	118	47.5	29.7	20.3	2.5	0.0				
	事務職	179	35.8	29.6	31.8	2.8	0.0				
	技術職	164	33.5	30.5	32.3	3.0	0.6				
	労務職	168	26.8	36.9	31.5	4.2	0.6				
	管理職	57	33.3	28.1	38.6	0.0	0.0				
	自由業	30	30.0	46.7	20.0	0.0	3.3				
	主婦	247	40.1	31.6	23.5	3.6	1.2				
	学生	22	22.7	45.5	18.2	9.1	4.5				
	無職	391	43.2	34.3	17.1	3.8	1.5				
	その他	129	33.3	34.1	27.1	5.4	0.0				
	無回答	20	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0				
状 況 別	未婚	286	34.3	31.5	29.4	3.5	1.4				
	既婚	1087	39.8	33.9	22.4	3.0	0.8				
	その他	232	39.2	31.5	25.0	3.9	0.4				
	無回答	39	64.1	25.6	2.6	5.1	2.6				
子 ど も の 状 況 別	就学前の子どもがいる	156	35.3	20.5	39.7	4.5	0.0				
	小学生の子どもがいる	178	43.3	32.0	20.2	3.4	1.1				
	中学生の子どもがいる	118	33.1	35.6	22.9	5.9	2.5				
	高校生の子どもがいる	124	41.9	30.6	22.6	2.4	2.4				
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	100	37.0	29.0	28.0	5.0	1.0				
	その他	803	43.1	36.7	17.1	2.5	0.6				
	子どもはいない	393	33.8	29.3	32.3	3.8	0.8				
	無回答	42	50.0	33.3	9.5	2.4	4.8				
世 帯 の 年 間 収 入 別	0~100万円未満	152	45.4	34.2	17.8	2.6	0.0				
	100~200万円未満	277	42.6	33.6	19.9	2.9	1.1				
	200~300万円未満	333	42.3	31.8	21.6	3.0	1.2				
	300~400万円未満	249	36.5	34.9	23.3	4.4	0.8				
	400~600万円未満	282	30.9	35.8	29.1	3.5	0.7				
	600~800万円未満	144	40.3	25.7	31.3	2.8	0.0				
	800~1000万円未満	64	40.6	26.6	25.0	7.8	0.0				
	1000万円以上	57	36.8	36.8	24.6	1.8	0.0				
	無回答	86	41.9	32.6	19.8	1.2	4.7				
	広 域 市 町 村 圏 別	高知市	707	28.7	31.5	35.1	3.7	1.0			
安芸広域圏		115	41.7	32.2	18.3	6.1	1.7				
南国・香美広域圏		225	37.3	42.2	17.3	3.1	0.0				
嶺北広域圏		31	61.3	22.6	12.9	3.2	0.0				
仁淀川広域圏		128	47.7	32.8	17.2	1.6	0.8				
高吾北広域圏		66	53.0	39.4	6.1	1.5	0.0				
高幡広域圏		137	53.3	29.9	12.4	3.6	0.7				
幡多広域圏		210	54.3	30.0	11.9	2.4	1.4				
無回答		25	40.0	32.0	24.0	0.0	4.0				
部 岸 別	沿岸部	631	36.5	35.3	23.5	3.6	1.1				
	非沿岸部	936	40.5	31.9	23.6	3.1	0.9				
	無回答	77	49.4	26.0	22.1	2.6	0.0				

問6.大規模災害が発生した場合には、地域での自主防災活動が非常に重要となります。あなたのお住まいの地域に「自主防災組織」はありますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	ある	ない	わからない	無回答
総合	実数	1679	600	271	799	9
	%		35.7	16.1	47.6	0.5
性別	男性	749	36.7	19.5	43.3	0.5
	女性	914	35.0	13.0	51.4	0.5
	無回答	16	31.3	37.5	31.3	0.0
年代別	20歳代	125	19.2	10.4	70.4	0.0
	30歳代	221	19.5	9.5	71.0	0.0
	40歳代	228	25.9	13.2	61.0	0.0
	50歳代	310	43.9	13.9	41.9	0.3
	60歳代	401	43.4	16.0	40.1	0.5
	70歳以上	379	41.7	25.1	31.7	1.6
	無回答	15	40.0	33.3	26.7	0.0
職業別	農林業	113	47.8	27.4	23.9	0.9
	漁業	11	45.5	18.2	36.4	0.0
	商工サービス業自営	120	48.3	20.8	30.8	0.0
	事務職	181	27.6	12.2	59.7	0.6
	技術職	168	32.7	12.5	54.8	0.0
	労務職	169	27.8	14.2	57.4	0.6
	管理職	59	32.2	13.6	54.2	0.0
	自由業	30	20.0	3.3	76.7	0.0
	主婦	254	34.3	13.0	52.4	0.4
	学生	22	18.2	22.7	59.1	0.0
	無職	398	41.7	18.1	38.9	1.3
	その他	132	31.1	16.7	52.3	0.0
	無回答	22	36.4	22.7	40.9	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	21.0	13.1	65.5	0.3
	既婚	1106	40.1	17.3	42.2	0.5
	その他	240	32.5	12.9	54.2	0.4
	無回答	43	41.9	25.6	27.9	4.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	23.3	8.8	67.9	0.0
	小学生の子どもがいる	182	35.2	15.4	49.5	0.0
	中学生の子どもがいる	122	41.8	17.2	41.0	0.0
	高校生の子どもがいる	126	44.4	17.5	38.1	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	31.1	18.4	49.5	1.0
	その他	817	43.5	18.8	37.5	0.2
	子どもはいない	403	24.8	12.7	61.3	1.2
	無回答	44	31.8	22.7	43.2	2.3
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	33.3	14.7	50.6	1.3
	100~200万円未満	287	34.5	18.5	47.0	0.0
	200~300万円未満	338	33.1	17.8	48.5	0.6
	300~400万円未満	255	40.8	14.5	43.9	0.8
	400~600万円未満	284	39.8	13.7	46.1	0.4
	600~800万円未満	145	36.6	13.1	49.7	0.7
	800~1000万円未満	66	39.4	19.7	40.9	0.0
	1000万円以上	58	24.1	19.0	56.9	0.0
	無回答	90	30.0	17.8	51.1	1.1
	広域市町村圏別	高知市	729	24.7	14.3	60.5
安芸広域圏		118	50.8	16.1	33.1	0.0
南国・香美広域圏		229	52.0	12.2	35.8	0.0
嶺北広域圏		31	45.2	19.4	35.5	0.0
仁淀川広域圏		130	39.2	20.8	40.0	0.0
高吾北広域圏		67	49.3	17.9	32.8	0.0
高幡広域圏		138	29.0	26.1	43.5	1.4
幡多広域圏		210	43.3	17.1	38.6	1.0
無回答		27	44.4	11.1	40.7	3.7
部別 沿岸	沿岸部	645	36.6	16.3	46.8	0.3
	非沿岸部	953	35.0	15.8	48.8	0.3
	無回答	81	37.0	18.5	39.5	4.9

問6副問.(問6で「1」を選んだ方のみお答えください。)お住まいの地域の「自主防災組織」の活動に参加をしていますか。  
(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サン プル	積 極 的 に 参 加 し て い る	時 々 参 加 し て い る	い ま り 参 加 し て い な い	今 後 は 参 加 し た い が 、	参 加 し て い な い も つ も	無 回 答
総合	実数	600	166	155	134	126	16	3
	%		27.7	25.8	22.3	21.0	2.7	0.5
性別	男性	275	29.8	30.5	20.7	15.3	2.9	0.7
	女性	320	26.3	21.6	23.4	26.3	2.2	0.3
	無回答	5	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
年代別	20歳代	24	20.8	20.8	33.3	25.0	0.0	0.0
	30歳代	43	18.6	14.0	37.2	27.9	2.3	0.0
	40歳代	59	16.9	25.4	25.4	28.8	1.7	1.7
	50歳代	136	27.2	22.8	26.5	21.3	2.2	0.0
	60歳代	174	29.3	28.7	16.1	21.8	3.4	0.6
	70歳以上	158	34.8	29.1	17.7	15.2	2.5	0.6
	無回答	6	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0
職業別	農林業	54	35.2	29.6	20.4	11.1	3.7	0.0
	漁業	5	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	商工サービス業自営	58	25.9	27.6	24.1	20.7	1.7	0.0
	事務職	50	16.0	26.0	32.0	24.0	2.0	0.0
	技術職	55	20.0	25.5	23.6	27.3	3.6	0.0
	労務職	47	17.0	25.5	31.9	21.3	2.1	2.1
	管理職	19	26.3	15.8	42.1	15.8	0.0	0.0
	自由業	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	主婦	87	29.9	25.3	13.8	29.9	1.1	0.0
	学生	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	無職	166	34.9	24.1	19.3	17.5	3.0	1.2
	その他	41	22.0	31.7	17.1	26.8	2.4	0.0
	無回答	8	0.0	25.0	62.5	0.0	12.5	0.0
状況別 婚姻	未婚	61	19.7	24.6	29.5	23.0	3.3	0.0
	既婚	443	30.2	25.7	19.9	21.0	2.5	0.7
	その他	78	20.5	25.6	29.5	21.8	2.6	0.0
	無回答	18	22.2	33.3	27.8	11.1	5.6	0.0
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	37	24.3	21.6	21.6	27.0	5.4	0.0
	小学生の子どもがいる	64	31.3	18.8	21.9	26.6	0.0	1.6
	中学生の子どもがいる	51	25.5	19.6	27.5	27.5	0.0	0.0
	高校生の子どもがいる	56	23.2	26.8	28.6	21.4	0.0	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	32	31.3	21.9	28.1	15.6	3.1	0.0
	その他	355	30.7	28.2	19.7	17.5	3.4	0.6
	子どもはいない	100	17.0	24.0	27.0	30.0	2.0	0.0
	無回答	14	35.7	28.6	21.4	7.1	7.1	0.0
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	52	36.5	11.5	26.9	21.2	1.9	1.9
	100~200万円未満	99	22.2	29.3	25.3	21.2	2.0	0.0
	200~300万円未満	112	28.6	31.3	17.0	18.8	4.5	0.0
	300~400万円未満	104	26.0	22.1	23.1	24.0	3.8	1.0
	400~600万円未満	113	27.4	28.3	19.5	22.1	1.8	0.9
	600~800万円未満	53	22.6	32.1	22.6	20.8	1.9	0.0
	800~1000万円未満	26	42.3	15.4	19.2	19.2	3.8	0.0
	1000万円以上	14	21.4	35.7	35.7	7.1	0.0	0.0
	無回答	27	33.3	14.8	29.6	22.2	0.0	0.0
	広域市 町村 圏別	高知市	180	22.2	25.0	22.8	26.1	3.3
安芸広域圏		60	26.7	40.0	21.7	8.3	3.3	0.0
南国・香美広域圏		119	25.2	26.9	23.5	21.0	3.4	0.0
嶺北広域圏		14	35.7	14.3	7.1	42.9	0.0	0.0
仁淀川広域圏		51	39.2	13.7	23.5	19.6	3.9	0.0
高吾北広域圏		33	21.2	33.3	18.2	24.2	3.0	0.0
高幡広域圏		40	22.5	30.0	32.5	12.5	0.0	2.5
幡多広域圏		91	40.7	23.1	16.5	17.6	1.1	1.1
無回答		12	16.7	8.3	41.7	33.3	0.0	0.0
部 別 沿岸		沿岸部	236	30.9	29.2	22.0	14.0	2.5
	非沿岸部	334	25.7	25.4	21.0	24.9	3.0	0.0
	無回答	30	23.3	3.3	40.0	33.3	0.0	0.0



問7.あなたは、過去1年間に地域の自主防災組織や職場などの地震防災訓練に参加したことがありますか。(どちらかに○印)  
(単位:人、%)

		サ ン プ ル	参 加 し た	参 加 し て い な い	無 回 答
総合	実数	1679	377	1287	15
	%		22.5	76.7	0.9
性別	男性	749	25.0	74.0	1.1
	女性	914	20.7	78.6	0.8
	無回答	16	6.3	93.8	0.0
年代別	20歳代	125	19.2	79.2	1.6
	30歳代	221	19.9	79.6	0.5
	40歳代	228	22.8	76.8	0.4
	50歳代	310	28.4	71.6	0.0
	60歳代	401	21.9	77.1	1.0
	70歳以上	379	21.1	77.0	1.8
	無回答	15	6.7	93.3	0.0
職業別	農林業	113	25.7	72.6	1.8
	漁業	11	45.5	54.5	0.0
	商工サービス業自営	120	25.8	73.3	0.8
	事務職	181	26.0	73.5	0.6
	技術職	168	28.6	70.8	0.6
	労務職	169	17.2	81.1	1.8
	管理職	59	27.1	72.9	0.0
	自由業	30	23.3	76.7	0.0
	主婦	254	15.7	83.9	0.4
	学生	22	22.7	77.3	0.0
	無職	398	20.9	77.6	1.5
	その他	132	27.3	72.7	0.0
	無回答	22	4.5	95.5	0.0
	状況別 婚姻	未婚	290	20.3	78.6
既婚		1106	24.8	74.3	0.9
その他		240	15.8	84.2	0.0
無回答		43	14.0	81.4	4.7
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	17.6	82.4	0.0
	小学生の子どもがいる	182	22.5	76.9	0.5
	中学生の子どもがいる	122	26.2	73.8	0.0
	高校生の子どもがいる	126	33.3	66.7	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	33.0	66.0	1.0
	その他	817	23.0	76.5	0.5
	子どもはいない	403	19.9	78.7	1.5
無回答	44	20.5	72.7	6.8	
世帯の 年間 収入別	0～100万円未満	156	21.8	77.6	0.6
	100～200万円未満	287	15.7	82.9	1.4
	200～300万円未満	338	18.6	80.8	0.6
	300～400万円未満	255	24.7	74.5	0.8
	400～600万円未満	284	25.0	73.9	1.1
	600～800万円未満	145	32.4	67.6	0.0
	800～1000万円未満	66	31.8	66.7	1.5
	1000万円以上	58	20.7	79.3	0.0
	無回答	90	23.3	74.4	2.2
広域市 町村 圏別	高知市	729	16.2	83.0	0.8
	安芸広域圏	118	39.0	61.0	0.0
	南国・香美広域圏	229	24.9	74.7	0.4
	嶺北広域圏	31	29.0	67.7	3.2
	仁淀川広域圏	130	26.2	73.8	0.0
	高吾北広域圏	67	23.9	76.1	0.0
	高幡広域圏	138	15.2	82.6	2.2
	幡多広域圏	210	32.9	65.7	1.4
	無回答	27	25.9	70.4	3.7
部沿 岸別	沿岸部	645	28.2	71.3	0.5
	非沿岸部	953	19.3	79.7	0.9
	無回答	81	13.6	82.7	3.7

問8.県では、これまでに、大きく分けて次の1～7の方向に基づき取り組みを進めてきました。1～7について、あなたが、取り組みが進んできたと思うものはどれですか。(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	地産外商の加速化	県内での「ものづく」の推進	地産地消の徹底	観光の推進	地域産業の育成強化	新産業の創出	人材の育成	わだれも進んでいると思	わからない	無回答
総合	実数	1679	876	330	511	857	124	108	93	153	339	9
	%		52.2	19.7	30.4	51.0	7.4	6.4	5.5	9.1	20.2	0.5
性別	男性	749	51.8	20.3	25.6	51.1	8.5	7.2	5.6	11.1	17.8	0.7
	女性	914	52.8	19.3	34.6	51.3	6.6	5.9	5.6	7.5	21.6	0.4
	無回答	16	31.3	12.5	18.8	31.3	0.0	0.0	0.0	6.3	56.3	0.0
年代別	20歳代	125	49.6	16.0	34.4	66.4	4.0	5.6	4.0	4.8	12.0	0.8
	30歳代	221	55.7	14.9	28.1	51.1	3.6	4.5	3.6	11.3	13.1	0.0
	40歳代	228	58.3	19.3	31.6	50.9	3.9	4.4	5.3	11.8	12.7	0.4
	50歳代	310	53.9	23.9	32.3	53.5	6.8	5.2	3.9	12.9	14.5	0.0
	60歳代	401	50.1	20.7	29.7	49.6	10.5	8.2	6.7	8.5	23.4	0.7
	70歳以上	379	49.1	19.8	30.1	46.4	10.3	8.4	7.7	5.0	31.1	1.1
	無回答	15	26.7	6.7	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0	13.3	60.0	0.0
職業別	農林業	113	53.1	29.2	28.3	40.7	12.4	5.3	6.2	7.1	24.8	0.0
	漁業	11	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	36.4	0.0
	商工サービス業自営	120	53.3	19.2	35.8	50.8	6.7	7.5	6.7	11.7	19.2	0.8
	事務職	181	56.4	19.9	31.5	54.1	6.6	5.0	3.3	9.4	11.0	0.6
	技術職	168	57.7	25.0	36.9	58.9	7.1	5.4	4.8	10.1	9.5	0.0
	労務職	169	52.7	17.8	21.9	48.5	4.1	5.3	3.0	15.4	13.6	0.0
	管理職	59	57.6	13.6	32.2	55.9	1.7	1.7	5.1	13.6	10.2	0.0
	自由業	30	50.0	10.0	13.3	53.3	3.3	10.0	6.7	10.0	10.0	0.0
	主婦	254	55.1	20.9	39.4	53.5	5.5	5.5	6.3	7.1	21.7	0.0
	学生	22	54.5	13.6	36.4	63.6	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	0.0
	無職	398	47.5	20.4	27.1	49.7	11.3	9.8	7.8	5.8	29.4	1.8
	その他	132	50.8	12.1	28.8	53.0	6.1	5.3	4.5	9.8	19.7	0.0
	無回答	22	18.2	4.5	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0	9.1	72.7	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	49.7	15.9	22.4	54.5	3.4	5.2	3.8	7.2	19.7	0.3
	既婚	1106	55.8	21.2	34.4	52.1	8.4	7.4	6.1	9.2	17.6	0.4
	その他	240	44.2	18.8	25.0	47.1	7.9	3.8	5.4	10.4	26.7	0.8
	無回答	43	20.9	11.6	11.6	23.3	4.7	4.7	4.7	11.6	53.5	4.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	57.2	16.4	37.1	54.1	3.1	4.4	5.0	11.3	14.5	0.0
	小学生の子どもがいる	182	58.2	22.0	31.3	49.5	7.1	6.0	6.0	8.8	18.1	0.5
	中学生の子どもがいる	122	53.3	18.9	33.6	47.5	4.1	4.1	5.7	9.0	21.3	0.8
	高校生の子どもがいる	126	63.5	22.2	38.1	53.2	6.3	6.3	5.6	7.1	13.5	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	62.1	30.1	37.9	57.3	8.7	5.8	6.8	10.7	12.6	1.0
	その他	817	52.9	21.9	31.8	49.7	9.7	8.0	5.9	8.4	22.5	0.4
	子どもはいない	403	49.9	17.9	26.1	54.6	5.7	5.5	5.7	8.7	17.6	0.7
	無回答	44	31.8	6.8	9.1	31.8	2.3	2.3	2.3	6.8	45.5	2.3
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	31.4	15.4	18.6	37.8	6.4	5.1	7.1	9.0	40.4	1.3
	100～200万円未満	287	45.3	16.7	25.4	42.9	7.3	7.0	4.2	10.1	26.1	0.7
	200～300万円未満	338	50.0	18.6	29.3	50.9	5.3	6.8	6.2	8.0	23.4	0.6
	300～400万円未満	255	58.8	21.2	36.9	56.5	8.6	5.5	5.9	8.2	15.7	0.0
	400～600万円未満	284	62.3	25.0	35.2	55.3	9.9	7.4	6.7	9.5	10.9	0.4
	600～800万円未満	145	64.1	13.8	35.2	62.1	5.5	5.5	4.1	10.3	7.6	0.0
	800～1000万円未満	66	63.6	34.8	39.4	62.1	7.6	1.5	6.1	15.2	1.5	0.0
	1000万円以上	58	60.3	20.7	37.9	56.9	6.9	8.6	5.2	10.3	8.6	0.0
	無回答	90	34.4	16.7	18.9	42.2	8.9	8.9	2.2	4.4	37.8	2.2
	広域市町村圏別	高知市	729	55.3	19.6	35.1	54.5	6.4	6.7	7.1	11.0	15.5
安芸広域圏		118	50.8	20.3	20.3	50.0	7.6	5.1	3.4	5.1	23.7	0.0
南国・香美広域圏		229	54.1	21.8	36.7	57.2	7.9	7.0	5.7	6.1	17.9	0.9
嶺北広域圏		31	54.8	16.1	32.3	64.5	9.7	6.5	3.2	9.7	19.4	0.0
仁淀川広域圏		130	56.2	21.5	33.1	50.8	10.0	12.3	3.8	9.2	17.7	0.8
高吾北広域圏		67	46.3	16.4	11.9	44.8	3.0	1.5	6.0	6.0	35.8	0.0
高幡広域圏		138	48.6	18.8	26.1	38.4	7.2	0.7	2.9	9.4	26.8	1.4
幡多広域圏		210	42.9	18.1	20.5	40.5	10.0	6.7	4.8	9.5	29.5	1.0
無回答		27	40.7	18.5	25.9	59.3	3.7	11.1	0.0	3.7	18.5	3.7
部別 沿岸	沿岸部	645	49.9	17.5	27.4	47.9	7.8	6.4	4.5	10.4	21.6	0.8
	非沿岸部	953	54.8	21.5	32.8	53.8	7.2	6.5	6.3	8.3	18.7	0.3
	無回答	81	39.5	14.8	25.9	43.2	6.2	6.2	4.9	8.6	27.2	1.2

問9.あなたが、今後「高知県産業振興計画」をさらに進めるために、充実させた方がよいと思われる具体的な取り組みはどれですか。

		サンプル	る催県海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成	る外や外海取もの地観光化第6向食づ中み野成
総合	実数	1679	480	118	497	376	453	232	501	112	222	127
	%		28.6	7.0	29.6	22.4	27.0	13.8	29.8	6.7	13.2	7.6
性別	男性	749	28.2	7.9	29.4	18.3	29.8	17.5	32.7	5.9	16.6	8.4
	女性	914	29.3	6.5	29.4	25.8	25.1	10.8	27.6	7.2	10.6	7.0
	無回答	16	6.3	0.0	50.0	18.8	6.3	12.5	25.0	12.5	6.3	0.0
年代別	20歳代	125	25.6	8.0	24.8	21.6	40.8	14.4	27.2	5.6	12.0	12.8
	30歳代	221	30.3	12.7	23.1	21.3	35.7	11.8	24.0	6.3	12.2	12.7
	40歳代	228	30.7	9.2	32.0	20.2	25.0	15.4	26.3	5.3	12.3	10.1
	50歳代	310	27.4	7.4	32.3	20.3	31.3	15.5	33.9	5.2	15.8	6.5
	60歳代	401	31.2	5.2	30.9	23.9	22.7	15.2	34.9	7.7	15.0	5.2
	70歳以上	379	26.1	4.0	28.8	24.8	20.3	11.1	28.0	7.9	11.1	5.0
	無回答	15	13.3	0.0	60.0	20.0	6.7	13.3	20.0	13.3	6.7	0.0
職業別	農林業	113	25.7	2.7	31.9	25.7	19.5	20.4	35.4	8.8	15.0	2.7
	漁業	11	0.0	0.0	45.5	9.1	9.1	9.1	54.5	9.1	27.3	9.1
	商工サービス業自営	120	22.5	8.3	35.0	19.2	30.8	13.3	34.2	3.3	15.8	7.5
	事務職	181	37.0	10.5	30.4	27.1	32.0	13.3	31.5	1.7	13.3	8.8
	技術職	168	23.8	7.1	31.0	19.6	31.0	14.3	29.2	8.9	13.1	9.5
	労務職	169	26.6	4.7	36.7	19.5	26.0	14.8	24.9	6.5	19.5	8.9
	管理職	59	35.6	11.9	22.0	16.9	39.0	32.2	32.2	3.4	13.6	1.7
	自由業	30	36.7	6.7	33.3	13.3	30.0	10.0	23.3	16.7	10.0	16.7
	主婦	254	34.6	6.3	29.5	31.9	22.8	10.2	25.2	8.7	7.1	5.9
	学生	22	22.7	4.5	22.7	18.2	40.9	13.6	31.8	4.5	9.1	22.7
	無職	398	26.9	6.5	25.9	21.1	23.1	12.1	31.4	7.5	14.1	7.5
	その他	132	29.5	10.6	22.7	15.2	35.6	13.6	31.8	5.3	12.1	6.8
	無回答	22	4.5	0.0	40.9	22.7	4.5	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1
状況別 婚姻	未婚	290	27.9	9.0	25.9	19.0	32.4	14.5	28.6	5.2	12.8	13.1
	既婚	1106	30.1	7.1	29.9	24.4	27.8	14.3	31.0	6.6	14.0	6.2
	その他	240	26.3	5.0	31.7	18.3	20.4	11.3	28.3	9.2	11.3	7.1
	無回答	43	7.0	2.3	34.9	16.3	7.0	11.6	16.3	4.7	7.0	7.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	32.7	9.4	30.8	23.9	30.8	11.9	22.0	5.0	8.2	8.8
	小学生の子どもがいる	182	33.0	7.1	31.3	21.4	28.6	11.5	27.5	5.5	13.2	8.2
	中学生の子どもがいる	122	32.0	7.4	33.6	23.0	26.2	10.7	26.2	5.7	13.9	9.0
	高校生の子どもがいる	126	29.4	4.8	34.9	23.0	32.5	14.3	29.4	7.1	11.1	6.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	28.2	5.8	35.0	21.4	21.4	21.4	39.8	8.7	10.7	9.7
	その他	817	29.3	5.6	29.0	23.6	25.0	14.1	31.6	7.2	14.6	5.1
	子どもはいない	403	25.8	9.7	27.3	21.3	30.3	14.6	28.0	6.5	12.4	11.7
	無回答	44	22.7	2.3	43.2	20.5	13.6	9.1	34.1	9.1	11.4	2.3
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	17.9	8.3	24.4	15.4	19.9	10.3	23.1	9.6	7.7	6.4
	100～200万円未満	287	25.8	5.2	29.3	21.3	24.0	11.1	24.7	11.8	15.3	7.3
	200～300万円未満	338	24.9	5.0	35.2	22.8	21.9	14.8	30.8	4.1	14.2	6.5
	300～400万円未満	255	31.0	8.2	28.6	26.7	29.4	15.7	34.5	5.9	12.9	7.8
	400～600万円未満	284	32.4	8.1	28.9	26.8	32.0	14.4	35.2	4.6	15.1	7.0
	600～800万円未満	145	42.8	9.0	29.0	23.4	35.9	13.1	29.7	6.9	16.6	9.0
	800～1000万円未満	66	28.8	10.6	19.7	12.1	37.9	27.3	36.4	4.5	10.6	6.1
	1000万円以上	58	34.5	8.6	32.8	17.2	32.8	12.1	34.5	1.7	13.8	10.3
	無回答	90	24.4	4.4	30.0	20.0	18.9	10.0	16.7	7.8	3.3	12.2
	広域市町村圏別	高知市	729	31.8	9.1	29.6	24.1	29.4	12.8	27.0	6.4	12.3
安芸広域圏		118	23.7	8.5	21.2	20.3	20.3	16.9	40.7	8.5	10.2	5.9
南国・香美広域圏		229	30.6	6.6	27.1	21.0	29.3	14.8	38.4	6.1	12.7	7.4
嶺北広域圏		31	16.1	6.5	22.6	16.1	25.8	32.3	32.3	3.2	19.4	3.2
仁淀川広域圏		130	27.7	9.2	35.4	23.8	21.5	16.9	27.7	6.2	8.5	13.1
高吾北広域圏		67	25.4	6.0	29.9	23.9	20.9	9.0	23.9	9.0	22.4	3.0
高幡広域圏		138	27.5	1.4	33.3	21.7	29.0	13.0	30.4	5.1	18.8	2.9
幡多広域圏		210	22.4	2.9	31.0	19.0	23.8	11.4	27.6	8.6	15.2	6.7
無回答		27	25.9	3.7	37.0	22.2	29.6	18.5	22.2	3.7	3.7	14.8
部沿岸別	沿岸部	645	28.1	6.8	29.9	20.9	29.5	12.6	31.6	6.5	13.3	7.8
	非沿岸部	953	28.8	7.5	29.2	23.5	25.6	14.7	29.4	6.6	13.5	7.2
	無回答	81	30.9	3.7	32.1	21.0	23.5	13.6	21.0	8.6	8.6	9.9

(3つまで○印)

(単位:人、%)

新 エ ネ ル ギ ー を 産 業 に 生 か す 取 り 組 み	第 一 次 産 業 の 担 い 手 確 保	人 材 育 成 の 取 り 組 み	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
504	152	128	39	29	187	5
30.0	9.1	7.6	2.3	1.7	11.1	0.3
28.4	10.3	6.5	2.5	1.6	8.7	0.3
31.2	8.1	8.6	2.1	1.9	12.8	0.3
37.5	6.3	0.0	6.3	0.0	31.3	0.0
24.8	12.0	13.6	4.8	0.8	8.0	0.8
32.1	10.0	9.5	2.7	1.4	7.2	0.0
32.5	12.7	7.5	4.8	2.6	7.0	0.4
28.7	9.4	7.1	1.6	0.0	10.3	0.0
28.9	9.0	6.7	1.2	2.5	9.7	0.2
31.1	5.3	6.3	1.6	2.4	18.7	0.5
33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
38.9	13.3	1.8	0.9	0.9	8.8	0.0
9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0
27.5	10.8	6.7	0.8	0.8	10.8	0.8
26.5	8.8	12.2	4.4	1.1	4.4	0.0
37.5	10.1	8.3	2.4	0.0	7.7	0.0
35.5	12.4	7.1	1.2	1.2	6.5	0.0
28.8	13.6	8.5	6.8	1.7	3.4	0.0
26.7	23.3	0.0	6.7	3.3	3.3	0.0
31.1	8.3	7.9	1.2	2.4	11.8	0.0
31.8	13.6	22.7	4.5	0.0	4.5	0.0
27.1	5.3	6.8	2.0	3.3	16.1	1.0
24.2	6.8	7.6	3.8	0.8	16.7	0.0
18.2	4.5	4.5	0.0	4.5	40.9	0.0
28.6	10.3	9.7	3.1	1.0	11.0	0.3
31.4	8.4	7.4	2.1	1.8	9.1	0.2
27.1	11.7	7.5	2.9	2.5	15.8	0.0
20.9	2.3	0.0	0.0	0.0	37.2	4.7
35.2	10.1	11.3	3.8	1.3	6.9	0.0
29.7	10.4	9.3	1.6	1.6	8.8	0.5
26.2	11.5	4.9	2.5	2.5	10.7	0.8
29.4	11.1	8.7	2.4	2.4	7.9	0.0
34.0	17.5	5.8	2.9	1.9	1.0	1.0
30.4	7.5	6.4	2.0	2.1	12.9	0.0
29.3	10.7	8.7	3.0	1.5	9.7	0.5
15.9	4.5	4.5	0.0	0.0	22.7	2.3
27.6	8.3	5.1	3.2	3.8	21.2	1.3
28.9	7.7	5.9	1.0	2.4	15.3	0.3
31.7	9.2	6.8	1.2	1.5	12.4	0.0
29.8	7.5	8.6	3.1	1.6	7.5	0.0
30.6	12.0	10.9	1.8	0.7	5.6	0.0
31.7	9.0	8.3	3.4	0.7	2.1	0.0
37.9	13.6	6.1	6.1	1.5	1.5	0.0
25.9	15.5	6.9	6.9	1.7	6.9	0.0
24.4	2.2	7.8	1.1	2.2	27.8	2.2
31.6	9.7	8.2	3.6	1.4	8.6	0.1
28.8	9.3	11.0	0.8	0.8	13.6	0.0
30.6	10.9	7.0	0.9	2.2	10.0	0.0
38.7	6.5	12.9	0.0	0.0	12.9	0.0
27.7	8.5	8.5	1.5	1.5	7.7	0.8
38.8	7.5	4.5	1.5	1.5	13.4	0.0
29.0	7.2	6.5	2.9	0.0	15.9	0.0
23.3	7.6	3.8	1.4	4.3	17.6	1.0
25.9	3.7	14.8	0.0	3.7	11.1	3.7
26.7	8.1	8.1	2.2	2.6	11.5	0.3
32.8	10.1	7.5	2.6	1.2	10.3	0.2
23.5	4.9	6.2	0.0	1.2	18.5	1.2

問10.あなたが、(問9に掲げた取り組みのほか)今後、成長が期待でき、強化すべきだと思う分野はどれですか。  
(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	防災関連の分野	分野	シニア向けサービスの分野	文化・芸術関連の分野	バイオビジネスの分野	田舎暮らし体験ビジネスの分野	その他	特にない	わからない	無回答
総合	実数	1679	602	376	208	710	612	28	63	174	6	
	%		35.9	22.4	12.4	42.3	36.5	1.7	3.8	10.4	0.4	
性別	男性	749	33.1	23.5	12.7	44.5	37.4	1.3	4.8	9.2	0.3	
	女性	914	38.0	21.2	12.4	41.0	35.9	2.0	2.8	11.2	0.4	
	無回答	16	43.8	37.5	0.0	12.5	25.0	0.0	6.3	18.8	0.0	
年代別	20歳代	125	38.4	17.6	24.8	42.4	39.2	3.2	2.4	7.2	0.8	
	30歳代	221	37.6	18.6	18.1	38.0	41.6	1.8	4.1	5.0	0.0	
	40歳代	228	35.5	27.2	14.0	39.9	36.4	2.6	4.4	4.8	0.4	
	50歳代	310	38.1	20.6	13.5	43.5	36.1	1.3	4.5	8.7	0.3	
	60歳代	401	30.9	25.7	8.7	45.1	35.9	2.0	4.2	11.0	0.2	
	70歳以上	379	37.2	21.1	7.1	43.3	33.8	0.5	2.6	17.9	0.5	
	無回答	15	46.7	26.7	6.7	13.3	26.7	0.0	0.0	26.7	0.0	
職業別	農林業	113	39.8	15.9	8.0	46.0	38.1	1.8	2.7	11.5	0.9	
	漁業	11	27.3	9.1	9.1	36.4	36.4	0.0	0.0	27.3	0.0	
	商工サービス業自営	120	22.5	20.8	9.2	48.3	40.8	4.2	8.3	9.2	0.0	
	事務職	181	28.7	26.0	16.6	43.1	44.2	2.8	2.8	2.8	0.0	
	技術職	168	41.1	22.6	21.4	42.3	37.5	1.2	3.6	4.2	0.0	
	労務職	169	40.8	22.5	14.2	43.8	39.1	0.6	1.8	5.9	0.0	
	管理職	59	25.4	30.5	13.6	40.7	32.2	3.4	8.5	5.1	1.7	
	自由業	30	26.7	23.3	23.3	36.7	40.0	0.0	3.3	6.7	0.0	
	主婦	254	44.1	22.0	11.4	39.4	33.9	1.6	2.0	12.6	0.4	
	学生	22	54.5	18.2	27.3	36.4	36.4	4.5	0.0	4.5	0.0	
	無職	398	34.4	23.1	7.5	44.5	32.4	0.5	3.8	15.6	0.8	
	その他	132	34.8	20.5	12.1	39.4	37.1	3.0	6.1	12.1	0.0	
	無回答	22	31.8	22.7	4.5	4.5	18.2	0.0	9.1	40.9	0.0	
状況別 婚姻	未婚	290	31.7	20.3	19.3	40.7	37.6	2.4	2.8	10.0	0.3	
	既婚	1106	36.5	23.5	11.8	43.7	36.8	1.4	4.2	8.9	0.2	
	その他	240	37.9	22.1	7.5	42.1	34.6	2.1	2.9	15.0	0.4	
	無回答	43	34.9	9.3	7.0	18.6	30.2	0.0	2.3	25.6	4.7	
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	39.0	18.9	15.1	40.3	39.6	3.8	3.8	6.9	0.0	
	小学生の子どもがいる	182	44.0	18.1	13.2	41.2	38.5	3.3	2.7	7.7	0.5	
	中学生の子どもがいる	122	41.0	18.0	15.6	35.2	32.0	3.3	5.7	9.0	0.0	
	高校生の子どもがいる	126	37.3	22.2	17.5	40.5	42.9	1.6	2.4	4.8	0.0	
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	35.9	27.2	14.6	48.5	32.0	1.0	3.9	6.8	1.0	
	その他	817	35.0	23.1	9.5	44.7	35.5	1.5	4.0	11.5	0.2	
	子どもはいない	403	33.3	23.1	15.4	40.9	36.0	1.7	3.2	10.7	0.5	
無回答	44	50.0	18.2	6.8	31.8	29.5	0.0	4.5	18.2	2.3		
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	39.7	19.9	5.1	33.3	31.4	0.6	4.5	18.6	0.6	
	100~200万円未満	287	38.3	19.9	14.6	39.4	34.5	1.0	4.5	13.2	0.3	
	200~300万円未満	338	37.3	21.9	10.1	43.8	34.0	0.9	3.6	10.7	0.3	
	300~400万円未満	255	32.5	24.3	9.8	49.8	40.4	2.0	3.5	5.9	0.0	
	400~600万円未満	284	37.0	28.2	14.4	45.1	40.5	2.1	1.4	7.0	0.7	
	600~800万円未満	145	37.2	20.0	15.9	39.3	40.0	2.8	5.5	4.8	0.0	
	800~1000万円未満	66	28.8	25.8	13.6	51.5	34.8	6.1	4.5	4.5	0.0	
	1000万円以上	58	24.1	17.2	22.4	41.4	43.1	3.4	5.2	6.9	0.0	
	無回答	90	32.2	17.8	14.4	30.0	27.8	0.0	4.4	24.4	1.1	
広域市町村圏別	高知市	729	35.3	26.5	13.9	41.8	34.4	2.2	3.3	9.3	0.4	
	安芸広域圏	118	36.4	16.9	11.0	42.4	39.0	1.7	2.5	11.9	0.0	
	南国・香美広域圏	229	36.7	23.6	11.4	48.0	31.9	1.3	5.2	9.6	0.0	
	嶺北広域圏	31	29.0	22.6	16.1	38.7	38.7	3.2	0.0	16.1	0.0	
	仁淀川広域圏	130	33.1	16.2	18.5	52.3	40.0	1.5	2.3	7.7	0.0	
	高吾北広域圏	67	25.4	22.4	11.9	38.8	47.8	1.5	1.5	14.9	1.5	
	高幡広域圏	138	40.6	13.0	9.4	38.4	42.8	0.7	4.3	10.9	0.0	
	幡多広域圏	210	38.1	20.0	6.7	36.2	37.6	1.0	6.7	12.9	0.5	
無回答	27	48.1	22.2	14.8	37.0	29.6	0.0	0.0	11.1	3.7		
部別 沿岸	沿岸部	645	38.1	21.7	13.2	38.9	35.3	1.9	5.3	9.6	0.5	
	非沿岸部	953	34.5	23.2	11.8	45.3	37.5	1.7	2.7	10.3	0.2	
	無回答	81	33.3	18.5	13.6	33.3	33.3	0.0	3.7	17.3	1.2	

問11.あなたが、県の産業振興をさらに推進するために、より手厚く支援すべきだと思うものはどれですか。  
(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	新しい事業を起す支援	に乗せるための支援	に動き出した事業の支援	既存の事業の規模拡大を図るための支援	再生する事業の維持・支援	既存の事業を維持・支援	を新分野への事業展開を図るための支援	その他	支援する必要はない	わからない	無回答
総合	実数	1679	615	692	201	482	291	22	33	312	5		
	%		36.6	41.2	12.0	28.7	17.3	1.3	2.0	18.6	0.3		
性別	男性	749	43.4	40.1	14.7	27.9	19.4	1.3	1.9	14.4	0.3		
	女性	914	31.3	42.5	10.0	29.6	15.9	1.3	2.0	21.6	0.3		
	無回答	16	25.0	25.0	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	43.8	0.0		
年代別	20歳代	125	48.8	36.0	16.8	31.2	20.0	0.8	0.8	12.8	0.8		
	30歳代	221	40.7	45.2	13.6	32.6	14.5	1.4	1.8	12.7	0.0		
	40歳代	228	38.6	41.2	14.9	35.1	19.3	2.2	1.3	10.5	0.9		
	50歳代	310	38.1	45.5	12.6	32.3	15.2	1.0	1.0	14.5	0.0		
	60歳代	401	34.4	38.2	9.5	26.7	18.0	2.0	3.7	20.7	0.2		
	70歳以上	379	30.9	40.6	10.3	21.9	18.5	0.5	1.6	29.0	0.3		
	無回答	15	20.0	33.3	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	40.0	0.0		
	職業別	農林業	113	46.9	44.2	11.5	23.0	13.3	0.9	3.5	15.0	0.0	
漁業		11	36.4	27.3	0.0	54.5	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0		
商工サービス業自営		120	27.5	40.0	12.5	29.2	25.0	3.3	0.8	15.8	0.0		
事務職		181	35.4	52.5	16.0	27.6	16.0	3.3	1.7	9.9	0.6		
技術職		168	44.6	42.9	12.5	29.8	18.5	1.2	1.2	13.7	0.0		
労務職		169	36.7	43.2	7.7	40.2	16.6	1.8	1.2	10.7	0.0		
管理職		59	45.8	30.5	23.7	33.9	20.3	0.0	1.7	10.2	1.7		
自由業		30	40.0	50.0	20.0	6.7	20.0	0.0	3.3	13.3	0.0		
主婦		254	35.4	37.8	12.2	29.1	13.8	0.4	3.1	23.6	0.0		
学生		22	45.5	45.5	22.7	31.8	18.2	4.5	0.0	4.5	0.0		
無職		398	32.4	39.7	10.6	26.1	19.3	0.3	1.8	26.1	0.8		
その他		132	39.4	36.4	9.1	29.5	16.7	1.5	2.3	20.5	0.0		
無回答		22	18.2	27.3	0.0	4.5	4.5	4.5	4.5	54.5	0.0		
状況別 婚姻	未婚	290	41.0	40.0	11.4	29.7	16.9	0.7	1.0	17.6	0.3		
	既婚	1106	36.9	42.0	13.5	30.2	17.6	1.4	2.1	16.6	0.1		
	その他	240	33.3	39.6	7.5	24.6	18.8	2.1	2.1	24.2	0.4		
	無回答	43	18.6	39.5	2.3	7.0	4.7	0.0	4.7	44.2	4.7		
	子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	38.4	40.3	15.7	29.6	16.4	0.0	2.5	16.4	0.0	
小学生の子どもがいる		182	35.7	48.4	11.0	31.3	17.6	1.6	1.6	13.7	0.5		
中学生の子どもがいる		122	35.2	45.1	13.1	32.0	17.2	0.8	0.8	17.2	0.8		
高校生の子どもがいる		126	34.9	50.0	7.1	33.3	21.4	1.6	0.0	15.9	0.0		
大学生、専門学校生等の子どもがいる		103	39.8	48.5	16.5	33.0	21.4	1.9	1.0	8.7	1.0		
その他		817	34.6	39.8	11.0	27.9	17.0	1.2	2.7	20.9	0.1		
子どもはいない		403	40.2	41.4	13.4	27.8	18.1	1.5	1.0	15.9	0.5		
無回答		44	36.4	34.1	6.8	13.6	15.9	0.0	2.3	31.8	2.3		
世帯の年間収入別		0~100万円未満	156	34.0	29.5	7.7	24.4	14.1	1.3	1.9	30.1	0.6	
	100~200万円未満	287	35.9	38.7	8.4	27.2	14.3	0.7	2.1	25.1	0.3		
	200~300万円未満	338	30.8	39.3	11.8	30.2	17.8	0.3	2.4	21.0	0.3		
	300~400万円未満	255	40.4	47.1	11.8	28.2	18.4	2.4	1.6	12.2	0.0		
	400~600万円未満	284	40.8	46.1	13.7	32.4	18.3	1.1	1.4	13.4	0.4		
	600~800万円未満	145	47.6	42.1	16.6	34.5	17.9	2.1	1.4	9.0	0.0		
	800~1000万円未満	66	40.9	36.4	16.7	27.3	28.8	1.5	3.0	7.6	0.0		
	1000万円以上	58	29.3	55.2	22.4	24.1	17.2	1.7	1.7	10.3	0.0		
	無回答	90	25.6	37.8	8.9	20.0	15.6	3.3	3.3	32.2	1.1		
	広域市町村圏別	高知市	729	34.3	43.3	13.7	30.6	20.0	1.0	2.2	16.2	0.3	
安芸広域圏		118	28.8	39.8	11.9	22.9	16.9	3.4	0.0	26.3	0.0		
南国・香美広域圏		229	39.7	44.1	9.2	33.6	16.2	0.4	1.7	16.2	0.0		
嶺北広域圏		31	45.2	45.2	16.1	12.9	3.2	3.2	0.0	19.4	0.0		
仁淀川広域圏		130	38.5	41.5	9.2	23.1	20.8	3.1	2.3	16.9	0.0		
高吾北広域圏		67	31.3	35.8	13.4	29.9	14.9	0.0	1.5	22.4	1.5		
高幡広域圏		138	44.2	40.6	10.1	28.3	12.3	0.0	2.9	18.8	0.0		
幡多広域圏		210	40.5	31.9	11.0	27.1	13.8	1.9	1.4	25.2	0.5		
無回答		27	33.3	48.1	11.1	18.5	14.8	3.7	7.4	14.8	3.7		
部別 沿岸	沿岸部	645	36.1	38.3	12.7	31.3	16.3	1.4	1.6	20.3	0.3		
	非沿岸部	953	37.4	43.2	12.0	27.9	17.9	1.2	2.1	17.0	0.2		
	無回答	81	32.1	40.7	6.2	17.3	18.5	2.5	3.7	23.5	1.2		

クロス分析

問9 産業振興計画の推進のために充実させるべき取り組み

×

問11 産業振興の推進のため、より手厚く支援すべきもの

(単位:人、%)

		問11									
		サンプル	新しい事業を起業する際の立ち上がり支援	動き出した事業を軌道に乗せるための支援	既存の事業の規模拡大を図る際の支援	既存の事業を維持・再生するための支援	経営の多角化を図る際の新分野への事業展開を指しての支援	その他	支援する必要はない	わからない	無回答
問9	計	1679	36.6	41.2	12.0	28.7	17.3	1.3	2.0	18.6	0.3
	県外での高知フェアの開催や商談会への出展による外商の取り組み	480	45.6	50.2	15.8	31.5	20.2	0.6	0.4	9.0	0.0
	海外への外商の取り組み	118	42.4	49.2	18.6	25.4	28.0	2.5	0.8	6.8	0.0
	ものづくりの地産地消の取り組み	497	37.0	48.5	12.5	32.4	18.1	1.4	2.2	10.9	0.0
	地産地消の取り組み	376	38.0	43.6	13.8	33.5	17.8	1.1	1.1	14.4	0.0
	観光客誘致の取り組み	453	44.8	46.4	15.2	32.9	21.0	0.9	1.3	7.9	0.0
	第一次産業の生産地を強化する取り組み	232	41.8	51.3	13.4	35.3	20.7	3.0	2.2	4.7	0.0
	6次産業化の取り組み	501	42.5	46.5	13.8	30.3	23.8	1.6	1.4	9.4	0.2
	食品加工の基本の徹底に向けた取り組み	112	33.9	42.9	8.9	32.1	13.4	3.6	0.0	16.1	0.0
	中山間地域における産業づくり	222	45.9	45.5	11.7	35.6	20.7	1.8	2.7	5.4	0.5
	成長が見込める新たな分野での産業創出の取り組み	127	45.7	44.1	10.2	29.1	29.9	1.6	0.0	12.6	0.0
	新エネルギーを産業に生かす取り組み	504	40.5	46.6	12.9	32.5	19.4	1.2	1.2	11.3	0.0
	第一次産業の担い手確保の取り組み	152	48.7	44.1	19.1	31.6	17.8	1.3	2.6	5.3	0.0
	人材育成の取り組み	128	42.2	48.4	17.2	32.0	21.1	0.8	1.6	9.4	0.0
	その他	39	43.6	30.8	7.7	25.6	23.1	2.6	5.1	17.9	2.6
	特になし	29	3.4	6.9	6.9	17.2	3.4	0.0	10.3	58.6	0.0
	わからない	187	10.2	12.3	0.5	9.1	4.8	1.1	3.7	72.7	0.0
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

問12.県では、人材育成研修をはじめとした産業振興のためのさまざまな研修や講習会を実施していますが、あなたが、こうした研修などにより参加しやすくなるために必要だと思うものはどれですか。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	会社など所属先の理解と後押し	就労時間外の開催	夜間や休日などの開催	夏の集中講座などの開催	身近な場所での開催	資金的な援助	参加費や交通費などの多様化	研修メニューの多様化	研修情報の一元的な提供	その他	特にない	わからない	無回答
総合	実数	1679	507	355	105	672	325	282	207	22	79	226	6		
	%		30.2	21.1	6.3	40.0	19.4	16.8	12.3	1.3	4.7	13.5	0.4		
性別	男性	749	33.2	22.4	5.9	37.2	21.1	15.9	14.3	1.7	5.1	10.9	0.4		
	女性	914	27.9	20.2	6.6	42.8	18.1	17.5	10.9	1.0	4.4	15.0	0.3		
	無回答	16	18.8	12.5	6.3	12.5	12.5	18.8	0.0	0.0	6.3	43.8	0.0		
年代別	20歳代	125	45.6	18.4	4.8	36.0	24.0	21.6	11.2	0.8	2.4	8.8	0.8		
	30歳代	221	39.8	32.6	5.9	29.9	27.1	19.5	10.0	1.8	3.6	6.8	0.0		
	40歳代	228	37.7	24.6	6.6	34.6	25.9	14.5	13.2	2.2	3.1	8.8	0.4		
	50歳代	310	30.3	25.8	4.5	43.5	17.4	19.4	14.8	0.6	4.2	9.7	0.0		
	60歳代	401	22.2	18.7	6.7	49.1	13.0	16.7	15.0	2.0	4.5	13.7	0.5		
	70歳以上	379	24.0	12.4	7.7	38.8	17.9	13.2	9.2	0.5	7.7	23.5	0.5		
	無回答	15	13.3	13.3	6.7	20.0	13.3	13.3	0.0	0.0	6.7	40.0	0.0		
	職業別	農林業	113	18.6	19.5	10.6	46.9	14.2	14.2	12.4	0.9	8.8	12.4	0.0	
	漁業	11	9.1	9.1	18.2	54.5	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0		
	商工サービス業自営	120	20.8	21.7	6.7	46.7	17.5	11.7	10.8	1.7	5.0	14.2	0.8		
	事務職	181	37.6	31.5	7.2	35.4	17.1	23.8	10.5	2.2	2.2	6.6	0.0		
	技術職	168	41.1	20.8	4.2	32.7	28.6	22.6	13.7	0.0	3.6	7.1	0.0		
	労務職	169	38.5	27.8	5.3	40.2	21.9	10.1	17.8	1.8	3.6	5.9	0.0		
	管理職	59	45.8	32.2	6.8	32.2	10.2	22.0	13.6	8.5	1.7	5.1	0.0		
	自由業	30	23.3	36.7	0.0	36.7	20.0	16.7	13.3	0.0	6.7	13.3	0.0		
	主婦	254	24.4	20.1	6.3	46.5	17.3	20.1	11.0	0.4	3.1	15.7	0.0		
	学生	22	40.9	13.6	0.0	59.1	36.4	22.7	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0		
	無職	398	27.6	12.1	5.5	40.7	18.8	13.3	13.1	1.0	7.5	18.8	1.3		
	その他	132	30.3	24.2	9.1	33.3	20.5	18.9	8.3	1.5	3.8	17.4	0.0		
	無回答	22	13.6	13.6	0.0	13.6	13.6	4.5	4.5	0.0	4.5	54.5	0.0		
状況別	未婚	290	41.4	18.6	6.2	35.9	20.3	16.9	13.1	1.7	2.8	12.1	0.3		
	既婚	1106	28.4	23.0	6.2	42.0	19.0	16.4	12.5	1.4	4.8	12.5	0.3		
	その他	240	27.9	17.9	7.5	39.2	21.7	20.0	11.7	0.8	5.8	14.6	0.0		
	無回答	43	14.0	9.3	0.0	20.9	9.3	9.3	7.0	0.0	9.3	41.9	4.7		
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	37.7	26.4	4.4	34.0	24.5	15.1	9.4	2.5	5.0	9.4	0.0		
	小学生の子どもがいる	182	31.9	28.0	7.1	40.1	24.7	18.1	7.7	1.6	4.4	8.8	0.5		
	中学生の子どもがいる	122	31.1	22.1	8.2	36.9	22.1	18.0	9.8	0.8	4.9	12.3	1.6		
	高校生の子がいる	126	35.7	25.4	7.1	40.5	23.8	20.6	7.1	0.0	4.0	10.3	0.0		
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	33.0	24.3	10.7	43.7	13.6	17.5	16.5	1.0	4.9	8.7	1.0		
	その他	817	24.8	19.0	6.1	44.4	17.0	16.9	13.0	1.3	5.8	14.9	0.0		
	子どもはいない	403	37.5	20.3	6.0	36.0	21.6	16.6	13.9	1.2	2.0	12.4	0.7		
	無回答	44	22.7	13.6	6.8	31.8	18.2	6.8	11.4	0.0	6.8	29.5	2.3		
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	21.8	14.1	5.8	34.6	25.6	9.0	13.5	0.6	9.0	18.6	0.6		
	100~200万円未満	287	27.2	17.1	5.9	41.8	20.2	17.1	9.1	0.7	5.9	15.7	1.0		
	200~300万円未満	338	26.3	19.8	5.0	40.5	19.2	16.3	11.5	0.9	4.7	17.2	0.0		
	300~400万円未満	255	35.3	23.5	4.7	47.1	20.8	21.6	11.4	1.2	3.9	6.3	0.0		
	400~600万円未満	284	34.5	28.2	6.0	40.1	18.3	15.8	16.2	2.5	2.8	10.6	0.0		
	600~800万円未満	145	37.9	23.4	9.0	32.4	15.9	20.0	16.6	0.7	4.1	8.3	0.0		
	800~1000万円未満	66	31.8	22.7	9.1	47.0	15.2	25.8	12.1	4.5	4.5	1.5	0.0		
	1000万円以上	58	32.8	29.3	10.3	43.1	19.0	13.8	13.8	1.7	3.4	10.3	0.0		
	無回答	90	25.6	12.2	8.9	26.7	14.4	11.1	6.7	1.1	3.3	32.2	2.2		
	広域市町村圏別	高知市	729	34.0	22.1	6.2	33.2	19.5	19.6	15.1	1.9	4.5	11.9	0.3	
安芸広域圏		118	17.8	22.0	6.8	47.5	18.6	15.3	9.3	0.8	4.2	18.6	0.0		
南国・香美広域圏		229	33.6	21.0	6.6	39.7	18.8	17.5	11.8	0.4	7.0	11.4	0.0		
嶺北広域圏		31	29.0	25.8	6.5	48.4	12.9	19.4	12.9	3.2	0.0	12.9	0.0		
仁淀川広域圏		130	26.2	25.4	8.5	40.0	23.1	10.0	8.5	1.5	5.4	14.6	0.0		
高吾北広域圏		67	22.4	25.4	6.0	53.7	16.4	11.9	10.4	0.0	6.0	14.9	0.0		
高幡広域圏		138	34.1	18.1	8.0	44.9	19.6	13.0	8.7	0.7	5.1	11.6	0.7		
幡多広域圏		210	21.4	13.8	3.8	52.9	20.5	15.7	11.4	0.5	2.9	17.1	1.0		
無回答	27	40.7	29.6	3.7	25.9	11.1	11.1	3.7	3.7	3.7	22.2	3.7			
部別	沿岸部	645	31.5	20.0	4.8	40.6	18.8	18.0	11.3	1.1	4.2	15.0	0.3		
	非沿岸部	953	29.5	22.5	7.0	40.2	20.4	16.4	13.4	1.4	5.0	11.3	0.2		
	無回答	81	28.4	14.8	8.6	33.3	12.3	12.3	7.4	2.5	4.9	25.9	2.5		



問13.昨年、高知県に注目が集まったことによって、あなたの仕事や生活、そのほか、身の回りにどのような効果をもたらしましたか。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	たとの交流が活発になつた	団体の視察など、県外	がれるなど、外商の機会	県外との商談が促進さ	地域が元気が増つた	にぎわいが増えた	観光客に喜んでくれた	おもてなしにより	楽しむ機会が増えた	自身が高知の観光を	増えた	県外の親族や知人など	感あじり効果は	その他	無回答
総合	実数	1679	71	28	399	227	306	279	713	35	86						
	%		4.2	1.7	23.8	13.5	18.2	16.6	42.5	2.1	5.1						
性別	男性	749	5.1	2.1	24.6	13.1	16.2	15.0	45.9	1.7	4.4						
	女性	914	3.6	1.3	22.9	14.1	20.0	18.3	39.9	2.4	5.3						
	無回答	16	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	31.3						
年代別	20歳代	125	4.8	1.6	38.4	12.0	21.6	18.4	36.8	0.8	0.8						
	30歳代	221	4.1	1.4	22.6	10.4	20.8	16.7	43.0	3.6	0.5						
	40歳代	228	3.5	3.1	24.6	13.2	19.7	13.6	45.6	3.5	0.9						
	50歳代	310	5.2	1.0	25.5	14.5	17.1	15.2	45.8	0.6	2.6						
	60歳代	401	2.5	1.7	20.7	16.5	16.5	15.2	46.4	2.7	5.0						
	70歳以上	379	5.8	1.6	20.6	12.7	17.7	21.1	35.9	1.3	12.9						
	無回答	15	0.0	0.0	33.3	0.0	13.3	0.0	26.7	0.0	33.3						
	無回答	15	0.0	0.0	33.3	0.0	13.3	0.0	26.7	0.0	33.3						
職業別	農林業	113	8.0	1.8	18.6	11.5	19.5	16.8	40.7	1.8	5.3						
	漁業	11	18.2	0.0	9.1	27.3	9.1	27.3	36.4	0.0	0.0						
	商工サービス業自営	120	2.5	0.8	18.3	10.8	17.5	20.0	54.2	0.0	2.5						
	事務職	181	5.5	2.8	28.2	15.5	19.3	18.2	37.0	2.2	0.6						
	技術職	168	3.6	0.0	29.8	11.3	26.2	17.3	40.5	2.4	1.2						
	労務職	169	4.1	1.2	24.3	16.6	13.0	8.3	50.3	3.6	2.4						
	管理職	59	8.5	1.7	27.1	5.1	16.9	13.6	45.8	5.1	3.4						
	自由業	30	3.3	0.0	23.3	20.0	6.7	16.7	43.3	0.0	3.3						
	主婦	254	2.8	1.6	22.8	14.2	21.3	20.5	39.0	2.4	5.1						
	学生	22	4.5	0.0	50.0	9.1	18.2	13.6	40.9	0.0	0.0						
	無職	398	4.0	2.5	21.6	14.3	16.1	16.1	41.7	2.0	10.3						
	その他	132	3.0	1.5	23.5	12.9	18.9	18.2	43.9	1.5	3.8						
	無回答	22	0.0	4.5	18.2	9.1	9.1	4.5	27.3	0.0	36.4						
	状況別	未婚	290	3.4	2.1	30.0	14.5	15.9	16.6	43.4	1.0	2.4					
既婚		1106	4.1	1.4	23.6	12.9	20.2	17.4	42.3	2.1	4.2						
その他		240	6.3	2.1	17.9	16.3	14.2	15.0	44.6	2.9	7.5						
無回答		43	2.3	2.3	18.6	7.0	7.0	7.0	27.9	4.7	32.6						
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	3.8	2.5	23.3	10.1	25.2	14.5	39.0	3.1	1.9						
	小学生の子どもがいる	182	2.7	1.6	28.6	17.6	23.6	13.2	37.4	2.7	3.8						
	中学生の子どもがいる	122	4.9	2.5	22.1	9.8	18.0	15.6	47.5	4.1	1.6						
	高校生の子どもがいる	126	4.0	1.6	27.0	16.7	22.2	14.3	40.5	3.2	1.6						
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	3.9	1.0	23.3	16.5	14.6	19.4	44.7	1.9	2.9						
	その他	817	4.5	1.5	21.1	12.9	17.4	18.4	43.7	2.0	5.9						
	子どもはいない	403	4.0	1.7	27.5	15.1	17.1	14.6	44.7	1.2	3.7						
	無回答	44	4.5	2.3	18.2	15.9	9.1	11.4	27.3	0.0	29.5						
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	7.7	1.9	19.9	11.5	8.3	12.2	46.8	2.6	13.5						
	100~200万円未満	287	6.3	2.8	21.3	12.5	16.0	15.3	48.8	0.7	5.2						
	200~300万円未満	338	3.8	1.2	20.1	14.5	15.7	16.9	45.0	3.6	4.4						
	300~400万円未満	255	3.5	1.6	21.6	13.7	22.0	15.3	42.0	1.6	3.9						
	400~600万円未満	284	2.5	1.4	27.5	15.1	22.9	18.7	38.7	2.5	2.1						
	600~800万円未満	145	2.8	0.7	32.4	12.4	22.1	18.6	37.9	2.8	0.0						
	800~1000万円未満	66	1.5	1.5	36.4	15.2	33.3	19.7	34.8	1.5	0.0						
	1000万円以上	58	6.9	3.4	24.1	13.8	10.3	15.5	43.1	0.0	3.4						
	無回答	90	3.3	1.1	23.3	11.1	14.4	20.0	31.1	1.1	18.9						
	無回答	90	3.3	1.1	23.3	11.1	14.4	20.0	31.1	1.1	18.9						
広域市町村圏別	高知市	729	4.5	1.5	29.2	17.1	19.3	17.6	37.6	1.8	3.6						
	安芸広域圏	118	1.7	2.5	17.8	15.3	12.7	11.9	49.2	5.1	5.1						
	南国・香美広域圏	229	6.6	1.3	22.7	7.9	19.2	16.2	45.0	2.2	5.2						
	嶺北広域圏	31	0.0	0.0	9.7	6.5	19.4	16.1	54.8	6.5	6.5						
	仁淀川広域圏	130	0.8	0.8	18.5	10.8	24.6	21.5	43.1	1.5	3.1						
	高吾北広域圏	67	7.5	4.5	16.4	9.0	28.4	17.9	40.3	1.5	4.5						
	高幡広域圏	138	5.1	2.9	20.3	11.6	17.4	15.9	43.5	1.4	6.5						
	幡多広域圏	210	3.3	1.4	17.6	11.4	10.0	13.3	51.9	1.9	10.0						
無回答	27	3.7	0.0	37.0	14.8	14.8	18.5	33.3	0.0	11.1							
部沿岸	沿岸部	645	3.9	1.7	22.6	13.8	16.7	15.2	45.9	2.2	5.0						
	非沿岸部	953	4.2	1.8	24.4	13.0	20.1	17.3	40.6	2.2	4.5						
	無回答	81	7.4	0.0	24.7	17.3	7.4	19.8	37.0	0.0	13.6						

問14.県のイメージアップやリピーターを増やすためには、県民一人一人が観光客を「おもてなしの心」で迎えることが大切です。あなたは、観光客への「おもてなし」について、どのようなことをされていますか。(3つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	あいさつ、声かけ	観光客に手をふる	環境美化・保全活動 (清掃、花植えなど)	ボランティアガイドなどの活動	外国人観光客への対応	お接待など地域文化に	特に行動はしていない	その他	無回答
総合	実数	1679	616	103	349	84	54	187	840	45	35
	%		36.7	6.1	20.8	5.0	3.2	11.1	50.0	2.7	2.1
性別	男性	749	35.5	5.5	23.1	6.1	4.5	12.3	50.3	2.3	1.9
	女性	914	37.6	6.8	18.9	4.0	2.2	10.1	50.0	3.1	2.0
	無回答	16	37.5	0.0	18.8	6.3	0.0	18.8	37.5	0.0	18.8
年代別	20歳代	125	26.4	5.6	15.2	3.2	5.6	5.6	59.2	4.0	0.8
	30歳代	221	30.8	5.9	17.2	3.6	4.1	8.1	59.7	5.0	0.0
	40歳代	228	32.0	0.9	18.0	5.3	2.6	11.8	54.8	4.8	0.4
	50歳代	310	33.5	2.6	22.3	4.5	2.3	12.6	53.2	2.9	0.0
	60歳代	401	46.4	7.0	23.4	6.0	2.2	11.7	43.1	1.5	1.7
	70歳以上	379	38.5	11.9	22.4	5.5	4.2	12.1	43.5	0.8	6.3
	無回答	15	40.0	0.0	20.0	6.7	0.0	20.0	40.0	0.0	13.3
	職業別	農林業	113	41.6	8.0	27.4	4.4	1.8	13.3	48.7	0.0
漁業		11	63.6	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	36.4	9.1	0.0
商工サービス業自営		120	42.5	5.8	21.7	2.5	2.5	13.3	42.5	0.8	1.7
事務職		181	33.1	5.0	19.9	7.2	2.2	9.4	51.4	7.2	0.0
技術職		168	32.7	3.6	20.2	5.4	3.0	9.5	54.8	2.4	0.6
労務職		169	39.1	7.7	22.5	4.1	4.1	13.0	49.7	2.4	1.2
管理職		59	32.2	1.7	27.1	1.7	6.8	10.2	44.1	5.1	0.0
自由業		30	23.3	3.3	16.7	3.3	0.0	13.3	60.0	0.0	3.3
主婦		254	36.6	7.5	18.5	2.8	1.2	9.8	53.1	1.2	0.4
学生		22	18.2	4.5	4.5	0.0	9.1	4.5	72.7	4.5	0.0
無職		398	39.9	8.0	21.9	7.8	4.5	11.8	47.0	1.5	4.5
その他		132	30.3	2.3	18.2	3.0	4.5	9.8	53.8	6.8	2.3
無回答		22	36.4	4.5	18.2	9.1	0.0	18.2	36.4	0.0	18.2
状況別 婚姻		未婚	290	31.0	4.8	17.2	5.2	4.5	9.7	54.8	4.5
	既婚	1106	36.5	5.6	22.0	4.7	3.0	11.3	50.2	2.4	1.4
	その他	240	42.5	10.0	20.0	5.4	2.9	12.9	47.9	2.1	2.5
	無回答	43	46.5	7.0	18.6	9.3	2.3	7.0	25.6	0.0	20.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	30.2	1.9	20.8	2.5	1.9	9.4	57.9	4.4	0.6
	小学生の子どもがいる	182	32.4	3.3	22.5	6.6	3.8	7.7	53.3	2.2	2.2
	中学生の子どもがいる	122	32.0	2.5	20.5	5.7	3.3	12.3	54.1	2.5	0.8
	高校生の子どもがいる	126	38.1	4.0	22.2	4.0	1.6	12.7	50.0	2.4	0.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	40.8	1.9	27.2	5.8	3.9	12.6	45.6	3.9	1.0
	その他	817	40.1	7.3	22.0	5.4	3.1	11.9	47.1	1.8	2.3
	子どもはいない	403	32.8	6.7	16.1	5.0	4.5	9.9	53.8	4.0	1.7
	無回答	44	45.5	11.4	34.1	2.3	2.3	18.2	31.8	0.0	11.4
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	43.6	13.5	17.9	7.1	3.2	12.8	46.2	1.3	5.8
	100~200万円未満	287	41.8	7.7	18.8	5.9	4.5	9.8	46.7	2.4	3.1
	200~300万円未満	338	34.6	5.3	17.2	4.1	2.4	12.7	53.6	2.1	1.2
	300~400万円未満	255	34.5	6.3	23.1	6.7	2.7	8.2	50.6	3.1	1.2
	400~600万円未満	284	37.3	4.2	25.0	4.6	3.5	12.3	47.9	3.2	0.7
	600~800万円未満	145	32.4	5.5	18.6	2.1	2.1	7.6	57.9	2.1	0.0
	800~1000万円未満	66	37.9	3.0	30.3	4.5	4.5	19.7	43.9	6.1	0.0
	1000万円以上	58	20.7	3.4	13.8	5.2	5.2	8.6	58.6	6.9	1.7
	無回答	90	36.7	2.2	26.7	3.3	2.2	12.2	45.6	1.1	7.8
	広域市町村圏別	高知市	729	32.5	6.3	18.8	4.5	3.4	10.0	53.5	4.1
安芸広域圏		118	35.6	1.7	21.2	3.4	3.4	13.6	48.3	2.5	1.7
南国・香美広域圏		229	35.4	4.8	22.7	4.8	3.5	9.2	54.6	1.7	1.3
嶺北広域圏		31	41.9	9.7	16.1	6.5	0.0	6.5	48.4	0.0	3.2
仁淀川広域圏		130	38.5	5.4	20.8	6.2	4.6	14.6	48.5	0.0	0.8
高吾北広域圏		67	43.3	9.0	19.4	4.5	3.0	13.4	47.8	0.0	3.0
高幡広域圏		138	42.8	10.9	21.0	2.2	2.9	10.1	42.0	3.6	2.2
幡多広域圏		210	44.8	6.2	24.3	8.6	1.9	14.3	41.9	1.4	3.8
無回答		27	40.7	0.0	37.0	7.4	3.7	11.1	44.4	0.0	7.4
部沿岸	沿岸部	645	37.1	4.8	19.8	5.7	2.6	11.8	50.1	3.4	1.7
	非沿岸部	953	36.3	6.7	20.8	4.5	3.5	10.5	50.5	2.4	2.1
	無回答	81	38.3	9.9	28.4	4.9	4.9	13.6	44.4	0.0	4.9

問15.日ごろから診療を受けるだけでなく、病気や健康に関して相談することができる、かかりつけとしている医師がいますか。  
(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	い る	い な い	無 回 答
総合	実数	1679	928	743	8
	%		55.3	44.3	0.5
性別	男性	749	52.7	47.0	0.3
	女性	914	56.8	42.6	0.7
	無回答	16	87.5	12.5	0.0
年代別	20歳代	125	22.4	77.6	0.0
	30歳代	221	33.0	67.0	0.0
	40歳代	228	37.3	62.7	0.0
	50歳代	310	53.5	46.5	0.0
	60歳代	401	61.1	37.9	1.0
	70歳以上	379	83.6	15.3	1.1
	無回答	15	93.3	6.7	0.0
職業別	農林業	113	64.6	34.5	0.9
	漁業	11	81.8	18.2	0.0
	商工サービス業自営	120	60.0	40.0	0.0
	事務職	181	44.2	55.8	0.0
	技術職	168	38.1	61.9	0.0
	労務職	169	40.2	59.8	0.0
	管理職	59	40.7	59.3	0.0
	自由業	30	56.7	40.0	3.3
	主婦	254	59.1	40.9	0.0
	学生	22	13.6	86.4	0.0
	無職	398	73.6	25.4	1.0
	その他	132	43.2	56.1	0.8
	無回答	22	81.8	13.6	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	34.5	64.5	1.0
	既婚	1106	57.8	42.0	0.2
	その他	240	63.8	36.3	0.0
	無回答	43	83.7	9.3	7.0
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	42.8	57.2	0.0
	小学生の子どもがいる	182	52.2	47.3	0.5
	中学生の子どもがいる	122	47.5	52.5	0.0
	高校生の子どもがいる	126	46.8	53.2	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	51.5	48.5	0.0
	その他	817	67.0	32.8	0.2
	子どもはいない	403	40.2	59.1	0.7
	無回答	44	68.2	27.3	4.5
世帯の 年間 収入別	0～100万円未満	156	62.8	35.3	1.9
	100～200万円未満	287	61.3	38.7	0.0
	200～300万円未満	338	61.8	38.2	0.0
	300～400万円未満	255	51.4	48.2	0.4
	400～600万円未満	284	46.8	53.2	0.0
	600～800万円未満	145	42.1	57.9	0.0
	800～1000万円未満	66	45.5	54.5	0.0
	1000万円以上	58	58.6	39.7	1.7
	無回答	90	62.2	34.4	3.3
	広域 市町 村 圏別	高知市	729	50.9	48.4
安芸広域圏		118	67.8	32.2	0.0
南国・香美広域圏		229	55.5	44.5	0.0
嶺北広域圏		31	64.5	35.5	0.0
仁淀川広域圏		130	57.7	42.3	0.0
高吾北広域圏		67	61.2	38.8	0.0
高幡広域圏		138	61.6	37.7	0.7
幡多広域圏		210	54.8	44.8	0.5
無回答		27	51.9	44.4	3.7
部 別 沿岸	沿岸部	645	55.7	44.0	0.3
	非沿岸部	953	53.9	45.6	0.4
	無回答	81	67.9	29.6	2.5

問15副問.(問15で「2」を選んだ方のみお答えください。)かかりつけ医がないのはどうしてですか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	けん病 医ど院 はない いかか るのこ とが かり ほと	医ら相 はない いので 、医 かか り見 つけ	医で断 はいる るの ない で、 か か り つ つ	受診す るご とに 自 分 の 判	か必要 かり 性を 感じ ない ので、	か院自 かり・ 宅診 や職 場 の 近 く に 病	その他	無 回 答
総合	実数	743	414	36	239	25	6	17	6	
	%		55.7	4.8	32.2	3.4	0.8	2.3	0.8	
性別	男性	352	56.3	4.8	30.7	4.0	0.3	3.1	0.9	
	女性	389	55.3	4.9	33.4	2.8	1.3	1.5	0.8	
	無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代別	20歳代	97	71.1	3.1	18.6	3.1	1.0	2.1	1.0	
	30歳代	148	64.2	2.0	27.0	4.1	0.7	2.0	0.0	
	40歳代	143	49.7	6.3	36.4	5.6	0.0	2.1	0.0	
	50歳代	144	51.4	6.3	35.4	2.8	1.4	2.1	0.7	
	60歳代	152	52.0	3.9	39.5	0.7	0.7	2.0	1.3	
	70歳以上	58	43.1	10.3	31.0	5.2	1.7	5.2	3.4	
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	農林業	39	56.4	2.6	35.9	5.1	0.0	0.0	0.0	
	漁業	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業 自営	48	54.2	8.3	27.1	8.3	0.0	2.1	0.0	
	事務職	101	54.5	3.0	36.6	2.0	1.0	3.0	0.0	
	技術職	104	59.6	2.9	29.8	2.9	1.9	1.9	1.0	
	労務職	101	52.5	5.0	36.6	4.0	0.0	1.0	1.0	
	管理職	35	51.4	0.0	37.1	2.9	0.0	8.6	0.0	
	自由業	12	75.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	
	主婦	104	57.7	2.9	34.6	1.9	0.0	1.9	1.0	
	学生	19	63.2	10.5	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0	
	無職	101	54.5	10.9	24.8	2.0	2.0	3.0	3.0	
	その他	74	51.4	5.4	36.5	4.1	0.0	2.7	0.0	
	無回答	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
状況別 婚姻	未婚	187	69.0	4.3	19.3	2.7	2.1	2.1	0.5	
	既婚	465	51.4	3.7	37.8	3.9	0.2	2.2	0.9	
	その他	87	50.6	10.3	31.0	2.3	1.1	3.4	1.1	
	無回答	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
子どもの 状況別	就学前の子どもが いる	91	58.2	3.3	28.6	5.5	0.0	4.4	0.0	
	小学生の子どもが いる	86	51.2	4.7	37.2	4.7	0.0	2.3	0.0	
	中学生の子どもが いる	64	53.1	4.7	34.4	4.7	0.0	3.1	0.0	
	高校生の子どもが いる	67	50.7	9.0	34.3	4.5	0.0	0.0	1.5	
	大学生、専門学校生 等の子どもが いる	50	56.0	4.0	36.0	0.0	0.0	4.0	0.0	
	その他	268	51.1	4.1	37.7	3.7	0.4	2.2	0.7	
	子どもはいない	238	66.4	4.6	21.4	2.9	2.1	1.3	1.3	
	無回答	12	58.3	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯の 年間 収入 別	0～100万円未満	55	49.1	10.9	23.6	3.6	3.6	7.3	1.8	
	100～200万円未満	111	63.1	3.6	27.0	2.7	0.9	0.9	1.8	
	200～300万円未満	129	60.5	3.9	31.0	2.3	0.0	1.6	0.8	
	300～400万円未満	123	52.8	6.5	37.4	2.4	0.8	0.0	0.0	
	400～600万円未満	151	53.0	4.6	36.4	3.3	0.7	1.3	0.7	
	600～800万円未満	84	46.4	4.8	36.9	1.2	1.2	9.5	0.0	
	800～1000万円未満	36	69.4	0.0	25.0	5.6	0.0	0.0	0.0	
	1000万円以上	23	69.6	4.3	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0	
	無回答	31	45.2	3.2	35.5	12.9	0.0	0.0	3.2	
	広域市 町村 圏別	高知市	353	55.0	5.9	32.9	2.0	0.6	2.5	1.1
安芸広域圏		38	65.8	7.9	18.4	2.6	2.6	2.6	0.0	
南国・香美広域圏		102	52.0	2.9	38.2	4.9	0.0	2.0	0.0	
嶺北広域圏		11	54.5	0.0	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	
仁淀川広域圏		55	52.7	5.5	29.1	5.5	1.8	3.6	1.8	
高吾北広域圏		26	46.2	7.7	34.6	7.7	0.0	3.8	0.0	
高幡広域圏		52	63.5	1.9	28.8	1.9	0.0	1.9	1.9	
幡多広域圏		94	62.8	3.2	31.9	1.1	1.1	0.0	0.0	
無回答		12	25.0	0.0	41.7	33.3	0.0	0.0	0.0	
部沿 別 岸	沿岸部	284	55.3	4.6	31.7	4.2	1.1	1.8	1.4	
	非沿岸部	435	56.8	4.4	32.9	2.1	0.7	2.8	0.5	
	無回答	24	41.7	16.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	

問16.自分の歯に関して何でも相談することができる、かかりつけとしている歯科医がいますか。(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	いる	いない	無回答
総合	実数	1679	1048	617	14
	%		62.4	36.7	0.8
性別	男性	749	57.3	42.1	0.7
	女性	914	66.3	32.7	1.0
	無回答	16	81.3	18.8	0.0
年代別	20歳代	125	37.6	62.4	0.0
	30歳代	221	47.1	52.9	0.0
	40歳代	228	54.4	45.6	0.0
	50歳代	310	63.9	36.1	0.0
	60歳代	401	67.8	30.4	1.7
	70歳以上	379	76.8	21.4	1.8
	無回答	15	80.0	20.0	0.0
職業別	農林業	113	70.8	28.3	0.9
	漁業	11	54.5	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	70.8	29.2	0.0
	事務職	181	53.0	47.0	0.0
	技術職	168	53.6	46.4	0.0
	労務職	169	47.9	52.1	0.0
	管理職	59	62.7	37.3	0.0
	自由業	30	60.0	36.7	3.3
	主婦	254	68.9	31.1	0.0
	学生	22	36.4	63.6	0.0
	無職	398	69.8	27.9	2.3
	その他	132	59.8	38.6	1.5
	無回答	22	68.2	27.3	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	43.4	55.2	1.4
	既婚	1106	65.9	33.6	0.5
	その他	240	66.7	32.5	0.8
	無回答	43	76.7	16.3	7.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	56.6	43.4	0.0
	小学生の子どもがいる	182	68.1	31.3	0.5
	中学生の子どもがいる	122	63.1	36.9	0.0
	高校生の子どもがいる	126	65.9	34.1	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	63.1	36.9	0.0
	その他	817	68.5	30.8	0.6
	子どもはいない	403	48.1	50.4	1.5
	無回答	44	72.7	22.7	4.5
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	53.2	43.6	3.2
	100～200万円未満	287	66.9	33.1	0.0
	200～300万円未満	338	64.2	35.5	0.3
	300～400万円未満	255	62.7	36.5	0.8
	400～600万円未満	284	61.6	38.4	0.0
	600～800万円未満	145	60.7	39.3	0.0
	800～1000万円未満	66	63.6	36.4	0.0
	1000万円以上	58	60.3	37.9	1.7
	無回答	90	62.2	32.2	5.6
	広域市町村圏別	高知市	729	61.9	37.4
安芸広域圏		118	66.1	33.9	0.0
南国・香美広域圏		229	69.0	30.6	0.4
嶺北広域圏		31	51.6	45.2	3.2
仁淀川広域圏		130	59.2	39.2	1.5
高吾北広域圏		67	70.1	28.4	1.5
高幡広域圏		138	55.8	43.5	0.7
幡多広域圏		210	62.4	36.7	1.0
無回答		27	48.1	48.1	3.7
部沿岸別	沿岸部	645	59.5	40.0	0.5
	非沿岸部	953	64.2	35.0	0.7
	無回答	81	64.2	30.9	4.9

問16副問.(問16で「2」を選んだ方のみお答えください。)かかりつけ歯科医がないのはどうしてですか。(1つだけ○印)  
(単位:人、%)

		サ ン プ ル	い か な い	ほ と と ど け な い	歯 科 に か か る こ と が	い か な い	見 つ け な い	相 談 で き な い	医 生 に か か り な い	で は い な い	自 宅 医 院 が な い	医 生 に か か り な い	必 要 な 性 を 感 じ な い	そ の 他	無 回 答
総合	実数	617	341	111	16	106	38	5							
	%		55.3	18.0	2.6	17.2	6.2	0.8							
性別	男性	315	55.6	18.1	3.5	16.8	5.1	1.0							
	女性	299	54.8	17.7	1.7	17.7	7.4	0.7							
	無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0							
年代別	20歳代	78	67.9	11.5	0.0	16.7	2.6	1.3							
	30歳代	117	62.4	17.9	0.9	13.7	5.1	0.0							
	40歳代	104	58.7	15.4	2.9	18.3	4.8	0.0							
	50歳代	112	51.8	20.5	5.4	11.6	9.8	0.9							
	60歳代	122	45.9	22.1	2.5	22.1	7.4	0.0							
	70歳以上	81	46.9	17.3	3.7	22.2	6.2	3.7							
	無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0							
		無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0						
職業別	農林業	32	62.5	12.5	9.4	15.6	0.0	0.0							
	漁業	5	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0							
	商工サービス業自営	35	48.6	11.4	2.9	17.1	17.1	2.9							
	事務職	85	65.9	22.4	2.4	8.2	1.2	0.0							
	技術職	78	59.0	16.7	3.8	12.8	6.4	1.3							
	労務職	88	58.0	19.3	3.4	15.9	2.3	1.1							
	管理職	22	45.5	9.1	0.0	13.6	31.8	0.0							
	自由業	11	36.4	18.2	9.1	36.4	0.0	0.0							
	主婦	79	48.1	20.3	0.0	21.5	10.1	0.0							
	学生	14	57.1	14.3	0.0	21.4	7.1	0.0							
	無職	111	49.5	19.8	0.0	24.3	5.4	0.9							
	その他	51	62.7	17.6	3.9	11.8	3.9	0.0							
		無回答	6	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0						
状況別 婚姻	未婚	160	62.5	13.8	1.3	17.5	4.4	0.6							
	既婚	372	51.9	20.2	3.2	16.7	7.3	0.8							
	その他	78	57.7	15.4	1.3	19.2	5.1	1.3							
	無回答	7	42.9	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0							
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	69	46.4	23.2	0.0	20.3	10.1	0.0							
	小学生の子どもがいる	57	54.4	24.6	0.0	15.8	5.3	0.0							
	中学生の子どもがいる	45	57.8	20.0	0.0	15.6	6.7	0.0							
	高校生の子どもがいる	43	53.5	20.9	0.0	14.0	9.3	2.3							
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	38	57.9	18.4	2.6	13.2	7.9	0.0							
	その他	252	52.4	16.7	3.6	19.0	7.5	0.8							
	子どもはいない	203	62.6	14.3	2.5	15.8	3.9	1.0							
	無回答	10	60.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0							
世帯の 年間収入別	0~100万円未満	68	54.4	19.1	1.5	16.2	7.4	1.5							
	100~200万円未満	95	52.6	16.8	2.1	22.1	5.3	1.1							
	200~300万円未満	120	55.8	17.5	1.7	19.2	4.2	1.7							
	300~400万円未満	93	50.5	23.7	4.3	15.1	6.5	0.0							
	400~600万円未満	109	65.1	15.6	3.7	9.2	5.5	0.9							
	600~800万円未満	57	43.9	22.8	1.8	21.1	10.5	0.0							
	800~1000万円未満	24	75.0	4.2	0.0	12.5	8.3	0.0							
	1000万円以上	22	50.0	22.7	4.5	13.6	9.1	0.0							
	無回答	29	51.7	10.3	3.4	31.0	3.4	0.0							
広域市 町村圏別	高知市	273	52.0	21.2	1.8	16.8	7.0	1.1							
	安芸広域圏	40	57.5	17.5	2.5	20.0	2.5	0.0							
	南国・香美広域圏	70	58.6	24.3	2.9	11.4	2.9	0.0							
	嶺北広域圏	14	64.3	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0							
	仁淀川広域圏	51	58.8	9.8	5.9	17.6	7.8	0.0							
	高吾北広域圏	19	63.2	10.5	0.0	15.8	10.5	0.0							
	高幡広域圏	60	61.7	8.3	3.3	15.0	10.0	1.7							
	幡多広域圏	77	55.8	16.9	2.6	19.5	3.9	1.3							
無回答	13	30.8	7.7	7.7	46.2	7.7	0.0								
部別 沿岸	沿岸部	258	55.0	18.2	2.7	16.3	6.6	1.2							
	非沿岸部	334	56.9	18.0	2.1	16.5	6.0	0.6							
	無回答	25	36.0	16.0	8.0	36.0	4.0	0.0							

問17.病院から出された処方箋をいつも調剤してもらう、かかりつけとしている薬局がありますか。(どちらかに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	ある	ない	無回答
総合	実数	1679	790	871	18
	%		47.1	51.9	1.1
性別	男性	749	42.5	56.6	0.9
	女性	914	50.4	48.4	1.2
	無回答	16	68.8	31.3	0.0
年代別	20歳代	125	20.0	80.0	0.0
	30歳代	221	28.5	71.5	0.0
	40歳代	228	27.6	71.9	0.4
	50歳代	310	48.7	51.3	0.0
	60歳代	401	48.6	49.6	1.7
	70歳以上	379	74.4	23.0	2.6
	無回答	15	73.3	26.7	0.0
職業別	農林業	113	54.0	45.1	0.9
	漁業	11	36.4	63.6	0.0
	商工サービス業自営	120	48.3	50.8	0.8
	事務職	181	32.6	66.9	0.6
	技術職	168	36.3	63.7	0.0
	労務職	169	37.9	62.1	0.0
	管理職	59	28.8	71.2	0.0
	自由業	30	46.7	50.0	3.3
	主婦	254	50.8	49.2	0.0
	学生	22	9.1	90.9	0.0
	無職	398	63.8	33.7	2.5
	その他	132	39.4	58.3	2.3
	無回答	22	68.2	27.3	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	33.1	65.5	1.4
	既婚	1106	47.9	51.4	0.7
	その他	240	55.0	44.2	0.8
	無回答	43	74.4	16.3	9.3
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	30.8	69.2	0.0
	小学生の子どもがいる	182	40.7	58.8	0.5
	中学生の子どもがいる	122	39.3	60.7	0.0
	高校生の子がいる	126	45.2	54.8	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	45.6	54.4	0.0
	その他	817	55.9	43.2	0.9
	子どもはいない	403	36.5	61.8	1.7
	無回答	44	61.4	31.8	6.8
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	55.8	41.7	2.6
	100～200万円未満	287	51.2	47.7	1.0
	200～300万円未満	338	51.8	47.9	0.3
	300～400万円未満	255	46.3	52.9	0.8
	400～600万円未満	284	40.5	59.2	0.4
	600～800万円未満	145	35.2	64.1	0.7
	800～1000万円未満	66	31.8	68.2	0.0
	1000万円以上	58	44.8	53.4	1.7
	無回答	90	55.6	38.9	5.6
	広域市町村圏別	高知市	729	41.4	57.6
安芸広域圏		118	55.1	42.4	2.5
南国・香美広域圏		229	46.7	53.3	0.0
嶺北広域圏		31	41.9	54.8	3.2
仁淀川広域圏		130	48.5	51.5	0.0
高吾北広域圏		67	56.7	41.8	1.5
高幡広域圏		138	58.7	39.9	1.4
幡多広域圏		210	51.4	47.1	1.4
無回答		27	48.1	48.1	3.7
部沿岸別	沿岸部	645	46.2	52.6	1.2
	非沿岸部	953	46.7	52.7	0.6
	無回答	81	58.0	37.0	4.9

問17副問。(問17で「2」を選んだ方のみお答えください。)かかりつけ薬局がないのはどうしてですか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	けん病 薬院 局に はか ない か る こ と か が り と	か使病 りうの つのが け便利 局はな はない ので、 かか りつけ 合 い	局ある はの ない ので、 かか りつけ 合 い	と病 扱院 のの 近く の薬 局で ない ので、 かか りつけ 合 い	か必 かり 性 を感 じな い ので、 かか りつけ 合 い	が自 薬宅 局は ない ので、 かか りつけ 合 い	自 宅 や 職 場 の 近 く に 薬 局	そ の 他	無 回 答
総合	実数	871	365	370	25	62	5	38	6		
	%		41.9	42.5	2.9	7.1	0.6	4.4	0.7		
性別	男性	424	44.3	38.9	3.5	8.0	0.5	4.5	0.2		
	女性	442	39.8	45.7	2.3	6.3	0.7	4.3	0.9		
	無回答	5	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0		
年代別	20歳代	100	51.0	35.0	2.0	8.0	0.0	3.0	1.0		
	30歳代	158	57.0	36.1	1.3	3.2	0.0	2.5	0.0		
	40歳代	164	35.4	54.3	1.2	6.1	0.0	2.4	0.6		
	50歳代	159	40.9	44.0	3.8	6.9	0.6	3.8	0.0		
	60歳代	199	37.2	39.7	5.5	8.5	1.5	6.5	1.0		
	70歳以上	87	29.9	42.5	2.3	12.6	1.1	9.2	2.3		
	無回答	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職業別	農林業	51	49.0	39.2	2.0	7.8	0.0	2.0	0.0		
	漁業	7	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0		
	商工サービス業自営	61	41.0	27.9	6.6	11.5	0.0	11.5	1.6		
	事務職	121	34.7	55.4	1.7	5.0	0.8	2.5	0.0		
	技術職	107	45.8	46.7	0.9	2.8	0.0	3.7	0.0		
	労務職	105	47.6	40.0	3.8	5.7	1.0	1.0	1.0		
	管理職	42	38.1	54.8	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0		
	自由業	15	46.7	33.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0		
	主婦	125	37.6	48.8	2.4	5.6	0.8	3.2	1.6		
	学生	20	40.0	50.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
	無職	134	39.6	33.6	3.0	12.7	1.5	8.2	1.5		
	その他	77	50.6	31.2	5.2	9.1	0.0	3.9	0.0		
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
状況別 婚姻	未婚	190	54.2	33.7	3.2	6.3	0.0	2.1	0.5		
	既婚	568	38.0	46.3	2.6	7.4	0.5	4.8	0.4		
	その他	106	41.5	38.7	3.8	7.5	1.9	5.7	0.9		
	無回答	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6		
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	110	47.3	41.8	1.8	5.5	0.0	3.6	0.0		
	小学生の子どもがいる	107	34.6	56.1	0.9	3.7	0.0	4.7	0.0		
	中学生の子どもがいる	74	31.1	58.1	2.7	6.8	0.0	1.4	0.0		
	高校生の子どもがいる	69	33.3	58.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0		
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	56	39.3	46.4	1.8	5.4	0.0	5.4	1.8		
	その他	353	37.7	40.8	3.7	9.6	1.4	5.9	0.8		
	子どもはいない	249	53.8	34.5	2.4	6.0	0.0	2.4	0.8		
無回答	14	50.0	35.7	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0			
世帯の 年間収入別	0~100万円未満	65	36.9	30.8	4.6	16.9	1.5	7.7	1.5		
	100~200万円未満	137	51.1	30.7	2.9	8.0	0.7	6.6	0.0		
	200~300万円未満	162	46.9	39.5	3.7	5.6	0.0	3.7	0.6		
	300~400万円未満	135	40.0	45.2	2.2	9.6	0.7	2.2	0.0		
	400~600万円未満	168	40.5	49.4	2.4	3.6	1.2	3.0	0.0		
	600~800万円未満	93	34.4	52.7	1.1	5.4	0.0	6.5	0.0		
	800~1000万円未満	45	46.7	44.4	0.0	2.2	0.0	6.7	0.0		
	1000万円以上	31	25.8	58.1	3.2	6.5	0.0	3.2	3.2		
	無回答	35	34.3	37.1	8.6	11.4	0.0	0.0	8.6		
広域市 町村圏別	高知市	420	39.8	45.0	2.9	6.7	0.2	4.5	1.0		
	安芸広域圏	50	46.0	42.0	2.0	4.0	0.0	6.0	0.0		
	南国・香美広域圏	122	39.3	47.5	2.5	6.6	0.0	3.3	0.8		
	嶺北広域圏	17	52.9	35.3	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0		
	仁淀川広域圏	67	35.8	38.8	4.5	9.0	3.0	9.0	0.0		
	高吾北広域圏	28	32.1	46.4	7.1	7.1	3.6	3.6	0.0		
	高幡広域圏	55	50.9	36.4	1.8	9.1	0.0	1.8	0.0		
	幡多広域圏	99	56.6	32.3	0.0	7.1	0.0	4.0	0.0		
無回答	13	7.7	38.5	15.4	30.8	0.0	0.0	7.7			
部沿岸 別	沿岸部	339	41.0	42.5	2.4	8.8	0.3	4.7	0.3		
	非沿岸部	502	43.4	43.2	3.0	5.2	0.8	4.0	0.4		
	無回答	30	26.7	30.0	6.7	20.0	0.0	6.7	10.0		



問18.あなたは「お薬手帳」を知っていましたか、また、持っていますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	に 知 っ て お い る 、 す で	持 っ て い な い が、	持 っ て い な か つ た し、	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1679	625	575	445	13	21
	%		37.2	34.2	26.5	0.8	1.3
性別	男性	749	31.8	27.0	39.3	0.8	1.2
	女性	914	41.5	40.3	16.2	0.8	1.3
	無回答	16	50.0	31.3	18.8	0.0	0.0
年代別	20歳代	125	23.2	37.6	36.8	2.4	0.0
	30歳代	221	31.7	41.6	25.8	0.0	0.9
	40歳代	228	29.8	45.2	23.7	0.9	0.4
	50歳代	310	27.7	44.5	26.8	1.0	0.0
	60歳代	401	33.2	30.4	33.2	1.0	2.2
	70歳以上	379	60.9	17.9	18.5	0.3	2.4
	無回答	15	53.3	33.3	13.3	0.0	0.0
	職業別	農林業	113	44.2	21.2	31.9	0.0
	漁業	11	45.5	18.2	36.4	0.0	0.0
	商工サービス業自営	120	33.3	29.2	34.2	2.5	0.8
	事務職	181	40.3	43.1	15.5	1.1	0.0
	技術職	168	22.0	48.8	28.0	1.2	0.0
	労務職	169	21.3	36.7	40.2	0.6	1.2
	管理職	59	15.3	45.8	39.0	0.0	0.0
	自由業	30	26.7	43.3	26.7	0.0	3.3
	主婦	254	43.3	40.2	15.7	0.4	0.4
	学生	22	13.6	31.8	54.5	0.0	0.0
	無職	398	48.7	24.6	23.6	0.5	2.5
	その他	132	36.4	28.8	31.8	1.5	1.5
	無回答	22	54.5	31.8	9.1	0.0	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	26.2	35.2	35.5	1.4	1.7
	既婚	1106	38.7	35.2	24.6	0.5	1.0
	その他	240	42.5	29.2	26.3	1.3	0.8
	無回答	43	44.2	32.6	16.3	0.0	7.0
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	37.7	39.0	22.0	0.0	1.3
	小学生の子どもがいる	182	33.0	45.6	19.2	0.5	1.6
	中学生の子どもがいる	122	39.3	40.2	19.7	0.8	0.0
	高校生の子どもがいる	126	39.7	34.1	23.8	2.4	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	35.9	38.8	24.3	1.0	0.0
	その他	817	40.6	30.8	26.7	0.7	1.1
	子どもはいない	403	29.8	34.5	33.3	1.0	1.5
	無回答	44	47.7	27.3	20.5	0.0	4.5
世帯の 年間収入別	0～100万円未満	156	42.9	25.0	26.9	1.3	3.8
	100～200万円未満	287	38.7	28.9	31.4	0.3	0.7
	200～300万円未満	338	39.3	31.4	27.5	0.9	0.9
	300～400万円未満	255	37.6	34.9	25.9	0.8	0.8
	400～600万円未満	284	35.6	38.4	25.0	0.4	0.7
	600～800万円未満	145	29.0	46.2	23.4	1.4	0.0
	800～1000万円未満	66	25.8	50.0	22.7	1.5	0.0
	1000万円以上	58	32.8	46.6	19.0	0.0	1.7
	無回答	90	43.3	24.4	25.6	1.1	5.6
	広域市 町村圏別	高知市	729	35.8	38.3	23.2	1.1
安芸広域圏		118	39.8	31.4	26.3	0.8	1.7
南国・香美広域圏		229	45.0	31.9	22.7	0.0	0.4
嶺北広域圏		31	48.4	35.5	16.1	0.0	0.0
仁淀川広域圏		130	40.0	33.8	25.4	0.8	0.0
高吾北広域圏		67	32.8	44.8	20.9	0.0	1.5
高幡広域圏		138	39.9	30.4	28.3	0.0	1.4
幡多広域圏		210	28.6	25.7	43.8	1.4	0.5
無回答		27	37.0	18.5	37.0	0.0	7.4
部沿 別岸	沿岸部	645	36.7	33.3	27.9	0.9	1.1
	非沿岸部	953	36.9	35.3	26.2	0.7	0.8
	無回答	81	44.4	29.6	18.5	0.0	7.4

問19.仮にあなたが病気の急性期を過ぎて、その後遺症などで長期の療養が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	け に よ り 在 宅 医 療 を 受 け る	訪 問 診 療 や 在 宅 医 療 を 受 け る	自 宅 で 暮 ら し な が ら 、 訪 問 診 療 や 在 宅 医 療 を 受 け る	家 族 な ど の 介 助 を 受 け る	て 、 介 護 施 設 に 入 所 し て 、 介 護 医 生 に よ る 診 療 を 受 け る	ど の 介 護 施 設 に 入 所 し て 、 介 護 医 生 に よ る 診 療 を 受 け る	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム な ど の 介 護 施 設 に 入 所 し て 、 介 護 医 生 に よ る 診 療 を 受 け る	受 け る 病 院 に 入 院 し て 診 療 を 受 け る	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総合	実数	1679	409	287	192	497	26	263	5				
	%		24.4	17.1	11.4	29.6	1.5	15.7	0.3				
性別	男性	749	22.7	17.4	10.1	32.3	1.6	15.6	0.3				
	女性	914	25.7	17.1	12.4	27.2	1.5	15.8	0.3				
	無回答	16	25.0	6.3	18.8	37.5	0.0	12.5	0.0				
年代別	20歳代	125	30.4	20.0	4.8	32.0	0.8	12.0	0.0				
	30歳代	221	23.5	18.6	12.7	23.5	2.3	19.5	0.0				
	40歳代	228	27.2	12.7	12.3	28.9	0.9	17.5	0.4				
	50歳代	310	22.9	13.9	11.6	30.3	1.3	19.7	0.3				
	60歳代	401	21.4	17.2	13.0	31.2	2.2	14.2	0.7				
	70歳以上	379	25.3	20.8	10.0	30.3	1.3	12.1	0.0				
	無回答	15	26.7	6.7	26.7	33.3	0.0	6.7	0.0				
職業別	農林業	113	26.5	24.8	13.3	23.0	0.9	11.5	0.0				
	漁業	11	0.0	18.2	0.0	63.6	0.0	18.2	0.0				
	商工サービス業自営	120	23.3	20.0	12.5	28.3	2.5	13.3	0.0				
	事務職	181	22.7	16.6	13.8	30.9	0.6	14.9	0.6				
	技術職	168	27.4	12.5	12.5	28.0	3.0	16.1	0.6				
	労務職	169	23.7	13.0	10.7	33.1	1.2	17.8	0.6				
	管理職	59	28.8	13.6	6.8	32.2	5.1	13.6	0.0				
	自由業	30	33.3	16.7	6.7	20.0	3.3	20.0	0.0				
	主婦	254	19.7	20.5	11.0	30.3	1.2	17.3	0.0				
	学生	22	36.4	22.7	4.5	27.3	0.0	9.1	0.0				
	無職	398	23.1	18.1	11.3	30.4	1.5	15.1	0.5				
	その他	132	32.6	11.4	11.4	26.5	0.8	17.4	0.0				
	無回答	22	18.2	13.6	13.6	31.8	0.0	22.7	0.0				
状況別 婚姻	未婚	290	29.3	14.1	9.7	26.2	1.4	19.3	0.0				
	既婚	1106	22.7	19.3	11.8	29.7	1.3	14.8	0.4				
	その他	240	27.9	10.4	12.5	32.5	3.3	13.3	0.0				
	無回答	43	14.0	16.3	9.3	32.6	0.0	25.6	2.3				
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	23.9	20.8	13.8	25.2	3.1	13.2	0.0				
	小学生の子どもがいる	182	24.7	18.7	14.3	25.8	1.6	14.8	0.0				
	中学生の子どもがいる	122	27.9	18.0	12.3	27.9	0.0	13.1	0.8				
	高校生の子どもがいる	126	26.2	14.3	12.7	31.7	0.0	14.3	0.8				
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	25.2	13.6	11.7	30.1	1.9	17.5	0.0				
	その他	817	22.5	16.9	11.9	31.0	2.0	15.4	0.4				
	子どもはいない	403	27.3	15.4	9.4	28.8	1.0	17.9	0.2				
	無回答	44	27.3	20.5	9.1	20.5	0.0	22.7	0.0				
世帯の 年間収入別	0~100万円未満	156	18.6	17.3	9.0	26.3	3.8	24.4	0.6				
	100~200万円未満	287	23.0	19.5	12.9	30.7	1.7	12.2	0.0				
	200~300万円未満	338	29.0	17.5	9.5	25.4	1.8	16.0	0.9				
	300~400万円未満	255	20.8	18.4	11.4	34.1	1.2	13.7	0.4				
	400~600万円未満	284	25.4	15.8	12.0	30.6	1.8	14.4	0.0				
	600~800万円未満	145	23.4	18.6	14.5	35.2	0.0	8.3	0.0				
	800~1000万円未満	66	18.2	9.1	16.7	33.3	0.0	22.7	0.0				
	1000万円以上	58	39.7	15.5	12.1	25.9	1.7	5.2	0.0				
	無回答	90	24.4	12.2	7.8	22.2	0.0	33.3	0.0				
広域市 町村圏別	高知市	729	22.9	17.4	10.8	30.3	1.4	16.9	0.3				
	安芸広域圏	118	24.6	9.3	13.6	36.4	0.0	15.3	0.8				
	南国・香美広域圏	229	29.3	14.8	10.9	27.9	1.7	15.3	0.0				
	嶺北広域圏	31	6.5	32.3	19.4	22.6	9.7	9.7	0.0				
	仁淀川広域圏	130	18.5	14.6	10.8	33.1	3.1	20.0	0.0				
	高吾北広域圏	67	20.9	20.9	11.9	26.9	0.0	19.4	0.0				
	高幡広域圏	138	23.9	23.9	13.8	26.1	2.9	8.7	0.7				
	幡多広域圏	210	31.9	16.2	11.0	28.6	0.5	11.9	0.0				
	無回答	27	22.2	18.5	7.4	18.5	0.0	29.6	3.7				
部 別 沿岸	沿岸部	645	24.5	17.8	9.9	31.3	1.6	14.4	0.5				
	非沿岸部	953	24.7	16.7	12.9	28.8	1.5	15.4	0.1				
	無回答	81	19.8	16.0	6.2	25.9	2.5	28.4	1.2				

クロス分析

問15 かかりつけ医の有無

×

問19 長期療養が必要になった場合に選択する医療形態

(単位:人、%)

		問19							
		サンプル	介護などにより在宅医療を受ける	自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護	家族などの介助を受けて病院に通院する	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける	病院に入院して診療を受ける	その他	わからない
問15	計	1679	24.4	17.1	11.4	29.6	1.5	15.7	0.3
	いる	928	22.8	19.6	13.0	29.3	1.8	13.1	0.2
	いない	743	26.2	14.1	9.6	30.3	1.2	18.3	0.3
	無回答	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	12.5

問20.あなたが長期の療養が必要になった場合、どのような条件や環境が整えば在宅医療を選択しますか。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある	在宅での医療や介護に ついては、いつでも相談でき る先がある
総合	実数	1679	249	375	458	320	615	575	38	19	215	5	
	%		14.8	22.3	27.3	19.1	36.6	34.2	2.3	1.1	12.8	0.3	
性別	男性	749	13.2	23.6	28.6	18.8	34.6	35.1	2.4	0.9	13.0	0.5	
	女性	914	15.9	21.2	26.1	19.4	38.8	33.9	2.2	1.3	12.5	0.1	
	無回答	16	31.3	25.0	31.3	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	
年代別	20歳代	125	11.2	32.8	15.2	16.8	53.6	44.8	0.0	0.8	8.0	0.0	
	30歳代	221	14.0	26.7	16.3	14.0	53.8	47.1	0.9	0.9	6.3	0.0	
	40歳代	228	14.0	22.8	17.1	23.2	47.8	50.4	0.0	0.9	8.3	0.0	
	50歳代	310	15.8	24.2	25.8	18.7	45.2	35.2	1.0	0.6	10.3	0.3	
	60歳代	401	14.2	19.0	32.9	21.7	28.4	28.4	1.7	1.2	16.5	0.7	
	70歳以上	379	16.1	18.2	39.1	17.7	17.2	19.8	6.9	1.8	18.7	0.3	
	無回答	15	33.3	20.0	26.7	20.0	6.7	13.3	0.0	0.0	20.0	0.0	
職業別	農林業	113	15.0	23.9	36.3	24.8	31.0	27.4	4.4	0.0	8.8	0.0	
	漁業	11	9.1	9.1	27.3	18.2	18.2	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	
	商工サービス業自営	120	12.5	20.0	36.7	16.7	32.5	33.3	1.7	0.0	11.7	0.8	
	事務職	181	16.0	26.5	21.5	15.5	51.9	39.8	1.7	2.2	5.0	0.6	
	技術職	168	10.7	31.5	14.3	22.0	52.4	45.2	0.6	0.0	6.0	0.0	
	労務職	169	11.8	24.3	21.3	17.2	38.5	47.9	0.6	1.2	10.7	0.6	
	管理職	59	6.8	35.6	28.8	18.6	55.9	32.2	0.0	1.7	6.8	0.0	
	自由業	30	16.7	16.7	23.3	23.3	50.0	23.3	0.0	3.3	10.0	0.0	
	主婦	254	18.9	17.3	26.8	25.6	38.6	28.0	2.0	1.6	14.2	0.0	
	学生	22	9.1	45.5	18.2	9.1	54.5	31.8	0.0	0.0	13.6	0.0	
	無職	398	16.6	17.3	34.7	15.6	21.6	28.4	4.3	0.5	20.6	0.5	
	その他	132	12.9	22.0	22.7	19.7	34.8	40.2	0.8	2.3	15.2	0.0	
	無回答	22	31.8	13.6	31.8	13.6	9.1	9.1	4.5	0.0	22.7	0.0	
状況別 婚姻	未婚	290	15.5	29.3	22.4	13.4	40.0	40.0	1.0	0.3	12.8	0.0	
	既婚	1106	13.7	20.9	29.3	22.0	39.3	33.4	2.5	0.7	11.3	0.3	
	その他	240	17.5	22.9	24.2	12.5	25.4	35.0	2.1	3.8	16.7	0.0	
	無回答	43	23.3	9.3	25.6	18.6	7.0	14.0	4.7	2.3	30.2	4.7	
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	9.4	26.4	16.4	19.5	55.3	45.3	1.3	1.3	6.3	0.0	
	小学生の子どもがいる	182	9.3	21.4	25.8	23.1	48.4	44.5	0.5	1.6	5.5	0.5	
	中学生の子どもがいる	122	13.9	20.5	22.1	21.3	41.0	46.7	0.0	1.6	10.7	0.8	
	高校生の子どもがいる	126	11.1	14.3	31.0	19.8	53.2	43.7	0.8	0.0	6.3	0.0	
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	8.7	24.3	29.1	17.5	51.5	35.9	2.9	1.9	6.8	0.0	
	その他	817	15.2	19.3	31.3	20.7	31.6	28.8	3.4	1.3	14.6	0.2	
	子どもはいない	403	15.9	27.5	23.8	14.4	36.7	37.5	1.5	1.0	14.1	0.2	
	無回答	44	27.3	6.8	34.1	11.4	11.4	20.5	2.3	0.0	27.3	2.3	
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	14.7	18.6	23.1	15.4	15.4	27.6	3.8	2.6	25.6	1.3	
	100~200万円未満	287	18.5	15.7	26.8	20.2	24.4	38.0	3.5	1.7	17.1	0.3	
	200~300万円未満	338	15.4	20.1	31.1	18.9	32.0	35.8	2.4	0.9	13.9	0.6	
	300~400万円未満	255	12.2	21.2	32.5	17.6	43.1	42.7	1.6	0.8	5.5	0.0	
	400~600万円未満	284	14.4	26.4	26.8	19.0	48.2	33.8	1.1	0.7	8.5	0.0	
	600~800万円未満	145	14.5	36.6	22.1	22.8	49.7	24.8	2.1	0.7	8.3	0.0	
	800~1000万円未満	66	10.6	19.7	21.2	24.2	63.6	42.4	1.5	0.0	3.0	0.0	
	1000万円以上	58	8.6	34.5	24.1	31.0	56.9	20.7	0.0	3.4	0.0	0.0	
	無回答	90	17.8	20.0	23.3	8.9	21.1	23.3	3.3	0.0	30.0	0.0	
	広域市町村圏別	高知市	729	15.0	21.1	26.7	18.0	40.1	36.5	1.2	1.1	12.3	0.3
安芸広域圏		118	16.1	21.2	29.7	19.5	33.1	28.8	0.8	0.0	16.1	0.0	
南国・香美広域圏		229	15.3	25.3	28.4	20.1	40.2	37.1	1.7	0.4	8.7	0.0	
嶺北広域圏		31	9.7	19.4	25.8	29.0	32.3	22.6	6.5	3.2	16.1	0.0	
仁淀川広域圏		130	13.1	16.2	32.3	19.2	34.6	33.8	1.5	1.5	13.8	0.8	
高吾北広域圏		67	14.9	17.9	28.4	22.4	31.3	26.9	6.0	0.0	17.9	0.0	
高幡広域圏		138	13.8	24.6	25.4	21.7	29.7	27.5	5.8	3.6	14.5	0.7	
幡多広域圏		210	15.7	26.7	26.7	18.6	32.4	36.7	2.9	1.0	11.9	0.0	
無回答		27	14.8	33.3	11.1	7.4	25.9	22.2	7.4	0.0	22.2	3.7	
部別 沿岸	沿岸部	645	15.5	24.5	26.5	19.2	35.0	37.7	1.6	0.9	11.3	0.3	
	非沿岸部	953	14.0	20.8	28.4	19.3	39.1	33.4	2.3	1.3	12.8	0.1	
	無回答	81	19.8	23.5	19.8	14.8	19.8	17.3	7.4	1.2	24.7	2.5	

クロス分析

問19 長期療養が必要になった場合に選択する医療形態

×

問20 長期療養が必要になった場合に在宅医療を選択する条件

(単位:人、%)

		問20										
		サ ン プ ル	先 が あ る	在 宅 で の 医 療 や 介 護 に つ い て 、 い つ で も 相 談 で き る	急 に 病 状 が 悪 化 し た 場 合 に 、 す ぐ に 往 診 し て く れ る	急 に 病 状 が 悪 化 し た 場 合 に 入 院 で き る	家 族 が 急 な 病 気 や 用 事 で 介 護 で き な く な っ た 時 に 、 代 わ り に 看 護 を 引 き 受 け て く れ る 施 設 が あ る	家 族 の 身 体 的 ・ 時 間 的 な 負 担 が 大 き く な ら な い	経 済 的 な 負 担 が 少 な い	現 状 で も 特 に 問 題 な く 、 在 宅 医 療 を 受 け ら れ る	そ の 他	わ か ら な い
問19	計	1679	14.8	22.3	27.3	19.1	36.6	34.2	2.3	1.1	12.8	0.3
	自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける	409	24.2	31.8	28.9	18.6	38.4	34.5	2.4	0.5	4.4	0.0
	家族などの介助を受けて病院に通院する	287	16.4	25.8	30.0	18.8	33.4	32.1	5.6	1.4	9.1	0.3
	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、嘱託医による診療を受ける	192	14.1	18.8	21.9	29.7	44.8	36.5	0.0	1.0	10.4	0.0
	病院に入院して診療を受ける	497	10.7	18.1	33.4	17.9	36.8	33.6	1.4	1.4	12.9	0.0
	その他	26	11.5	23.1	19.2	26.9	26.9	30.8	0.0	11.5	11.5	0.0
	わからない	263	7.6	14.4	15.2	14.1	31.9	36.9	1.9	0.4	31.9	0.4
	無回答	5	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

問21.あなたや家族の方が在宅医療を選択する場合、どこに相談しますか。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サ ン プ ル	保 健 所 な ど 公 共 の 窓 口	市 町 村 ( 地 域 包 括 支 援 セ ン ター )	ソ ー シ ヤ ル ワ ー カ ー	か り つ け 医 生 や 医 療 シ ン タ ー	や 地 区 長 な ど	員 ・ 児 童 委 員 、 町 内 会 長	地 域 の お 世 話 役 ( 民 生 委 )	ア マ ネ ジ ャ ー	居 宅 介 護 支 援 事 業 所 ( ケ ア )	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総 合	実数	1679	827	927	92	332	12	250	6					
	%		49.3	55.2	5.5	19.8	0.7	14.9	0.4					
性 別	男性	749	51.0	47.4	6.0	19.2	1.1	18.2	0.5					
	女性	914	48.4	61.6	4.8	20.6	0.4	12.0	0.2					
	無回答	16	18.8	56.3	18.8	0.0	0.0	25.0	0.0					
年 代 別	20歳代	125	35.2	56.0	2.4	13.6	1.6	28.0	0.0					
	30歳代	221	54.8	54.3	1.8	15.4	1.4	14.9	0.5					
	40歳代	228	51.3	51.8	4.8	20.2	0.0	19.3	0.0					
	50歳代	310	57.4	54.5	3.2	22.6	0.0	10.0	0.3					
	60歳代	401	52.6	54.9	5.7	23.7	0.0	13.5	0.5					
	70歳以上	379	40.1	58.6	10.0	18.2	1.8	13.2	0.5					
	無回答	15	26.7	53.3	20.0	6.7	0.0	20.0	0.0					
職 業 別	農林業	113	55.8	58.4	8.8	20.4	0.0	9.7	0.0					
	漁業	11	54.5	54.5	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0					
	商工サービス業自営	120	54.2	57.5	0.8	19.2	0.0	10.0	0.0					
	事務職	181	51.9	61.9	1.1	18.2	0.0	13.3	0.6					
	技術職	168	55.4	60.7	2.4	26.2	0.0	11.3	0.0					
	労務職	169	52.7	44.4	8.3	18.9	1.2	16.6	0.6					
	管理職	59	47.5	47.5	0.0	28.8	3.4	16.9	0.0					
	自由業	30	26.7	60.0	0.0	23.3	3.3	16.7	0.0					
	主婦	254	44.1	64.2	5.9	19.7	0.4	13.4	0.4					
	学生	22	40.9	63.6	0.0	13.6	4.5	31.8	0.0					
	無職	398	47.2	52.0	8.8	18.8	0.8	15.3	0.8					
	その他	132	50.8	43.2	5.3	15.9	0.8	23.5	0.0					
無回答	22	22.7	45.5	18.2	9.1	0.0	31.8	0.0						
状 況 別 婚 姻	未婚	290	46.9	54.8	4.1	14.1	1.4	20.0	0.0					
	既婚	1106	50.5	57.5	4.6	22.2	0.2	13.0	0.4					
	その他	240	48.8	49.2	8.8	15.8	2.5	15.8	0.0					
	無回答	43	37.2	32.6	18.6	16.3	0.0	23.3	4.7					
子 ど も の 状 況 別	就学前の子どもがいる	159	45.3	56.0	3.8	23.9	0.6	17.0	0.0					
	小学生の子どもがいる	182	52.7	59.3	3.3	20.3	0.0	12.6	1.1					
	中学生の子どもがいる	122	52.5	47.5	1.6	16.4	0.0	21.3	1.6					
	高校生の子どもがいる	126	56.3	56.3	1.6	21.4	0.8	12.7	0.0					
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	51.5	60.2	2.9	24.3	1.0	14.6	0.0					
	その他	817	50.6	55.8	7.0	21.8	0.4	11.9	0.2					
	子どもはいない	403	45.9	54.3	4.2	14.9	1.5	19.4	0.2					
無回答	44	40.9	43.2	6.8	13.6	2.3	22.7	2.3						
世 帯 の 年 間 収 入 別	0～100万円未満	156	49.4	38.5	12.2	13.5	1.3	21.8	0.6					
	100～200万円未満	287	49.5	49.1	10.1	15.3	0.7	16.0	0.7					
	200～300万円未満	338	49.1	55.9	5.6	20.4	1.8	14.2	0.6					
	300～400万円未満	255	47.5	60.4	1.2	25.5	0.4	13.3	0.4					
	400～600万円未満	284	56.0	61.3	3.5	21.8	0.4	10.2	0.0					
	600～800万円未満	145	49.0	66.9	2.8	24.1	0.0	9.7	0.0					
	800～1000万円未満	66	51.5	53.0	0.0	22.7	0.0	15.2	0.0					
	1000万円以上	58	37.9	63.8	0.0	24.1	0.0	13.8	0.0					
	無回答	90	38.9	44.4	8.9	7.8	0.0	30.0	0.0					
広 域 市 町 村 圏 別	高知市	729	40.5	59.0	4.7	21.0	0.5	17.7	0.3					
	安芸広域圏	118	53.4	52.5	5.1	21.2	0.0	14.4	0.0					
	南国・香美広域圏	229	58.1	57.2	1.3	19.7	1.3	10.9	0.0					
	嶺北広域圏	31	77.4	45.2	6.5	16.1	0.0	3.2	0.0					
	仁淀川広域圏	130	56.2	53.1	6.2	15.4	0.0	14.6	0.0					
	高吾北広域圏	67	47.8	47.8	13.4	25.4	0.0	13.4	0.0					
	高幡広域圏	138	55.8	50.0	5.1	15.9	1.4	15.9	0.7					
	幡多広域圏	210	56.7	51.0	10.0	20.0	1.4	10.5	1.0					
無回答	27	40.7	48.1	7.4	11.1	0.0	22.2	3.7						
部 別 岸	沿岸部	645	48.5	53.0	5.1	21.4	0.9	16.1	0.5					
	非沿岸部	953	50.5	57.1	5.5	19.2	0.6	13.7	0.2					
	無回答	81	40.7	50.6	8.6	13.6	0.0	18.5	1.2					

問22.あなたは、現在お住まいの地域で、今後も安心して暮らしていくことについて、どのような不安を感じていますか。

		サンプル	の地域での「見守り」活動	地域の「見守り」活動	「集落での共同作業」、活	場「集う」場所や「交流の	できると安心して「相談」	づら「交通手段」がない、又	の理解「が進んでいない」	認知症やうつ病、ひきこ	「経済的基盤」が弱い	医療や介護、障害、保育
総合	実数	1679	346	218	275	358	317	128	742	118		
	%		20.6	13.0	16.4	21.3	18.9	7.6	44.2	7.0		
性別	男性	749	22.6	15.6	18.4	23.2	15.9	8.0	45.4	6.3		
	女性	914	18.9	10.9	14.8	19.8	21.4	7.2	43.1	7.7		
	無回答	16	25.0	6.3	12.5	18.8	12.5	12.5	50.0	6.3		
年代別	20歳代	125	21.6	8.0	12.8	16.8	24.0	8.8	37.6	4.8		
	30歳代	221	14.9	10.9	21.7	12.2	24.0	5.4	39.4	8.1		
	40歳代	228	17.1	10.1	18.0	22.8	19.3	8.3	46.5	9.2		
	50歳代	310	17.1	10.6	11.6	24.8	19.7	9.0	45.2	6.1		
	60歳代	401	22.4	17.2	16.5	23.9	16.2	6.5	48.4	7.2		
	70歳以上	379	26.1	15.6	17.4	21.6	16.4	7.9	42.7	6.6		
	無回答	15	33.3	0.0	13.3	20.0	13.3	13.3	40.0	0.0		
職業別	農林業	113	23.9	21.2	19.5	16.8	18.6	12.4	42.5	8.0		
	漁業	11	0.0	18.2	18.2	27.3	18.2	18.2	45.5	0.0		
	商工サービス業自営	120	18.3	10.0	17.5	22.5	12.5	5.0	50.0	3.3		
	事務職	181	17.1	9.4	16.0	17.1	28.7	5.0	40.9	8.8		
	技術職	168	14.3	12.5	19.0	20.2	18.5	12.5	45.2	8.3		
	労務職	169	19.5	10.1	12.4	21.3	13.6	1.8	57.4	5.9		
	管理職	59	27.1	15.3	11.9	32.2	16.9	5.1	35.6	11.9		
	自由業	30	16.7	6.7	10.0	26.7	26.7	10.0	23.3	0.0		
	主婦	254	21.3	14.2	17.3	20.9	24.4	9.1	35.8	7.1		
	学生	22	13.6	9.1	13.6	22.7	27.3	13.6	31.8	4.5		
	無職	398	21.9	15.3	17.8	23.1	15.8	6.8	47.5	7.8		
	その他	132	27.3	10.6	13.6	18.2	16.7	8.3	44.7	5.3		
	無回答	22	36.4	4.5	9.1	31.8	9.1	13.6	36.4	4.5		
状況別 婚姻	未婚	290	18.6	11.4	12.4	21.0	24.8	6.9	42.8	5.5		
	既婚	1106	20.3	14.2	17.9	20.5	17.7	7.6	42.7	7.7		
	その他	240	23.8	10.4	13.8	26.3	17.5	6.7	52.1	7.1		
	無回答	43	23.3	7.0	18.6	16.3	16.3	18.6	48.8	0.0		
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	18.2	11.9	26.4	14.5	20.1	6.9	37.7	8.8		
	小学生の子どもがいる	182	17.6	12.1	20.9	19.8	26.4	8.8	42.9	4.9		
	中学生の子どもがいる	122	19.7	18.0	17.2	23.8	24.6	9.8	45.9	7.4		
	高校生の子どもがいる	126	19.8	11.1	19.0	22.2	14.3	12.7	38.9	5.6		
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	15.5	13.6	17.5	21.4	19.4	5.8	46.6	7.8		
	その他	817	21.8	14.2	16.4	22.9	17.3	7.3	45.7	7.7		
	子どもはいない	403	19.9	11.9	10.9	19.9	21.8	7.2	44.2	5.5		
	無回答	44	25.0	6.8	15.9	20.5	11.4	15.9	45.5	0.0		
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	25.6	8.3	16.0	23.1	21.8	5.8	56.4	3.2		
	100～200万円未満	287	24.0	10.8	15.7	20.9	18.1	8.7	53.3	5.2		
	200～300万円未満	338	21.6	13.3	14.8	20.7	14.2	6.2	48.5	9.8		
	300～400万円未満	255	18.4	15.7	15.7	22.4	19.6	7.5	42.0	7.8		
	400～600万円未満	284	21.5	14.4	22.2	21.1	22.5	7.7	33.8	6.3		
	600～800万円未満	145	18.6	14.5	17.2	23.4	24.1	8.3	35.9	10.3		
	800～1000万円未満	66	16.7	12.1	18.2	24.2	12.1	3.0	42.4	3.0		
	1000万円以上	58	17.2	10.3	17.2	19.0	25.9	15.5	29.3	6.9		
	無回答	90	8.9	14.4	5.6	15.6	12.2	10.0	41.1	6.7		
広域市町村圏別	高知市	729	23.0	13.2	18.1	26.3	14.3	7.0	42.1	6.9		
	安芸広域圏	118	17.8	10.2	12.7	21.2	26.3	4.2	39.8	7.6		
	南国・香美広域圏	229	22.3	16.6	19.2	17.5	24.0	5.7	45.4	5.7		
	嶺北広域圏	31	22.6	32.3	9.7	16.1	12.9	22.6	61.3	0.0		
	仁淀川広域圏	130	16.9	10.8	12.3	18.5	16.9	6.9	46.9	13.1		
	高吾北広域圏	67	17.9	11.9	16.4	11.9	20.9	10.4	40.3	6.0		
	高幡広域圏	138	22.5	10.1	15.9	15.2	26.8	11.6	46.4	5.8		
	幡多広域圏	210	14.8	10.0	14.8	18.6	22.9	8.1	49.0	7.6		
	無回答	27	11.1	18.5	3.7	14.8	7.4	11.1	37.0	3.7		
部沿岸	沿岸部	645	21.9	12.1	17.8	22.2	21.6	6.8	45.3	7.8		
	非沿岸部	953	20.0	13.5	15.8	20.5	17.7	8.1	44.2	6.9		
	無回答	81	17.3	13.6	11.1	24.7	11.1	8.6	35.8	2.5		

(3つまで○印)

(単位:人、%)

者などの負担が増える	医療や介護、障害、保育	「雇用」が進んでいない	「高齢者や障害のある人の雇用」が進んでいない	「高年齢者や障害のある人の雇用」が進んでいない	「若者が流出」する	仕事がなく「若者が流出」する	不安を感じていない	その他	無回答																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
295	260	630	113	26	46	17.6	15.5	37.5	6.7	1.5	2.7	16.8	17.0	39.8	5.7	1.6	2.3	18.5	14.2	35.9	7.5	1.5	3.1	0.0	18.8	25.0	6.3	0.0	6.3	16.0	10.4	45.6	8.8	3.2	2.4	23.1	15.8	52.9	4.1	2.3	0.5	18.0	21.9	40.4	3.9	0.9	0.4	20.0	21.3	39.7	6.5	1.0	1.6	16.5	13.5	35.2	6.5	1.5	3.0	14.5	10.6	25.3	9.8	1.6	6.1	0.0	13.3	26.7	6.7	0.0	6.7	13.3	8.8	38.9	8.0	0.9	2.7	0.0	18.2	45.5	9.1	0.0	0.0	15.8	10.8	40.8	3.3	1.7	3.3	21.5	16.0	44.8	7.2	1.1	1.7	22.0	15.5	43.5	3.6	3.0	1.8	21.9	23.7	46.7	1.8	1.2	1.2	22.0	20.3	30.5	5.1	1.7	0.0	3.3	6.7	40.0	6.7	3.3	6.7	16.5	14.6	33.1	9.4	1.2	2.0	9.1	13.6	54.5	9.1	0.0	0.0	16.6	14.6	27.1	9.0	1.8	4.5	18.2	18.9	46.2	6.8	1.5	1.5	0.0	13.6	18.2	4.5	0.0	18.2	17.2	17.6	42.8	6.6	2.4	2.4	18.4	14.1	37.7	7.1	1.3	2.3	17.1	18.3	31.3	6.3	1.7	3.3	2.3	20.9	32.6	2.3	2.3	14.0	22.6	10.1	35.2	6.9	0.6	1.9	18.1	14.3	39.0	4.9	1.1	2.7	14.8	16.4	39.3	0.8	0.8	1.6	15.9	15.9	48.4	1.6	2.4	2.4	21.4	17.5	39.8	4.9	1.9	0.0	17.6	15.4	34.8	7.6	1.3	2.6	16.4	15.4	41.7	7.7	2.2	2.7	2.3	25.0	27.3	2.3	0.0	15.9	11.5	21.8	27.6	7.7	0.6	4.5	14.6	18.5	39.4	5.2	1.7	2.1	20.1	16.3	37.9	5.0	1.8	2.1	22.4	11.8	36.5	8.6	2.0	2.0	21.5	12.0	38.7	7.4	1.1	1.1	16.6	17.9	37.9	8.3	1.4	2.1	15.2	12.1	47.0	9.1	1.5	0.0	8.6	6.9	44.8	8.6	3.4	0.0	11.1	17.8	34.4	3.3	1.1	16.7	19.2	14.3	31.8	8.0	1.9	2.3	18.6	11.9	54.2	3.4	0.8	4.2	19.2	15.3	31.0	7.0	0.9	0.9	19.4	6.5	58.1	0.0	6.5	0.0	14.6	18.5	35.4	6.9	0.8	2.3	13.4	22.4	41.8	9.0	0.0	4.5	12.3	12.3	47.1	2.9	2.9	6.5	16.2	21.0	44.3	6.2	0.5	2.9	14.8	18.5	48.1	11.1	3.7	3.7	17.5	15.3	37.7	5.1	1.7	2.8	18.2	15.1	37.8	7.3	1.5	2.2	11.1	21.0	33.3	12.3	1.2	8.6



問23.あなたが今お住まいの地域で安心して暮らしていくために、家族や親類以外にあなたの周りで頼りに思う人は誰ですか。  
(3つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	近隣住民(友人、親友を含む)	民生委員・児童委員	自主防災組織や消防団の団員	地域包括支援センター職員	市町村社会福祉協議会の職員	介護事業所などの社会福祉施設の職員	医師(かかりつけ医)	市町村役場の職員	警察官	その他	いない	無回答
総合	実数	1679	1049	146	112	201	78	202	424	134	144	18	361	17
	%		62.5	8.7	6.7	12.0	4.6	12.0	25.3	8.0	8.6	1.1	21.5	1.0
性別	男性	749	59.8	9.5	8.5	11.7	5.5	12.0	24.7	10.1	10.0	0.8	23.5	1.1
	女性	914	64.6	8.0	5.1	12.3	3.9	12.1	25.5	6.2	7.3	1.3	20.1	1.0
	無回答	16	68.8	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	37.5	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0
年代別	20歳代	125	60.0	1.6	10.4	8.8	1.6	6.4	13.6	8.0	8.8	0.8	28.0	0.0
	30歳代	221	60.6	3.6	7.7	7.7	1.8	4.1	11.3	8.1	13.6	0.5	29.9	0.5
	40歳代	228	59.6	6.6	5.3	10.5	1.8	9.2	14.9	7.0	9.6	1.3	28.5	0.0
	50歳代	310	60.3	6.8	7.7	11.3	3.5	11.6	22.3	6.8	9.0	0.3	24.8	1.0
	60歳代	401	63.3	11.5	4.0	15.7	7.2	15.5	28.2	9.0	6.7	1.2	18.2	1.2
	70歳以上	379	66.5	13.7	7.7	13.2	7.1	17.2	42.2	8.4	6.6	1.8	11.9	2.1
	無回答	15	73.3	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	40.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	113	80.5	20.4	9.7	8.8	8.0	15.0	33.6	8.8	1.8	0.9	8.0	2.7
	漁業	11	90.9	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0
	商工サービス業自営	120	62.5	6.7	4.2	9.2	5.0	10.0	23.3	5.8	4.2	0.8	23.3	0.8
	事務職	181	65.2	5.5	7.7	11.0	1.1	8.3	19.9	5.0	11.6	0.0	22.7	0.0
	技術職	168	60.7	4.2	4.8	11.3	2.4	12.5	22.6	9.5	7.7	0.6	25.6	0.0
	労務職	169	56.2	8.3	7.1	7.7	4.1	8.9	12.4	7.1	10.1	0.6	33.1	0.0
	管理職	59	64.4	3.4	5.1	18.6	5.1	15.3	22.0	15.3	16.9	1.7	16.9	0.0
	自由業	30	43.3	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	10.0	3.3	13.3	0.0	40.0	6.7
	主婦	254	63.8	8.3	5.5	16.9	5.5	14.2	27.2	5.5	8.7	1.2	18.1	0.8
	学生	22	63.6	0.0	22.7	9.1	4.5	4.5	13.6	13.6	13.6	4.5	18.2	0.0
	無職	398	60.3	13.1	7.0	12.6	6.5	15.3	33.9	10.1	7.5	2.0	18.6	2.0
	その他	132	57.6	3.0	6.1	12.1	3.8	9.1	21.2	8.3	10.6	0.8	26.5	0.0
	無回答	22	68.2	13.6	4.5	9.1	4.5	9.1	40.9	4.5	4.5	0.0	9.1	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	57.2	3.1	7.2	9.0	2.8	6.2	17.9	8.6	10.7	0.3	29.3	1.4
	既婚	1106	64.1	8.9	6.5	13.8	5.1	13.0	25.9	8.2	8.7	1.2	19.8	0.8
	その他	240	60.4	13.3	7.1	8.3	4.2	14.6	30.8	6.3	5.4	1.3	22.1	0.8
	無回答	43	67.4	16.3	4.7	4.7	9.3	11.6	27.9	7.0	9.3	2.3	9.3	4.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	64.8	3.1	5.7	8.2	1.9	7.5	15.1	6.3	9.4	0.6	26.4	0.6
	小学生の子どもがいる	182	64.3	8.2	7.1	10.4	4.9	11.0	17.6	8.2	6.0	1.6	23.6	0.5
	中学生の子どもがいる	122	59.8	5.7	3.3	8.2	5.7	5.7	23.0	6.6	9.0	1.6	23.8	1.6
	高校生の子どもがいる	126	63.5	10.3	4.8	13.5	4.8	11.9	25.4	4.0	11.1	0.8	19.0	0.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	67.0	6.8	6.8	14.6	5.8	11.7	26.2	6.8	6.8	2.9	22.3	0.0
	その他	817	64.5	11.0	6.6	14.1	5.3	15.5	30.6	8.9	7.6	1.6	17.1	1.0
	子どもはいない	403	57.3	5.5	6.7	9.7	3.5	7.4	20.1	7.9	10.2	0.5	27.8	1.2
無回答	44	75.0	18.2	9.1	6.8	9.1	11.4	29.5	2.3	6.8	0.0	6.8	4.5	
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	57.7	15.4	6.4	6.4	7.7	10.3	26.3	7.7	7.1	0.6	25.0	2.6
	100~200万円未満	287	59.2	11.5	5.9	10.8	7.0	14.6	23.7	7.7	8.0	1.4	21.3	1.4
	200~300万円未満	338	66.6	9.2	6.2	13.9	6.2	10.4	26.3	9.5	7.1	1.8	20.1	0.3
	300~400万円未満	255	64.3	5.1	7.1	11.4	4.3	14.1	28.6	5.5	8.2	0.4	20.8	0.0
	400~600万円未満	284	66.9	7.7	8.1	13.7	1.4	12.0	26.4	7.0	11.6	0.4	19.7	1.1
	600~800万円未満	145	62.8	6.9	8.3	11.0	4.1	11.0	19.3	8.3	13.1	1.4	19.3	0.0
	800~1000万円未満	66	62.1	6.1	4.5	13.6	0.0	13.6	18.2	10.6	6.1	1.5	25.8	0.0
	1000万円以上	58	56.9	1.7	5.2	20.7	3.4	5.2	25.9	10.3	3.4	0.0	29.3	0.0
	無回答	90	50.0	8.9	5.6	8.9	2.2	12.2	25.6	10.0	7.8	2.2	24.4	5.6
広域市町村圏別	高知市	729	55.8	7.0	6.2	8.8	2.3	10.7	22.2	6.7	12.2	0.8	28.1	0.8
	安芸広域圏	118	72.0	11.0	9.3	15.3	3.4	11.0	34.7	8.5	1.7	0.8	12.7	0.8
	南国・香美広域圏	229	63.3	9.6	6.6	18.8	5.7	14.4	29.3	7.9	7.9	0.9	18.3	0.9
	嶺北広域圏	31	83.9	9.7	9.7	9.7	41.9	16.1	12.9	22.6	6.5	0.0	6.5	3.2
	仁淀川広域圏	130	62.3	10.0	5.4	12.3	4.6	11.5	26.9	11.5	6.9	3.1	18.5	0.8
	高吾北広域圏	67	70.1	9.0	10.4	16.4	4.5	20.9	22.4	4.5	7.5	1.5	13.4	1.5
	高幡広域圏	138	72.5	10.1	7.2	14.5	8.0	8.0	26.8	9.4	3.6	1.4	15.2	0.7
	幡多広域圏	210	69.5	10.5	6.7	11.0	5.2	13.3	27.1	8.6	6.7	1.0	16.7	1.0
	無回答	27	44.4	7.4	0.0	11.1	0.0	18.5	22.2	3.7	0.0	0.0	29.6	7.4
部別 沿岸	沿岸部	645	63.1	8.4	7.3	10.7	3.1	12.4	28.4	6.8	8.2	1.1	22.5	0.8
	非沿岸部	953	63.1	8.6	6.5	12.9	5.6	11.8	22.8	9.1	9.5	1.0	20.5	0.8
	無回答	81	50.6	12.3	3.7	11.1	6.2	12.3	29.6	3.7	0.0	1.2	25.9	4.9



問24.このように、「あったかふれあいセンター」ではさまざまな支援を行っていますが、どのような機能(支援)をさらに充実すれば

		サンプル	により集めるな場所」自由	時家の夜間の居場所」不安など、	の場など」生きた、いづ、く、講、り、座	「子育で中できる母親士が	場ち障」な方や」引きこもりのが	サも高緊」をー者や」時的に預かる	みー百認」介歳知」護体症」防予防の取、りよ、り、き
総合	実数	1679	459	428	453	216	154	509	167
	%		27.3	25.5	27.0	12.9	9.2	30.3	9.9
性別	男性	749	27.8	26.4	26.0	10.8	9.1	29.6	8.9
	女性	914	26.8	24.7	27.9	14.8	9.4	31.0	10.7
	無回答	16	37.5	25.0	18.8	0.0	0.0	25.0	12.5
年代別	20歳代	125	30.4	24.0	39.2	34.4	12.8	28.0	9.6
	30歳代	221	25.8	28.1	29.4	24.9	10.0	35.7	5.9
	40歳代	228	24.1	28.5	25.9	15.4	10.5	31.1	10.1
	50歳代	310	21.0	23.9	28.7	11.9	11.0	36.1	10.0
	60歳代	401	26.9	20.9	24.7	8.2	8.0	29.4	12.0
	70歳以上	379	34.6	28.8	23.5	3.4	6.9	24.0	10.0
	無回答	15	33.3	26.7	20.0	0.0	0.0	20.0	13.3
職業別	農林業	113	34.5	23.0	22.1	14.2	6.2	31.9	11.5
	漁業	11	45.5	27.3	18.2	27.3	0.0	36.4	9.1
	商工サービス業自営	120	31.7	24.2	22.5	15.0	3.3	31.7	12.5
	事務職	181	23.8	27.1	37.0	19.9	11.0	31.5	8.3
	技術職	168	32.1	20.8	31.0	16.7	8.3	35.7	8.3
	労務職	169	22.5	28.4	29.6	18.3	9.5	31.4	4.7
	管理職	59	18.6	27.1	32.2	10.2	13.6	47.5	11.9
	自由業	30	16.7	13.3	26.7	3.3	10.0	26.7	13.3
	主婦	254	26.4	24.8	30.3	14.2	10.2	28.3	13.8
	学生	22	36.4	27.3	36.4	22.7	18.2	31.8	18.2
	無職	398	28.4	28.6	20.9	4.5	8.0	27.6	9.0
	その他	132	23.5	22.7	23.5	12.9	13.6	25.0	10.6
	無回答	22	31.8	22.7	18.2	4.5	9.1	13.6	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	24.8	27.6	31.4	15.5	10.0	27.2	10.0
	既婚	1106	27.8	22.9	27.3	13.7	9.0	32.5	10.5
	その他	240	29.6	33.3	22.1	7.5	10.4	26.7	7.9
	無回答	43	20.9	34.9	16.3	2.3	2.3	16.3	7.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	28.9	24.5	25.8	34.6	9.4	37.1	5.7
	小学生の子どもがいる	182	28.0	29.1	27.5	20.9	9.3	37.4	7.7
	中学生の子どもがいる	122	24.6	26.2	19.7	18.0	8.2	32.0	12.3
	高校生の子どもがいる	126	25.4	38.1	25.4	11.1	11.1	28.6	9.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	24.3	24.3	23.3	8.7	10.7	35.0	9.7
	その他	817	29.0	23.6	26.3	8.1	8.9	31.0	10.6
	子どもはいない	403	24.6	26.1	30.0	13.9	9.4	26.3	11.7
	無回答	44	27.3	31.8	20.5	4.5	9.1	15.9	2.3
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	26.9	31.4	18.6	5.1	9.6	21.2	9.6
	100～200万円未満	287	25.1	27.5	24.4	10.1	11.5	24.4	10.1
	200～300万円未満	338	27.8	23.7	24.3	9.2	8.6	34.3	9.2
	300～400万円未満	255	29.0	22.7	33.3	16.1	9.4	33.3	10.2
	400～600万円未満	284	32.0	24.6	28.9	17.3	9.2	30.3	12.3
	600～800万円未満	145	30.3	20.0	35.2	17.9	9.0	37.2	10.3
	800～1000万円未満	66	21.2	25.8	33.3	27.3	9.1	24.2	6.1
	1000万円以上	58	20.7	29.3	31.0	10.3	3.4	43.1	17.2
	無回答	90	17.8	32.2	15.6	8.9	6.7	26.7	2.2
	広域市町村圏別	高知市	729	24.3	25.0	27.4	15.6	11.7	28.8
安芸広域圏		118	24.6	27.1	25.4	7.6	6.8	31.4	6.8
南国・香美広域圏		229	27.1	21.8	27.5	10.9	8.3	34.1	8.7
嶺北広域圏		31	22.6	38.7	16.1	6.5	12.9	16.1	22.6
仁淀川広域圏		130	26.9	26.9	22.3	11.5	8.5	35.4	9.2
高吾北広域圏		67	31.3	28.4	28.4	10.4	9.0	35.8	4.5
高幡広域圏		138	36.2	15.2	29.0	13.8	7.2	34.8	8.0
幡多広域圏		210	33.8	32.4	29.0	10.5	4.3	24.8	7.6
無回答		27	25.9	33.3	22.2	11.1	7.4	33.3	3.7
部沿岸	沿岸部	645	28.5	26.4	28.8	12.9	8.1	28.7	8.8
	非沿岸部	953	26.8	24.7	26.9	13.3	9.8	31.4	11.1
	無回答	81	24.7	28.4	13.6	7.4	11.1	30.9	4.9

良いと思いますか。(3つまで○印)

(単位:人、%)

で相 談事 を気 軽に 「相 談 場 所」	安 否 「確 認な ど訪 問活 動」	「お 弁当 の自 宅ま での 配 達」	「生 活支 援に 対 応 でき る」	草 刈り など 「電 球交 換、 ちよ つと 」	ゴ ミ出 しや 電 球交 換、 」	迎 い 物 や 「外 出 支 援の 送 」	場 所」 安 心 し て 「入 浴 でき る 」	そ の 他	無 回 答
491	290	105	325	255	46	20	85		
29.2	17.3	6.3	19.4	15.2	2.7	1.2	5.1		
32.7	18.3	5.5	17.4	13.4	2.9	1.5	5.3		
26.6	16.4	7.0	21.0	16.7	2.6	1.0	4.7		
18.8	18.8	0.0	18.8	12.5	0.0	0.0	12.5		
17.6	20.8	1.6	9.6	16.8	1.6	1.6	3.2		
22.2	16.3	5.0	14.5	13.1	2.3	1.4	3.2		
32.9	18.9	7.5	21.1	12.3	4.4	0.4	1.3		
29.4	17.4	7.1	23.5	16.8	2.3	0.6	3.9		
33.9	17.2	6.2	22.7	15.0	3.5	1.2	6.2		
30.3	15.6	7.4	17.7	16.9	2.1	1.8	8.4		
20.0	20.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3		
27.4	13.3	4.4	13.3	18.6	2.7	0.9	6.2		
9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1		
30.0	12.5	4.2	17.5	10.8	5.0	1.7	3.3		
22.7	19.3	3.9	18.8	14.9	2.8	2.2	2.8		
26.8	18.5	4.2	19.0	16.1	2.4	0.0	1.8		
30.8	16.0	11.2	18.3	13.6	2.4	0.6	4.7		
37.3	20.3	5.1	16.9	15.3	0.0	1.7	1.7		
33.3	13.3	13.3	13.3	10.0	3.3	3.3	6.7		
32.3	12.6	9.1	22.0	16.5	2.0	1.6	3.5		
18.2	31.8	4.5	9.1	13.6	4.5	0.0	4.5		
32.7	18.1	7.0	21.9	16.1	2.5	1.0	7.8		
25.8	26.5	2.3	22.7	15.9	3.8	1.5	6.1		
13.6	13.6	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	22.7		
25.2	22.1	7.2	17.6	18.3	3.1	0.7	4.5		
29.6	16.1	5.9	19.2	14.3	2.6	1.4	4.4		
31.7	17.5	7.9	24.2	14.2	2.9	1.3	5.8		
34.9	14.0	0.0	9.3	23.3	2.3	0.0	20.9		
22.6	12.6	6.9	12.6	11.3	3.1	1.9	1.3		
26.4	13.7	7.7	18.1	13.7	1.6	1.1	1.1		
30.3	18.9	4.9	27.0	12.3	1.6	0.8	4.9		
33.3	21.4	7.1	21.4	11.1	2.4	0.0	1.6		
31.1	19.4	7.8	17.5	18.4	1.0	1.0	3.9		
32.6	16.0	6.1	21.1	15.7	2.8	1.2	6.0		
24.3	21.1	6.0	18.9	17.4	3.0	1.5	4.5		
34.1	11.4	4.5	11.4	13.6	0.0	0.0	15.9		
32.1	18.6	7.1	19.2	15.4	3.8	3.2	8.3		
30.0	16.4	5.6	22.3	17.4	2.8	0.0	6.6		
31.1	16.3	8.6	17.5	15.7	2.7	1.8	4.7		
27.5	15.3	4.7	21.2	12.9	4.7	2.0	3.1		
27.1	20.4	5.3	18.3	15.8	1.8	1.1	1.4		
29.7	15.9	6.9	20.7	14.5	0.0	0.7	3.4		
31.8	24.2	7.6	19.7	10.6	3.0	0.0	1.5		
24.1	15.5	6.9	22.4	15.5	0.0	0.0	1.7		
27.8	15.6	3.3	11.1	14.4	4.4	0.0	20.0		
30.5	18.4	7.1	20.4	12.3	2.5	1.5	3.7		
25.4	19.5	8.5	11.0	15.3	0.8	1.7	11.0		
29.3	15.3	4.8	21.4	19.7	4.4	0.9	4.8		
32.3	16.1	3.2	25.8	25.8	3.2	0.0	3.2		
30.0	20.8	6.2	17.7	18.5	4.6	0.0	2.3		
28.4	16.4	4.5	23.9	10.4	1.5	0.0	6.0		
26.1	16.7	2.2	18.8	17.4	3.6	1.4	5.8		
29.5	12.9	7.6	17.6	17.6	1.4	1.4	6.7		
22.2	18.5	3.7	14.8	7.4	3.7	0.0	14.8		
31.8	15.3	6.4	18.1	15.5	2.3	1.1	5.9		
27.6	18.7	6.5	20.6	15.4	3.0	1.3	3.8		
28.4	16.0	2.5	14.8	9.9	2.5	1.2	13.6		

問25.高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者も増え続けています。一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心

		サンプル	守りに定期的な巡回訪問などによる活動	合いいた地域の活動	買い物などの助けと、草刈りなどの手助けと	高齢者がいつでも集める交流の場づくり	介護予防や生きがいづくり	談話できる体制づくり	高齢者が必要な時に相談できる体制づくり	在宅介護サービスや医療体制	高年齢者に配慮したまちづくりや移動手段の確保	住宅の整備	できる高齢者向け賃貸	健康な方から要介護の方まで、安心して生活の
総合	実数	1679	973	506	464	261	558	473	387	286				
	%		58.0	30.1	27.6	15.5	33.2	28.2	23.0	17.0				
性別	男性	749	60.1	26.6	28.7	15.0	35.4	27.4	21.5	15.9				
	女性	914	56.5	33.4	26.5	16.0	31.6	29.2	24.6	18.1				
	無回答	16	43.8	12.5	43.8	18.8	25.0	6.3	6.3	12.5				
年代別	20歳代	125	63.2	33.6	35.2	24.8	23.2	29.6	24.0	12.0				
	30歳代	221	58.4	28.1	31.2	22.2	26.7	25.3	21.7	16.7				
	40歳代	228	60.5	31.6	23.2	16.7	26.8	32.5	29.4	17.5				
	50歳代	310	59.7	34.5	20.3	13.5	28.7	33.2	23.5	20.6				
	60歳代	401	54.1	28.2	24.4	13.7	37.7	29.9	21.4	19.5				
	70歳以上	379	57.8	28.8	34.3	11.3	43.0	21.6	21.9	13.2				
	無回答	15	40.0	6.7	46.7	20.0	40.0	6.7	0.0	13.3				
	職業別	農林業	113	60.2	28.3	31.0	10.6	34.5	23.9	28.3	10.6			
	漁業	11	54.5	27.3	18.2	9.1	36.4	18.2	18.2	18.2				
	商工サービス業自営	120	59.2	24.2	26.7	13.3	33.3	30.0	24.2	17.5				
	事務職	181	59.1	36.5	22.7	18.2	24.9	29.8	28.7	16.6				
	技術職	168	59.5	26.8	30.4	17.9	28.6	32.7	24.4	20.8				
	労務職	169	59.8	26.6	23.7	13.0	29.6	29.0	21.3	26.6				
	管理職	59	54.2	39.0	27.1	18.6	28.8	42.4	22.0	16.9				
	自由業	30	43.3	20.0	26.7	23.3	13.3	33.3	20.0	16.7				
	主婦	254	55.1	33.1	29.5	16.1	39.0	26.4	19.7	16.9				
	学生	22	72.7	31.8	45.5	22.7	27.3	27.3	13.6	9.1				
	無職	398	56.3	28.1	29.4	14.1	40.2	24.9	21.9	15.3				
	その他	132	65.2	36.4	22.0	18.2	29.5	30.3	27.3	14.4				
	無回答	22	40.9	27.3	36.4	13.6	31.8	13.6	0.0	4.5				
状況別 婚姻	未婚	290	58.3	34.5	26.6	19.0	24.8	29.7	25.2	16.2				
	既婚	1106	58.6	30.7	27.4	15.9	34.5	28.8	23.1	16.4				
	その他	240	57.1	25.0	30.0	10.0	36.3	26.3	21.7	22.1				
	無回答	43	44.2	14.0	27.9	14.0	39.5	11.6	14.0	11.6				
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	56.6	27.7	35.2	23.3	25.8	23.9	22.6	16.4				
	小学生の子どもがいる	182	58.8	30.8	32.4	17.6	29.1	26.4	25.3	15.4				
	中学生の子どもがいる	122	58.2	34.4	29.5	11.5	33.6	28.7	20.5	18.0				
	高校生の子どもがいる	126	65.9	31.7	30.2	15.1	25.4	29.4	25.4	16.7				
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	63.1	35.0	18.4	16.5	30.1	35.0	22.3	16.5				
	その他	817	58.5	30.7	26.8	13.3	37.1	28.9	22.6	17.1				
	子どもはいない	403	55.3	31.3	25.6	18.4	28.3	28.8	25.1	16.4				
	無回答	44	52.3	15.9	31.8	11.4	36.4	18.2	18.2	13.6				
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	57.7	23.7	26.3	8.3	41.7	17.3	20.5	15.4				
	100～200万円未満	287	52.6	29.3	27.5	12.9	36.2	27.5	22.3	21.6				
	200～300万円未満	338	61.2	33.7	27.2	14.5	32.8	26.0	21.0	19.2				
	300～400万円未満	255	59.6	29.4	28.2	16.5	32.5	29.4	27.1	15.3				
	400～600万円未満	284	59.9	28.9	31.3	18.0	29.6	32.4	26.1	13.4				
	600～800万円未満	145	60.0	35.2	29.7	22.8	29.0	26.2	21.4	19.3				
	800～1000万円未満	66	60.6	36.4	25.8	13.6	31.8	34.8	25.8	16.7				
	1000万円以上	58	56.9	31.0	19.0	27.6	27.6	41.4	25.9	10.3				
	無回答	90	47.8	23.3	22.2	12.2	35.6	30.0	15.6	14.4				
	広域市町村圏別	高知市	729	57.9	27.6	28.5	16.2	34.3	28.3	21.9	18.4			
安芸広域圏		118	58.5	32.2	28.0	13.6	27.1	22.0	23.7	12.7				
南国・香美広域圏		229	59.0	27.9	26.2	14.0	35.4	34.5	23.6	16.6				
嶺北広域圏		31	58.1	38.7	19.4	19.4	22.6	25.8	25.8	25.8				
仁淀川広域圏		130	56.9	35.4	24.6	12.3	32.3	33.8	21.5	21.5				
高吾北広域圏		67	62.7	37.3	23.9	16.4	32.8	23.9	26.9	14.9				
高幡広域圏		138	61.6	42.0	26.8	15.9	36.2	25.4	21.0	15.9				
幡多広域圏		210	55.2	27.1	31.4	17.6	30.0	24.3	27.1	11.9				
無回答	27	44.4	18.5	22.2	11.1	40.7	29.6	18.5	22.2					
部別 沿岸	沿岸部	645	57.1	29.8	30.7	17.2	34.9	25.7	22.3	16.1				
	非沿岸部	953	60.0	30.4	26.2	14.8	31.2	30.3	23.8	17.4				
	無回答	81	40.7	29.6	19.8	11.1	44.4	22.2	19.8	19.8				

して暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。(3つまで○印)

(単位:人、%)

づく社就く利管虐 会労りを理待 参支擁な防 加援護ど、や できな高金 る高仕齡錢、 仕組者、財 組みみつ権	そ の 他	無 回 答	
200	151	14	52
11.9	9.0	0.8	3.1
14.3	7.7	1.3	2.7
10.0	10.2	0.4	3.3
12.5	0.0	0.0	12.5
4.8	13.6	3.2	0.8
10.4	10.4	0.9	0.9
18.0	10.5	0.4	0.0
16.8	9.7	0.6	2.9
13.2	7.5	0.2	4.5
6.3	7.1	1.1	5.5
6.7	0.0	0.0	6.7
7.1	8.0	0.9	5.3
0.0	0.0	0.0	9.1
10.8	7.5	0.8	0.8
15.5	8.3	0.0	2.2
11.9	12.5	1.2	1.2
19.5	11.8	0.0	0.6
20.3	3.4	3.4	0.0
13.3	20.0	6.7	3.3
8.7	13.0	0.4	3.1
4.5	22.7	0.0	0.0
10.8	5.8	0.8	6.0
11.4	5.3	1.5	0.8
4.5	4.5	0.0	13.6
10.7	10.7	1.4	2.8
12.1	8.7	0.7	2.2
13.8	9.2	0.8	4.2
4.7	4.7	0.0	23.3
11.3	12.6	1.3	0.6
9.3	12.1	0.0	1.1
12.3	10.7	0.8	0.8
14.3	11.9	0.0	0.0
17.5	8.7	1.9	1.0
12.0	7.7	0.7	3.7
11.9	9.9	1.2	3.5
4.5	0.0	0.0	13.6
11.5	7.1	2.6	9.0
15.3	8.4	0.3	2.8
11.2	7.7	0.9	2.1
11.0	9.4	0.4	2.0
12.3	10.2	0.4	0.4
10.3	12.4	2.1	1.4
10.6	7.6	0.0	0.0
13.8	12.1	1.7	0.0
7.8	7.8	0.0	16.7
12.5	11.0	1.0	2.5
11.9	7.6	0.0	5.1
14.8	6.6	0.9	1.7
9.7	3.2	0.0	3.2
10.0	7.7	0.8	3.1
13.4	11.9	0.0	1.5
6.5	7.2	0.0	3.6
10.5	8.1	1.9	4.8
18.5	3.7	0.0	11.1
11.2	7.6	0.6	2.9
12.4	10.2	1.0	2.3
12.3	6.2	0.0	13.6

問26.障害者施策についてお尋ねします。障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために、今後どのような

		サンプル	活動、定期的な訪問などにより	暮らしのための生活支援	買い物や掃除、外出支援	修理や障害のある人への	療育や福祉サービスや医療	障害、年金などの所得保障	に相談できる体制づくり	障害のある人が必要なり	発達障害のある人への療育機能や教育	組む人が社会参加できる仕	就労支援など、障害のある
総合	実数	1679	553	460	472	364	487	374	110	362			
	%		32.9	27.4	28.1	21.7	29.0	22.3	6.6	21.6			
性別	男性	749	39.1	24.0	27.9	20.6	30.2	24.8	5.3	20.6			
	女性	914	28.0	30.5	28.4	22.6	27.9	20.4	7.7	22.6			
	無回答	16	25.0	6.3	18.8	18.8	37.5	12.5	0.0	6.3			
年代別	20歳代	125	24.8	26.4	37.6	20.8	19.2	17.6	13.6	24.8			
	30歳代	221	24.9	21.7	32.6	18.6	25.3	21.7	11.3	27.6			
	40歳代	228	23.7	27.6	27.2	23.7	26.3	19.7	7.0	32.9			
	50歳代	310	30.3	31.3	31.3	22.9	33.5	21.3	6.1	23.5			
	60歳代	401	34.7	26.7	24.7	22.4	33.9	24.2	4.5	18.5			
	70歳以上	379	46.2	29.3	24.3	21.1	26.9	24.8	4.0	12.4			
	無回答	15	33.3	6.7	20.0	13.3	33.3	13.3	0.0	6.7			
職業別	農林業	113	40.7	30.1	27.4	23.0	35.4	22.1	4.4	16.8			
	漁業	11	18.2	36.4	18.2	36.4	45.5	27.3	0.0	9.1			
	商工サービス業自営	120	35.8	24.2	32.5	16.7	35.8	24.2	9.2	14.2			
	事務職	181	26.5	29.3	32.0	22.7	26.5	19.9	6.1	26.5			
	技術職	168	26.2	25.0	27.4	28.0	28.0	19.6	9.5	24.4			
	労務職	169	34.9	21.9	29.0	14.8	29.0	25.4	5.3	25.4			
	管理職	59	33.9	28.8	30.5	20.3	33.9	11.9	5.1	30.5			
	自由業	30	20.0	23.3	36.7	16.7	43.3	13.3	10.0	26.7			
	主婦	254	26.8	31.9	26.8	24.8	26.4	24.8	9.1	22.8			
	学生	22	31.8	22.7	40.9	22.7	13.6	13.6	13.6	27.3			
	無職	398	40.7	30.4	22.6	21.6	26.9	25.1	5.0	15.6			
	その他	132	31.8	21.2	33.3	20.5	29.5	17.4	4.5	30.3			
	無回答	22	27.3	9.1	31.8	13.6	27.3	22.7	0.0	4.5			
状況別 婚姻	未婚	290	27.6	26.6	34.5	20.3	22.4	20.7	7.2	25.5			
	既婚	1106	32.9	26.5	27.8	22.5	30.5	22.9	7.1	21.0			
	その他	240	37.5	32.5	24.6	19.2	30.4	22.9	3.8	20.8			
	無回答	43	44.2	27.9	14.0	23.3	27.9	14.0	2.3	14.0			
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	25.2	28.9	26.4	19.5	26.4	19.5	15.1	22.6			
	小学生の子どもがいる	182	31.3	30.8	27.5	19.2	31.9	23.1	8.8	24.7			
	中学生の子どもがいる	122	30.3	33.6	34.4	21.3	24.6	18.0	5.7	27.0			
	高校生の子がいる	126	30.2	29.4	31.7	20.6	27.0	15.9	7.1	28.6			
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	35.0	27.2	31.1	24.3	35.9	21.4	4.9	23.3			
	その他	817	37.9	26.9	25.5	23.7	31.5	23.0	5.1	18.5			
	子どもはいない	403	27.3	27.0	33.3	18.6	24.1	22.6	7.2	25.3			
無回答	44	29.5	20.5	22.7	18.2	27.3	29.5	2.3	6.8				
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	36.5	29.5	25.0	16.7	30.1	22.4	4.5	14.1			
	100～200万円未満	287	34.5	27.5	28.9	20.6	33.1	23.7	7.0	18.8			
	200～300万円未満	338	37.0	25.4	26.6	18.9	28.4	24.3	5.9	21.9			
	300～400万円未満	255	31.4	27.8	29.4	27.1	30.6	21.2	3.9	20.0			
	400～600万円未満	284	30.6	26.8	28.9	23.9	25.4	21.1	9.5	27.8			
	600～800万円未満	145	31.0	35.2	29.0	17.9	29.0	25.5	6.2	23.4			
	800～1000万円未満	66	28.8	19.7	31.8	21.2	36.4	12.1	12.1	27.3			
	1000万円以上	58	24.1	34.5	25.9	34.5	25.9	10.3	8.6	31.0			
	無回答	90	30.0	20.0	27.8	20.0	20.0	26.7	4.4	13.3			
広域市町村圏別	高知市	729	30.7	26.7	28.8	20.6	28.8	23.0	6.9	22.5			
	安芸広域圏	118	32.2	22.9	23.7	24.6	31.4	19.5	4.2	22.9			
	南国・香美広域圏	229	35.4	26.2	27.5	22.3	29.7	27.9	7.4	22.7			
	嶺北広域圏	31	35.5	29.0	25.8	35.5	22.6	22.6	3.2	16.1			
	仁淀川広域圏	130	30.0	34.6	35.4	16.9	36.2	14.6	6.9	16.9			
	高吾北広域圏	67	32.8	23.9	26.9	22.4	25.4	22.4	10.4	19.4			
	高幡広域圏	138	39.1	31.9	24.6	18.8	19.6	22.5	8.7	25.4			
	幡多広域圏	210	37.1	28.6	28.1	25.2	31.9	17.6	3.8	17.6			
無回答	27	22.2	14.8	22.2	25.9	25.9	37.0	3.7	25.9				
部別 沿岸	沿岸部	645	31.8	29.1	30.4	22.8	29.8	22.3	6.8	21.2			
	非沿岸部	953	33.4	26.4	26.9	20.7	28.8	20.8	6.6	22.2			
	無回答	81	37.0	24.7	24.7	24.7	25.9	39.5	3.7	16.0			

取り組みを充実していく必要があると思いますか。(3つまで○印)

(単位:人、%)

リ バ リ ア ー ズ の 確 保	仕 障 害 者 の 権 利 を 擁 護 す る	き る 入 所 施 設 の 整 備	の 障 害 の 有 り な い 人 が 利 用 す る	グ ル ー プ ホ ー ム な ど の 生 活 場 所 や 通 所 施 設 、 重 度 の 生 活 支 援 の 提 供	動 育 成 を 支 え る ボ ラ ン テ ィ ア	質 の 高 い サ ー ビ ス を 提 供	そ の 他	無 回 答
276	68	446	263	18	58			
16.4	4.1	26.6	15.7	1.1	3.5			
15.9	4.3	23.8	14.2	1.1	3.5			
17.1	3.9	29.0	17.0	1.1	3.2			
6.3	0.0	18.8	12.5	0.0	18.8			
24.0	5.6	29.6	9.6	3.2	0.8			
24.9	3.6	24.4	15.4	1.4	1.8			
21.9	3.1	31.6	16.7	1.8	0.0			
15.8	5.5	27.1	15.2	0.3	1.9			
11.0	3.5	28.4	17.2	0.5	5.0			
12.4	4.0	21.6	16.1	1.1	6.9			
6.7	0.0	20.0	13.3	0.0	6.7			
11.5	1.8	20.4	16.8	0.9	4.4			
27.3	0.0	27.3	9.1	0.0	9.1			
14.2	1.7	25.8	18.3	0.0	0.8			
23.8	3.9	27.1	16.6	1.7	1.1			
16.7	5.4	31.0	15.5	0.6	1.2			
23.1	5.9	24.9	13.0	0.0	1.8			
16.9	5.1	33.9	18.6	6.8	0.0			
16.7	3.3	10.0	10.0	0.0	6.7			
13.8	3.9	31.1	15.7	0.8	2.4			
18.2	18.2	27.3	13.6	4.5	0.0			
11.8	4.5	23.9	15.8	0.8	7.5			
23.5	1.5	30.3	15.2	2.3	2.3			
4.5	0.0	13.6	13.6	0.0	13.6			
23.8	4.8	29.7	13.4	1.0	2.4			
15.8	3.8	26.9	15.7	0.9	3.0			
12.1	4.2	23.8	19.6	2.1	4.6			
7.0	4.7	14.0	7.0	0.0	16.3			
15.1	3.8	25.2	15.1	3.1	1.3			
18.7	4.9	26.9	14.3	0.0	1.1			
15.6	7.4	28.7	10.7	0.8	1.6			
17.5	3.2	32.5	13.5	1.6	0.8			
12.6	2.9	32.0	9.7	2.9	1.9			
13.3	3.8	26.4	18.0	0.7	4.3			
22.8	4.7	26.3	12.9	1.2	3.0			
9.1	0.0	15.9	20.5	0.0	13.6			
19.9	3.8	19.9	12.8	2.6	9.6			
15.3	3.8	25.1	9.8	0.3	3.5			
12.7	5.3	24.6	19.5	0.6	3.0			
18.0	3.1	30.2	16.1	1.2	1.6			
19.7	4.6	27.8	18.3	1.4	0.7			
16.6	2.1	32.4	15.9	2.1	0.7			
19.7	7.6	37.9	16.7	0.0	0.0			
15.5	3.4	25.9	19.0	1.7	0.0			
11.1	2.2	18.9	12.2	0.0	17.8			
17.8	4.8	25.5	17.1	1.6	3.0			
14.4	1.7	28.0	14.4	0.8	4.2			
13.5	5.7	25.3	16.2	0.4	2.6			
12.9	0.0	22.6	22.6	0.0	3.2			
15.4	3.8	32.3	13.1	0.8	1.5			
20.9	4.5	28.4	19.4	0.0	3.0			
14.5	3.6	27.5	10.1	1.4	5.1			
16.7	1.9	27.1	13.8	0.5	4.8			
18.5	3.7	22.2	14.8	0.0	11.1			
14.7	4.2	25.3	15.5	0.9	3.6			
17.8	4.1	28.3	15.9	1.3	2.9			
13.6	2.5	16.0	13.6	0.0	8.6			



問27.少子化についてお尋ねします。少子化の要因の一つに未婚化や晩婚化がありますが、その要因は何だと思いますか。  
 (3つまで○印)

(単位:人、%)

	サンプル	いるから	経済的に十分な生活が	くれないから	自由や気楽さを失いた	趣味や娯楽を楽しみた	あるから	仕事や学業など、ほが	感じない魅力や必要性を	結婚に魅力や必要性を	ないから	異性とうまく付き合え	しいから	仕事と家庭の両立が難	り合わないから	り、適切な相手になく	出会うの場が少なく	意識が変わったから	結婚に対する一般的な	その他	無回答
総合	実数	1679	1032	482	133	150	592	198	439	599	545	45	59								
	%		61.5	28.7	7.9	8.9	35.3	11.8	26.1	35.7	32.5	2.7	3.5								
性別	男性	749	64.6	28.2	10.8	8.1	32.4	15.1	23.0	35.9	31.1	2.4	3.2								
	女性	914	58.9	29.2	5.7	9.7	37.7	9.3	28.6	35.9	33.7	3.0	3.5								
	無回答	16	62.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	12.5	25.0	0.0	18.8								
年代別	20歳代	125	74.4	21.6	9.6	16.0	27.2	11.2	27.2	32.0	25.6	4.0	2.4								
	30歳代	221	68.8	27.6	14.9	14.5	33.9	7.2	29.4	29.4	28.5	3.6	0.5								
	40歳代	228	57.5	31.6	7.0	7.0	40.4	11.8	23.2	34.2	38.6	3.5	0.4								
	50歳代	310	63.9	28.7	7.1	7.7	41.3	12.6	24.5	40.0	33.2	2.3	1.6								
	60歳代	401	57.4	31.2	7.2	6.5	34.4	15.0	25.2	38.9	36.7	2.0	3.0								
	70歳以上	379	57.8	27.4	5.3	8.4	32.2	11.1	28.0	35.4	28.5	2.4	9.2								
	無回答	15	60.0	26.7	6.7	0.0	20.0	0.0	26.7	13.3	26.7	0.0	13.3								
職業別	農林業	113	52.2	35.4	8.0	4.4	26.5	18.6	25.7	48.7	29.2	0.9	4.4								
	漁業	11	63.6	27.3	9.1	0.0	18.2	27.3	36.4	54.5	18.2	0.0	9.1								
	商工サービス業自営	120	57.5	31.7	5.8	11.7	43.3	19.2	15.0	37.5	35.8	4.2	0.8								
	事務職	181	54.1	28.7	11.0	12.7	43.6	9.4	26.5	34.8	33.7	2.2	2.8								
	技術職	168	68.5	33.3	10.1	12.5	33.9	6.5	26.8	33.3	28.0	3.0	0.0								
	労務職	169	71.6	21.9	8.3	4.7	37.3	11.8	24.3	33.1	37.3	2.4	0.6								
	管理職	59	59.3	27.1	11.9	10.2	40.7	16.9	20.3	27.1	39.0	10.2	1.7								
	自由業	30	50.0	40.0	3.3	26.7	30.0	13.3	26.7	23.3	40.0	0.0	3.3								
	主婦	254	59.4	33.9	5.9	9.1	34.6	8.7	32.3	33.1	33.1	2.0	3.9								
	学生	22	68.2	27.3	9.1	22.7	31.8	4.5	31.8	31.8	31.8	9.1	0.0								
	無職	398	60.8	25.4	8.3	7.0	33.2	12.1	26.4	36.4	30.2	1.5	7.5								
	その他	132	71.2	20.5	5.3	6.8	32.6	12.9	26.5	39.4	34.8	5.3	0.8								
	無回答	22	50.0	36.4	0.0	0.0	27.3	4.5	22.7	31.8	18.2	0.0	13.6								
状況別	未婚	290	65.2	23.4	9.7	12.4	33.1	11.4	23.1	41.0	29.3	1.0	1.7								
	既婚	1106	61.0	30.7	8.4	8.2	35.5	12.6	27.7	33.6	33.6	3.0	2.9								
	その他	240	61.7	25.4	3.3	9.6	39.2	10.8	22.5	42.1	33.8	3.3	5.0								
	無回答	43	46.5	30.2	9.3	0.0	20.9	0.0	27.9	16.3	16.3	2.3	23.3								
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	67.3	32.1	10.1	11.9	29.6	6.9	32.7	27.0	28.9	6.3	1.3								
	小学生の子どもがいる	182	64.3	29.7	8.8	7.7	38.5	11.0	28.6	35.7	25.8	3.3	1.1								
	中学生の子どもがいる	122	60.7	28.7	9.0	4.9	38.5	13.1	27.9	35.2	31.1	7.4	1.6								
	高校生の子どもがいる	126	60.3	34.1	5.6	7.1	37.3	13.5	26.2	36.5	32.5	4.0	0.8								
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	55.3	35.0	8.7	7.8	35.9	14.6	25.2	25.2	41.7	5.8	2.9								
	その他	817	60.6	29.4	5.9	8.4	36.7	13.1	26.3	37.6	34.9	2.2	3.4								
	子どもはいない	403	62.3	24.8	10.9	11.7	32.3	10.9	23.8	35.7	28.3	2.0	4.5								
無回答	44	52.3	25.0	9.1	0.0	27.3	4.5	20.5	38.6	25.0	0.0	15.9									
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	57.7	25.0	5.8	12.8	26.3	10.3	24.4	30.1	25.0	5.8	11.5								
	100~200万円未満	287	64.5	27.2	7.3	8.7	32.8	11.1	31.4	36.2	28.2	1.0	3.8								
	200~300万円未満	338	66.6	27.2	8.3	5.6	32.5	13.3	24.9	39.1	33.1	3.0	1.2								
	300~400万円未満	255	67.8	29.0	7.1	5.9	36.1	13.7	24.7	36.5	31.4	2.4	2.4								
	400~600万円未満	284	56.3	30.6	9.5	11.3	36.6	10.6	24.3	34.9	41.5	3.2	1.1								
	600~800万円未満	145	57.9	31.7	9.7	9.7	46.9	11.7	26.9	34.5	33.1	3.4	2.8								
	800~1000万円未満	66	62.1	33.3	9.1	12.1	43.9	9.1	25.8	27.3	45.5	1.5	0.0								
	1000万円以上	58	50.0	37.9	5.2	13.8	39.7	20.7	27.6	36.2	31.0	1.7	0.0								
	無回答	90	50.0	24.4	7.8	10.0	34.4	5.6	25.6	38.9	21.1	1.1	14.4								
	広域市町村圏別	高知市	729	65.0	27.4	8.1	9.6	35.3	9.7	29.4	30.0	35.1	3.4	1.8							
安芸広域圏		118	58.5	30.5	5.9	5.9	34.7	16.1	21.2	45.8	27.1	2.5	4.2								
南国・香美広域圏		229	59.4	34.5	7.4	8.7	39.7	13.1	22.3	41.9	34.1	1.3	3.1								
嶺北広域圏		31	51.6	35.5	12.9	6.5	25.8	9.7	35.5	35.5	9.7	3.2	12.9								
仁淀川広域圏		130	63.8	26.2	9.2	9.2	37.7	10.8	20.0	35.4	33.1	1.5	4.6								
高香北広域圏		67	55.2	31.3	9.0	3.0	29.9	16.4	34.3	49.3	37.3	0.0	1.5								
高幡広域圏		138	61.6	21.7	5.8	10.1	31.9	12.3	26.1	37.7	25.4	5.8	7.2								
幡多広域圏		210	57.1	31.0	7.6	10.0	34.3	14.8	21.9	35.7	31.4	1.0	5.7								
無回答		27	44.4	22.2	14.8	7.4	37.0	7.4	25.9	48.1	25.9	3.7	3.7								
部別	沿岸部	645	62.5	28.8	6.8	8.7	35.8	14.4	23.9	37.7	31.0	3.3	2.9								
	非沿岸部	953	61.2	28.9	8.7	9.4	35.3	10.4	27.7	33.7	34.2	2.4	3.5								
	無回答	81	56.8	25.9	7.4	4.9	30.9	7.4	25.9	43.2	23.5	1.2	8.6								



問28.小学校就学前の子育てについてお尋ねします。あなたが今お住まいの地域において、就学前の子どもをより育てやす

		サ ン プ ル	か る サ ー ビ ス	日 曜 や 祝 日 に 子 ど も を 預 め る	保 護 者 の 仕 事 の 都 合 に よ り	も を 預 め ら れ た サ ー ビ ス	に よ り の 保 護 者 の 勤 務 時 間 の 決 定	保 護 者 の 勤 務 時 間 の 決 定	サ ー ビ ス の 入 所 の 可 能 性	市 村 の 保 育 所 に 子 ど も	自 宅 の 近 く に 別 の な ら ぬ	中 心 の 保 育 所 の 入 所 の 可 能 性	婦 児 休 業 場 合 に は 年 度 に 途 中 で 入 所 の 可 能 性	看 護 ケ ア を 行 う サ ー ビ ス	所 や 病 院 に 行 う サ ー ビ ス	子 ど も が 病 気 で 集 団 保 育	
総合	実数	1679	588	676	435	336	478										
	%		35.0	40.3	25.9	20.0	28.5										
性別	男性	749	35.5	45.9	28.0	17.1	18.7										
	女性	914	34.8	35.8	24.4	22.3	36.8										
	無回答	16	25.0	31.3	12.5	25.0	12.5										
年代別	20歳代	125	40.0	46.4	21.6	20.8	28.0										
	30歳代	221	31.2	46.6	23.5	24.0	29.0										
	40歳代	228	38.6	44.3	25.0	18.9	32.9										
	50歳代	310	32.3	43.9	29.7	21.3	35.8										
	60歳代	401	34.9	38.9	29.9	19.5	26.2										
	70歳以上	379	35.6	30.9	22.4	17.7	22.7										
	無回答	15	40.0	33.3	13.3	20.0	13.3										
職業別	農林業	113	33.6	46.0	27.4	17.7	28.3										
	漁業	11	27.3	18.2	27.3	18.2	9.1										
	商工サービス業自営	120	35.8	37.5	28.3	21.7	27.5										
	事務職	181	34.3	51.4	28.7	20.4	38.1										
	技術職	168	35.1	50.6	25.6	21.4	34.5										
	労務職	169	33.7	44.4	26.0	22.5	29.6										
	管理職	59	32.2	47.5	40.7	22.0	20.3										
	自由業	30	36.7	43.3	13.3	20.0	26.7										
	主婦	254	35.8	32.7	22.4	21.7	34.3										
	学生	22	22.7	50.0	36.4	22.7	40.9										
	無職	398	35.2	32.7	24.1	17.8	19.3										
	その他	132	40.2	40.2	28.0	18.9	29.5										
	無回答	22	31.8	27.3	9.1	9.1	13.6										
状況別 婚姻	未婚	290	35.9	49.0	24.1	21.7	26.2										
	既婚	1106	35.2	40.7	25.9	20.2	29.8										
	その他	240	32.5	28.8	30.0	18.8	27.9										
	無回答	43	39.5	34.9	16.3	11.6	11.6										
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	30.8	37.1	19.5	22.0	32.7										
	小学生の子どもがいる	182	34.6	40.1	28.6	19.2	35.7										
	中学生の子どもがいる	122	34.4	41.0	27.0	13.9	38.5										
	高校生の子どもがいる	126	33.3	44.4	31.0	19.0	30.2										
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	25.2	49.5	35.0	24.3	28.2										
	その他	817	36.0	37.2	26.9	20.6	28.5										
	子どもはいない	403	35.0	45.2	24.8	20.6	24.3										
無回答	44	38.6	31.8	13.6	11.4	20.5											
世帯の 年間収入別	0～100万円未満	156	33.3	31.4	20.5	12.2	21.2										
	100～200万円未満	287	36.9	36.2	24.7	20.2	27.5										
	200～300万円未満	338	35.2	37.3	27.2	21.0	31.1										
	300～400万円未満	255	31.0	45.9	29.8	23.5	24.7										
	400～600万円未満	284	32.0	43.7	28.2	21.5	31.0										
	600～800万円未満	145	43.4	46.9	26.9	20.0	35.2										
	800～1000万円未満	66	39.4	45.5	31.8	24.2	31.8										
	1000万円以上	58	46.6	56.9	19.0	19.0	43.1										
	無回答	90	27.8	27.8	14.4	12.2	14.4										
	無回答	90	27.8	27.8	14.4	12.2	14.4										
広域市 町村圏別	高知市	729	32.4	41.3	24.7	24.4	29.8										
	安芸広域圏	118	30.5	38.1	23.7	12.7	29.7										
	南国・香美広域圏	229	33.2	39.7	29.7	17.9	31.0										
	嶺北広域圏	31	48.4	51.6	35.5	9.7	19.4										
	仁淀川広域圏	130	36.9	37.7	34.6	17.7	29.2										
	高吾北広域圏	67	28.4	43.3	26.9	19.4	34.3										
	高幡広域圏	138	46.4	42.0	22.5	13.8	26.8										
	幡多広域圏	210	41.4	36.2	23.8	18.6	21.9										
無回答	27	25.9	40.7	14.8	18.5	18.5											
部 別	沿岸部	645	36.4	42.2	24.5	18.3	29.5										
	非沿岸部	953	34.3	39.5	28.2	22.0	28.4										
	無回答	81	32.1	34.6	9.9	9.9	21.0										

くするために、どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。(3つまで○印)

(単位:人、%)

預シ保預人保保子要理病方保 かッ護者か育育もな由やを育 つたの者の者ママも場で育対 ても居(者)者マヤも合一児象 らな宅(へ)者マやお守さん うに宅で子)子)もを預さん サ子にで、子)子)もを預さん ーサにで、子)子)もを預さん ビサーにで、子)子)もを預さん スビサーにで、子)子)もを預さん	47	86	265	167	202	532	328	37	114
2.8	5.1	15.8	9.9	12.0	31.7	19.5	2.2	6.8	
3.3	5.3	14.8	12.3	11.5	32.7	18.2	2.7	6.5	
2.4	4.9	16.7	8.2	12.4	31.1	21.0	1.9	6.5	
0.0	6.3	6.3	0.0	18.8	18.8	0.0	0.0	37.5	
0.8	3.2	10.4	20.0	8.8	34.4	21.6	3.2	3.2	
3.6	3.6	15.8	9.5	10.4	43.4	23.5	2.3	0.5	
3.9	5.3	16.7	7.9	13.6	33.8	22.4	2.6	0.9	
2.6	4.5	16.5	11.0	14.5	30.0	24.5	1.3	3.2	
2.2	5.5	18.7	7.0	12.5	31.7	17.5	1.5	7.5	
3.2	6.6	14.0	10.8	10.8	24.8	13.7	3.2	16.4	
0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	33.3	
0.9	6.2	18.6	14.2	8.8	31.9	7.1	0.0	8.8	
0.0	0.0	36.4	0.0	18.2	36.4	18.2	0.0	18.2	
0.8	5.0	15.0	13.3	17.5	28.3	14.2	4.2	3.3	
3.3	3.9	17.7	11.0	8.3	33.1	20.4	1.7	1.1	
3.0	3.6	8.9	8.9	10.1	33.9	27.4	3.0	1.8	
3.6	7.7	13.0	11.8	13.0	36.7	23.7	0.6	1.2	
5.1	5.1	15.3	6.8	13.6	33.9	28.8	5.1	0.0	
13.3	6.7	13.3	3.3	16.7	23.3	13.3	3.3	6.7	
2.0	3.5	20.5	6.7	14.2	37.8	22.4	1.6	5.5	
4.5	0.0	18.2	36.4	13.6	9.1	18.2	0.0	4.5	
3.0	7.0	15.6	9.3	11.6	27.4	17.1	2.8	14.8	
2.3	3.0	15.9	9.8	9.8	33.3	19.7	3.0	4.5	
0.0	4.5	4.5	0.0	18.2	4.5	9.1	0.0	40.9	
2.4	4.5	12.1	14.8	11.0	25.2	22.8	1.0	5.9	
2.7	5.2	16.9	9.0	12.4	35.2	19.3	2.2	5.3	
3.8	5.0	17.5	9.2	11.3	27.9	19.2	2.9	10.8	
2.3	7.0	2.3	4.7	14.0	7.0	7.0	7.0	27.9	
3.1	2.5	20.8	9.4	7.5	46.5	26.4	4.4	1.3	
4.4	4.4	17.0	6.6	7.1	44.0	20.9	2.2	2.2	
3.3	6.6	13.9	9.8	13.9	31.1	20.5	3.3	1.6	
4.8	4.0	18.3	11.9	15.1	34.1	16.7	1.6	2.4	
2.9	5.8	17.5	6.8	7.8	33.0	19.4	2.9	1.0	
2.8	5.5	16.8	8.8	12.9	30.8	17.4	2.0	8.6	
2.5	5.2	12.9	13.4	12.4	27.0	21.6	2.5	6.0	
0.0	6.8	6.8	6.8	9.1	13.6	9.1	0.0	29.5	
3.8	5.1	17.3	8.3	14.1	26.9	13.5	4.5	17.3	
3.1	5.9	13.9	11.8	11.5	26.1	17.8	1.4	10.8	
2.1	4.7	15.1	9.2	12.7	32.8	19.2	2.1	5.9	
2.7	5.1	19.2	9.0	9.4	39.2	19.2	1.6	2.4	
2.5	4.2	15.5	10.6	12.7	36.3	23.2	2.5	2.1	
2.1	6.9	16.6	11.7	13.8	31.0	21.4	2.1	0.7	
1.5	3.0	16.7	6.1	7.6	36.4	24.2	1.5	1.5	
6.9	6.9	12.1	6.9	12.1	20.7	19.0	0.0	0.0	
3.3	4.4	13.3	12.2	13.3	22.2	20.0	4.4	24.4	
3.6	5.1	17.6	9.9	12.8	31.4	20.4	2.1	4.7	
0.0	4.2	5.9	16.1	11.9	34.7	16.9	1.7	13.6	
3.5	4.8	14.4	9.6	10.9	34.5	21.0	2.6	6.1	
0.0	6.5	3.2	6.5	6.5	25.8	22.6	3.2	9.7	
2.3	6.2	20.0	6.2	9.2	30.8	20.8	1.5	3.8	
0.0	4.5	19.4	7.5	19.4	25.4	16.4	1.5	10.4	
2.2	5.1	18.1	10.1	11.6	31.9	15.2	2.2	8.7	
3.3	5.7	13.8	9.5	11.4	31.0	19.0	1.9	10.0	
0.0	3.7	11.1	18.5	11.1	33.3	18.5	11.1	7.4	
2.9	6.4	14.7	11.2	12.7	32.2	17.7	1.6	6.7	
2.7	4.2	16.6	8.9	11.3	31.6	20.8	2.3	6.2	
2.5	6.2	14.8	12.3	14.8	28.4	19.8	6.2	14.8	

問29.このように、「放課後学び場」の設置を推進していますが、あなたが今お住まいの地域における「放課後学び場」について、さらにどのような取り組みを充実していくことが望めますか。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	子どもの学び場の充実	予習・復習の場としての充実	スポーツ・多様な文化体験	のほかに大人との交流	地域の子どもや異年齢	お楽しみメニューの充実	お玉やメンコなどの遊	開設時間の延長	開日数の増加	その他	無回答
総合	実数	1679	785	730	609	210	356	36	148				
	%		46.8	43.5	36.3	12.5	21.2	2.1	8.8				
性別	男性	749	44.3	49.1	33.6	13.8	19.9	1.9	8.7				
	女性	914	49.1	39.4	38.6	11.7	22.3	2.4	8.2				
	無回答	16	25.0	12.5	25.0	0.0	18.8	0.0	50.0				
年代別	20歳代	125	39.2	64.0	35.2	19.2	14.4	4.8	1.6				
	30歳代	221	46.6	53.4	32.1	15.8	25.3	1.8	3.2				
	40歳代	228	42.5	42.5	43.0	17.1	23.2	1.8	1.8				
	50歳代	310	46.8	42.6	39.4	13.2	23.5	2.6	5.5				
	60歳代	401	47.1	41.6	37.4	9.5	22.2	2.0	9.2				
	70歳以上	379	52.2	35.6	31.7	8.7	16.9	1.6	19.5				
	無回答	15	26.7	6.7	26.7	0.0	20.0	0.0	46.7				
職業別	農林業	113	55.8	46.9	34.5	11.5	15.0	0.9	8.8				
	漁業	11	18.2	54.5	18.2	18.2	27.3	0.0	18.2				
	商工サービス業自営	120	49.2	45.8	31.7	8.3	21.7	5.8	5.0				
	事務職	181	48.6	50.3	33.7	12.2	27.1	3.3	2.2				
	技術職	168	41.1	50.0	38.7	11.9	28.6	1.8	3.6				
	労務職	169	47.3	46.7	39.1	17.8	14.8	1.2	3.0				
	管理職	59	35.6	50.8	42.4	18.6	28.8	5.1	0.0				
	自由業	30	40.0	46.7	33.3	13.3	26.7	0.0	10.0				
	主婦	254	50.8	34.6	39.8	14.2	21.3	3.1	8.7				
	学生	22	27.3	86.4	59.1	18.2	0.0	0.0	0.0				
	無職	398	49.5	36.2	32.9	9.5	19.3	0.8	17.6				
	その他	132	41.7	48.5	40.2	15.2	22.0	2.3	6.1				
	無回答	22	18.2	13.6	22.7	0.0	13.6	0.0	54.5				
状況別 婚姻	未婚	290	41.4	56.6	35.5	15.5	14.1	2.1	6.9				
	既婚	1106	48.0	43.4	36.5	12.4	23.3	1.9	7.1				
	その他	240	50.4	34.2	38.8	9.2	21.3	2.5	13.8				
	無回答	43	30.2	9.3	20.9	14.0	14.0	7.0	39.5				
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	47.8	47.8	33.3	15.1	27.0	4.4	1.9				
	小学生の子どもがいる	182	51.6	41.2	35.7	13.7	31.3	4.4	3.3				
	中学生の子どもがいる	122	52.5	33.6	36.1	15.6	27.0	3.3	4.1				
	高校生の子どもがいる	126	49.2	41.3	42.9	7.1	30.2	2.4	0.8				
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	43.7	40.8	45.6	13.6	23.3	2.9	2.9				
	その他	817	48.1	40.9	37.7	11.4	20.8	2.0	10.2				
	子どもはいない	403	40.9	52.6	35.7	13.9	15.4	2.2	8.2				
	無回答	44	31.8	13.6	25.0	9.1	11.4	0.0	47.7				
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	44.2	34.0	34.6	10.9	12.2	1.9	21.2				
	100~200万円未満	287	48.4	38.3	29.3	12.9	21.3	2.1	12.2				
	200~300万円未満	338	49.7	42.6	38.2	13.9	18.9	1.2	8.6				
	300~400万円未満	255	47.1	49.4	33.3	10.6	25.5	2.0	4.3				
	400~600万円未満	284	43.0	49.3	42.6	12.0	26.8	3.5	3.2				
	600~800万円未満	145	50.3	46.2	41.4	17.9	20.0	2.8	0.7				
	800~1000万円未満	66	51.5	45.5	43.9	13.6	21.2	1.5	1.5				
	1000万円以上	58	51.7	48.3	39.7	6.9	25.9	0.0	3.4				
	無回答	90	33.3	35.6	26.7	10.0	14.4	3.3	30.0				
広域市町村圏別	高知市	729	48.0	42.8	35.1	14.5	24.6	2.6	6.4				
	安芸広域圏	118	44.9	42.4	38.1	10.2	14.4	2.5	14.4				
	南国・香美広域圏	229	43.7	43.2	40.2	12.7	21.0	0.9	9.2				
	嶺北広域圏	31	58.1	38.7	41.9	0.0	19.4	3.2	9.7				
	仁淀川広域圏	130	47.7	48.5	33.1	14.6	21.5	3.1	6.2				
	高吾北広域圏	67	50.7	55.2	38.8	7.5	13.4	0.0	7.5				
	高幡広域圏	138	55.1	37.7	35.5	11.6	18.8	2.2	10.1				
	幡多広域圏	210	39.5	43.3	36.2	10.0	17.6	1.4	14.3				
	無回答	27	33.3	51.9	33.3	7.4	22.2	3.7	11.1				
部 沿岸	沿岸部	645	45.3	45.4	38.9	11.5	20.0	1.7	8.7				
	非沿岸部	953	48.3	42.3	35.3	13.7	22.8	2.3	7.7				
	無回答	81	40.7	42.0	27.2	6.2	12.3	3.7	23.5				

問30.高知県におけるエネルギーの消費に占める新エネルギーの割合は、2007(平成19)年度では約1.36パーセントとなっています。東日本大震災の発生前に策定した「高知県新エネルギービジョン」では、この割合を2020年度までに2倍以上にするよう新エネルギーの導入に努めていくこととしています。  
このことについて、あなたはどのように思いますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サン プル	るり りよ り組 み短 きを 加期 速間 化で す取	適 当だ と思 う	取 り 組 み で き る ば よ い 困 ら ず 割 合 に こ だ わ ら ぬ 範 囲 で	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総合	実数	1679	583	316	510	11	253	6
	%		34.7	18.8	30.4	0.7	15.1	0.4
性別	男性	749	37.1	19.0	30.7	1.2	11.6	0.4
	女性	914	32.7	18.9	30.1	0.2	17.7	0.3
	無回答	16	37.5	6.3	31.3	0.0	25.0	0.0
年代別	20歳代	125	28.0	24.8	29.6	0.8	16.8	0.0
	30歳代	221	33.5	18.6	33.9	0.0	14.0	0.0
	40歳代	228	40.8	16.2	30.3	1.8	10.5	0.4
	50歳代	310	34.5	21.3	29.0	0.3	14.8	0.0
	60歳代	401	36.9	17.7	30.9	1.2	12.7	0.5
	70歳以上	379	31.7	17.9	29.3	0.0	20.3	0.8
	無回答	15	40.0	13.3	26.7	0.0	20.0	0.0
	職業別	農林業	113	35.4	23.0	28.3	0.9	12.4
	漁業	11	18.2	45.5	27.3	0.0	9.1	0.0
	商工サービス業自営	120	35.0	17.5	36.7	0.0	10.8	0.0
	事務職	181	32.6	23.2	32.0	0.0	12.2	0.0
	技術職	168	35.7	25.0	29.8	0.6	8.9	0.0
	労務職	169	32.0	16.0	37.9	0.6	13.0	0.6
	管理職	59	54.2	11.9	25.4	1.7	6.8	0.0
	自由業	30	43.3	10.0	33.3	0.0	13.3	0.0
	主婦	254	36.2	16.1	29.5	0.0	18.1	0.0
	学生	22	36.4	22.7	18.2	0.0	22.7	0.0
	無職	398	31.4	18.6	28.9	0.8	19.1	1.3
	その他	132	37.9	16.7	26.5	3.0	15.9	0.0
	無回答	22	27.3	4.5	22.7	0.0	45.5	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	27.9	20.7	32.8	1.0	17.2	0.3
	既婚	1106	37.5	19.3	29.8	0.6	12.5	0.2
	その他	240	32.5	15.8	29.2	0.4	21.3	0.8
	無回答	43	20.9	9.3	34.9	0.0	32.6	2.3
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	43.4	12.6	31.4	0.6	11.9	0.0
	小学生の子どもがいる	182	41.8	12.1	29.7	0.5	15.9	0.0
	中学生の子どもがいる	122	39.3	14.8	31.1	0.0	14.8	0.0
	高校生の子どもがいる	126	36.5	16.7	33.3	0.0	13.5	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	35.0	23.3	30.1	0.0	10.7	1.0
	その他	817	35.0	19.7	30.7	0.6	13.6	0.4
	子どもはいない	403	30.3	20.6	31.5	1.0	16.1	0.5
	無回答	44	27.3	11.4	22.7	0.0	38.6	0.0
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	156	30.8	19.2	25.0	1.9	20.5	2.6
	100~200万円未満	287	28.9	17.4	33.4	1.0	18.8	0.3
	200~300万円未満	338	33.1	15.4	34.9	0.0	16.6	0.0
	300~400万円未満	255	38.4	21.2	28.2	0.4	11.4	0.4
	400~600万円未満	284	39.1	21.5	28.9	0.7	9.9	0.0
	600~800万円未満	145	40.0	22.1	29.7	0.0	8.3	0.0
	800~1000万円未満	66	45.5	24.2	24.2	1.5	4.5	0.0
	1000万円以上	58	37.9	17.2	31.0	0.0	13.8	0.0
	無回答	90	23.3	12.2	28.9	1.1	34.4	0.0
	広域 市町 村 圏別	高知市	729	36.1	18.1	31.7	0.7	13.2
安芸広域圏		118	36.4	17.8	32.2	0.0	12.7	0.8
南国・香美広域圏		229	37.1	21.0	27.5	0.9	13.5	0.0
嶺北広域圏		31	29.0	32.3	29.0	3.2	6.5	0.0
仁淀川広域圏		130	28.5	17.7	33.1	1.5	19.2	0.0
高吾北広域圏		67	32.8	19.4	31.3	0.0	16.4	0.0
高幡広域圏		138	32.6	21.0	26.1	0.7	18.1	1.4
幡多広域圏		210	32.9	15.7	30.0	0.0	21.4	0.0
無回答		27	37.0	25.9	22.2	0.0	11.1	3.7
部 沿岸		沿岸部	645	37.7	17.5	29.1	0.8	14.6
	非沿岸部	953	32.8	19.6	31.5	0.6	15.1	0.3
	無回答	81	33.3	19.8	27.2	0.0	18.5	1.2

問31.高知県において、積極的に導入すべき新エネルギーは何だと思えますか。あなたが、優先順位が高いと思う新エネルギーを2つまで選んでお答えください。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	太陽光発電	太陽熱利用	風力発電	中小規模水力発電	木質バイオマス発電	木質バイオマス熱利用	その他	無回答
総合	実数	1679	1196	488	448	294	376	189	37	45
	%		71.2	29.1	26.7	17.5	22.4	11.3	2.2	2.7
性別	男性	749	70.9	25.8	27.4	23.1	23.1	10.3	3.3	2.1
	女性	914	71.9	32.1	26.3	12.9	21.9	12.0	1.2	3.0
	無回答	16	50.0	12.5	18.8	18.8	18.8	12.5	6.3	12.5
年代別	20歳代	125	72.8	36.8	23.2	8.8	24.0	12.0	4.0	1.6
	30歳代	221	76.9	26.7	26.2	14.0	23.1	10.0	4.5	0.9
	40歳代	228	75.4	33.8	25.0	11.4	25.4	13.6	2.6	0.0
	50歳代	310	71.3	31.9	24.5	19.0	21.6	12.3	1.3	1.9
	60歳代	401	70.6	24.2	28.4	21.9	22.7	11.0	1.5	3.2
	70歳以上	379	66.2	28.2	29.3	20.3	20.1	9.8	1.3	5.8
	無回答	15	53.3	20.0	20.0	13.3	20.0	13.3	6.7	0.0
	職業別	農林業	113	78.8	23.9	23.0	26.5	18.6	9.7	2.7
漁業		11	81.8	36.4	18.2	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0
商工サービス業自営		120	72.5	25.8	26.7	21.7	20.8	11.7	0.0	3.3
事務職		181	72.9	29.8	19.3	16.0	28.2	14.9	2.8	0.0
技術職		168	74.4	28.0	31.0	9.5	26.8	8.9	2.4	1.2
労務職		169	72.8	33.7	21.9	21.3	23.1	11.8	3.0	0.0
管理職		59	74.6	33.9	27.1	22.0	18.6	11.9	0.0	1.7
自由業		30	70.0	26.7	26.7	10.0	26.7	6.7	0.0	6.7
主婦		254	71.7	31.9	26.4	13.4	20.5	15.0	1.2	2.8
学生		22	77.3	31.8	36.4	9.1	9.1	22.7	9.1	0.0
無職		398	65.8	28.1	28.6	20.1	22.6	9.3	2.0	5.3
その他		132	70.5	27.3	33.3	12.9	22.0	8.3	4.5	2.3
無回答		22	54.5	18.2	31.8	18.2	9.1	4.5	4.5	13.6
状況別 婚姻		未婚	290	71.4	33.1	24.5	13.1	23.1	12.1	3.8
	既婚	1106	72.3	28.2	26.6	19.3	23.2	11.3	1.6	2.0
	その他	240	69.2	30.0	29.2	14.6	20.8	11.3	2.1	4.2
	無回答	43	53.5	18.6	30.2	16.3	4.7	4.7	7.0	18.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	83.0	25.8	25.2	13.8	25.2	8.8	1.3	0.6
	小学生の子どもがいる	182	76.4	34.6	26.4	12.6	19.8	12.6	1.6	0.0
	中学生の子どもがいる	122	75.4	27.0	28.7	17.2	18.0	13.9	3.3	0.0
	高校生の子どもがいる	126	81.0	25.4	30.2	15.9	20.6	11.1	2.4	0.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	80.6	33.0	22.3	21.4	18.4	11.7	3.9	0.0
	その他	817	69.6	26.7	27.8	20.6	23.1	10.8	1.2	3.5
	子どもはいない	403	68.7	33.5	23.1	13.4	23.8	12.9	3.7	3.0
	無回答	44	61.4	29.5	31.8	13.6	13.6	4.5	2.3	6.8
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	62.2	35.3	30.8	12.8	16.7	11.5	3.2	7.7
	100~200万円未満	287	69.3	30.3	28.6	19.9	20.2	8.0	2.4	2.8
	200~300万円未満	338	70.4	25.1	31.4	16.6	26.0	9.8	2.1	2.7
	300~400万円未満	255	74.1	27.8	25.5	21.2	17.3	14.5	2.4	1.2
	400~600万円未満	284	72.5	26.8	19.7	18.0	28.9	15.5	2.1	1.1
	600~800万円未満	145	74.5	31.7	24.8	13.1	24.8	15.2	2.1	0.0
	800~1000万円未満	66	80.3	25.8	27.3	21.2	21.2	10.6	1.5	0.0
	1000万円以上	58	82.8	37.9	19.0	19.0	20.7	5.2	3.4	0.0
	無回答	90	64.4	32.2	28.9	13.3	17.8	2.2	0.0	11.1
	広域市町村圏別	高知市	729	71.1	30.0	25.1	16.6	23.6	13.3	2.9
安芸広域圏		118	75.4	26.3	31.4	11.9	18.6	9.3	3.4	3.4
南国・香美広域圏		229	72.9	30.6	24.5	18.3	25.8	12.7	0.9	2.2
嶺北広域圏		31	71.0	16.1	22.6	29.0	29.0	12.9	0.0	3.2
仁淀川広域圏		130	66.2	30.0	20.8	27.7	19.2	13.1	1.5	2.3
高吾北広域圏		67	70.1	23.9	28.4	20.9	28.4	4.5	1.5	3.0
高幡広域圏		138	71.0	23.2	35.5	16.7	19.6	7.2	2.2	2.9
幡多広域圏		210	71.4	32.4	29.0	14.3	16.7	7.6	1.9	4.8
無回答		27	70.4	29.6	33.3	18.5	29.6	7.4	0.0	3.7
部沿岸	沿岸部	645	72.1	29.1	28.2	16.4	20.2	10.5	2.8	2.6
	非沿岸部	953	71.6	28.8	24.7	18.7	23.9	12.1	2.0	2.3
	無回答	81	60.5	32.1	38.3	12.3	22.2	7.4	0.0	7.4

問32.新エネルギーの導入を進めるうえではいろいろな課題がありますが、次のうち、あなたが特に問題だと思うことはどれですか。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	ト す 発 電 設 備 な ど を 導 入 す る 際 の 費 用 ( コ ス ト が 高 い	が ある ( 騒 音 、 景 観 な ど )	周 辺 環 境 へ の 影 響	が け や 不 安 定 で あ る か ら な い か ら な い	天 候 な ど の 影 響 を 受 け る こ と が あ る か ら な い か ら な い	が す る た め の 法 手 続 き が 複 雑 で あ る か ら な い か ら な い	発 電 設 備 な ど を 導 入 す る た め の 法 手 続 き が 複 雑 で あ る か ら な い か ら な い	そ の 他	無 回 答
総合	実数	1679	1372	367	761	231	24	80			
	%		81.7	21.9	45.3	13.8	1.4	4.8			
性別	男性	749	83.2	22.8	46.6	15.0	1.5	4.3			
	女性	914	80.9	21.3	44.6	12.9	1.4	4.8			
	無回答	16	62.5	6.3	25.0	6.3	0.0	25.0			
年代別	20歳代	125	81.6	23.2	45.6	12.0	3.2	1.6			
	30歳代	221	86.0	23.1	45.2	12.2	1.8	1.4			
	40歳代	228	83.3	20.2	42.5	11.4	2.6	1.8			
	50歳代	310	84.2	19.4	45.5	17.1	0.6	2.9			
	60歳代	401	81.3	24.7	48.6	12.7	1.5	4.7			
	70歳以上	379	77.6	21.4	44.1	15.3	0.5	10.3			
	無回答	15	60.0	6.7	26.7	6.7	0.0	26.7			
職業別	農林業	113	86.7	22.1	48.7	14.2	0.9	3.5			
	漁業	11	81.8	9.1	54.5	27.3	0.0	0.0			
	商工サービス業自営	120	83.3	21.7	45.0	14.2	1.7	4.2			
	事務職	181	85.6	22.1	43.1	12.7	0.6	1.1			
	技術職	168	85.1	23.2	45.8	14.3	0.6	0.6			
	労務職	169	81.7	24.9	49.1	13.6	1.8	3.0			
	管理職	59	83.1	25.4	45.8	18.6	1.7	3.4			
	自由業	30	76.7	16.7	36.7	10.0	0.0	6.7			
	主婦	254	82.3	22.0	48.4	12.6	0.4	3.9			
	学生	22	100.0	22.7	36.4	4.5	4.5	0.0			
	無職	398	77.1	21.9	43.0	14.8	1.5	8.8			
	その他	132	83.3	18.9	47.0	13.6	5.3	3.8			
	無回答	22	40.9	4.5	27.3	4.5	0.0	40.9			
状況別 婚姻	未婚	290	81.7	24.8	41.7	11.4	2.8	3.4			
	既婚	1106	83.2	21.3	46.7	14.0	0.8	3.9			
	その他	240	77.9	21.7	45.8	16.3	2.9	6.7			
	無回答	43	65.1	16.3	32.6	9.3	0.0	25.6			
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	82.4	20.8	44.0	18.2	0.6	2.5			
	小学生の子どもがいる	182	83.0	19.8	47.8	14.3	1.1	2.2			
	中学生の子どもがいる	122	84.4	13.1	41.8	18.0	4.1	2.5			
	高校生の子どもがいる	126	83.3	21.4	46.8	10.3	1.6	1.6			
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	86.4	25.2	47.6	9.7	4.9	0.0			
	その他	817	81.8	22.5	46.3	14.1	0.7	5.4			
	子どもはいない	403	80.6	23.6	43.7	12.9	2.7	4.2			
	無回答	44	65.9	13.6	29.5	13.6	0.0	29.5			
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	156	72.4	23.1	36.5	16.7	5.8	9.6			
	100~200万円未満	287	78.0	18.1	42.5	20.2	1.4	5.9			
	200~300万円未満	338	83.1	22.8	47.9	10.9	0.6	5.6			
	300~400万円未満	255	84.7	27.5	45.1	11.8	1.6	2.0			
	400~600万円未満	284	87.7	20.4	44.0	14.8	1.1	1.8			
	600~800万円未満	145	83.4	23.4	59.3	9.7	0.0	0.0			
	800~1000万円未満	66	87.9	16.7	59.1	9.1	1.5	1.5			
	1000万円以上	58	84.5	25.9	41.4	12.1	0.0	1.7			
	無回答	90	67.8	15.6	34.4	12.2	1.1	18.9			
広域市 町村 圏別	高知市	729	82.3	23.3	45.5	13.4	1.5	3.8			
	安芸広域圏	118	78.8	16.1	45.8	10.2	1.7	6.8			
	南国・香美広域圏	229	89.1	19.2	51.1	13.5	0.9	1.7			
	嶺北広域圏	31	74.2	19.4	51.6	19.4	0.0	3.2			
	仁淀川広域圏	130	79.2	19.2	45.4	20.8	2.3	4.6			
	高吾北広域圏	67	80.6	13.4	44.8	16.4	1.5	4.5			
	高幡広域圏	138	76.1	23.2	44.9	13.8	1.4	9.4			
	幡多広域圏	210	80.5	27.1	38.6	11.4	1.4	7.1			
	無回答	27	77.8	18.5	37.0	11.1	0.0	7.4			
部 別 沿岸	沿岸部	645	82.9	21.6	42.9	13.2	1.4	5.6			
	非沿岸部	953	82.0	21.5	48.1	14.6	1.5	3.4			
	無回答	81	69.1	28.4	32.1	8.6	1.2	14.8			



問33.あなたが、新エネルギーの導入を進めるために行政が行うべきだと思う取り組みについて、次のうち2つまで選んでお答えください。(2つまで○印)

(単位:人、%)

		サンプル	新エネルギーに関する情報を提供すること	学校の率先的な新エネルギーの導入	新エネルギーの技術開発への支援	個人や事業者への導入支援	電力料金制度の改正	新エネルギーの高効率化のための導入	新エネルギーの法規制の緩和	自治体などが発電事業などを自ら行う	その他	無回答
総合	実数	1679	508	576	452	615	343	174	242	17	80	
	%		30.3	34.3	26.9	36.6	20.4	10.4	14.4	1.0	4.8	
性別	男性	749	27.2	35.1	26.0	39.0	22.7	12.3	16.4	1.3	3.1	
	女性	914	32.5	34.0	27.6	35.0	18.5	8.9	12.9	0.7	6.1	
	無回答	16	43.8	12.5	31.3	18.8	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	
年代別	20歳代	125	32.8	42.4	28.8	36.0	26.4	4.8	9.6	2.4	0.8	
	30歳代	221	26.2	37.6	28.1	38.0	21.3	11.8	13.1	2.3	0.9	
	40歳代	228	30.7	36.0	21.5	40.8	24.1	9.6	14.9	0.9	0.9	
	50歳代	310	28.7	40.0	20.6	40.3	20.0	13.9	11.9	1.0	3.5	
	60歳代	401	29.9	34.2	28.7	37.9	18.7	9.7	16.5	0.2	5.5	
	70歳以上	379	32.5	25.1	32.2	30.1	17.7	9.8	16.6	0.5	10.8	
	無回答	15	46.7	13.3	26.7	13.3	26.7	6.7	6.7	6.7	6.7	
	職業別	農林業	113	30.1	29.2	24.8	37.2	30.1	13.3	15.9	0.0	6.2
	漁業	11	27.3	36.4	18.2	27.3	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	120	27.5	40.0	22.5	46.7	15.0	9.2	14.2	0.0	4.2	
	事務職	181	26.5	34.8	24.9	43.1	23.8	13.3	9.9	1.1	2.2	
	技術職	168	28.6	42.3	28.0	41.1	18.5	9.5	14.3	0.6	0.6	
	労務職	169	25.4	37.9	26.6	37.9	22.5	11.8	17.8	1.2	1.2	
	管理職	59	30.5	45.8	11.9	42.4	20.3	11.9	18.6	3.4	0.0	
	自由業	30	23.3	33.3	30.0	30.0	13.3	3.3	26.7	0.0	10.0	
	主婦	254	35.0	33.1	27.2	32.7	18.5	9.4	10.2	0.8	7.1	
	学生	22	27.3	40.9	36.4	36.4	18.2	4.5	13.6	0.0	0.0	
	無職	398	30.4	29.9	33.7	31.2	17.6	9.5	16.1	1.3	7.8	
	その他	132	37.1	31.1	21.2	38.6	26.5	10.6	14.4	1.5	3.0	
	無回答	22	40.9	13.6	13.6	13.6	13.6	4.5	13.6	4.5	22.7	
状況別 婚姻	未婚	290	33.8	34.8	29.0	33.8	22.4	6.6	12.1	2.4	3.4	
	既婚	1106	28.6	35.4	25.9	39.3	20.1	11.8	14.8	0.5	4.1	
	その他	240	32.9	32.1	30.0	30.4	20.0	9.6	16.3	1.3	5.4	
	無回答	43	34.9	14.0	23.3	20.9	18.6	2.3	9.3	2.3	27.9	
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	30.8	42.1	20.8	36.5	20.8	11.9	13.8	2.5	1.9	
	小学生の子どもがいる	182	26.9	41.2	22.5	40.7	24.7	12.6	12.1	1.1	2.2	
	中学生の子どもがいる	122	25.4	43.4	20.5	37.7	26.2	9.0	10.7	1.6	3.3	
	高校生の子どもがいる	126	26.2	36.5	27.8	45.2	23.0	12.7	12.7	0.0	0.0	
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	36.9	38.8	23.3	44.7	16.5	5.8	13.6	1.0	1.9	
	その他	817	29.6	32.3	28.0	37.5	18.5	11.1	15.5	0.4	5.9	
	子どもはいない	403	30.8	34.0	30.3	35.0	20.8	7.9	14.1	1.7	4.2	
	無回答	44	43.2	18.2	20.5	20.5	18.2	4.5	9.1	2.3	20.5	
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	32.7	30.1	25.6	26.3	19.9	9.0	16.0	3.2	7.7	
	100~200万円未満	287	34.1	26.5	29.6	29.6	20.6	9.1	16.0	1.0	8.7	
	200~300万円未満	338	30.5	33.1	28.7	36.4	21.6	10.7	13.9	0.6	3.8	
	300~400万円未満	255	31.8	38.0	29.8	39.2	16.9	8.2	16.1	1.2	1.6	
	400~600万円未満	284	32.4	38.0	25.7	42.6	18.7	13.0	12.0	0.7	1.4	
	600~800万円未満	145	26.9	40.0	22.8	41.4	25.5	13.1	14.5	0.0	0.7	
	800~1000万円未満	66	15.2	37.9	25.8	53.0	24.2	15.2	16.7	0.0	0.0	
	1000万円以上	58	19.0	48.3	25.9	46.6	20.7	10.3	13.8	3.4	0.0	
	無回答	90	25.6	27.8	17.8	25.6	21.1	5.6	10.0	0.0	23.3	
	広域市町村圏別	高知市	729	29.8	34.0	27.8	35.3	20.6	11.7	14.8	1.8	3.2
安芸広域圏		118	26.3	40.7	26.3	35.6	21.2	10.2	9.3	0.0	8.5	
南国・香美広域圏		229	30.1	38.4	24.9	46.3	18.3	10.9	13.1	0.9	2.2	
嶺北広域圏		31	19.4	35.5	22.6	38.7	35.5	6.5	6.5	0.0	12.9	
仁淀川広域圏		130	36.9	33.8	32.3	33.1	19.2	7.7	14.6	0.0	3.1	
高吾北広域圏		67	32.8	34.3	19.4	40.3	17.9	7.5	22.4	0.0	6.0	
高幡広域圏		138	29.0	27.5	27.5	38.4	19.6	8.7	16.7	0.7	8.7	
幡多広域圏		210	32.4	32.4	26.2	32.9	21.9	10.0	14.3	0.5	6.7	
無回答		27	25.9	29.6	22.2	22.2	18.5	7.4	14.8	0.0	14.8	
部別 沿岸	沿岸部	645	30.7	36.6	27.4	36.1	21.1	9.1	13.5	1.4	4.3	
	非沿岸部	953	29.5	33.6	27.1	38.4	20.5	11.2	15.4	0.8	4.0	
	無回答	81	35.8	24.7	21.0	19.8	14.8	9.9	9.9	0.0	17.3	

問34.あなたは、ご自宅に太陽光発電設備を設置していますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	設置している	ある 具体的な設置の予定が	設置を検討してみたい	設置するつもりはない	無回答
総合	実数	1679	67	13	569	949	81
	%		4.0	0.8	33.9	56.5	4.8
性別	男性	749	3.7	1.3	35.4	56.1	3.5
	女性	914	4.3	0.3	32.9	56.8	5.7
	無回答	16	0.0	0.0	18.8	62.5	18.8
年代別	20歳代	125	10.4	1.6	36.8	50.4	0.8
	30歳代	221	3.2	0.5	41.6	54.3	0.5
	40歳代	228	4.8	0.9	42.5	50.4	1.3
	50歳代	310	4.5	1.0	42.3	48.1	4.2
	60歳代	401	2.7	0.5	31.7	59.9	5.2
	70歳以上	379	2.9	0.8	19.3	66.5	10.6
	無回答	15	0.0	0.0	20.0	66.7	13.3
職業別	農林業	113	9.7	0.9	32.7	50.4	6.2
	漁業	11	9.1	9.1	36.4	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	5.8	1.7	37.5	53.3	1.7
	事務職	181	2.8	1.1	42.5	51.9	1.7
	技術職	168	4.8	1.2	48.2	44.6	1.2
	労務職	169	4.7	1.2	36.7	56.2	1.2
	管理職	59	5.1	0.0	45.8	49.2	0.0
	自由業	30	6.7	0.0	33.3	53.3	6.7
	主婦	254	3.9	0.4	32.3	55.9	7.5
	学生	22	9.1	0.0	36.4	54.5	0.0
	無職	398	2.0	0.3	22.1	66.8	8.8
	その他	132	1.5	0.8	34.1	60.6	3.0
	無回答	22	0.0	0.0	13.6	63.6	22.7
状況別 婚姻	未婚	290	5.2	0.3	32.8	59.7	2.1
	既婚	1106	4.0	1.0	36.9	54.0	4.2
	その他	240	2.1	0.4	23.8	66.7	7.1
	無回答	43	7.0	0.0	20.9	44.2	27.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	6.9	1.3	44.0	44.0	3.8
	小学生の子どもがいる	182	6.0	1.1	38.5	49.5	4.9
	中学生の子どもがいる	122	3.3	0.0	44.3	49.2	3.3
	高校生の子どもがいる	126	7.1	0.0	42.1	48.4	2.4
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	7.8	1.9	40.8	45.6	3.9
	その他	817	2.7	0.6	30.8	60.8	5.0
	子どもはいない	403	4.7	0.5	32.8	58.3	3.7
無回答	44	2.3	0.0	20.5	52.3	25.0	
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	1.3	0.0	22.4	67.3	9.0
	100~200万円未満	287	3.5	0.3	23.7	64.1	8.4
	200~300万円未満	338	2.4	0.3	32.5	61.2	3.6
	300~400万円未満	255	3.9	0.8	39.2	54.5	1.6
	400~600万円未満	284	4.2	2.1	43.7	49.3	0.7
	600~800万円未満	145	6.2	1.4	39.3	51.7	1.4
	800~1000万円未満	66	6.1	1.5	47.0	45.5	0.0
	1000万円以上	58	12.1	0.0	44.8	39.7	3.4
	無回答	90	5.6	0.0	20.0	51.1	23.3
	広域市町村圏別	高知市	729	3.4	0.5	33.3	58.6
安芸広域圏		118	2.5	0.8	36.4	55.1	5.1
南国・香美広域圏		229	3.9	0.4	35.8	55.5	4.4
嶺北広域圏		31	12.9	6.5	45.2	29.0	6.5
仁淀川広域圏		130	4.6	0.8	34.6	56.9	3.1
高吾北広域圏		67	4.5	1.5	32.8	59.7	1.5
高幡広域圏		138	5.1	2.2	31.2	55.1	6.5
幡多広域圏		210	3.8	0.0	31.4	56.7	8.1
無回答		27	7.4	0.0	40.7	44.4	7.4
部沿岸別	沿岸部	645	4.0	0.6	33.6	56.4	5.3
	非沿岸部	953	3.9	0.9	34.4	56.8	4.0
	無回答	81	4.9	0.0	29.6	54.3	11.1

問34副問1.(問34で「3」を選んだ方のみお答えください。)あなたは、今後どのような条件が整えば、太陽光発電設備を設置してもよいと思いますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	度が安 く充実 すれば ~	発電設 備の全 体の価 格が 安 く な ら ば	なれ ば	割 り に も な ら ば	全 体 の 価 格 が 安 く な ら ば	置 現 在 の 住 宅 に 簡 単 に 設 置 可 能 な ら ば	す で 可 能 な 情 報 が 入 手 し や ら ば	発 電 設 備 に 関 する 信 頼 性 が 高 い と 思 う と す る と	そ の 他	無 回 答
総合	実数	569	396	55	60	22	17	19				
	%		69.6	9.7	10.5	3.9	3.0	3.3				
性別	男性	265	70.9	9.1	9.4	4.2	2.6	3.8				
	女性	301	68.4	10.3	11.3	3.7	3.3	3.0				
	無回答	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0				
年代別	20歳代	46	78.3	13.0	2.2	0.0	2.2	4.3				
	30歳代	92	69.6	6.5	9.8	3.3	4.3	6.5				
	40歳代	97	63.9	12.4	12.4	4.1	5.2	2.1				
	50歳代	131	71.0	10.7	10.7	3.8	1.5	2.3				
	60歳代	127	72.4	8.7	7.9	4.7	2.4	3.9				
	70歳以上	73	64.4	8.2	17.8	5.5	2.7	1.4				
	無回答	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0				
	職業別	農林業	37	73.0	5.4	8.1	8.1	2.7	2.7			
漁業		4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
商工サービス業自営		45	80.0	8.9	4.4	4.4	2.2	0.0				
事務職		77	76.6	9.1	6.5	0.0	2.6	5.2				
技術職		81	66.7	9.9	11.1	1.2	2.5	8.6				
労務職		62	64.5	9.7	14.5	8.1	0.0	3.2				
管理職		27	63.0	11.1	7.4	7.4	11.1	0.0				
自由業		10	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0				
主婦		82	61.0	13.4	13.4	4.9	3.7	3.7				
学生		8	87.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0				
無職		88	68.2	10.2	14.8	2.3	3.4	1.1				
その他		45	75.6	11.1	6.7	2.2	2.2	2.2				
無回答		3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0				
状況別 婚姻	未婚	95	72.6	6.3	13.7	3.2	2.1	2.1				
	既婚	408	68.9	10.0	9.3	4.2	3.4	4.2				
	その他	57	71.9	12.3	12.3	1.8	1.8	0.0				
	無回答	9	55.6	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0				
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	70	67.1	15.7	5.7	2.9	7.1	1.4				
	小学生の子どもがいる	70	70.0	12.9	7.1	1.4	4.3	4.3				
	中学生の子どもがいる	54	55.6	9.3	13.0	3.7	11.1	7.4				
	高校生の子どもがいる	53	60.4	13.2	11.3	5.7	5.7	3.8				
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	42	61.9	21.4	9.5	4.8	0.0	2.4				
	その他	252	69.4	10.3	10.3	5.2	1.6	3.2				
	子どもはいない	132	75.0	3.8	13.6	2.3	2.3	3.0				
	無回答	9	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	35	62.9	8.6	20.0	2.9	5.7	0.0				
	100~200万円未満	68	73.5	7.4	7.4	8.8	0.0	2.9				
	200~300万円未満	110	73.6	9.1	11.8	1.8	0.9	2.7				
	300~400万円未満	100	66.0	14.0	9.0	4.0	3.0	4.0				
	400~600万円未満	124	67.7	14.5	8.1	1.6	4.0	4.0				
	600~800万円未満	57	78.9	3.5	5.3	3.5	5.3	3.5				
	800~1000万円未満	31	71.0	6.5	16.1	0.0	3.2	3.2				
	1000万円以上	26	61.5	0.0	15.4	15.4	3.8	3.8				
	無回答	18	55.6	5.6	22.2	5.6	5.6	5.6				
	広域市 町村 圏別	高知市	243	69.5	7.8	10.3	4.9	4.1	3.3			
安芸広域圏		43	72.1	14.0	9.3	2.3	0.0	2.3				
南国・香美広域圏		82	59.8	11.0	15.9	4.9	1.2	7.3				
嶺北広域圏		14	71.4	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0				
仁淀川広域圏		45	71.1	13.3	4.4	2.2	8.9	0.0				
高吾北広域圏		22	72.7	13.6	13.6	0.0	0.0	0.0				
高幡広域圏		43	72.1	9.3	9.3	2.3	2.3	4.7				
幡多広域圏		66	78.8	9.1	7.6	3.0	0.0	1.5				
無回答		11	54.5	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1				
部 別 沿岸	沿岸部	217	70.0	8.8	11.5	3.2	2.8	3.7				
	非沿岸部	328	70.1	10.1	8.8	4.6	3.4	3.0				
	無回答	24	58.3	12.5	25.0	0.0	0.0	4.2				

問34副問2.(問34で「3」を選んだ方のみお答えください。)現在、住宅用太陽光発電設備の設置に対しては、助成制度があります。一般家庭での設備の導入のために240万円(電力は4キロワット)かかるとした場合に、国からは約19万2千円が助成されます。あなたが、太陽光発電設備を設置する場合に、いくらまでなら負担できますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	240万円(助成はない)	10万円(助成があれば)	15万円(助成があれば)	10万円(助成があれば)	10万円(助成があれば)	10万円(助成があれば)	無回答
総合	実数	569	2	10	82	126	270	79	
	%		0.4	1.8	14.4	22.1	47.5	13.9	
性別	男性	265	0.0	2.6	17.7	21.9	43.8	14.0	
	女性	301	0.7	1.0	11.6	22.6	50.2	14.0	
	無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
年代別	20歳代	46	0.0	0.0	21.7	15.2	50.0	13.0	
	30歳代	92	0.0	3.3	12.0	21.7	48.9	14.1	
	40歳代	97	0.0	0.0	17.5	22.7	51.5	8.2	
	50歳代	131	0.8	1.5	12.2	21.4	45.0	19.1	
	60歳代	127	0.0	0.8	12.6	26.0	48.0	12.6	
	70歳以上	73	1.4	5.5	15.1	21.9	41.1	15.1	
	無回答	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	
職業別	農林業	37	0.0	0.0	29.7	24.3	32.4	13.5	
	漁業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	商工サービス業自営	45	0.0	2.2	8.9	22.2	51.1	15.6	
	事務職	77	0.0	0.0	16.9	29.9	48.1	5.2	
	技術職	81	0.0	2.5	16.0	24.7	45.7	11.1	
	労務職	62	0.0	3.2	12.9	16.1	50.0	17.7	
	管理職	27	0.0	7.4	11.1	22.2	40.7	18.5	
	自由業	10	0.0	0.0	30.0	0.0	30.0	40.0	
	主婦	82	1.2	0.0	9.8	23.2	50.0	15.9	
	学生	8	0.0	0.0	25.0	12.5	50.0	12.5	
	無職	88	1.1	3.4	14.8	20.5	47.7	12.5	
	その他	45	0.0	0.0	6.7	22.2	51.1	20.0	
	無回答	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	
状況別 婚姻	未婚	95	0.0	2.1	21.1	12.6	49.5	14.7	
	既婚	408	0.5	2.0	13.0	25.5	45.8	13.2	
	その他	57	0.0	0.0	12.3	17.5	50.9	19.3	
	無回答	9	0.0	0.0	22.2	0.0	77.8	0.0	
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	70	0.0	4.3	10.0	31.4	38.6	15.7	
	小学生の子どもがいる	70	0.0	1.4	18.6	27.1	44.3	8.6	
	中学生の子どもがいる	54	0.0	3.7	9.3	24.1	53.7	9.3	
	高校生の子どもがいる	53	0.0	3.8	7.5	20.8	50.9	17.0	
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	42	0.0	0.0	11.9	31.0	47.6	9.5	
	その他	252	0.8	1.6	12.3	23.8	47.6	13.9	
	子どもはいない	132	0.0	1.5	18.9	15.2	49.2	15.2	
無回答	9	0.0	0.0	22.2	22.2	33.3	22.2		
世帯の年間収入別	0~100万円未満	35	0.0	0.0	11.4	5.7	60.0	22.9	
	100~200万円未満	68	0.0	1.5	7.4	14.7	54.4	22.1	
	200~300万円未満	110	0.0	2.7	10.0	17.3	58.2	11.8	
	300~400万円未満	100	0.0	3.0	21.0	20.0	48.0	8.0	
	400~600万円未満	124	0.0	0.8	16.1	26.6	41.9	14.5	
	600~800万円未満	57	0.0	1.8	15.8	36.8	38.6	7.0	
	800~1000万円未満	31	0.0	0.0	25.8	41.9	22.6	9.7	
	1000万円以上	26	7.7	3.8	11.5	19.2	34.6	23.1	
	無回答	18	0.0	0.0	5.6	16.7	55.6	22.2	
広域市町村圏別	高知市	243	0.4	1.2	11.5	23.5	47.3	16.0	
	安芸広域圏	43	0.0	0.0	18.6	16.3	48.8	16.3	
	南国・香美広域圏	82	0.0	2.4	17.1	22.0	52.4	6.1	
	嶺北広域圏	14	0.0	7.1	14.3	35.7	28.6	14.3	
	仁淀川広域圏	45	0.0	4.4	17.8	17.8	51.1	8.9	
	高吾北広域圏	22	0.0	4.5	31.8	13.6	40.9	9.1	
	高幡広域圏	43	2.3	0.0	16.3	34.9	30.2	16.3	
	幡多広域圏	66	0.0	1.5	12.1	16.7	53.0	16.7	
無回答	11	0.0	0.0	0.0	18.2	63.6	18.2		
部別 沿岸	沿岸部	217	0.0	1.4	16.1	20.3	47.5	14.7	
	非沿岸部	328	0.6	2.1	14.0	23.8	46.0	13.4	
	無回答	24	0.0	0.0	4.2	16.7	66.7	12.5	

クロス分析

問34副問1 太陽光発電設備を設置するための条件

×

問34副問2 太陽光発電設備を設置する際の負担額の上限

(単位:人、%)

		問34副問2						
		サンプル	い 2 4 0 万円 (助成は必要ない)	成 2 0 0 万円 (40万円の助成があれば良い)	成 1 5 0 万円 (90万円の助成があれば良い)	助 1 0 0 万円 (140万円の助成があれば良い)	必 1 0 0 万円 を 検 討 は 難 し い 負 担 が	無 回 答
問34副問1	計	569	0.4	1.8	14.4	22.1	47.5	13.9
	発電設備の全体の価格が安くなれば(助成制度が充実すれば)	396	0.3	1.0	15.7	23.5	44.9	14.6
	全体の価格が安くならなくても、リースや分割払いなどにより一度に負担する費用が軽くなれば	55	0.0	1.8	9.1	29.1	43.6	16.4
	現在の住宅に簡単に設置できれば	60	0.0	3.3	11.7	15.0	68.3	1.7
	発電設備に関する信頼できる情報が入手しやすくなれば	22	0.0	9.1	9.1	9.1	45.5	27.3
	その他	17	5.9	5.9	23.5	17.6	17.6	29.4
	無回答	19	0.0	0.0	10.5	15.8	73.7	0.0

問35.森林は、①土壌に水を蓄え、②山の崩壊を防止し、③二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に役立つなどの「公益的機能」を持っていますが、近年、間伐などの手入れが不足し、これらの機能の低下を招いています。こうした状況をご存知でしたか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	よく知っていた	だいたいい知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	無回答
総合	実数	1679	429	796	294	128	32
	%		25.6	47.4	17.5	7.6	1.9
性別	男性	749	29.8	49.0	13.1	6.3	1.9
	女性	914	22.3	46.0	21.3	8.6	1.8
	無回答	16	12.5	56.3	6.3	12.5	12.5
年代別	20歳代	125	14.4	41.6	24.8	19.2	0.0
	30歳代	221	18.6	40.7	26.2	14.5	0.0
	40歳代	228	20.6	46.9	21.9	10.1	0.4
	50歳代	310	26.1	50.3	16.8	5.5	1.3
	60歳代	401	29.9	52.4	12.7	3.2	1.7
	70歳以上	379	31.7	45.4	13.2	4.7	5.0
	無回答	15	13.3	60.0	13.3	6.7	6.7
	職業別	農林業	113	35.4	51.3	7.1	2.7
	漁業	11	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0
	商工サービス業自営	120	30.8	52.5	8.3	8.3	0.0
	事務職	181	25.4	44.8	22.7	6.6	0.6
	技術職	168	19.6	51.2	17.3	11.9	0.0
	労務職	169	18.3	53.3	19.5	8.9	0.0
	管理職	59	35.6	50.8	8.5	3.4	1.7
	自由業	30	16.7	50.0	23.3	6.7	3.3
	主婦	254	22.4	44.5	24.4	7.1	1.6
	学生	22	18.2	54.5	18.2	9.1	0.0
	無職	398	30.4	45.5	13.6	6.0	4.5
	その他	132	20.5	41.7	25.8	10.6	1.5
	無回答	22	9.1	40.9	22.7	22.7	4.5
状況別 婚姻	未婚	290	16.9	43.4	23.4	14.5	1.7
	既婚	1106	28.6	47.9	16.2	6.0	1.4
	その他	240	23.3	52.5	15.4	7.5	1.3
	無回答	43	18.6	32.6	23.3	4.7	20.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	27.0	39.6	20.8	11.9	0.6
	小学生の子どもがいる	182	26.9	54.9	14.3	3.8	0.0
	中学生の子どもがいる	122	27.0	42.6	18.0	12.3	0.0
	高校生の子どもがいる	126	21.4	50.0	20.6	7.9	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	28.2	51.5	17.5	1.9	1.0
	その他	817	29.7	50.1	13.7	4.3	2.2
	子どもはいない	403	19.6	44.2	22.6	12.2	1.5
	無回答	44	13.6	47.7	18.2	6.8	13.6
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	22.4	42.9	17.3	12.2	5.1
	100~200万円未満	287	19.9	46.0	23.3	8.7	2.1
	200~300万円未満	338	25.1	52.7	13.0	7.4	1.8
	300~400万円未満	255	28.2	46.3	18.4	5.9	1.2
	400~600万円未満	284	31.0	45.1	15.1	8.8	0.0
	600~800万円未満	145	22.8	51.7	20.0	4.8	0.7
	800~1000万円未満	66	37.9	50.0	12.1	0.0	0.0
	1000万円以上	58	31.0	58.6	8.6	0.0	1.7
	無回答	90	17.8	34.4	26.7	13.3	7.8
	広域市町村圏別	高知市	729	25.0	46.1	19.3	8.1
安芸広域圏		118	26.3	55.1	14.4	1.7	2.5
南国・香美広域圏		229	27.9	51.1	14.4	6.6	0.0
嶺北広域圏		31	35.5	41.9	19.4	3.2	0.0
仁淀川広域圏		130	23.1	51.5	15.4	9.2	0.8
高吾北広域圏		67	25.4	38.8	20.9	10.4	4.5
高幡広域圏		138	27.5	47.1	14.5	6.5	4.3
幡多広域圏		210	23.8	45.2	18.1	10.0	2.9
無回答		27	22.2	44.4	18.5	7.4	7.4
部沿岸	沿岸部	645	24.7	48.8	16.9	7.3	2.3
	非沿岸部	953	26.5	47.3	17.3	7.6	1.3
	無回答	81	21.0	37.0	24.7	11.1	6.2

問36.森林の公益的機能を守るため、森林環境税を活用し、次のような取り組みを進めています。この調査以前に、知っていた事業はありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	支援するための森林整備への	森林環境の保全を進めるための	シカへの支援	学校の推進	公共施設などへの木材利	県民主体の活動への支	森林や山を守るための	子どもたちを対象とし	ランティア団体の活動	地域住民や森林保全ボ	や情報の発信	重要性的な活動の	森林や山を守る活動の	知っていた事業はない	無回答
総合	実数	1679	723	713	493	263	499	276	361	375	50						
	%		43.1	42.5	29.4	15.7	29.7	16.4	21.5	22.3	3.0						
性別	男性	749	51.3	44.2	31.9	18.8	28.2	20.3	22.8	19.2	2.3						
	女性	914	36.7	41.1	27.2	13.0	31.3	13.5	20.6	25.1	3.2						
	無回答	16	25.0	37.5	31.3	18.8	12.5	6.3	12.5	12.5	25.0						
年代別	20歳代	125	28.8	26.4	23.2	16.8	30.4	14.4	22.4	34.4	0.0						
	30歳代	221	32.1	31.7	23.5	9.0	25.8	11.8	16.3	35.7	0.9						
	40歳代	228	37.3	32.9	30.3	11.8	29.8	17.1	15.4	31.1	0.9						
	50歳代	310	47.1	48.7	28.7	12.6	35.2	18.7	22.9	20.0	1.9						
	60歳代	401	52.1	49.9	34.2	16.7	30.9	19.0	24.2	13.5	3.5						
	70歳以上	379	45.6	47.2	29.6	22.7	26.6	15.3	24.0	16.9	6.1						
	無回答	15	20.0	33.3	33.3	20.0	13.3	6.7	20.0	13.3	20.0						
職業別	農林業	113	54.0	55.8	38.1	20.4	34.5	24.8	31.0	10.6	2.7						
	漁業	11	36.4	36.4	36.4	18.2	18.2	18.2	18.2	27.3	0.0						
	商工サービス業自営	120	48.3	47.5	30.0	15.0	34.2	17.5	24.2	16.7	1.7						
	事務職	181	47.5	43.1	29.8	13.3	27.6	16.6	18.2	25.4	0.6						
	技術職	168	39.9	38.7	30.4	15.5	38.1	19.0	22.6	25.6	0.0						
	労務職	169	40.8	40.2	29.0	9.5	30.8	14.2	18.9	23.1	0.0						
	管理職	59	62.7	40.7	40.7	18.6	37.3	25.4	27.1	20.3	3.4						
	自由業	30	60.0	26.7	30.0	13.3	20.0	23.3	16.7	13.3	10.0						
	主婦	254	34.3	39.0	26.4	13.8	29.9	10.2	18.5	27.2	4.7						
	学生	22	40.9	22.7	31.8	31.8	36.4	27.3	31.8	18.2	0.0						
	無職	398	45.2	45.5	27.6	19.6	23.6	16.3	24.4	20.6	5.0						
	その他	132	32.6	40.9	26.5	12.1	31.8	14.4	14.4	28.0	0.8						
	無回答	22	18.2	31.8	18.2	13.6	13.6	4.5	4.5	18.2	27.3						
状況別 婚姻	未婚	290	30.7	31.7	20.7	11.7	22.4	11.7	20.3	36.6	1.4						
	既婚	1106	46.6	45.8	32.4	16.4	32.0	17.9	23.0	19.2	2.3						
	その他	240	45.4	41.7	27.9	17.1	29.6	16.3	17.9	22.1	3.8						
	無回答	43	23.3	34.9	18.6	16.3	20.9	11.6	11.6	9.3	27.9						
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	36.5	30.2	24.5	13.8	27.7	15.7	20.1	34.0	0.6						
	小学生の子どもがいる	182	43.4	42.3	30.8	17.0	36.3	18.1	20.3	23.6	1.1						
	中学生の子どもがいる	122	44.3	39.3	32.0	22.1	39.3	22.1	21.3	27.0	0.0						
	高校生の子どもがいる	126	48.4	47.6	30.2	13.5	37.3	20.6	21.4	16.7	0.0						
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	51.5	46.6	38.8	18.4	36.9	25.2	27.2	17.5	1.9						
	その他	817	48.2	49.3	32.8	18.6	32.4	18.0	23.7	16.2	3.4						
	子どもはいない	403	36.0	34.0	23.3	11.2	22.6	13.4	19.9	32.3	1.2						
無回答	44	29.5	36.4	25.0	18.2	22.7	11.4	9.1	6.8	29.5							
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	36.5	32.1	17.3	14.7	21.2	14.7	21.2	28.2	6.4						
	100~200万円未満	287	33.4	40.8	24.0	14.6	22.3	11.1	19.5	27.5	3.1						
	200~300万円未満	338	45.6	48.5	28.7	17.5	29.9	17.8	21.9	21.6	1.5						
	300~400万円未満	255	44.3	42.4	31.8	14.9	33.3	14.9	20.8	22.0	1.2						
	400~600万円未満	284	48.6	46.1	37.0	18.0	35.2	20.4	23.9	18.3	1.4						
	600~800万円未満	145	48.3	36.6	35.9	14.5	31.7	18.6	21.4	23.4	1.4						
	800~1000万円未満	66	54.5	62.1	50.0	18.2	48.5	22.7	33.3	7.6	0.0						
	1000万円以上	58	60.3	46.6	22.4	15.5	29.3	20.7	25.9	13.8	3.4						
	無回答	90	26.7	24.4	17.8	8.9	23.3	12.2	10.0	26.7	16.7						
	広域市町村圏別	高知市	729	41.6	37.2	28.5	16.2	28.7	18.0	21.1	25.2	2.6					
安芸広域圏		118	45.8	44.9	27.1	14.4	28.8	13.6	20.3	20.3	3.4						
南国・香美広域圏		229	48.9	57.2	34.1	14.0	36.2	21.0	24.9	17.5	0.9						
嶺北広域圏		31	54.8	58.1	32.3	22.6	35.5	9.7	25.8	16.1	3.2						
仁淀川広域圏		130	43.1	38.5	33.8	20.8	32.3	17.7	26.9	20.0	0.0						
高吾北広域圏		67	43.3	41.8	25.4	17.9	23.9	10.4	22.4	26.9	3.0						
高幡広域圏		138	44.9	47.1	31.2	15.2	28.3	15.2	20.3	15.9	4.3						
幡多広域圏		210	37.6	41.9	26.2	11.9	26.2	10.5	17.6	24.3	6.7						
無回答		27	40.7	33.3	22.2	14.8	37.0	18.5	11.1	18.5	7.4						
部別 沿岸	沿岸部	645	41.4	39.1	26.0	14.3	29.5	15.7	20.5	25.1	3.7						
	非沿岸部	953	45.3	45.5	32.0	17.3	29.7	17.4	23.0	20.9	1.9						
	無回答	81	29.6	33.3	24.7	7.4	32.1	11.1	12.3	17.3	9.9						

問37.また、それぞれの事業に関して、今後どう取り組んでいくべきか、あなたの意見を聞かせてください。(1つだけ○印)

【1. 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままでよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	1152	227	22	10	268	0
	%		68.6	13.5	1.3	0.6	16.0	0.0
性別	男性	749	69.0	14.8	1.6	1.2	13.4	0.0
	女性	914	68.9	12.6	1.1	0.1	17.3	0.0
	無回答	16	31.3	6.3	0.0	0.0	62.5	0.0
年代別	20歳代	125	72.0	14.4	2.4	0.0	11.2	0.0
	30歳代	221	67.0	18.6	0.5	1.4	12.7	0.0
	40歳代	228	68.4	14.5	3.1	0.9	13.2	0.0
	50歳代	310	74.5	13.9	0.6	1.3	9.7	0.0
	60歳代	401	70.3	15.0	1.0	0.2	13.5	0.0
	70歳以上	379	63.6	8.2	1.3	0.0	26.9	0.0
	無回答	15	26.7	6.7	0.0	0.0	66.7	0.0
職業別	農林業	113	63.7	12.4	1.8	2.7	19.5	0.0
	漁業	11	54.5	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0
	商工サービス業自営	120	75.8	10.8	1.7	0.0	11.7	0.0
	事務職	181	74.0	16.0	2.2	1.1	6.6	0.0
	技術職	168	74.4	17.3	0.6	0.6	7.1	0.0
	労務職	169	66.3	20.7	1.2	1.8	10.1	0.0
	管理職	59	78.0	8.5	0.0	0.0	13.6	0.0
	自由業	30	73.3	16.7	0.0	3.3	6.7	0.0
	主婦	254	69.7	11.4	1.2	0.0	17.7	0.0
	学生	22	86.4	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0
	無職	398	66.3	10.6	1.0	0.0	22.1	0.0
	その他	132	61.4	15.9	3.0	0.0	19.7	0.0
無回答	22	13.6	9.1	0.0	0.0	77.3	0.0	
状況別 婚姻	未婚	290	70.0	11.0	2.4	0.7	15.9	0.0
	既婚	1106	69.8	14.9	1.0	0.7	13.6	0.0
	その他	240	67.1	12.1	1.7	0.0	19.2	0.0
	無回答	43	37.2	2.3	0.0	0.0	60.5	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	66.7	18.2	0.6	1.3	13.2	0.0
	小学生の子どもがいる	182	68.1	15.4	1.6	1.1	13.7	0.0
	中学生の子どもがいる	122	70.5	17.2	1.6	0.8	9.8	0.0
	高校生の子どもがいる	126	67.5	15.9	0.8	0.8	15.1	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	71.8	15.5	1.0	1.0	10.7	0.0
	その他	817	69.9	13.2	1.1	0.4	15.4	0.0
	子どもはいない	403	68.7	12.2	2.2	0.5	16.4	0.0
無回答	44	38.6	11.4	0.0	0.0	50.0	0.0	
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	59.6	11.5	1.3	0.6	26.9	0.0
	100～200万円未満	287	62.4	11.5	2.8	0.0	23.3	0.0
	200～300万円未満	338	71.0	12.7	1.2	0.9	14.2	0.0
	300～400万円未満	255	70.6	15.3	0.4	0.8	12.9	0.0
	400～600万円未満	284	78.2	11.6	0.7	0.7	8.8	0.0
	600～800万円未満	145	71.0	22.1	1.4	0.0	5.5	0.0
	800～1000万円未満	66	74.2	18.2	1.5	0.0	6.1	0.0
	1000万円以上	58	74.1	10.3	3.4	1.7	10.3	0.0
	無回答	90	47.8	12.2	0.0	1.1	38.9	0.0
広域市町村圏別	高知市	729	69.4	14.1	1.1	0.8	14.5	0.0
	安芸広域圏	118	70.3	11.0	2.5	0.0	16.1	0.0
	南国・香美広域圏	229	72.9	13.1	0.9	0.4	12.7	0.0
	嶺北広域圏	31	67.7	12.9	0.0	3.2	16.1	0.0
	仁淀川広域圏	130	74.6	9.2	1.5	0.0	14.6	0.0
	高吾北広域圏	67	59.7	13.4	0.0	0.0	26.9	0.0
	高幡広域圏	138	63.8	15.9	2.2	0.0	18.1	0.0
	幡多広域圏	210	62.4	13.8	1.9	0.5	21.4	0.0
無回答	27	70.4	18.5	0.0	3.7	7.4	0.0	
部別 沿岸	沿岸部	645	66.7	15.2	2.0	0.3	15.8	0.0
	非沿岸部	953	71.1	12.5	0.9	0.7	14.7	0.0
	無回答	81	54.3	12.3	0.0	1.2	32.1	0.0



【2. シカによる森林被害対策への支援】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままでよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	714	481	43	25	416	0
	%		42.5	28.6	2.6	1.5	24.8	0.0
性別	男性	749	43.7	29.0	3.3	2.3	21.8	0.0
	女性	914	41.9	28.4	1.9	0.9	26.9	0.0
	無回答	16	25.0	25.0	6.3	0.0	43.8	0.0
年代別	20歳代	125	31.2	31.2	6.4	3.2	28.0	0.0
	30歳代	221	28.1	41.6	1.8	2.3	26.2	0.0
	40歳代	228	37.7	32.0	2.6	1.8	25.9	0.0
	50歳代	310	48.4	30.3	1.9	2.3	17.1	0.0
	60歳代	401	50.1	25.2	3.2	0.7	20.7	0.0
	70歳以上	379	45.6	20.6	1.3	0.5	31.9	0.0
	無回答	15	20.0	26.7	6.7	0.0	46.7	0.0
職業別	農林業	113	50.4	21.2	1.8	6.2	20.4	0.0
	漁業	11	36.4	18.2	0.0	0.0	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	45.0	26.7	1.7	0.8	25.8	0.0
	事務職	181	38.1	38.1	2.8	0.6	20.4	0.0
	技術職	168	36.9	39.9	2.4	1.2	19.6	0.0
	労務職	169	37.3	33.7	4.1	3.0	21.9	0.0
	管理職	59	45.8	30.5	0.0	0.0	23.7	0.0
	自由業	30	40.0	26.7	0.0	3.3	30.0	0.0
	主婦	254	48.0	25.2	2.8	2.4	21.7	0.0
	学生	22	31.8	22.7	9.1	4.5	31.8	0.0
	無職	398	46.5	22.1	2.0	0.3	29.1	0.0
	その他	132	37.1	32.6	3.8	0.0	26.5	0.0
	無回答	22	13.6	18.2	4.5	0.0	63.6	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	32.1	31.7	3.8	2.1	30.3	0.0
	既婚	1106	45.7	29.6	2.5	1.4	20.8	0.0
	その他	240	42.9	23.3	1.3	1.3	31.3	0.0
	無回答	43	30.2	14.0	2.3	0.0	53.5	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	32.1	37.1	1.9	3.1	25.8	0.0
	小学生の子どもがいる	182	39.0	33.0	1.6	2.2	24.2	0.0
	中学生の子どもがいる	122	45.1	29.5	1.6	1.6	22.1	0.0
	高校生の子どもがいる	126	48.4	30.2	1.6	1.6	18.3	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	42.7	40.8	1.0	1.9	13.6	0.0
	その他	817	48.7	25.8	2.3	1.3	21.8	0.0
	子どもはいない	403	35.0	29.3	4.0	1.5	30.3	0.0
	無回答	44	27.3	13.6	2.3	0.0	56.8	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	42.3	20.5	2.6	1.9	32.7	0.0
	100～200万円未満	287	40.1	23.7	3.5	1.4	31.4	0.0
	200～300万円未満	338	48.5	26.3	2.4	2.1	20.7	0.0
	300～400万円未満	255	40.0	33.3	2.7	1.2	22.7	0.0
	400～600万円未満	284	45.8	32.0	1.8	1.1	19.4	0.0
	600～800万円未満	145	37.2	40.7	2.8	2.1	17.2	0.0
	800～1000万円未満	66	47.0	34.8	3.0	0.0	15.2	0.0
	1000万円以上	58	44.8	27.6	0.0	1.7	25.9	0.0
	無回答	90	28.9	20.0	3.3	1.1	46.7	0.0
	広域市町村圏別	高知市	729	39.2	31.6	2.6	1.4	25.2
安芸広域圏		118	44.1	27.1	3.4	1.7	23.7	0.0
南国・香美広域圏		229	49.3	24.5	2.6	0.9	22.7	0.0
嶺北広域圏		31	54.8	16.1	3.2	6.5	19.4	0.0
仁淀川広域圏		130	47.7	24.6	2.3	0.0	25.4	0.0
高吾北広域圏		67	40.3	32.8	0.0	3.0	23.9	0.0
高幡広域圏		138	34.8	34.1	2.2	1.4	27.5	0.0
幡多広域圏		210	45.7	24.3	2.4	1.9	25.7	0.0
無回答		27	48.1	22.2	7.4	3.7	18.5	0.0
部別 沿岸	沿岸部	645	40.0	29.5	2.8	1.6	26.2	0.0
	非沿岸部	953	44.8	28.8	2.4	1.5	22.6	0.0
	無回答	81	35.8	21.0	2.5	1.2	39.5	0.0

【3. 公共的施設など(小中学校など)への木材利用の推進】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままでよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	866	414	45	29	325	0
	%		51.6	24.7	2.7	1.7	19.4	0.0
性別	男性	749	49.0	27.5	3.6	2.8	17.1	0.0
	女性	914	54.0	22.6	1.9	0.9	20.6	0.0
	無回答	16	31.3	6.3	6.3	0.0	56.3	0.0
年代別	20歳代	125	50.4	28.8	1.6	1.6	17.6	0.0
	30歳代	221	52.5	26.7	4.1	1.8	14.9	0.0
	40歳代	228	55.3	28.9	1.8	3.1	11.0	0.0
	50歳代	310	58.4	24.2	2.9	2.6	11.9	0.0
	60歳代	401	52.4	26.7	1.7	1.2	18.0	0.0
	70歳以上	379	43.8	18.5	3.4	0.8	33.5	0.0
	無回答	15	26.7	6.7	6.7	0.0	60.0	0.0
職業別	農林業	113	54.9	16.8	2.7	2.7	23.0	0.0
	漁業	11	27.3	18.2	9.1	0.0	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	67.5	18.3	1.7	0.8	11.7	0.0
	事務職	181	53.0	32.6	2.2	1.7	10.5	0.0
	技術職	168	56.0	29.8	1.8	1.2	11.3	0.0
	労務職	169	52.1	31.4	3.6	2.4	10.7	0.0
	管理職	59	61.0	23.7	1.7	1.7	11.9	0.0
	自由業	30	50.0	23.3	0.0	6.7	20.0	0.0
	主婦	254	56.3	20.1	2.8	1.6	19.3	0.0
	学生	22	50.0	22.7	0.0	4.5	22.7	0.0
	無職	398	41.7	25.4	3.3	1.3	28.4	0.0
	その他	132	51.5	21.2	3.0	2.3	22.0	0.0
	無回答	22	13.6	13.6	4.5	0.0	68.2	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	47.2	27.2	2.4	2.4	20.7	0.0
	既婚	1106	54.1	25.5	2.5	1.8	16.1	0.0
	その他	240	51.3	20.0	3.8	0.8	24.2	0.0
	無回答	43	18.6	11.6	2.3	0.0	67.4	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	59.7	22.6	2.5	1.3	13.8	0.0
	小学生の子どもがいる	182	61.5	22.5	0.5	1.6	13.7	0.0
	中学生の子どもがいる	122	55.7	27.9	3.3	1.6	11.5	0.0
	高校生の子どもがいる	126	57.1	28.6	1.6	1.6	11.1	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	47.6	30.1	2.9	1.9	17.5	0.0
	その他	817	52.4	24.6	2.4	1.8	18.7	0.0
	子どもはいない	403	46.4	26.6	3.7	2.0	21.3	0.0
	無回答	44	31.8	6.8	4.5	0.0	56.8	0.0
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	38.5	19.9	3.8	2.6	35.3	0.0
	100~200万円未満	287	46.7	21.6	3.8	1.7	26.1	0.0
	200~300万円未満	338	48.5	28.1	4.1	1.8	17.5	0.0
	300~400万円未満	255	55.7	25.9	2.4	1.2	14.9	0.0
	400~600万円未満	284	64.8	22.2	0.7	1.4	10.9	0.0
	600~800万円未満	145	57.9	30.3	2.1	2.1	7.6	0.0
	800~1000万円未満	66	48.5	36.4	3.0	0.0	12.1	0.0
	1000万円以上	58	50.0	22.4	1.7	3.4	22.4	0.0
	無回答	90	41.1	17.8	0.0	2.2	38.9	0.0
	広域市町村圏別	高知市	729	54.0	23.6	2.6	1.5	18.2
安芸広域圏		118	51.7	20.3	4.2	0.8	22.9	0.0
南国・香美広域圏		229	52.8	26.6	2.2	2.6	15.7	0.0
嶺北広域圏		31	54.8	22.6	0.0	3.2	19.4	0.0
仁淀川広域圏		130	64.6	16.2	2.3	0.8	16.2	0.0
高吾北広域圏		67	53.7	26.9	1.5	1.5	16.4	0.0
高幡広域圏		138	39.1	37.0	2.2	1.4	20.3	0.0
幡多広域圏		210	41.0	23.8	4.3	1.9	29.0	0.0
無回答		27	48.1	37.0	0.0	7.4	7.4	0.0
部別 沿岸	沿岸部	645	50.2	26.0	2.6	1.4	19.7	0.0
	非沿岸部	953	53.4	23.9	2.6	2.0	18.0	0.0
	無回答	81	40.7	22.2	3.7	1.2	32.1	0.0

【4. 森林や山を守るための県民主体の活動への支援】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままでよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	695	519	61	34	370	0
	%		41.4	30.9	3.6	2.0	22.0	0.0
性別	男性	749	39.4	33.6	4.8	3.6	18.6	0.0
	女性	914	43.4	29.0	2.6	0.8	24.2	0.0
	無回答	16	18.8	12.5	6.3	0.0	62.5	0.0
年代別	20歳代	125	48.8	33.6	4.0	1.6	12.0	0.0
	30歳代	221	38.5	38.5	3.6	2.3	17.2	0.0
	40歳代	228	42.1	36.4	4.4	2.2	14.9	0.0
	50歳代	310	47.7	30.6	3.5	2.6	15.5	0.0
	60歳代	401	40.1	31.4	4.0	1.5	22.9	0.0
	70歳以上	379	37.2	23.0	2.6	2.1	35.1	0.0
	無回答	15	20.0	6.7	6.7	0.0	66.7	0.0
職業別	農林業	113	33.6	30.1	3.5	4.4	28.3	0.0
	漁業	11	36.4	18.2	0.0	0.0	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	47.5	25.0	5.0	1.7	20.8	0.0
	事務職	181	41.4	38.1	5.0	2.2	13.3	0.0
	技術職	168	43.5	38.1	4.2	0.6	13.7	0.0
	労務職	169	43.8	37.3	3.0	3.0	13.0	0.0
	管理職	59	44.1	39.0	5.1	1.7	10.2	0.0
	自由業	30	50.0	30.0	0.0	6.7	13.3	0.0
	主婦	254	45.3	26.4	3.1	0.8	24.4	0.0
	学生	22	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	無職	398	37.4	27.1	3.5	2.8	29.1	0.0
	その他	132	42.4	28.8	3.0	0.8	25.0	0.0
	無回答	22	13.6	9.1	4.5	0.0	72.7	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	41.4	31.7	2.8	3.1	21.0	0.0
	既婚	1106	42.4	32.2	3.7	1.9	19.8	0.0
	その他	240	40.8	28.3	3.8	1.7	25.4	0.0
	無回答	43	18.6	7.0	7.0	0.0	67.4	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	39.0	37.7	5.7	2.5	15.1	0.0
	小学生の子どもがいる	182	44.0	34.6	2.2	1.1	18.1	0.0
	中学生の子どもがいる	122	43.4	36.1	3.3	1.6	15.6	0.0
	高校生の子どもがいる	126	45.2	31.0	4.8	0.0	19.0	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	41.7	36.9	2.9	1.9	16.5	0.0
	その他	817	41.9	29.6	4.0	2.0	22.5	0.0
	子どもはいない	403	39.5	32.0	3.5	2.7	22.3	0.0
無回答	44	18.2	15.9	4.5	2.3	59.1	0.0	
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	35.9	24.4	3.2	3.8	32.7	0.0
	100～200万円未満	287	37.6	25.8	5.6	2.1	28.9	0.0
	200～300万円未満	338	42.0	32.5	2.7	2.7	20.1	0.0
	300～400万円未満	255	42.4	30.6	4.3	2.0	20.8	0.0
	400～600万円未満	284	50.0	33.8	3.2	0.7	12.3	0.0
	600～800万円未満	145	44.1	36.6	4.1	2.1	13.1	0.0
	800～1000万円未満	66	31.8	50.0	4.5	0.0	13.6	0.0
	1000万円以上	58	44.8	29.3	1.7	3.4	20.7	0.0
	無回答	90	31.1	22.2	1.1	1.1	44.4	0.0
	広域市町村圏別	高知市	729	41.3	32.5	3.4	1.6	21.1
安芸広域圏		118	40.7	27.1	3.4	1.7	27.1	0.0
南国・香美広域圏		229	41.9	31.9	3.5	2.2	20.5	0.0
嶺北広域圏		31	41.9	38.7	0.0	3.2	16.1	0.0
仁淀川広域圏		130	56.2	22.3	1.5	0.0	20.0	0.0
高吾北広域圏		67	44.8	28.4	4.5	1.5	20.9	0.0
高幡広域圏		138	31.9	37.7	5.1	2.9	22.5	0.0
幡多広域圏		210	36.7	26.7	5.2	3.8	27.6	0.0
無回答		27	48.1	33.3	3.7	3.7	11.1	0.0
部別 沿岸	沿岸部	645	39.5	31.5	3.3	2.0	23.7	0.0
	非沿岸部	953	43.0	31.1	3.8	2.1	20.0	0.0
	無回答	81	37.0	24.7	4.9	1.2	32.1	0.0

【5. 子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままでよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	756	514	50	30	327	2
	%		45.0	30.6	3.0	1.8	19.5	0.1
性別	男性	749	44.2	32.3	3.2	3.3	16.8	0.1
	女性	914	46.2	29.5	2.7	0.5	20.9	0.1
	無回答	16	18.8	12.5	6.3	0.0	62.5	0.0
年代別	20歳代	125	52.8	32.0	4.8	0.8	9.6	0.0
	30歳代	221	53.4	28.5	1.8	2.7	13.6	0.0
	40歳代	228	49.1	28.9	4.4	3.1	14.5	0.0
	50歳代	310	48.4	33.5	3.9	2.6	11.3	0.3
	60歳代	401	40.4	37.7	2.0	0.7	19.0	0.2
	70歳以上	379	38.3	23.5	2.4	1.3	34.6	0.0
	無回答	15	20.0	6.7	6.7	0.0	66.7	0.0
職業別	農林業	113	35.4	35.4	2.7	3.5	23.0	0.0
	漁業	11	45.5	9.1	0.0	0.0	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	50.8	26.7	2.5	1.7	16.7	1.7
	事務職	181	53.0	30.9	5.0	1.7	9.4	0.0
	技術職	168	57.1	30.4	1.8	1.8	8.9	0.0
	労務職	169	40.8	43.2	1.8	2.4	11.8	0.0
	管理職	59	45.8	37.3	3.4	1.7	11.9	0.0
	自由業	30	40.0	36.7	3.3	6.7	13.3	0.0
	主婦	254	45.7	31.9	2.8	0.8	18.9	0.0
	学生	22	72.7	13.6	4.5	0.0	9.1	0.0
	無職	398	38.2	27.1	3.3	1.5	29.9	0.0
	その他	132	48.5	25.8	3.0	2.3	20.5	0.0
	無回答	22	9.1	9.1	4.5	0.0	77.3	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	47.6	26.9	3.8	2.8	19.0	0.0
	既婚	1106	46.1	33.0	2.6	1.7	16.5	0.1
	その他	240	41.7	27.9	3.3	0.8	25.8	0.4
	無回答	43	18.6	9.3	4.7	2.3	65.1	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	53.5	27.0	3.1	2.5	13.8	0.0
	小学生の子どもがいる	182	53.3	24.7	2.2	1.1	18.1	0.5
	中学生の子どもがいる	122	44.3	37.7	3.3	0.8	13.9	0.0
	高校生の子どもがいる	126	55.6	28.6	4.0	0.0	11.1	0.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	49.5	33.0	1.0	1.0	15.5	0.0
	その他	817	42.6	33.2	3.2	1.3	19.6	0.1
	子どもはいない	403	45.4	27.8	3.7	3.0	20.1	0.0
	無回答	44	22.7	18.2	2.3	2.3	54.5	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	37.2	19.2	3.8	3.8	35.9	0.0
	100～200万円未満	287	41.1	25.1	4.9	1.7	27.2	0.0
	200～300万円未満	338	47.0	33.1	1.5	1.8	16.3	0.3
	300～400万円未満	255	46.7	33.3	2.0	2.0	16.1	0.0
	400～600万円未満	284	53.5	33.8	3.2	0.4	9.2	0.0
	600～800万円未満	145	49.7	31.7	4.8	2.1	11.0	0.7
	800～1000万円未満	66	37.9	47.0	1.5	0.0	13.6	0.0
	1000万円以上	58	44.8	31.0	3.4	5.2	15.5	0.0
	無回答	90	30.0	26.7	1.1	1.1	41.1	0.0
	広域市町村圏別	高知市	729	47.3	30.6	2.6	1.4	18.1
安芸広域圏		118	40.7	33.1	3.4	0.8	21.2	0.8
南国・香美広域圏		229	46.3	33.6	1.3	2.2	16.6	0.0
嶺北広域圏		31	48.4	32.3	0.0	6.5	12.9	0.0
仁淀川広域圏		130	56.2	23.1	3.1	0.8	16.9	0.0
高吾北広域圏		67	38.8	32.8	3.0	3.0	22.4	0.0
高幡広域圏		138	37.7	33.3	3.6	1.4	23.9	0.0
幡多広域圏		210	37.6	26.2	6.2	2.9	26.7	0.5
無回答		27	44.4	44.4	0.0	3.7	7.4	0.0
部別 沿岸	沿岸部	645	44.5	30.2	2.9	1.6	20.6	0.2
	非沿岸部	953	46.4	31.2	3.0	2.0	17.3	0.1
	無回答	81	33.3	27.2	2.5	1.2	35.8	0.0

【6. 地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままでよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	664	543	60	35	376	1
	%		39.5	32.3	3.6	2.1	22.4	0.1
性別	男性	749	38.6	33.5	4.5	3.5	19.8	0.1
	女性	914	40.8	31.6	2.6	1.0	24.0	0.0
	無回答	16	12.5	18.8	12.5	0.0	56.3	0.0
年代別	20歳代	125	44.0	33.6	4.8	2.4	15.2	0.0
	30歳代	221	41.6	37.6	2.3	1.8	16.7	0.0
	40歳代	228	39.5	36.0	4.4	4.4	15.8	0.0
	50歳代	310	42.3	35.5	4.5	2.6	14.8	0.3
	60歳代	401	39.7	32.2	3.2	1.7	23.2	0.0
	70歳以上	379	35.6	24.8	2.9	0.8	35.9	0.0
	無回答	15	13.3	20.0	6.7	0.0	60.0	0.0
職業別	農林業	113	35.4	28.3	3.5	2.7	29.2	0.9
	漁業	11	27.3	27.3	0.0	0.0	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	45.8	27.5	2.5	3.3	20.8	0.0
	事務職	181	44.8	39.2	4.4	1.1	10.5	0.0
	技術職	168	47.6	33.9	3.6	1.2	13.7	0.0
	労務職	169	40.8	37.3	2.4	4.1	15.4	0.0
	管理職	59	39.0	40.7	1.7	1.7	16.9	0.0
	自由業	30	40.0	36.7	0.0	6.7	16.7	0.0
	主婦	254	40.2	31.5	3.5	1.6	23.2	0.0
	学生	22	59.1	27.3	0.0	4.5	9.1	0.0
	無職	398	33.7	29.4	4.8	1.8	30.4	0.0
	その他	132	37.9	31.8	3.8	1.5	25.0	0.0
	無回答	22	9.1	18.2	4.5	0.0	68.2	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	42.4	29.3	4.5	2.8	21.0	0.0
	既婚	1106	40.5	34.5	3.1	2.2	19.6	0.1
	その他	240	37.5	28.8	4.2	1.3	28.3	0.0
	無回答	43	7.0	16.3	7.0	0.0	69.8	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	39.6	40.9	2.5	3.8	13.2	0.0
	小学生の子どもがいる	182	39.0	37.4	1.6	2.7	19.2	0.0
	中学生の子どもがいる	122	33.6	40.2	4.1	3.3	18.0	0.8
	高校生の子どもがいる	126	41.3	34.9	7.1	1.6	14.3	0.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	42.7	33.0	3.9	1.0	19.4	0.0
	その他	817	38.8	32.1	3.8	2.0	23.4	0.0
	子どもはいない	403	42.2	28.8	5.0	2.2	21.8	0.0
	無回答	44	18.2	20.5	2.3	0.0	59.1	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	30.1	25.0	5.8	1.3	37.8	0.0
	100～200万円未満	287	34.5	28.9	4.2	3.1	29.3	0.0
	200～300万円未満	338	40.2	33.7	2.7	2.4	21.0	0.0
	300～400万円未満	255	40.8	33.7	3.1	2.7	19.6	0.0
	400～600万円未満	284	47.2	34.5	4.2	1.1	12.7	0.4
	600～800万円未満	145	43.4	42.1	2.8	0.7	11.0	0.0
	800～1000万円未満	66	39.4	40.9	4.5	0.0	15.2	0.0
	1000万円以上	58	51.7	25.9	1.7	3.4	17.2	0.0
	無回答	90	27.8	22.2	2.2	3.3	44.4	0.0
	広域市町村圏別	高知市	729	41.6	33.5	3.3	1.8	19.9
安芸広域圏		118	35.6	31.4	2.5	1.7	28.0	0.8
南国・香美広域圏		229	38.4	36.2	4.8	1.7	18.8	0.0
嶺北広域圏		31	29.0	41.9	3.2	6.5	19.4	0.0
仁淀川広域圏		130	53.8	21.5	1.5	2.3	20.8	0.0
高吾北広域圏		67	37.3	32.8	3.0	1.5	25.4	0.0
高幡広域圏		138	31.9	37.7	3.6	0.0	26.8	0.0
幡多広域圏		210	32.9	27.1	5.2	3.3	31.4	0.0
無回答		27	51.9	25.9	3.7	11.1	7.4	0.0
部別 沿岸	沿岸部	645	38.4	31.9	3.3	2.3	23.9	0.2
	非沿岸部	953	41.1	33.5	3.6	1.8	20.0	0.0
	無回答	81	29.6	22.2	6.2	3.7	38.3	0.0

【7. 森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信】

(単位:人、%)

		サンプル	充実した方がよい	現状のままよい	縮小した方がよい	やめた方がよい	わからない	無回答
総合	実数	1679	741	515	68	26	329	0
	%		44.1	30.7	4.1	1.5	19.6	0.0
性別	男性	749	45.0	31.2	4.3	2.4	17.1	0.0
	女性	914	43.8	30.5	3.8	0.9	21.0	0.0
	無回答	16	25.0	12.5	6.3	0.0	56.3	0.0
年代別	20歳代	125	44.0	35.2	4.8	1.6	14.4	0.0
	30歳代	221	45.2	33.0	5.9	2.3	13.6	0.0
	40歳代	228	44.7	32.0	5.3	3.1	14.9	0.0
	50歳代	310	46.8	34.5	4.2	2.3	12.3	0.0
	60歳代	401	43.9	34.2	2.7	1.0	18.2	0.0
	70歳以上	379	42.2	20.8	3.2	0.3	33.5	0.0
	無回答	15	20.0	13.3	6.7	0.0	60.0	0.0
職業別	農林業	113	38.1	33.6	0.9	1.8	25.7	0.0
	漁業	11	18.2	36.4	0.0	0.0	45.5	0.0
	商工サービス業自営	120	54.2	26.7	3.3	1.7	14.2	0.0
	事務職	181	45.9	37.0	5.5	2.2	9.4	0.0
	技術職	168	51.2	31.0	4.8	0.6	12.5	0.0
	労務職	169	42.6	40.2	3.6	3.0	10.7	0.0
	管理職	59	45.8	35.6	5.1	1.7	11.9	0.0
	自由業	30	50.0	30.0	6.7	6.7	6.7	0.0
	主婦	254	43.3	32.3	4.7	0.4	19.3	0.0
	学生	22	50.0	27.3	0.0	0.0	22.7	0.0
	無職	398	41.7	24.1	4.0	1.0	29.1	0.0
	その他	132	44.7	27.3	3.8	3.0	21.2	0.0
無回答	22	9.1	18.2	4.5	0.0	68.2	0.0	
状況別 婚姻	未婚	290	44.1	29.0	5.5	2.4	19.0	0.0
	既婚	1106	45.2	33.0	3.2	1.5	17.1	0.0
	その他	240	43.8	25.8	5.4	0.8	24.2	0.0
	無回答	43	18.6	9.3	9.3	0.0	62.8	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	45.9	31.4	5.0	3.1	14.5	0.0
	小学生の子どもがいる	182	45.1	36.3	1.6	1.1	15.9	0.0
	中学生の子どもがいる	122	44.3	34.4	6.6	1.6	13.1	0.0
	高校生の子どもがいる	126	51.6	27.0	5.6	0.0	15.9	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	48.5	31.1	8.7	1.9	9.7	0.0
	その他	817	44.1	31.3	3.3	1.3	20.0	0.0
	子どもはいない	403	44.2	28.8	6.0	2.0	19.1	0.0
	無回答	44	18.2	20.5	4.5	0.0	56.8	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	37.8	17.3	5.1	2.6	37.2	0.0
	100～200万円未満	287	43.6	24.0	4.9	2.1	25.4	0.0
	200～300万円未満	338	46.2	32.5	2.7	1.2	17.5	0.0
	300～400万円未満	255	45.9	31.8	5.1	1.2	16.1	0.0
	400～600万円未満	284	50.7	34.9	3.5	0.7	10.2	0.0
	600～800万円未満	145	50.3	35.9	3.4	1.4	9.0	0.0
	800～1000万円未満	66	22.7	54.5	4.5	1.5	16.7	0.0
	1000万円以上	58	39.7	34.5	6.9	3.4	15.5	0.0
	無回答	90	32.2	23.3	2.2	2.2	40.0	0.0
	広域市町村圏別	高知市	729	45.8	31.7	3.3	1.1	18.1
安芸広域圏		118	41.5	27.1	4.2	0.8	26.3	0.0
南国・香美広域圏		229	43.2	35.8	4.4	1.7	14.8	0.0
嶺北広域圏		31	41.9	32.3	6.5	3.2	16.1	0.0
仁淀川広域圏		130	56.2	23.8	3.8	0.8	15.4	0.0
高吾北広域圏		67	46.3	29.9	1.5	1.5	20.9	0.0
高幡広域圏		138	34.1	34.8	6.5	0.7	23.9	0.0
幡多広域圏		210	39.0	24.8	5.2	3.3	27.6	0.0
無回答		27	48.1	33.3	3.7	7.4	7.4	0.0
部別 沿岸	沿岸部	645	43.9	29.5	3.9	1.7	21.1	0.0
	非沿岸部	953	45.3	31.8	4.2	1.3	17.4	0.0
	無回答	81	32.1	27.2	3.7	3.7	33.3	0.0

問38.森林環境税は、年額500円のご負担をいただき、問36に記載しているような各種取り組みに活用されていますが、その期間は平成25年3月末で終了します。平成25年4月以降も引き続き森林環境税の課税期間を5年程度延長することについて、どのように考えますか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	賛成	賛成 どちらか といえ	反対 どちらか といえ	反対	わからない	無回答
総合	実数	1679	807	476	48	51	292	5
	%		48.1	28.4	2.9	3.0	17.4	0.3
性別	男性	749	49.4	27.9	3.5	3.7	15.0	0.5
	女性	914	47.3	28.8	2.4	2.4	19.0	0.1
	無回答	16	31.3	25.0	0.0	6.3	37.5	0.0
年代別	20歳代	125	43.2	34.4	2.4	2.4	17.6	0.0
	30歳代	221	43.9	34.4	0.9	4.1	16.7	0.0
	40歳代	228	50.4	25.4	3.1	3.5	17.5	0.0
	50歳代	310	51.3	27.4	4.5	3.9	12.6	0.3
	60歳代	401	52.1	25.2	3.0	3.5	15.5	0.7
	70歳以上	379	44.3	28.8	2.6	1.1	23.0	0.3
	無回答	15	33.3	26.7	0.0	6.7	33.3	0.0
職業別	農林業	113	42.5	31.0	1.8	2.7	22.1	0.0
	漁業	11	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0
	商工サービス業自営	120	59.2	21.7	2.5	3.3	12.5	0.8
	事務職	181	48.1	29.8	5.0	3.3	13.3	0.6
	技術職	168	52.4	28.0	3.0	1.8	14.9	0.0
	労務職	169	47.9	33.7	3.0	4.1	11.2	0.0
	管理職	59	66.1	23.7	1.7	1.7	5.1	1.7
	自由業	30	63.3	13.3	6.7	6.7	10.0	0.0
	主婦	254	47.6	27.6	2.8	1.6	20.5	0.0
	学生	22	68.2	18.2	4.5	0.0	9.1	0.0
	無職	398	42.2	30.9	2.8	3.3	20.4	0.5
	その他	132	44.7	27.3	0.8	4.5	22.7	0.0
	無回答	22	22.7	18.2	0.0	4.5	54.5	0.0
状況別 婚姻	未婚	290	44.8	28.6	2.4	3.8	20.3	0.0
	既婚	1106	50.6	28.6	3.3	2.7	14.6	0.3
	その他	240	43.8	28.8	2.1	3.8	21.7	0.0
	無回答	43	27.9	18.6	0.0	2.3	46.5	4.7
子どもの 状況別	就学前の子どもがいる	159	44.0	35.2	5.0	3.8	11.3	0.6
	小学生の子どもがいる	182	47.8	29.1	2.2	3.3	17.0	0.5
	中学生の子どもがいる	122	40.2	31.1	4.1	4.9	19.7	0.0
	高校生の子どもがいる	126	43.7	34.1	4.0	2.4	15.9	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	50.5	32.0	3.9	2.9	10.7	0.0
	その他	817	50.2	27.5	3.7	2.2	16.2	0.2
	子どもはいない	403	48.1	27.0	1.5	4.7	18.4	0.2
	無回答	44	27.3	20.5	0.0	2.3	47.7	2.3
世帯の 年間 収入別	0~100万円未満	156	34.6	25.6	0.6	5.1	33.3	0.6
	100~200万円未満	287	39.0	30.0	2.1	2.1	26.1	0.7
	200~300万円未満	338	42.9	35.5	2.7	3.8	14.8	0.3
	300~400万円未満	255	54.5	25.9	4.7	2.4	12.2	0.4
	400~600万円未満	284	60.2	27.1	3.5	1.8	7.4	0.0
	600~800万円未満	145	53.1	31.0	2.1	2.8	11.0	0.0
	800~1000万円未満	66	59.1	25.8	3.0	4.5	7.6	0.0
	1000万円以上	58	62.1	15.5	5.2	5.2	12.1	0.0
	無回答	90	37.8	17.8	2.2	3.3	38.9	0.0
	広域市 町村 圏別	高知市	729	49.7	27.8	3.2	4.1	15.1
安芸広域圏		118	50.8	27.1	1.7	2.5	17.8	0.0
南国・香美広域圏		229	50.2	29.3	2.2	2.2	16.2	0.0
嶺北広域圏		31	45.2	38.7	0.0	0.0	12.9	3.2
仁淀川広域圏		130	49.2	27.7	1.5	1.5	20.0	0.0
高吾北広域圏		67	49.3	34.3	3.0	1.5	11.9	0.0
高幡広域圏		138	42.0	31.9	3.6	0.7	21.0	0.7
幡多広域圏		210	41.9	23.8	4.3	3.3	26.2	0.5
無回答		27	48.1	33.3	0.0	7.4	7.4	3.7
部 別 沿岸	沿岸部	645	46.5	28.1	3.3	3.4	18.6	0.2
	非沿岸部	953	49.9	28.6	2.7	2.6	15.7	0.3
	無回答	81	38.3	27.2	1.2	4.9	27.2	1.2

問39.小・中学生の学力や体力・運動能力について、改善の兆しが見え始めていることを知っていましたか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	よく知っていた	だいたい知っていた	あまり知らなかった	全く知らなかった	無回答
総合	実数	1679	116	567	693	270	33
	%		6.9	33.8	41.3	16.1	2.0
性別	男性	749	6.7	33.0	41.5	17.1	1.7
	女性	914	7.2	35.0	40.7	15.3	1.8
	無回答	16	0.0	0.0	62.5	12.5	25.0
年代別	20歳代	125	7.2	24.8	40.8	27.2	0.0
	30歳代	221	9.5	27.6	37.1	25.8	0.0
	40歳代	228	8.8	36.8	36.4	17.5	0.4
	50歳代	310	6.1	32.6	44.5	16.5	0.3
	60歳代	401	4.2	35.9	43.9	12.7	3.2
	70歳以上	379	7.9	38.0	40.9	9.5	3.7
	無回答	15	0.0	13.3	53.3	6.7	26.7
職業別	農林業	113	6.2	39.8	43.4	8.0	2.7
	漁業	11	9.1	36.4	45.5	9.1	0.0
	商工サービス業自営	120	1.7	39.2	42.5	15.8	0.8
	事務職	181	8.3	33.1	43.1	15.5	0.0
	技術職	168	8.3	33.9	40.5	16.7	0.6
	労務職	169	4.1	27.8	49.7	18.3	0.0
	管理職	59	18.6	28.8	40.7	11.9	0.0
	自由業	30	0.0	30.0	36.7	23.3	10.0
	主婦	254	7.1	34.6	37.4	18.9	2.0
	学生	22	0.0	22.7	54.5	22.7	0.0
	無職	398	6.5	35.9	40.2	13.6	3.8
	その他	132	11.4	32.6	33.3	22.0	0.8
	無回答	22	0.0	9.1	54.5	18.2	18.2
状況別 婚姻	未婚	290	7.6	22.8	42.4	26.2	1.0
	既婚	1106	7.3	36.8	40.1	14.5	1.4
	その他	240	5.0	34.2	45.8	12.5	2.5
	無回答	43	2.3	27.9	39.5	9.3	20.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	8.8	34.6	34.0	22.0	0.6
	小学生の子どもがいる	182	7.7	41.2	39.6	11.0	0.5
	中学生の子どもがいる	122	13.1	36.1	37.7	12.3	0.8
	高校生の子どもがいる	126	9.5	41.3	35.7	13.5	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	8.7	36.9	42.7	11.7	0.0
	その他	817	6.4	37.1	42.2	12.4	2.0
	子どもはいない	403	6.9	25.1	41.9	24.1	2.0
	無回答	44	2.3	22.7	38.6	18.2	18.2
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	9.6	24.4	37.8	22.4	5.8
	100～200万円未満	287	5.6	28.6	45.6	17.8	2.4
	200～300万円未満	338	5.9	37.6	43.5	12.1	0.9
	300～400万円未満	255	5.9	32.5	41.2	20.0	0.4
	400～600万円未満	284	7.7	41.5	37.0	12.7	1.1
	600～800万円未満	145	11.7	34.5	39.3	13.8	0.7
	800～1000万円未満	66	10.6	30.3	43.9	15.2	0.0
	1000万円以上	58	0.0	37.9	43.1	17.2	1.7
	無回答	90	4.4	30.0	38.9	17.8	8.9
	広域市町村圏別	高知市	729	6.6	33.5	40.3	17.8
安芸広域圏		118	7.6	32.2	45.8	11.9	2.5
南国・香美広域圏		229	5.7	39.3	37.6	15.7	1.7
嶺北広域圏		31	6.5	32.3	51.6	3.2	6.5
仁淀川広域圏		130	8.5	34.6	42.3	13.8	0.8
高吾北広域圏		67	7.5	29.9	47.8	13.4	1.5
高幡広域圏		138	6.5	38.4	41.3	11.6	2.2
幡多広域圏		210	7.6	29.0	41.0	20.0	2.4
無回答		27	11.1	22.2	48.1	14.8	3.7
部別 沿岸	沿岸部	645	5.9	34.3	41.1	17.2	1.6
	非沿岸部	953	7.3	33.9	41.3	15.5	1.9
	無回答	81	9.9	28.4	42.0	13.6	6.2



問39副問。(問39で「1」又は「2」を選んだ方のみお答えください。)何を通じて知りましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	T V 番組	ラジオ番組	新聞記事	チラシ	広報誌、パンフレット、ホームページ	教育委員会や学校のホームページ	（学校や教育委員会と保護者、地域住民との）教育懇談会、講演会	学校からの通信	家族、知人から	その他	無回答
総合	実数	683	401	55	471	118	49	42	76	49	7	3	
	%		58.7	8.1	69.0	17.3	7.2	6.1	11.1	7.2	1.0	0.4	
性別	男性	297	59.6	10.8	72.7	16.5	8.4	5.7	8.4	4.4	1.0	1.0	
	女性	386	58.0	6.0	66.1	17.9	6.2	6.5	13.2	9.3	1.0	0.0	
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代別	20歳代	40	67.5	7.5	45.0	7.5	7.5	2.5	2.5	10.0	7.5	0.0	
	30歳代	82	54.9	6.1	51.2	15.9	6.1	7.3	18.3	9.8	0.0	0.0	
	40歳代	104	49.0	5.8	57.7	20.2	7.7	9.6	35.6	1.9	1.9	0.0	
	50歳代	120	62.5	9.2	70.0	19.2	11.7	8.3	10.8	5.0	1.7	0.0	
	60歳代	161	58.4	9.3	79.5	17.4	5.6	4.3	2.5	8.1	0.0	0.6	
	70歳以上	174	62.1	8.6	79.3	17.2	5.7	4.6	3.4	9.2	0.0	1.1	
	無回答	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	職業別	農林業	52	59.6	23.1	63.5	15.4	7.7	5.8	7.7	3.8	0.0	1.9
	漁業	5	40.0	20.0	100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	商工サービス業自営	49	57.1	4.1	81.6	20.4	6.1	2.0	2.0	10.2	0.0	0.0	
	事務職	75	48.0	0.0	60.0	16.0	13.3	6.7	21.3	4.0	1.3	0.0	
	技術職	71	57.7	7.0	59.2	12.7	8.5	12.7	16.9	5.6	2.8	0.0	
	労務職	54	55.6	9.3	59.3	14.8	1.9	5.6	16.7	7.4	1.9	0.0	
	管理職	28	57.1	3.6	67.9	28.6	17.9	14.3	25.0	10.7	7.1	0.0	
	自由業	9	55.6	11.1	100.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	
	主婦	106	65.1	5.7	72.6	17.9	4.7	3.8	10.4	10.4	0.0	0.0	
	学生	5	80.0	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
	無職	169	63.3	8.3	77.5	17.8	5.3	4.7	3.6	6.5	0.6	0.6	
	その他	58	51.7	10.3	58.6	20.7	10.3	8.6	13.8	8.6	0.0	1.7	
	無回答	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
状況別	婚姻	未婚	88	62.5	10.2	55.7	13.6	13.6	4.5	8.0	4.5	4.5	0.0
		既婚	488	58.4	8.0	73.2	18.4	6.4	6.8	12.5	7.6	0.4	0.2
		その他	94	59.6	7.4	63.8	16.0	6.4	4.3	6.4	7.4	1.1	1.1
		無回答	13	38.5	0.0	38.5	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	7.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	69	49.3	4.3	59.4	15.9	2.9	7.2	13.0	14.5	1.4	2.9	
	小学生の子どもがいる	89	40.4	4.5	48.3	19.1	7.9	13.5	41.6	7.9	1.1	2.2	
	中学生の子どもがいる	60	45.0	3.3	58.3	26.7	10.0	13.3	36.7	5.0	1.7	1.7	
	高校生の子どもがいる	64	54.7	7.8	70.3	17.2	12.5	14.1	28.1	1.6	1.6	0.0	
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	47	66.0	8.5	70.2	17.0	10.6	14.9	19.1	2.1	4.3	2.1	
	その他	355	62.0	9.0	78.6	17.5	5.9	4.8	4.8	7.3	0.0	0.0	
	子どもはいない	129	62.0	10.1	59.7	14.0	10.1	3.9	5.4	7.0	3.1	0.0	
	無回答	11	45.5	0.0	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	
世帯の年間収入別	0～100万円未満	53	66.0	13.2	56.6	17.0	5.7	1.9	5.7	13.2	3.8	0.0	
	100～200万円未満	98	54.1	9.2	60.2	13.3	6.1	6.1	6.1	11.2	1.0	3.1	
	200～300万円未満	147	67.3	6.8	70.1	17.7	4.1	5.4	8.2	4.8	1.4	0.0	
	300～400万円未満	98	59.2	8.2	71.4	18.4	6.1	6.1	11.2	4.1	0.0	0.0	
	400～600万円未満	140	54.3	6.4	73.6	20.0	10.7	7.1	15.7	7.9	0.0	0.0	
	600～800万円未満	67	49.3	10.4	67.2	11.9	11.9	6.0	23.9	4.5	1.5	0.0	
	800～1000万円未満	27	55.6	0.0	74.1	37.0	14.8	18.5	18.5	7.4	0.0	0.0	
	1000万円以上	22	59.1	4.5	81.8	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	4.5	0.0	
	無回答	31	61.3	12.9	74.2	12.9	3.2	0.0	3.2	6.5	0.0	0.0	
	広域市町村圏別	高知市	292	59.2	7.5	69.9	13.4	6.5	4.5	11.0	7.5	1.0	0.3
安芸広域圏		47	57.4	8.5	74.5	19.1	6.4	4.3	10.6	8.5	2.1	0.0	
南国・香美広域圏		103	65.0	11.7	70.9	17.5	10.7	8.7	7.8	4.9	0.0	0.0	
嶺北広域圏		12	75.0	8.3	58.3	25.0	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	
仁淀川広域圏		56	60.7	3.6	67.9	21.4	7.1	7.1	16.1	7.1	0.0	1.8	
高吾北広域圏		25	44.0	4.0	64.0	24.0	4.0	4.0	16.0	8.0	4.0	0.0	
高幡広域圏		62	56.5	11.3	71.0	19.4	6.5	9.7	9.7	8.1	1.6	1.6	
幡多広域圏		77	51.9	6.5	61.0	22.1	6.5	6.5	13.0	6.5	1.3	0.0	
無回答	9	55.6	11.1	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0		
部沿岸別	沿岸部	259	61.8	6.9	72.2	16.2	5.4	5.8	10.8	8.5	2.3	0.8	
	非沿岸部	393	56.2	8.7	67.4	18.6	8.7	6.9	12.2	6.4	0.3	0.3	
	無回答	31	64.5	9.7	61.3	9.7	3.2	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	

問40.小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた、教育委員会や学校のこれまでの取り組みについてどのようにお考えですか。(1つだけ○印)

(単位:人、%)

		サンプル	大いに評価する	ある程度評価する	あまり評価しない	全く評価しない	その他	無回答
総合	実数	1679	235	896	318	55	47	128
	%		14.0	53.4	18.9	3.3	2.8	7.6
性別	男性	749	13.5	53.4	20.8	3.7	2.5	6.0
	女性	914	14.6	53.6	17.6	2.8	3.0	8.4
	無回答	16	6.3	37.5	6.3	6.3	6.3	37.5
年代別	20歳代	125	18.4	53.6	16.0	3.2	4.0	4.8
	30歳代	221	11.3	48.9	26.7	5.9	3.6	3.6
	40歳代	228	11.0	58.8	20.2	4.4	1.8	3.9
	50歳代	310	8.7	59.4	19.4	3.5	3.5	5.5
	60歳代	401	12.2	54.6	19.2	2.7	3.2	8.0
	70歳以上	379	22.4	47.0	14.5	1.3	1.3	13.5
	無回答	15	6.7	40.0	6.7	6.7	6.7	33.3
職業別	農林業	113	16.8	52.2	17.7	3.5	0.9	8.8
	漁業	11	9.1	45.5	27.3	0.0	18.2	0.0
	商工サービス業自営	120	15.8	45.8	19.2	6.7	5.0	7.5
	事務職	181	9.9	55.2	24.3	2.8	2.8	5.0
	技術職	168	13.1	60.1	17.3	3.0	3.6	3.0
	労務職	169	11.8	55.0	24.9	4.7	1.8	1.8
	管理職	59	11.9	64.4	13.6	1.7	3.4	5.1
	自由業	30	6.7	70.0	10.0	0.0	0.0	13.3
	主婦	254	13.0	53.1	22.0	0.8	2.4	8.7
	学生	22	22.7	54.5	13.6	0.0	0.0	9.1
	無職	398	16.6	51.5	15.3	2.0	2.5	12.1
	その他	132	15.2	49.2	18.9	8.3	4.5	3.8
	無回答	22	13.6	31.8	4.5	13.6	0.0	36.4
状況別 婚姻	未婚	290	14.5	51.4	19.3	4.1	2.8	7.9
	既婚	1106	13.6	54.5	20.3	3.0	2.6	6.0
	その他	240	15.0	53.3	13.3	3.8	4.2	10.4
	無回答	43	16.3	37.2	11.6	2.3	0.0	32.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	14.5	52.8	18.2	4.4	4.4	5.7
	小学生の子どもがいる	182	14.3	55.5	21.4	3.8	1.6	3.3
	中学生の子どもがいる	122	13.9	54.1	23.0	3.3	3.3	2.5
	高校生の子どもがいる	126	11.9	57.1	24.6	3.2	1.6	1.6
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	10.7	59.2	17.5	2.9	3.9	5.8
	その他	817	13.6	54.8	18.4	2.6	2.8	7.8
	子どもはいない	403	14.4	50.1	20.1	4.2	2.2	8.9
	無回答	44	18.2	38.6	6.8	2.3	2.3	31.8
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	19.2	35.9	17.9	7.1	5.1	14.7
	100～200万円未満	287	13.9	52.3	19.2	4.2	2.1	8.4
	200～300万円未満	338	14.5	56.8	18.3	2.1	2.4	5.9
	300～400万円未満	255	13.7	53.7	23.1	2.4	1.6	5.5
	400～600万円未満	284	13.4	61.6	16.5	1.1	3.2	4.2
	600～800万円未満	145	12.4	57.9	17.9	3.4	3.4	4.8
	800～1000万円未満	66	6.1	53.0	22.7	7.6	6.1	4.5
	1000万円以上	58	5.2	56.9	27.6	5.2	1.7	3.4
	無回答	90	20.0	37.8	11.1	3.3	2.2	25.6
	広域市町村圏別	高知市	729	14.7	51.7	19.8	3.8	3.2
安芸広域圏		118	9.3	67.8	10.2	1.7	3.4	7.6
南国・香美広域圏		229	13.1	59.4	16.2	3.9	1.3	6.1
嶺北広域圏		31	29.0	51.6	6.5	3.2	0.0	9.7
仁淀川広域圏		130	9.2	50.0	23.8	3.1	4.6	9.2
高吾北広域圏		67	14.9	53.7	13.4	7.5	1.5	9.0
高幡広域圏		138	13.0	56.5	18.1	0.0	3.6	8.7
幡多広域圏		210	14.8	45.2	25.7	2.4	2.4	9.5
無回答		27	25.9	48.1	14.8	3.7	0.0	7.4
部別 沿岸	沿岸部	645	13.5	56.0	18.6	2.0	2.6	7.3
	非沿岸部	953	14.2	51.7	19.7	4.1	3.0	7.2
	無回答	81	16.0	51.9	12.3	3.7	1.2	14.8

問41.今後、高知県の教育振興のために、どのような取り組みや支援が重要だと思いますか。(3つまで○印)

		サンプル	児童生徒の基礎学力の定着、学力向上	就学前教育の充実	策 徒いじめ・不登校などの指導上の諸問題への対応	児童生徒の放課後の時間の充実	児童生徒の体力、運動能力の向上	キャリア教育の充実	読書活動の推進	障害のある子どもたちへの教育の充実	高校生の進学、就職対策	家庭や地域の教育力を高めるための支援
総合	実数	1679	1182	156	740	202	529	174	268	134	321	217
	%		70.4	9.3	44.1	12.0	31.5	10.4	16.0	8.0	19.1	12.9
性別	男性	749	70.6	10.5	44.1	12.8	34.2	10.3	14.7	7.9	18.4	12.7
	女性	914	70.7	8.4	44.2	11.6	29.5	10.6	17.3	8.2	19.9	13.3
	無回答	16	43.8	0.0	37.5	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
年代別	20歳代	125	71.2	9.6	36.8	8.8	28.8	12.0	17.6	10.4	25.6	13.6
	30歳代	221	67.4	10.0	40.3	16.3	34.8	12.7	13.6	9.5	18.1	13.1
	40歳代	228	71.9	13.2	38.2	10.1	30.7	14.5	14.0	6.6	21.9	16.7
	50歳代	310	71.3	8.4	48.1	10.3	31.0	14.2	17.1	10.3	19.7	13.2
	60歳代	401	71.1	9.7	45.9	12.7	35.2	7.0	16.0	7.2	17.2	13.0
	70歳以上	379	70.4	7.1	47.8	12.9	28.2	6.9	17.7	6.3	18.2	10.6
	無回答	15	46.7	0.0	26.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	職業別	農林業	113	72.6	8.0	38.9	11.5	38.9	7.1	10.6	1.8	23.9
漁業	11	54.5	9.1	45.5	36.4	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
商工サービス業自営	120	75.8	10.8	45.0	11.7	31.7	6.7	9.2	8.3	8.3	15.0	
事務職	181	77.9	7.2	34.3	10.5	33.7	14.4	20.4	5.5	14.4	17.7	
技術職	168	72.6	8.3	44.0	14.3	29.8	16.1	17.3	7.7	23.8	13.7	
労務職	169	65.1	14.2	50.9	10.1	28.4	15.4	14.8	11.2	20.1	7.1	
管理職	59	84.7	15.3	37.3	15.3	42.4	13.6	16.9	3.4	16.9	20.3	
自由業	30	76.7	3.3	43.3	16.7	33.3	13.3	26.7	6.7	6.7	16.7	
主婦	254	70.1	9.4	45.7	15.4	33.1	7.9	15.4	9.1	22.4	11.8	
学生	22	63.6	9.1	54.5	18.2	18.2	18.2	9.1	22.7	18.2	13.6	
無職	398	67.6	8.0	47.5	10.3	28.6	7.3	17.6	9.3	19.1	12.6	
その他	132	66.7	10.6	41.7	9.8	31.1	9.8	18.2	6.8	24.2	12.1	
無回答	22	36.4	0.0	36.4	0.0	18.2	0.0	0.0	4.5	9.1	0.0	
状況別 婚姻	未婚	290	65.5	8.3	37.9	9.3	29.7	12.4	17.2	11.4	22.8	13.8
	既婚	1106	74.2	10.5	44.7	13.7	32.4	10.5	15.6	7.7	17.4	13.5
	その他	240	63.8	6.3	49.6	9.6	32.1	8.3	17.9	5.4	23.3	10.8
	無回答	43	41.9	2.3	39.5	2.3	18.6	4.7	4.7	7.0	16.3	4.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	69.8	18.2	38.4	20.8	35.8	13.2	15.7	8.8	10.7	11.9
	小学生の子どもがいる	182	77.5	11.0	42.9	16.5	38.5	9.3	14.3	6.6	15.4	10.4
	中学生の子どもがいる	122	77.0	12.3	39.3	4.9	28.7	13.9	10.7	5.7	29.5	16.4
	高校生の子どもがいる	126	82.5	11.1	38.1	7.1	31.0	16.7	12.7	7.9	33.3	13.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	78.6	12.6	46.6	8.7	26.2	12.6	12.6	6.8	23.3	17.5
	その他	817	72.5	8.4	47.7	12.0	32.6	8.9	16.8	7.1	17.1	12.9
	子どもはいない	403	65.0	7.9	39.7	10.7	28.5	11.4	17.6	10.9	22.6	14.9
	無回答	44	45.5	4.5	38.6	4.5	20.5	2.3	6.8	0.0	20.5	4.5
世帯の年間収入別	0～100万円未満	156	50.0	12.2	46.8	9.6	28.2	5.1	14.1	13.5	16.7	9.6
	100～200万円未満	287	65.9	9.4	53.0	10.1	29.6	8.7	13.9	9.4	26.8	7.7
	200～300万円未満	338	70.1	9.8	43.2	13.6	32.8	10.4	16.0	7.4	22.8	12.4
	300～400万円未満	255	72.2	7.8	42.4	12.9	32.2	12.2	22.4	5.1	16.5	14.9
	400～600万円未満	284	77.1	10.9	43.0	12.3	35.2	11.6	14.1	6.7	15.1	15.1
	600～800万円未満	145	84.1	6.2	42.8	11.0	35.2	13.8	19.3	8.3	16.6	14.5
	800～1000万円未満	66	78.8	9.1	34.8	13.6	28.8	19.7	9.1	9.1	7.6	30.3
	1000万円以上	58	86.2	5.2	32.8	19.0	34.5	6.9	20.7	3.4	12.1	19.0
	無回答	90	56.7	8.9	38.9	8.9	18.9	5.6	10.0	10.0	22.2	5.6
	広域市町村圏別	高知市	729	71.6	10.3	42.7	12.5	31.0	11.8	16.7	8.5	18.1
安芸広域圏		118	65.3	12.7	37.3	13.6	36.4	5.1	10.2	5.9	21.2	13.6
南国・香美広域圏		229	73.8	8.3	47.2	10.0	31.4	11.4	18.3	6.6	20.1	12.2
嶺北広域圏		31	74.2	12.9	38.7	16.1	35.5	12.9	12.9	6.5	35.5	12.9
仁淀川広域圏		130	68.5	9.2	44.6	8.5	44.6	8.5	14.6	6.9	13.8	8.5
高吾北広域圏		67	64.2	14.9	41.8	11.9	29.9	10.4	17.9	6.0	22.4	6.0
高幡広域圏		138	70.3	6.5	47.1	16.7	26.1	11.6	15.2	6.5	15.9	15.9
幡多広域圏		210	68.1	5.7	49.5	11.4	26.7	7.6	15.2	10.5	22.9	12.9
無回答	27	70.4	0.0	37.0	3.7	25.9	7.4	14.8	14.8	14.8	0.0	
部 沿岸	沿岸部	645	70.5	10.2	45.1	11.9	33.0	9.8	14.9	7.8	21.1	14.3
	非沿岸部	953	71.1	8.8	42.7	12.4	31.3	11.3	17.1	8.1	17.9	12.7
	無回答	81	60.5	7.4	51.9	8.6	22.2	3.7	11.1	8.6	17.3	4.9

(単位:人、%)

設 な の 充 実	図 書 館 、 美 術 館 、 社 会 教 育 施 館	育 土 の 充 実	郷 土 の 良 さ を 実 感 し 、 教 郷	そ の 他	無 回 答
140	275	66	51		
8.3	16.4	3.9	3.0		
6.4	17.1	4.8	2.7		
10.0	16.0	3.3	2.7		
6.3	6.3	0.0	37.5		
9.6	20.0	4.0	1.6		
16.3	10.9	5.9	0.0		
10.1	13.6	7.9	0.0		
8.1	14.2	4.2	1.0		
6.0	19.2	2.5	3.5		
5.0	19.3	1.8	6.9		
6.7	6.7	0.0	40.0		
3.5	23.0	1.8	6.2		
0.0	27.3	9.1	0.0		
10.0	21.7	5.8	0.0		
16.0	13.8	5.0	0.0		
11.3	10.1	8.3	0.6		
5.9	18.3	4.1	0.0		
6.8	11.9	5.1	0.0		
3.3	13.3	0.0	3.3		
7.9	15.0	1.6	2.8		
9.1	18.2	9.1	0.0		
6.5	17.3	2.3	6.3		
9.1	17.4	6.1	1.5		
4.5	9.1	0.0	36.4		
11.7	17.2	3.8	3.1		
8.8	14.9	4.1	1.4		
3.3	23.3	3.8	5.4		
2.3	9.3	2.3	30.2		
11.9	15.7	3.8	0.0		
8.2	17.0	6.6	0.5		
6.6	9.8	9.0	0.0		
6.3	9.5	5.6	0.0		
8.7	9.7	5.8	1.0		
6.6	17.4	3.1	3.3		
11.2	16.9	3.5	2.5		
2.3	15.9	0.0	29.5		
7.7	18.6	1.3	9.0		
5.9	18.1	1.7	2.8		
5.3	14.8	3.3	3.0		
12.5	19.6	3.9	0.8		
12.0	16.5	4.6	0.7		
10.3	11.7	5.5	0.0		
3.0	18.2	12.1	0.0		
8.6	8.6	5.2	0.0		
5.6	14.4	6.7	16.7		
9.9	15.2	5.2	2.1		
4.2	16.1	2.5	7.6		
6.1	15.7	4.4	1.3		
3.2	12.9	0.0	3.2		
13.1	14.6	3.8	3.8		
6.0	25.4	0.0	3.0		
8.0	20.3	1.4	2.9		
5.7	17.1	2.4	5.2		
14.8	18.5	11.1	3.7		
6.0	16.7	4.0	2.8		
9.8	16.2	3.9	2.9		
9.9	16.0	3.7	6.2		

クロス分析

問40 小・中学生の学力や体力・運動能力向上に向けた取り組みに対する評価

×

問41 高知県の教育振興のために重要な取り組み、支援

(単位:人、%)

		問41														
		サンプル	児童生徒の基礎学力の定着、学力向上	就学前教育の充実	いじめ・不登校などの諸問題への対策	児童生徒の放課後の時間の充実	児童生徒の体力、運動能力の向上	キャリア教育の充実	読書活動の推進	障害のある子どもたちへの教育の充実	高校生の進学、就職対策	家庭や地域の教育力を高めるための支援	図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実	郷土の良さを実感し、郷土を愛する心を育てる教育の充実	その他	無回答
問40	計	1679	70.4	9.3	44.1	12.0	31.5	10.4	16.0	8.0	19.1	12.9	8.3	16.4	3.9	3.0
	大いに評価する	235	71.5	11.9	53.2	10.2	31.9	12.3	17.9	10.2	20.9	11.1	5.5	17.9	2.1	0.4
	ある程度評価する	896	75.2	8.4	45.1	13.8	33.8	10.4	17.0	7.5	19.8	14.5	8.6	18.2	2.2	0.3
	あまり評価しない	318	72.0	11.0	42.1	10.1	33.0	10.7	17.9	8.5	21.4	13.5	10.7	13.8	5.7	0.3
	全く評価しない	55	49.1	7.3	32.7	7.3	32.7	12.7	10.9	9.1	18.2	1.8	7.3	10.9	16.4	3.6
	その他	47	63.8	14.9	44.7	14.9	29.8	10.6	6.4	6.4	12.8	12.8	10.6	19.1	6.4	4.3
	無回答	128	42.2	5.5	29.7	8.6	10.9	4.7	6.3	6.3	8.6	8.6	5.5	8.6	8.6	32.8

問42.教育振興や教育課題の解決には家庭や地域の協力も必要です。あなたが参加又は協力できることはどれですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(単位:人、%)

		サンプル	「開かれた学校づくり推進委員会」など学校運営への参画	「開かれた学校づくり推進委員会」など学校運営への参画	放課後や週末における学習活動への協力	P T A 活動への参加	学校行事(運動会、参観日など)への参加	防犯や交通安全のボランティア	読み聞かせなどの読書ボランティア	子どもたちへのあいさつなどの声かけ	教育をテーマにした講演会や懇談会への参加	着や基本的な生活習慣の定	家庭での宿題のチェック	その他	特になし	無回答
総合	実数	1679	163	142	202	541	403	159	966	188	448	19	280	77		
	%		9.7	8.5	12.0	32.2	24.0	9.5	57.5	11.2	26.7	1.1	16.7	4.6		
性別	男性	749	12.1	10.7	11.6	31.1	28.8	5.1	53.0	10.4	23.1	0.9	20.0	3.2		
	女性	914	7.8	6.8	12.3	33.5	20.4	13.2	61.8	11.9	30.0	1.3	13.9	4.8		
	無回答	16	6.3	0.0	18.8	12.5	6.3	0.0	25.0	6.3	6.3	0.0	18.8	56.3		
年代別	20歳代	125	10.4	12.0	8.8	36.0	22.4	9.6	54.4	10.4	41.6	1.6	15.2	1.6		
	30歳代	221	6.8	10.0	21.3	52.5	19.9	11.3	48.4	12.2	50.2	0.0	14.0	1.8		
	40歳代	228	11.4	11.8	22.8	56.1	20.2	11.8	57.0	20.6	46.1	1.3	12.3	0.9		
	50歳代	310	10.6	4.8	11.3	27.7	27.4	8.7	63.2	7.4	21.6	0.3	15.8	2.3		
	60歳代	401	10.7	7.5	7.7	20.9	30.4	7.2	64.3	10.7	15.0	2.0	16.5	4.5		
	70歳以上	379	8.4	8.4	6.3	21.4	20.3	10.3	53.8	9.0	13.7	1.3	22.4	9.2		
	無回答	15	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7	0.0	13.3	60.0		
	職業別	農林業	113	12.4	13.3	15.0	33.6	31.9	3.5	61.1	10.6	18.6	1.8	16.8	6.2	
	漁業	11	0.0	9.1	27.3	18.2	27.3	0.0	63.6	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0		
	商工サービス業自営	120	9.2	6.7	5.8	16.7	26.7	6.7	70.8	11.7	19.2	5.0	10.8	3.3		
	事務職	181	8.8	7.7	18.8	45.9	20.4	12.7	56.4	13.8	35.4	0.6	15.5	1.7		
	技術職	168	11.3	10.1	19.0	44.6	20.8	10.1	55.4	12.5	42.3	1.2	11.3	1.2		
	労務職	169	8.3	8.3	7.7	37.3	24.9	7.1	58.0	8.3	30.8	0.0	16.6	1.8		
	管理職	59	13.6	23.7	16.9	37.3	35.6	5.1	64.4	16.9	28.8	0.0	11.9	1.7		
	自由業	30	10.0	3.3	13.3	20.0	13.3	3.3	46.7	16.7	23.3	0.0	30.0	6.7		
	主婦	254	8.7	7.1	14.2	36.2	23.2	13.0	60.6	11.0	32.3	1.2	13.8	3.5		
	学生	22	9.1	9.1	13.6	31.8	22.7	13.6	68.2	9.1	50.0	0.0	9.1	0.0		
	無職	398	10.6	7.0	5.5	20.1	23.1	9.5	51.8	10.1	12.6	0.5	24.1	8.0		
	その他	132	8.3	7.6	13.6	38.6	26.5	12.9	59.8	11.4	34.8	2.3	13.6	3.0		
	無回答	22	4.5	0.0	13.6	9.1	9.1	0.0	27.3	4.5	4.5	0.0	22.7	45.5		
状況別 婚姻	未婚	290	5.9	9.7	6.2	21.7	20.3	12.4	49.7	10.0	23.8	0.7	24.8	3.8		
	既婚	1106	10.8	8.7	14.0	37.4	25.9	8.5	60.2	11.9	29.7	1.0	14.4	3.1		
	その他	240	10.0	6.3	10.4	24.2	22.5	11.7	59.6	10.4	19.2	2.5	17.9	6.3		
	無回答	43	7.0	7.0	9.3	14.0	9.3	2.3	30.2	4.7	11.6	0.0	14.0	39.5		
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	159	8.8	13.8	21.4	67.9	26.4	10.1	57.9	17.0	63.5	0.6	3.1	1.3		
	小学生の子どもがいる	182	14.3	8.8	29.7	70.3	27.5	14.3	67.6	21.4	58.2	1.1	3.8	1.6		
	中学生の子どもがいる	122	19.7	9.8	32.0	71.3	21.3	5.7	52.5	18.9	52.5	0.8	7.4	1.6		
	高校生の子がいる	126	16.7	6.3	28.6	61.1	27.0	8.7	64.3	19.8	52.4	0.0	7.9	0.8		
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	103	12.6	12.6	17.5	38.8	28.2	11.7	70.9	15.5	28.2	1.0	8.7	1.0		
	その他	817	10.4	7.3	8.1	23.0	26.2	8.1	60.7	9.1	15.4	1.3	18.1	5.0		
	子どもはいない	403	5.7	9.7	6.0	21.3	20.1	11.7	50.6	9.9	23.1	1.2	24.1	3.0		
	無回答	44	2.3	0.0	11.4	18.2	9.1	4.5	34.1	6.8	6.8	2.3	15.9	40.9		
世帯の年間収入別	0~100万円未満	156	5.8	5.1	7.7	20.5	18.6	7.7	49.4	6.4	18.6	1.3	24.4	11.5		
	100~200万円未満	287	7.0	7.3	8.7	25.8	22.0	9.4	55.7	7.7	19.2	1.0	21.3	5.2		
	200~300万円未満	338	8.9	7.1	7.7	27.8	27.2	9.2	55.3	10.1	23.4	1.2	21.0	4.4		
	300~400万円未満	255	12.5	7.5	14.9	37.3	26.3	10.2	56.9	12.5	32.9	1.6	13.7	1.2		
	400~600万円未満	284	14.4	10.6	14.8	43.7	26.4	11.3	64.4	16.9	34.9	1.1	8.5	1.4		
	600~800万円未満	145	11.7	12.4	21.4	41.4	22.1	8.3	61.4	16.6	35.9	0.7	15.9	2.1		
	800~1000万円未満	66	10.6	9.1	15.2	31.8	25.8	9.1	66.7	12.1	31.8	1.5	10.6	0.0		
	1000万円以上	58	5.2	13.8	15.5	32.8	20.7	5.2	67.2	12.1	29.3	0.0	8.6	1.7		
	無回答	90	4.4	8.9	10.0	24.4	17.8	11.1	46.7	3.3	13.3	1.1	17.8	20.0		
	広域市町村圏別	高知市	729	7.8	8.6	12.8	33.2	24.4	11.8	54.3	11.8	29.8	1.4	17.7	3.0	
安芸広域圏		118	12.7	5.9	16.9	28.8	22.0	4.2	51.7	14.4	20.3	0.0	22.9	5.9		
南国・香美広域圏		229	10.9	10.5	10.0	32.3	27.9	8.3	61.6	9.2	27.1	1.7	17.0	4.4		
嶺北広域圏		31	6.5	9.7	6.5	29.0	38.7	16.1	61.3	9.7	19.4	0.0	6.5	6.5		
仁淀川広域圏		130	12.3	8.5	10.0	31.5	23.1	6.2	62.3	10.8	29.2	0.8	13.1	4.6		
高吾北広域圏		67	13.4	4.5	16.4	34.3	25.4	6.0	65.7	14.9	26.9	1.5	20.9	3.0		
高幡広域圏		138	8.7	10.1	8.7	32.6	21.0	9.4	64.5	13.0	25.4	0.7	10.9	8.0		
幡多広域圏		210	12.9	7.1	12.4	30.0	20.0	8.1	57.1	9.0	21.0	1.0	14.8	7.6		
無回答		27	0.0	7.4	7.4	37.0	18.5	7.4	55.6	0.0	14.8	0.0	22.2	3.7		
部別 沿岸	沿岸部	645	9.6	9.8	11.8	31.3	23.9	9.1	55.8	11.5	25.3	1.7	16.4	4.7		
	非沿岸部	953	10.3	7.9	12.6	34.0	24.6	10.1	59.5	11.8	29.0	0.8	16.3	4.1		
	無回答	81	3.7	4.9	7.4	18.5	18.5	4.9	48.1	2.5	11.1	0.0	23.5	9.9		

## VII 自由回答

〔問 7 副問〕

問7 副問（地域の自主防災組織や職場などの地震防災訓練に）より多くの人に参加していただくには、どうしたらいいと思いますか。

〔地域で力や意識を合わせる〕

- ・近所同士声を掛け合って参加する（50）
- ・地域内で普段から交流し、つながりをもつ（5）
- ・職場での訓練を地域と共同で実施（4）
- ・日頃から会話をし、地域の交流を深める（3）
- ・地震や津波のことをよく知り危機感を持つよう働きかけること（2）

〔参加の義務化〕

- ・参加を義務化する（6）
- ・職場での実施を義務化（2）
- ・不参加の人には罰金を

〔行政、各種組織などとの連携〕

- ・小、中学校での防災訓練（4）
- ・地域ごとではなく、市町村一斉に行う（2）
- ・行政、民間一体での研修会
- ・地域のリーダーと行政が一緒に行う
- ・行政と地域住民の役割を明確にする必要がある
- ・防災訓練（地域別）を行政担当者が積極的に呼びかけ、本番さなからの訓練をすべきである。本人に任せるには負担が大きすぎる
- ・県市で地域別に南海地震に対する被害予想の説明会をしてはどうか。個人の説明会ではあまり効果がないのでは

〔楽しみながら防災意識を高める、訓練のイベント化〕

- ・話し合う場、楽しみ事を増やす（5）
- ・参加賞、おみやげ等（非常食など）を出す（4）
- ・他の行事と同時開催（3）
- ・皆が集まるだけでなく何か活動をする
- ・訓練を行事化する
- ・訓練の内容に工夫と新鮮味をもたせる
- ・もっと関心が高まるような講演やイベントをする
- ・プロが来て訓練を行う
- ・魅力ある訓練（炊き出し等）、広報活動で声かけ
- ・参加した人にカンパンなどを配布、炊き出しを宣伝しておく
- ・自分の場合は会社で参加したが、一般の方が参加できるような各地での催しをしたら良い

〔個々の意識を高める〕

- ・各自がもっと防災意識を高めて取り組むこと（10）
- ・地震が来るという危機感を持つことが大切（5）
- ・東北地方の地震で多くの人が危険性の自覚を持ったと思うので、参加者も増えるのでは（4）
- ・自分のことは自分で守る意識をもつこと
- ・地域の問題点を重点的に周知
- ・個人の問題だと考えている人は参加しない
- ・訓練を行う大切さを知ってもらう
- ・東日本の事実を教える会合をする
- ・他人事と思わないこと
- ・町内会全体が積極的に参加し、南海地震に関心をもつ
- ・危機意識を高めるために想定外も含めた地域ごとの地震シミュレーションを公開してみる
- ・地震で実際に被害にあった場所のビデオを見てもらい危機感を感じてもらう
- ・東日本のことを考えてほしい（私たちもあのようなことになるのだと、テレビを見る度思いました）
- ・参加する人の考え方を変える。日ごろから防災マニュアルの強化内容をチラシやメディア等で広げていく

〔広報活動〕

- ・パンフレット・チラシの配布、テレビCM、ラジオなど、広報活動を行う（28）
- ・国や自治体が積極的に働きかける（3）
- ・声を掛け合って参加を勧める（班長とか長になる人が主になって）（3）
- ・町内会の放送（2）
- ・パンフレット等による図上訓練も大切
- ・訓練の必要性、大切なことを共有する
- ・訓練の必要性のPR
- ・近所同士、子供会、敬老会に呼びかけ
- ・各企業一体で訓練、研修をすべき
- ・学習会
- ・告知の強化（直前に宣伝カーで回る）
- ・結果をまとめて知らせ、話題にする
- ・災害マップを行政が作り、各家庭に配布
- ・もっと具体的な説明が必要。例えば津波の予想浸水高さなど



- ・地域全体に避難ルートなどを書いたものを配布する
- ・学校などにも周知、宣伝強化をし、気軽に参加できる雰囲気づくりをする
- ・日曜日などの休日利用や1カ月以上前に防災訓練の通知をする
- ・その地域で震災を経験した人の話を聞く機会を作ると同時に、隣近所が誘い合う
- ・日常会話の中で避難場所や土砂災害の話をして確認する
- ・事の重大性を認識させ、自主防災組織を職場だけでなく県市民全員で防災訓練をやるべき
- ・情報提供をして本当に地震にあった時どうなるかを知らせることで、一人一人の意識が強くなると思う
- ・広報活動を活発に行い地震に対する危機意識を高める。その上で避難場所を明確にし、避難場所マップの作成、防災訓練も定期的に行う
- ・みんなで意識を持ち身近な問題として受け止めるよう津波のシミュレーション等機会があれば見せると良い。テレビニュース等で流してはどうか
- ・職場での防災マニュアルを作っている。何事も意識ある人のレベルをあげることによって周りが変わる。相手に変わってもらえるかどうかは、自分がどう変わって働きかけるかではないだろうか
- ・災害についての自覚を持っていないと行動できないので、自分の身になって考えられるよう、メディアや地域での働きかけが重要であると思う

#### 〔実施時期、回数など〕

- ・回数を多くして日程の都合のつかない人の参加機会を増やす（7）
- ・防災日を決め、家族一緒の日と、学校や職場にバラバラの日を想定した訓練を行う（2）
- ・土、日曜日の午前中に行う
  - ・日曜日ではなく、普段の日にも実施する
- ・定期的に日を決めて集まるようにしたら良い
  - ・開催時期と方法の工夫
- ・暑すぎず、寒すぎずの時期に実施する
- ・地域での参加は、日中は働いている人が多いので、若い人は難しいのでは？
- ・日中に今までと同じ訓練をするより夜間にする等の新しい取り組みをすれば参加人数が増えるのではないか

#### 〔町内会、地区などの活動の強化〕

- ・組織の充実
  - ・若い人が中心になる
- ・リーダーがもっと当日の流れを把握しておくこと
  - ・地区でもっと積極的に推進を
- ・避難場所ごとの組織を編成する
  - ・班ごとに訓練を行い、役割分担を決めておく
- ・交代で責任者を経験する
  - ・訓練に地域の誰かが出て状況を伝え合う
- ・年1回は必ず町内会で訓練を
- ・県市より区長さんの生の声が多く必要（回覧などは見ない人が多い）
- ・5～6軒単位で隣組的組織を作りまとまりやすい声かけのしやすい単位をつくる
- ・実施主体と町内会規模で行ったり、近隣地域で行うと参加しやすいと思う
- ・各地区へ大中型トラックや中古のジャッキなど安全な所へ配っておけば自主救助活動ができると思う、自主防災といっても器具なしでは個人的には何もできない
- ・地域でのリーダーを育てること。リーダーによる地域活動により多くの人々に事業（防災訓練や勉強会、フォーラムへの参加、公民館活動も含む）に目、耳、体を向けさせ地域の活動を活性化させることが大事。なお地域の公務員も地域活動に積極的に参加し、リーダー的役割を行うこと。これが現在できていないように思われる
- ・自主防災組織が主体となり、住民の自覚と連帯を深め、各町内会等の単位で取り組み積み重ねていくこと
- ・自主防災組織の活動を重視するとともに、防災に関連した勉強会を常に行い、地区の人々の関心度を高めていく必要を感じている。また、活動を通して共助の心を植えつけていくことも大切
- ・人家の少なくなった地域でも自主防災訓練を行ってほしい。両方の手で隣同士を誘い合い、全員参加のもとで勉強する。他の地域で訓練よりも、自分の地域での訓練が最も望ましい
- ・防災倉庫を造り資機材の整備、身近なところで実際に使って日頃から訓練することが住民参加につながる

### 〔訓練内容等をもっと充実させる〕

- ・最大の被災を考えた訓練を実施する
- ・マニュアルだけでなく積極的に訓練すべき
- ・津波を想定した訓練
- ・大まかな避難訓練（人任せ）ではなく、個人個人が役割を持った具体的な訓練が良いと思う
- ・声かけをしたり、訓練の日数や日時について工夫もし、役割を持つ人を増やす
- ・防災訓練はややもすれば被災後の助け合いになっている。災害を少しでも軽くする防災の立場にも目を向け、訓練や家具転倒防止策、避難方法の訓練も必要と思う
- ・もう少し具体的に計画し避難状況を各家庭に確認するとか、人員の確認とか確実に実施してもらいたい

### 〔親子、家庭での意識強化〕

- ・幼児期からの防災教育で防災意識の高揚を図る。今がチャンス
- ・学校など教育現場で啓蒙活動をする、家庭に持ち帰り話題にするのも一つの手段かと思う
- ・親子で学べる訓練（地震体験車、実験、耐震模型など）
- ・親子で参加する
- ・子ども、若者、中高年と世代に応じた訓練メニューを計画し、興味が湧いて参加してもらえるように工夫すること。特に子どもたちの参加に工夫する。子ども達の参加＝親（大人）も参加する

### 〔その他〕

- ・声をかけてもらうよう普段から接している
- ・なるべく近場で行きやすいところで訓練する
- ・地区全員集会所に集まっているので今以上のことはないと思う
- ・声かけなどしても一部の人がしか参加しない、難しいところがある
- ・今まで指定された訓練日にはほとんど部落全世帯が参加している

# VIII 自由回答

## 〔その他〕

## 「その他」(自由記入)

問2 副問(南海地震が起きた場合、あなたのお住まいの地域・住宅では)どのような危険があると思いますか。

### 〔地盤の悪化、山崩れなど〕

- ・液状化(21)
- ・地盤沈下
- ・山津波、土石流(4)
- ・川の側で砂地の可能性

### 〔水害、津波など〕

- ・堤防、土手、ダムの決壊(13)
- ・津波のとき逃げ場がない(2)
- ・海岸近くで高い所がない、避難に時間もかかる
- ・浸水被害(4)
- ・農業用ため池
- ・まわりに高台や高層の建物がいない

### 〔建造物の損壊など〕

- ・電柱の倒壊、建物からの落下物(2)
- ・ブロック塀の倒壊(2)
- ・化学工場が近くにあり爆発するおそれがある
- ・隣の家が崩れて自宅に被害がでそう(2)
- ・ごめん・なはり線の高架
- ・家の崩壊

### 〔道路、ライフラインの寸断〕

- ・道路の寸断で避難ができにくい(4)
- ・陸の孤島と化す(2)
- ・避難道の安全性
- ・ライフラインの停止(3)
- ・JRが利用不可になること
- ・橋の落下

### 〔その他〕

- ・子どもの命を守ること
- ・人災、事故
- ・昼と夜で、いる場所が全く異なること

問3 あなたの、南海地震への備えを教えてください。

### 〔避難方法、経路や場所等の確認〕

- ・家族で集合場所をあらかじめ決めている(16)
- ・緊急連絡先の確認
- ・風呂の残り湯はためている、避難場所の検討をしている
- ・避難経路、場所の確認(5)
- ・避難訓練に参加するようにしている

### 〔避難用品の準備〕

- ・非常持ち出し品の準備(靴、懐中電灯など)(9)
- ・備蓄品の準備(テント、簡易トイレ、衣類、食品、水、発電機、チェーンソーなど)(7)
- ・全て少しずつ用意している
- ・大事なものをすぐ持ち出せるようにしている
- ・カセットコンロのガスを切らさないようにしている
- ・必要品の半分くらい用意
- ・玄関にハンマーを置いている

### 〔家の耐震対策、防災対策など〕

- ・家の耐震補強を行った(4)
- ・寝る場所へ家具を置かない(3)
- ・標高の高いところに耐震建築
- ・家を建て替えた
- ・家具の倒れてこない場所にいる(3)
- ・自宅の耐震工事を検討している
- ・引越しを計画中

### 〔その他〕

- ・地区全体の連携を充実させること
- ・地域防災協会を設立して活動している
- ・家族の防災マップを作っている
- ・不用品の処分
- ・保険に入っている
- ・体力づくり

問4 副問2（避難場所や避難経路に対して持っているのは）どのような不安か教えてください。

### < 1 避難場所への移動が不安 >

#### 〔手段〕

- ・手段（22）
- ・交通渋滞が起こる恐れ（10）
- ・徒歩しか移動手段がない（5）
- ・道路の状態がどうなるか不明で、車で移動ができない（4）
- ・山道を歩くことになると荷物が持てない
- ・遠いので車で移動しなければならない
- ・近くのお寺に行く道が細く、高い所にあるため車で行けない

#### 〔時間〕

- ・時間（例：高齢、病気などで時間がかかるなど）（107）

#### 〔津波、河川の氾濫の恐れ〕

- ・途中で橋を渡るの、橋が壊れないか（12）
- ・津波の恐れ、海が近い（10）
- ・海の方向へ移動しなければならない（4）
- ・津波が来るまでに避難できるかどうか（4）
- ・土地が低い（2）
- ・避難路の浸水（2）
- ・途中に川がある
- ・道路が低い所がある
- ・川沿いを通るため
- ・川、国道、避難場所が平行している
- ・（避難場所へ至る経路が）一度低い所へ降りてからなのでどうかと思う

#### 〔避難所までの途中に不安な場所がある〕

- ・途中に階段や坂道があるので（18）
- ・建物、塀などの倒壊の恐れ（8）
- ・崖崩れ、山崩れ（6）
- ・神社など足場が悪いところが多い
- ・家が密集している
- ・落下物
- ・道が曲がりくねっていて走れない
- ・施設が遠い、コンクリートの垣を歩いて行かなければいけない

#### 〔道路事情〕

- ・道路が狭い（6）
- ・道路の状況が悪く、安全性が不安（6）
- ・避難道を整備しなければと思う（3）
- ・国道、交通量の多い道路と交差している（2）
- ・道が1本しかない

#### 〔避難所までの距離〕

- ・避難場所まで遠い（29）
- ・（地震の時、避難所の）近くにいないと限らないため（2）
- ・時間がかかっても安全に行けるか不安
- ・避難場所まで行きつけるかどうか

#### 〔地震発生時の時間帯、場所による不安〕

- ・夜間の避難路（4）
- ・外出先で地震に遭遇した時の避難場所への移動（2）
- ・高齢の両親と一緒にいるので、状況により移動手段が違う（2）
- ・子ども達だけでいた際に発生したら、安全な場所へ移動できるか
- ・夜は家族で居るので安心だが、昼間はバラバラなので
- ・時間帯により、1人で移動するのは不安

#### 〔高齢者、子どもがいる、体調など〕

- ・身体が不自由、足が悪い（17）
- ・小さい子供がいるので（11）
- ・高齢のため（7）
- ・高齢者の誘導方法（4）
- ・身体の不自由な家族と同居しているの
- ・自身が動けなくなった場合
- ・保育園の迎え、家族と会えるか心配
- ・20年後、年をとると歩いて避難は無理

#### 〔その他〕

- ・混雑、混乱が予想される（3）
- ・避難場所に人が殺到すること（2）
- ・どこに避難していいのかわからない（2）
- ・（集合住宅の）高層階に住んでいる（2）
- ・ペットと一緒に連れて逃げられるか
- ・外に出るのに苦労する
- ・家から外に出られるか
- ・本人がパニックになるのでは
- ・以前の安全基準が不安
- ・妊娠中
- ・階段の場所などが未確認

## < 2 避難場所の安全性が不安 >

### 〔地盤の弱さ、崖崩れ、土砂崩れ〕

- ・崖崩れ、土砂崩れ（例：石垣が崩れやすい、地盤が不安定、避難所が災害に遭う恐れなど）（24）

### 〔津波、河川の氾濫など〕

- ・津波、川の氾濫（例：海岸・川に近い、低地にある、建物の高さが低いなど）（84）

### 〔建造物の倒壊〕

- ・建物の倒壊（11）
  - ・ブロック塀の倒壊
- ・耐震設備された建物とはいえ、起きてみないと分からない。全員収容できるのか？

### 〔その他〕

- ・建物の立地
  - ・食料の備蓄が十分あるか
- ・普段行かない場所
  - ・避難場所に3日も居られない
- ・避難所（小学校体育館）は夜間休日施錠している

## < 3 避難経路の安全性が不安 >

### 〔地盤の弱さ、崖崩れ、土砂崩れ〕

- ・崖崩れ、土砂崩れ（例：地割れ、急傾斜地が多いなど）（50）

### 〔津波、河川の氾濫など〕

- ・津波、河川の氾濫のおそれ（例：川・海の近く、途中で低地があるなど）（18）

### 〔建造物、木の倒壊など〕

- ・ブロック塀の倒壊（44）
  - ・建物の倒壊（36）
- ・大きな道がなく経路が倒壊物でふさがれるおそれがある（3）
  - ・電柱等の倒壊（2）
- ・屋根瓦の落下（2）
  - ・落下物（2）
- ・電柱、道路両側のコンクリート建造物や看板の安全性
  - ・木の倒壊

### 〔道路事情、経路の寸断〕

- ・道路が損壊、寸断される恐れ（12）
  - ・橋が崩落、流される恐れ（12）
- ・道幅が狭い（9）
  - ・急な坂道を登らなければならない（4）
- ・道の混雑、渋滞（3）
  - ・（避難所に至る）道が一つしかない（2）
- ・階段があるがそれが崩れそう（2）
  - ・山道のため、通行の安全性が不安
- ・浸水で道路が寸断される
  - ・車がたくさん来て歩くのが危険
- ・高い場所に上がるための足場がない
  - ・車道を横切る必要がある

### 〔その他〕

- ・夜間に暗い道を通る不安（3）
  - ・自宅から距離があり、時間的に不安（2）
- ・火災
  - ・足が不自由なため
- ・避難場所が会社なので入り口等が不明
  - ・高地にある学校だが、一部埋立地あり
- ・どうなるかわからないこと
  - ・草木が生い茂っている

## < 4 その他 >

### 〔避難場所、方法などが不明瞭〕

- ・避難場所がわからない
  - ・小学校と家の高さがわからない
- ・自宅以外で発生した場合土地勘がないので
  - ・防災無線が聞こえない
- ・想定外の場合での避難方法
  - ・避難場所に行ったことがない
- ・避難場所の開設、運営についての手順、方法が決められていない

### 〔避難場所の受け入れ態勢、収容可能人員など〕

- ・避難場所が狭く全員が入りきれない恐れ（5）
  - ・避難場所へ人が集中する（4）
- ・避難場所は日常鍵がかかっているので入れるかどうか（3）
- ・スペースや二次災害
  - ・避難場所での食料
- ・共同生活に不安
  - ・避難しても安心して眠れる建物がない
- ・避難場所での生活
  - ・避難場所の備えは大丈夫か
- ・避難場所の高さ、収容人員が不明確。広さは十分あるか

- ・一時しのぎの津波からの逃げ場なのでその後が不安

〔避難場所へ行くこと自体が困難〕

- ・山への避難道の整備
- ・山に近く、前は海がある
- ・山の方へ避難と考えても山は道がせまく多人数は無理
- ・近くに高い建物がない
- ・津波で山の方へ逃げる道路がない

〔被災後に孤立すること〕

- ・裏山へ上がることを想定しているのに孤立した時の不安
- ・陸の孤島となる恐れがある

〔その他〕

- ・生存できるか
- ・全てが不安
- ・トイレ、水
- ・通勤中の避難場所
- ・怪我等の時の連絡手段
- ・家族の安否、特に子どもと離れている時の避難
- ・近隣がお年寄りばかりなので地域が一斉に避難できるか不安
- ・家族に年配者、小さい子どもがいたらどうするのか？
- ・ペットがいる
- ・自宅の倒壊
- ・近所のお年寄りのことが心配
- ・急な斜面に囲まれている
- ・鉄道高架の倒壊
- ・一番近くが墓なので危険

問5 副問 あなたのお住まいの地域での「支え合い」について、どのように感じていますか。

〔高齢化〕

- ・高齢者が多い（12）

〔交流が少ない〕

- ・近隣の交流はないが不安はない
- ・交流は少ないが、団地の自治会には参加している
- ・同じアパートの人とは助け合おうと話しているが、それ以外の近隣住宅の方とは交流がないので不安
- ・転居したばかり

〔力を合わせる事が大事〕

- ・いざという時は助け合えると思う（2）
- ・皆同じ立場で、どこまで助け合いができるか
- ・非常時には皆、力を合わせる
- ・自治会で防災について取り組みが始まったので、できることをやっていきたい
- ・地域の住民の力を統括する行政の仕組みづくりが不十分だ
- ・地域活動に参加
- ・誰がリーダーシップをとるのか？

〔個々の心構えが重要〕

- ・人を頼っても安心とは限らない。人に期待するのは無理
- ・大事なことは思うが、自分のことは自分で！人をあてにしない
- ・津波でんでんこ（東北の方言、津波が来たらそれぞれ各自で逃げる意味）しかないと思う

〔その他〕

- ・子どもが重度の障害のため協力が得られない
- ・時々話し合っているが結論が出ていない

問9 あなたが、今後「高知県産業振興計画」をさらに進めるために、充実させた方がよいと思われる具体的な取り組みはどれですか

〔雇用促進、企業誘致〕

- ・若者が地元で働ける職場づくり、企業誘致（4）
- ・そもそも職がない（就職先がない、雇用がない）
- ・県内在住者の雇用促進と収入増加
- ・県外企業の誘致

〔新規事業、独自商品の開発〕

- ・豊かな森林があるので木材を使ったあつと驚くような商品を作れないかと思う
- ・馬路村を目標に高知にあるもので出来る商品をこだわって作り出し販売していくと良いと思う。

これからは既成概念にとらわれない時代が来る、たとえ高価な商品でも良い物は評価され売れる。  
中途半端ではだめだと思う

#### 〔観光の強化〕

- ・外国人観光客のため、外国語の観光表示、パンフレットを増やす
- ・観光に力を入れてもらいたい
- ・観光推進での地元企業（一部企業や県だけが利益をあげるのではなく）全体の利益を上げ県市に税を納めることによって潤う施策

#### 〔インフラの整備〕

- ・東部の自動車道の早期整備
- ・高速道路を四国で繋ぐ
- ・高速道路の無料化

#### 〔PR活動の強化〕

- ・マスコミをもっとうまく利用してPRをする（以前全国ニュースで阿波踊りの踊り子の数を「延べ人数」で言っていて、一瞬すごい人数にびっくりしたことがあります。高知だと「〇〇団体の〇〇人が参加」みたいに言いますが、高知ももっと図々しく大げさに発表するのも手かと思います）
- ・他県や海外でよさこい祭りの知名度を上げて、将来的に高知国際よさこい平和祭りを開くことができればすばらしい

#### 〔その他〕

- ・子どもの教育、良い人材を育成していくこと（3）
- ・高知の自然を活用できるように（2）
- ・街、地域自体が活性化すること（2）
- ・首都圏や関西、中部より九州に目を向ける
- ・馬路村のように他の地域も発展させる努力を
- ・何よりも県民所得向上を図る
- ・地方を元気にする取り組み（過疎化を防ぐため）
- ・県、山村人口流出を防ぐ努力
- ・仁淀川、四万十川でゆっくりする
- ・大きなコンサート会場を作る
- ・農林漁業者が儲けられるような仕組み
- ・接客態度の改善
- ・本物志向
- ・自分達の意見を出せるように
- ・県民自身が動こうとする
- ・規制全廃、自由に家を建てさせてほしい。そうしなければ高知県より人は出て行く
- ・高知駅にお土産、ファッション、食べ物等の店舗が入ると良い

問10 あなたが、（問9に掲げた取り組みのほかに）今後、成長が期待でき、強化すべきだと思う分野はどれですか。

#### 〔観光の強化〕

- ・高知にしかない植物を観光に活かす
- ・地域の特質は観光資源として活かすべき
- ・フィギュア、マンガ、アニメで外国人にアピール
- ・歴史を主体とした本格的な観光
- ・休日に楽しめる場所
- ・海のレジャーの観光化
- ・親子連れが楽しめる、川遊び、海、山遊びのツアーをもっと県外へアピールすれば良い。料金が安くて十分楽しめる所がある

#### 〔新規事業、商品の開発〕

- ・加工食品にも力を入れる
- ・もっと木材を使った製品の開発
- ・県を主体とする本気のビジネス
- ・他の産業への影響を考えたうえでの支援
- ・特許ビジネス
- ・田舎に定着できる産業を
- ・アンテナショップの知名度を高め、地産地消商品を売り込む

#### 〔移住の取り組み、促進〕

- ・団塊の世代などの退職者の大きな団地を作る
- ・リタイア世代よりも若年層のIターンUターンを受け入れられる環境整備で地域を丸ごと売り出す

#### 〔新エネルギー〕

- ・次世代エネルギーの開発
- ・太平洋メタンハイドレート
- ・森林、海流、太陽熱からのエネルギー（電力）づくり



#### 〔その他〕

- ・森林をもっと活かす (4)
- ・一次産業を活かせる人、会社、技術の誘致
- ・農業
- ・子どもの教育に力を入れて人材を育てないと高知県は生き残っていけない
- ・都会から離れたワンポイント魅力づくりが大切
- ・社会福祉ビジネスの充実
- ・研究

問 11 あなたが、県の産業振興をさらに推進するために、より手厚く支援すべきだと思うものはどれですか。

#### 〔人材育成強化〕

- ・人材の育成
- ・若年層の雇用
- ・県外、国外からも有能な人材を集めるシンクタンクの支援
- ・雇用の支援
- ・事業に意欲のある人を応援してほしい

#### 〔企業、団体の支援〕

- ・見込みある企業への支援
- ・県外で売れる！というものに光を当て、販売チャンネルまで支援すること
- ・高知にも良いモノを作る会社があるのに、プレゼン能力、営業力のなさによる県外企業への発信ができてないので、県も企業も一体となって県外への積極的な売り込みが必要と思う
- ・地産地消にとりくむ団体への支援

#### 〔農林業〕

- ・農業、水産、林業の活性化 (2)
- ・大川村の黒牛が消えないよう支援

#### 〔その他〕

- ・異業種交流 (2)
- ・観光産業
- ・その時その時に必要とされる支援
- ・共存共栄が目的であれば、支援というよりも協力すべき
- ・特区など、規制の緩和
- ・小さい商店への援助

問 12 県では、人材育成研修をはじめとした産業振興のためのさまざまな研修や講習会を実施していますが、あなたが、こうした研修などにより参加しやすくなるために必要だと思うものはどれですか。

#### 〔PRの強化〕

- ・もっとPRしないといけない。知らない人が多いのでは (2)
- ・研修の様子が事前にわかれば自分向きなのか判断できると思うので、ネット等で公開する
- ・研修を行っていることを知らない人が多いため、TV、新聞、インターネット等を積極的に利用したPRが必要。また、困ったことがあればホームページをというPRを行い、このような取り組みをしていることを広く知らしめることが必要
- ・情報提供

#### 〔継続できるもの〕

- ・目新しいものではなく、地味でも続けられるものを
- ・継続的で成果を確認する内容の研修をする

#### 〔その他〕

- ・出張扱いで処理できて参加できるようにする
- ・高齢で困難になった
- ・どうしても参加したいと思うメニューの作成
- ・世界最先端のビジネス、アイデア
- ・中、高校生を対象とする労働セミナーの開催
- ・あまり長時間にならないこと (2時間くらいまで)
- ・小さい子どもを育てている若い世代が子どもを預けて参加できる体制 (託児)
- ・県民の必要とする意見を聞き取り、形だけの講習をなくすことも必要
- ・参加しやすい人材育成講座 (2)
- ・県の力では、無理
- ・自ら先進地に出かけ研究、研修する
- ・研修の質の向上

問 13 昨年、高知県に注目が集まったことによって、あなたの仕事や生活、そのほか、身の回りにもどのような効果をもたらしましたか。

〔県外客の増加〕

- ・ 県外ナンバーの車を多く見かけるようになった (3)
- ・ 少し県外からの客が増えた (3)
- ・ 中心地、道の駅で少し変化を感じた
- ・ 交通渋滞、規制が増えて困った
- ・ ホテルのベッドメイクをしている。昨年は忙しかった
- ・ 県外のテレビ、雑誌等の取材が増えた
- ・ 道を教えることが増えた
- ・ 高知市内の宿が予約しにくくなった

〔高知に対する県外人の反応が変わった〕

- ・ 土佐弁が県外の人に喜ばれた
- ・ 子どもの見るアニメのキャラクターが土佐弁を喋るようになった
- ・ ネット上で話題になるのを見かけるようになった
- ・ 県外で龍馬の話をされることが多くなった

〔効果は一部に限られる、効果はない〕

- ・ 効果は部分的（地域的）なもの (2)
- ・ 全く効果はなかった。もう少し県全体でイベントを行っていくべき
- ・ 県や市、一部の企業や観光業者のみが潤っている感じ
- ・ 全く感じられない

〔その他〕

- ・ 仕事に良い影響をもたらした
- ・ 高知の認知度が上がった
- ・ 観光コースを充実しなくてはいけない。点と点を結ぶルートが必要
- ・ 龍馬の記念硬貨は人気があった

問 14 県のイメージアップやリピーターを増やすためには、県民一人一人が観光客を「おもてなしの心」で迎えることが大切です。あなたは、観光客への「おもてなし」についてどのようなことをされていますか。

〔道路や観光案内を積極的に行う〕

- ・ 道案内 (6)
- ・ 目的地や道路の件について尋ねられた時、親切、丁寧に答える (3)
- ・ 迷子になったお客様に、出来る限りの対応をしている
- ・ 畑仕事中に道を聞かれたのでやさしく誘導、ミニトマトやきゅうりをプレゼントした
- ・ タタキの美味しい店を教える、道を聞かれたら連れて行ってあげる等

〔親切な対応〕

- ・ 県外ナンバーの車に優しくする (2)
- ・ マナー、接客の向上
- ・ 運転中、県外客に道を譲る
- ・ よさこいを通じて県外との交流と親切な気持ちで接するようにした (写真や場所、時間の案内など)
- ・ 親切な対応
- ・ 観光客の写真を撮影している
- ・ あたたかい気持ちで土佐人らしく接する

〔普段どおりの接し方〕

- ・ こびるでもなく無視するでもなく、普通に接する
- ・ 普通に人として当然のありかたで接している
- ・ 一日一日自分の気持ち良い生き方をする。感謝の心だと思う
- ・ 普段着のおもてなし

〔広報、情報の積極的な発信〕

- ・ mixi で親切に教える
- ・ 桂浜やヤ・シィパークへドライブに連れて行く
- ・ 地場製品の提供
- ・ 県外人を高知独特の食べ物が食べられる所へ案内する (高知の名所へも案内)
- ・ ひろめ市場などで観光客に声かけをし、高知の良い所を紹介する
- ・ 他県社員が閲覧できるホームページを掲載してPRしている
- ・ ツイッター等で高知県の催しを広報する
- ・ 自分なりのおすすめスポットを案内
- ・ 高知の名所、人物等についての勉強

問 15 副問 かかりつけ医がないのはどうしてですか。

- ・病院勤務だから (2)
- ・病院は決めている
- ・派遣医が多く同一の医者を受診が少ない
- ・転勤があるため
- ・電話で受診を願うと断られる
- ・医院に行かないと決めたから
- ・多くの病気を抱えていて、それぞれでかかっているし、本当に信頼できる医者がない
- ・かかりつけ診療所がある
- ・総合病院のため、担当医が変わる
- ・県外から来たので模索中
- ・信頼できる医師の情報がない
- ・病院に行く時間がない

問 16 副問 かかりつけ歯科医がないのはどうしてですか。

- ・歯科医に行く時間がない (3)
- ・悪くなくても治療に行かない
- ・今はかかっていない
- ・職場の近くを探している
- ・医院に行かないと決めたから
- ・いい歯科がない
- ・先生が辞めた
- ・歯医者で働いているので
- ・その時々で変わる
- ・高額なインプラントをしつこく勧められている。第三者的に相談できる機関があれば良い
- ・必要に応じて歯科医を探して行く (3)
- ・歯に生活費をまわす余裕がない
- ・他院にするか迷っている
- ・歯科にかかるのが怖い
- ・歯科を変わることが多い
- ・めったにかからないため
- ・途中で通うのをやめてしまう
- ・今、信頼できる医者を探している状態

問 17 副問 かかりつけ薬局がないのはどうしてですか。

- ・病院で薬をもらっている (29)
- ・土曜日が休み
- ・県外から来たので模索中
- ・病院に行く時間がない
- ・単なる店と認識しているため

問 18 あなたは「お薬手帳」を知っていましたか、また、持っていますか。

- ・知っていたし、持っていたが、今は使っていない
- ・必要を感じないので使わない
- ・必要ないので捨てた

問 19 仮にあなたが病気の急性期を過ぎて、その後遺症などで長期の療養が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。

- ・病状による (6)
- ・臨機応変に (3)
- ・病状、経済的状況によって考える
- ・家族の介助は無理
- ・対応できるグループホーム
- ・できるだけ安価な施設、病院へ
- ・自力で日常生活が可能なら自宅で (3)
- ・その時の家族状況により判断する (2)
- ・病状と家族の状況による
- ・いきつけの医者 of 所へ遠くても行く
- ・シルバーハウス等利用
- ・病院には行かない

問 20 あなたが長期の療養が必要になった場合、どのような条件や環境を整えば在宅医療を選択しますか。

- ・在宅医療は選ばない (5)
- ・無条件
- ・経済的負担が多くなればどうすべきか迷う
- ・食事等の心配がなければ

- ・一人暮らしでも在宅医療が可能であれば
- ・一人暮らしで在宅医療は望めない
- ・無料でなければできない（収入がなくなっているから）
- ・病状により自分であるいは家族との話し合いによる協力

問 21 あなたや家族の方が在宅医療を選択する場合、どこに相談しますか。

- ・家族、兄弟、子ども (3)
- ・インターネットを利用し、経験者や専門知識のある人に問い合わせる (2)
- ・友人、知人
- ・親族
- ・グループホーム

問 22 あなたは、現在お住まいの地域で、今後も安心して暮らしていくことについて、どのような不安を感じていますか。

〔交流が薄い、頼れる人がいない〕

- ・近所同士のつながりがなく家それぞれだから、家族で相談する (2)
- ・親切な人がいない
- ・心身ともに万全に頼れる人がいない
- ・縁がない

〔若者の減少〕

- ・少子化
- ・若者が遊べる場所が無い
- ・地域から若者が流出し高齢者ばかり
- ・子どもたちが地域からいなくならないか

〔その他〕

- ・低年金の一人暮らしで借家なので住宅が心配
- ・子どもの教育が充実していない
- ・地元の魅力を感じない
- ・失業
- ・何でもボランティアにしてしまって雇用がない
- ・土地が低いので津波が来るし地盤が弱いので地震に弱い
- ・町内会の所帯が高齢なため、町内一斉清掃等に参加できない
- ・税金や、社会保険料をきちんと支払った人より生活保護などの人の方が恩恵を受けている
- ・昔から住んでいる人からの中傷、人が集まる所に行きたくない
- ・自分のことは自分でやりたい。病院が近くにあればいいが

問 23 あなたが今お住まいの地域で安心して暮らしていくために、家族や親類以外にあなたの周りで頼りに思う人は誰ですか。

- ・市町村議会議員 (2)
- ・実家の近所の方たち
- ・教職員
- ・自衛隊
- ・今まで相談したことがない
- ・子どものPTAの世話人さん
- ・かかりつけ薬局の先生

問 24 (前文を受けて) このように、「あったかふれあいセンター」ではさまざまな支援を行っていますが、どのような機能(支援)をさらに充実すれば良いと思いますか。

- ・あったかふれあいセンターの存在を知らない、分からない (5)
- ・地域にセンターがないので何も言えない (4)
- ・お金のかからない無料のサービスを実現
- ・相談事をしてもらってくれる人がほしいです
- ・エアロビクスなど専門指導者による活動
- ・今のところ、支援は必要なし

問 25 高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者も増え続けています。一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。

- ・ 高齢者一人暮らし防止のための少子化対策
- ・ 家族の絆
- ・ 訪問し出向かなくても相談できるシステムを
- ・ 人に頼らず自分でできる能力をつける
- ・ 山間部での生活は水に困る。台風などで水源が傷んで水がなくなる
- ・ 無資格者の介護サービス参加によるポイント制度の導入
- ・ 家内ともども何でも今のところできるので見守ってほしい
- ・ 老人ホームの充実
- ・ 巡回訪問スーパーを実施してほしい
- ・ 無料で利用できるサービスが必要

問 26 障害者施策についてお尋ねします。障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。

#### 〔受け入れ体制〕

- ・ 定期的に訪問し、話しやすい環境づくりを
- ・ 健常者と同じ条件での雇用（特に金銭的）
- ・ 障害者の家族や職場の人間が相談できるオープンな場所、機会づくり
- ・ 重度の知的障害者入所施設の整備
- ・ 24時間体制の支援、緊急時の対応

#### 〔人材育成〕

- ・ 市職員の育成
- ・ 世話をする人の育成

#### 〔家族へのサポート〕

- ・ 障害者を支える家族の介護負担の軽減
- ・ 家族をサポートする体制
- ・ 家族のケア

#### 〔その他〕

- ・ 介護福祉士の雇用状況改善
- ・ 障害者に接する際、過剰に反応しすぎない

問 27 少子化についてお尋ねします。少子化の要因の一つに未婚化や晩婚化がありますが、その要因は何だと思えますか。

#### 〔コミュニケーション、人付き合いの問題〕

- ・ 結婚した相手、身内との付き合いが面倒だから
- ・ コミュニケーションがとれない、面倒くさいことに関わりたくない
- ・ 両親をはじめとする家族の世話から

#### 〔先行きに対する不安〕

- ・ 国や社会の先行きに対する不安（4）
- ・ 子育てに対する不安
- ・ 自然環境の悪化

#### 〔子育てが困難な社会〕

- ・ 休暇を外国並みに取れる社会
- ・ 男女雇用機会均等法
- ・ 家族や子どもを持つことに安心できる状態ではない
- ・ 託児施設の預かり時間、お金、働き先など、将来が怖くて子どもをつくれぬ
- ・ 子どもを育てながら働くことは外部の協力なしでは難しい。男尊女卑や理解がなく子供を持つ優秀な人材が仕事をやめなければならなかったり、それを恐れて産まない女性が増えている
- ・ 山間部は学校がなくなり子育てには不便になっている。学校、保育園が遠くなりすぎ一町一校では駄目です。学校統合はより速く限界集落化を進めるだろう
- ・ 仕事が多すぎて暇がない
- ・ 病児保育などが不十分で、仕事が厳しい

#### 〔経済的な問題〕

- ・ 収入が少ない（2）
- ・ 子どもの多い家庭にも、経済的に優遇すればいい
- ・ 子どもを育てるにはお金がかかる。保育料が高い高校大学の授業料、特に日本は大学の授業料が
- ・ 教育費等、経済的なこと

高く卒業時には多額の借金を背負っているため結婚は無理なのでは

**〔意識、社会情勢の変化〕**

- ・昔の風習（仲人・見合い）が廃れた（3）
- ・結婚、同棲はしても子どもは不要だから
- ・自己満足することだけを考えている
- ・生きる意味の教育欠如、自己中心的な人間が多くなった
- ・自立できていない（2）
- ・他人とかかわりをもたない
- ・今の若者は辛抱がない

**〔その他〕**

- ・離婚が多い
- ・不妊治療の支援の弱さ
- ・女性に負担がかかりすぎている。もっと男がすべき
- ・コンビニの充実、生活の電化で、男性も不自由なく暮らせている
- ・住宅が無いので結婚できない

問 28 小学校就学前の子育てについてお尋ねします。あなたが今お住まいの地域において、就学前の子どもをより育てやすくするために、どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。

**〔保育所などの受け入れ体制〕**

- ・保護者が働いていなくても保育所に子どもを預けられる（3）
- ・求職活動時に、子どもを一時的にあずかる仕組み
- ・平日子どもを遊ばせられるところを充実してほしい（幼稚園、保育園をもっと解放してほしい）
- ・保育料の無料化

**〔保育関係者の労働環境改善〕**

- ・保育士の労働条件の向上（2）
- ・保育士のレベルアップ

**〔育児環境の整備〕**

- ・共働きで子育てができるように
- ・就学前は子育てに専念できるように
- ・保育へ預けず自分で見られるよう就学前まで育休のとれるシステム
- ・ひとり親が育児に専念できる環境

**〔その他〕**

- ・親の教育（2）
- ・待機児童をなくす
- ・生まれ育った地域で働ける環境（企業）
- ・家庭で子どもを育てることが一番、親と関わること
- ・子どもが少なく、子どもが増えるような取り組みが必要
- ・充実させすぎて楽な子育てにならない取り組み
- ・3歳まではできるだけ母親が子どもに愛情を注ぐこと。経済的に豊かになっても乳幼児期の育て方で苦勞する親が多い
- ・無料サービス
- ・当事者に聞くべき

問 29（前文を受けて）このように、「放課後学び場」の設置を推進していますが、あなたが今お住まいの地域における「放課後学び場」について、さらにどのような取り組みを充実していくことが望まれますか。

**〔施設の充実、利便性の向上〕**

- ・教室、クラブがない
- ・母親が働いていなくても参加できるように
- ・「放課後学び場」で働く人たちの賃金など条件保障
- ・児童の健全育成はどこで行われているか。世話役や指導者の質を向上する
- ・利用の無料化
- ・無料送迎の交通手段
- ・持病のある子どもの対策

**〔広報活動、存在を知らない〕**

- ・「学び場」があることを知らせる広報活動
- ・「放課後学び場」が、どう実施されているか知らない
- ・放課後教室があるが内容がわからない

〔その他〕

- ・地域や学校単位に任せない
- ・地域格差をなくす
- ・地域により必要ないところもある
- ・戦争や道徳の話をお年寄りから聞く機会を作る
- ・塾へ行く子ども、行かない子どもの両方を考えたものに
- ・食事の作り方、洗濯（靴下を洗ったりズックを洗ったり）を遊びながら学ぶ
- ・設置後の実効性の検証
- ・子どもに生産活動をさせること
- ・6年生までにしてほしい
- ・なくて良い

問 30 高知県におけるエネルギーの消費に占める新エネルギーの割合は、2007（平成 19）年度では約 1.36 パーセントとなっています。東日本大震災の発生前に策定した「高知県新エネルギービジョン」では、この割合を 2020 年度までに 2 倍以上にするよう新エネルギーの導入に努めていくこととしています。このことについて、あなたはどのように思いますか。

- ・外来材入荷禁止
- ・木質バイオマスは、木に限りがある
- ・風力、太陽光を一緒に付けたらいい
- ・目標値が低い
- ・長いスパンで安定して導入
- ・無理
- ・土佐木材推進
- ・液体水素の有効利用
- ・原子力も大切にする
- ・高知の土地を考慮
- ・費用対効果をよく見て

問 31 高知県において、積極的に導入すべき新エネルギーは何だと思えますか。あなたが、優先順位が高いと思う新エネルギーを 2 つまで選んでお答えください。

- ・メタンハイドレート（7）
- ・潮流、波力などの海洋エネルギー（4）
- ・木質バイオマスを利用したコージェネレーション
- ・ゴミ処理時の熱利用
- ・会社自家発電
- ・コスト等考えて選ぶ
- ・コンクリートで作られた道路の高温をエネルギーに
- ・オーランチオキトリウム（4）
- ・木質バイオマス以外のバイオマス燃料（2）
- ・地熱発電
- ・木炭、竹炭生産をすすめる
- ・発電と熱利用
- ・現状でいい

問 32 新エネルギーの導入を進めるうえではいろいろな課題がありますが、次のうち、あなたが特に問題だと思うことはどれですか。

- ・政府の考え方（2）
- ・設置後損傷した場合ローンだけ残るという不安
- ・地域住民の理解
- ・国からの援助、他県との協力
- ・高知県全体がモニターできるほどの活気ある政策
- ・海を利用
- ・エネルギー消費を抑える
- ・発電と送電の分離をせず独占している
- ・新エネルギーを身近にするための宣伝等
- ・研究開発費
- ・何を導入するかによって問題はかわる
- ・安定的に供給できるか（電力）不安
- ・諸課題解決のための研究費や人材の確保
- ・認知度が低い
- ・エネルギーを使わない

問 33 あなたが、新エネルギーの導入を進めるために行政が行うべきだと思う取り組みについて、次のうち 2 つまで選んでお答えください。

- ・発送電分離、自由化（2）
- ・私利私欲で活動する事業者への監視
- ・新エネルギーの導入コストを安くする対策
- ・発電事業を民間に
- ・山川海を見て新エネルギーに
- ・電気料金は上げない支援

- ・設備投資
- ・各地域一社で独占されている電力会社のあり方を再検討すべき
- ・原子力発電を即中止。そうすれば新エネルギーを導入できるから
- ・開発力

問 34 副問 1 あなたは、今後どのような条件が整えば、太陽光発電設備を設置してもよいと思いますか。

〔改築、新築したら〕

- ・改築する時に (2)
- ・転居 (新築) したら
- ・持ち家を購入できる機会があれば (2)

〔普及、安くなれば〕

- ・全体的に普及してから
- ・設備の寿命までに投資資金が回収または回収近く程度になれば
- ・リースや分割払いの負担が現状の電気代とかわらない負担であれば
- ・電発技術が向上し電力コストが下がる状況になれば
- ・蓄電器 (バッテリー) が安くなったら

〔その他〕

- ・家族の理解があれば (2)
- ・余裕ができれば
- ・新しい「塗るだけで良い」等の設備が市販されるようになれば
- ・共同住宅なので全戸の確認がとれれば
- ・設置したいが半日日陰になる

問 39 副問 (小・中学生の学力や体力・運動能力について改善の兆しが見え始めていることを) 何を通じて知りましたか。

- ・教育関係の仕事をしているから (2)
- ・仕事柄
- ・インターネットで
- ・回覧など
- ・PTAの仲間から

問 40 小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた、教育委員会や学校のこれまでの取り組みについてどのようにお考えですか。

〔学校外も含めた活動をすべき〕

- ・教育委員会や学校だけでなく家庭も入れるべき
- ・学校だけの取り組みでなく、社会体育活動をもっと評価すべき

〔活動を知らない、分からない〕

- ・教育委員会などがどんなことに取り組んでいるか知らない (4)
- ・成果があっても取り組み内容があまり見えてこない

〔その他〕

- ・学力・体力以外の力を育てていくべきだと考える
- ・興味がない
- ・しっかり取り組んでほしい
- ・中学のパワーアップシートは教科書に基づいてないので意味がない。分からない所が多くなるとやる気がしなくなる。むしろ個々の不確実な部分を補えるプリントなどが良いと思う。「やればできる」と子どもが思える教材でないと向上にはつながらないと思う。高い能力を求めるよりも1つ1つを理解できることを目的としてほしい
- ・屋外で先生と一緒に遊ぶことを勧める
- ・やって当たり前
- ・伸びる率は全国一位かもしれないがその裏に格差の広がりがあるのではないかと思う



問 41 今後、高知県の教育振興のために、どのような取り組みや支援が重要だと思いますか。

〔教員の質の向上〕

- ・教職員の資質、指導力、マネジメント力の向上 (18)
- ・親の生活指導と先生の人格教育の充実
- ・教師の感性をみがくこと、教師の研修 (適性)
- ・教育のレベルアップ

〔家庭、親の意識の変化〕

- ・保護者への教育 (4)
- ・教育は家庭の責任
- ・家庭教育が一番大切。親がだらしがない
- ・生活習慣が身につくような家庭環境
- ・高知は文化的著名人が多かったが、現在少ないのは、親が知らないこと、体験してないことが多いように思う。子どもには感性に働きかける教育が一律にできたらと思う
- ・まず家庭の生活力の向上、勉学の根本をなすものと思う
- ・モンスターペアレントなど親への指導
- ・家庭を大切に
- ・保護者の意識改革、モラルの向上

〔遊びの充実〕

- ・戸外で遊ぶ (2)
- ・安心して遊ぶことのできる場所を作る
- ・自然の遊びや遊び道具作りと使い方

〔学習体制の支援〕

- ・美術館、図書館を無料に
- ・中学生の進学支援 (授業料)
- ・ひとり親家庭への支援
- ・生活基盤を整える

〔ゆとり教育〕

- ・ゆとり教育をなくす
- ・土曜開校、ゆとり教育による詰め込み授業

〔道徳、児童の意識を変える〕

- ・道徳教育 (3)
- ・目標や興味を多く
- ・自分の分野の勉強を自然に頑張る
- ・協調性を重視
- ・子どもの興味のわく授業をする
- ・学習の必要性を児童が理解する取り組み

〔その他〕

- ・宿題内容の充実
- ・頭と手と足を使う教育
- ・全国学力・学習状況調査は実施しない
- ・インターネットを利用した個人学習環境の充実
- ・子育てしやすい職場
- ・高齢者、障害者への理解、ボランティア活動への参加
- ・教職員組合の排除、高知の教育の低さは教職員組合が元凶
- ・競争社会を勝ち抜いていく、教育順位をつける、負けたら生き残っていけない、自分達が普通に教育を受けていた時代に戻るといい。悪いことをしたらゲンコツ等(体罰でなく心のこもった指導)たたかれることにより痛みを感じ、どれくらいでどの位の痛みを感じるかが分かる。そのため喧嘩をしても加減が分かる
- ・目標達成への具体的システム構築
- ・県外の人との交流
- ・常識的なことの教育 (自転車の乗り方等)
- ・自虐史観をやめる

問 42 教育振興や教育課題の解決には家庭や地域の協力も必要です。あなたが参加又は協力できることはどれですか。

〔子どもを見守る〕

- ・子どもの見守り (2)

〔得意分野での教育〕

- ・自分が一緒に勉強したり良い本などがあれば教える (2)
- ・子どもたちに農業のあり方を教え実践 (例・ラッキョウの植え付け、田植えから秋の取り入れ) (2)
- ・小学生のクラブ (剣道) の指導をしている

### 〔その他〕

- ・町内会と子どもとの協力
- ・親の教育
- ・中学校はPTAのOBとして文化祭等に参加
- ・大人は子どもたちに尊敬されるような態度を示すよう努力する
- ・外の世界（県外の文化または家庭）を知ってもらい将来について意識を高める
- ・知らない人に声をかけられたら注意しましょう、という教育は学校ではしてほしくない
- ・障害のある子どもへの支援
- ・戸外で遊ばす
- ・精神の健康

## IX 調査票〔単純集計結果〕

# 単純集計結果

※「無回答」を省略しているため、構成比の合計は100%になりません。

## 平成23年度 高知県 県民世論調査票

### 1. 南海地震対策について

南海地震は、おおむね100年から150年の間隔で発生し、その都度高知県に大きな被害をもたらしてきました。今後30年以内に発生する確率は60パーセント程度と言われ、その切迫度は刻々と増してきています。

さらには、東海・東南海・南海の3連動地震の発生も危ぐされており、強い揺れと大津波により、東海から九州に至る広い範囲に甚大な被害をもたらすと想定されています。

こうした中、県では、より安全性の高い対策を進めていくため、国の中央防災会議が出した被害想定を上回る人的被害が生じることを想定したうえで、県が取り組むべき111項目の予防対策（事前の備え）や応急対策（発生後の対応）などを定めた「高知県南海地震対策行動計画」に基づき、着実に取り組みを進めてきました。

しかし、去る3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、これまでの想定をはるかに超える大津波により多くの方の尊い命が失われるなど、想像を絶するほどの甚大な被害をもたらしました。

このため、県では、今回の大震災による貴重な教訓に学び、迅速な津波避難につなげる津波対策の強化、家屋の倒壊などを防止する揺れ対策、医療救護体制の充実や災害時要援護者対策など、県民の皆さまの安全度が一日一日向上していくよう、対策の加速化と抜本的な強化を進めています。

6月補正予算では、津波避難路、津波避難タワーの整備や公共的建物への外付け階段の設置、緊急用ヘリコプターの離着陸場の整備、河川堤防や海岸堤防の耐震化基礎調査などの予算化も行い、地域の安全度向上に向けた抜本的な対策をスタートしました。

問1 発生確率の高まっている南海地震について、どの程度関心を持っていますか。（1つだけ○印）

- |            |       |
|------------|-------|
| 1 非常に関心がある | 45.9% |
| 2 関心がある    | 40.7% |
| 3 多少関心がある  | 8.5%  |
| 4 関心がない    | 0.5%  |

問2 南海地震が起きた場合、あなたのお住まいの地域（住宅）では危険があると感じていますか。（どちらかに○印）

- |   |           |       |
|---|-----------|-------|
| 1 | 危険を感じている  | 91.2% |
| 2 | 危険を感じていない | 8.3%  |
- 副問 （問2で「1」を選んだ方のみお答えください。）  
 どのような危険があると思いますか。（当てはまるものすべてに○印）
- |   |              |       |
|---|--------------|-------|
| 1 | 津波           | 49.3% |
| 2 | 山崩れ、がけ崩れ     | 31.6% |
| 3 | 揺れで、建物に被害がでる | 74.1% |
| 4 | 揺れで、家具が転倒する  | 54.6% |
| 5 | 火災           | 34.9% |
| 6 | その他（ ）       | 4.4%  |

問3 あなたの、南海地震への備えを教えてください。（当てはまるものすべてに○印）

- |   |   |       |
|---|---|-------|
| 1 | 懐中電灯、ラジオ、貴重品、医薬品又はお薬手帳などの非常持ち出し品を準備している         | 50.6% |
| 2 | 3日分以上の食料品や水を備蓄している                              | 19.7% |
| 3 | 家具などの転倒防止のため、金具などで固定をしている                       | 18.1% |
| 4 | ガラスの飛散防止対策を行っている                                | 3.8%  |
| 5 | 地震啓発パンフレット「南海地震に備えちょき」を活用して、家族と地震の備えについて話し合っている | 14.6% |
| 6 | その他（ ）  | 3.9%  |
| 7 | 備えは行っていない                                       | 32.0% |

問4 南海地震は、昼夜を問わず、いつ発生するかわかりません。さまざまな場面での対処について考えておく必要がありますが、ご自宅で強い揺れに見舞われたときの「避難場所」を確認していますか。（どちらかに○印）

- |   |         |       |
|---|---------|-------|
| 1 | 確認している  | 68.9% |
| 2 | 確認していない | 30.1% |
- 副問1 （問4で「1」を選んだ方のみお答えください。）  
 避難場所や避難経路に対して、不安はありますか。（どちらかに○印）

- 1 不安がある **66.9%**
- 2 不安がない **31.9%**

副問2 (副問1で「1」を選んだ方のみお答えください。)

どのような不安か教えてください。

(当てはまるものすべてに○印を付け、具体的に記載してください)

- 1 避難場所への移動が不安 (例：時間、手段など) **57.4%**  
( 記載内容は、最終報告での公表となります。 )
- 2 避難場所の安全性が不安 (例：低地にある、崖があるなど) **38.8%**  
( )
- 3 避難経路の安全性が不安 (例：土砂崩れ、ブロック塀倒壊など) **37.5%**  
( )
- 4 その他 **8.0%**  
( )

南海地震などの大規模な災害が発生したときは、公的な機関による迅速な救助活動が十分に行えない場合もあります。また、津波浸水が予想される地域では互いに避難を呼びかけあったり、火災の発生や負傷者が出た場合には、近隣の方たちが消火や救助活動を行うなどの「支え合い」が必要になってきます。

問5 あなたは、いざというときに「地域の支え合い」は大事だと思いますか。  
(どちらかに○印)

- 1 大事だと思う **97.9%**
- 2 大事だと思わない **1.5%**

副問 (問5で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたのお住まいの地域での「支え合い」について、どのように感じていますか。  
(1つだけ○印)

- 1 日ごろから隣同士の交流や助け合いを行っており、いざというときに頼りになる **39.4%**
- 2 以前に比べ近所同士の交流や助け合いが少なくなったので、いざというときに少し不安 **33.0%**
- 3 日ごろは近隣の交流がないので、いざというときに不安 **23.5%**
- 4 その他 ( ) **3.3%**

県では、今年度中に、沿岸地域における自主防災組織の組織率 100 パーセントを目指すとともに、地域の津波避難計画の策定の取り組みを加速化して、地域の安全度向上に向けた抜本的な対策に取り組むことにしています。

問6 大規模災害が発生した場合には、地域での自主防災活動が非常に重要となります。あなたのお住まいの地域に「自主防災組織」<sup>(※)</sup>はありますか。  
(1つだけ○印)

- |   |       |       |
|---|-------|-------|
| 1 | ある    | 35.7% |
| 2 | ない    | 16.1% |
| 3 | わからない | 47.6% |

副問 (問6で「1」を選んだ方のみお答えください。)

お住まいの地域の「自主防災組織」の活動に参加をしていますか。

(1つだけ○印)

- |   |                        |       |
|---|------------------------|-------|
| 1 | 積極的に参加している             | 27.7% |
| 2 | 時々参加している               | 25.8% |
| 3 | あまり参加していない             | 22.3% |
| 4 | 参加していないが、今後は参加したい      | 21.0% |
| 5 | 参加していないし、今後も参加するつもりはない | 2.7%  |

(※) 自主防災組織・・・「自分たちの地域は自分たちで守る」という住民の自覚と連帯感に基づき、町内会などの単位で自主的に防災活動に取り組む組織

<日常の活動>

【災害を知る】想定される災害（揺れ、津波、火災、土砂災害など）の学習

【地域を知る】危険な箇所、緊急避難場所、避難所、避難経路、通報先などの確認や防災マップの作成・周知

【訓練をする】避難場所や避難路の整備と避難訓練、消火器具などの防災用資機材の整備とその使い方の訓練、救助活動のための知識や技術の習得など

毎年8月30日から9月5日は、「高知県南海地震対策推進週間」です。その一つとして、9月4日（日）には、津波や土砂災害などを想定した「県下一斉避難訓練」と、自主防災組織が主体となり避難訓練や炊き出し、倒壊家屋とうかいがおくからの救出などの訓練を行う「地域のみんなで自主防災訓練」が実施されます。

問7 あなたは、過去1年間に地域の自主防災組織や職場などの地震防災訓練に参加したことがありますか。 (どちらかに○印)

- |   |         |       |
|---|---------|-------|
| 1 | 参加した    | 22.5% |
| 2 | 参加していない | 76.7% |

副問 (問7で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
より多くの人に参加していただくには、どうしたらいいと思いますか。  
(自由記入)

記載内容は、最終報告での公表となります。





## 2. 産業振興計画について



### 【計画本体について】

県では、県経済を根本こんぽんから元気にするためのトータルプランとして、「高知県産業振興計画」を平成21年3月に策定し、県民の皆さまとともにさまざまな取り組みを進めてきました。

また、変化の激しい経済の動きに対応するとともに、新たなアイデアを盛り込めるように、PDCA(※)サイクルを通じて毎年度改定を行っています。

今年度は、当面の目標年次である3年目を迎えることから、「正念場の年」と位置付け、実行2年間ちくせきで蓄積したさまざまなノウハウや仕組みを生かして、県勢けんせい浮揚ふように向けた歩みを確かなものにしていくよう取り組んでいます。

(※) PDCA…Plan (計画)、Do (実行)、Check (検証)、Action (改善) による行動プロセスのこと

問8 県では、これまでに、大きく分けて次の1～7の方向に基づき取り組みを進めてきました。1～7について、あなたが、取り組みが進んできたと思うものはどれですか。 (当てはまるものすべてに○印)

※ 詳しくは、同封のパンフレット「高知県産業振興計画 Ver. 3PR版」P.13～20をご覧ください。

- |   |   |       |
|---|---|-------|
| 1 | 地産外商 <small>ちさんがいしょう</small> <small>(※)</small> の加速化 (東京でのアンテナショップ「まるごと高知」の開設や県外での商談会の開催など) | 52.2% |
| 2 | 県内での「ものづくり」の推進 <small>すいしん</small> (農水産物の加工や試作機の開発支援など)                                     | 19.7% |
| 3 | 地産地消の徹底 (県産品アンテナショップ「てんこす」の開設や直販所の整備など)   | 30.4% |
| 4 | 観光の推進 (「土佐・龍馬であい博」の開催や観光ガイド団体の育成など)   | 51.0% |
| 5 | 地域産業の育成強化 (生産技術のレベルアップや新規就農者 <small>しゅうのうしゃ</small> の確保など)                                  | 7.4%  |
| 6 | 新産業の創出 (マンガや環境ビジネスなど新分野での事業化など)   | 6.4%  |
| 7 | 人材の育成 (専門家によるビジネスの実践研修や農村リーダー育成セミナーなど)  | 5.5%  |
| 8 | どれも進んでいると思わない   | 9.1%  |
| 9 | わからない   | 20.2% |

(※) 地産外商…地域のさまざまな資源を県外に売り出してお金 (外貨) を稼ぐこと

問9 あなたが、今後「高知県産業振興計画」をさらに進めるために、充実させた方がよいと思われる具体的な取り組みはどれですか。（3つまで○印）

1	首都圏や関西・中部地区など、 <u>県外での高知フェアの開催や商談会への出展による外商の取り組み</u>	28.6%
2	海外での高知フェアや貿易セミナーの開催など、 <u>海外への外商の取り組み</u>	7.0%
3	<u>ものづくりの地産地消（加工や機械設備の製造などをできるだけ県内事業者同士で行う）の取り組み</u>	29.6%
4	直販所や量販店における地域製品の販売など、 <u>地産地消の取り組み</u>	22.4%
5	観光ルートの開発など <u>観光客誘致の取り組み</u>	27.0%
6	まとまりのある産地づくりや森の工場の整備など、 <u>第一次産業の生産地を強化する取り組み</u>	13.8%
7	農林水産物の生産に加えて、加工・販売を一体的に行う <u>6次産業化<sup>(※)</sup>の取り組み</u>	29.8%
8	衛生管理の向上や食品表示の適正化など、 <u>食品加工の基本の徹底に向けた取り組み</u>	6.7%
9	小さなビジネスの育成などによる <u>中山間地域における産業づくり</u>	13.2%
10	健康福祉や環境、マンガなど、 <u>成長が見込める新たな分野での産業創出の取り組み</u>	7.6%
11	木質バイオマスや太陽光など、 <u>新エネルギーを産業に生かす取り組み</u>	30.0%
12	移住による新規就業者の確保など、 <u>第一次産業の担い手確保の取り組み</u>	9.1%
13	「目指せ！弥太郎商人塾 <sup>あきんどじゅく</sup> 」など、地域産業を創造・リードする <u>人材育成の取り組み</u>	7.6%
14	その他（ <input type="checkbox"/> ）	2.3%
15	特にない	1.7%
16	わからない	11.1%

(※) 6次産業化…農林漁業者が、生産、加工、流通（販売）に一体的に取り組むことや、製造業（2次産業）、流通・販売業（3次産業）と連携して、地域ビジネスの展開や新たな産業を創出すること（1次×2次×3次＝6次産業）

問 10 あなたが、(問9に掲げた取り組みのほかに) 今後、成長が期待でき、強化すべきだと思う分野はどれですか。 (2つまで○印)

- |   |  |              |
|---|--|--------------|
| 1 | 南海地震や台風などに備える防災技術開発といった、 <u>防災関連の分野</u>  | <b>35.9%</b> |
| 2 | 都市部で急増する高齢者向けの食事や旅行提案など、 <u>シニア向けサービスの分野</u>   | <b>22.4%</b> |
| 3 | よさこい祭りや龍馬といった全国に広がるネットワークや知名度を生かした衣装や楽曲制作など、 <u>文化・芸術関連の分野</u>                             | <b>12.4%</b> |
| 4 | 県内の豊富な野菜や果物などの機能性成分 <sup>(※)</sup> を活用した商品開発や、 <u>海藻からエタノール(エチルアルコール)を作るといったバイオビジネスの分野</u> | <b>42.3%</b> |
| 5 | 都会で暮らす人に、高知県の豊かな自然や人情、食、文化などを生かした田舎暮らし体験を提供する <u>田舎暮らし体験ビジネスの分野</u>                        | <b>36.5%</b> |
| 6 | その他 ( )  | <b>1.7%</b>  |
| 7 | 特になし   | <b>3.8%</b>  |
| 8 | わからない  | <b>10.4%</b> |

(※) 機能性成分…健康の保持・増進に役立つとされている成分

問 11 あなたが、県の産業振興をさらに推進するために、より手厚く支援すべきだと思うものはどれですか。 (2つまで○印)

- |   |                             |              |
|---|-----------------------------|--------------|
| 1 | 新しい事業を起業する際の立ち上がりの支援        | <b>36.6%</b> |
| 2 | 動き出した事業を軌道に乗せるための支援         | <b>41.2%</b> |
| 3 | 既存の事業の規模拡大を図る際の支援           | <b>12.0%</b> |
| 4 | 既存の事業を維持・再生するための支援          | <b>28.7%</b> |
| 5 | 経営の多角化を目指して新分野への事業展開を図る際の支援 | <b>17.3%</b> |
| 6 | その他 ( )                     | <b>1.3%</b>  |
| 7 | 支援する必要はない                   | <b>2.0%</b>  |
| 8 | わからない                       | <b>18.6%</b> |

問 12 県では、人材育成研修をはじめとした産業振興のためのさまざまな研修や講習会を実施していますが、あなたが、こうした研修などにより参加しやすくなるために必要だと思うものはどれですか。 (2つまで○印)

※ 詳しくは、同封のパンフレット「高知県産業振興計画 Ver. 3 P R版」P. 39~40 をご覧ください。

1	会社など所属先の理解と後押し	30.2%
2	夜間や休日など就労時間外の開催	21.1%
3	夏の集中講座など開催時期の工夫	6.3%
4	身近な場所での開催	40.0%
5	参加費や交通費などの資金的な援助	19.4%
6	研修メニューの多様化	16.8%
7	研修情報の一元的な提供	12.3%
8	その他 ( )	1.3%
9	特にない	4.7%
10	わからない	13.5%

### 【観光について】

昨年は NHK 大河ドラマ『龍馬伝』の放映にあわせて「土佐・龍馬であい博」を開催しました。全国的な“龍馬ブーム”という追い風にも乗り、官民一体かんみんいつたいとなって県外からの観光客の誘致いりこみきゃくに取り組んだ結果、入込客の数が前年と比べ 38.1 パーセント増加し、435 万人を超え、県が目標としていた 400 万人観光が実現しました。

また、多くの観光客でにぎわった結果、県外観光客の県内での観光総消費額はきゅうが 1,010 億円を超えるなど、県経済全体にも大きな波及効果をもたらしました。

しかし一方で、日帰りの観光客が全体の約 4 割を占めていることもあり、今後は、県内の各観光地を周遊し、少しでも長く観光客が滞在たいざいできるような仕組みを強化することが必要です。

こうした課題も踏まえながら、昨年の“龍馬ブーム”の盛り上がりを次につなげていくため、今年 3 月からは「志国高知 龍馬ふるさと博」を開催しています。

今後は龍馬ブームが沈静化ちんせいしかし、高速道路の休日上限 1,000 円の特別割引制度が終了したことによる影響えいきょうも懸念けねんされることから、高知県観光の真価しんかが問われる「正念場」となることが予想されます。

このため、「ふるさと博」の開催を通じ、高知県の強みである「歴史」、「花」、「食」、「体験」といった 4 つのテーマで、各地域への周遊しゅうゆうの仕組みを一層強化し、滞在型観光の推進を目指さなければいけません。

あわせて、高知県を訪れる観光客が気持ちよく高知の魅力みりょくに触れ、楽しんでいただくことのできる受け入れ態勢たいせいづくりを進め、県のイメージアップやリピーターの増加に取り組んでいるところです。

問 13 昨年、高知県に注目が集まったことによって、あなたの仕事や生活、そのほか、身の回りにどのような効果をもたらしましたか。(2つまで○印)

- |   |                           |       |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | 団体の視察など、県外との交流が活発になった     | 4.2%  |
| 2 | 県外との商談が促進されるなど、外商の機会が増えた  | 1.7%  |
| 3 | にぎわいが増して地域が元気になった         | 23.8% |
| 4 | おもてなしにより観光客に喜んでいただく機会が増えた | 13.5% |
| 5 | 自身が県内の観光を楽しむ機会が増えた        | 18.2% |
| 6 | 県外の親族や知人などが高知を訪れる機会が増えた   | 16.6% |
| 7 | あまり効果は感じられなかった            | 42.5% |
| 8 | その他 ( )                   | 2.1%  |

問 14 県のイメージアップやリピーターを増やすためには、県民一人一人が観光客を「おもてなしの心」で迎えることが大切です。あなたは、観光客への「おもてなし」について、どのようなことをされていますか。

(3つまで○印)

- |   |                                      |       |
|---|--------------------------------------|-------|
| 1 | あいさつ、声かけ                             | 36.7% |
| 2 | 観光客に手をふる                             | 6.1%  |
| 3 | 環境美化・保全活動(清掃、花植えなど)                  | 20.8% |
| 4 | ボランティアガイドなどの活動                       | 5.0%  |
| 5 | 外国人観光客への対応                           | 3.2%  |
| 6 | お接待 <sup>せつたい</sup> など地域文化に基づいたおもてなし | 11.1% |
| 7 | 特に行動はしていない                           | 50.0% |
| 8 | その他 ( )                              | 2.7%  |



平成23年3月5日(土)～平成24年3月31日(土)開催

### 3. 日本一の健康長寿県構想について

県では、県民の皆さまが、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指して、保健、医療、福祉の各分野の高知県の強みや弱みを分析し、これまでの施策に新たな取り組みも加えて、平成22年2月に「日本一の健康長寿県構想」を取りまとめました。

今年2月には、この1年間の実行状況や策定後のさまざまな変化を踏まえ、より政策効果が上がるようにとの考えを持って、次の視点で構想の改訂を行いました。

- その1：この1年の取り組みの検証を通じて、より実効性を高める
- その2：県民のニーズに迅速に対応する
- その3：人口の減少や高齢化の進行への対応策を一層強化する
- その4：医療技術の進歩や国の制度変更などに速やかに対応する

#### 【かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局について】

皆さまが日ごろから医療を受けたり、病気や健康、薬について何でも相談できる医師・歯科医師・薬局を「かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局」と言います。

かかりつけ医は、日ごろからの患者の状態をよく知っているため、専門外の病気や高度医療が必要な場合も、病状に応じた適切な医療機関を紹介するなど、地域で患者を支えるうえで大変重要な役割を担っています。

かかりつけ歯科医は、日ごろからの患者の状態を把握しており、むし歯や歯周病の治療だけでなく、一人一人に合った生活指導を含む予防などのサービスを身近で受けることができます。その結果、生涯を通じた歯と口の健康管理ができるとともに、歯周病などに関連がある生活習慣病の予防にもつながり、全身の健康を維持することができます。

かかりつけ薬局は、患者の日ごろの服薬記録や「お薬手帳」などを活用して、患者が複数の病院から薬剤の投与を受けている場合も、処方状況を一括して確認することができ、薬剤アレルギーや重複投与、薬剤の相互作用についてチェックを行い、主治医と相談のうえで安全で効果的な処方を行うなどの重要な役割を担っています。

お薬手帳は、処方されたお薬の名前や飲む量、回数などの記録を残す手帳で、この記録があると医師・歯科医師や薬剤師に患者の服薬状況がわかります。

問 15 日ごろから診療しんりょうを受けるだけでなく、病気や健康に関して相談することができる、かかりつけとしている医師がいますか。 (どちらかに○印)

- 1 いる 55.3%
- 2 いない 44.3%

副問 (問 15 で「2」を選んだ方のみお答えください。)

かかりつけ医がいないのはどうしてですか。 (1つだけ○印)

- 1 病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ医はいない 55.7%
- 2 相談できる医師が見つからないので、かかりつけ医はいない 4.8%
- 3 受診するごとに自分の判断で病院・診療所を選んでいるので、かかりつけ医はいない 32.2%
- 4 必要性を感じないので、かかりつけ医はいない 3.4%
- 5 自宅や職場の近くに病院・診療所がないので、かかりつけ医はいない 0.8%
- 6 その他 ( ) 2.3%

問 16 自分の歯に関して何でも相談することができる、かかりつけとしている歯科医がいますか。 (どちらかに○印)

- 1 いる 62.4%
- 2 いない 36.7%

副問 (問 16 で「2」を選んだ方のみお答えください。)

かかりつけ歯科医がいないのはどうしてですか。 (1つだけ○印)

- 1 歯科にかかることがほとんどないので、かかりつけ歯科医はいない 55.3%
- 2 相談できる歯科医が見つからないので、かかりつけ歯科医はいない 18.0%
- 3 自宅や職場の近くに歯科医院がないので、かかりつけ歯科医はいない 2.6%
- 4 必要性を感じないので、かかりつけ歯科医はいない 17.2%
- 5 その他 ( ) 6.2%

問 17 病院から出された処方箋<sup>しよほうせん</sup>をいつも調剤<sup>ちやうざい</sup>してもらう、かかりつけとして  
いる薬局がありますか。 (どちらかに○印)

- 1 ある 47.1%
- 2 ない 51.9%

副問 (問 17 で「2」を選んだ方のみお答えください。)

かかりつけ薬局がないのはどうしてですか。 (1つだけ○印)

- 1 病院にかかることがほとんどないので、かかりつけ薬局はない 41.9%
- 2 病院ごとに近くの薬局を使うのが便利なので、かかりつけ薬局はない 42.5%
- 3 病院の近くの薬局でないと扱ってない薬の場合があるので、かかりつけ  
薬局はない 2.9%
- 4 必要性を感じないので、かかりつけ薬局はない 7.1%
- 5 自宅や職場の近くに薬局がないので、かかりつけ薬局はない 0.6%
- 6 その他 ( ) 4.4%

問 18 あなたは「お薬手帳」を知っていましたか、また、持っていますか。  
(1つだけ○印)

- 1 知っており、すでに持っている 37.2%
- 2 知っていたが、持っていない 34.2%
- 3 知らなかったし、持っていない 26.5%
- 4 その他 ( ) 0.8%

※ 高知県薬剤師会発行の「お薬手帳」を同封していますので、参考にご覧いただき、  
必要な場合にお役立てください。





ざいたくいりょう  
【在宅医療について】

皆さまやご家族が、病気で長期の療養が必要となった場合、できるだけ住み慣れた地域で暮らせる医療提供の仕組みとして、「在宅医療<sup>(※)</sup>」の制度があります。

手術や大掛かりな医療設備での検査、急性期の高度な医療は医療機関でなければできませんが、最近では医療技術や機器などの進歩により、病状の落ち着いた方の療養・治療は、患者やご家族が希望される場合には在宅での医療が可能となっています。

(※) 在宅医療…在宅医療では、病院や診療所への通院が困難な方が普段過ごす居室（自宅のほか、いつも暮らしている施設を含みます）に、医師や看護師などが訪問して診察や投薬を行います。

在宅医療と似ているものに「往診」がありますが、往診は在宅の患者が急に具合が悪くなった時に、緊急に訪問して診察を行うもので、定期的に訪問する在宅医療とは異なります。

入院による治療が望ましい病状の場合や、患者やご家族が在宅での療養を望まない場合に、在宅医療が勧められることはありません。

在宅医療も通常の病院・診療所への入院や通院同様、医療保険や介護保険の適用になります。費用は利用するサービスによって異なりますが、一般的に入院するより安く、通院するより高い傾向があります。

在宅医療を受けるには、今までのかかりつけ医や入院先の医療ソーシャルワーカー（ケースワーカー）、主治医に相談していただくことになります。かかりつけ医がいない場合などは、市町村（地域包括支援センター）などが相談に応じています。

県では、希望する方が在宅医療を選択することができるよう、在宅医療を担う人材の確保のほか、特に不安が大きいと思われる介護サービスとの連携の仕組みづくりなどに取り組んでいます。

問 19 仮にあなたが病気の急性期を過ぎて、その後遺症などで長期の療養が必要になった場合、どのような医療を選択しますか。 （1つだけ○印）

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 1 自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける | 24.4% |
| 2 家族などの介助を受けて病院に通院する               | 17.1% |

3	特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して、 <sup>しよくたくい</sup> 嘱託医による診療を受ける	11.4%
4	病院に入院して診療を受ける	29.6%
5	その他 ( )	1.5%
6	わからない	15.7%

問 20 あなたが長期の療養が必要になった場合、どのような条件や環境を整え  
ば在宅医療を選択しますか。 (2つまで○印)

1	在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある	14.8%
2	急に病状が <sup>あつか</sup> 悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる	22.3%
3	急に病状が悪化した場合に入院できる	27.3%
4	家族が急な病気や用事で看護できなくなった時に、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある	19.1%
5	家族の身体的・時間的な負担が大きくなる	36.6%
6	経済的な負担が少ない	34.2%
7	現状でも特に問題なく、在宅医療を受けられる	2.3%
8	その他 ( )	1.1%
9	わからない	12.8%

問 21 あなたや家族の方が在宅医療を選択する場合、どこに相談しますか。  
(2つまで○印)

1	市町村 (地域包括支援センター)、福祉事務所、保健所など公共の窓口	49.3%
2	かかりつけ医、入院している病院の主治医や医療ソーシャルワーカー	55.2%
3	地域のお世話役 (民生委員・児童委員、町内会長や地区長など)	5.5%
4	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	19.8%
5	その他 ( )	0.7%
6	わからない	14.9%

折り返し地点です。  
最後まで、よろしく  
お願いします！



【高知型福祉について】

～「高知型福祉」の実現を目指し、さらに充実すべき施策について～

日本一の健康長寿県構想の柱の一つである福祉の分野では、人口減少、高齢化が進行し、これまで地域が担ってきた支え合いの力が弱まり始めています。その状況を踏まえ、子どもから高齢者、障害のある方などすべての県民の皆さまが、住み慣れた地域で必要な福祉サービスを利用して、安心して暮らすことができる地域づくりを推進し、地域の実情に即した新しい福祉の形を地域地域で作り上げていく「高知型福祉」の実現を目指して取り組んでいます。

※ 詳しくは、同封のパフレット「日本一の健康長寿県構想」のP.16以降をご覧ください。

問 22 あなたは、現在お住まいの地域で、今後も安心して暮らしていくことについて、どのような不安を感じていますか。 (3つまで○印)

- |    |   |       |
|----|---|-------|
| 1  | ご近所同士の声かけなど、地域での「見守り」活動の弱まり   | 20.6% |
| 2  | 水源や水路の清掃、道路の維持管理など「集落での共同作業」、また、買い物の代行やゴミ出しの手助けといった地域での「支え合い」活動の弱まり | 13.0% |
| 3  | 高齢者や障害のある方、子どもなどの「集う」場所や「交流の場」が少ない                                  | 16.4% |
| 4  | 生活上の困り事や、地域の医療・福祉サービスの情報などについて、気軽に安心して「相談」できるところがない                 | 21.3% |
| 5  | 買い物や病院への通院のための「交通手段」がない、又は「交通機関」が利用しづらい                             | 18.9% |
| 6  | 認知症やうつ病、ひきこもりなどに対する「地域の理解」が進んでいない                                   | 7.6%  |
| 7  | 年金など生活資金が限られており、「経済的基盤」が弱い  | 44.2% |
| 8  | 医療や介護、障害、保育など、「利用できるサービス」が少ない                                       | 7.0%  |
| 9  | 医療や介護、障害、保育などのサービスの「利用者負担」が増える                                      | 17.6% |
| 10 | 高齢者や障害のある人の「働く場」がないことや「雇用」が進んでいない                                   | 15.5% |
| 11 | 仕事がなく「若者が流出」する  | 37.5% |
| 12 | 不安を感じていない   | 6.7%  |
| 13 | その他 ( )   | 1.5%  |

問 23 あなたが今お住まいの地域で安心して暮らしていくために、家族や親類しんるい以外にあなたの周りで頼りに思う人は誰ですか。 (3つまで○印)

- |    |  |       |
|----|--|-------|
| 1  | 近隣住民 (友人、親友を含む)                              | 62.5% |
| 2  | 民生委員・児童委員                                    | 8.7%  |
| 3  | 自主防災組織や消防団の団員                                | 6.7%  |
| 4  | 地域包括支援センター職員 (保健師・看護師・介護支援専門員を含む)            | 12.0% |
| 5  | 市町村社会福祉協議会の職員                                | 4.6%  |
| 6  | 介護事業所などの社会福祉施設の職員<br>(社会福祉士、ヘルパー、介護支援専門員を含む) | 12.0% |
| 7  | 医師 (かかりつけ医)                                  | 25.3% |
| 8  | 市町村役場の職員                                     | 8.0%  |
| 9  | 警察官  | 8.6%  |
| 10 | その他 ( )                                      | 1.1%  |
| 11 | いない  | 21.5% |

中山間地域では、子育てや介護、自立支援など、多様なニーズがありながらも、それぞれのサービス利用者が少ないことから、全国一律の縦割りの福祉サービスの基準では必要なサービスが提供されにくい状況となっています。

そのため、県では市町村と連携して、これらの福祉サービスの隙間を埋め、子どもから高齢者の方まで年齢や障害の有無にとらわれず、小規模でありながらも1箇所が必要なサービスを受け、触れ合うことのできる「あったかふれあいセンター」の整備を進めています。

あったかふれあいセンターでは、「集い」を基本に、地域での見守りや一時預かりなど、地域の実情にあったサービスが提供されていますが、これに加え、「相談・訪問活動」を充実するとともに、一人暮らしの高齢者などの暮らしを維持していくため、買い物やゴミ出しといった生活課題に対応した支え合いの仕組みづくりなどにも取り組んでいます。

問 24 このように、「あったかふれあいセンター」ではさまざまな支援を行っていますが、どのような機能(支援)をさらに充実すれば良いと思いますか。 (3つまで○印)

- |   |                            |       |
|---|----------------------------|-------|
| 1 | より身近な地域で自由に「集える場所」         | 27.3% |
| 2 | 夜間や台風の時など、家での生活が「不安な時の居場所」 | 25.5% |

うらめん つづ  
裏面へ続く

3	趣味や娯楽、教養講座など「生きがいつくりの場所」	27.0%
4	子育て中の母親同士が「交流できる場所」	12.9%
5	障害者や引きこもりがちな方の「社会参加の場所」	9.2%
6	緊急時に支援の必要な高齢者や障害者、子どもを「一時的に預かるサービス」	30.3%
7	認知症予防やいきいき百歳体操などによる「介護予防の取り組み」	9.9%
8	相談事を気軽に「相談できる場所」	29.2%
9	安否確認などの日ごろの「見守り訪問活動」	17.3%
10	お弁当の自宅までの「配達」	6.3%
11	ゴミ出しや電球交換、草刈りなど、ちょっとした困り事に対応できる「生活支援」	19.4%
12	買い物や、外出時の送迎などの「外出支援」	15.2%
13	安心して「入浴できる場所」	2.7%
14	その他（ ）	1.2%

問 25 高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者も増え続けています。一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。

(3つまで○印)

1	定期的な巡回訪問などによる、地域での「見守り」活動	58.0%
2	買い物やゴミ出し、草刈りなどの手助けといった地域での「支え合い」活動	30.1%
3	高齢者がいつでも「集える」交流の場づくり	27.6%
4	介護予防や生きがいつくり	15.5%
5	高齢者が必要な時に相談できる体制づくり	33.2%
6	在宅介護サービス（ホームヘルプ、デイサービスなど）や医療体制	28.2%
7	高齢者に配慮したまちづくりや移動手段（交通の便）の確保	23.0%
8	健康な方から要介護の方まで、安心して生活できる高齢者向け賃貸住宅の整備	17.0%
9	就労支援など高齢者が社会参加できる仕組みづくり	11.9%
10	虐待防止や金銭、財産管理など、高齢者の権利を擁護する仕組みづくり	9.0%
11	その他（ ）	0.8%

問 26 障害者施策についてお尋ねします。障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らしていくために、今後どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。  
(3つまで○印)

1	定期的な訪問などによる、地域での「見守り」活動	32.9%
2	買い物や掃除、外出支援といった地域で安心して暮らすための生活支援	27.4%
3	障害や障害のある人への理解	28.1%
4	在宅福祉サービス（ホームヘルプ、デイサービスなど）や医療、リハビリテーション体制	21.7%
5	手当、年金などの所得保障	29.0%
6	障害のある人が必要な時に相談できる体制づくり	22.3%
7	発達障害のある人への療育機能や教育	6.6%
8	就労支援など、障害のある人が社会参加できる仕組み	21.6%
9	バリアフリーのまちづくりや移動手段（交通の便）の確保	16.4%
10	障害者の権利を擁護する仕組みづくり	4.1%
11	グループホームなどの生活（居住）場所や通所施設、重度の障害のある人が利用できる入所施設の整備	26.6%
12	質の高いサービスを提供するための福祉人材や活動を支えるボランティアの育成	15.7%
13	その他（ ）	1.1%

問 27 少子化についてお尋ねします。少子化の要因の一つに未婚化や晩婚化がありますが、その要因は何だと思いますか。  
(3つまで○印)

1	経済的に十分な生活ができるか不安を持っているから	61.5%
2	自由や気楽さを失いたくないから	28.7%
3	趣味や娯楽を楽しみたいから	7.9%
4	仕事や学業など、ほかに打ち込みたいものがあるから	8.9%
5	結婚に魅力や必要性を感じないから	35.3%
6	異性とうまく付き合えないから	11.8%
7	仕事と家庭の両立が難しいから	26.1%
8	出会いの場が少なくなり、適当な相手にめぐり合わないから	35.7%
9	結婚に対する一般的な意識（世間のこだわり）が変わったから	32.5%
10	その他（ ）	2.7%

問 28 小学校<sup>しゅうがく</sup>就学前の子育てについてお尋ねします。あなたが今お住まいの地域において、就学前の子どもをより育てやすくするために、どのような取り組みを充実していく必要があると思いますか。 (3つまで○印)

- |    |  |       |
|----|--|-------|
| 1  | 保護者の仕事の都合により、家庭で保育できない日曜や祝日に子どもを預かるサービス                            | 35.0% |
| 2  | 保護者の勤務時間の都合により、保育所などで決められた時間以外の時間帯（朝・夕など）に子どもを預かるサービス              | 40.3% |
| 3  | 自宅のある市町村ではなく、勤務先の近くの別の市町村の保育所に子どもを預けることができるサービス（広域入所）              | 25.9% |
| 4  | 育児休業明けに仕事に復帰する場合など、年度途中での保育所へのスムーズな入所                              | 20.0% |
| 5  | 子どもが病気で集団保育ができない期間に、保育所や病院などで保育及び看護ケアを行うサービス                       | 28.5% |
| 6  | 保護者の自宅で、ベビーシッターなどに子どもを預かってもらうサービス                                  | 2.8%  |
| 7  | 保育ママやお守さんなど保育者（子どもを預かる人）の居宅で、子どもを預かってもらうサービス                       | 5.1%  |
| 8  | 保育所を利用していない方を対象に、保護者の急病や育児疲れなど私的な理由で一時的に保育が必要な場合、保育所などで子どもを預かるサービス | 15.8% |
| 9  | 地域において、子育て家庭同士が交流したり、お互いに情報交換できる場づくり                               | 9.9%  |
| 10 | 地域において、必要な時に子育てに関する悩みや不安を相談できる体制づくり                                | 12.0% |
| 11 | 保育料の軽減や医療費の助成など、子育てに係る経済的負担の軽減                                     | 31.7% |
| 12 | ワーク・ライフ・バランスの推進など、仕事と子育てを両立できる職場環境づくり                              | 19.5% |
| 13 | その他（ )   | 2.2%  |

近年、少子化や核家族化、親の就労形態の多様化、子どもたちの遊び場や体験の不足など、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、家庭や地域の子育て機能・教育力が低下していると言われています。このため県では、保護者の仕事と子育ての両立、子どもたちの健やかな育ちと豊かな学びを支援するため、「放課後学び場」（「放課後子ども教室」<sup>(※1)</sup>及び「放課後児童クラブ」<sup>(※2)</sup>を活用）の設置を推進しています。

(※1) 放課後子ども教室…子どもたちに、放課後や週末などに学習支援やスポーツ・文化活動などのさまざまな体験活動を提供し、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するもの

(※2) 放課後児童クラブ…保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童を対象に、放課後や週末に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに仕事と子育ての両立を支援するもの

問 29 このように、「放課後学び場」の設置を推進していますが、あなたが今お住まいの地域における「放課後学び場」について、さらにどのような取り組みを充実していくことが望めますか。 (2つまで○印)

- |   |                             |       |
|---|-----------------------------|-------|
| 1 | 予習や復習、補習などの「学びの場」としての充実     | 46.8% |
| 2 | スポーツや文化活動などの多様な「体験の場」としての充実 | 43.5% |
| 3 | 地域の大人や異年齢の子どもとの「交流の場」としての充実 | 36.3% |
| 4 | お手玉やメンコなど、さまざまな「遊びの場」としての充実 | 12.5% |
| 5 | 開設日数の増加や開設時間の延長             | 21.2% |
| 6 | その他 ( )                     | 2.1%  |





## 4. 新エネルギーの導入について

県では、高知県の強みである自然条件（全国一の森林率、全国トップクラスの日照時間や年間降水量など）を生かして、地球温暖化対策に貢献しつつ、エネルギーの地産地消や産業振興などにつなげていくために、平成 23 年 3 月に「高知県新エネルギービジョン」を策定しました。

このビジョンでは、大規模太陽光発電所の誘致、木質バイオマス<sup>(※)</sup>の燃料活用、地域における小水力発電や風力発電の導入など、新エネルギー導入の促進を図ることとしています。

また、東日本大震災をきっかけとして、国においてはエネルギー政策の見直しに向けて議論が始められたところであり、再生可能エネルギーの導入を加速化させていくことが求められています。

今後の県における新エネルギー導入の取り組みの参考とするため、以下のことについて、お尋ねします。

(※) 木質バイオマス…樹木を砕いて、チップ（木を細かく砕いたもの）やペレット（おがくずなどを押し固めて成型したもの）などにして得られる木質産物のこと

### 【再生可能エネルギーと新エネルギーの違い】



問 30 高知県におけるエネルギーの消費に占める新エネルギーの割合は、2007（平成 19）年度では約 1.36 パーセントとなっています。

東日本大震災の発生前に策定した「高知県新エネルギービジョン」では、この割合を 2020 年度までに 2 倍以上にするよう新エネルギーの導入に努めていくこととしています。

このことについて、あなたはどのように思いますか。（1 つだけ○印）

- |   |                        |        |
|---|------------------------|--------|
| 1 | より短い期間で取り組みを加速化すべき     | 34.7%  |
| 2 | 適当だと思う                 | 18.8%  |
| 3 | 割合にこだわらず、できる範囲で取り組めばよい | 30.4%  |
| 4 | その他（                   | ） 0.7% |
| 5 | わからない                  | 15.1%  |

問 31 高知県において、積極的に導入すべき新エネルギーは何だと思えますか。

あなたが、優先順位が高いと思う新エネルギーを 2 つまで選んでお答えください。（2 つまで○印）

- |   |            |        |
|---|------------|--------|
| 1 | 太陽光発電      | 71.2%  |
| 2 | 太陽熱利用      | 29.1%  |
| 3 | 風力発電       | 26.7%  |
| 4 | 中小規模水力発電   | 17.5%  |
| 5 | 木質バイオマス発電  | 22.4%  |
| 6 | 木質バイオマス熱利用 | 11.3%  |
| 7 | その他（       | ） 2.2% |

問 32 新エネルギーの導入を進めるうえではいろいろな課題がありますが、次のうち、あなたが特に問題だと思うことはどれですか。（2 つまで○印）

- |   |                           |        |
|---|---------------------------|--------|
| 1 | 発電設備などを導入する際の費用（コスト）が高い   | 81.7%  |
| 2 | 周辺環境への影響（騒音、景観など）がある      | 21.9%  |
| 3 | 天候などの影響を受けやすく、発電電力が不安定である | 45.3%  |
| 4 | 発電設備などを導入するための法手続きが複雑である  | 13.8%  |
| 5 | その他（                      | ） 1.4% |

問 33 あなたが、新エネルギーの導入を進めるために行政が行うべきだと思う  
取り組みについて、次のうち2つまで選んでお答えください。

(2つまで○印)

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | 新エネルギーに関する情報を提供すること  | 30.3% |
| 2 | 学校などの公共施設での <sup>そっせんてき</sup> 率先的な新エネルギーの導入  | 34.3% |
| 3 | 新エネルギーの技術開発への支援  | 26.9% |
| 4 | 新エネルギーを導入する個人や事業者への助成  | 36.6% |
| 5 | 新エネルギーの高い導入コストを補うための電力料金制度の改正<br>( <sup>ぜんりょうこていかかくかいとりせいど</sup> 全量固定価格買取制度 <sup>(※)</sup> など) | 20.4% |
| 6 | 新エネルギーを導入するための法規制の <sup>かんわ</sup> 緩和   | 10.4% |
| 7 | 自治体などが発電事業などを自ら行う  | 14.4% |
| 8 | その他 ( )  | 1.0%  |

(※) 全量固定価格買取制度・・・再生可能エネルギーを使って発電した場合に、電力会社がすべての電力を買い取ることで再生可能エネルギーの導入を進める制度のことです。

なお、この制度では、電力会社が買い取った電力をご家庭や事業者に売る際には、再生可能エネルギーによる発電分の買い取り費用を、電力料金に上乗せして請求することができます。

新エネルギーの利用を拡大していくためには、エネルギーの消費者である県民の皆さまの参加が重要となることから、県民の皆さまが、例えば住宅用太陽光発電などの新エネルギーを活用する機会を増やしていくことが必要だと考えています。

住宅用太陽光発電設備の設置費用は、システムの規模<sup>きぼ</sup>によって異なりますが、平均的な一般家庭では、定格出力4キロワット程度の電力で、約240万円(1キロワットあたり約60万円)かかると言われています。

また、平成21年11月から、発電した電力のうち、自分の家で使った分を除いて余った電力を、電力会社が一定の価格で10年間買い取る「<sup>よじょう</sup>余剰電力買取制度」がスタートしました。平成23年度の一般住宅の買取価格は、1キロワットあたり42円となっています。

この住宅用太陽光発電設備の設置について、お尋ねします。

問 34 あなたは、ご自宅に太陽光発電設備を設置していますか。(1つだけ○印)

- |   |              |       |
|---|--------------|-------|
| 1 | 設置している       | 4.0%  |
| 2 | 具体的な設置の予定がある | 0.8%  |
| 3 | 設置を検討してみたい   | 33.9% |
| 4 | 設置するつもりはない   | 56.5% |

副問 1 (問 34 で「3」を選んだ方のみお答えください。)

あなたは、今後どのような条件が整えば、太陽光発電設備を設置してもよいと思いますか。(1つだけ○印)

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| 1 | 発電設備の全体の価格が安くなれば (助成制度が充実すれば)                                    | 69.6% |
| 2 | 全体の価格が安くならなくても、リースや分割払い <small>ぶんかつ</small> などにより一度に負担する費用が軽くなれば | 9.7%  |
| 3 | 現在の住宅に簡単に設置できれば  | 10.5% |
| 4 | 発電設備に関する信頼できる情報が入手しやすくなれば  | 3.9%  |
| 5 | その他 ( )  | 3.0%  |

副問 2 (問 34 で「3」を選んだ方のみお答えください。)

現在、住宅用太陽光発電設備の設置に対しては、助成制度があります。一般家庭での設備の導入のために 240 万円 (電力は 4 キロワット) かかるとした場合に、国からは約 19 万 2 千円が助成されます。あなたが、太陽光発電設備を設置する場合に、いくらまでなら負担できますか。(1つだけ○印)

- |   |                          |       |
|---|--------------------------|-------|
| 1 | 240 万円 (助成は必要ない)         | 0.4%  |
| 2 | 200 万円 (40 万円の助成があれば良い)  | 1.8%  |
| 3 | 150 万円 (90 万円の助成があれば良い)  | 14.4% |
| 4 | 100 万円 (140 万円の助成があれば良い) | 22.1% |
| 5 | 100 万円を超える負担が必要なら検討は難しい  | 47.5% |

## 5. 森林環境税について

県では、県民みんなで森林環境を保全していくため、平成15年度から、全国に先駆けて森林環境税を導入し、個人の方、企業ともに年額500円のご負担をいただいています。現在、第二期目の課税期間中（平成20年度～）であり、平成24年度末に終期を迎えます。

課税期間が、来年度で満了することから、県では、県内6地域で座談会を開催し、「今後の森林環境税のあり方」について、各地域で活躍されている県民の皆さまからご意見などをお聞きしながら、今後の森林環境税についての議論を重ねていくことにしています。

県が森林環境税を活用して取り組んでいる事業に対するご意見や、「森林環境税のあり方」などについてのご意見をお聞かせください。

※ 詳しくは、同封のパンフレット「平成23年度版森林環境税パンフレット」をご覧ください。

問35 森林は、①土壌に水を蓄え、②山の崩壊を防止し、③二酸化炭素を吸収して地球温暖化の防止に役立つなどの「公益的機能」を持っていますが、近年、間伐などの手入れが不足し、これらの機能の低下を招いています。こうした状況をご存知でしたか。（1つだけ○印）

- |   |           |       |
|---|-----------|-------|
| 1 | よく知っていた   | 25.6% |
| 2 | だいたい知っていた | 47.4% |
| 3 | あまり知らなかった | 17.5% |
| 4 | 全く知らなかった  | 7.6%  |

問36 森林の公益的機能を守るため、森林環境税を活用し、次のような取り組みを進めています。この調査以前に、知っていた事業はありますか。

（当てはまるものすべてに○印）

- |   |                            |       |
|---|----------------------------|-------|
| 1 | 森林環境の保全を進めるための森林整備への支援     | 43.1% |
| 2 | シカによる森林被害対策への支援            | 42.5% |
| 3 | 公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進   | 29.4% |
| 4 | 森林や山を守るための県民主体の活動への支援      | 15.7% |
| 5 | 子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援    | 29.7% |
| 6 | 地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援 | 16.4% |
| 7 | 森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信 | 21.5% |
| 8 | 知っていた事業はない                 | 22.3% |

問 37 また、それぞれの事業に関して、今後どう取り組んでいくべきか、あなたの意見を聞かせてください。

それぞれ、下の表の「回答欄」内の 1, 2, 3, 4, 5 のいずれか 1 つに○をしてください。

	森林環境税を活用した事業	回答欄 (※) (それぞれ 1 つだけ○印)
1	森林環境の保全を進めるための森林整備への支援	1 68.6% 2 13.5% 3 1.3% 4 0.6% 5 16.0%
2	シカによる森林被害対策への支援	1 42.5% 2 28.6% 3 2.6% 4 1.5% 5 24.8%
3	公共的施設など（小中学校など）への木材利用の推進	1 51.6% 2 24.7% 3 2.7% 4 1.7% 5 19.4%
4	森林や山を守るための県民主体の活動への支援	1 41.4% 2 30.9% 3 3.6% 4 2.0% 5 22.0%
5	子どもたちを対象とした森林環境学習などへの支援	1 45.0% 2 30.6% 3 3.0% 4 1.8% 5 19.5%
6	地域住民や森林保全ボランティア団体の活動などへの支援	1 39.5% 2 32.3% 3 3.6% 4 2.1% 5 22.4%
7	森林や山を守る活動の重要性についての広報や情報の発信	1 44.1% 2 30.7% 3 4.1% 4 1.5% 5 19.6%

(※) 回答欄の内容

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 充実の方がよい  | 4 やめた方がよい |
| 2 現状のままでよい | 5 わからない   |
| 3 縮小の方がよい  |           |



問 38 森林環境税は、年額 500 円のご負担をいただき、問 36 に記載しているような各種取り組みに活用されていますが、その期間は平成 25 年 3 月末で終了します。平成 25 年 4 月以降も引き続き森林環境税の課税期間を 5 年程度延長することについて、どのように考えますか。 (1 つだけ○印)

- |              |       |
|--------------|-------|
| 1 賛成         | 48.1% |
| 2 どちらかといえば賛成 | 28.4% |
| 3 どちらかといえば反対 | 2.9%  |
| 4 反対         | 3.0%  |
| 5 わからない      | 17.4% |

## 6. 高知県の教育について

平成 19 年度に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果では、高知県の公立中学校の学力は全国水準を大きく下回り、深刻な状況が明らかとなりました。あわせて、平成 20 年度に実施された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」でも、高知県の小・中学生の体力は全国最低の水準という結果となりました。

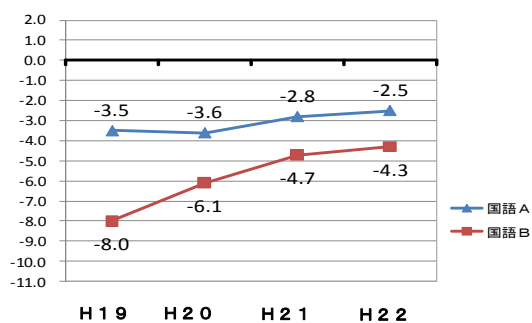
こうした中、高知県教育委員会では、学力問題を始め、いじめや不登校などの県が抱える教育課題の解決を図るため、緊急に取り組むべき具体的な内容をまとめた「学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン」を平成 20 年 7 月に策定し、4 年間の計画期間で取り組みを進めてきました。

その結果、平成 22 年度の「全国学力・学習状況調査」では、小・中学校ともに改善傾向がみられ、特に中学校では、平成 19 年度からの伸び率が数学・国語ともに全国 1 位となっています。

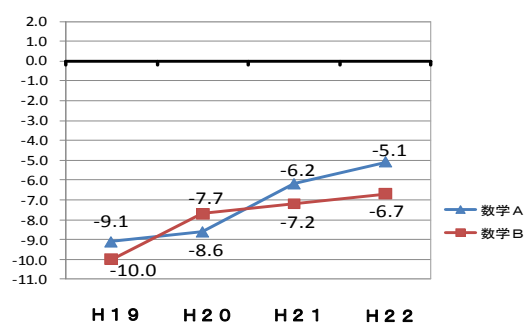
### ◆本県調査結果の全国平均正答率との差（教科、問題別）

- 各教科 A 問題は主に知識、B 問題は主に活用の力を問う問題
- 数値は全国平均との差（高知県平均正答率－全国平均正答率）
- H19～H21 は悉皆調査結果、H22 は抽出調査結果

中学校 国語（第3学年）



中学校 数学（第3学年）



また、平成 22 年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、平成 20 年度からの体力合計点の伸び率が小中学校男女とも全国 1 位となっていますし、生徒指導上の諸問題についても、徐々にではありますが改善傾向にあり、明るい兆しが見え始めています。

平成 23 年度は「学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン」の最終年度であることから、こうした成果を一過性のものとしないう、これまでの取り組みを検証し、教育課題に応じた施策の改善や展開を図ることとしています。

※ 詳しくは、同封のリーフレット「高知県の子どもたちの学ぶ力を育むために！」をご覧ください。

問 39 小・中学生の学力や体力・運動能力について、改善の兆しが見え始めて  
いることを知っていましたか。 (1つだけ○印)

- |   |           |       |
|---|-----------|-------|
| 1 | よく知っていた   | 6.9%  |
| 2 | だいたい知っていた | 33.8% |
| 3 | あまり知らなかった | 41.3% |
| 4 | 全く知らなかった  | 16.1% |

副問 (問 39 で「1」又は「2」を選んだ方のみお答えください。)  
何を通じて知りましたか。 (当てはまるものすべてに○印)

- |   |   |       |
|---|---|-------|
| 1 | TV番組  | 58.7% |
| 2 | ラジオ番組   | 8.1%  |
| 3 | 新聞記事  | 69.0% |
| 4 | 広報誌、パンフレット、チラシ  | 17.3% |
| 5 | 教育委員会や学校のホームページ                                       | 7.2%  |
| 6 | (学校や教育委員会と保護者、地域住民との) <small>こんだんかい</small> 教育懇談会、講演会 | 6.1%  |
| 7 | 学校からの通信   | 11.1% |
| 8 | 家族、知人から   | 7.2%  |
| 9 | その他 ( )   | 1.0%  |

問 40 小・中学生の学力や体力、運動能力の向上に向けた、教育委員会や学校の  
これまでの取り組みについてどのようにお考えですか。(1つだけ○印)

- |   |          |       |
|---|----------|-------|
| 1 | 大いに評価する  | 14.0% |
| 2 | ある程度評価する | 53.4% |
| 3 | あまり評価しない | 18.9% |
| 4 | 全く評価しない  | 3.3%  |
| 5 | その他 ( )  | 2.8%  |

問 41 今後、高知県の教育振興のために、どのような取り組みや支援が重要だ  
と思いますか。(3つまで○印)

- |   |                           |       |
|---|---------------------------|-------|
| 1 | 児童生徒の基礎学力の定着、学力向上         | 70.4% |
| 2 | 就学前教育 <sup>(※1)</sup> の充実 | 9.3%  |
| 3 | いじめ・不登校など、生徒指導上の諸問題への対策   | 44.1% |

うらめん つづ  
裏面へ続く



4	児童生徒の放課後の時間の充実	12.0%
5	児童生徒の体力、運動能力の向上	31.5%
6	キャリア教育 <sup>(※2)</sup> の充実	10.4%
7	読書活動の推進	16.0%
8	障害のある子どもたちへの教育の充実	8.0%
9	高校生の進学、就職対策	19.1%
10	家庭や地域の教育力を高めるための支援	12.9%
11	図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実	8.3%
12	郷土の良さを実感し、郷土を愛する心を育てる教育の充実	16.4%
13	その他 ( )	3.9%

(※1) 就学前教育…小学校就学前の幼児を対象とする教育のこと

(※2) キャリア教育…児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育のこと

問 42 教育振興や教育課題の解決には家庭や地域の協力も必要です。あなたが参加又は協力できることはどれですか。(当てはまるものすべてに○印)

1	「開かれた学校づくり推進委員会」 <sup>(※)</sup> など学校運営への <sup>さんかく</sup> 参画	9.7%
2	放課後や週末における学習活動への協力	8.5%
3	P T A活動への参加	12.0%
4	学校行事(運動会、参観日など)への参加	32.2%
5	防犯や交通安全のボランティア	24.0%
6	読み聞かせなどの読書ボランティア	9.5%
7	子どもたちへのあいさつなどの声かけ	57.5%
8	教育をテーマにした講演会や懇談会への参加	11.2%
9	家庭での宿題のチェックや基本的な生活習慣の定着	26.7%
10	その他 ( )	1.1%
11	特になし	16.7%

(※) 開かれた学校づくり推進委員会…各学校において、学校の教育方針や教育課題を保護者や地域の方々に提供するとともに、意見を学校運営や教育活動に反映していくため、児童生徒、保護者、地域の方々、教職員などによって構成され、設置している組織

## 最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

以下のF 1からF 8までは、問1から問42までの回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いがみられるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ぜひ、最後までお答えください。

### F 1 性別 (1つだけ○印)

- 1 男性 **44.6%**
- 2 女性 **54.4%**

### F 2 年代別 (1つだけ○印)

- 1 20歳代 **7.4%**
- 2 30歳代 **13.2%**
- 3 40歳代 **13.6%**
- 4 50歳代 **18.5%**
- 5 60歳代 **23.9%**
- 6 70歳以上 **22.6%**

### F 3 職業別 (主なもの1つだけ○印)

- 1 農林業 } (主婦の場合は家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方をとる) **6.7%**
- 2 漁業 } **0.7%**
- 3 商工サービス業自営 (商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む) **7.1%**
- 4 事務職 (勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く) **10.8%**
- 5 技術職 (主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、課長以上を除く) **10.0%**
- 6 労務職 (現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など) **10.1%**
- 7 管理職 (勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など) **3.5%**
- 8 自由業 (医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など) **1.8%**
- 9 主婦 (家庭内の仕事が一番多い場合) **15.1%**
- 10 学生 (高校、短大、大学、その他の学校在学中) **1.3%**
- 11 無職 (年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合) **23.7%**
- 12 その他 (上のいずれにも属さないもの) **7.9%**

### F 4 婚姻状況 (1つだけ○印)

- 1 未婚 **17.3%**
- 2 既婚 **65.9%**
- 3 その他 (離別、死別を含む) **14.3%**

### F 5 子どもの状況 (同居・別居にかかわらずお答えください。)

(当てはまるものすべてに○印)

- 1 就学前の子どもがいる **9.5%**
- 2 小学生の子どもがいる **10.8%**
- 3 中学生の子どもがいる **7.3%**
- 4 高校生の子がいる **7.5%**
- 5 大学生、専門学校生等の子どもがいる **6.1%**
- 6 その他 (上のいずれにも該当しない) **48.7%**
- 7 子どもはいない **24.0%**

F 6 世帯の年間収入 (1つだけ○印)

1	0～100万円未満	9.3%	5	400～600万円未満	16.9%
2	100～200万円未満	17.1%	6	600～800万円未満	8.6%
3	200～300万円未満	20.1%	7	800～1,000万円未満	3.9%
4	300～400万円未満	15.2%	8	1,000万円以上	3.5%

F 7 お住まいの場所(広域市町村圏) (1つだけ○印)

1	高知市	43.4%
2	安芸広域圏……………室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村	7.0%
3	南国・香美広域圏……………南国市、香南市、香美市	13.6%
4	嶺北広域圏……………本山町、大豊町、土佐町、大川村	1.8%
5	仁淀川広域圏……………土佐市、いの町、日高村	7.7%
6	高吾北広域圏……………佐川町、越知町、仁淀川町	4.0%
7	高幡広域圏……………須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町	8.2%
8	幡多広域圏……………宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町	12.5%

F 8 あなたのお住まいの地域は沿岸部ですか。 (どちらかに○印)

※ 住んでいるところが沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海(海岸、岸壁、港、湾、河口付近)から直線距離で約5km(または車で約10分)を目安にしてください。

- 1 はい 38.4%
- 2 いいえ 56.8%

質問は以上です。

長時間ご協力いただきありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、8月30日(火)までに、切手を貼らずに返送してください。

お手数をおかけしますが、よろしくお願ひします。

※この世論調査の調査結果は、平成24年1月上旬に  
 広報広聴課ホームページ  
 (<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/kocho-yoronchosa-index.html>)  
 及び県庁本庁舎1階県民室で公表する予定です。  
 また、22年度の結果は同様に公表しています。

